『エヴァンゲリヲン新劇場版：序』

全記録全集

ビジュアルストーリー版・設定 資料版

はじめに。

アニメーションを観るのは、面白い。
アニメーションを作るのは、さらに面白い。
観るとは全く別の次元で、アニメーションの持つ面白さに関われるからだ。
特に「エヴァ」は面白いと思う。
明確な設計図を具象化する精密な作り方ではなく、大まかなイメージをベースに粘土を捏ねながらその時その場で作っていく、
フレキシブルな作り方をしているからだ。
常により面白い物を探り、日々それを検証していく、ハイリスクな作り方をしているからだ。
効率論を駆使した方法と、無視した方法が混在している、ハイブリッドな作り方をしているからだ。
作品を面白くするためには、なりふり構わない無謀で恥知らずな作り方をしているからだ。

前回、残っていた若さにまかせてそんな作り方をしてから12年、引き寄せられるように「新劇場版」も同じ様な作り方になった。
つまり、奇跡の詰め合わせみたいな作り方で作品になったのだ。
その奇跡をカタチにするのが、ヒトの意志だと思っている。
スタッフ、キャストのリスクと責任を負う覚悟が、その意志を生み出していると思っている。
初号で味わう感覚は、それがあってこそだと思っている。

本書にて、アニメを制作する面白さが少しでも伝われば、幸いです。

本書では、現存する「エヴァンゲリヲン新劇場版：序」制作過程の資料等を可能な限り網羅、掲載しました。
名称はアニメーション制作会社が出版していた先人達の例に習い、全記録全集とさせていただきました。
本書だけでなくこれからも、アニメや特撮に対する御恩返しとして、また後世に遺す文化事業として、
弊社作品に限らず資料集等を制作していきたいと考えています。
よろしく御願いします。

最後に、本編及び編集スタッフに改めて、感謝いたします。
ありがとうございました。

庵野秀明
2008 03／06　晴れの日に　スタジオカラーにて

『エヴァンゲリヲン新劇場版：序』
EVANGELION:1.0 YOU ARE (NOT) ALONE.

二〇〇七年度 日本作品
カラー ― 35ミリ ― アメリカンビスタサイズ
ドルビー SRDEX
上映時間 九十八分
二〇〇七年九月一日より劇場公開

エヴァンゲリヲン新劇場版：序

全記録全集

ビジュアルストーリー版・設定資料版

evangelion:1.0

contents

ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序　全記録全集

はじめに 001

作品データ 002

film 005

archives 241

art 331

advertising 343

the other 353

scenario 361

本書は2008年5月に発行した『ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序　全記録全集』からインタビュー頁を除いたすべての内容を再掲載したものです。

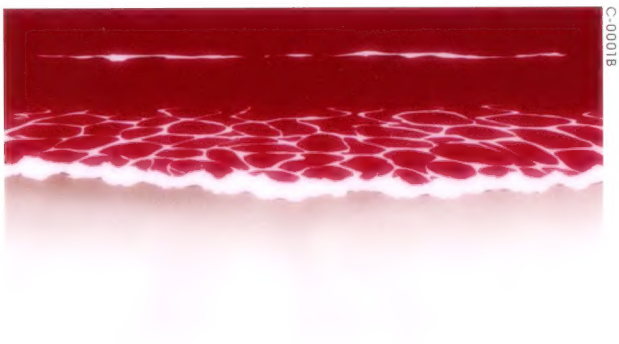
film

P006-233

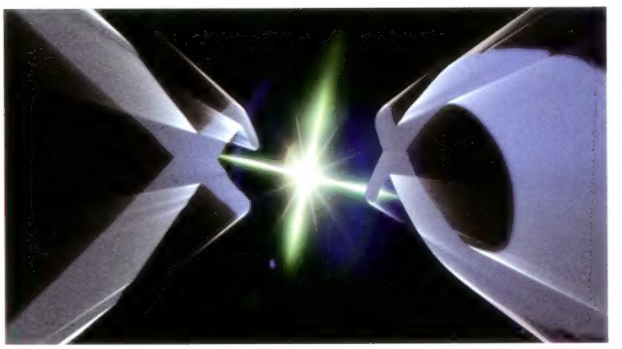
『ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序』
EVANGELION:1.01　YOU ARE (NOT) ALONE.

本編総カット数／１６４５カット　採録画面点数／２３１８点

□ 画面はすべて 2008 年にソフト化された『1.01』版のＨＤマスターより採録した。
□ 台詞は完成台本を参考に、本編と同じ文言を再現した。「(off)」は画面に映っていない人物の台詞、「(mono)」はモノローグを表す。
□「ＳＥ」(効果音) は画コンテを参考に、最小限必要と思われるものを記した。
□ カメラワークは詳述しないが、いくつかのカットではカメラ移動 (PAN) の方向を「(↑PAN)」のように表記した。
□ 画面右にはカット番号を記した。本書内で用いるカット番号はすべて画コンテに基づいている。ただし、本編では編集作業を経ているためカットの順列は必ずしもこの番号どおりではなく、欠番も存在する。

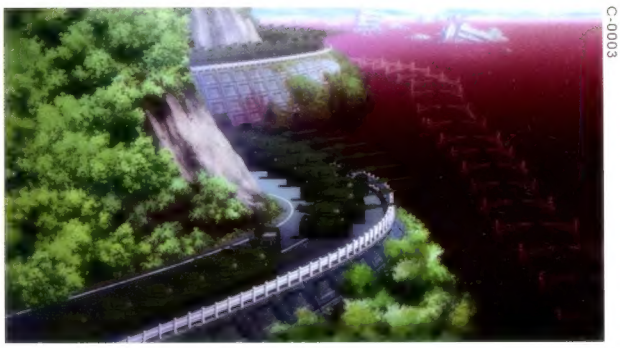


C-0001B



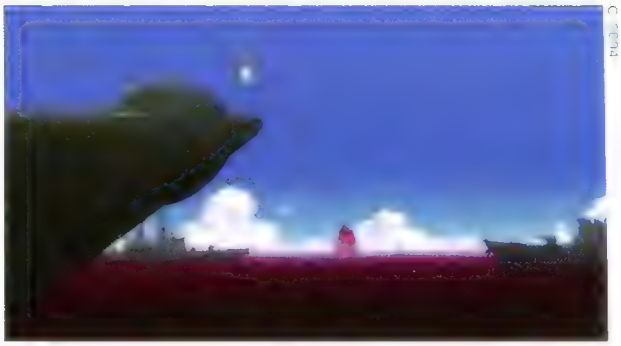
C-0002

SE　セミの声



C-0003

シンジ「めか」

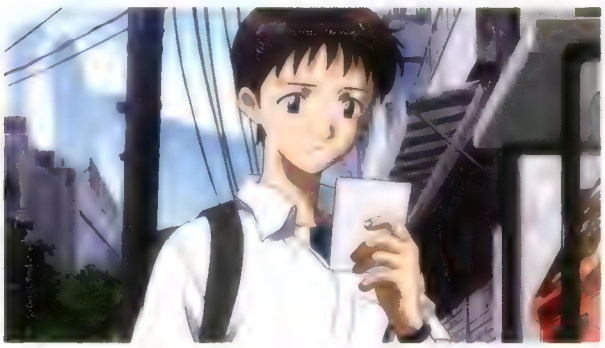


C-0004

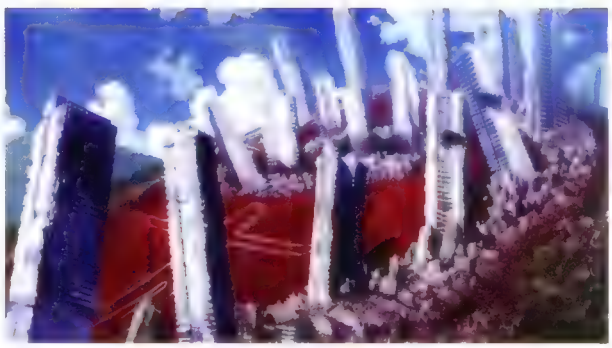
シンジ「携帯も圏外ですか」　ミサト「電車も止まってます」

C-0011

C-0005



C-0012



C-0006

シンジ「待ち合わせは無理か」

C-0013

C-0009

シンジ「しょうがない、シンジターミナル」

C-0014

電話の声「現在、特別非常事態宣言発令中のため、全ての回線は不通となっております」

C-0010

C-0018

C-0019

C-0015B

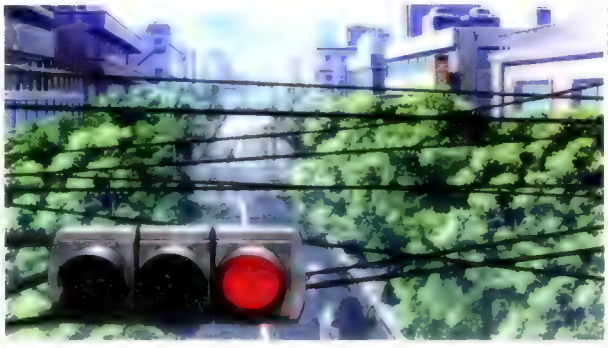
SE　ストオッ.

C-0015A

C-0021

SE　カタカタ

C-0016



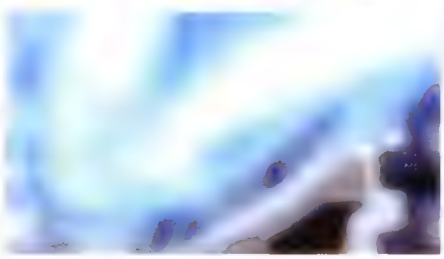
C-0022

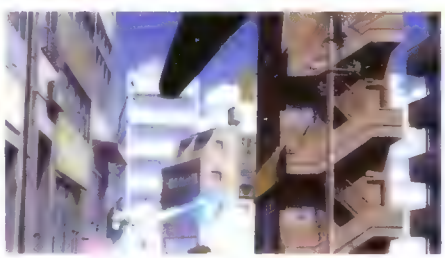
C-0017

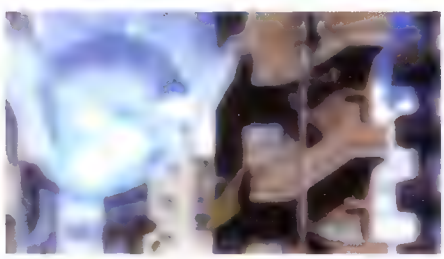
C-0024

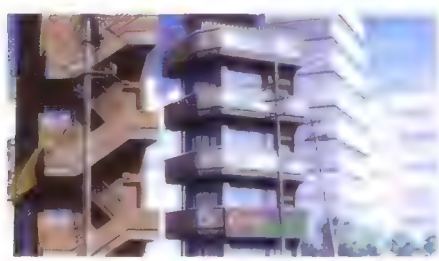
C-0023

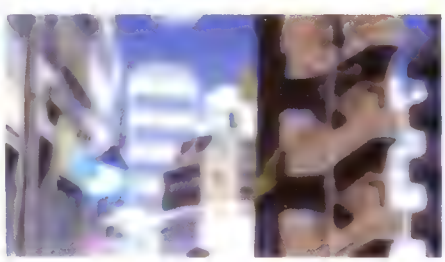
C-0025

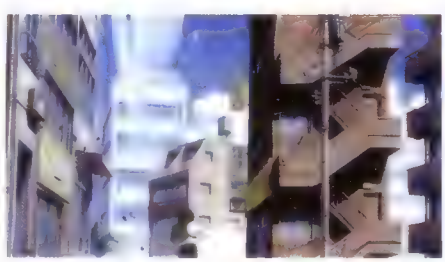

C-0029











C_0030

C_0031

C_0032

C_0033

C_00034

C_0035

C-0036

C-0039

C-0037

C-0040

C-0038

C-0041

C-0042

C-0043

C-0044

C-0045

C-0046A

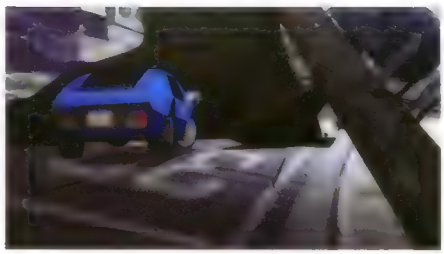
C-0046B

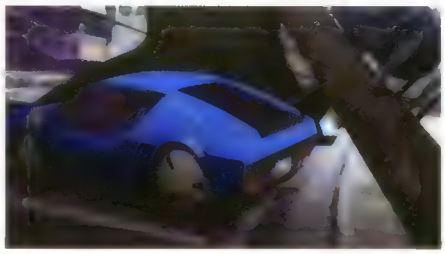
C-0047

C-0048

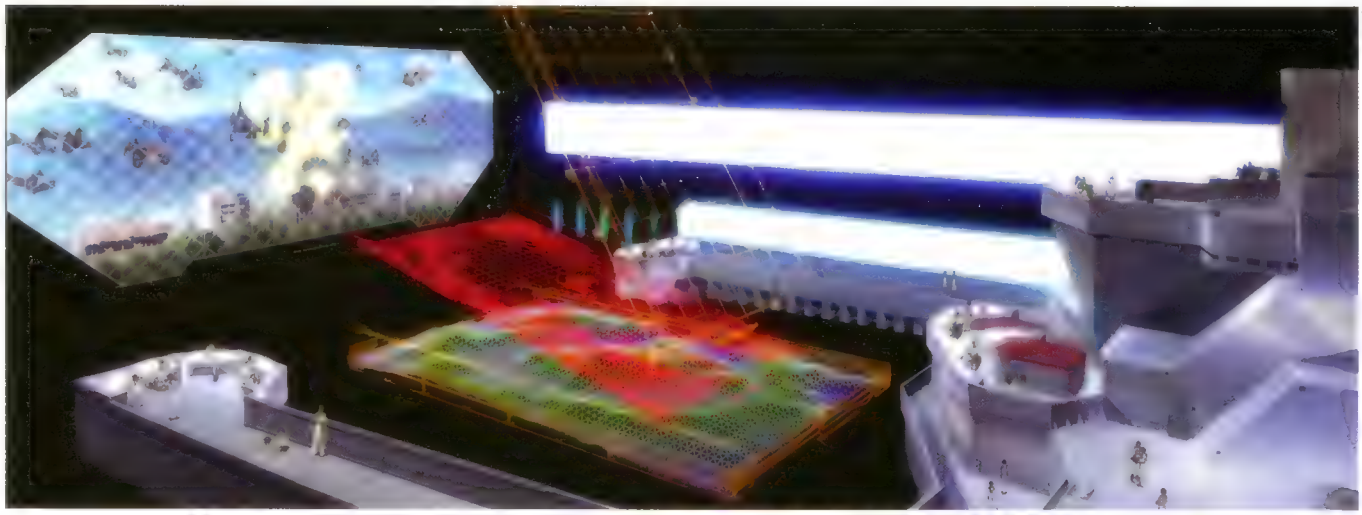
C-0049

C-0050



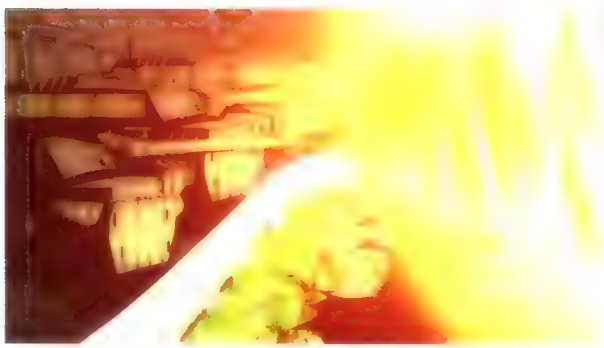


C-0051



C-0052

青年（スピーカー）：目標は依然健在。現在も第3新東京市、市内へ進行中。　女（スピーカー）：航空隊の戦力では足止めできません！　(→PAN)

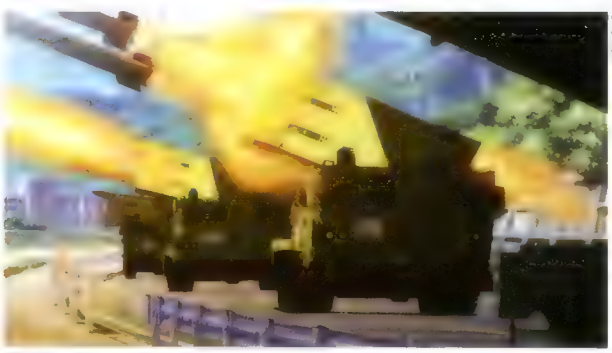


C-0055

C-0053

軍人A「総力戦だ。後方の第4師団も全て投入しろ！」
軍人B「出し惜しみはなしだ！何が何でも目標を撃ち落せ！」

C-0056



C-0054

C-0057

C-0058

C-0059

C-0060

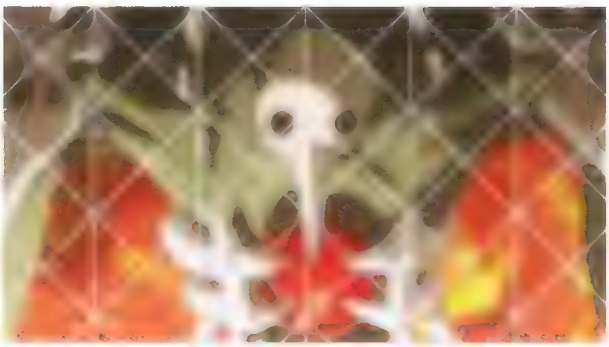
C-0061

C-0062

C-0066

C-0063

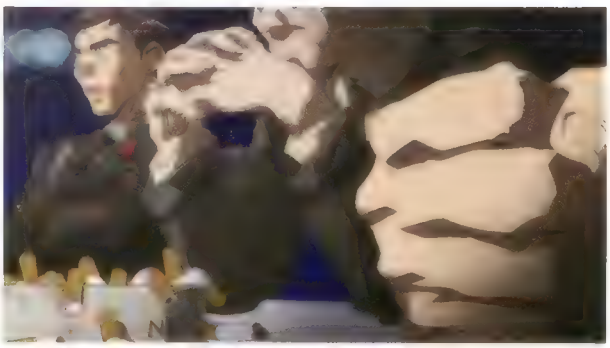
C-0068



C-0067

C-0064

C-0068



C-0069

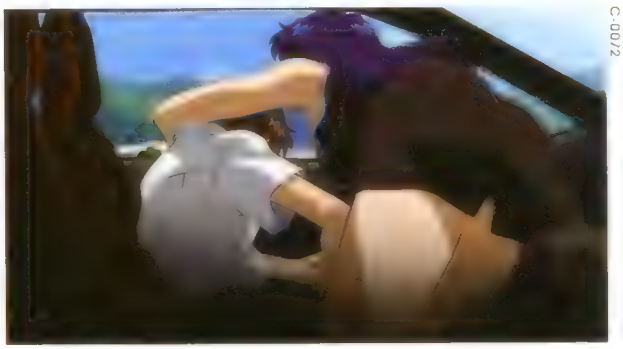
C-0065

C-0070

ミサト「ちょっとまって！」

C-0074

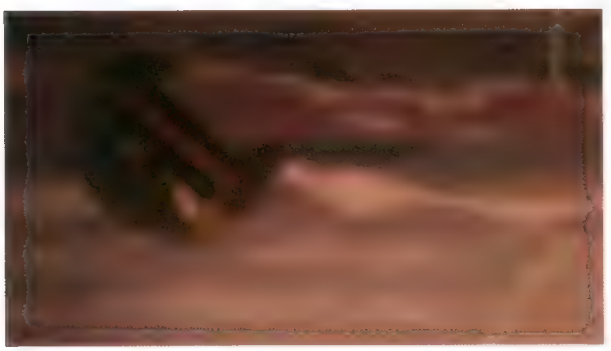
ミサト「N2地雷を使うケース？」



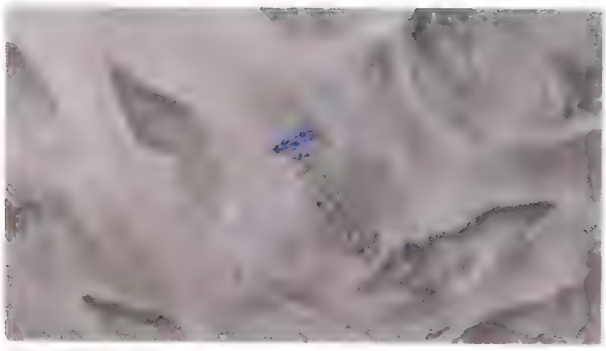
C-0072

ミサト「ふせて！」

C-0075



C-0073



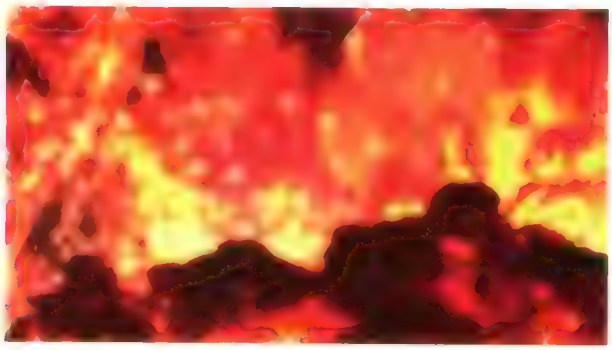
C-0082

ミサト「[illegible]」
[illegible]「[illegible]中[illegible]ます」

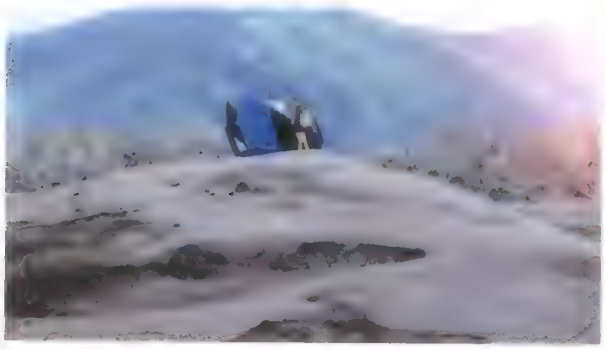
C-0076

C-0083

ミサト「[illegible]」
[illegible]

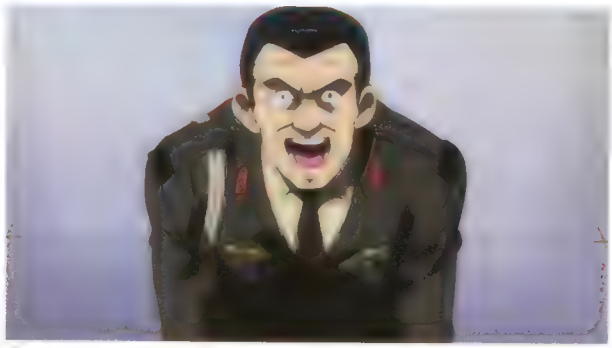


C-0077



C-0084

ミサト「[illegible]」



C-0079

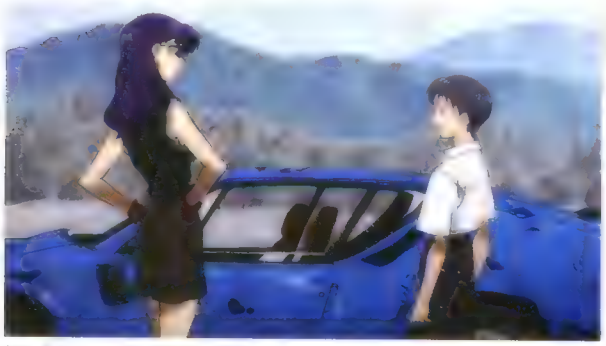
軍人B「やった!!」

C-0085

SE「[illegible]」

C-0080

軍人A「残念ながら」

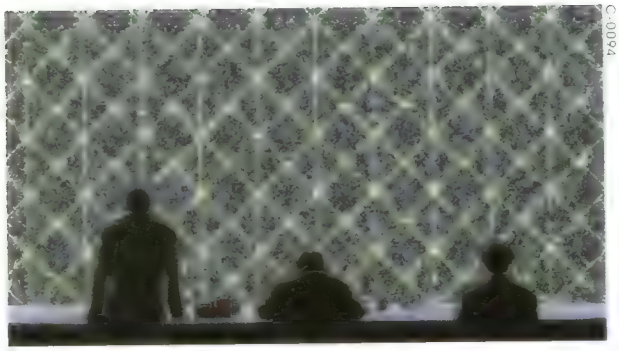


C-0086

ミサト「[illegible]もおいそこ助か[illegible]」
[illegible]「僕の方こ[illegible]」

C-0081

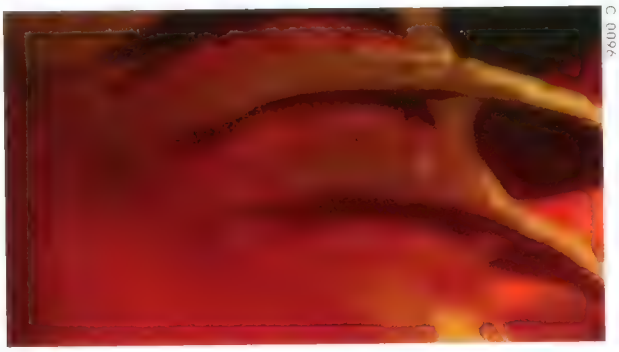
軍人A(off)「君たちの出番はなか[illegible]たようだな」
女「メビ[illegible]カ[illegible]衝撃波[illegible]来ます」



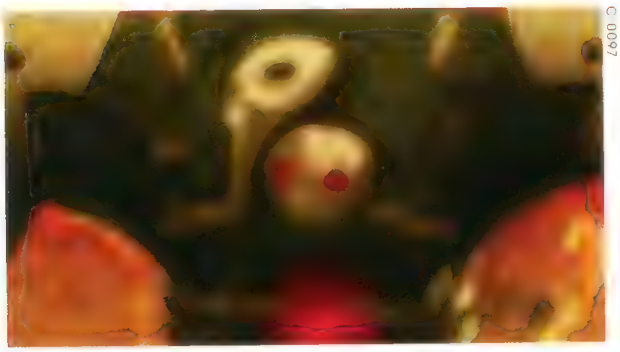
C-0094

青葉：ビ ナ 映像 直後 ます

重 ： ます



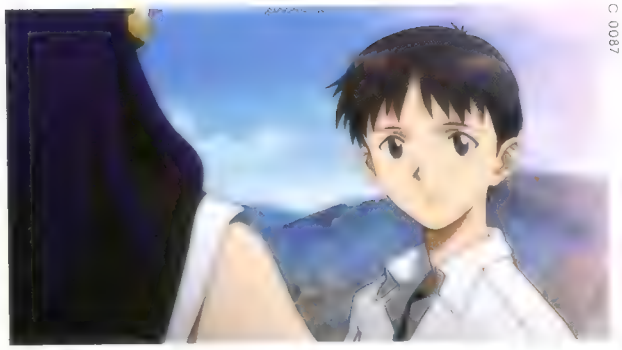
C-0096



C-0097

C-0095

重：A 我々 ザ ます
重：B ［…］
重：B ［…］



C-0087

シンジ 碧城さん

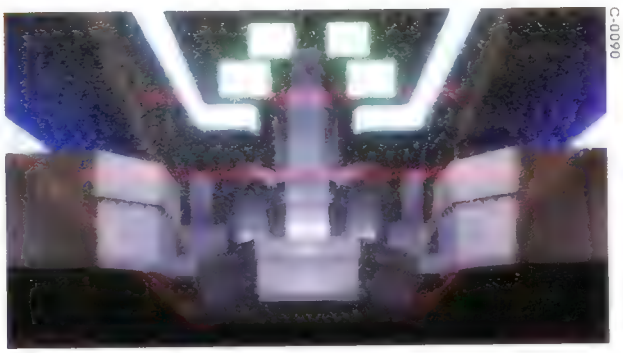
C-0088

ミサト ミサト ます よ。

ミサト ［あ］ ［よろ］ ね 碇シンジ君

C-0089

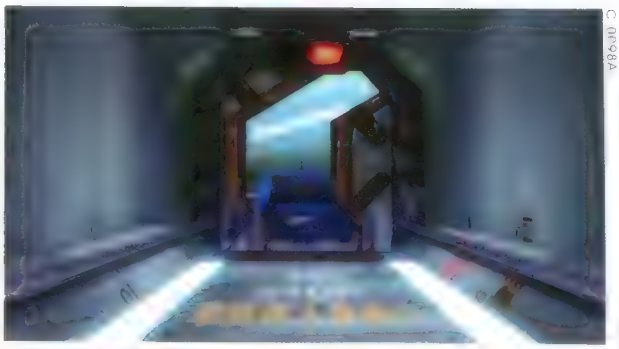
シンジ ［…］



C-0090

重：A（off） その後 目標は？
女：（ビーコン） 電波障害 ため 確認 できません。
重：B（off） あの 爆発 ケ は シ る！

C-0101



C-0098A

女：録音：声：ゲートが開きます。ご注意ください。
特務機関ネルフ

C-0102

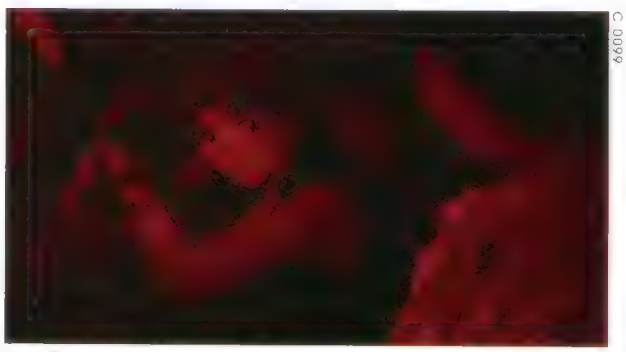
碇：ゼーレ：人類補完計画：指揮権は君に移った。

C-0098B

ミサト(off)：そう。国連直属の非公開組織。

C-0103

碇：白：お手並みを見せていただく。
ゼーレ：了解です。
碇：冬：碇君：我々の有日数は：目標：対：有効な手段：ない：ゼーレ：必ず。



C-0099

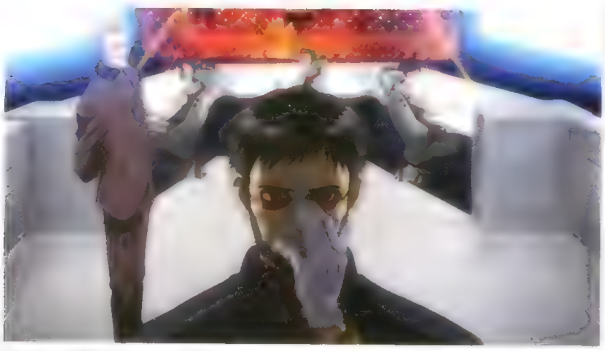
シンジ：メンテナンスとかですね。
ユイ：キョウ：お父さんの仕事：知ってる？

C-0104

碇：ゲンドウ：君の勝ちだな。

C-0100

SE：ノックする音

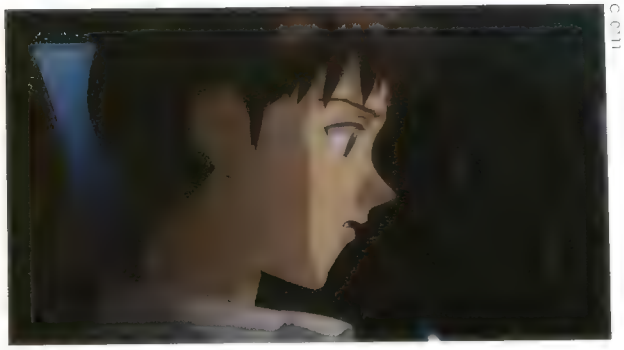


C-0105

ゼーレ：ゼーレ：ゼーレ：ゼーレ

シンジ：人類を救う大事な仕事だって。先生からは聞いてます。

C-0115

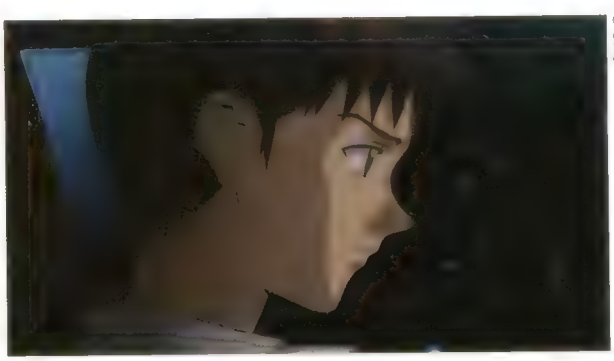


C-0111

C-0116

C-0112

C-0117



C-0113

C-0118

C-0114A

C-0114B

シンジ「何かするん？すう…僕が…」

C-0119

ミサト「あ、ごめん」

C-0124

ミサト

C-0120

C-0125

シンジ「そうだな…用もないのに僕に手紙をくれる筈ないもんな…ですよね」
ミサト「まあ…写真なんか…まっさかさま」

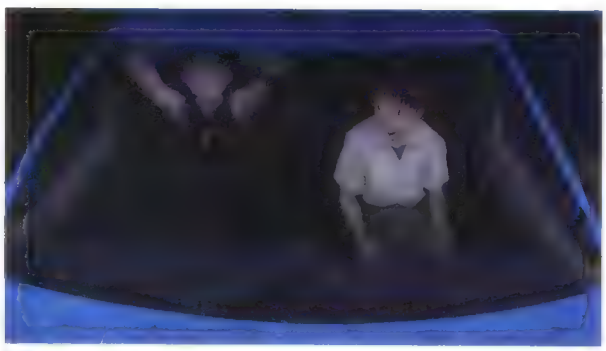
C-0121

ミサト「じゃ…これ読んでおいてね」

C-0127A

C-0122

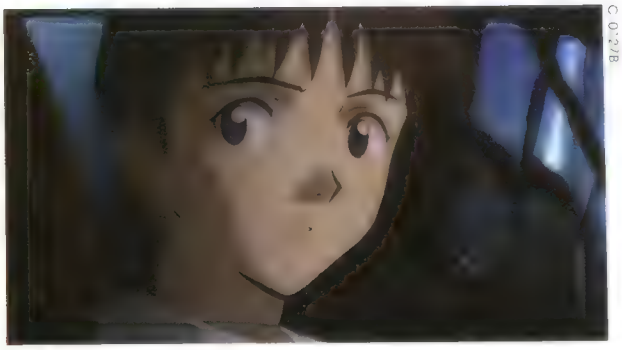
シンジ「ネルフ…」



ミサト「あなた同じね」

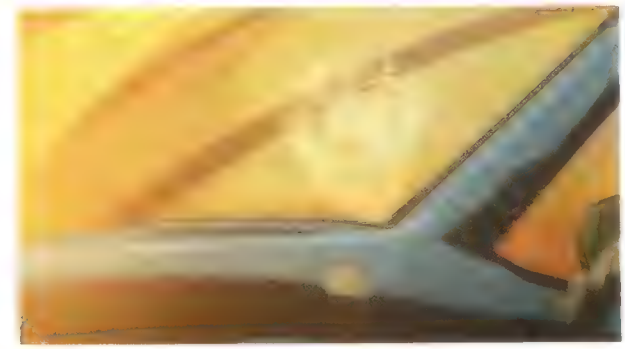
C-0123

シンジ「父さんの仕事」

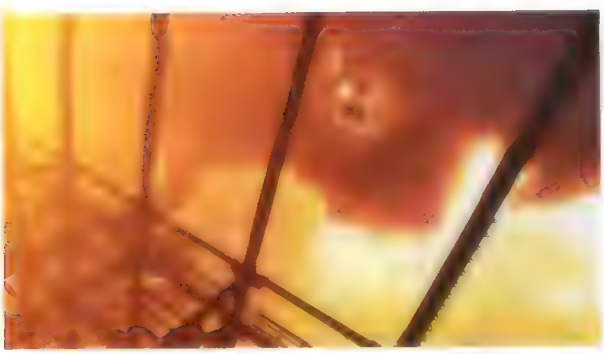


C-0128

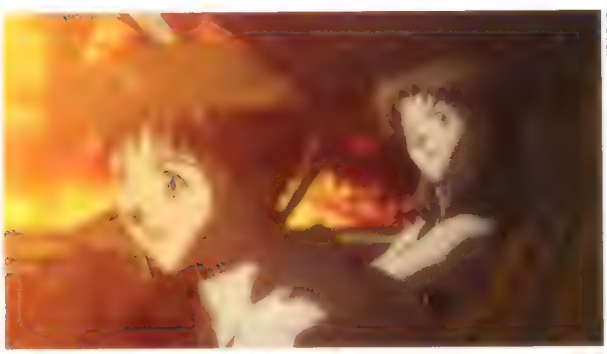
C-0129



C-0130

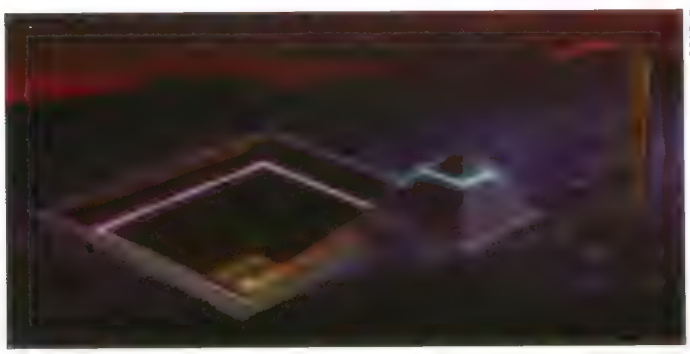


C-0131



C-0132

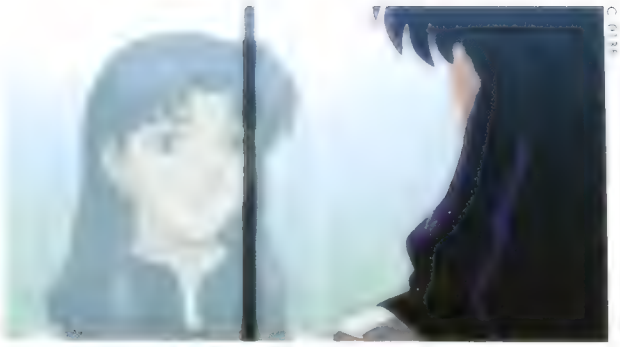
C-0133



C-0134

C-0139

ミサト：ごめん



C-0138

SE：ドアエレベータ等の音

C-0140

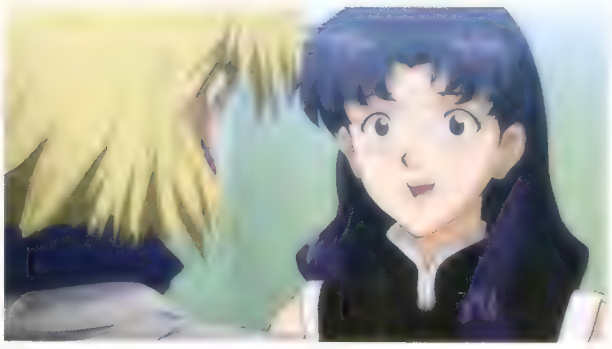
[illegible]：暑かった[illegible]

ミサト：フ[illegible]

[illegible]：例の男[illegible]ね

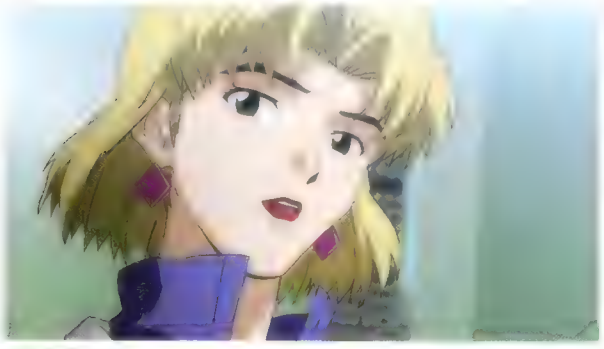
ミサト：そ[illegible]

[illegible]：技術局[illegible]課[illegible]画担当責任者[illegible]



C-0136

ミサト：あら[illegible]



C-0141

[illegible]：よろ[illegible]ね

C-0137

リツコ：到着予定時刻を12分もオ[illegible]ハ[illegible]あんまり遅いのでお迎えに来たわ。

C-0142

[illegible]：あ[illegible]ハイ

C-0138

[illegible]：葛城2佐[illegible]手ちないれば時間ちないのよ

C-0149

C-0145

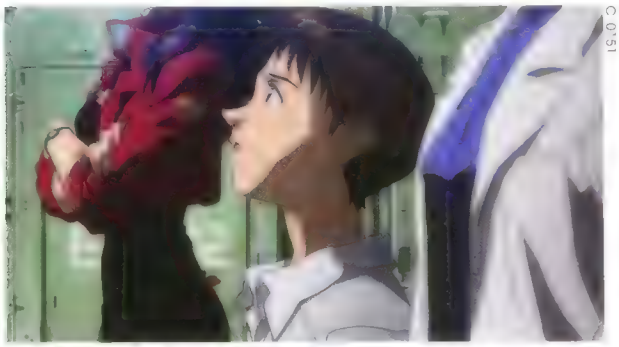
ケンスウ「ごは　像を輸ス

C-0150

リツコ「人が造り出した究極の汎用ヒト型決戦兵器　人造人間エヴァンゲリオン　その初号機」

C-0146

冬月「3年ぶりの対面か　」



C-0151

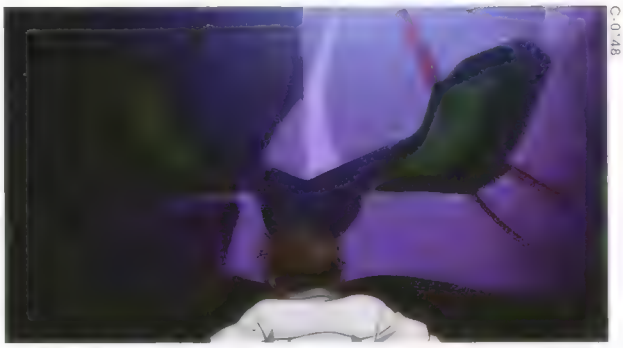
シンジ「我々人類の　最後のサバイバルよ」
シンジ「それは自分の仕事ですか」
ケンスケ「ビビッ　そうだ」

C-0147

C-0152

（↑PAN）

リツコ「碇シンジ君　あなたに見せたいモノがあるの」

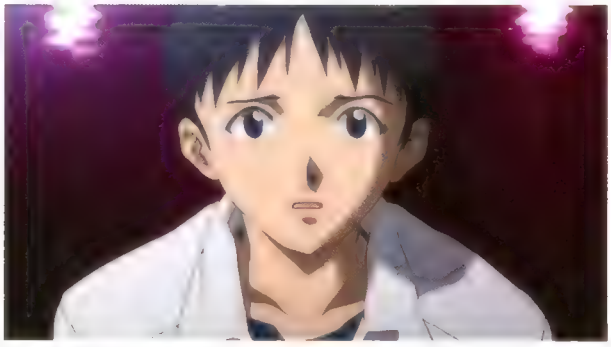


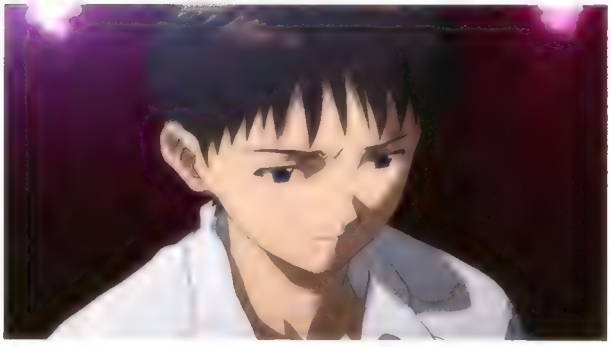
C-0148

シンジ「わ！」

C-0153

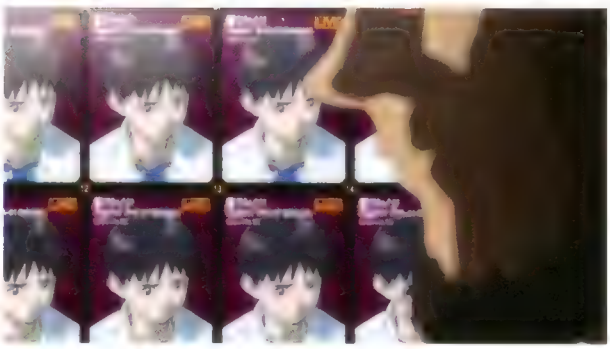
C-0154



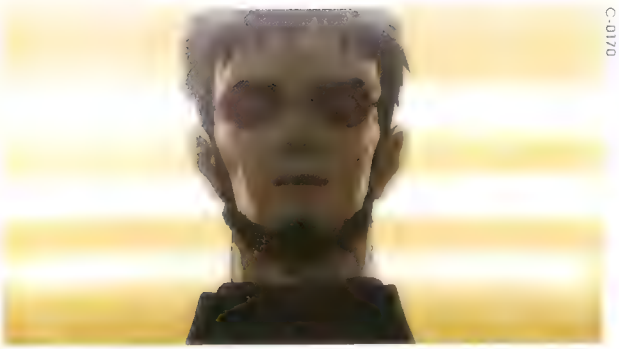


C-0157

C-0158



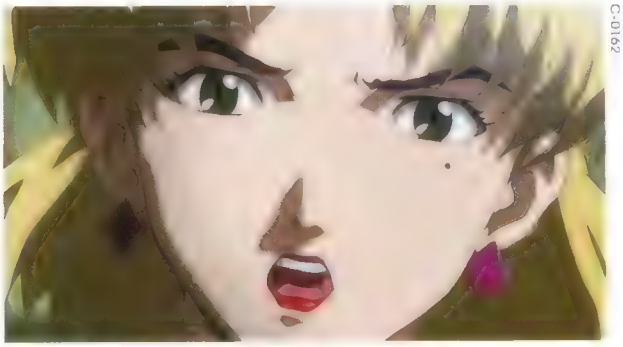
C-0160



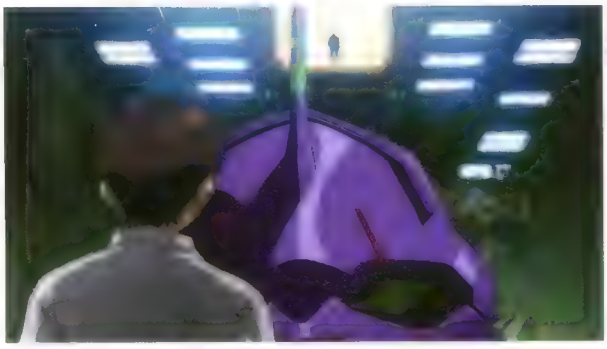
C-0170

C-0161

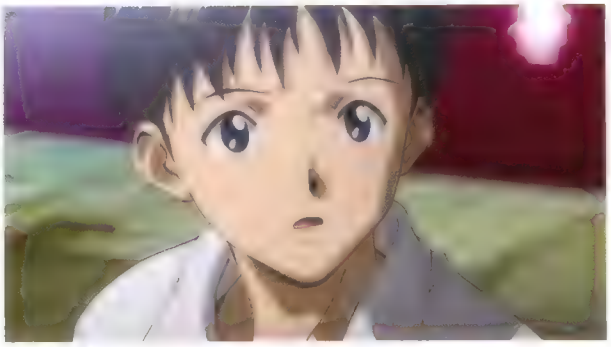
C-0171



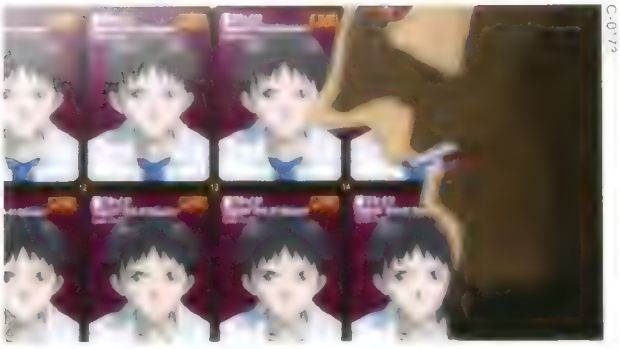
C-0162



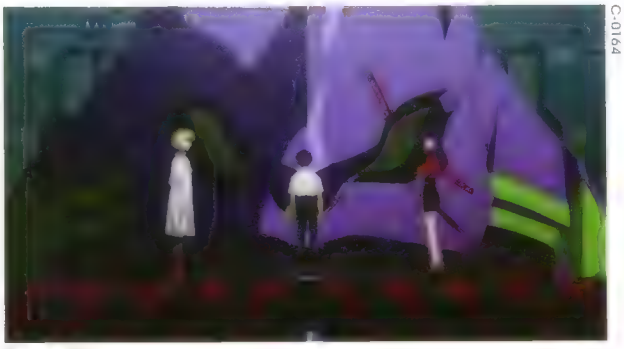
C-0172



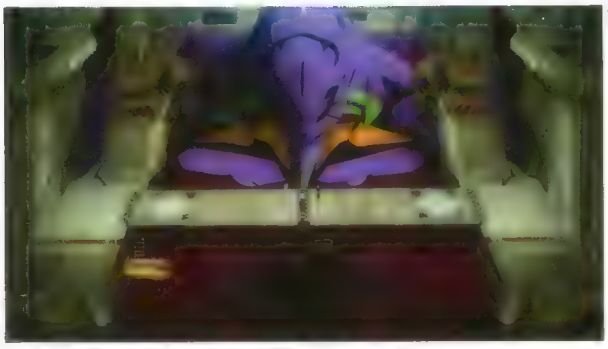
C-0163



C-0173



C-0164



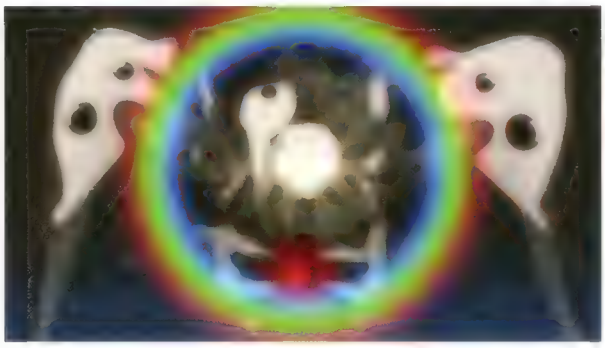
C-0174A

C-0169

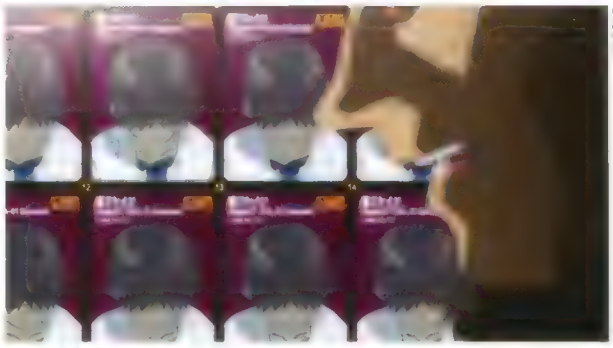
C-0179

C-0174B

シンジ「出来るわけな（ょ！）」

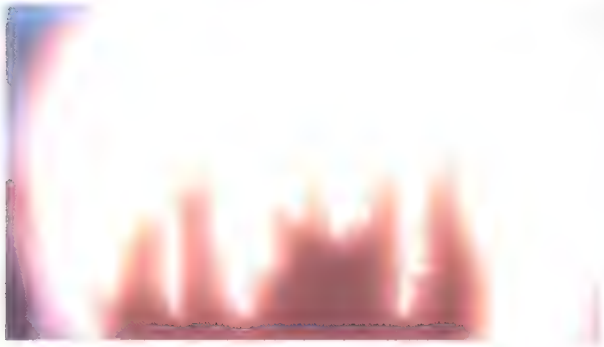


C-0180



C-0175

ケンスケ「説明を受けて」



C-0181

C-0176

シンジ「それな（出来）ないよ！こんなの乗れるわけないよ（ッ！）」

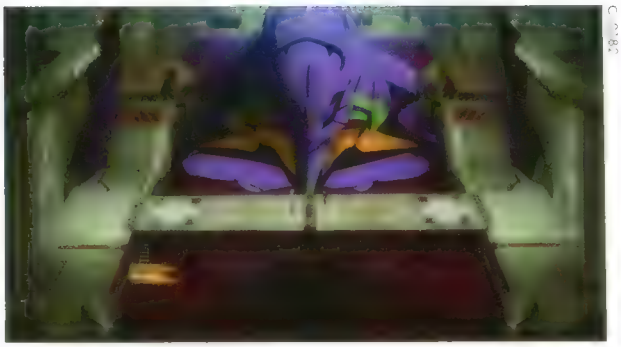
C-0177

ケンスケ「乗るな！早くいろ（てなければ）」

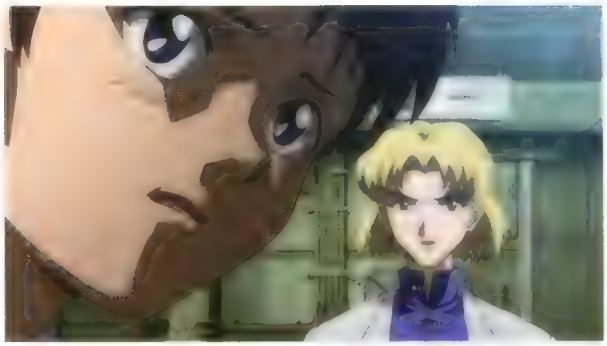
C-0178

ケンスケ「スピーカー（帰れ！）」

[illegible] 君 [illegible]



C-0182



男 [illegible] 「[illegible] 各 [illegible] 発生 [illegible] 域内 [illegible] 全通路 [illegible] 緊急閉鎖

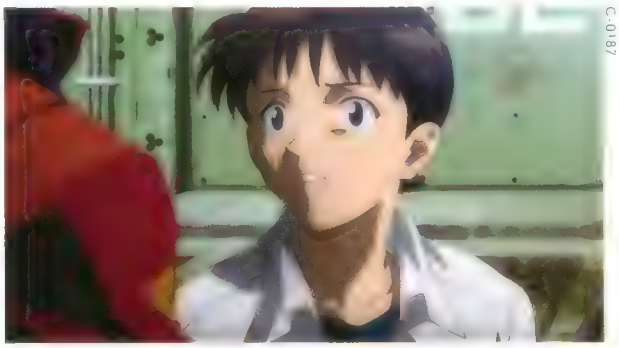
C-0183

[illegible]

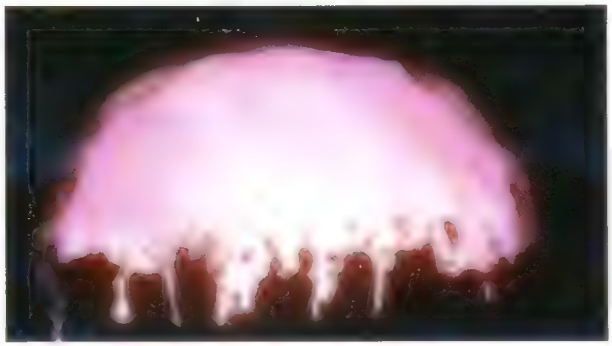
C-0186

[illegible] 乗 [illegible]

C-0184



C-0187



[illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

C-0185

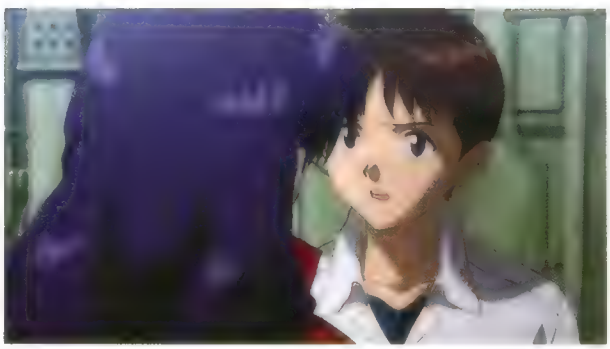
女 [illegible] 「第1層 第8装甲板 損壊

C-0192

C-0188

サト　シンジ君　何のために　ここに来たの？

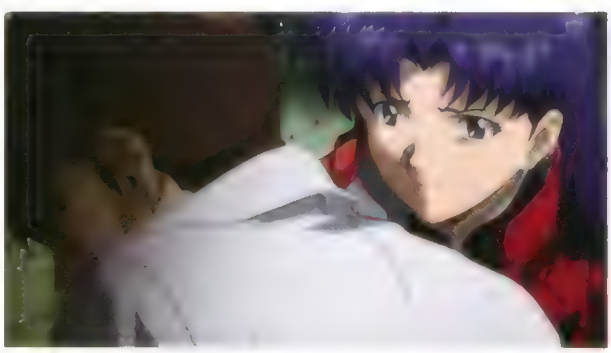
C-0193



C-0189

〈サト　だめよ　逃げちゃ　お父さんから　何よりも自分から

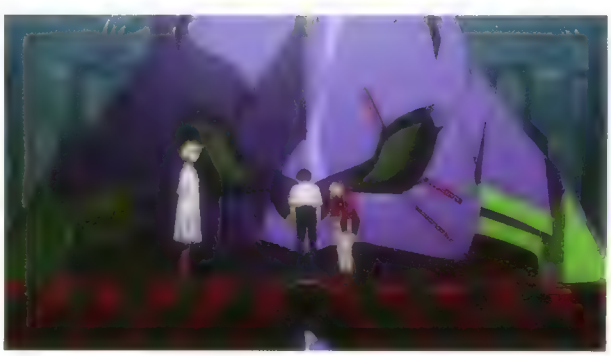
C-0194



C-0190

〈シンジ　わかってるよ　僕は出来そこないだ　よ〉

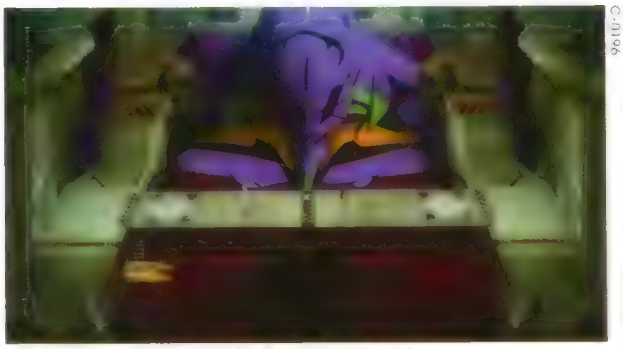
C-0195



C-0191

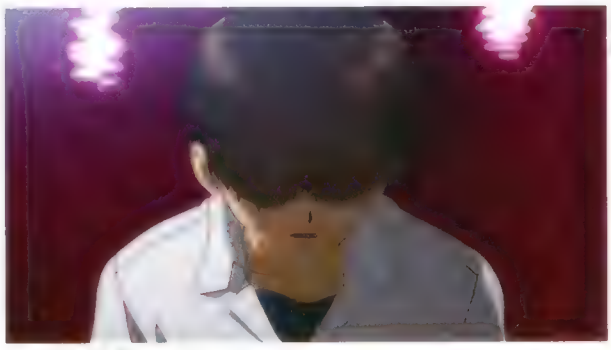
初号機[illegible]再起動

C-0196



伊吹：スピーカー、『解[illegible]現作業を中断[illegible]再起動に入ります』
女[illegible]スピーカー[illegible]起動シーケンスを初期化

C-0197



シンジ[illegible]はい僕は[illegible]

追加C-0197B

追加C-0197C

[illegible]

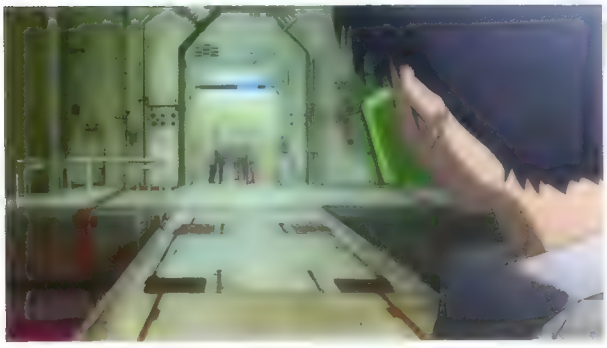
C-0198

女[illegible]目標[illegible]相対[illegible]級を突破

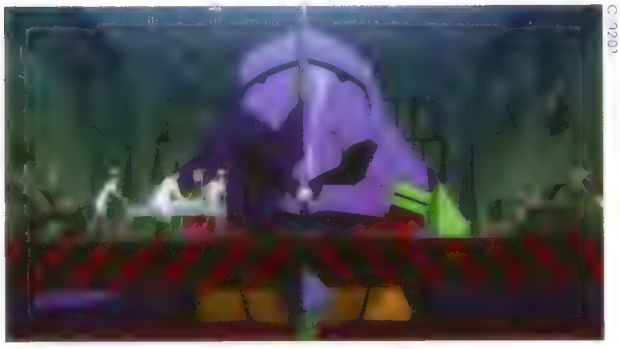
C-0199

女[illegible]直進[illegible]を進む

C-0200

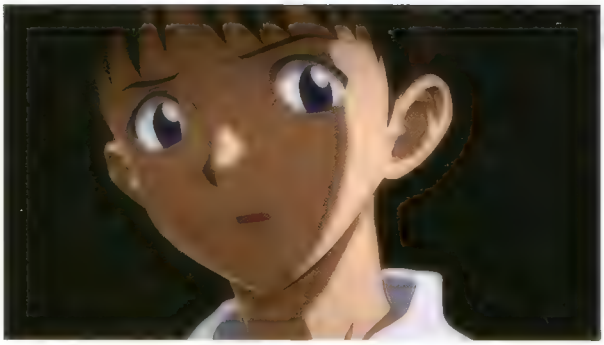


C-0201

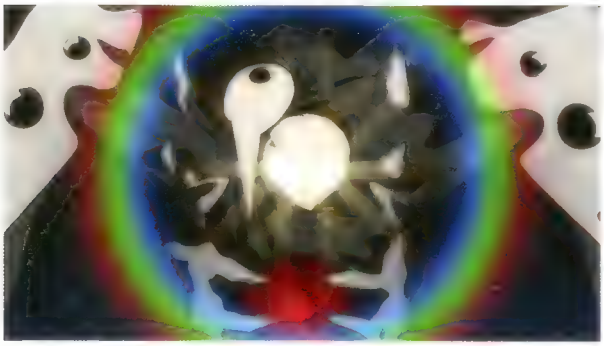


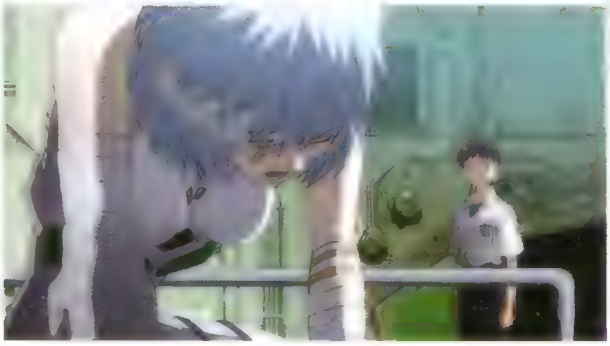
C-0202

C-0203


C-0207

C-0204

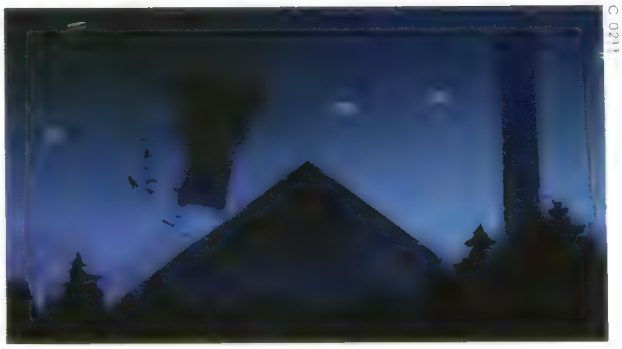

C-0208

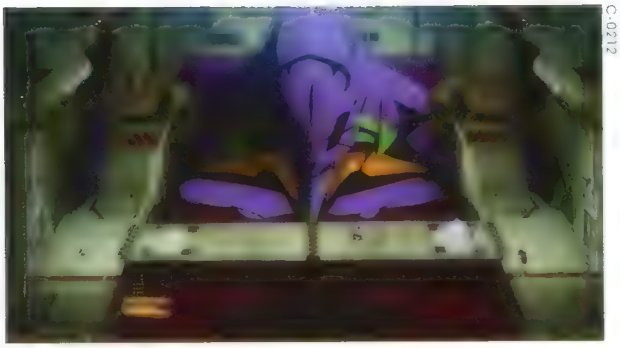

C-0205

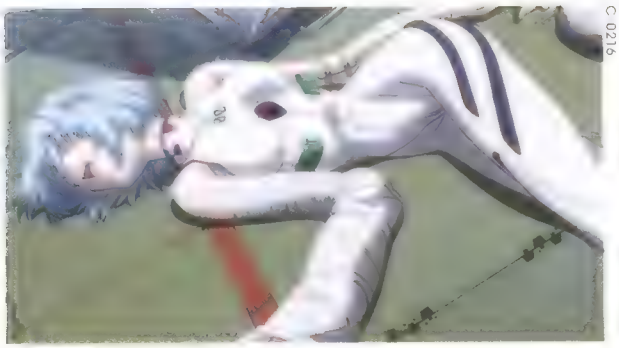
C-0209

C-0206

C-0210


C-0211


C-0212

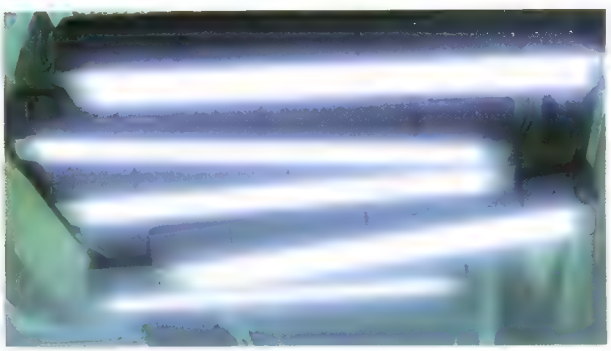

C-0216

C-0213

C-0217

C-0214

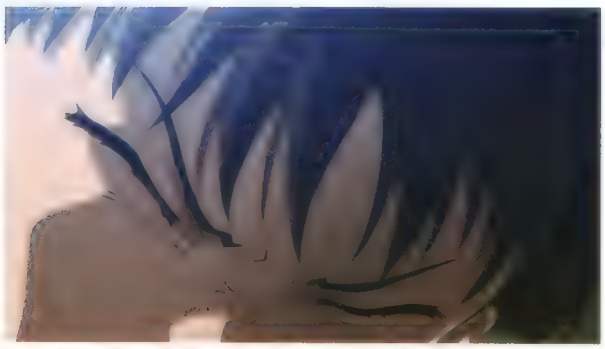
C-0218


C-0215

C-0219

C-0223

C-0220



ンン　逃げキッタメ　逃げキッタメ　逃げキッタメ　逃げキッタメ

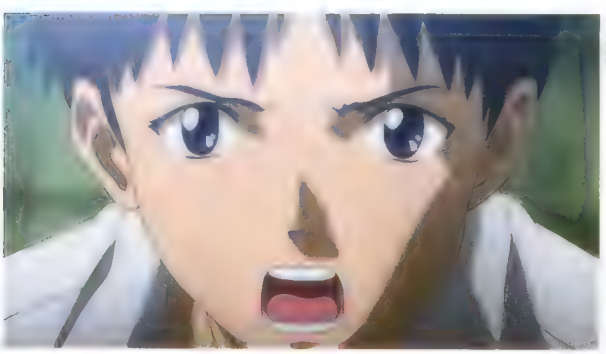
ンン　逃げキッタメた！

C-0221

C-0224

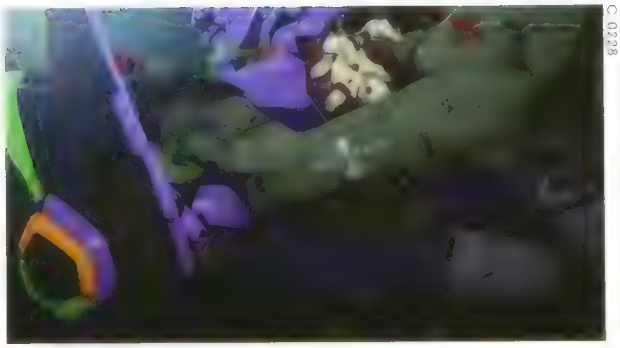
ンンン　やります

C-0222



C-0225

ンンン　僕が乗ります



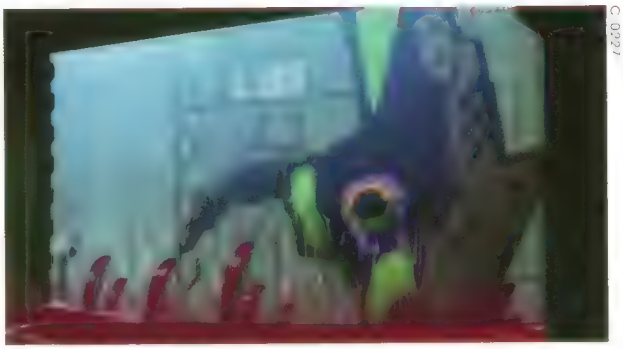
C-0228

男(off)「接続を解除」
女(off)「了解。補助電圧，問題ない」

C-0226

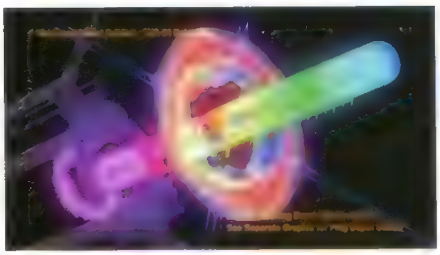
C-0230

伊吹(off)「停止信号ロック，排出終了」



C-0227

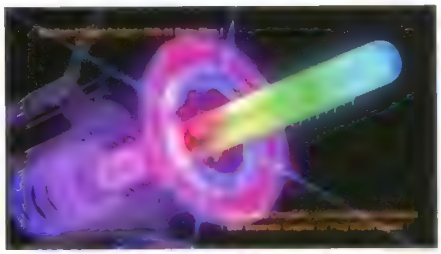
女(off)「第一次冷却，終了」
男(off)「ケイオス，回転停止」



女(off)「フック深度は20を維持」

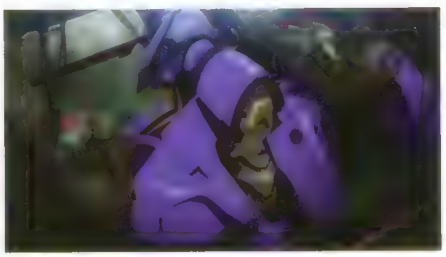
C-0231

女(off)「了解。エントリーフック挿入」



女(off)「精神汚染計測値は基準範囲内。ユニット02からマイナス05を維持」

C-0232

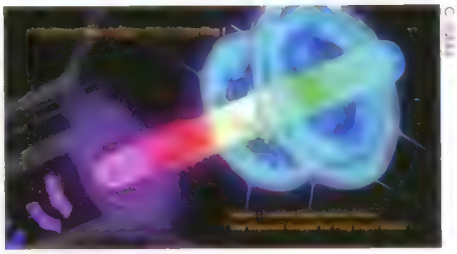


伊吹(off)「インテリア，固定完了」

C-0234

女(off)「脊髄伝導システムを解放。接続準備」

女(off)「了解。第1次コンタクト」



C-0235

男(off)「接合31，おちゃんみ完了」

C-0238

C-0238B

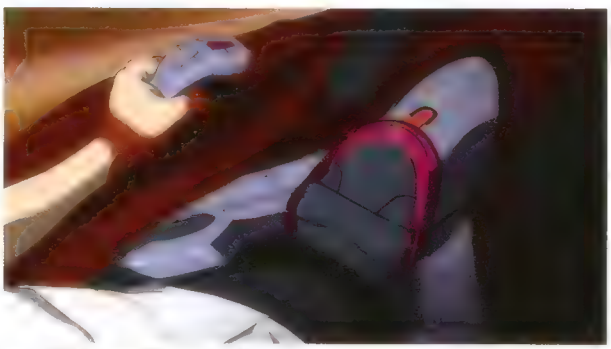
C-0239

C-0235

伊吹：無線：エントリープラグ：注水

C-0240

男：通信：主電源接続中



C-0236

C-0241A

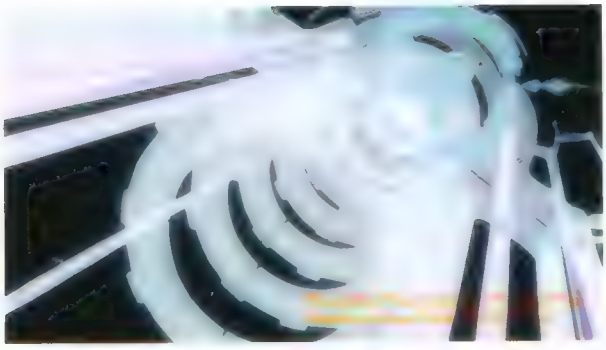
伊吹：無線：[illegible]

C-0237

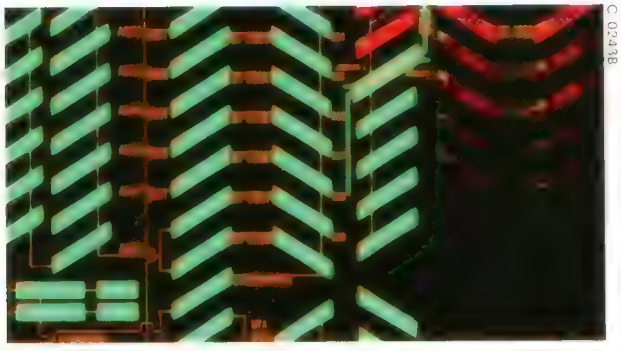
C-0241B

C-0242

伊吹「無線」「A10神経接続」「異常な



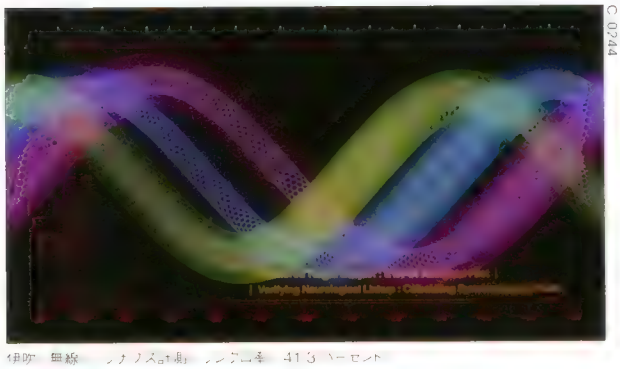
女「無線」「[illegible]電位は異常」



C-0243B

伊吹「無線」「[illegible]スト1405キ[illegible]」

シンジ「無線」「思考形態は日本語を基礎原則と[illegible]フィ[illegible]」

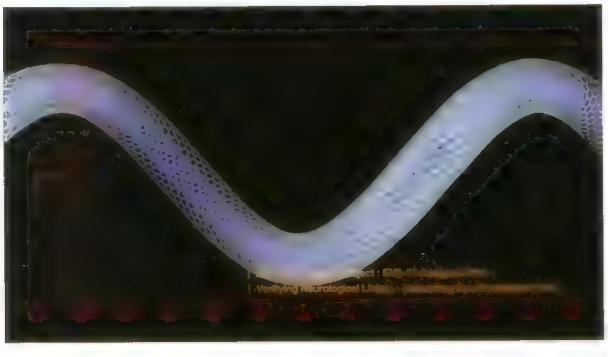


C-0244

伊吹「無線」「シンクロ試験」「シンクロ率」「41.3パーセント」

C-0243A

リツコ「無線」「初期コンタクト」「全て問題なし」



C-0241C

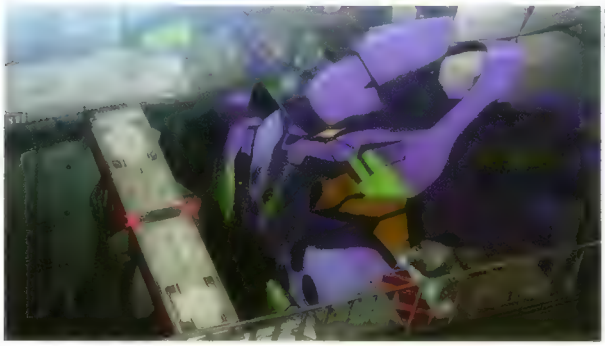
伊吹「無線」「[illegible]回線」「開きます」

C-0248

男：スピーカー　第1ケージドロック
女：スピーカー　射撃開始

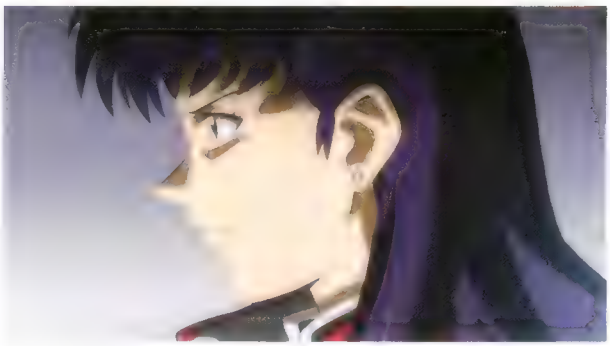
C-0245

[illegible]：ラッ[illegible]補助もな[illegible]　[illegible]
伊吹[illegible]：キ[illegible]ス[illegible]正常値　暴走[illegible]
[illegible]

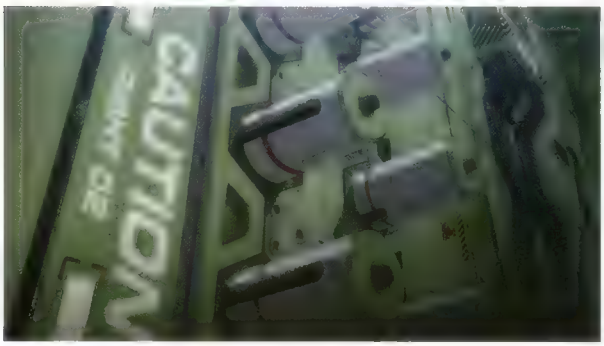


C-0249

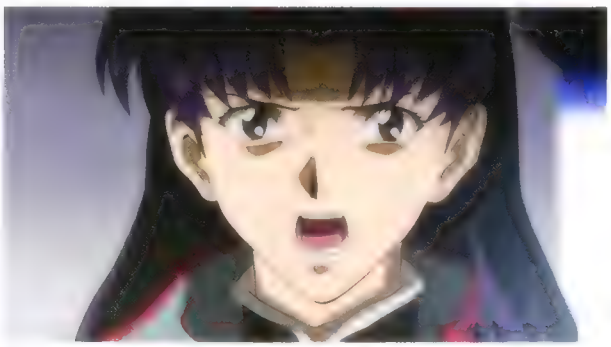
男：スピーカー　[illegible]ピカ[illegible]　移動開始
男：スピーカー　第2ケージドロック



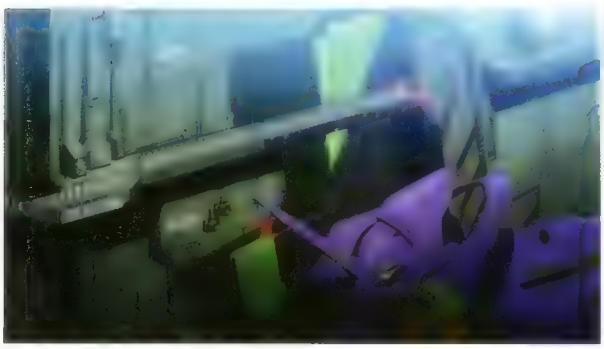
C-0246



C-0247A



[illegible]：発進準備！

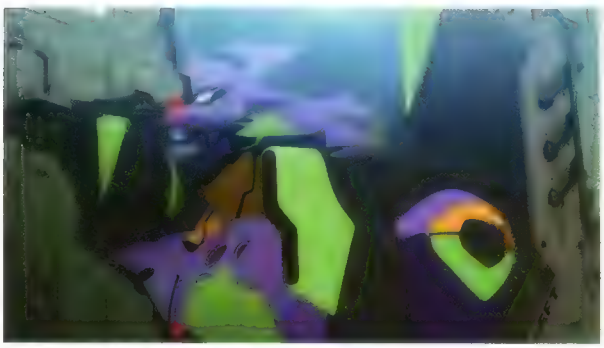


C-0250B

男：スピーカー　第1拘束具　除去

C-0247

日向：スピーカー：発進準備！

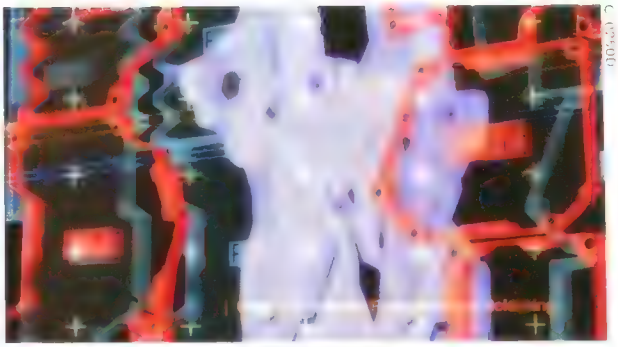


C-0250C

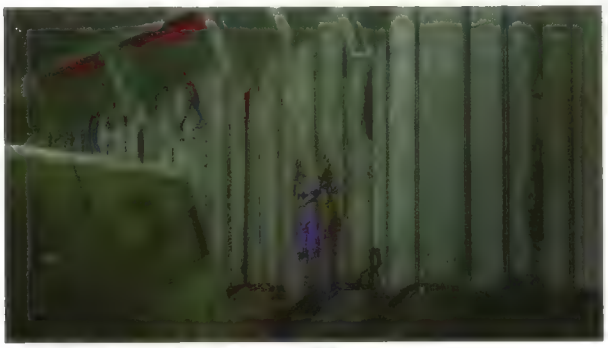
男：スピーカー：[illegible]　第2拘束具を除去

C-0252

女（無線）「射出シーケンスに入ります」


C-0250D

男（スピーカー）「第1番から15番まで、安全装置を解除」
女（スピーカー）「解除確認」


C-0254

女（スピーカー）「エヴァ射出コンベヤー、動作」

C-0250E

女（スピーカー）「現在、初号機、状態は」
男（スピーカー）「内部電源、全電源完了」
男（スピーカー）「外部電源接続、異常なし」

C-0255

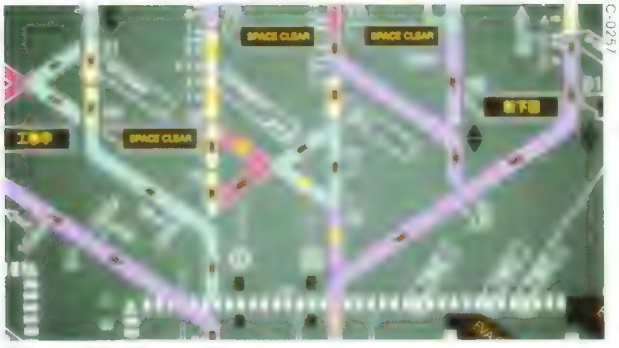
C-250F

伊吹（通信）「エヴァ初号機、射出口」

C-0256

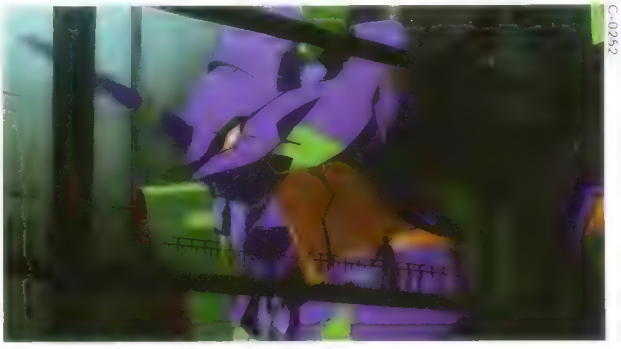
C-0257

女（スピーカー）「各ケーブル、移動速度位、問題なし」「電磁誘導システムは正常に作動」



C-0257

伊吹（通信）「進路クリア、オールクリア」


C-0252

女（スピーカー）「現在、初号機はK52を移動中」

C-0263

C-0258

…off　発進準備　完了

C-0261

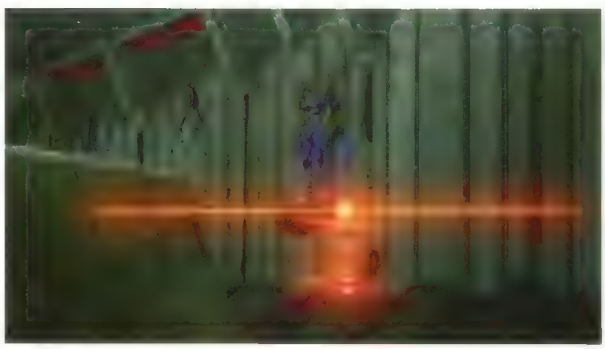
…サ　発進

…サ　了解！

C-0264

C-0259

ミサト　かま　ませれば
ケンイチ　もたみれた


C-0265

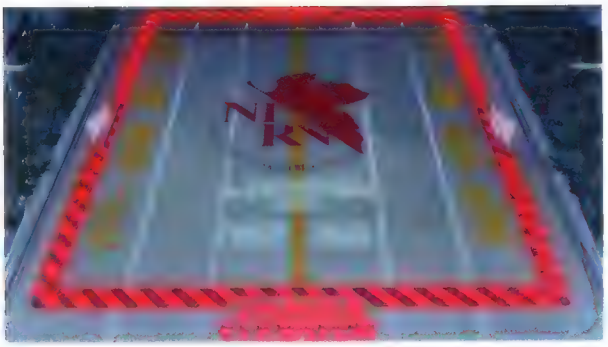
C-0260

ケンイチ　使徒を倒さぬ限り　我々に　未来は

C-0266

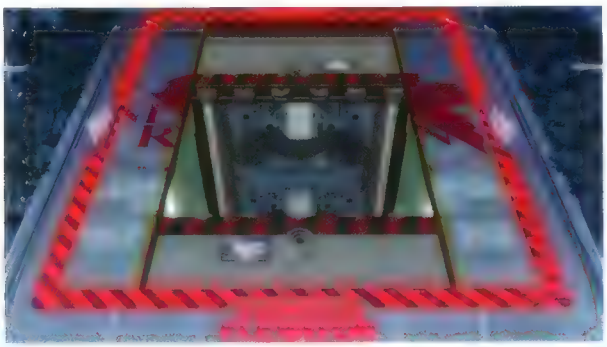
C-0261

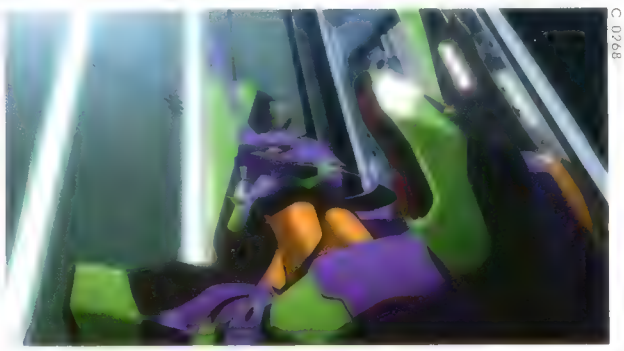
久目　碇　本当に　これでいいのか？



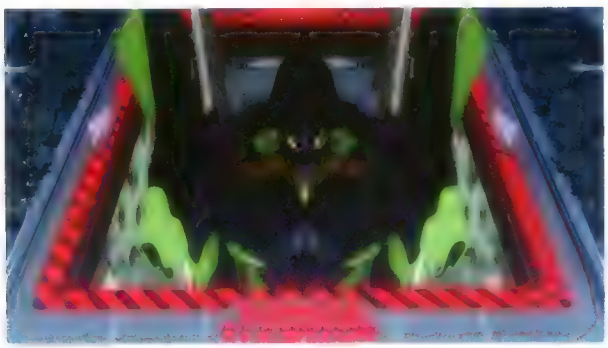
C-0271

C-0267

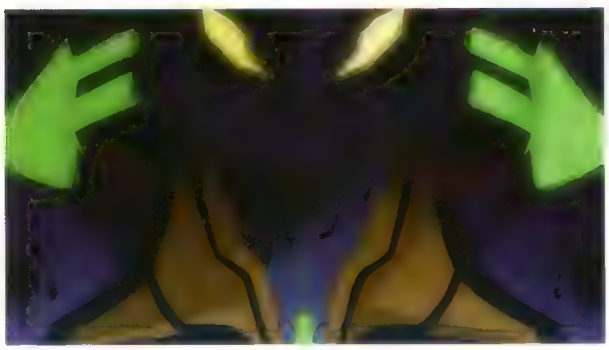




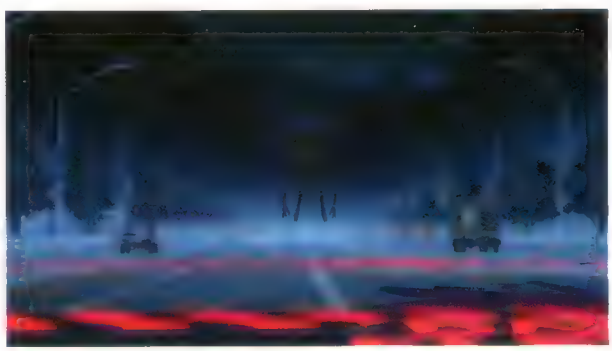
C-0268



C-0269



C-0272

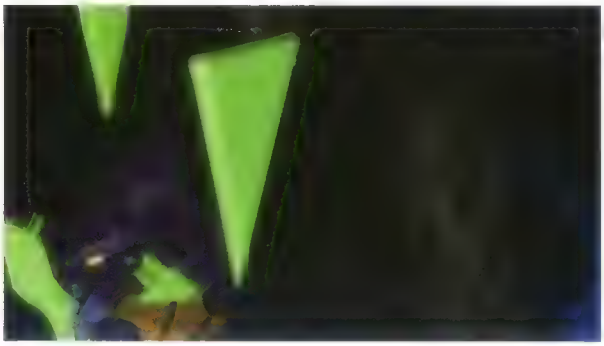


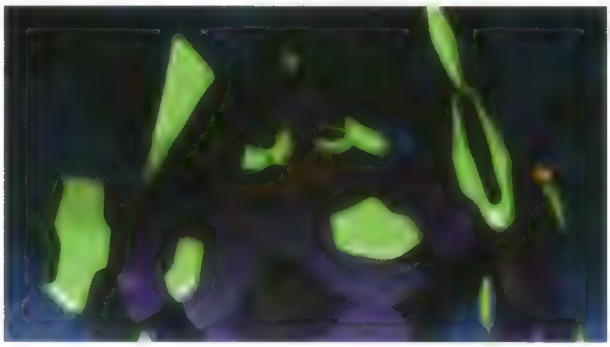
C-0270

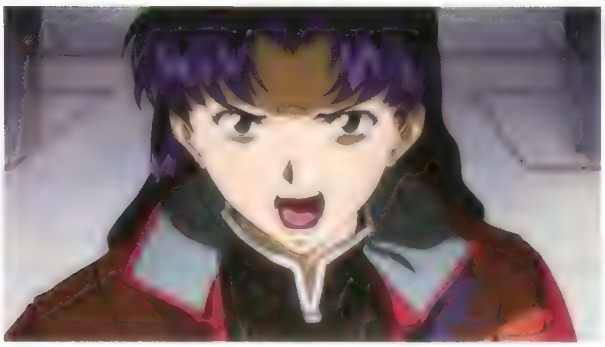
C 0278

ミサト「前代女王表音幽体」

C 0273

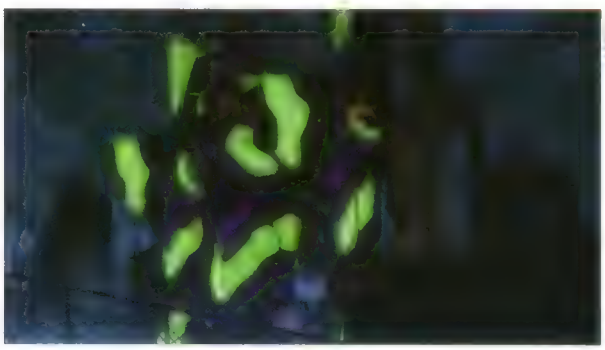

C 0279


C 0274


C 0280

ミサト「エヴァンゲリオン初号機…ガ・オ」

C 0275


C 0281

C 0276

ミサト「無線！いしわね、シンジ君」

C 0277

シンジ「ハイ」

C_0286

一原　れいまを

C_0282

一ミ　シ　一君

C_0287

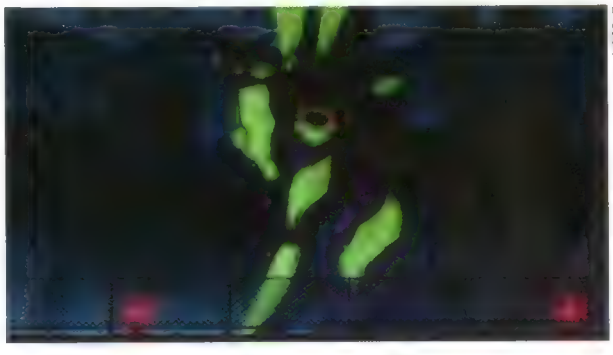
一こ　歩く。

C_0283

一こ、無線！　今は歩くことだけを　考えて
一　　ホ！

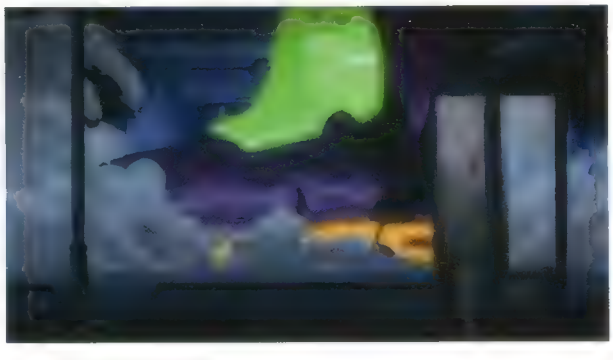
C_0288

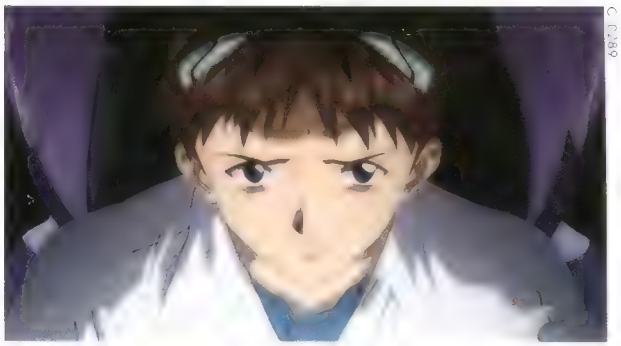
（↑PAN）



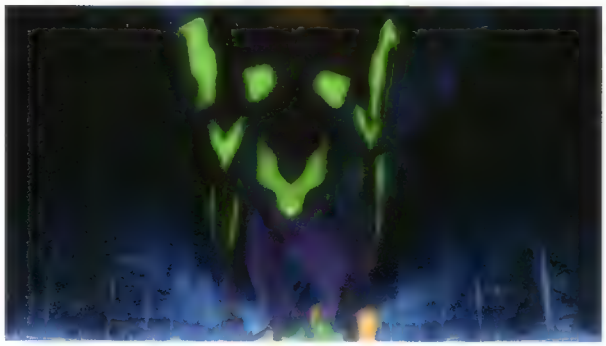
C_0284

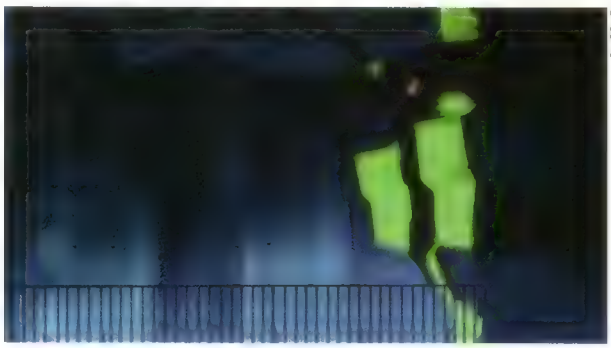
C_0285



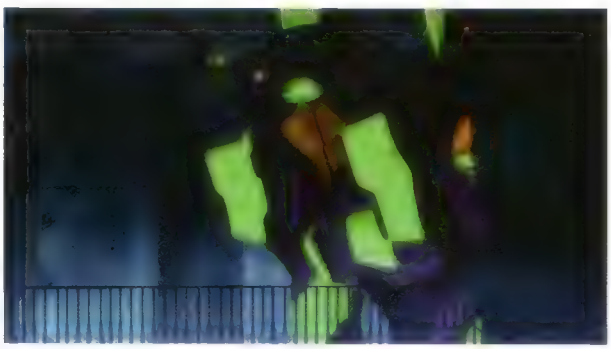


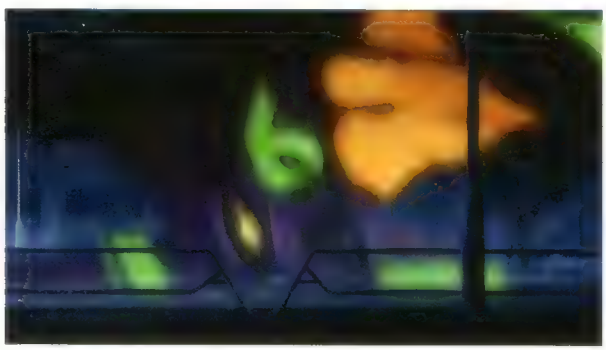
C-0289



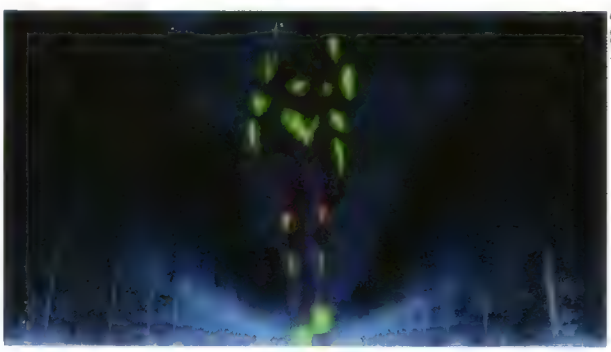


C-0290

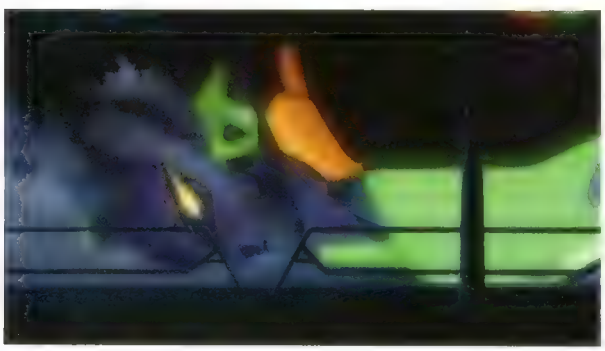


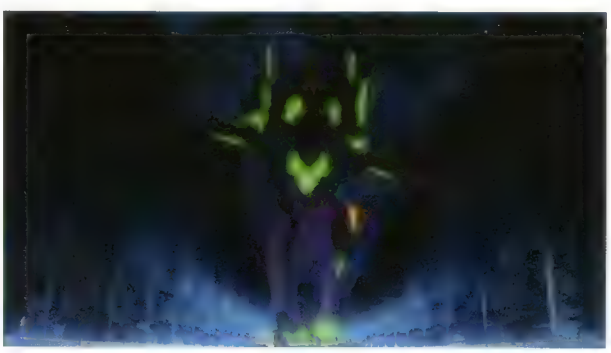


C-0292



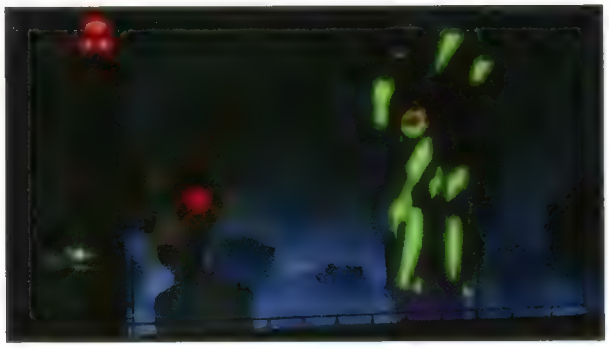
C-0291



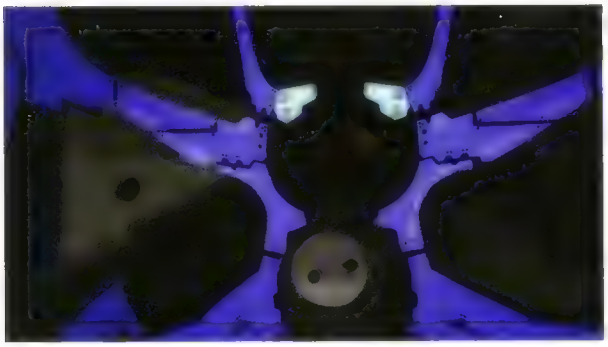


C_0297

C_0293



ミサト　無線　…君　…



C_0298

C_0294

ミサト　無線　早

C_0299

シンジ　「…さ…」あぁぁぁぁ

C_0295

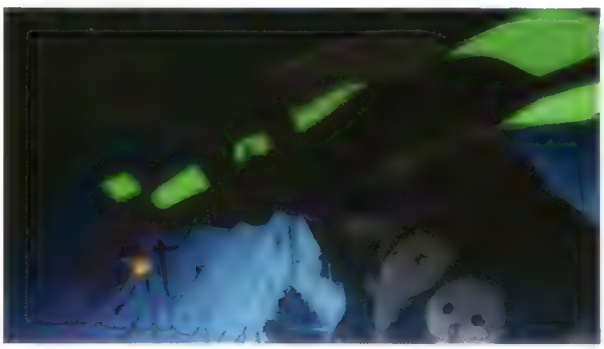
ミサト　無線　早…起き上がるぞ！

C_0300

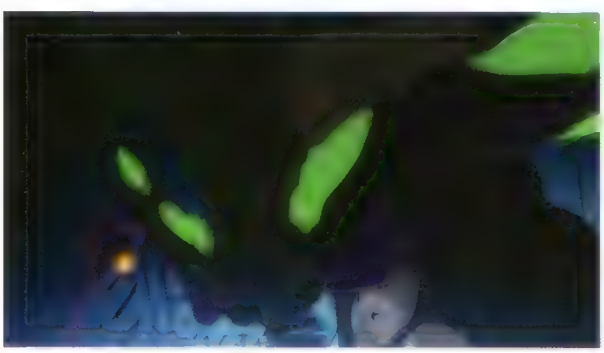
C_0296

日向「[illegible]無線[illegible]」
[illegible]

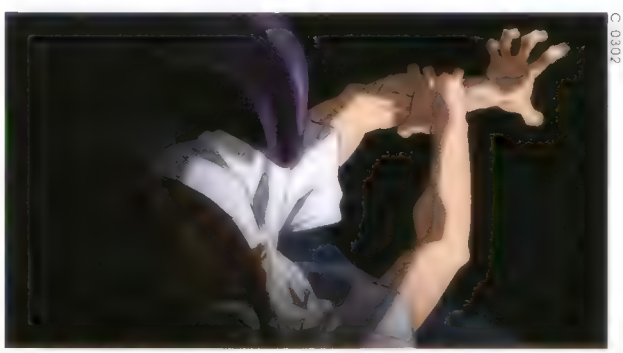
C-0301



C-0305



SE「[illegible]」



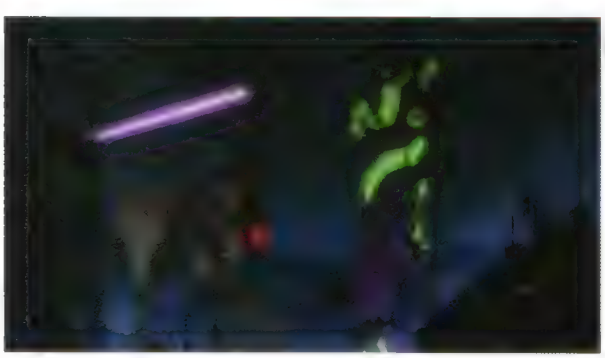
C-0302

ソンノ「くあああ」
サト「無線[illegible]ソンノ君[illegible]落ち着[illegible]」[illegible]が持れてグ[illegible]はあな[illegible]「[illegible]」[illegible]よ！

C-0306

伊吹「無線[illegible]写[illegible]像[illegible]」
日向「無線[illegible]急[illegible]跡線[illegible]」

C-0303A

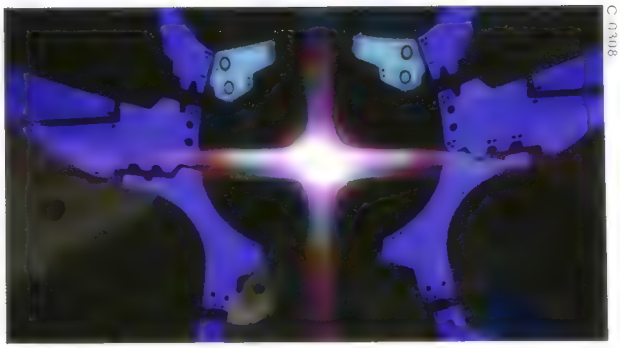


C-0307

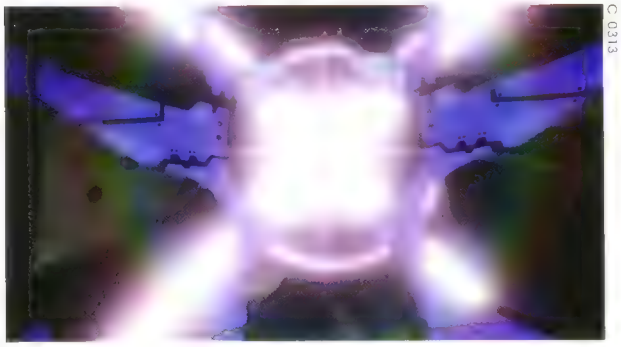
C-0304

[illegible]「エウ[illegible]功[illegible]、メテ[illegible]は[illegible]」
伊吹「ノクナ[illegible]、作動[illegible]セ[illegible]」

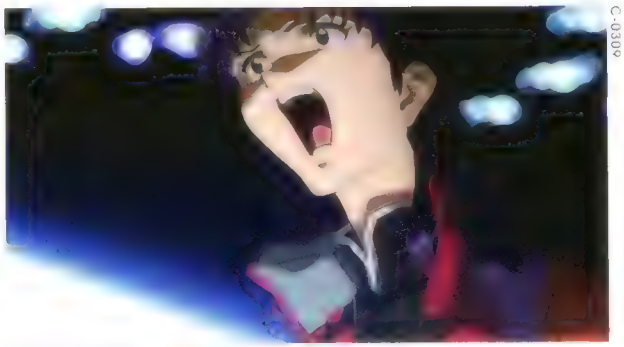
C-0312



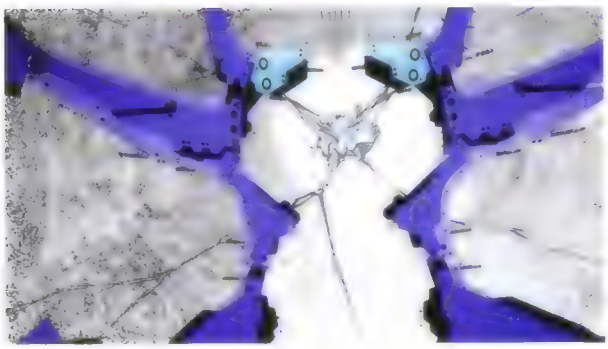
C-0308

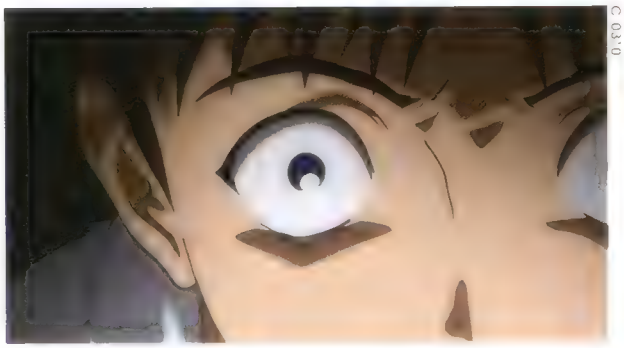


C-0313



C-0309

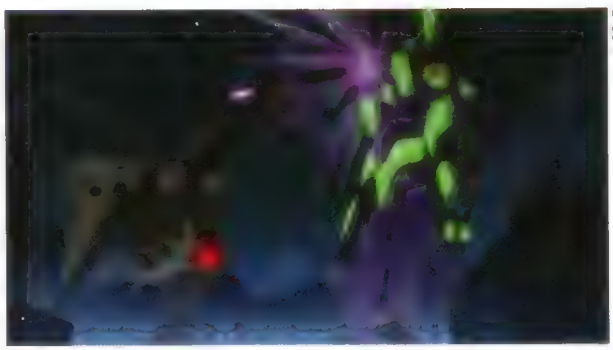




C-0310

C-0314

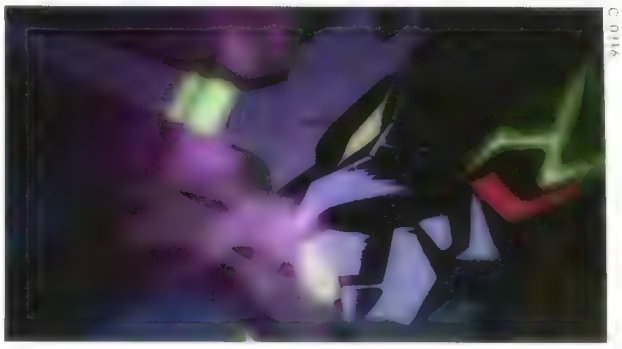
伊吹　弾薬庫部、亀裂発生

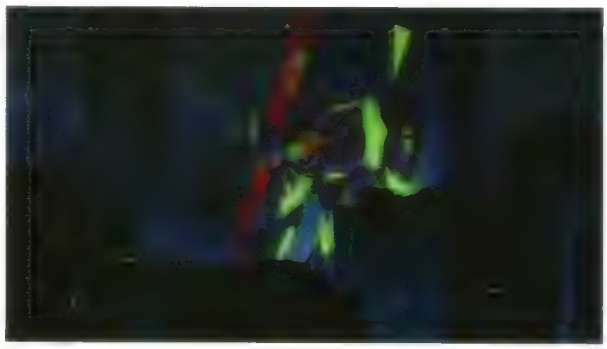


C-0311

C-0315

C-0320


C-0316



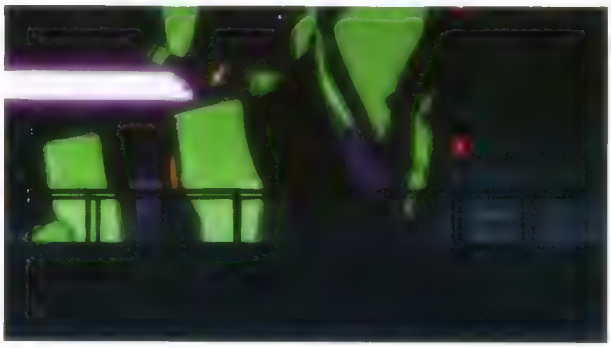
C-0317

C-0321

C-0318

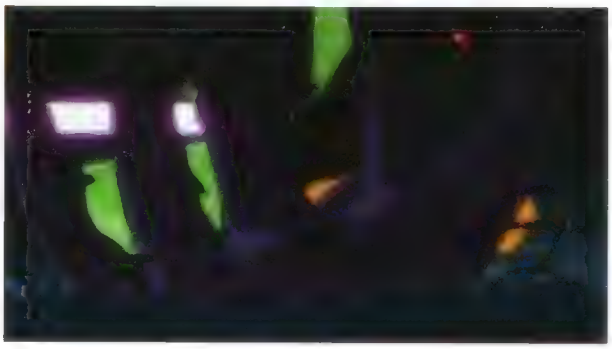
C-0322

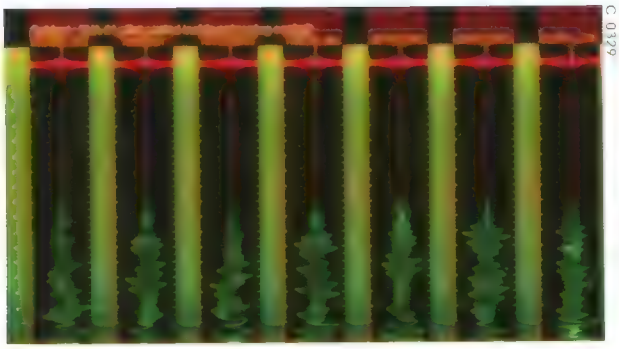
青葉 [illegible] 過[illegible]破壊 損害不明


C-0319

C-0323

女 [illegible] スピーカ [illegible] 活動維持、問題発生



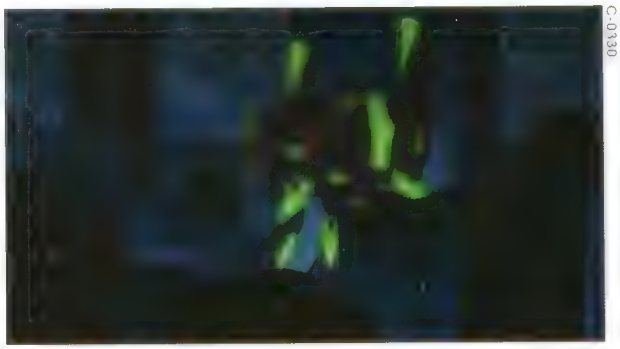


C-0329

日向（off）「モニター反応なし、生死不明！」

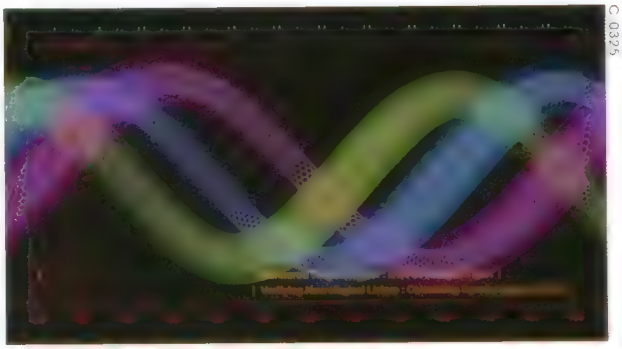
C-0324

ミサト「状況は？」



C-0330

青葉（off）「初号機、完全、沈黙」



C-0325

伊吹（off）「シンクログラフ反転！パルスが逆流しています」

C-0331

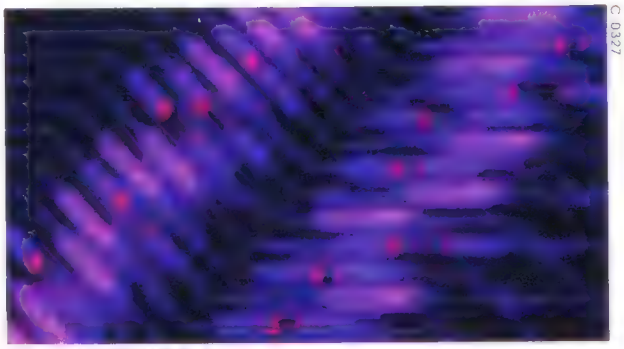
「ミサト」

C-0326

「回路遮断！せき止めます！」
伊吹「了解！」

C-0332

「ミサト」「OOは？」



C-0327

伊吹（off）「信号拒絕！受信しません！」

「ミサト」「作戦中止！パイロット保護を最優先！ブラグを強制射出！」

C-0328

ミサト「シンジ君は？」

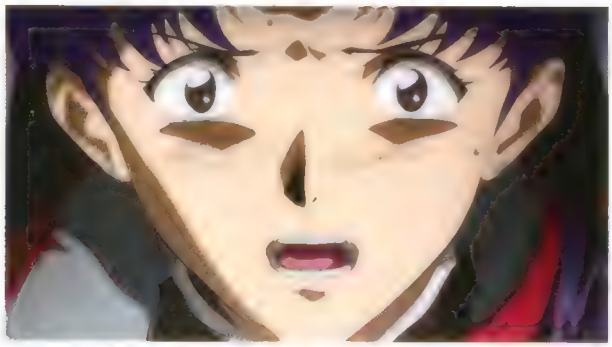
C-0340

C-0333

伊吹「ダメです！完全、制御不能です！」

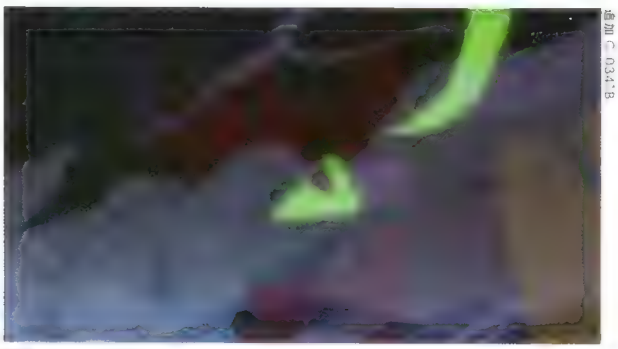
C-0341

女性オペレーター「西部劇」



C-0334

ユウナ「何ですか？」



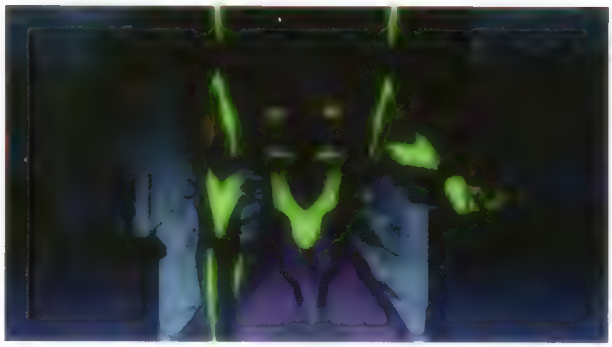
追加C-0341B

伊吹「ったく動かないったら！　あ！まさか」

C-0335

C-0342

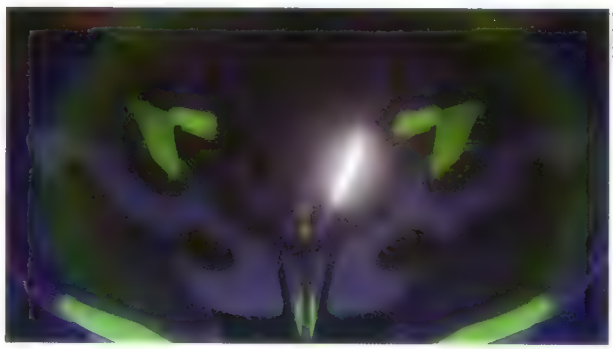
ユウナ「まさか」



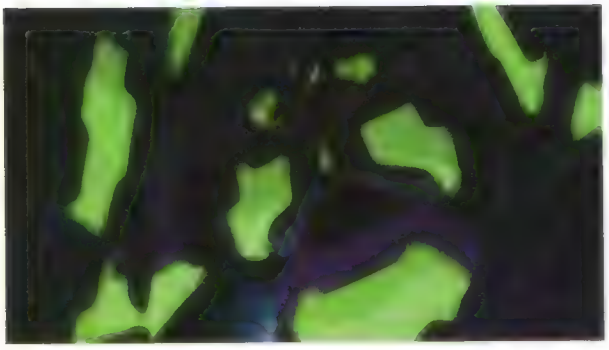
C-0337

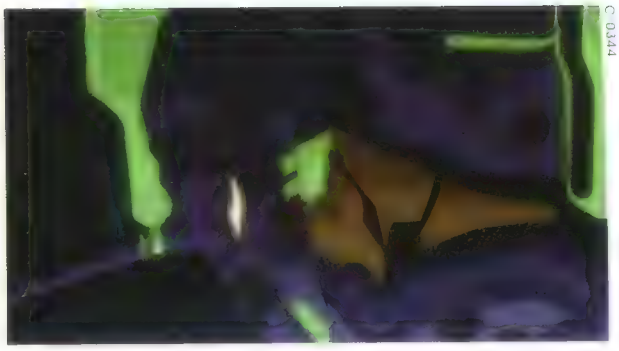
C-0343

静止

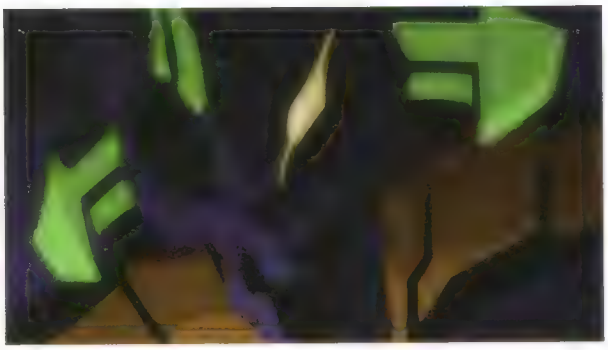


C-0338



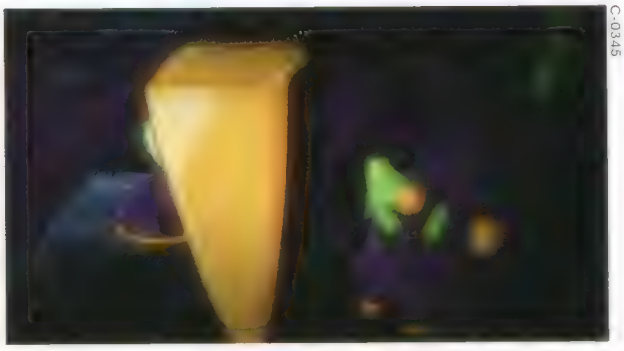


C-0344

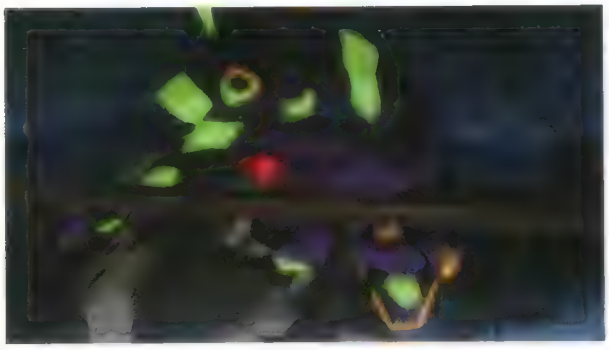


初号機（ワオオオオ）

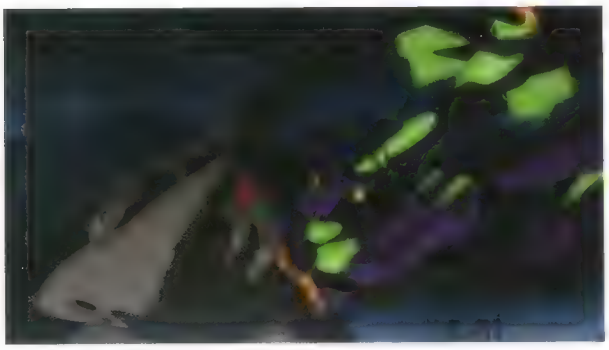
C-0348

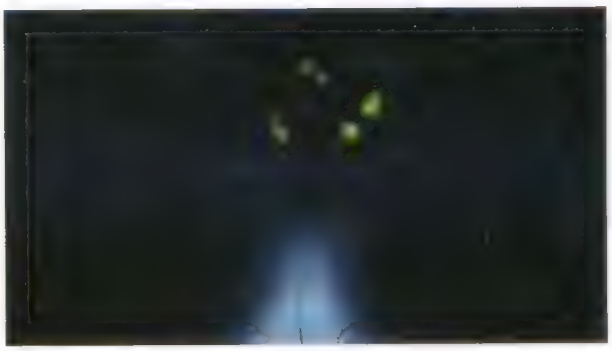


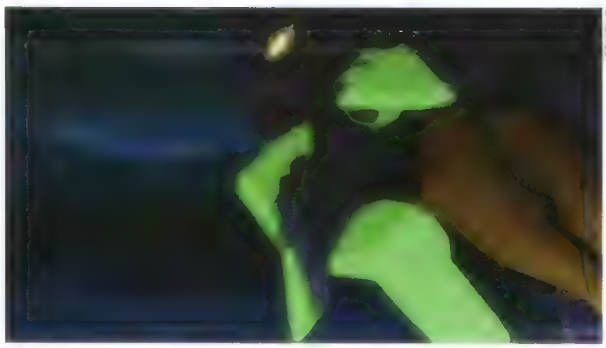
C-0345



C-0346

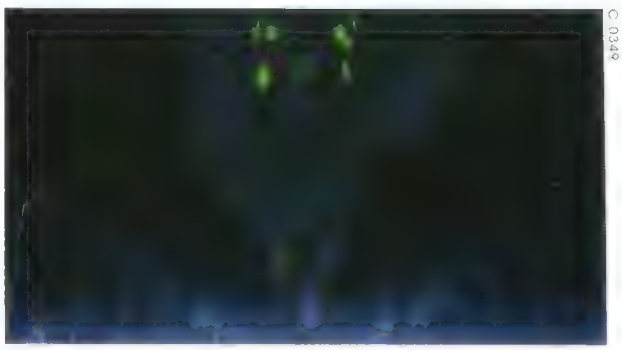




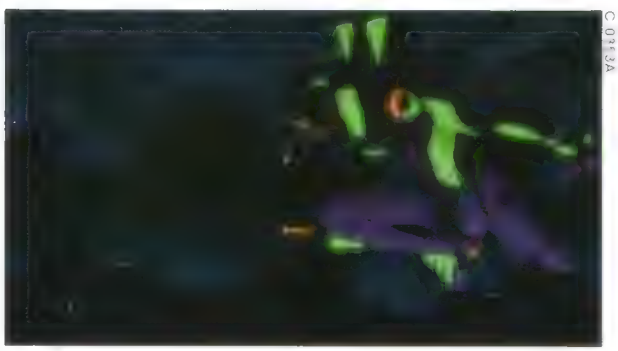


C 0152

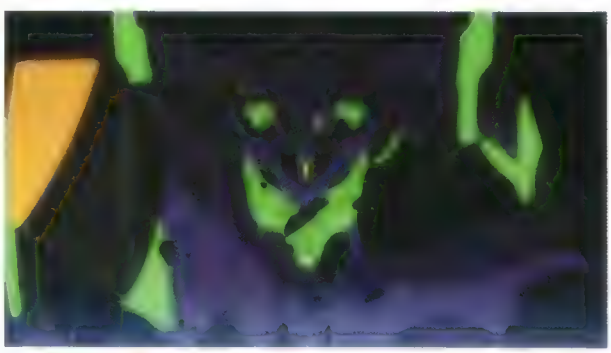
初号機　ヴォオオオオ・



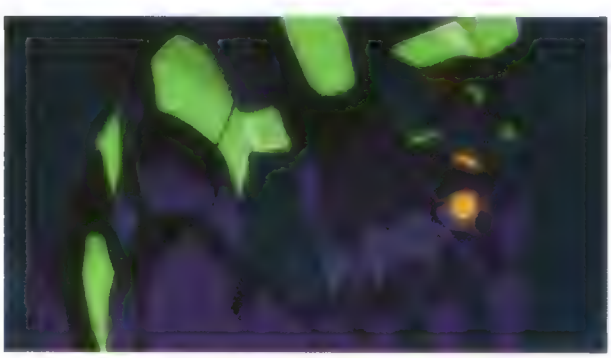
C 0349



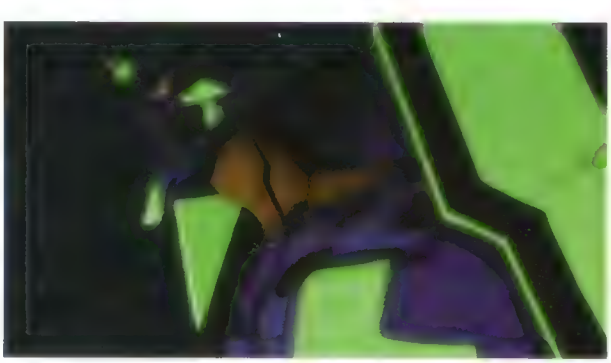
C 0153A

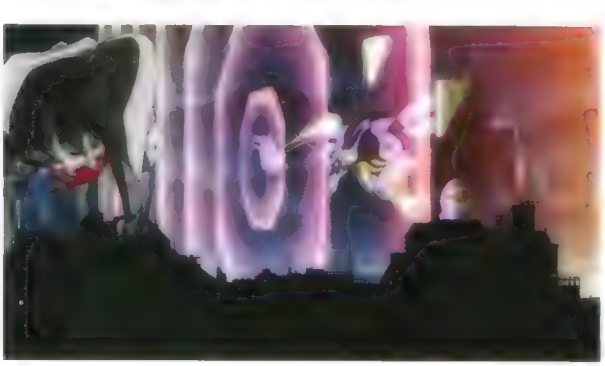


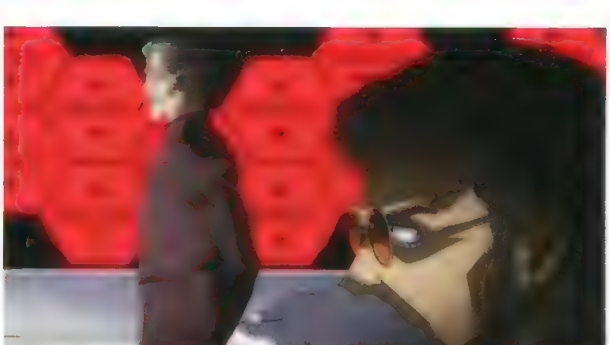
C 0153B



C 0350



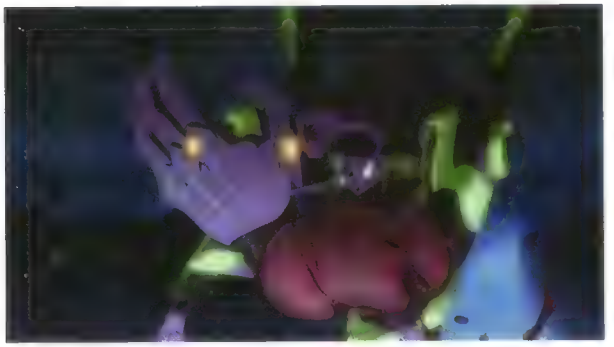


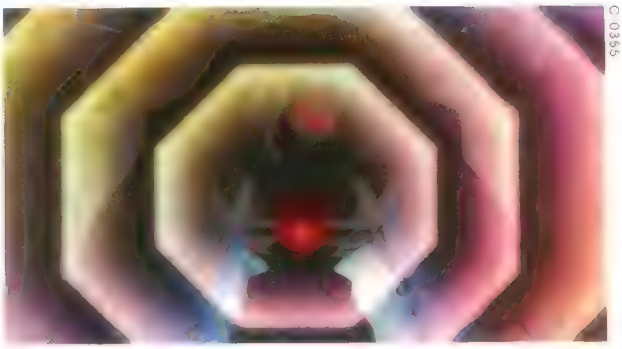


C 0351

C-0354

AT

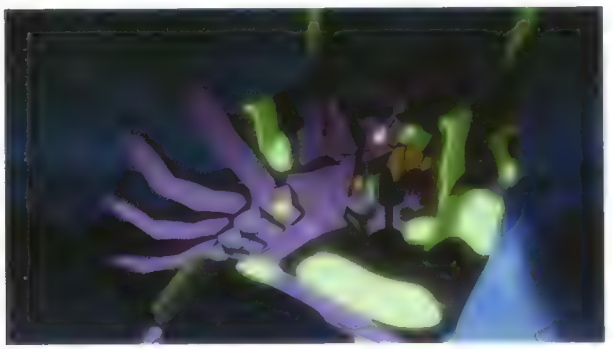




C-0355

C-0356

AT



C-0357

使徒

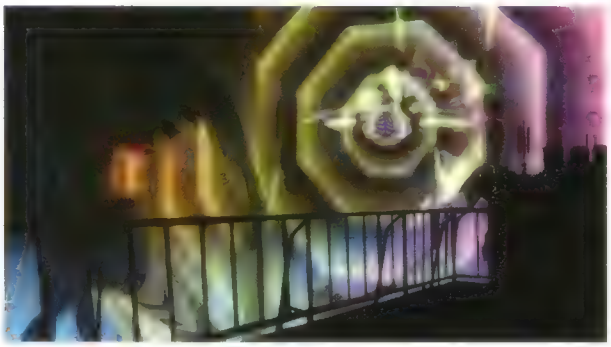
C-0359

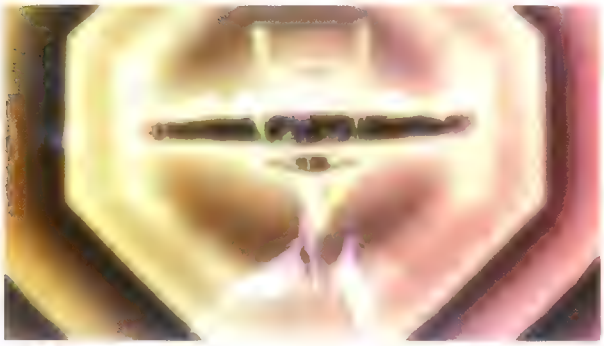
C-0358

C-0365

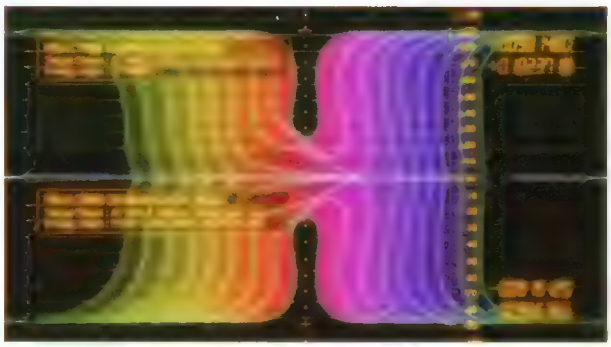
C-0360

C-0366


C-0361


初号機 ウ…

C-0362
伊吹 初号機もＡＴ フィールドを展開


C-0363
伊吹 (off) 12相空間を中和し…きます

C-0367
…わ… ＡＴ フィールドを…も簡単。

C-0364
リツコ …ス 受信 …るんです！

C-0368

初号機 ウォオオオオオ!

C-0369

C-0370

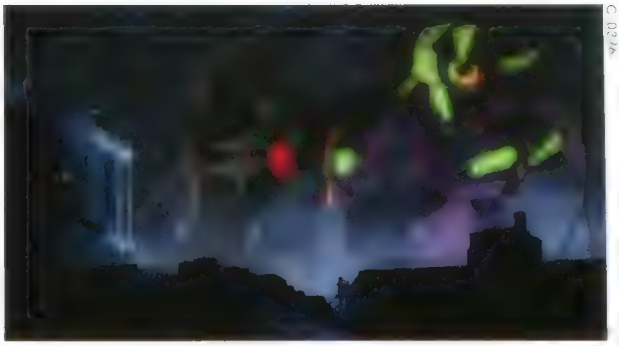
C-0371

C-0372

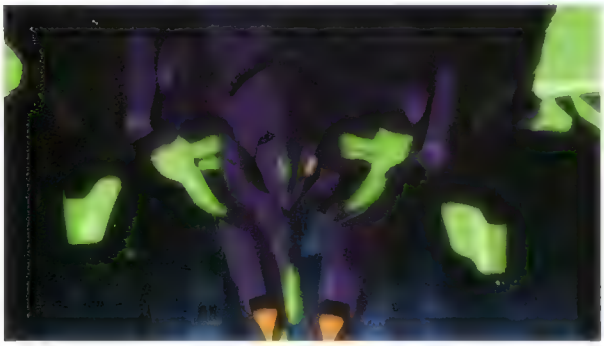
C-0373

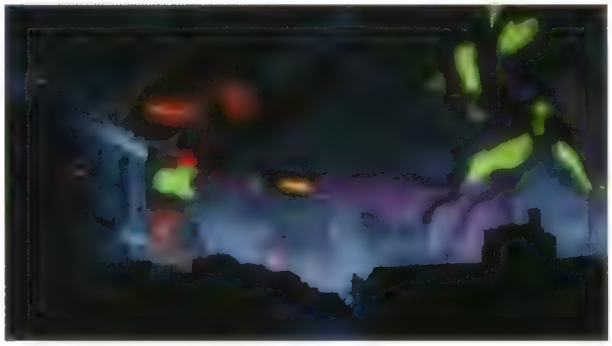
C-0374

C-0375

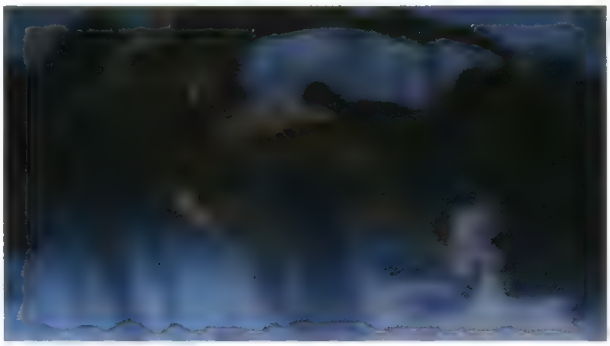


C 0376



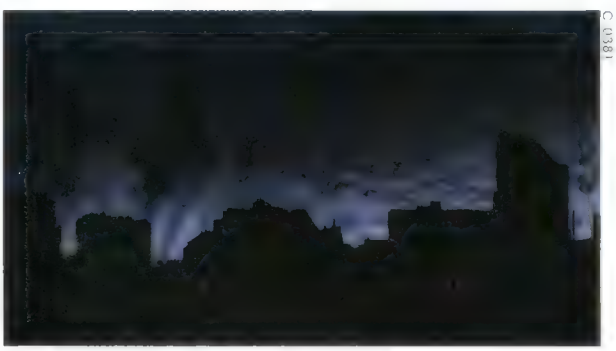


C 0380



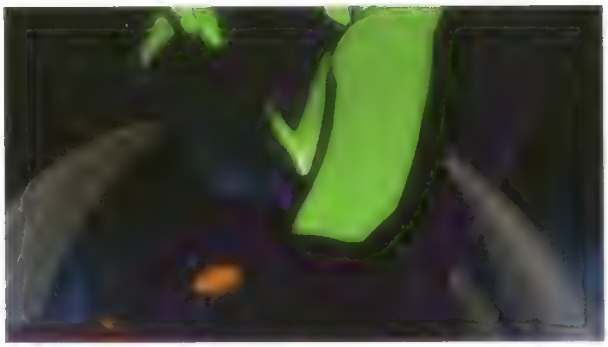
C 0377

C 0378



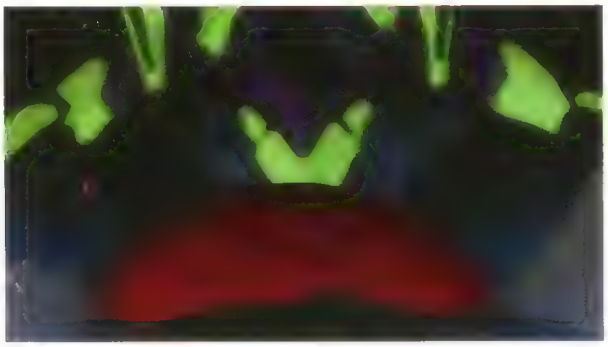
C 0381

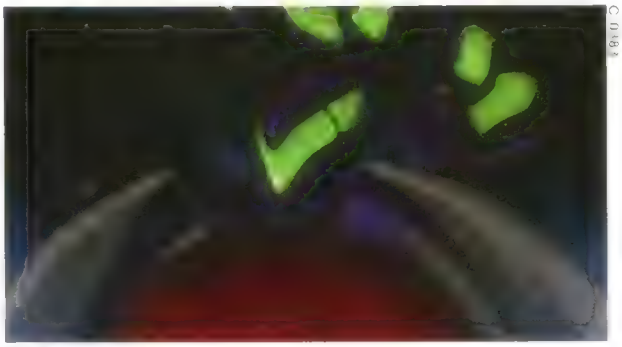
C 0379



C-0283

(↓PAN)

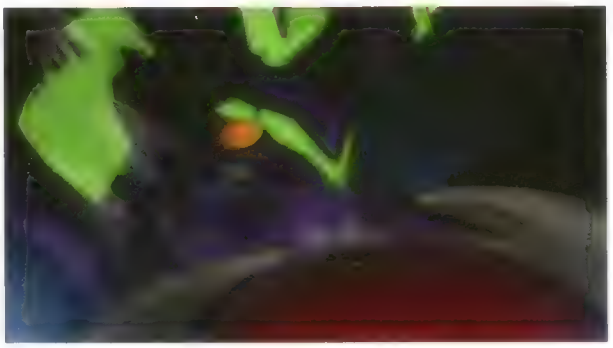


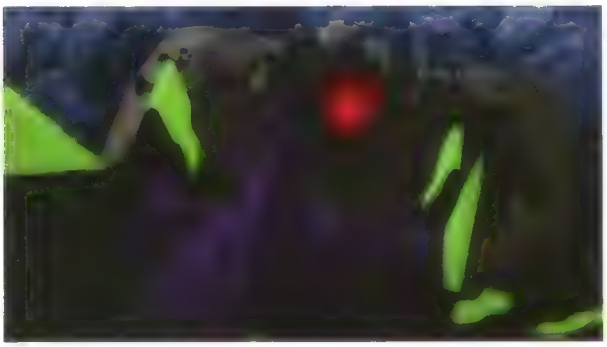


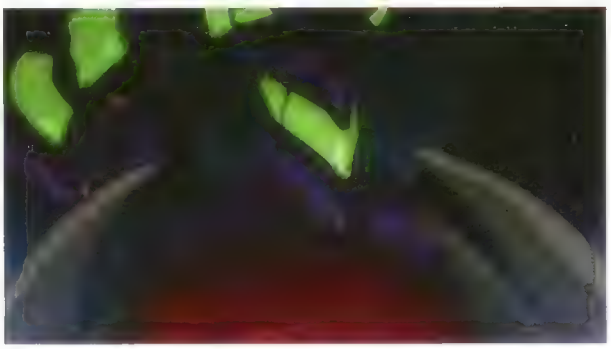
C-0282

初号機（ウォオオオ）

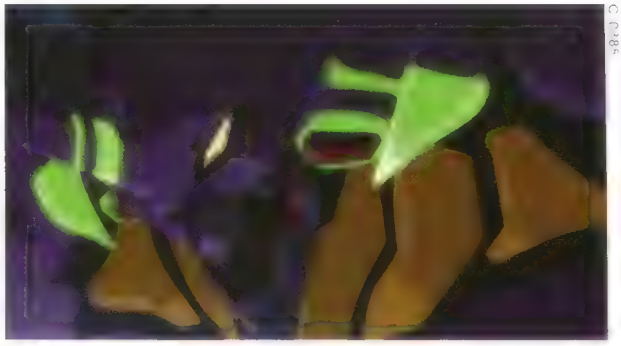
C-0284



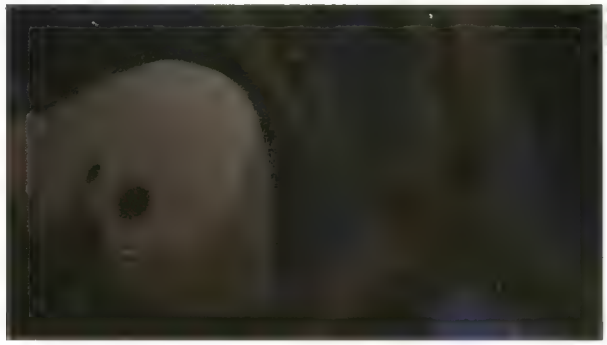




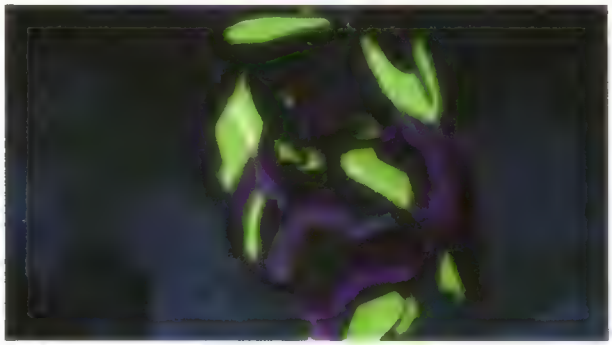
C 0385



C 0386

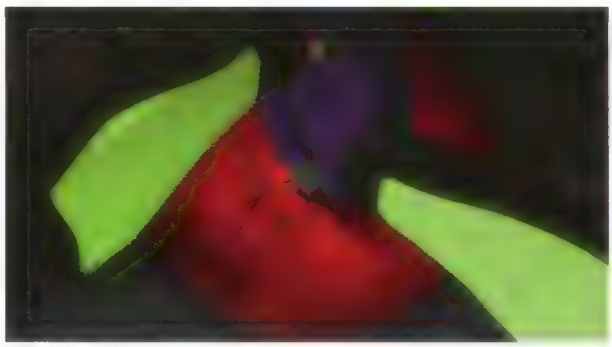


C 0389



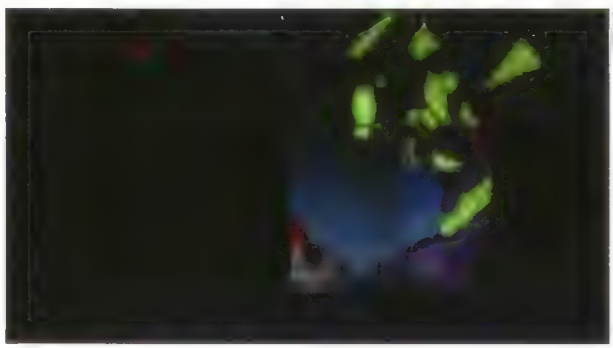
C 0390

C 0385



祝号機（ウォオオオ）

C 0387



C_0391

C_0393

C_0392

C_0394

C-0396

C-0396

C-0397

C-0398

C-0399

C-0400

C-0401

C-0402

C 0001A

C 0402B

ユイの声「名前、決めてくれたの？」　ケントウの声「男なら、シンジ。女なら、レイと名付ける。」　ユイの声「シンジ、レイ。」
レイの声「[illegible]ヤナ[illegible]」
レイの声「[illegible]イガ[illegible]」
レイの声「[illegible]」

C 0407

シンジ[illegible]

C 0406

レイの声「綾波。」

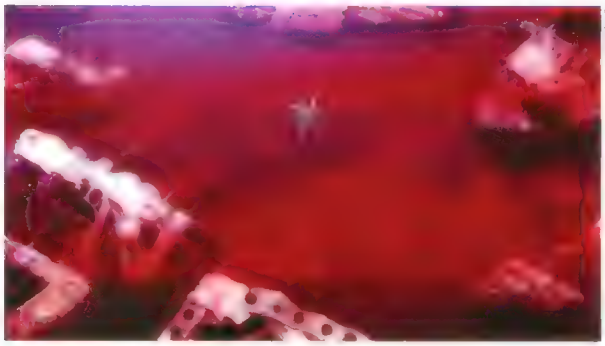
C-0408

SE　サイの声

レイの声「レイ。」

C-0414

C-0409



C-0415

C-0410

C-0416

キ[illegible]（第4使徒殲滅とその爆風

C-0411

C-0417

キ[illegible]（番目、子供の接ix　及びエヴ初号機の初起動）

C-0412

C-0418

キ[illegible]　概ね設定通りだ。

C-0413

[illegible]　知らない天井だ。

C-0425

セーレ[illegible]配[illegible]号機[illegible]実戦配備、続き[illegible]2号機と付属[illegible]ロトもトイ[illegible]「実証評価試験中[illegible]
セーレ04「3号機以後の建造計画通り[illegible]

C-0419

セーレ04「初号機本体の膨大な修理費は予算[illegible]れ[illegible]
セーレ05「連結された零号機、[illegible]は[illegible]「問題にはならな[illegible]

C-0426

セーレ05「[illegible]1[illegible]適もな[illegible]使用は君、責務[illegible]れくれも失望させぬよう[illegible]頼むよ

C-0421

伊吹「エヴ[illegible]初号機[illegible]回収作業は終了[illegible]ました

C-0427

セーレ06「左様、使徒機械はリリスとの契約[illegible]極一部、過ぎな[illegible]

C-0422

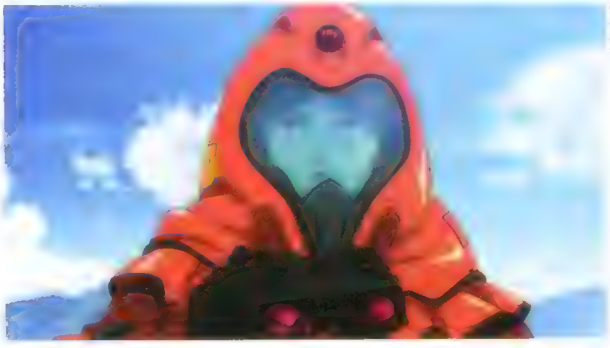
伊吹「現在薬もケイ[illegible]「固定中、本日10より検査開始の予定です」
ミサト「暴走時プレッシャ[illegible]は？」伊吹「容量も口[illegible]、何も書き込まれ[illegible]ませんでした」
ミサト「結果、原因不明ね、兵器と[illegible]信頼性

C-0428

超機密

人類補完計画

[illegible]類補完計画



C-0423

ミサト「[illegible]キビシすぎるわね

C-0429A

キール「[illegible]者[illegible][illegible]我が「空極」[illegible]顔[illegible]
[illegible]

C-0424

キール「多少不具合[illegible]も、第[illegible]使徒出現時[illegible]に[illegible]役立[illegible]ばよい」

C-0434

C-0429B

ケンドウ「全ては……」

C-0435

C-0430

ケンドウ「セーラムンナンオ通ハ」

C-0436

C-0431

C-0437

C-0432

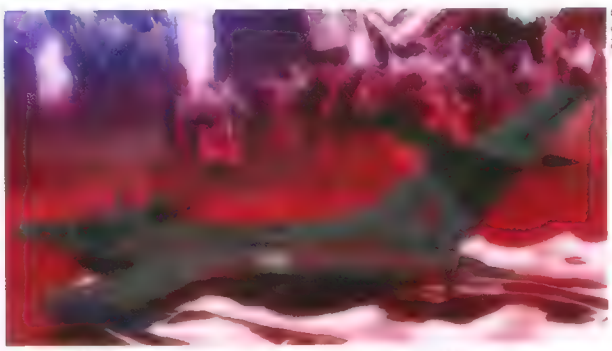
C-0433

C-0444

[illegible]

C-0438

C-0450

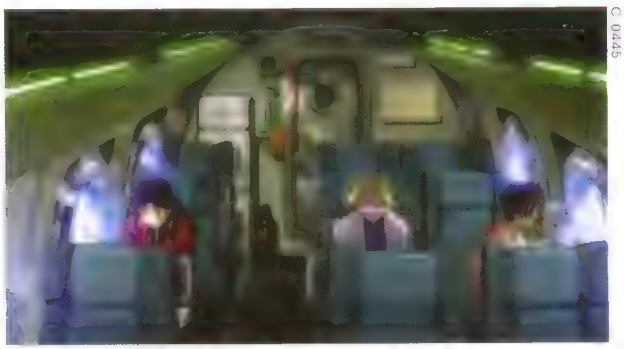


C-0439

[illegible]

C-0452

[illegible] 第1カルテ 鵜飼先生 鵜飼先生 至急 第1カルテの東先生まで連絡下さい



C-0445

[illegible] まさ、血の地獄 なんてかセントラルの[illegible]、イヤな感じ。

C-0453

アキヤマ 医事件の医療会議は予定通り、行われます。担当者は第2会議室に集まって下さい。

C-0442

[illegible]

C-0443

[illegible]

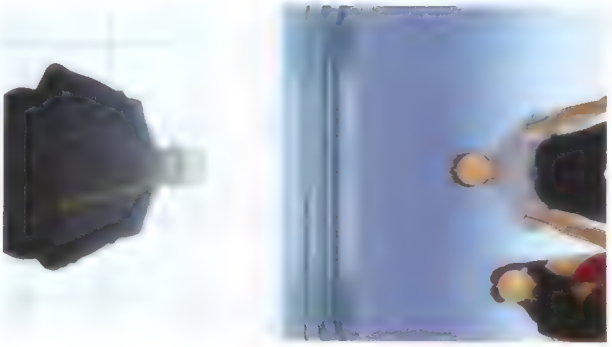
SE [illegible]

C-0454

SE チ ン エレベ タ 到着音

C-0455

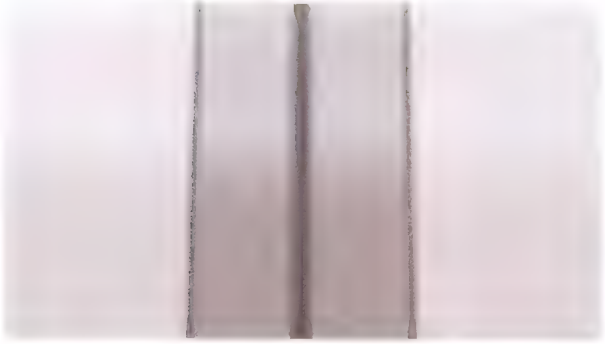
C-0456



C-0457

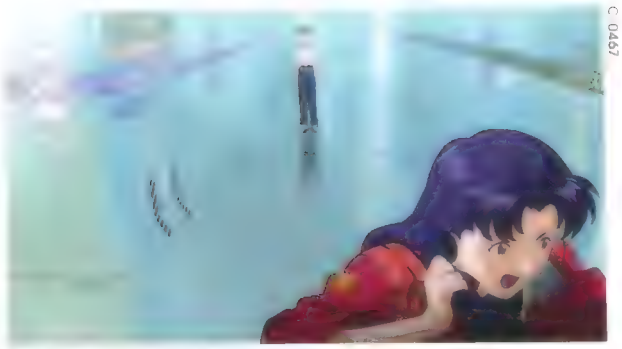
C-0458

C-0459

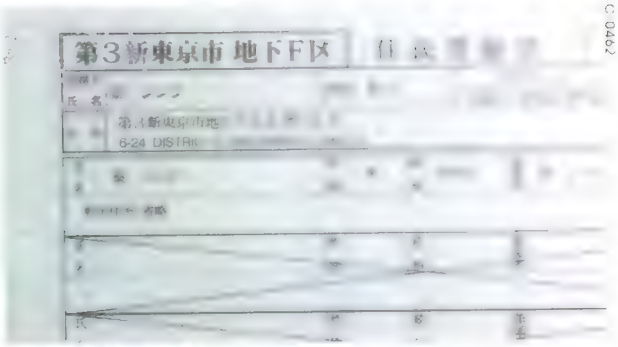


C-0460

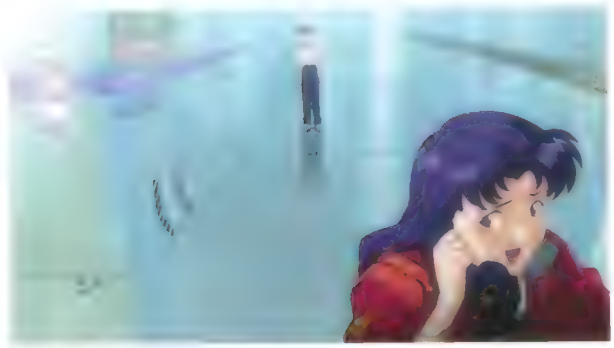
C-0461



C-0467

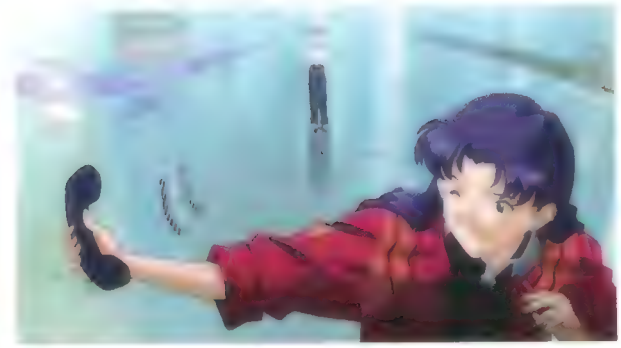


C-0462



C-0463

C-0464



C-0465

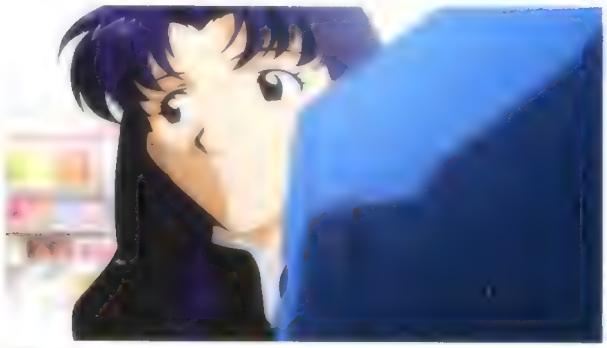
C-0468

C-0466

主婦 A (off)「昨日の事件　思い出しただけでもゾッとしちゃうわ」

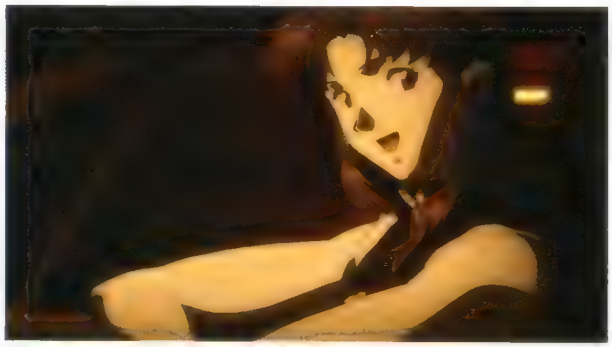
C-0469

ミサト (off)「さぁて、今夜はパーッとやらなきゃね」
[illegible]「何をですか」



C-0474

主婦 B (off)「[illegible]」

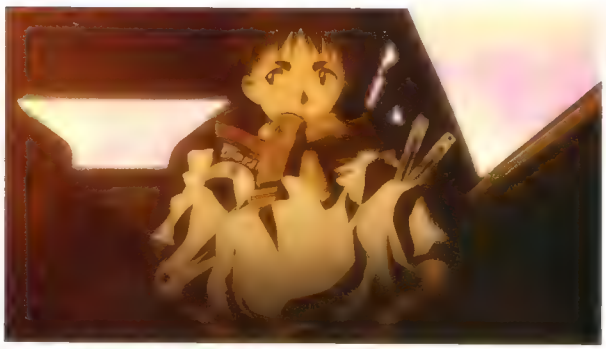


C-0470

ミサト「もちろん、新たなる同居人の歓迎会よ」

C-0475

C-0471

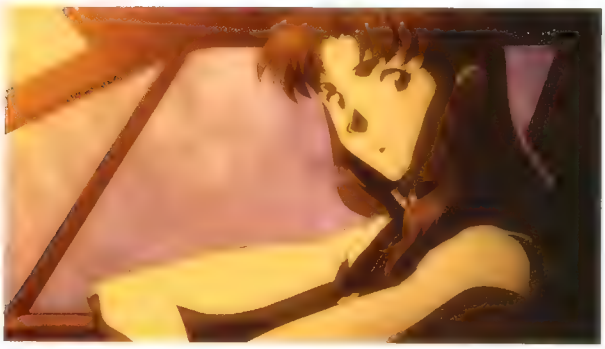


C-0476

ミサト (off)「[illegible]まぁ、[illegible]ち寄り道するわよ」
[illegible]「[illegible]ですか」

C-0472

主婦 A (off)「やっぱり[illegible]越されますの？」
主婦 B (off)「[illegible]まさか本当、ここが戦場になるなんて思ってもみませんでしたから」

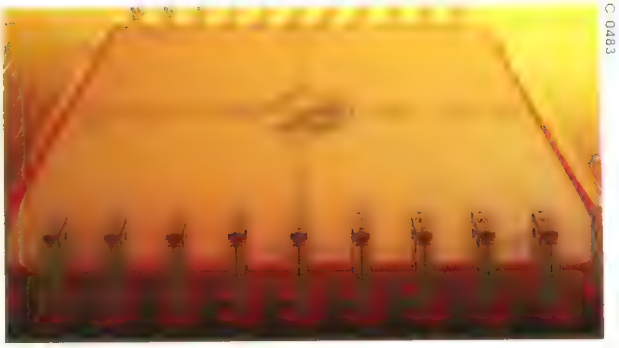


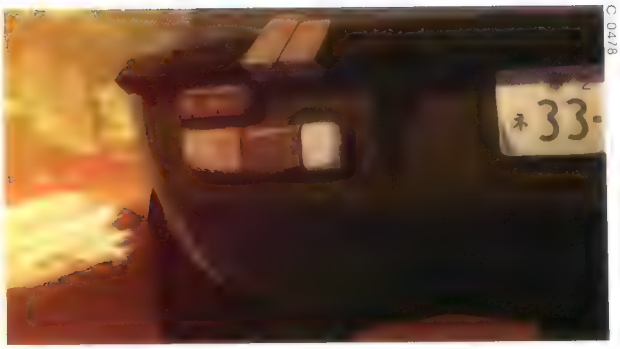
C-0477

ミサト「[illegible]」

C-0473

主婦 A (off)「[illegible]ますよねぇ。うちも主人が子供とあたしだけでも疎開しろって。何でも今日一日で転出届が100件を超えたそうですよ」
主婦 B (off)「そうでしょうね。いくら要塞都市だからって、ネルフじゃ何一つあてにできませんものね」

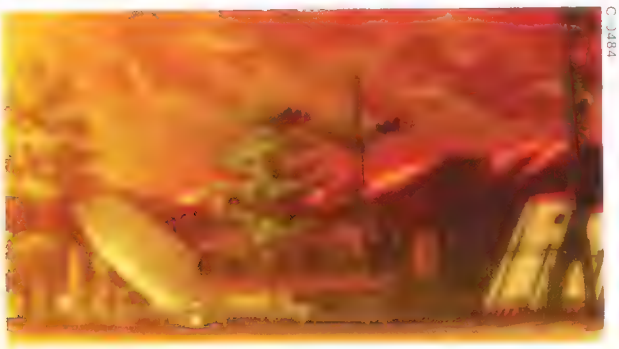

C 0483



C 0478

C 0479

SE　ガラス窓叩き声

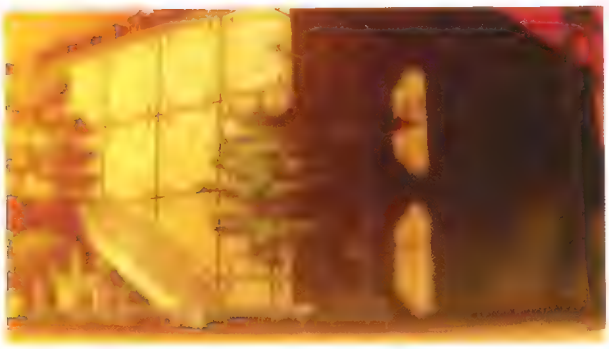

C 0484

C 0480

シンジ「なんだか、寂しい街ですね。」
ケト「時間です」

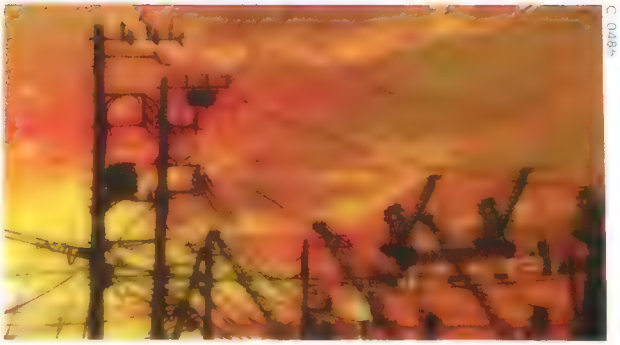
C 048

SE　ウウウウウ　サイレンの音

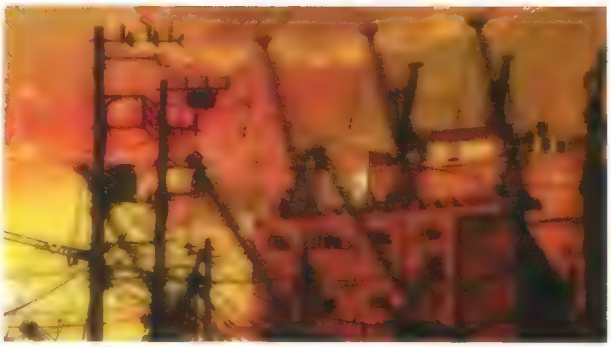


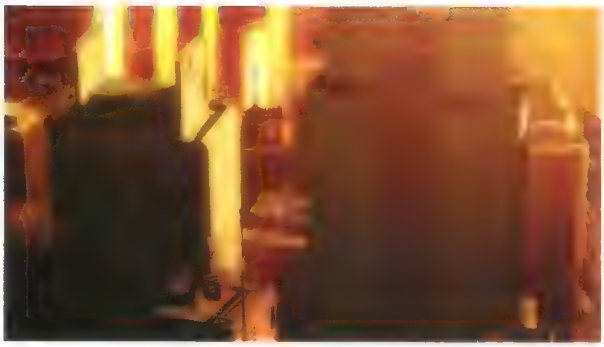
C-0482

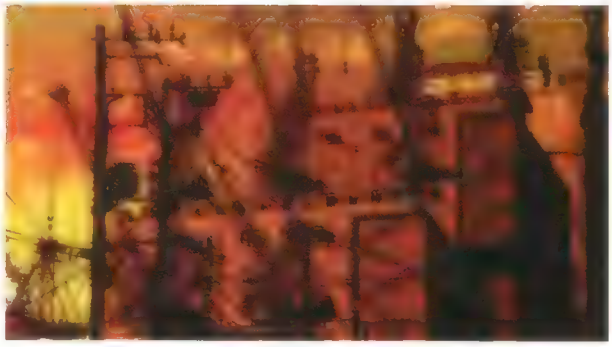
C 0486



C 0485







C 0487

C 0488

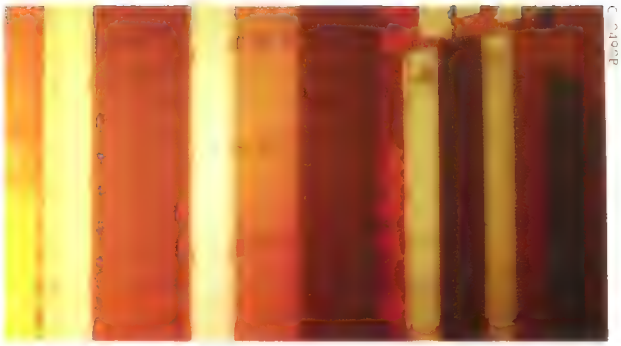
シーン10ff ビルがはえる

C 0490A

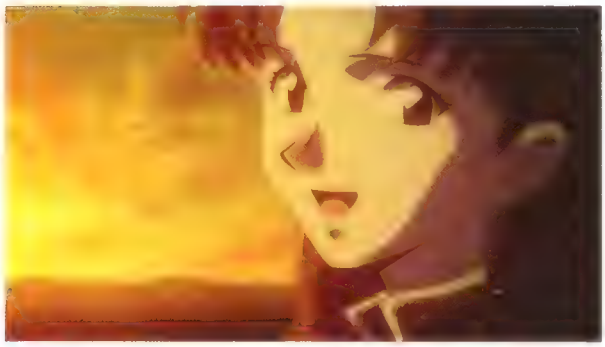
C 0489

C-0492

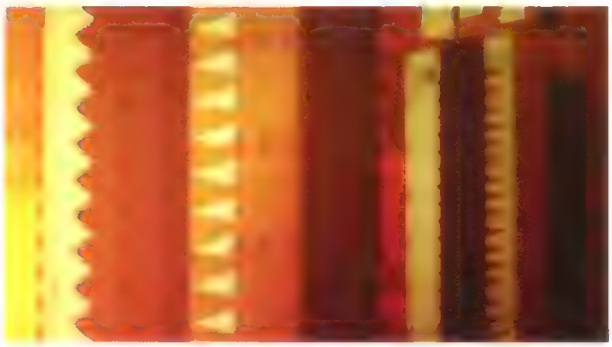
ミサト　第3新東京市



C-0490



ミサト　私たちの街



C-0493

C-0491

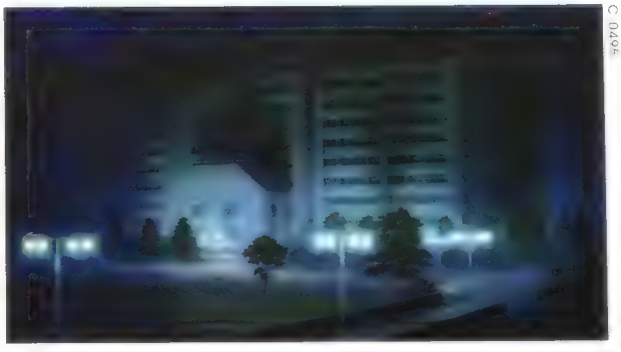
ミサト　これが　使徒　専用迎撃要塞都市

C-0494

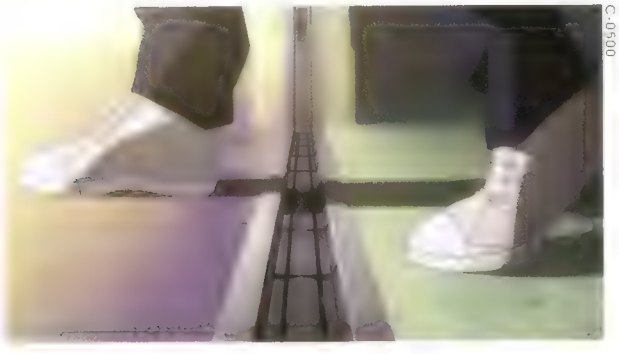
ミサト　そう　あなたが守る街

C-0499

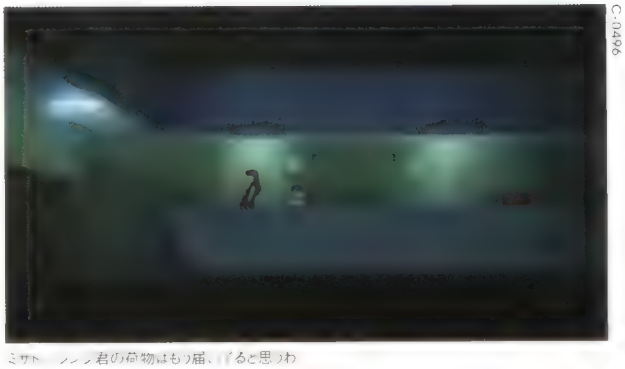
ミサト「シンジ君、ごめんなさい、待たせたわよ」



C-0495



C-0500

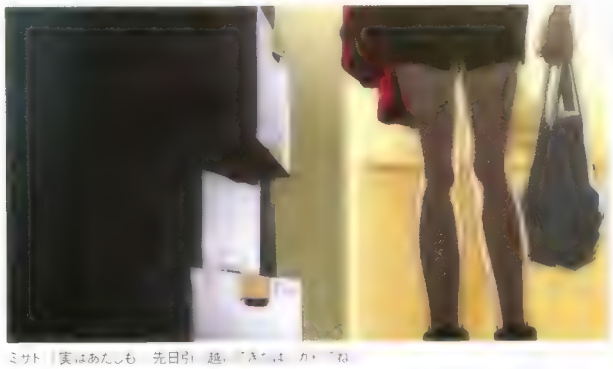


C-0496

ミサト「シンジ君の荷物はもう届いてると思うわ」

C-0501

「……ありがとう」



C-0497

ミサト「実はあたしも、先日引っ越してきたばかりでね」

C-0502

ミサト「おかえりなさい」

C-0498

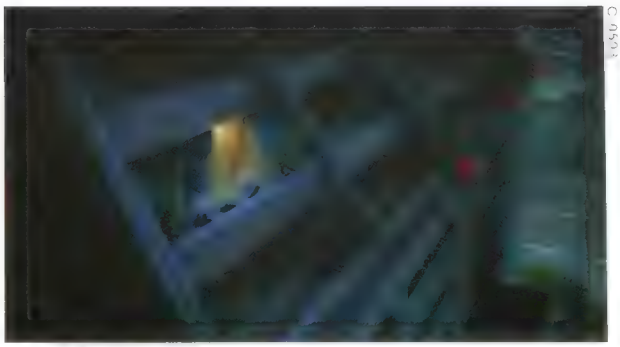
ミサト「さ、入って」

SE「ピンポーンとベルが鳴る音」

シンジ「あ、あの、わかります」

C-0503

サト（あ…）…自…物…が威…す…



C-0507

ミサト（off）「まぁ…ちょっと散らかってるけど

C-0509

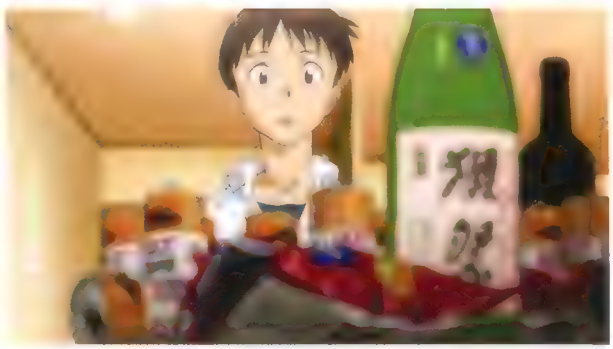
…は…は…

C-0508

ミサト（気に…な…ね…

C-0510

シンジ（off）「氷



C-0504

C-0511

シンジ（off）「…ドリト…」

C-0505

シンジ（off）「これか…」

C-0512

…（off）「ビ…は…か…」

C-0506

シンジ（off）「ピ…ザ…」

KIRIN BEER
CLASSIC
KIRIN BEER
CLASSIC

C-0518

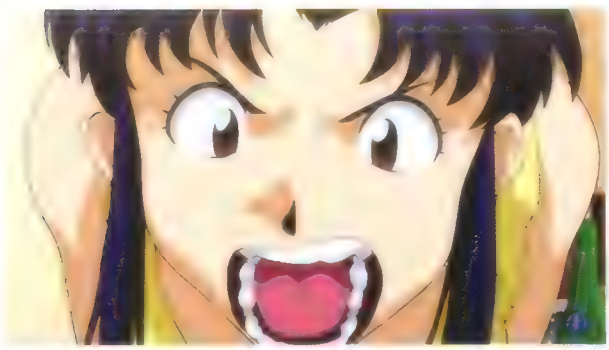
SE チ

C-0521

C-0519

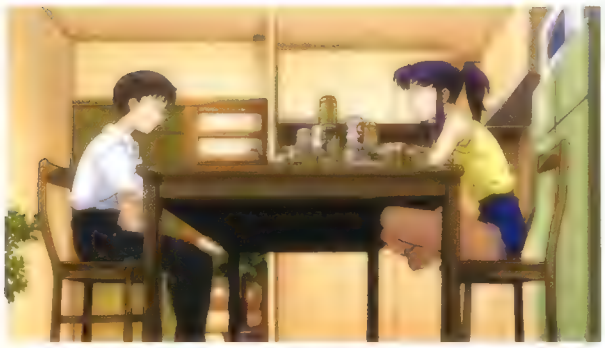
C-0522

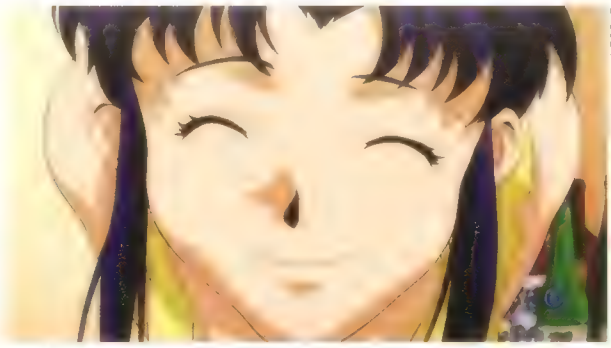
C-0520

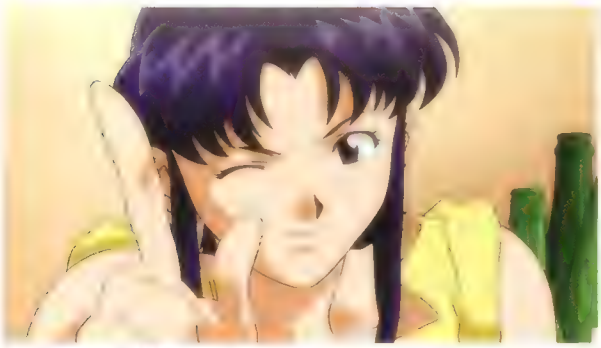


C-0512

C-0523

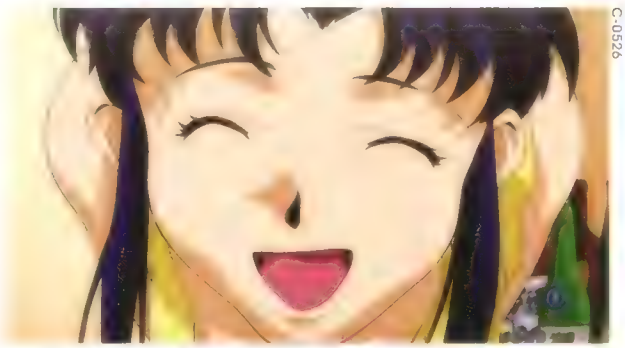

C-0533

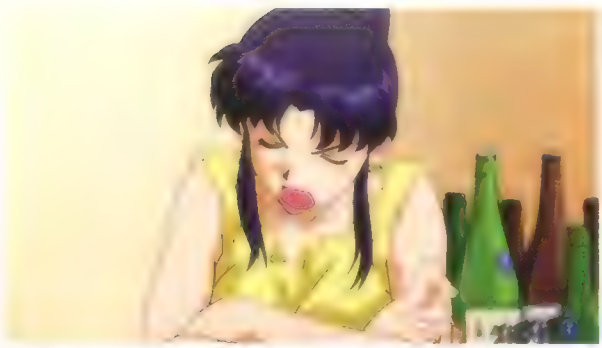

C-0524


C-0534

C-0525

C-0535


C-0526


C-0536

C-0527

C-0542

C-0537

ミサト「あ、この子ったら、ノッキングしちゃ[illegible]キング」

C-0543

シ[illegible]

C-0538

ミサト「(off)[illegible]」

C-0544

み み み み ミサト[illegible]

C-0539

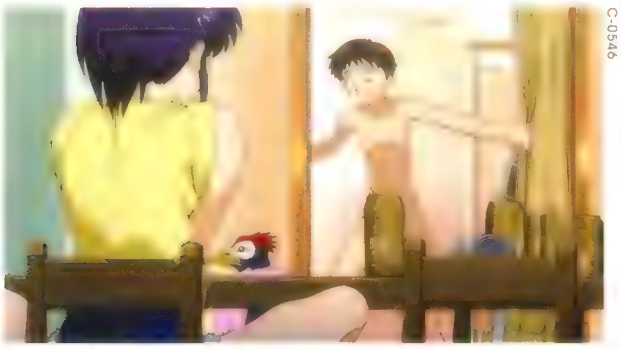
ミサト「やなことはお風呂に入って パーッと洗い流[illegible]なさい」

C-0545

サ[illegible]ip

C-0540

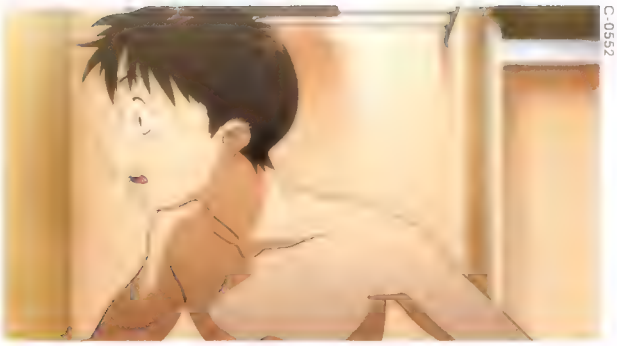
ミサト「プロは白ブ洗濯よ」



C-0546

あ あ あ あ あ あ あ[illegible]

C-0541


C-0552

SE　シャウウウン　ガシャン（ドアが閉まる音）

C-0547

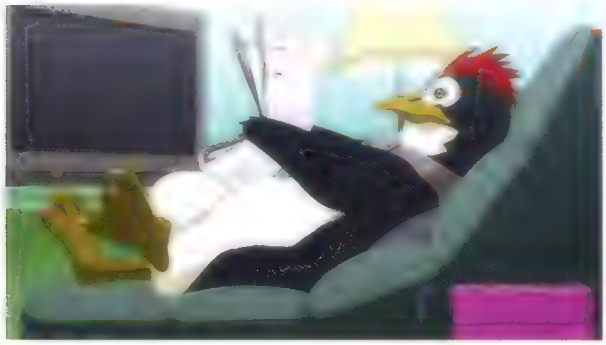
ミサト　ああ　彼

C-0548

ミサト (off)　温泉ペンギンという鳥の仲間よ

C-0553

C-0549


C-0554

ミサト (off)　名前は

C-0550

C-0555

ミサト　縁あってウチにいる、もう一人の同居人

C-0551

ミサト「見透かされてるのは

C-0556

ミサト「それより　前、隠したら？

C-0558

ノンジ(mono)「葛城ミサトさん

C-0559

ノンジ(mono)「悪い人じゃないんだ

C-0560

ミサト「(エコー付)フロは命の洗濯よ

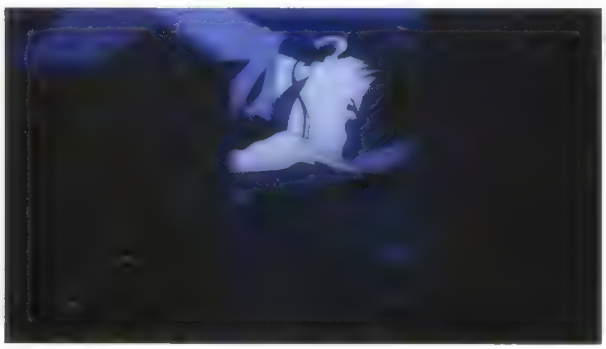
C-0561

ノンジ(mono)「でも…フロっていやなこと思い出す方が多いよな

C-0557

ミサト「なに、サとハハンキすきたか…」

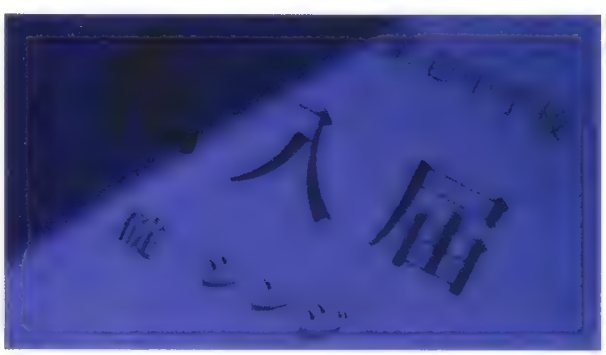
C-0562



C-0563

SE　ガチ、S-DAT の音楽

C-0564



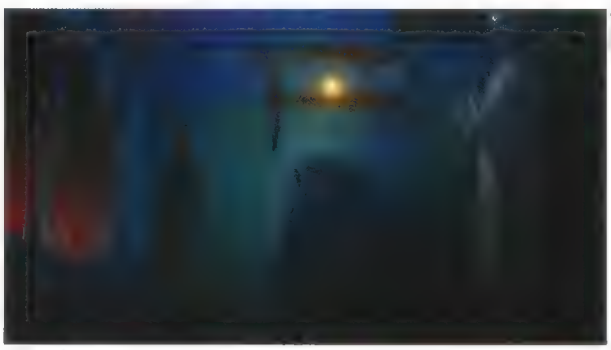
C-0565

C-0566

SE　カチ　S-DAT のリーズ音

C-0528

リ…(off)　レイの様子はいかがでしたか



C-0529

ケンドウ「…」
…「午後…かれたが…」「病院に」
ケンドウ「問題な…」

C-0530

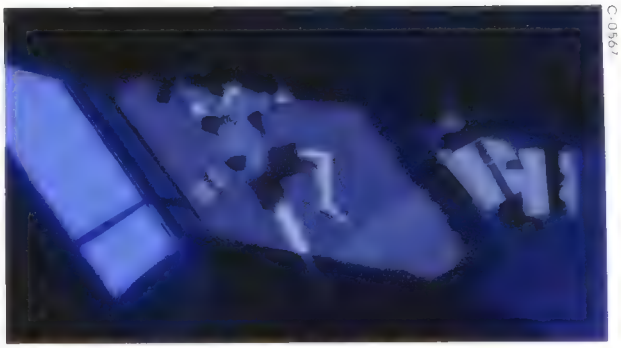
ケンドウ「凍結中の零号機の再起動準備ができた」
「…この子息は…よろ…の…か…精神的に…かない不安定と思われますか」

C-0531

ケンドウ(off)「ほお…おい…む…ゾ零号機凍結解除のいい…実…なる」　(↑PAN)
…(off)「…は…葛城２佐の提言通り…」

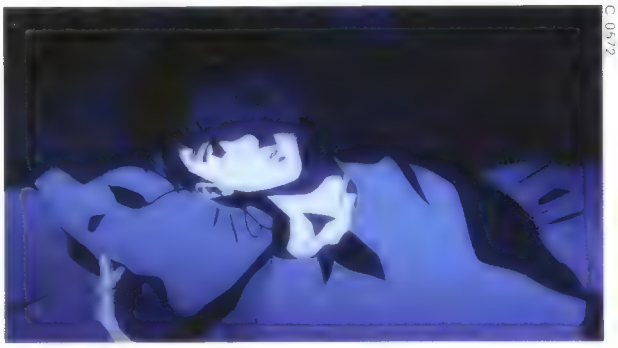
C-0571

シンジ(mono)「…こも私ってる、天井だ」



C-0567

ミサト(mono)「予備報告もなく、唐突に遣出されて3人目の少年」



C-0572

シンジ(mono)「当たり前の…この街に知…なんかいるの…こ…もる…もの…」

C-0568

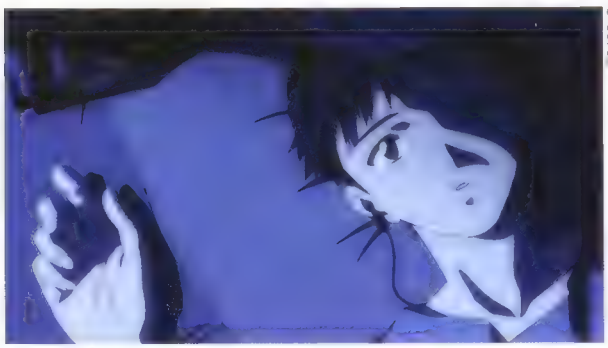
ミサト(mono)「それ、呼応するかのようなタイミングで使徒襲来」

C-0573A

ミサト(ナレ)「は…ある…ワケないよ」

C-0569

ミサト(mono)「合わせて強引に接収された碇司令の息子…確かに違和感残る案件ね」

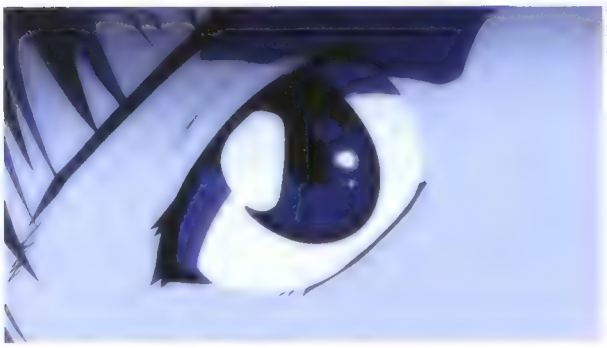


C-0573C

シンジ「…なんでこんなるんだ…」

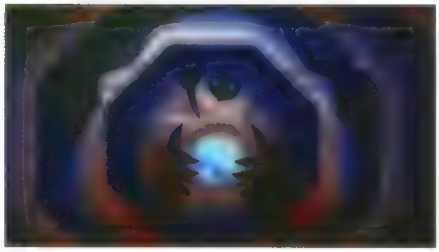
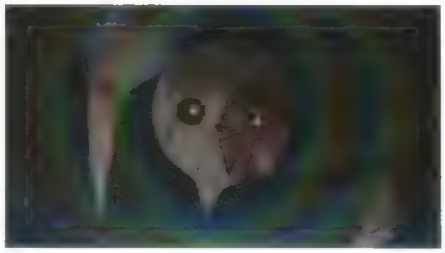
C-0570

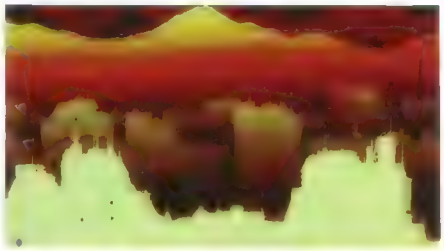
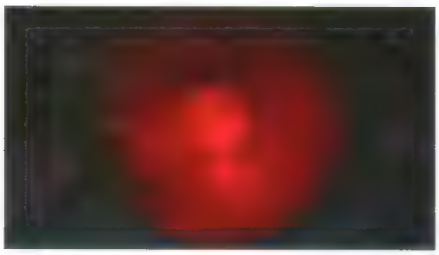
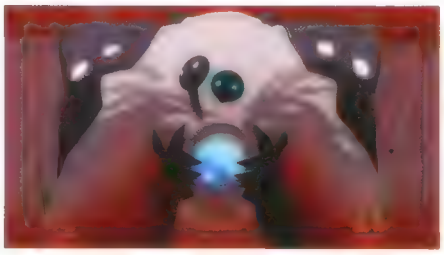
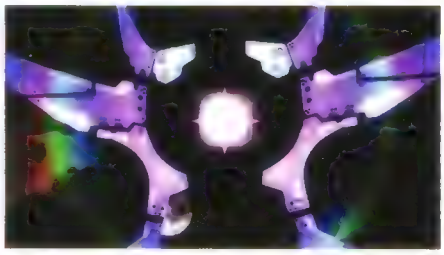
ミサト(mono)「…カ…あの使徒を倒せたとしても、私も意外と」



C-0573B

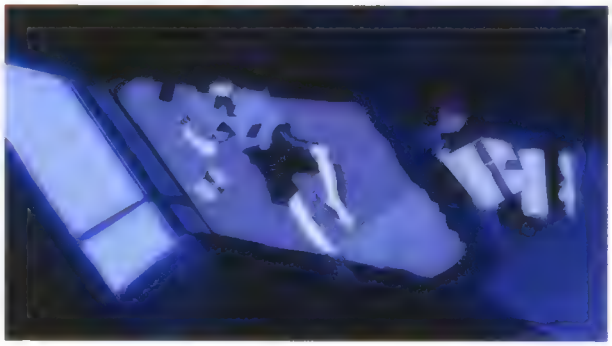
ミサト「使徒を…」

C-0576

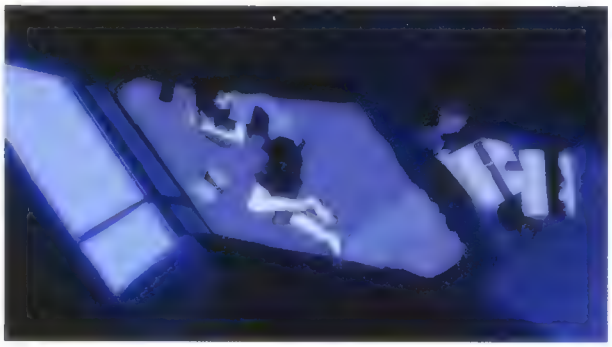
ミサト「…ふゃ…ってめ見…」



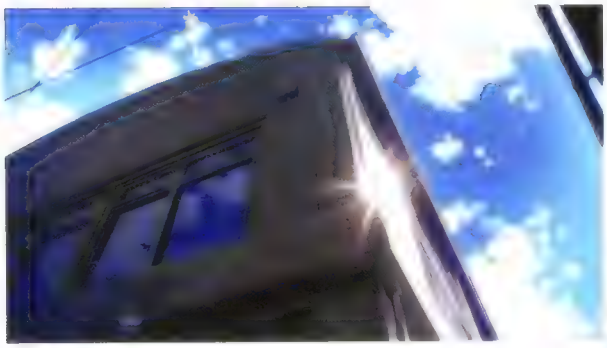
C-0574

C-0577

ミサト(off)「…君…間違うわよ」



C-0575



C-0578

ミサト「[illegible]言われ[illegible]」

C-0579

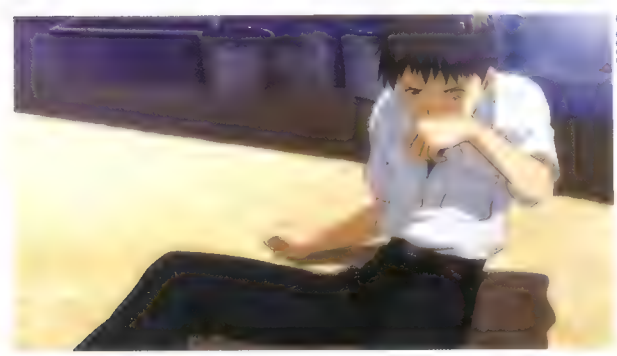
ミサト「あなたは人にほめられる立派な事をしたのよ」

C-0580

ミサト「胸を張[illegible]わ」

C-0581

ミサト「[illegible]君」



C-0582

ミサト「胸張[illegible]」

C-0583

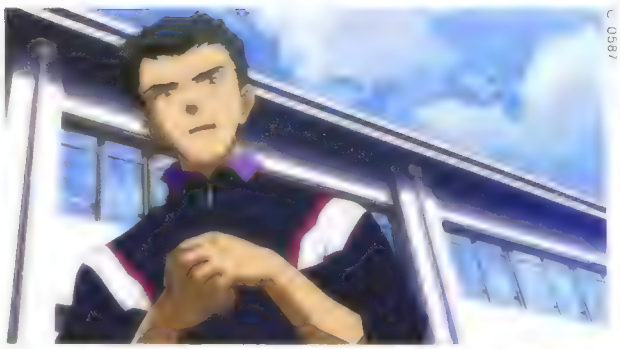
SE「[illegible]」
SE「[illegible]」

C-0584

C-0585

C-0586

C-0587



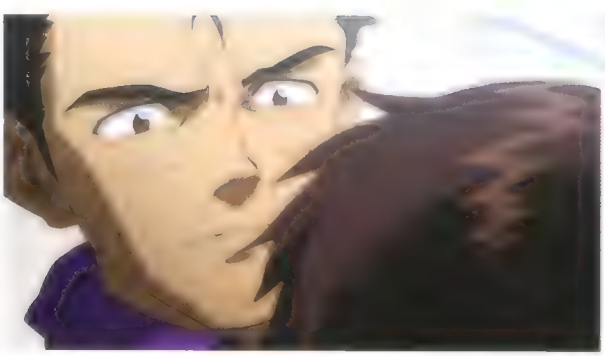
C-0588

C-0589

C-0592

C-0590

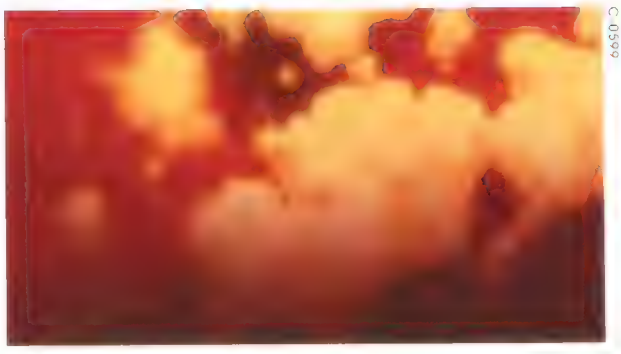
C-0593

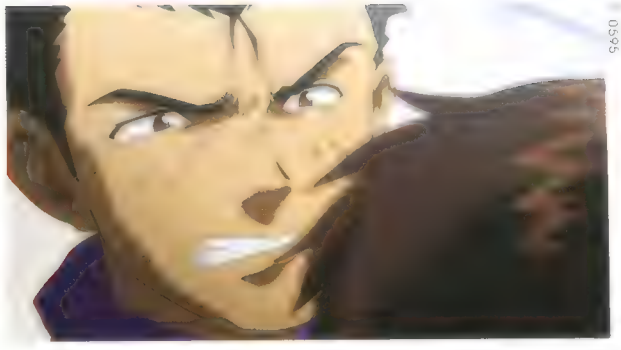


C-0591

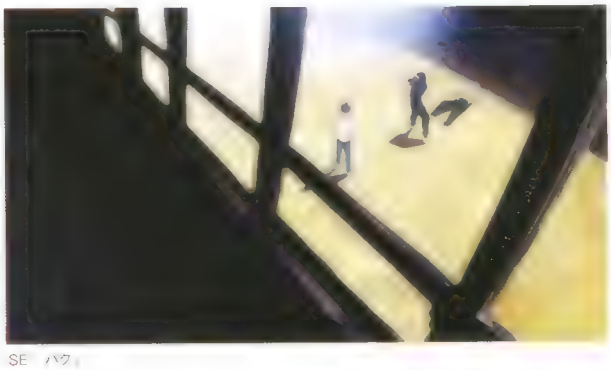
C-0594

C-0590

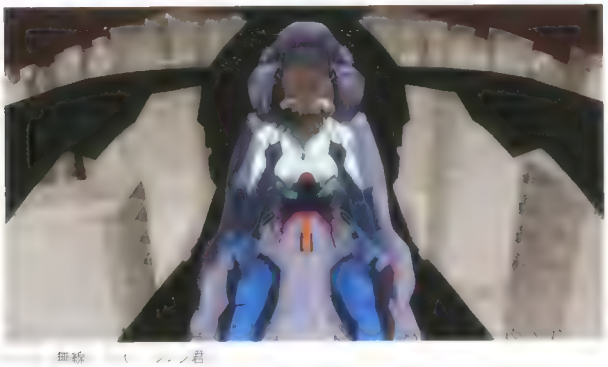

C-0599


0595

C-0600

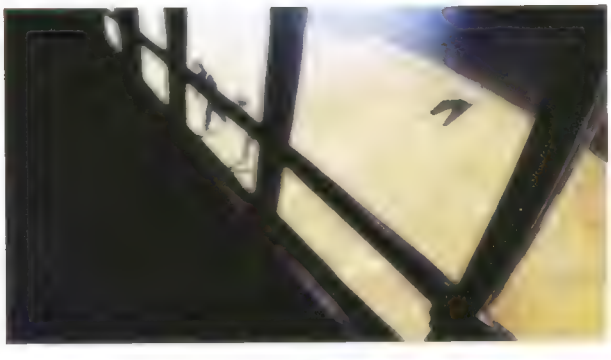

C-0596

SE パワ



無線 ー ン君

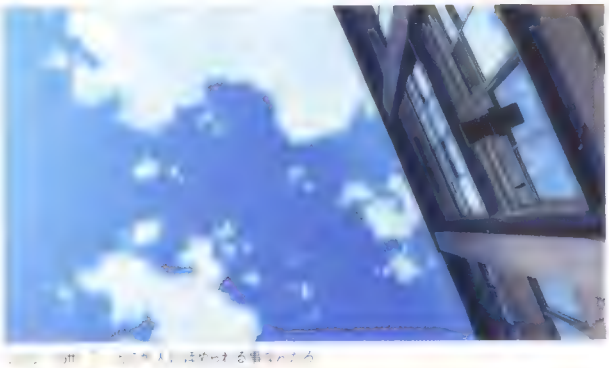
無線 使徒、は ま す 時はな る部位 を 出す



C-0601

無線 ー小破壊 使徒 物理的 滅 る唯 手段 ア

C-0597

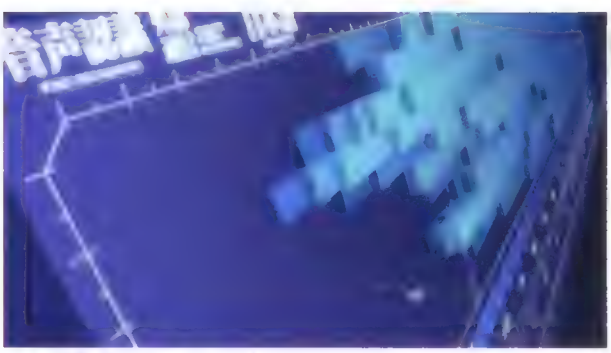

C-0598

C-0607

C-0601

C-0608

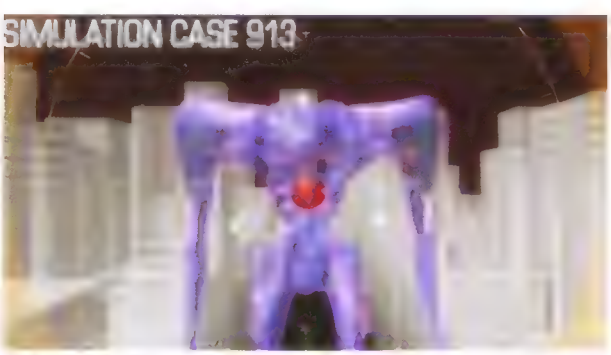
C-0603


C-0604

リノコ「無線」「すぐ、そこを狙い！」

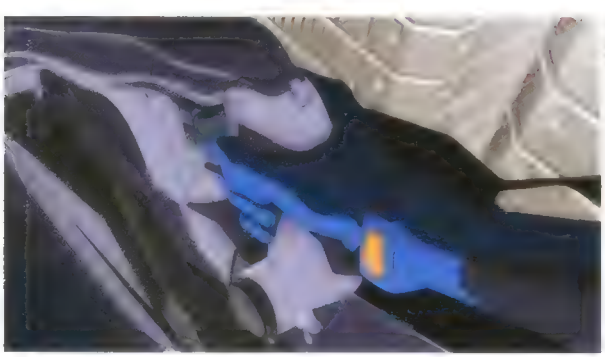
C-0609

「…は…る的確、必中…」「…発質「春メ…」
「…ゴ…」

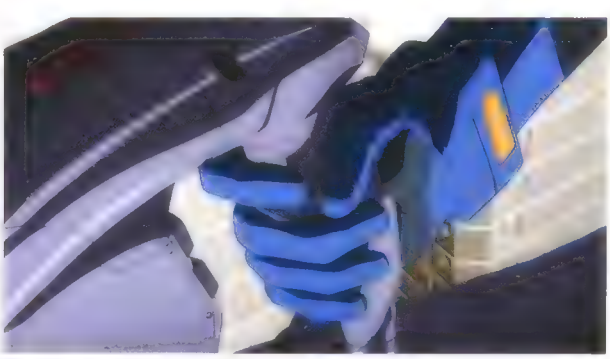


C-0605

「…」「無線」「目標をセンターに入れて、スイッチ」


C-0610

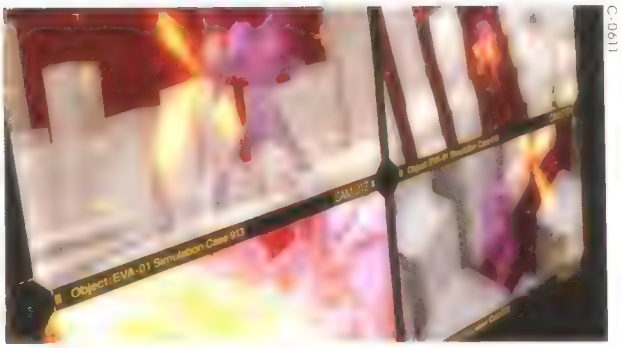
SE「カチ」


C-0606

SE「カチ」

C-0615

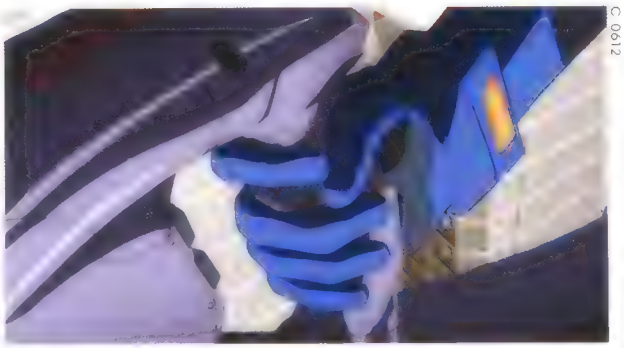
無題



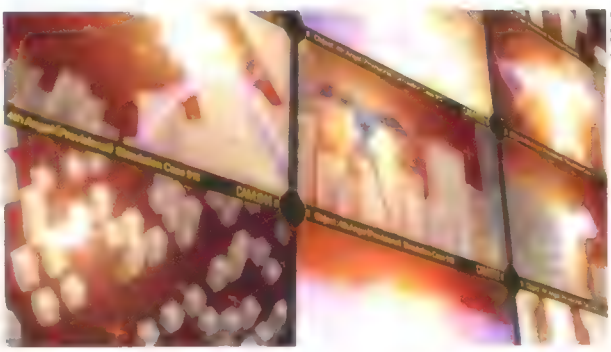
C-0611

(↑PAN)

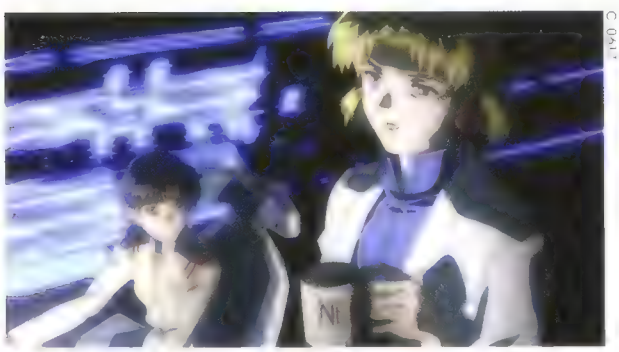
C-0616



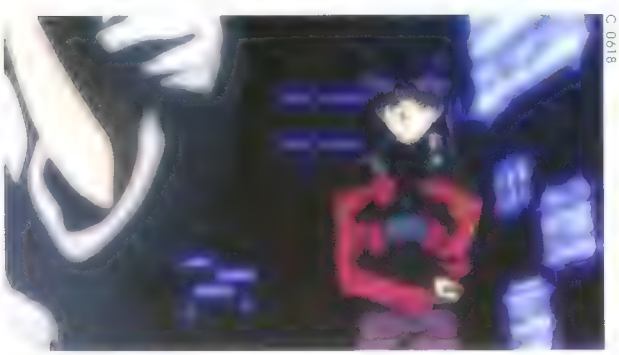
C-0612



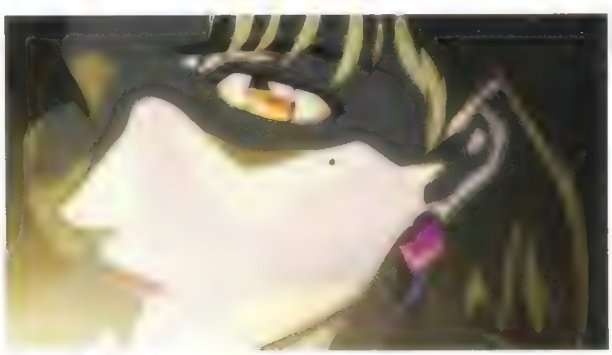
C-0613



C-0617



C-0618



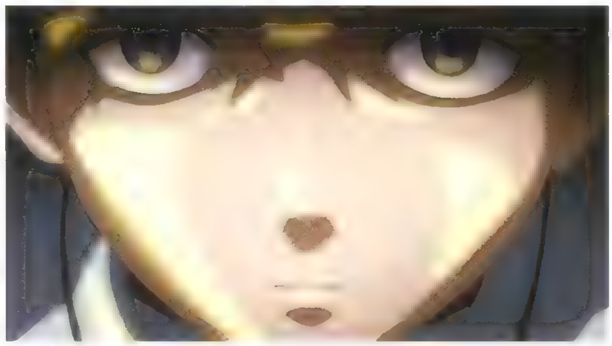
結構

C-0614

C-0619

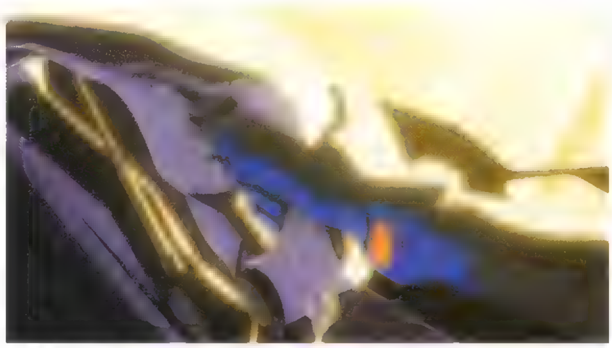
C-0620

シンジ 目標をセンタ 入れ スイ チ



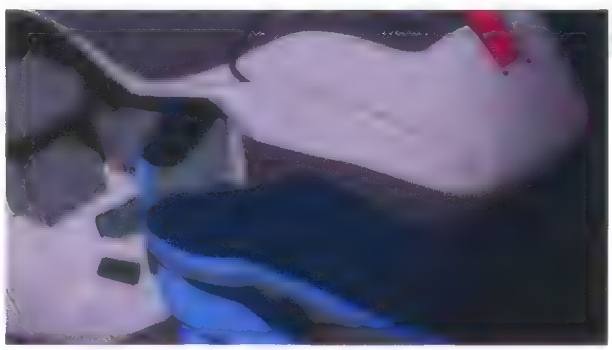
シンジ 目標をセンタ 入れ スイ チ

C-0621



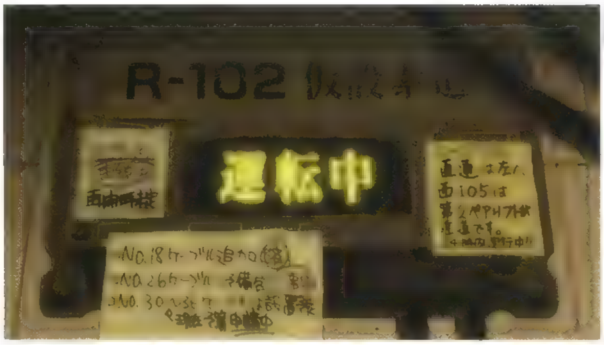
シンジ 目標をセンタ 入れ スイ チ

C-0622



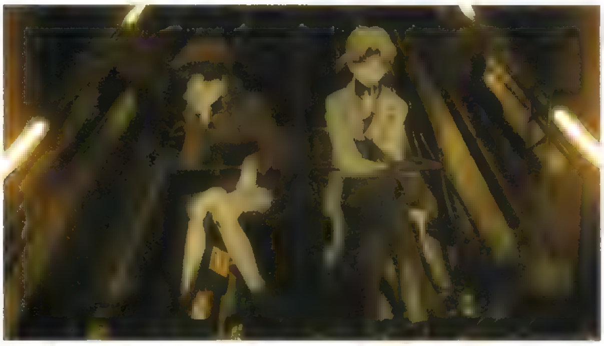
シンジ 目標をセンタ 入れ スイ チ

C-0623



SE …ト起動音

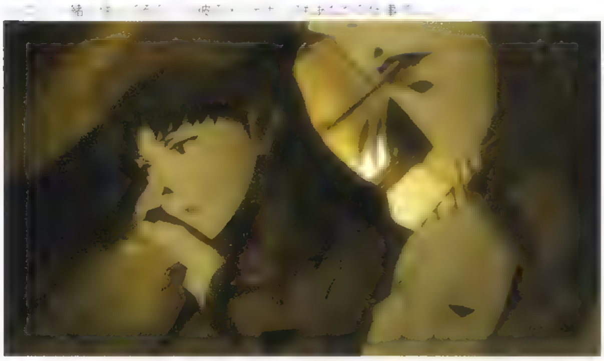
C-0624



…シンジ君 転校初日からクラスメイトに殴られたそうじゃない…

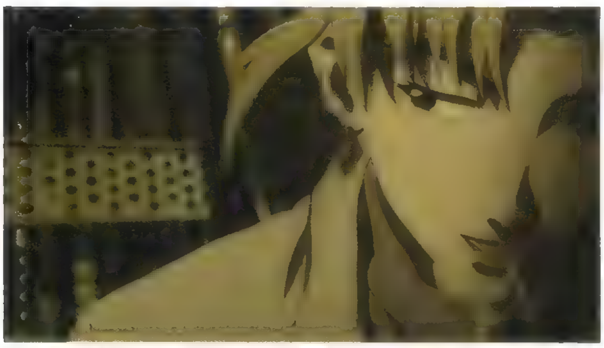
…問題は…

C-0625



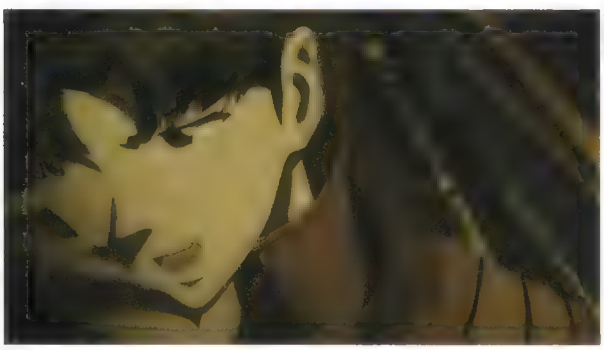
ミサト …

C-0626



シンジ … 自分から…

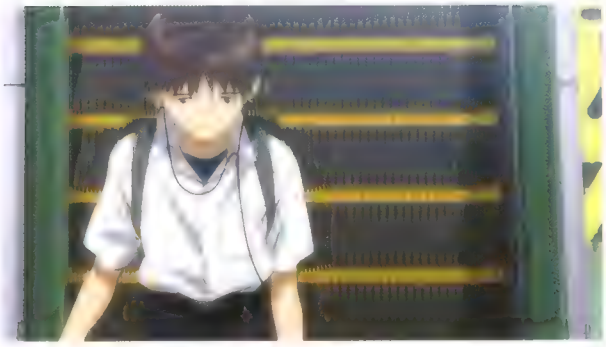
C-0627A



ミサト …

C-0634

C-0629

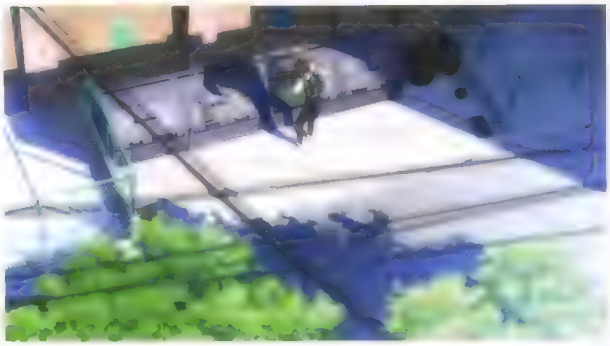


C-0635

C-0630

(off)「ヤマアラシの場合、相手の目や温もりを伝えようと思って

C-0636

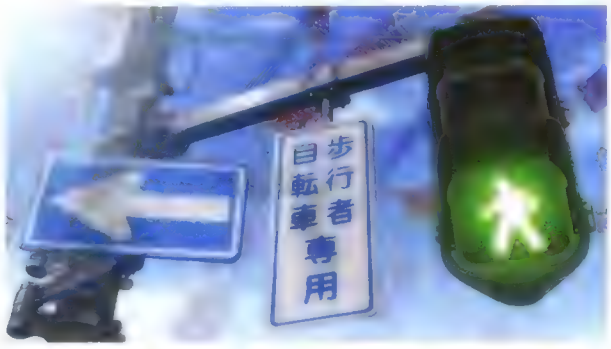


コ (off)「…そうね。確かにシンジ君て、どうも友達をつくるには不向きな性格かもしれないわね

C-0631

(off)「身を寄せれば寄せるほど体中にトゲが突き刺さってきます!!

C-0637



C-0632

(off)「人間にも同じことが言える

C-0638

(off)「ヤマアラシのジレンマ、知ってる?」

C-0633

C-0644

C-0639

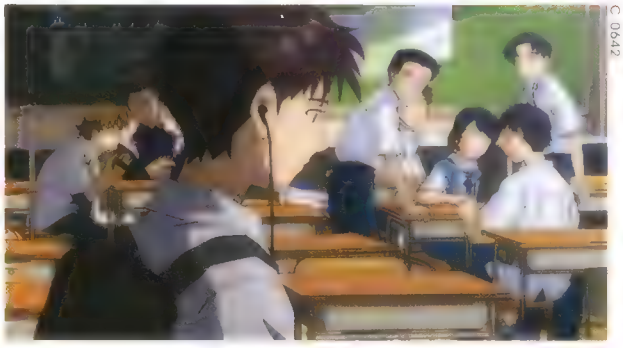
C-0645

C-0640

C-0646

C-0641

C-0647



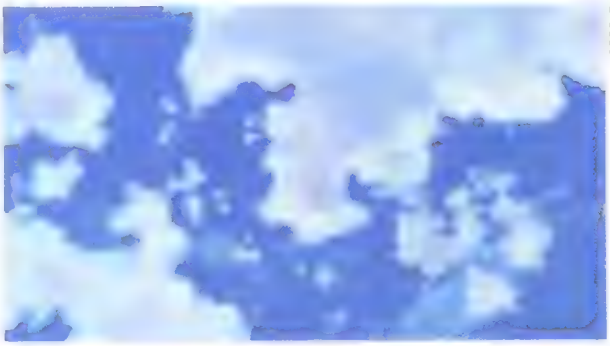
C-0642

C-0627B

C-0643

C-0649

C-0648


C-0650

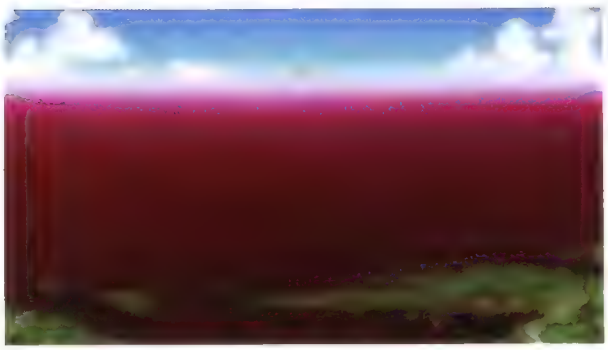
C-0651

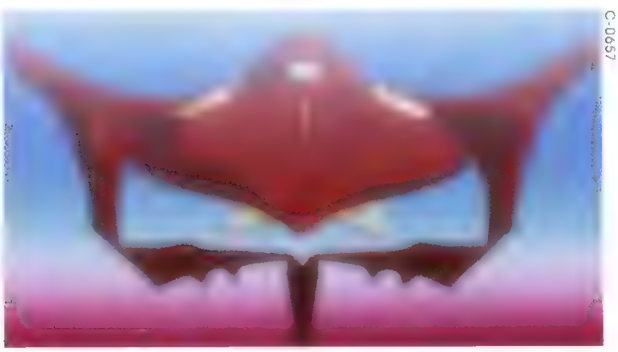
C-0652

C-0653

C-0654

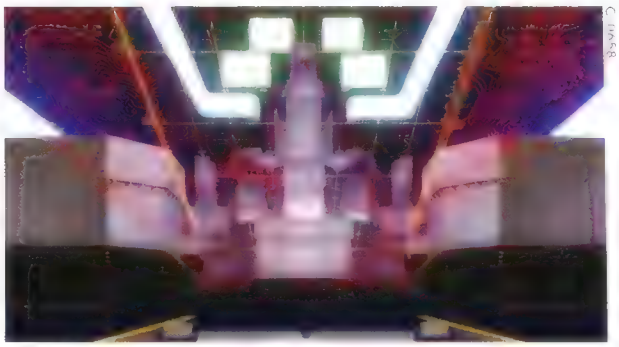
C-0655


C-0656


C-0657

C-0663

SE [illegible]
女 [illegible]



C-0658

青葉（スピーカー）「移動物体を光学で捕捉
女（スピーカー）「E747 も対象を確認

C-0664

C-0659

[illegible]

C-0660

[illegible]コ「間違いなく、第５の使徒ね

C-0672

C-0661

サ[illegible]秘書「第一種戦闘配置

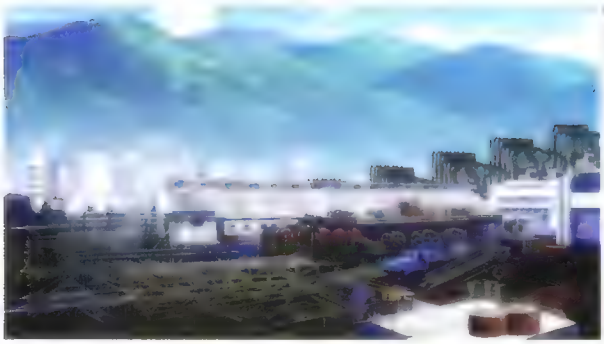
C-0662

日向「了解。地対空迎撃戦、用意
女（スピーカー）「第３新東京市、戦闘形態に移行します。

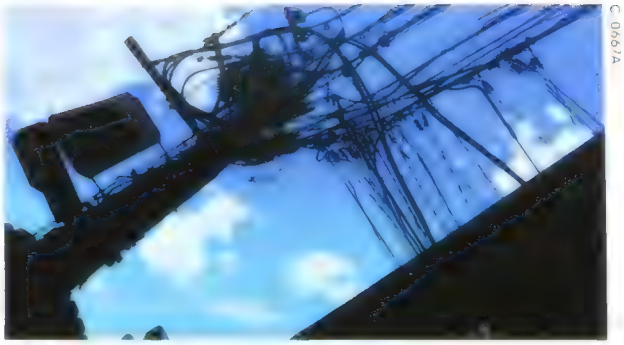
C-0667

C-0668

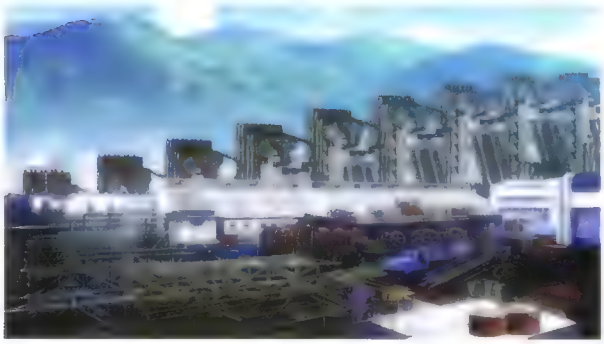
C-0669

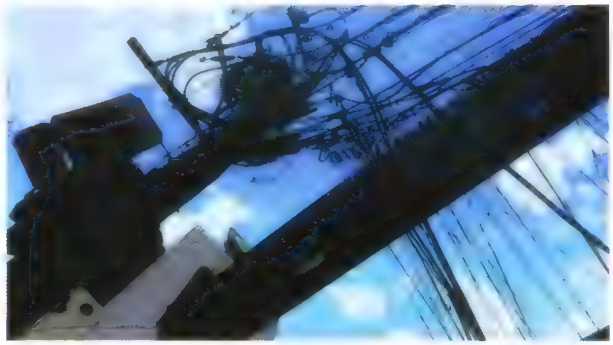


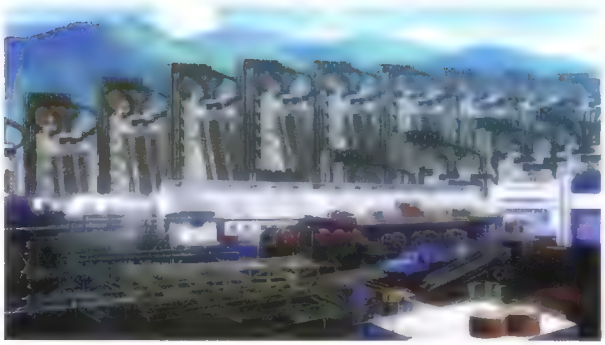
C 066/B

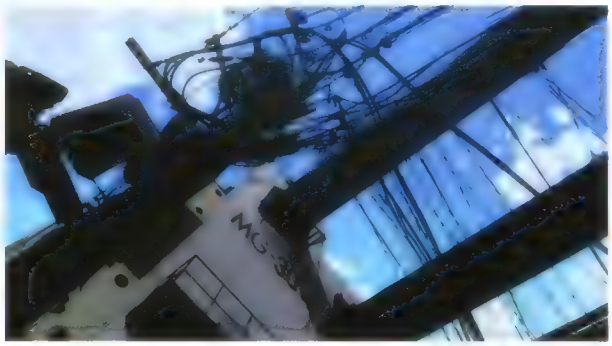


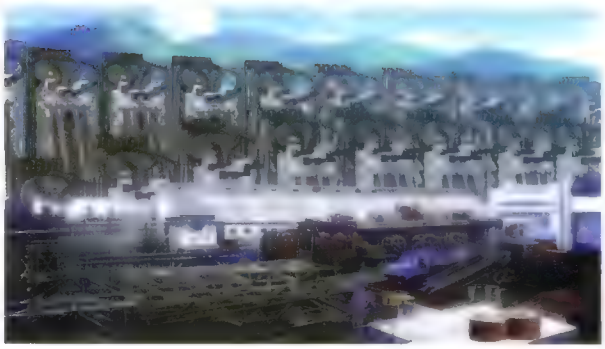
C 066/A

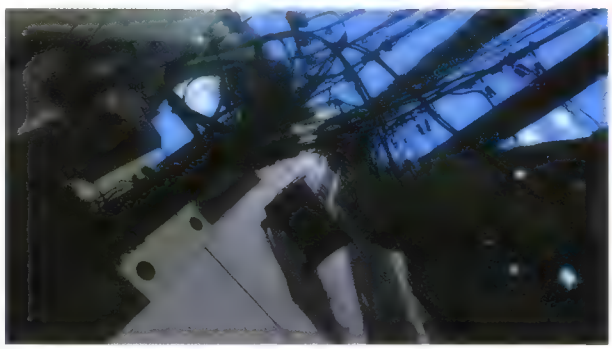


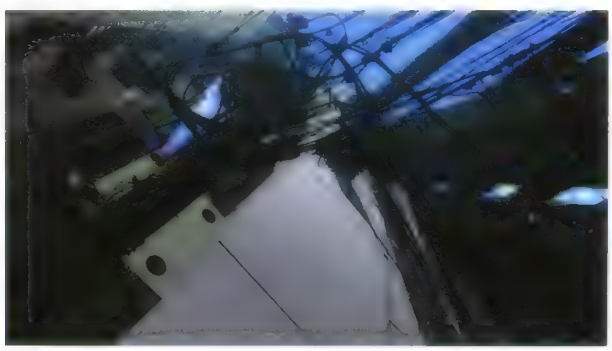




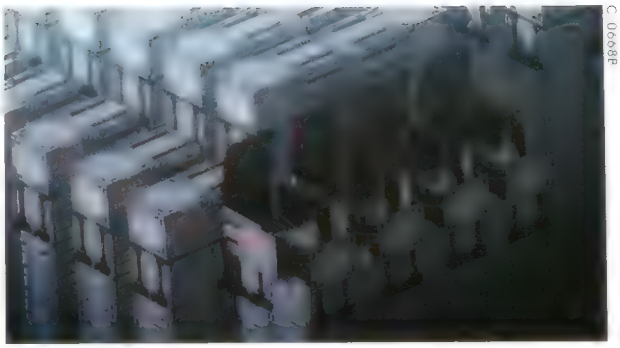




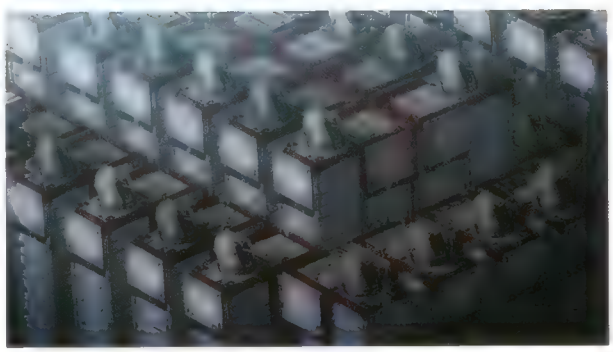




C_0668C

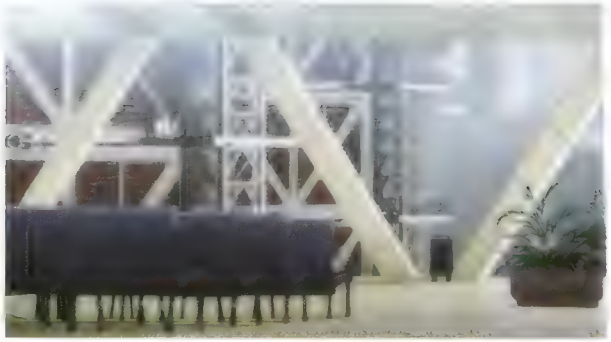


C_0668B



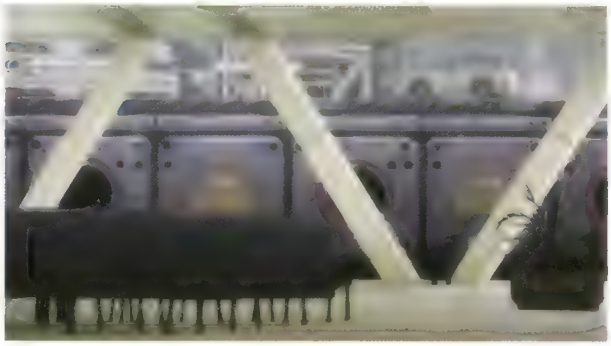
C_0674

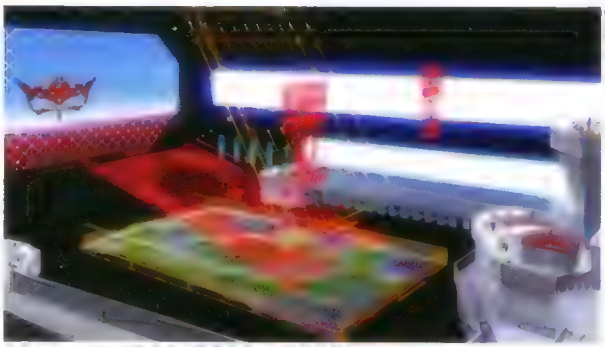
C_0668A



C-0676

女：スピーカー　中央シェルター及び第1～第7管区まで収容完了





C-0677

青葉：ピーカー　政府から緊急発令　通達終了！
女：スピーカー　目標は地下　進行中
女：スピーカー　現在　対空迎撃システム稼働率48%

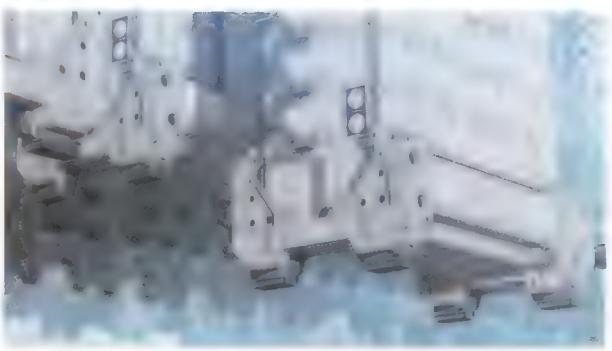
C-0675

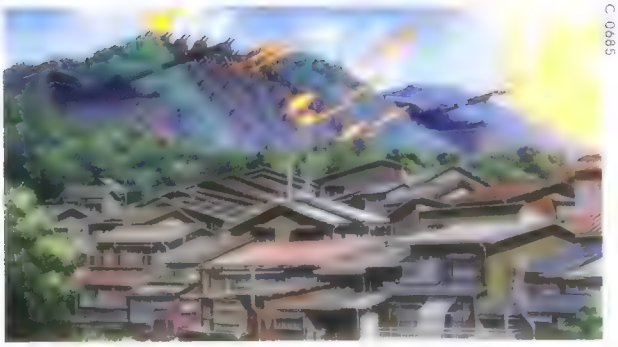
C-0678

ユウ：対戦車自走砲　民間人は
青葉：既に退避完了　必要なし　[illegible]

C-0679

ナレーション：小中学生は各コミュニティ　住民一方々は指定ブロックごとに集まり下さい。





C-0685

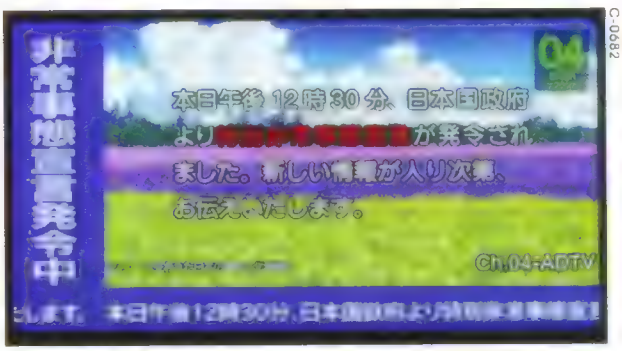
C-0680

C-0686A

C-0681

アナウンス「女1」「第7管区の迷子センターは、第323シェルターに設置してあります」

C-0686B



C-0682

SE「イーノーな音楽」
ケンスケ「おー、まずい！」

C-0687

C-0683

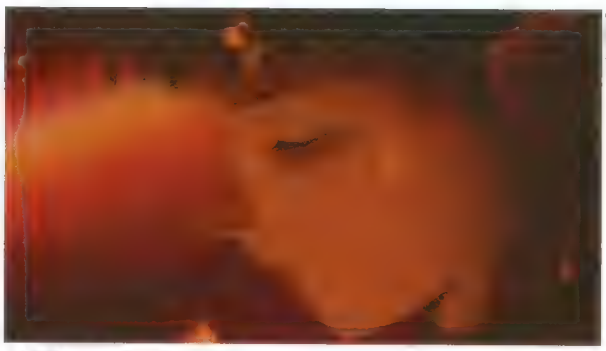
トウジ「また文字だけなんか？」
ケンスケ「報道管制ってやつだよ。ぼくら民間人には見せてくれないんだ」

C-0688A

「…、相全ってムタ通…ね」

C-0684

ケンスケ「これなヒ…ケイベントが…言…」



C-0694A

女｜無線｜エントリー　スタート［illegible］
伊吹｜無線｜［illegible］電源
女｜無線｜［illegible］解除

C-0688B

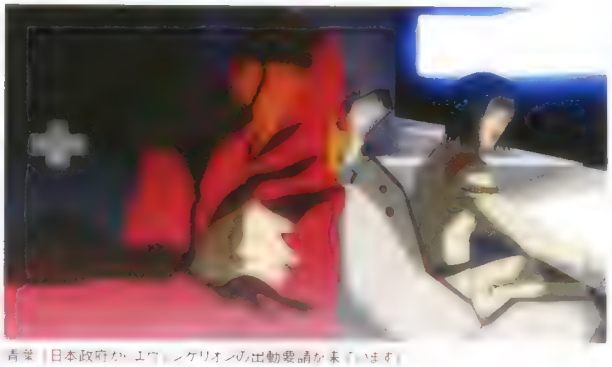
ミサト｜この世には　弾を消費しかないと困る人たちもいるのよ｜

C-0693

［illegible］monoi｜［illegible］

C-0689

C-0694B



C-0690A

青葉｜日本政府から　エヴァンゲリオンの出動要請が来ています｜

C-0695B

C-0690B

ミサト｜［illegible］るさ［illegible］かいね

C-0696

［illegible］monoi｜［illegible］嫌われ［illegible］ます｜

C-0691

ミサト｜言われなくても出撃させるわよ｜

C-0697

C-0698

ケンスケ「なぁ、ちょっと二人に話があるんだけど」
トウジ「なんや？」

ケンスケ「ちょっと来て」
トウジ「い、あかいた」

C-0699

ヒカリ「そうか、それでね…」
トウジ off「委員長」
ヒカリ「な…」

C-0700

トウジ「オ…二人、便所や」

C-0701

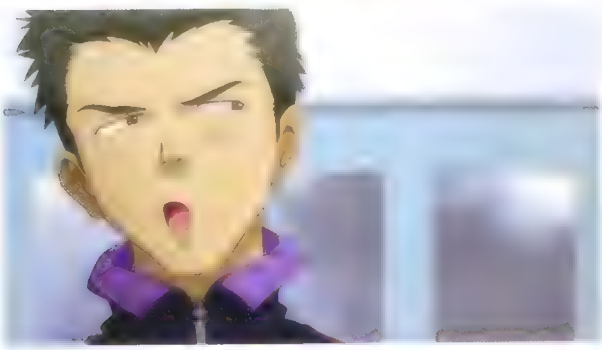
ヒカリ「も…たいれ…ききなさいよ」

C-0702

トウジ「…」 ケンスケ「死ぬまで一度だけは見たいよ」
トウジ「…そや」
ケンスケ「本物…敵…来…」

トウジ「…お前…」
ケンスケ「…頼むよ…手伝…」
トウジ「…」

C-0703



トウジ「お前…ホンマ自分の欲望に素直なやっちゃな」

C-0704

C-0/10

C-0/05

C-0/11

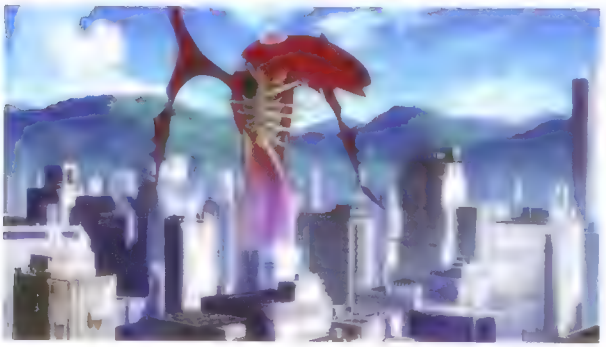
C-0/06

C-0/12

C-0/07

C-0/13

C-0/08



C 0718

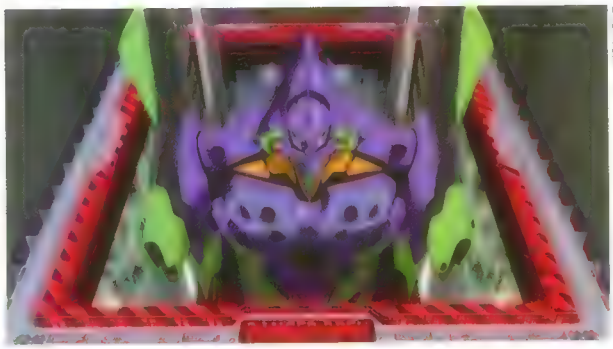
C 0714

C 0719

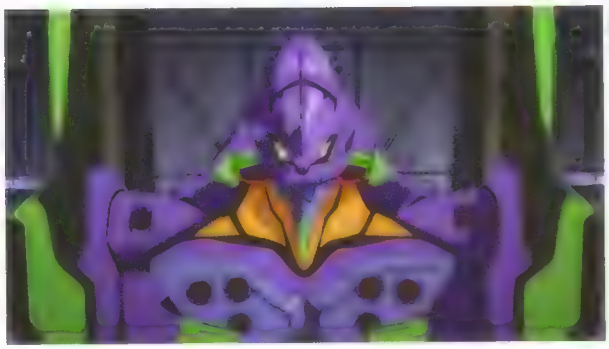
C 0715

SE 警報音

C 0720



C 0716A



C 0721

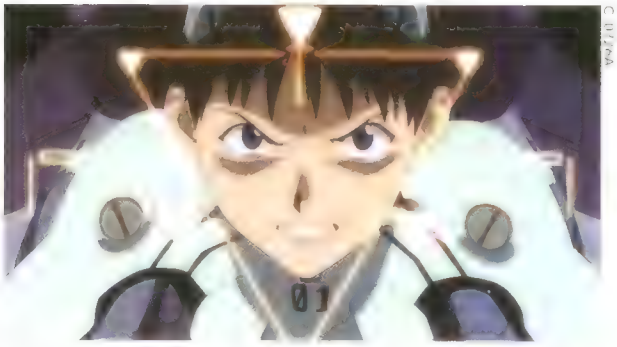
C 0716B

C 0717

C-0726

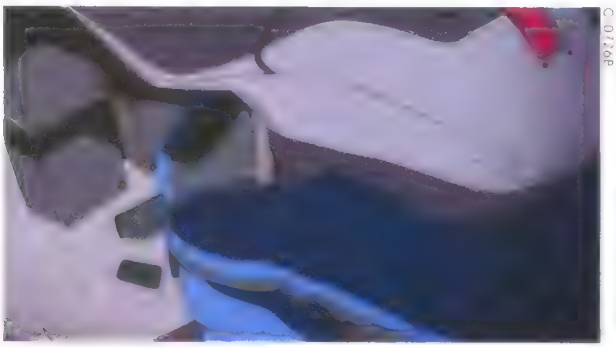
C-0722

[illegible]



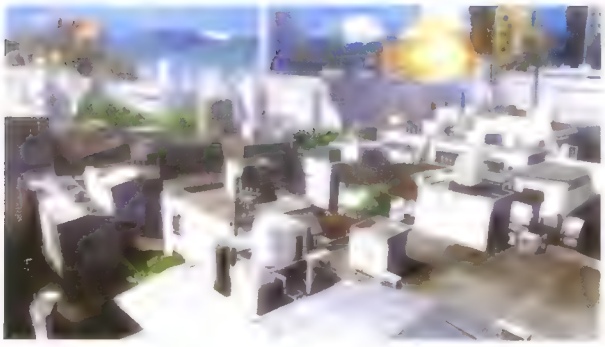
C-0726A

[illegible]



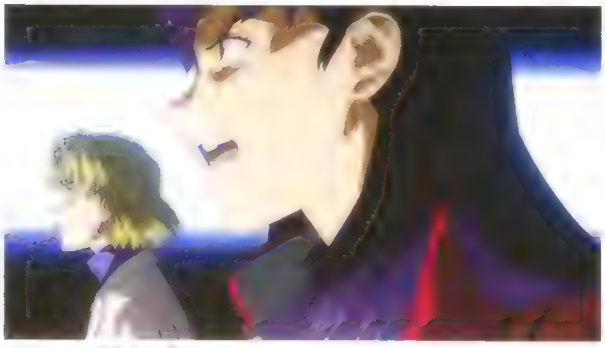
C-0726B

C-0723



C-0730

C-0724



C-0732

[illegible]

C-0731

C-0732

C-0733

C-0734

C-0735

C-0736

C-0737

C-0738

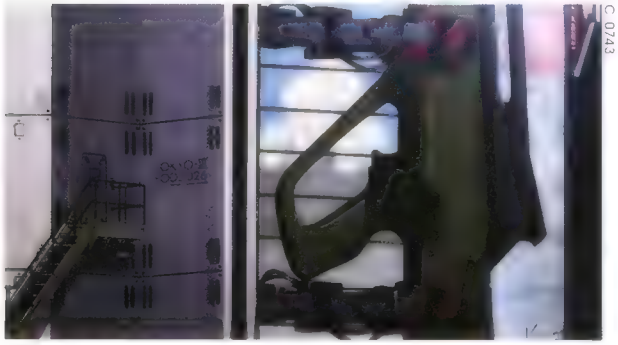
C-0739

C-0740

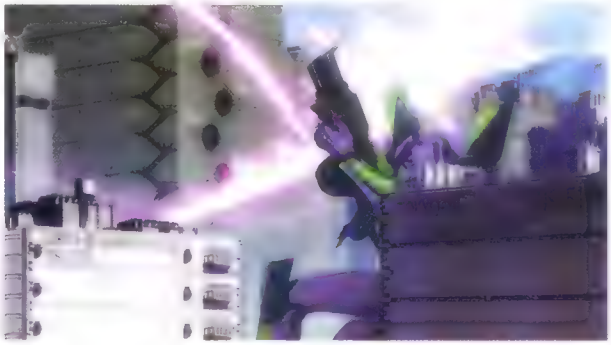
C-0741

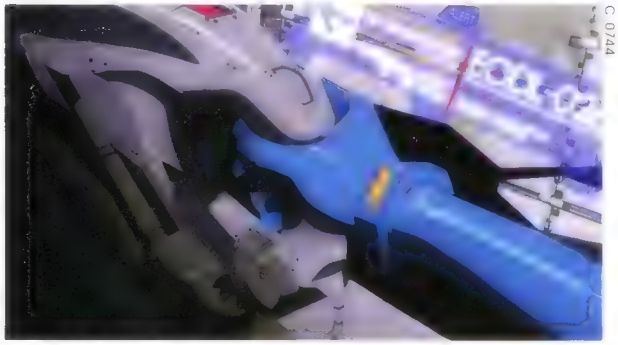
C-0742

C-0738


C-0743

ミサト「スピーカー，受け取って


C-0739


C-0744

ミサト「無線，ノンノ君？　ノンノ君？」

C-0745

ケンスケ「(off)あ，ちょっ

C-0740

トウジ「何や，もうやられとるこ[illegible]」
ケンスケ「大丈夫

C-0746

ケンスケ「や，ば降ったのが効いてるのかな」
トウジ「[illegible]るさ[illegible]」

C-0741

ミサト「予備のフィルムを出すね」

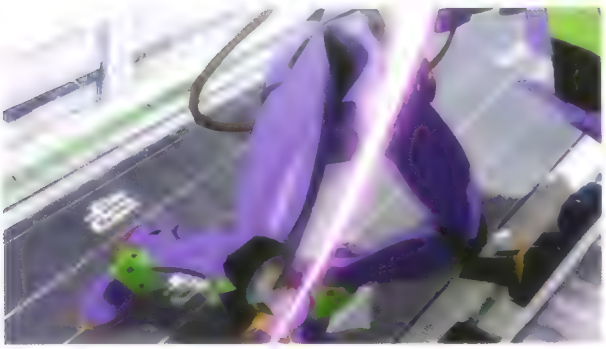
C-0747

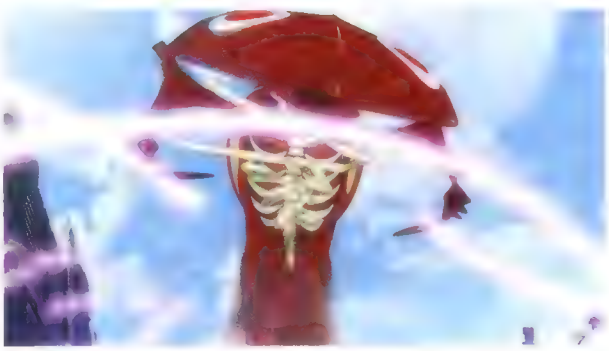
C-0748

(↑PAN)

C-0749

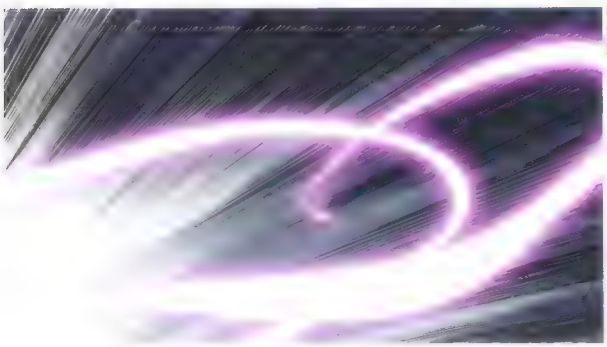
C-0751





C-0750

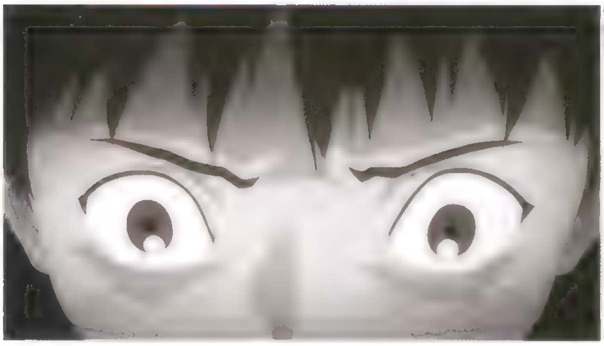
C-0752



C-0753

C 0758

C 0755



C 0759

C 0756

C 0760

C-0766

C-0761

C-0767

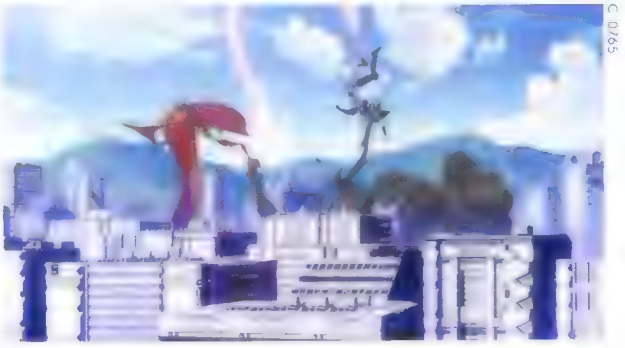
C-0762

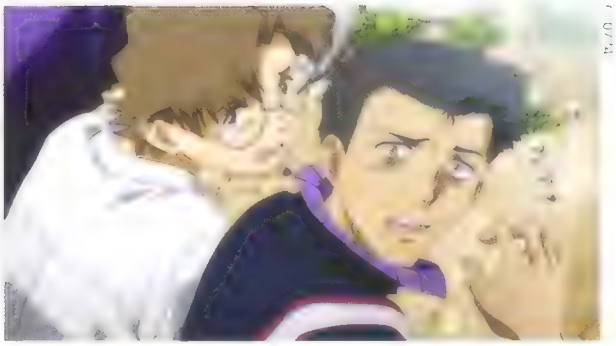
C-0763

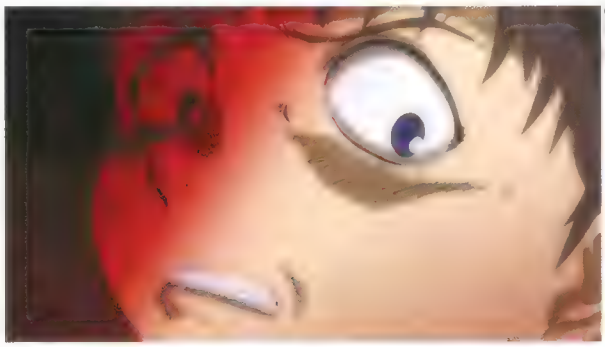
C-0768

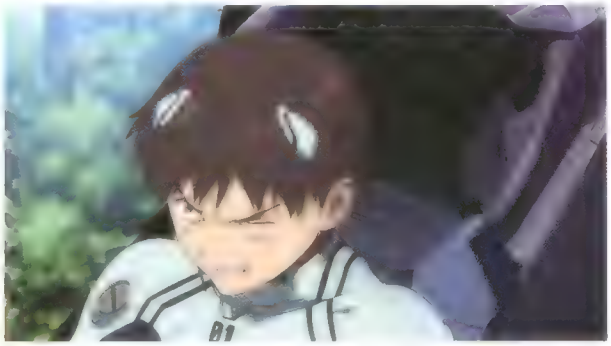
C-0764

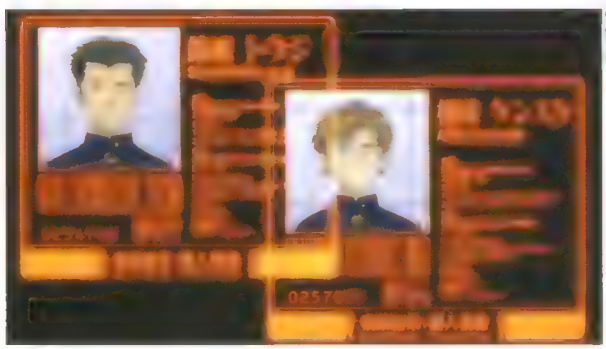
C-0769

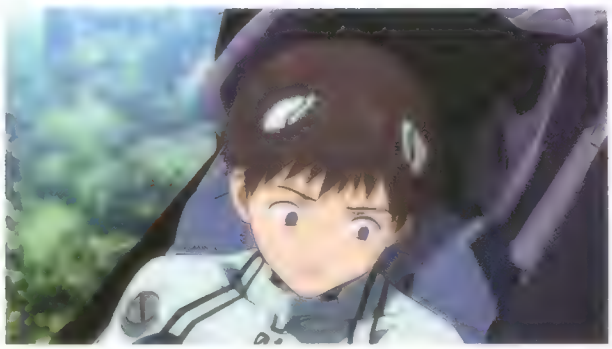

C-0765

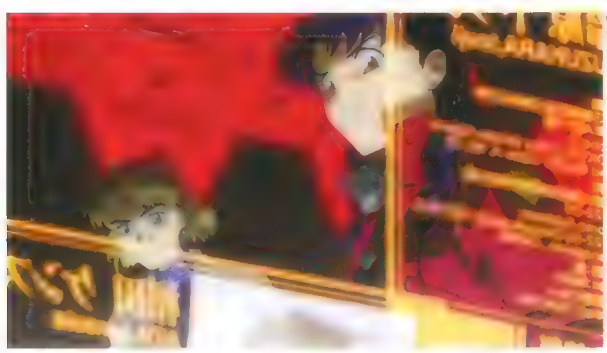












C-0784

C-0779

C-0785

C-0780

C-0786

C-0781

C-0787

C-0782

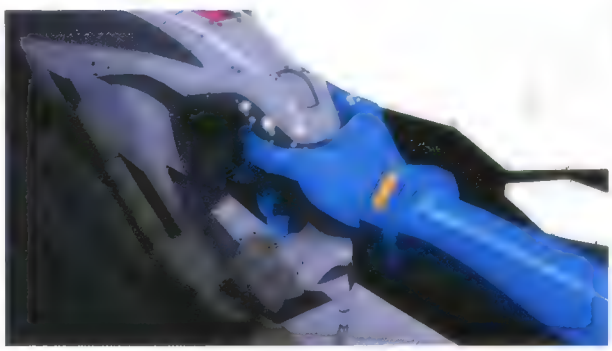
C-0788

C-0783

C-0789

C-0790

C-0791



C-0792

C-0793

C-0794

C-0794A

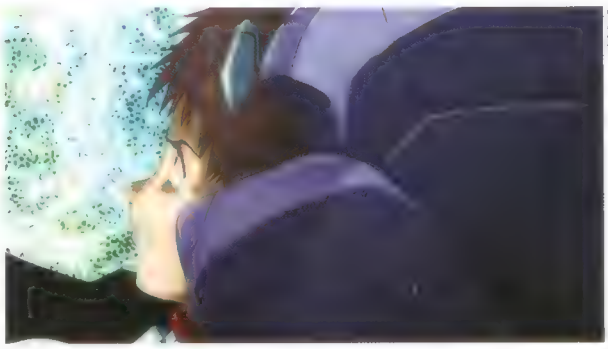
C-0794B

C-0796

SE キュー 作動音 停止

C-0800

C-0797



C-0801

C-0798

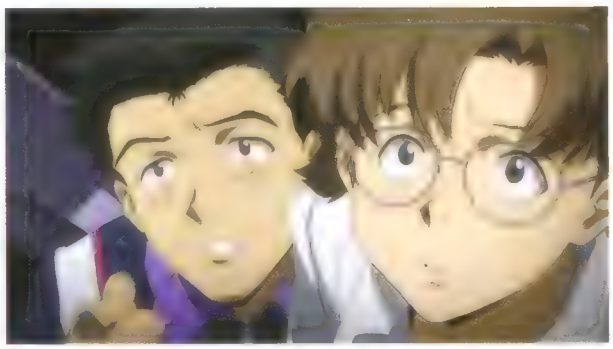
C-0802

SE ドド… 小音

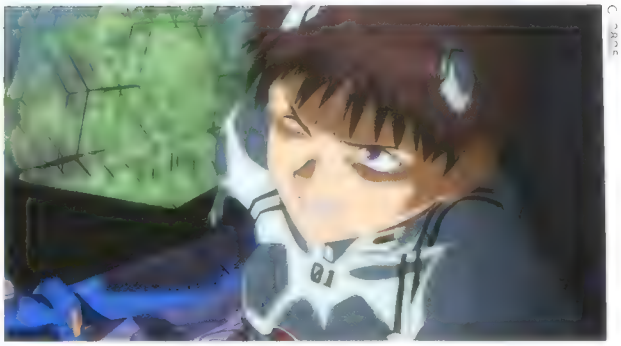
C-0799

C-0803

C-0804



C-0808


C-0805

C-0809

SE

C-0806

C-0810

ミサト「無線」「ロボットを3号機」「山口東埠」「後退」
ハウ「転校生」「後ろ」「後ろ」

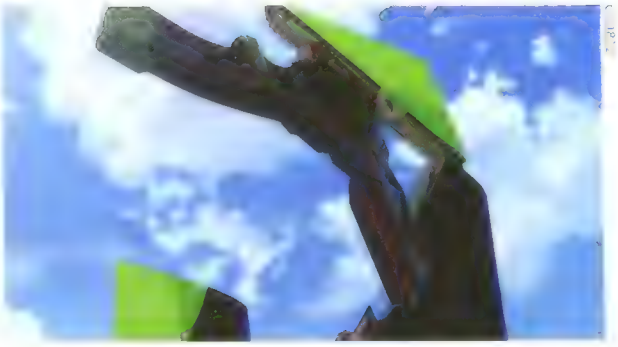
C-0811

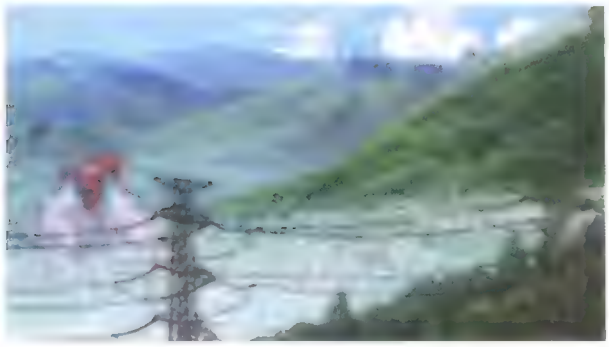
「ナイト」「逃げて」「逃げて」「逃げて」
「ウ」「ハ」「転校生」

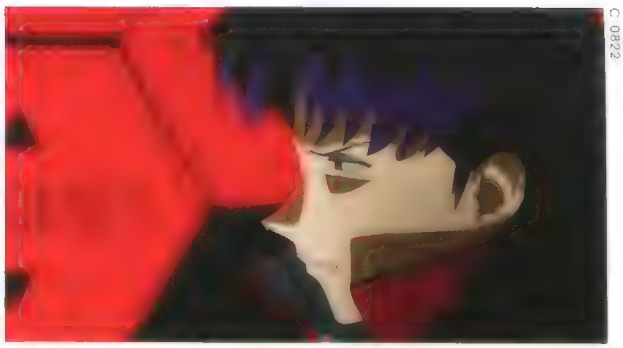
「逃げて」「逃げて」

C-0807

ミサト「今より後退」

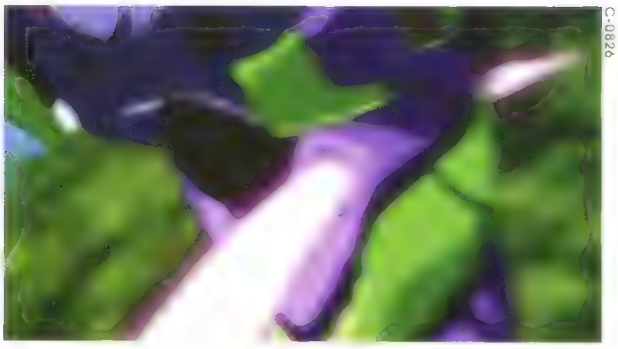




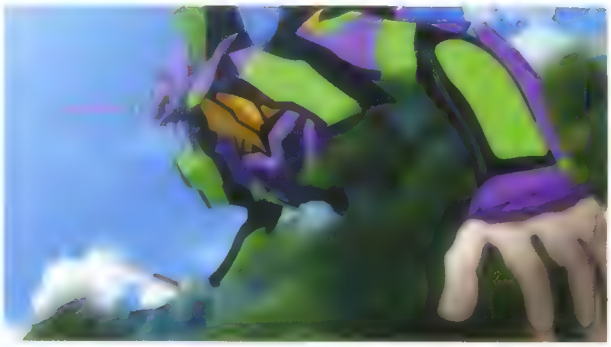


C-0822

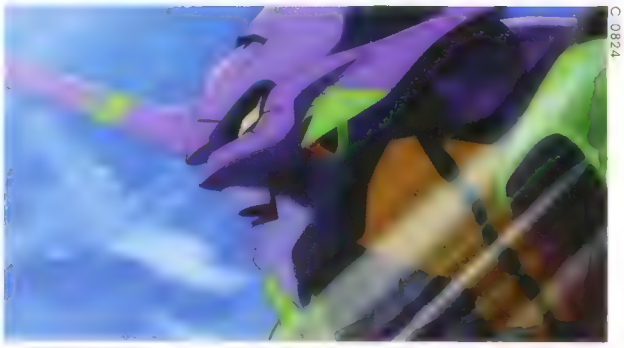
ミサト：「あの、バカ！」



C-0823

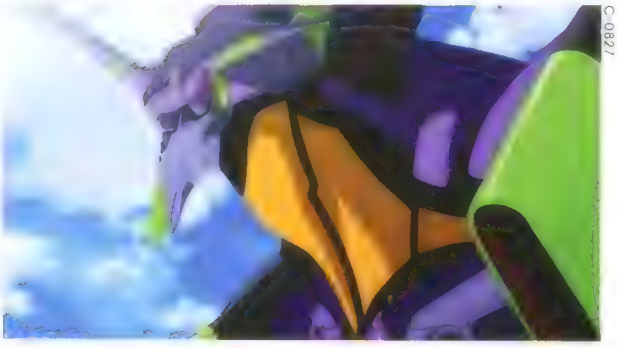


C-0824



C-0825

C-0826



C-0827

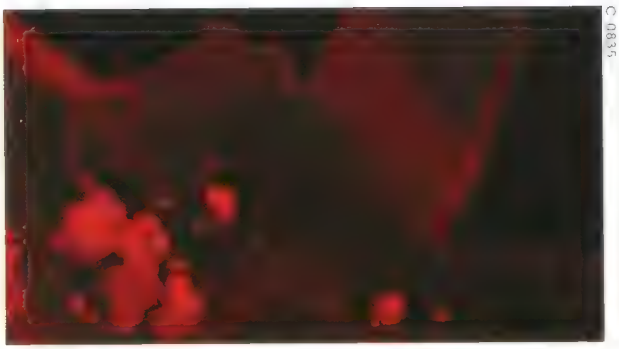
C-0828

シンジ：「ウグ！」

C-0829

C-0830

ミサト：「スピーカー」

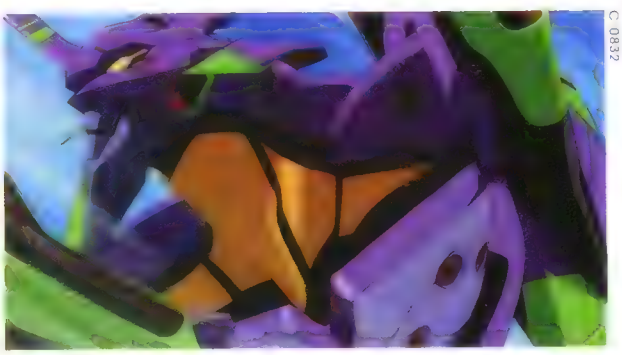


C-0835

C-0831

ンンン「ああああ」

C-0836



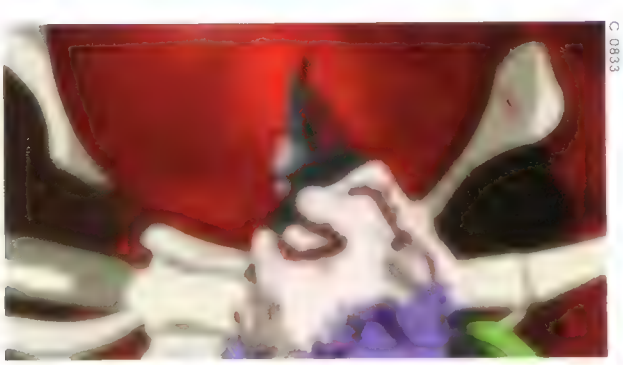
C-0832

C-0837

ンンン「ああああ」

C-0838

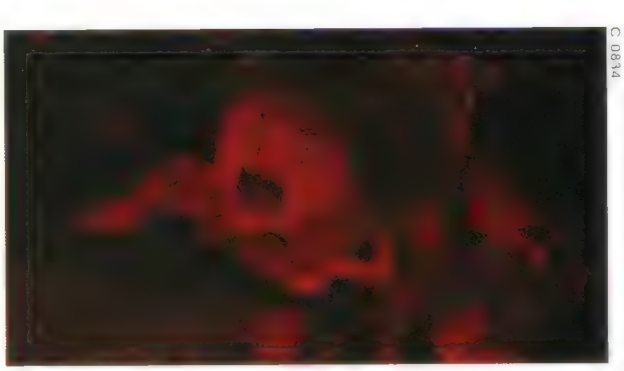
伊吹「初号機　活動限界まで」



C-0833

C-0839

伊吹「あ[illegible]」



C-0834

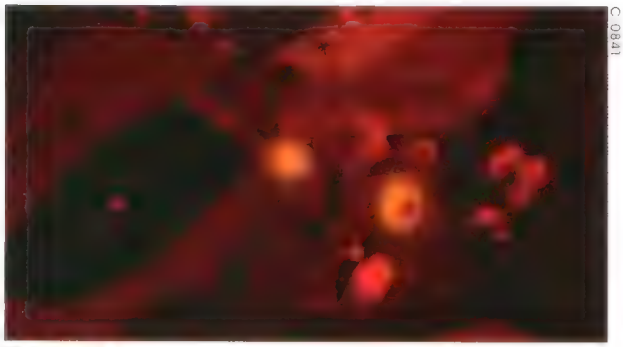
ンンン「ああああ」

C-0844

C-0840

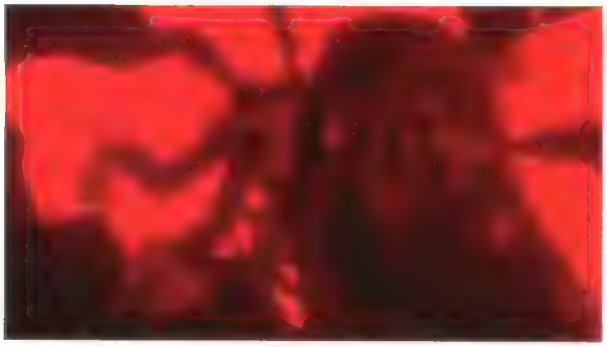
伊吹 28

C-0845



C-0841

伊吹 27 26



C-0846

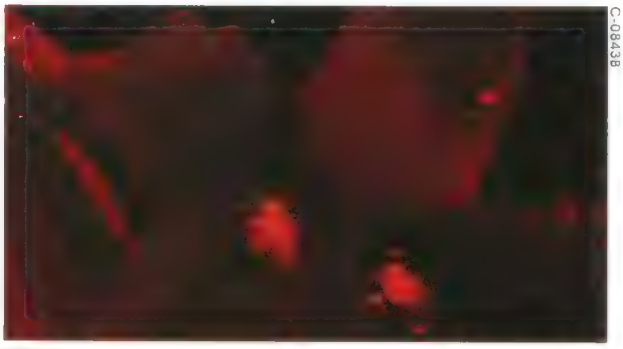
伊吹 13 12

C-0843A

伊吹 25 24

C-0847

伊吹 11 10



C-0843B

伊吹 23

C-0848

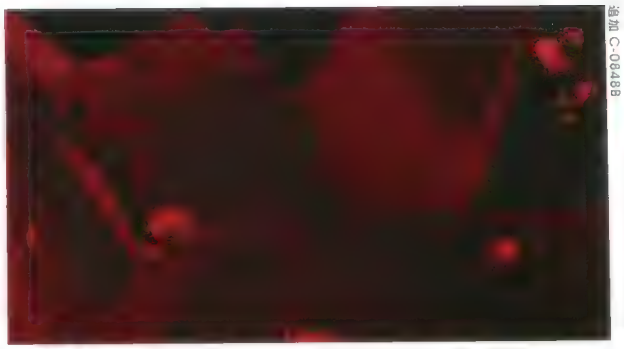
伊吹 9 8

追加 C-0843C

伊吹 22

C-0851

伊吹 2



追加 C-0848B

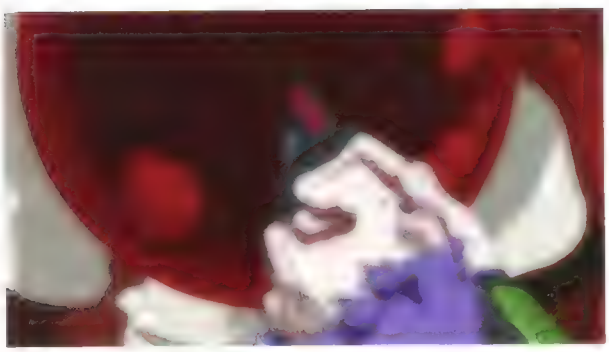
伊吹 7

C-0852

伊吹 1

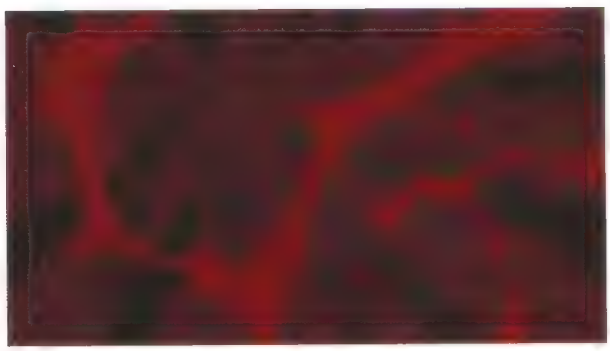
C-0849

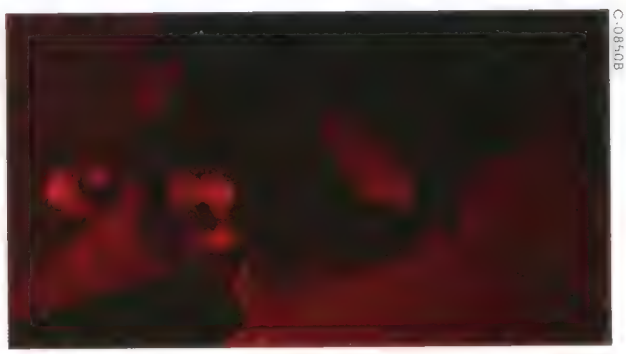
伊吹 6



C-0850A

伊吹 5

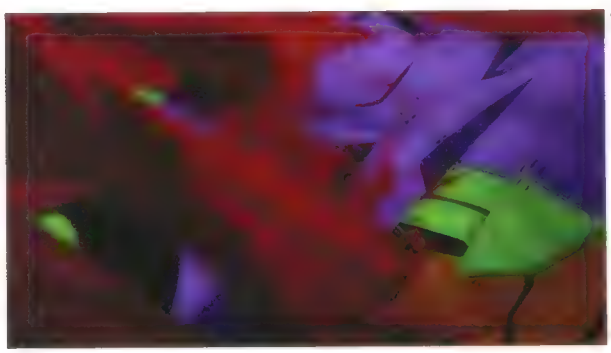




C-0850B

伊吹 4

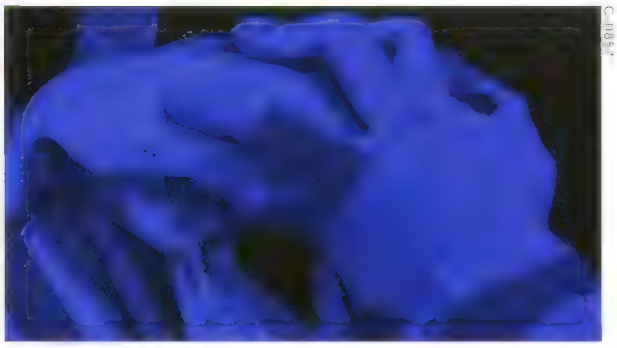
あああああ



C-0853

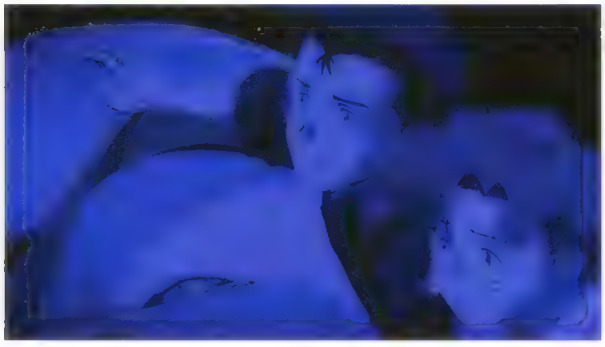
C-0850C

伊吹 3



C-0857

[illegible] 再生へ続く

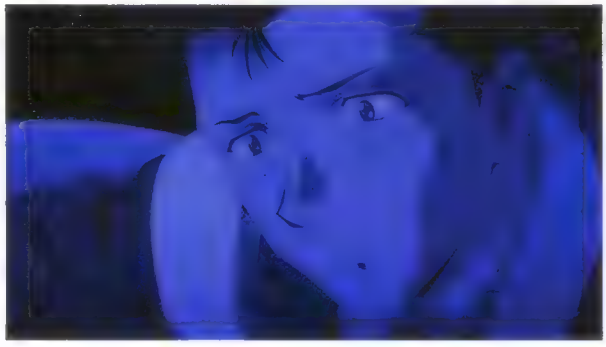


C-0858

[illegible]

C-0859

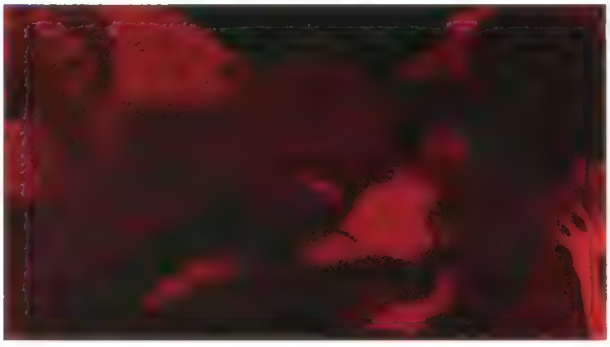
[illegible]



C-0860

C-0861

C-0854



C-0855

伊吹「エウ＝初号機、活動を停止」

C-0856

青葉（off）「目標は完全、形象崩壊しました」

C-0868

C-0865A

C-0870

C-0865B

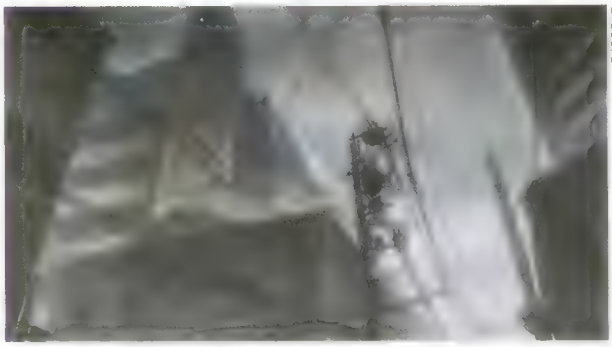
C-0871

[illegible]私[illegible]会を無視したの？

C-0866

C-0872

[illegible]


C-0867B

C-0873

[illegible]あ[illegible]作戦責任者は私[illegible]

C-0869

C-0879

ミサト「…あんた本当にわかってんでしょうね」

C-0881

シンジ「ええ、わかってますよ、ミサトさん。もういいじゃないですか、勝ったんだから。
言われれば乗りますよ。乗ればいいんでしょ！」

C-0882

C-0883

C-0884

C-0874

C-0875

ミサト「あなたには私の命令に従う義務があるの」

C-0876

ミサト「判るわね」
シンジ「はい」

C-0877

ミサト「今後　こういうことのないように」

C-0878

シンジ「はい」

C-0885A

C-0885B

C-0886A

C-0886B

C-0887

ミサト[illegible]

C-0888

ミ[illegible]：[illegible]わ[illegible]先に帰って休んでなさい

C-0889

C-0890

SE　ドアの閉まる音

C-0891

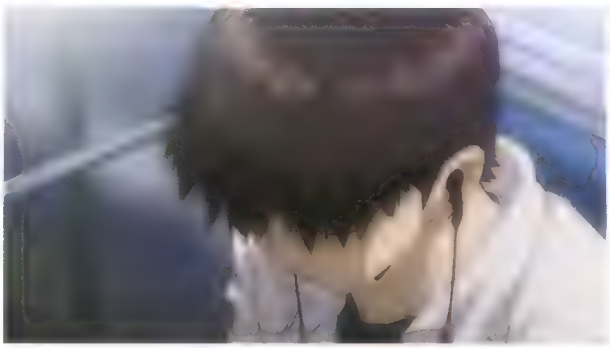
C-0892

SE　[illegible]頼[illegible]音

C-0893

C-0894

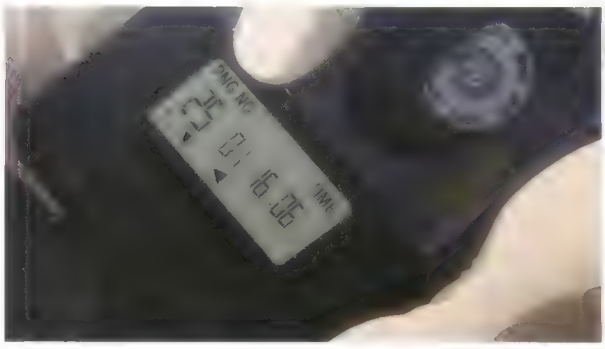
電車　ウ　　女，次は長尾駅　長尾駅です　お出口　右側，変わります



C-0895

C-0896

SE　カチ　　S DAT のリハ　ス音



C-0898

SE　カチ

C-0897

C-0907

C-0903

風俗アナウンス｜女｜「日ーコ！ト、ご体験ください！特別サービス！明日ご来店を貴方、待ってる特別サービス！」

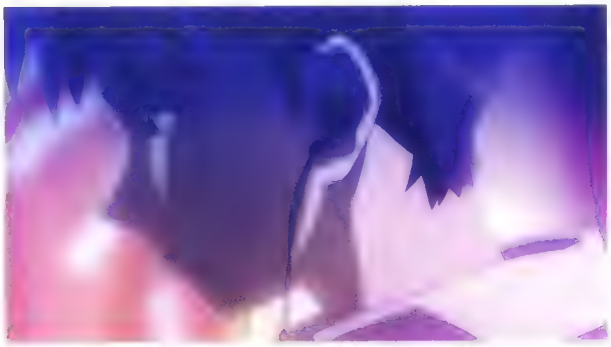
C-0908

ミサト「帰らないつもりね」

C-0904

風俗アナウンス｜女｜「はい、安いよ安いよ♥ 若いピチピチギャルが出血大サービス！」

ミサト「あ！バカ」

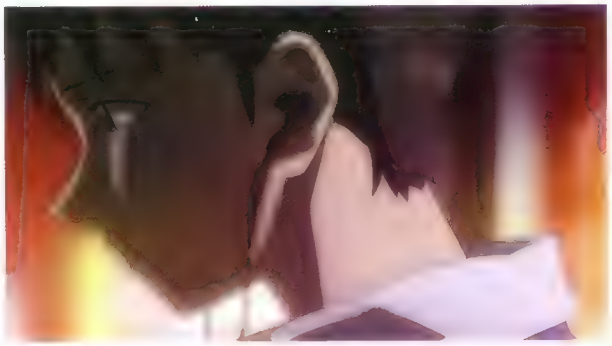


C-0905

風俗アナウンス｜女｜「超絶キャあなたを、極楽へご案内、イきます！」

C-0909

ネコ「ニャオ」

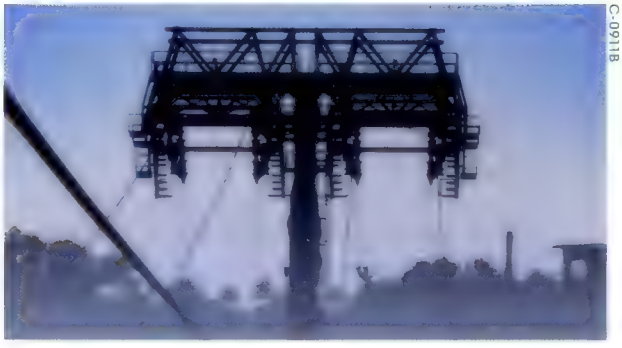


C-0910

C-0906

C-0913

C-0911A



C-0911B

C-0914

C-0912

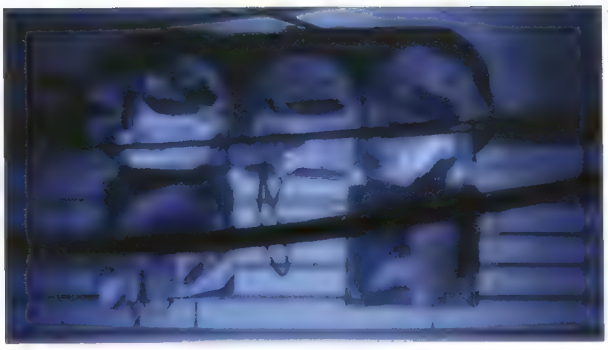
C-0915

(←PAN)

C-0917A

C-0916

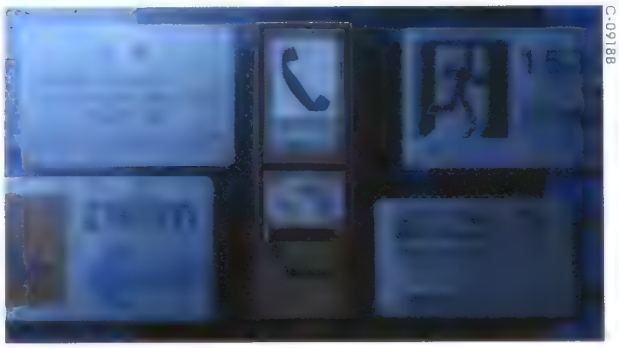
先生 (off)「碇　碇シンジ」



C-0918A

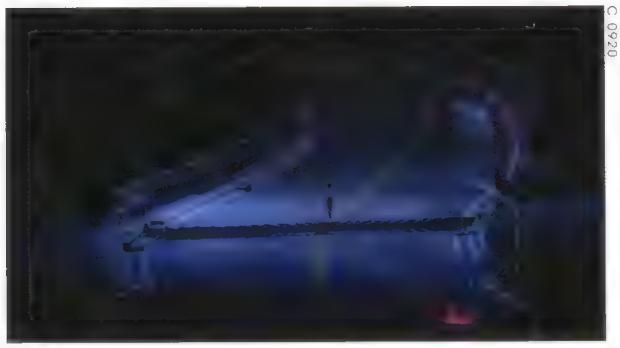
C-0918B

先生（off）「この…転入早々…お…体が…」



C-0919

C-0920



C-0921

C-0917D

先生（off）「まや…」

C-0917E

先生（off）「さぁ…先日のテストを返す」

C-0917F

一同「えぇぇぇ～～!!」

C-0926

C-0922

シンジ！！

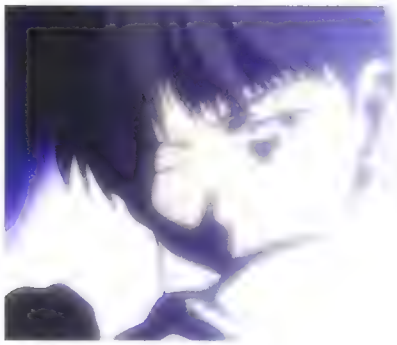
C-0927

C-0923

（↑PAN）

C-0928

C-0924

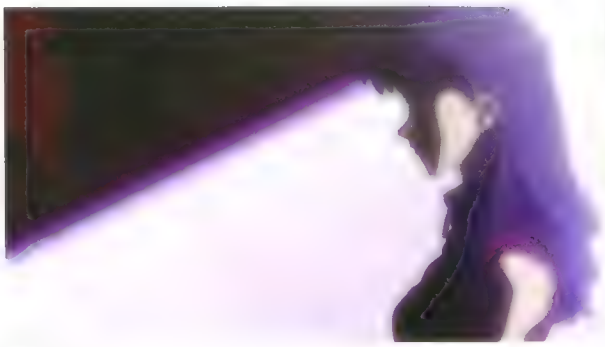


C-0929

シンジ！！

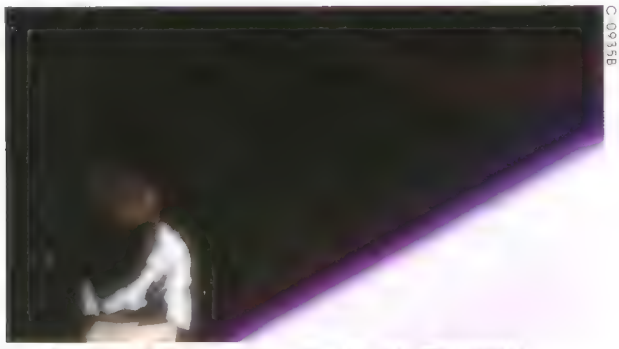
C-0925

シンジ…いいですよ　もう　ミサトさんの所へ連れていってください！



C-0934B

C-0930



C-0935B

ノンノ「いいですよ、乗りますよ。それくらいなら…ってかんじ。僕はいいですよ」

C-0933

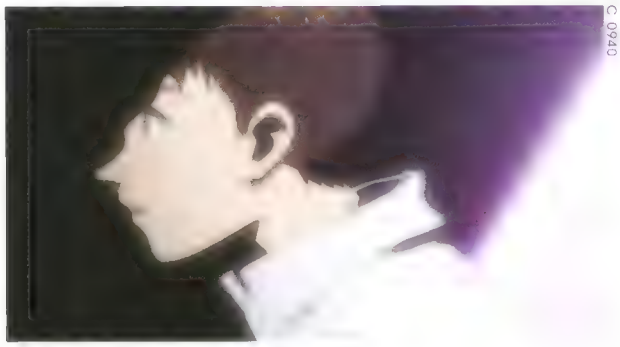
ミサト(off)「歩き出して、気がすんだ？破壊、ノ君」

C-0939

ミサト「みな、[illegible]」

ノンノ「僕は無理[illegible]」

ノンノ「[illegible]、別に、どうでもよくないまって、何もかも、もう僕、自由なんじゃないんだ」

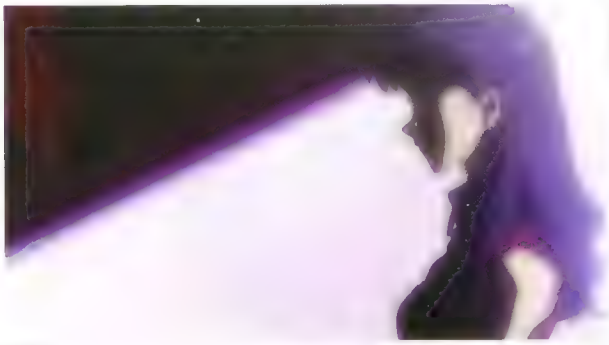


C-0940

ミサト「いい加減、しなさい！」

ノンノ「[illegible]」

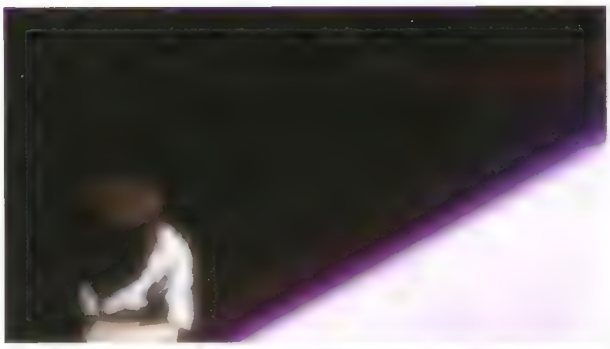
ミサト「他人事ないで堂々[illegible]」



C-0934A

ミサト

C-0943



C-0935A

ノンノ「[illegible]いや僕はエヴ[illegible]、乗るしかない[illegible]」

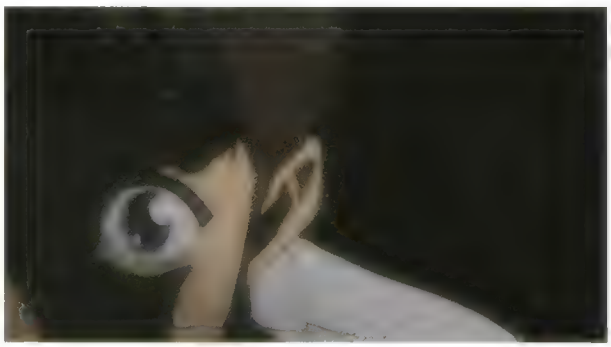
C 0959A

ケンスケ「…動いた、零号機」
冬月「14年前のファーストチルドレン、碇ゲンドウ」

SE「バシュッ」扉の閉まる音

C 0959B

冬月「碇ゲンドウ」



C 0948

「ンン…」

C 0959C

冬月(off)「適任者である」

C 0956

冬月「結局」

C 0957

冬月「お前の息子は予定通りエヴァを動かせる」

C 0958

ケンスケ「ああ、次はチェンジ、接近させる」

C-0965

トウ　く　　れ　貸　借　チ　ュ　ウ　や　義　「　ま　ん　ウ　ま　ち　硬

C-0960

SE　セミの声

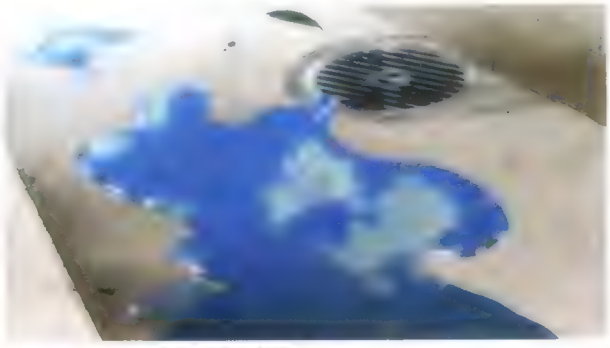
C-0966

ケ　ス　ケ　ア　ア

C-0961

トウ　(off)　手抜きはなしや！ええか！早よ　せい

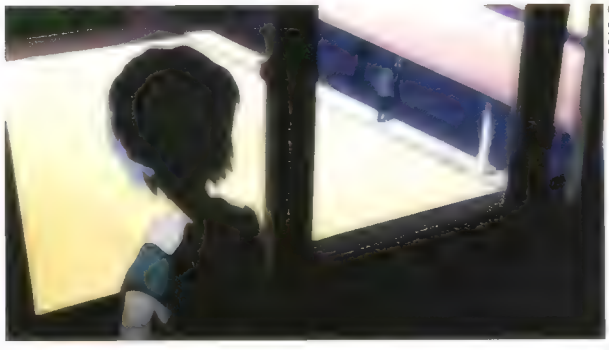
C-0967



C-0962

ウ　ン　(off)　せやな　と　ワ　ン　気持ちも殺ぎ　ん

ケ　ス　ケ　(off)　ま　　っ　ン　実直な奴　か　ら　さ　　頼む！

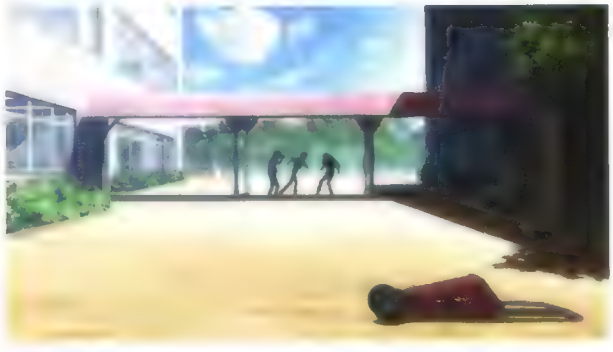


C-0968

C-0963

SE　トカ

C-0969

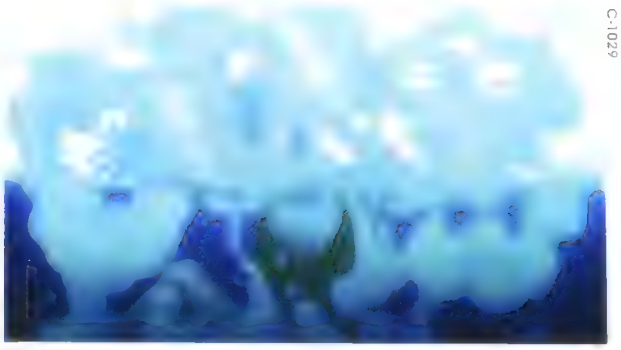


C-0964

トウ

C-1034

男子 (off)「たのむ！オレにもう一度チャンスをくれ



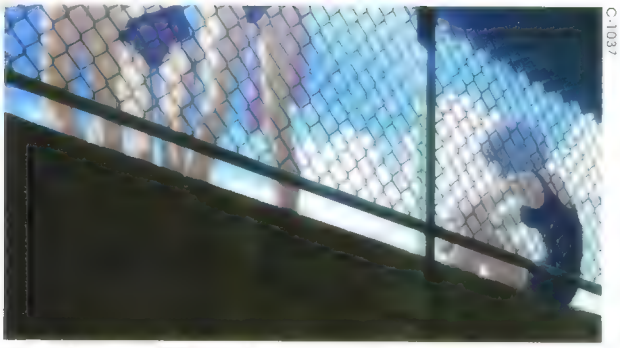
C-1029

SE　ドプン

C-1036

女子 [illegible]　男子が見てる [illegible]
女子 [illegible]
女子 [illegible]

C-1030



C-1037

女子 (off)「なんか緊張 [illegible] 目っきやば [illegible]

C-1031

女子 [illegible]　カヨコ！

C-1039

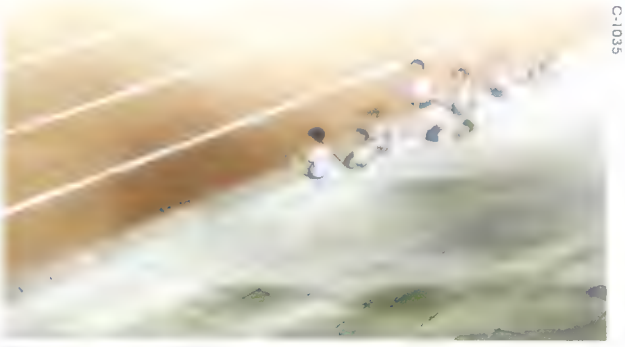
女子 (off)「碇くう～ん♡」

C-1033

女子 (off)「負けちゃ [illegible]
女子 (off)「負けたらピザおごりだぞ

C-1038

[illegible] (off)　綾波レ [illegible]　14 [illegible]



C-1035

男子 (off)「おっしゃあ、行け行け!!
男子 (off)「させるか [illegible]

C-0971

女 スピーカー 第3メモリー、に問題発生！ (↑PAN)
女 スピーカー 中枢神経素子に内部拒絶が始まっています

C-1020

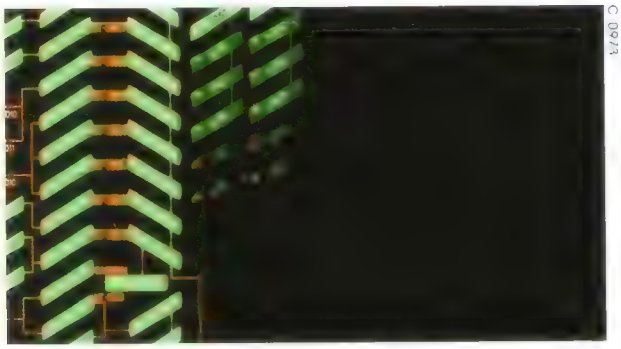
リツコ(off)｜マルドゥークの報告書によって選ばれた最初の適格者 (↑PAN)
第1の少女。すなわちエヴァンゲリオン試作零号機、専属操縦者
過去の経緯は白紙。すべて、抹消済み

C-0972

女｜無線｜電気導システム 接続｜作動中

C-1021

シンジ(off)｜そんな綾波を助けるため。父さんが。

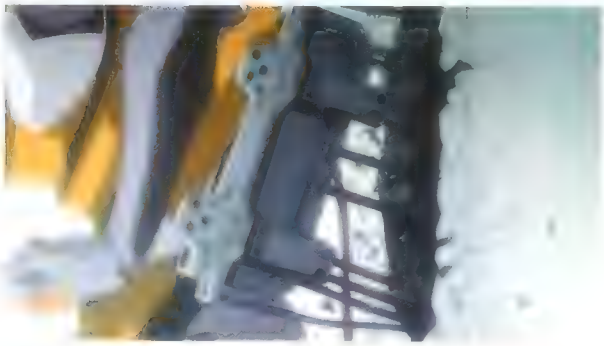


C-0973

伊吹(off)｜パルス 逆流！

C-0970

SE システム異常音
伊吹(off)｜起動システム、異常発生



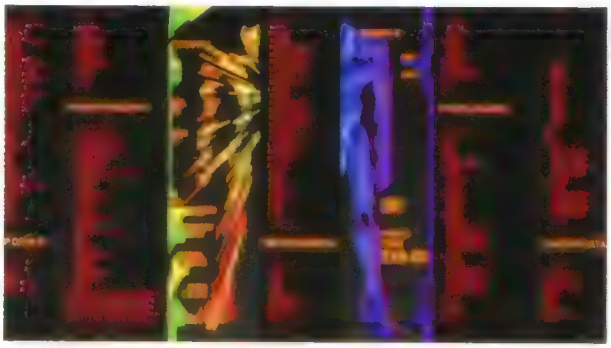
C-0981

C-0969B

伊吹 (off)「止められません」

C-0982

伊吹 (off)「電源機 制御不能」



C-0975

女 (off)「直通モニター 断線しました」

C-0983

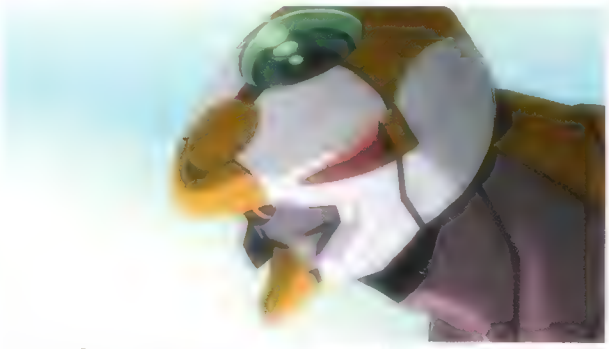
ケンスケ「実験中止 電源落とせ」

C-0977

伊吹 (off)「フラク深度不安定 エヴ 側に引きこもれ」「きます」

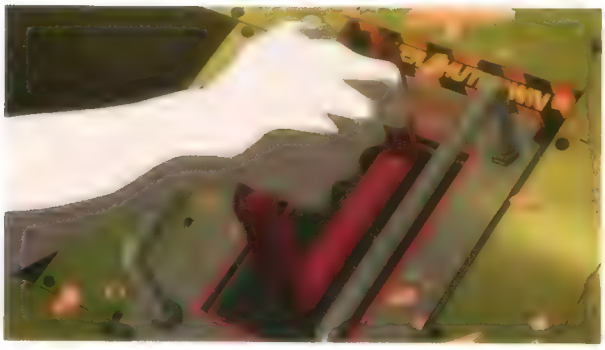
C-0984

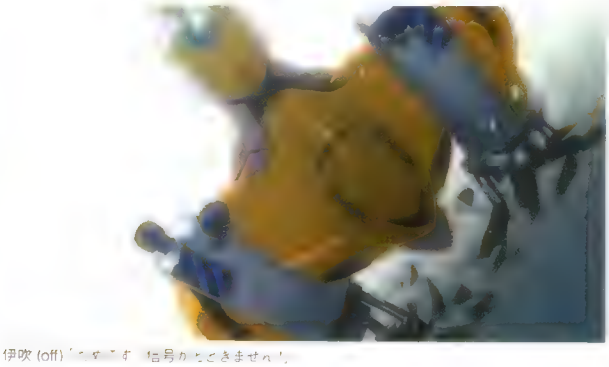
リツコ (off)「ハイ」



C-0979

リツコ (off)「コンタクト停止 6番までの回路を緊急閉鎖」





C-0980

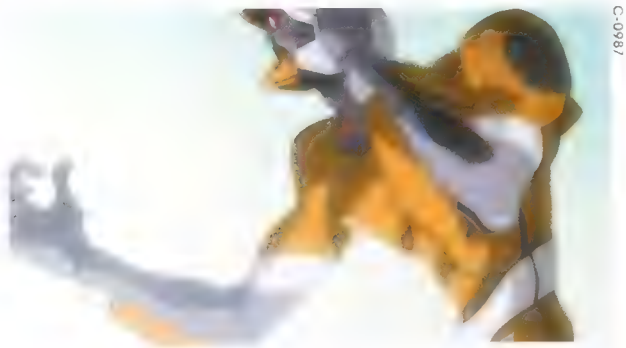
伊吹 (off)「シンクロ率 信号がとどきません」

C-0985

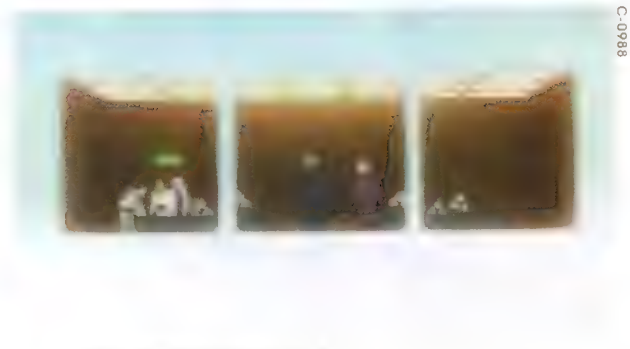
C-0990

C-0986

C-0991


C-0987

C-0992


C-0988

リツコ「零号機、予備電源に切り替わりました」

C-0993

…危険です！下が…下を。

C-0989

伊吹 (off)「完全停止まであと 35 秒」
男 (スピーカー)「自動制動システム、未だ作動せず」

C-0994

C-1000

C-0995

伊吹「オートエジェクション、作動します！」

C-1001

女（スピーカー）「零号機、いまだ制御不能！」

C-0996

ゲンドウ「いかん！」

リツコ「特殊ベークライト、急いで！」

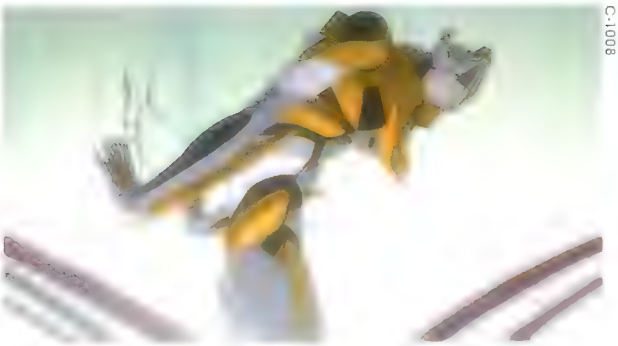
C-0997

C-1002

C-0998

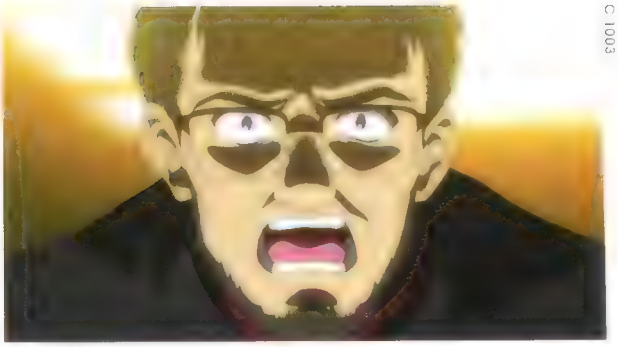
C-0999

C-1008



伊吹「スピーカー　完全停止まで　10秒」

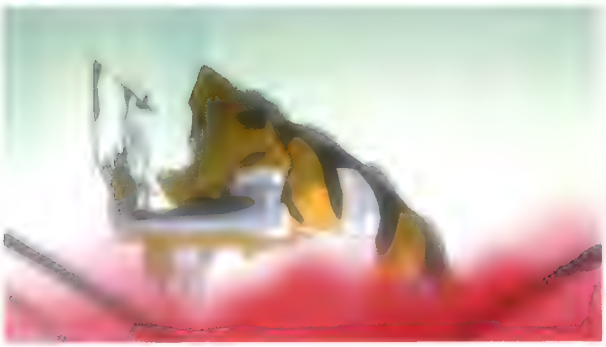
C-1003



ケントウ＊レイ！

伊吹「スピーカー　8　7　6　5　4　3　2　1」

C-1004

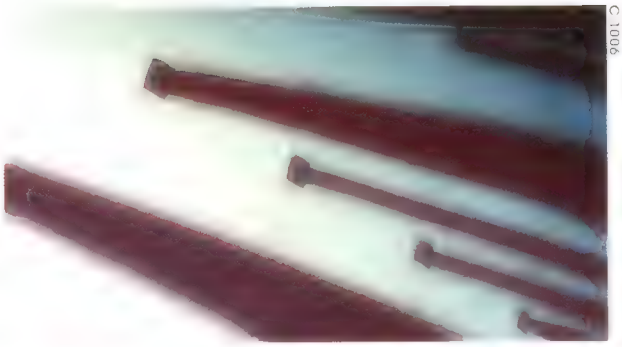


伊吹（スピーカー）「零号機、完全停止」

C-1005

C-1009

C-1006

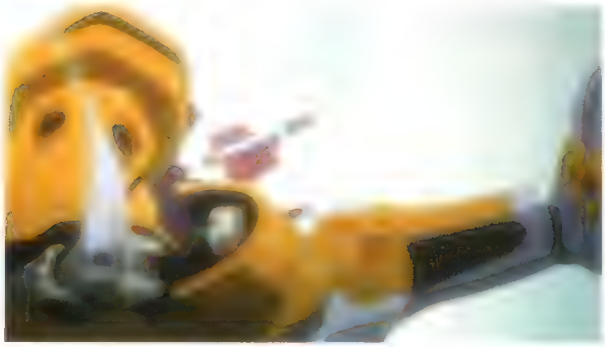


C-1010

C-1007

C 1014

C 1013



C 1015

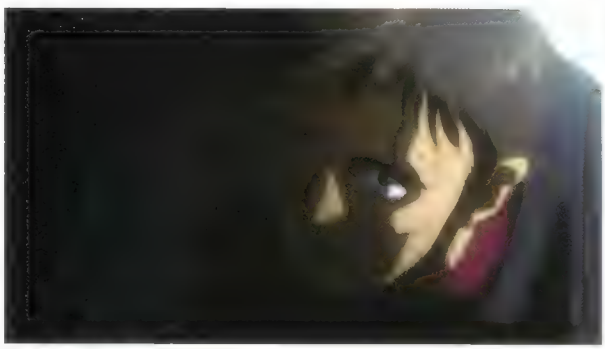
ケンドウ　レイ　大丈夫ッ？

ケンドウ　[illegible]

C 1016

ケンドウ　レイ！
レイ　[illegible]

C 1012



C 1017

ケンドウ　そうか。

C 1013

C 1018

SE　ピン　レンズ、ヒビが入る

ケンドウ　つくっ！！

C-1022

ユイ(off)「すごい、信じられない…」
ユイコ(off)「正規の報告書では削除されていたと、言われもの事実よ」

C-1027

C-1023

ミサト(off)「それな暴走事故を起こして零号機の凍結解除、ちと性急過ぎな、?」

C-1028

ユイ(off)「神経接続、調整?」「何を…」
ミサト(off)「見、再配備…」

C-1024

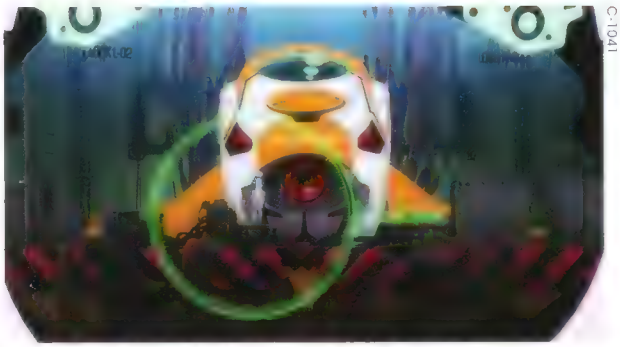
ユイコ(off)「使徒は再び現れた!」

C-1040

シンジ(mono)「綾波…」

C-1025

リツコ(off)「戦力の増強は我々の急務よ」
ミサト(off)「それはそうだけど」



C-1041

女性オペレーター「エヴァ初号機は第3次装甲板、入ります。第6ケイジ内は、ジェイス3まで各システムを著しく…」

C-1026

リツコ(off)「レイの再起動実験はすでに検証済み。零号機本体にも問題はないわ」

C 1047

C 1042

女：スピーカー：「エントリープラグカバー、シナルデータはオールレンジ、メモリオール、コピーデータ決まります。
女：スピーカー：ハッチ、了解。回路接続。

C 1048

C 1043

女：スピーカー：「第3次実験、スタートします。

C 1049

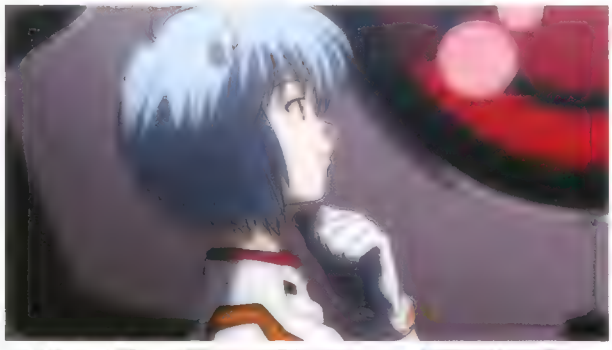
女：スピーカー：「零号機」伝導試験再開まで、マイナス150秒です。

C 1044

シンジ：「？」

C 1050

「明日、無線」、了解。定時。シンクロテスト第508プログラム終了。シンジ君、お疲れさまでした。

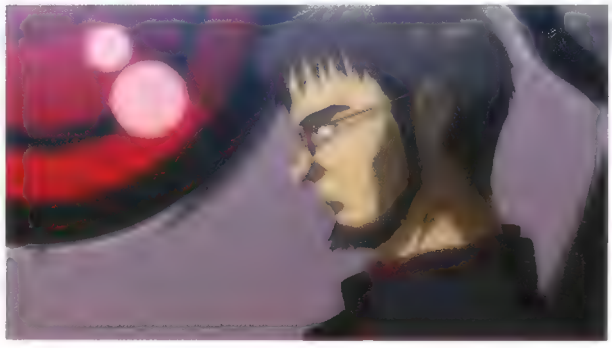


C 1045

女：スピーカー：「現在、初号機のシンクロ深度はゼロコンマ8。計測誤差は許容範囲内。

C 1051

シンジ：



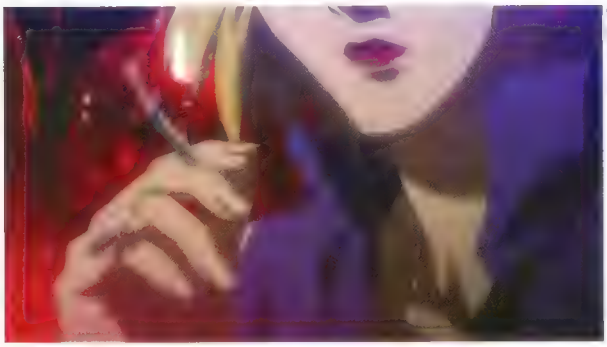
C 1046

C-1056

ミサト「多分、お父さんの、そのせいよ」

C-1052

ノンコ(off)「ねぇ、彼氏の生活は？」
ミサト(off)「まあね、少し慣れた」



C-1057

C-1053

ノンコ(off)「まだ緊張してんの？」

C-1058

ミサト「お父さん、自分を見て、私の顔が一番嫌いだって言ってた。ほんと嫌しいわよ」

C-1054

ノンコ「男と暮らすの初めてじゃないでしょ？」
ミサト「8年前とは違うわよ」

C-1059

ミサト「孤独を癒してくれる、愛情が欲しくてたまらない男ってね」

ミサト「今夜のは悪魔じゃないって」
ノンコ「それはどうかな」

C-1060

ノンコ「鈍くて確執、ミサトらしいな」

C-1055

ノンコ「ノンノ君（あなたがいるから残されたわけじゃないの？）」
ミサト「違うわ」
ノンコ「へ」

C-1065

ミサト「相変わらず、仕事一筋ね。
[illegible]

C-1066

ミサト「碇司令、どう？　実の息子、あれほど興味ないのかしら。」

C-1066

[illegible]君「正式なサキ、[illegible]」綾波レイの更新カード

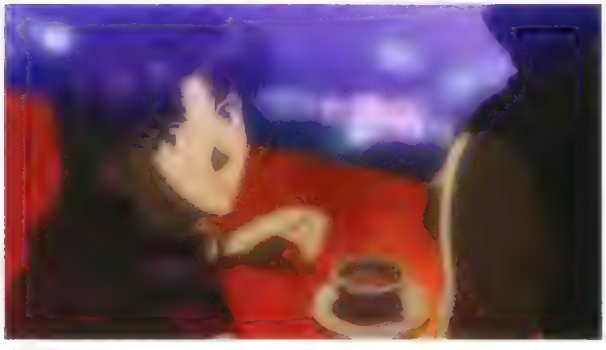
ミサト「レイとは話したりするみたいなのに、ファンス悪いわね。」

C-1067

ミサト「[illegible]
[illegible]度、そりゃ、明日[illegible]君、[illegible]」

C-1062

リツコ「最近の男はすぐかっ、自分[illegible]に興味ないのよ。」

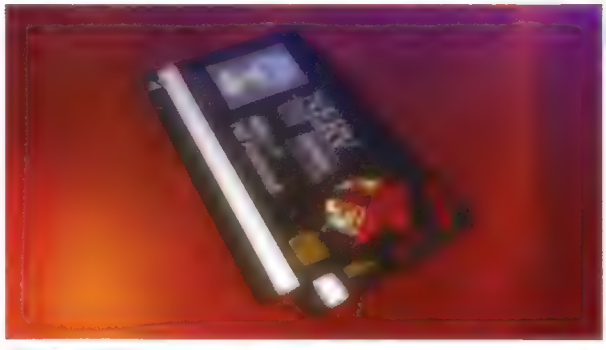


C-1068

ミサト「[illegible]」

C-1063

ミサト「女にはつらい時代になったわね。」



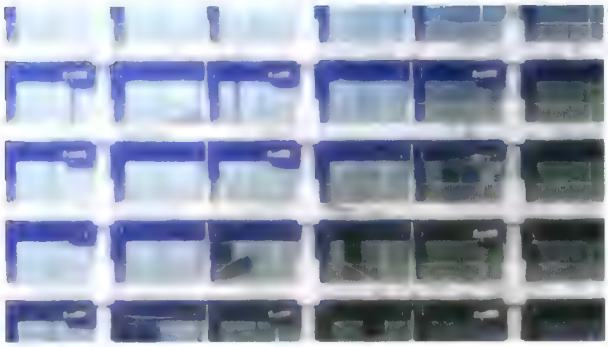
C-1069

ミサト「[illegible]」

C-1064

リツコ「さて、[illegible]、時間がない。戻らなくちゃ。」

C-1075
SE 工事音

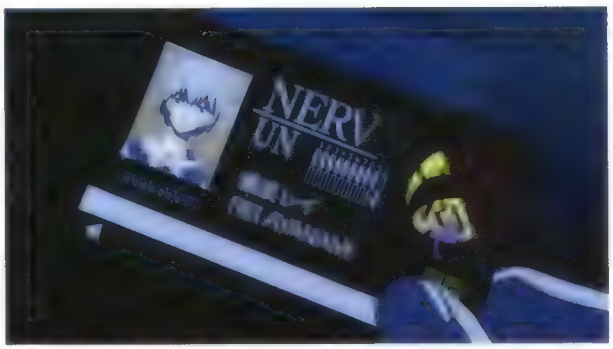

C-1076

C-1077

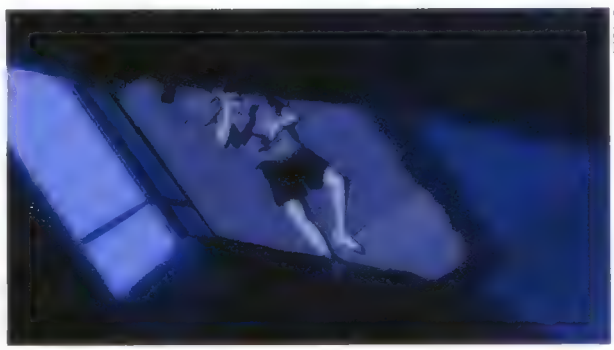
C-1078

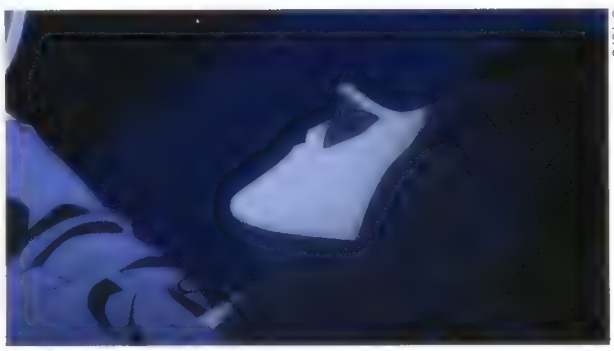
C-1079

C-1070



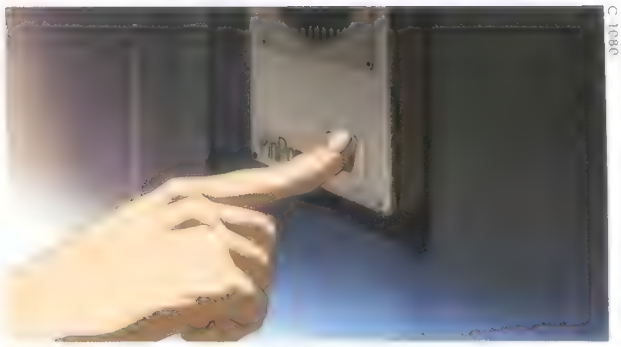
シンジ「綾波レイ」


C-1071


C-1073
シンジ「父さんはなんで笑ってるんだ」

C-1074
シンジ「なんで僕は笑わないんだ」

シンジ「綾波、入るよ」



C-1080

チャイム「鳴ってる」

C-1084

C-1081

C-1085

C-1082

シンジ「ごめんください」

C-1083

C-1086

シンジ「ごめんください、碇だけど」

C 1089

C 1087

C 1090

C 1088

C 1091

(→PAN)

C 1094

ンン 綾波ですかな ?

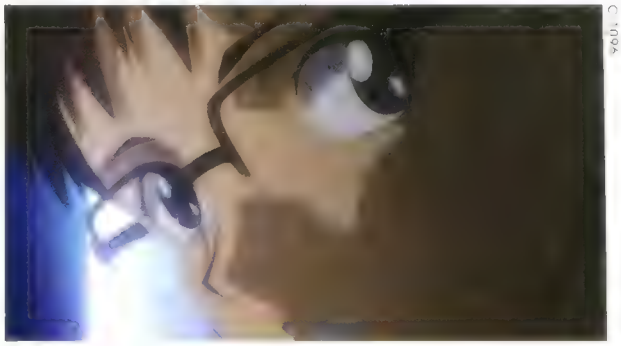
C 1092

C 1095

SE カーテン音

C 1093

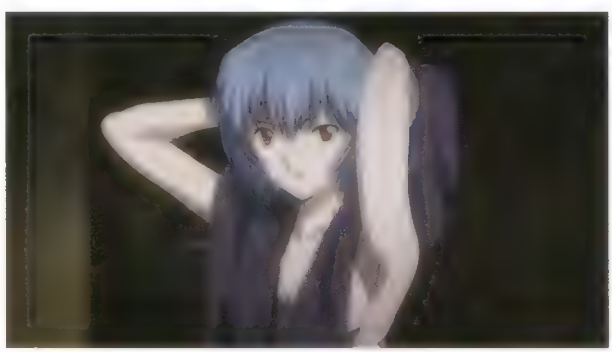
C-1101


C-1096

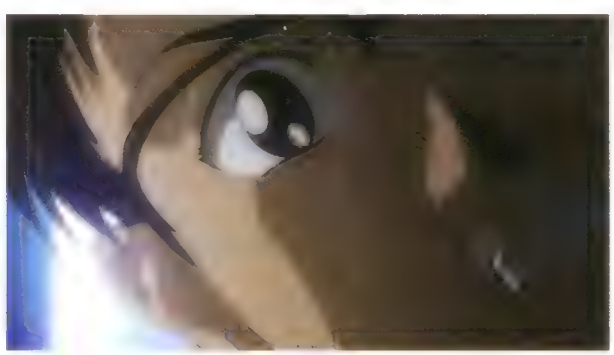
C-1102

C-1097

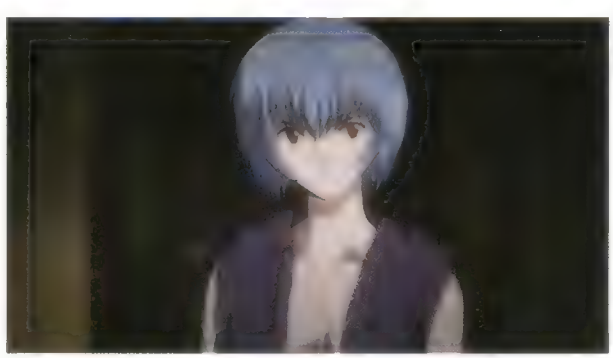
C-1103


C-1098

C-1104


C-1099

C-1105


C-1100

C_1106

C_1107

C_1108

C_1109

C_1110

C_1111

C_1112

C_1113

C-1114

C-1115

C-1116

C-1117

レイ！といてくれる？

C-1118

C-1119

C-1120

ンンン、

C-1121

ンン、あ　あぁ、

C-1122

C-1123

C-1124

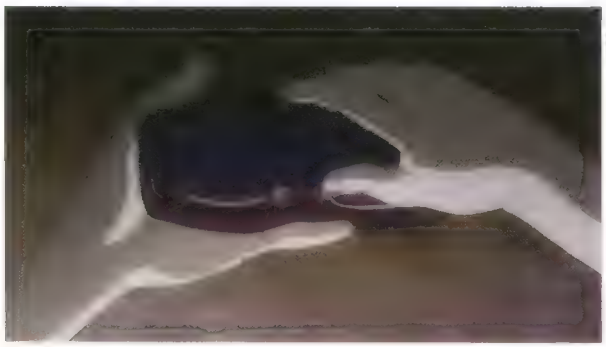
C-1125

C-1126

C-1127

C-1128

C-1129



C-1134

C-1130

シンジ(off)「カ　カード　カードを　新　くな　べ」

C-1135

C-1131

シンジ「と　届けてくれ　で」

C-1136

シンジ　ミサトが　忘れ　かと　　トントンなん
それ　ちゃい　慌　　も　誰も　出な　　カギの　開　ごゃって

シンジ「コク　ト」

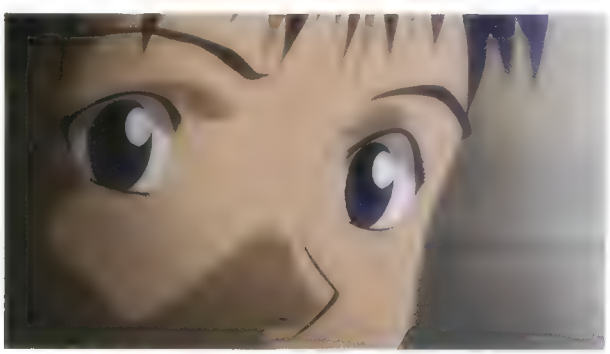
SE　カチャ　ハタン　玄関「トビ」閉まる音
シ　ン

C-1132

シンジ(off)「から　ちから」

C-1137

シンジ



C-1133

シンジ「別　それ　っも　は」

SE ピピ

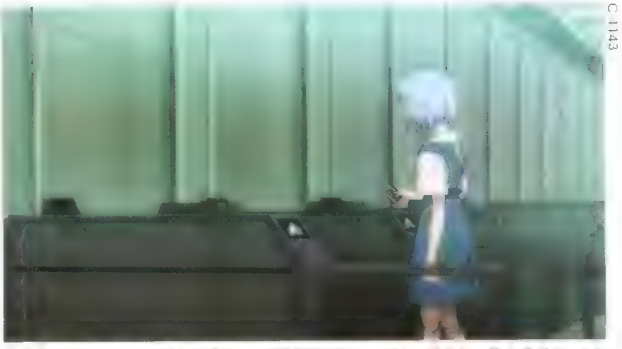
C-1142

SE 列車の走行音

C-1147

シンジ「れ、綾波の新しいパイロットさん、初めまして」

C-1143



「ナウシカ」女「セントラルドグマは、現在開放中です。フロア3は、第4直通ゲートを利用してください」

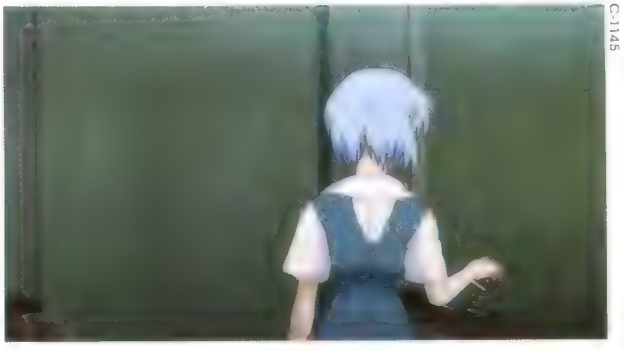
シンジ「あ」

C-1144

SE ピンポンエラー音

C-1148

C-1145



SE カシャー

C-1146

SE ピンポンエラー音

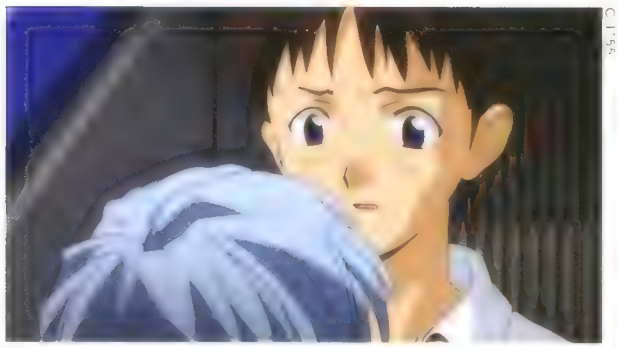
C 1152

レイ　信じてます　ユイさんの事

C 1153

シンジ　なぜ　僕を　わかる　親しみ

C 1154



C 1155

シンジ　あ

C 1149

ミサトさん

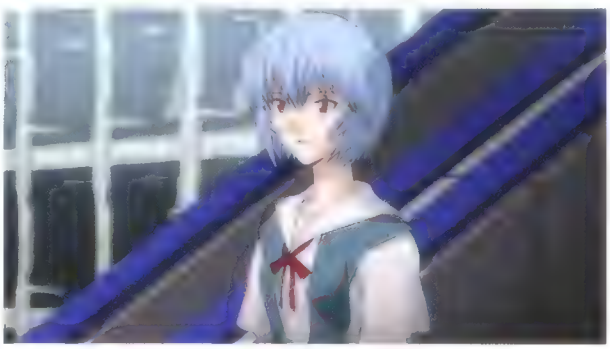
シンジ　ねぇ　綾波は　怖くないの　また あのエヴァンゲリオンに乗るの

レイ　もちろん

シンジ　前の実験　あれから　明日　なの　そして　あの　平気なの　なぜ

シンジ　平気

レイ　エヴァ　暴走　怪我　目　あの　使徒　負け　殺されるかもしれない　パイロット　僕は



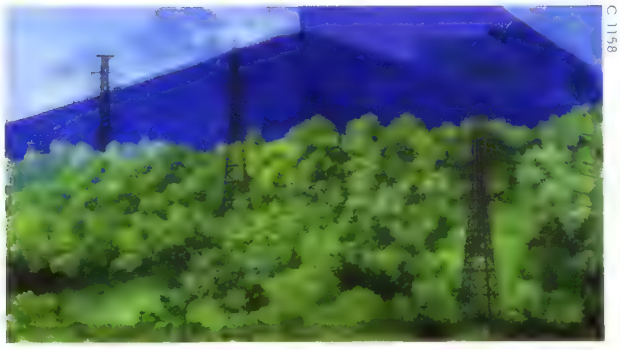
C 1150

レイ　あなた　碇司令の子供

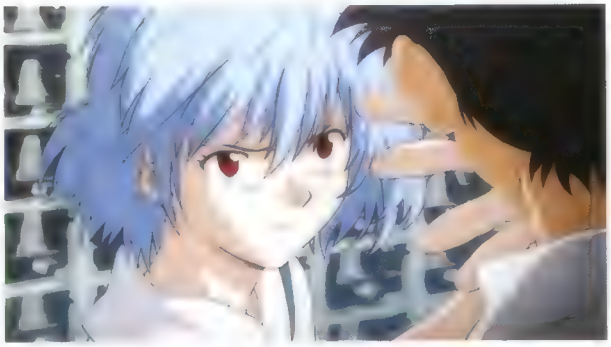
C 1151

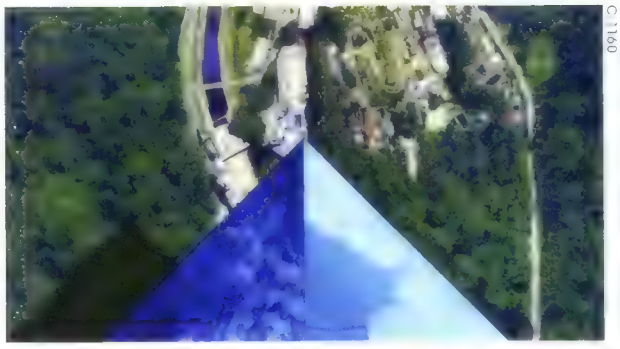
シンジ　うん

C-1156



C-1158





C-1160

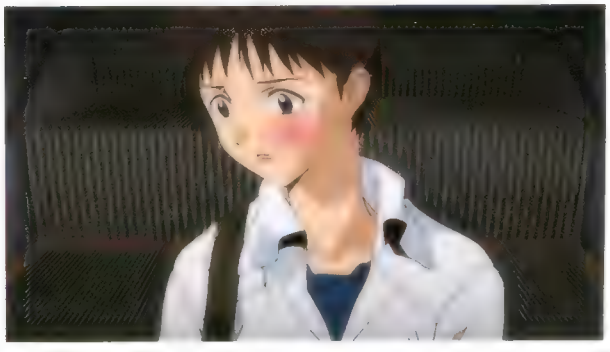
C-1161A

女：スピーカー：監視対象物は、宇宙戦闘機、使徒！
青葉：スピーカー：未確認飛行物体！一機を完了！

C-1157

C-1161B

青葉：パターン青！使徒！確認

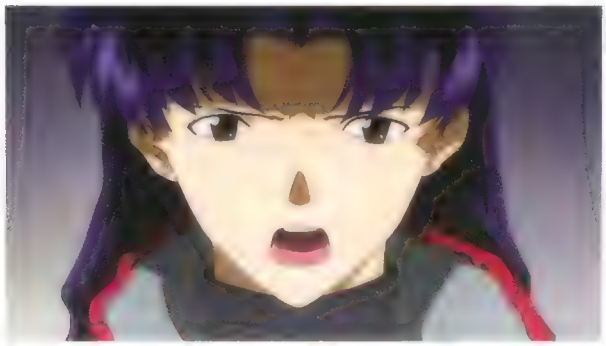


C-1167

青葉「目標は巨一体！生，受！」
日向「エヴ・初号機，発進準備よろ」

C-1162

冬月「ゼルエル，第６の使徒だな」



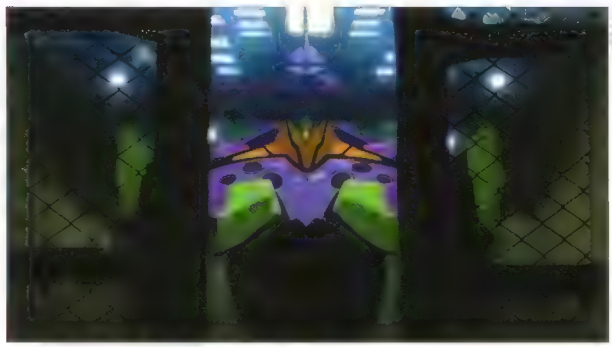
C-1168

ミサト「発進！」

C-1163

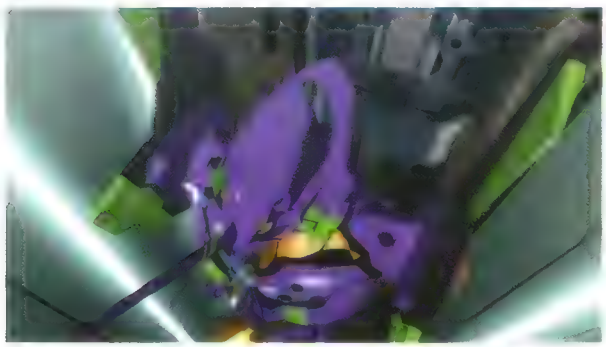
ケンスケ「ああ，初号機を出撃させる」

C-1170



C-1164

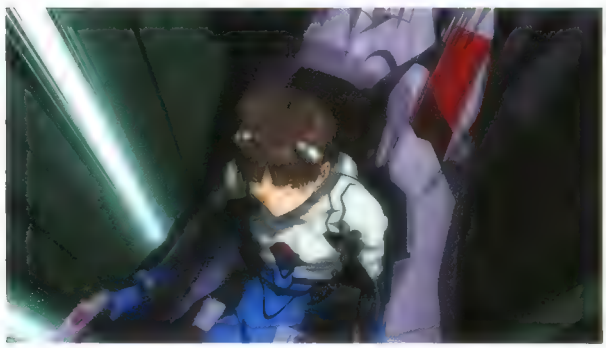
ミサト「スピーカー，エヴ・初号機，発進準備」



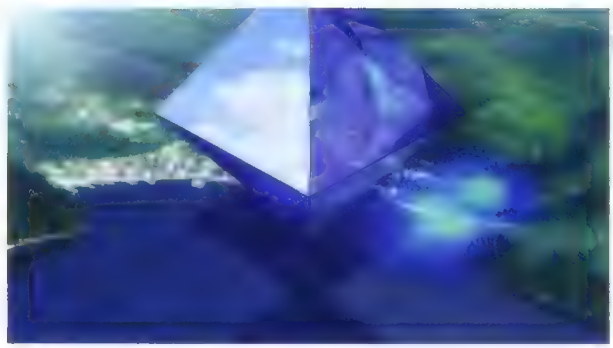
C-1171

C-1165

女「スピーカー，対空迎撃兵装，換装」



C-1172

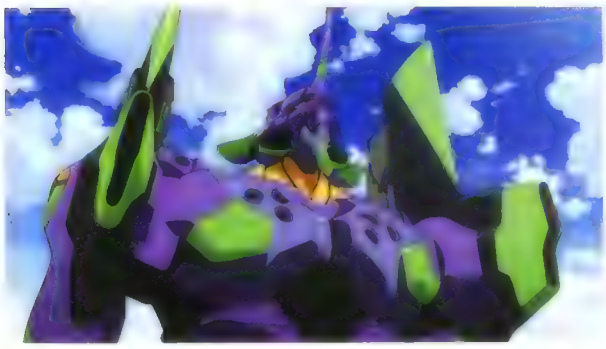


C-1166

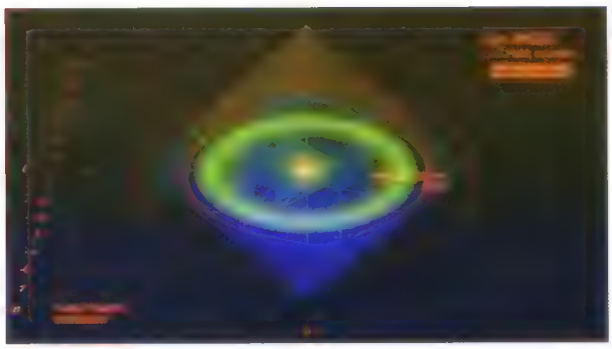
C-1177

C-1178

C-1179



C-1175

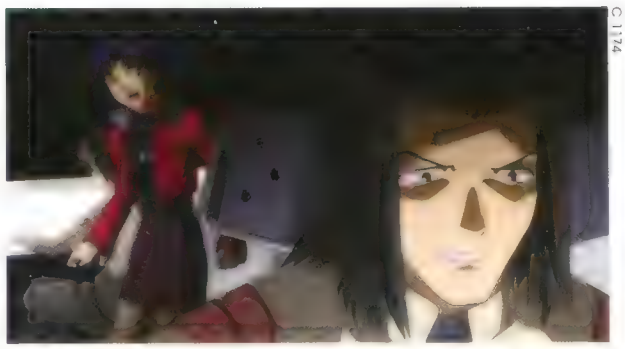


SE　ブィィィィ

C-1180

ミサト　よけて！

C-1174



ミサト　なんです　こ！

C-1181

ノ　ノ　ス？

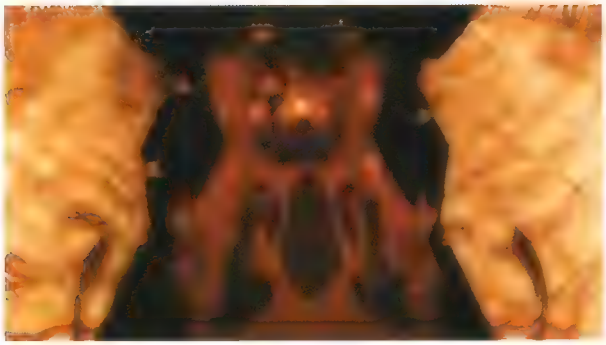
C-1176

ー！　まさか

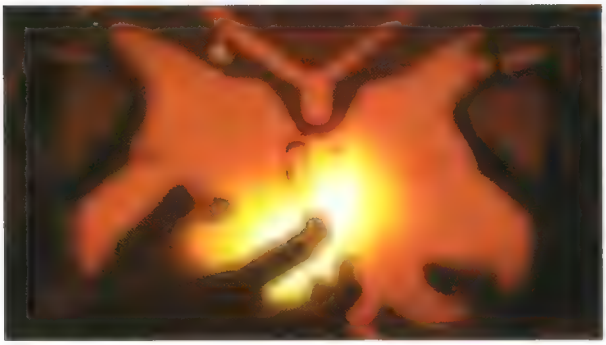
C-1183
C-1184
C-1182
C-1184

C-1188

C-1185



C-1189



C-1190

シン・フェリア

C-1191

ミ・シ・ロ本を、ニマム、答…

C-1186

C-1192

ミサト「防護…マーを展開！

C-1187

C-1193

C-1195

C-1194

C-1196

C-1197

C-1201

[illegible]撃中止。エヴ[illegible]初号機を緊急回収
目的[illegible]

C-1202

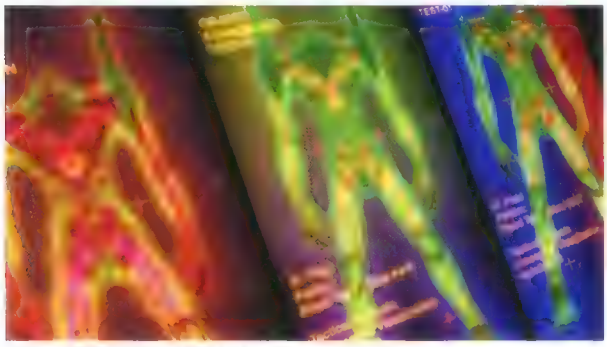
目的[illegible]なかなかの戦略、作戦[illegible]

C-1198

C-1203

[illegible]ATフィールドは？
伊吹「限界！」展開中

C-1199



C-1204

伊吹「all[illegible]形状をかろうじて維持しています！

C-1212

[illegible]

C-1213

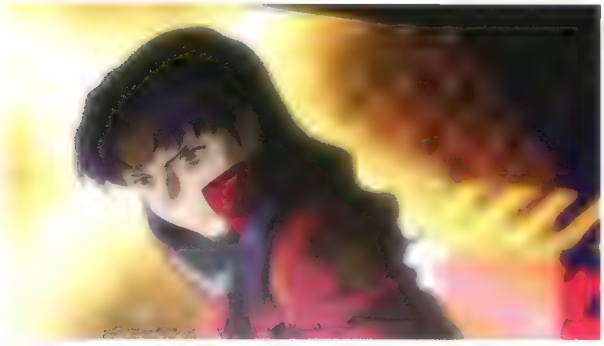
ケンガー

C-1214

[illegible]

C-1215

[illegible]



C-1216

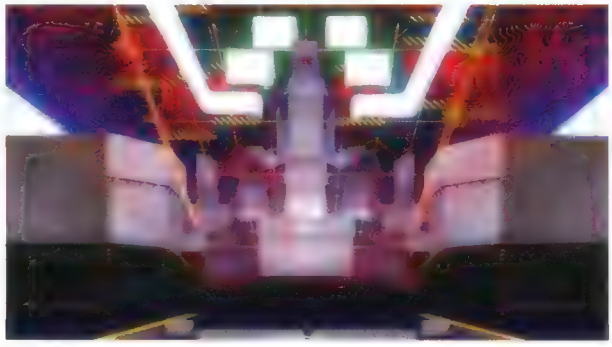
[illegible]

C-1205

C-1206

C-1209

[illegible]



C-1210

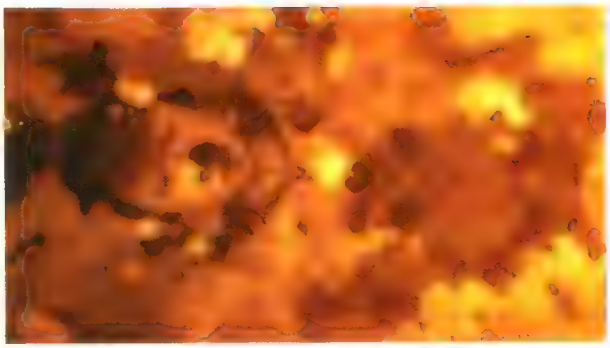
シン イヤ! もう イヤ! ここから出して!

C-1211

シン 出してよ! 父さん!

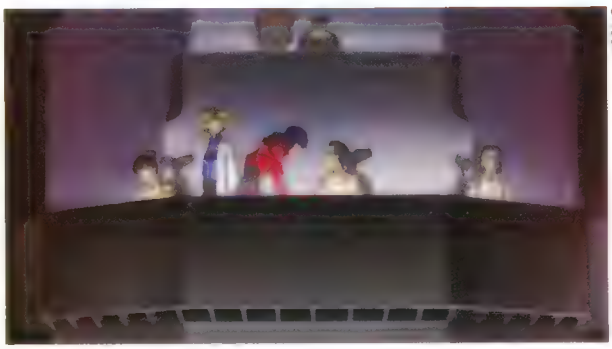
C-1222

C-1219



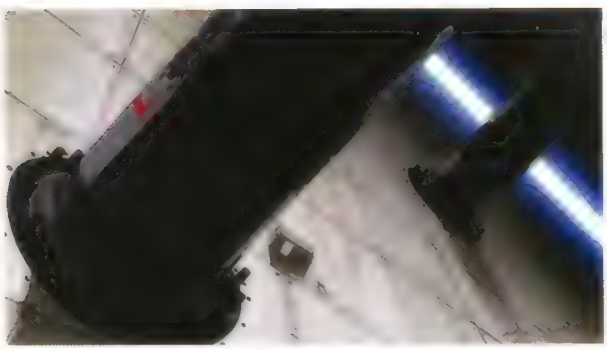
C-1220

シンジ「ガあぁぁぁぁぁぁぁぁ」



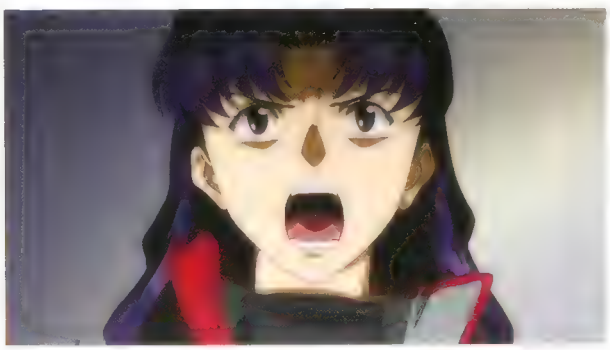
C-1221

ミサト「やるをえない…」



C-1224

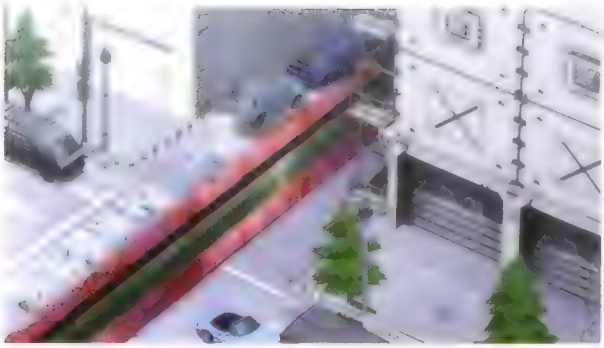
ミサト「機体ら強制回収！」



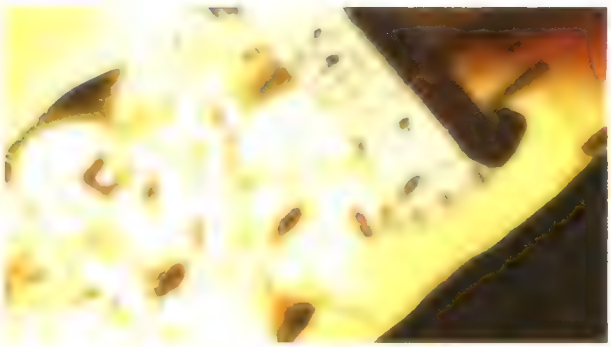
C-1222

ミサト「爆弾ホルトに点火…」

C 1226

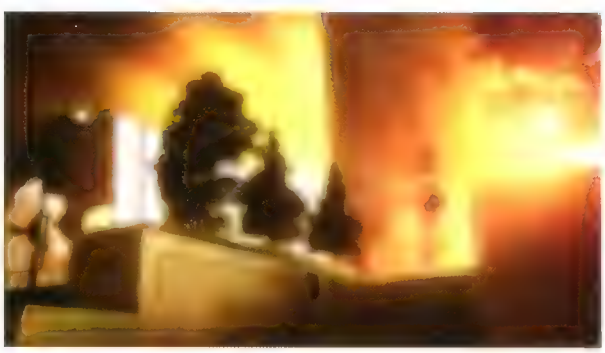


C 1227

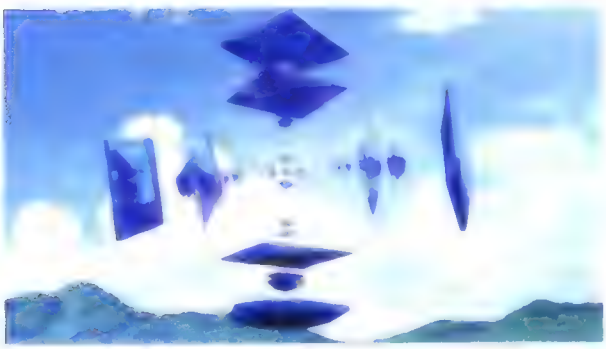


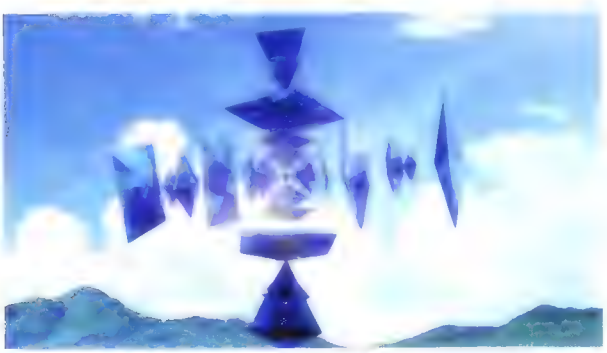
C 1228

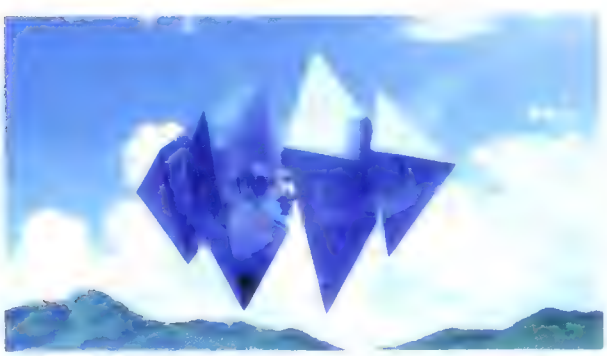
C 1226

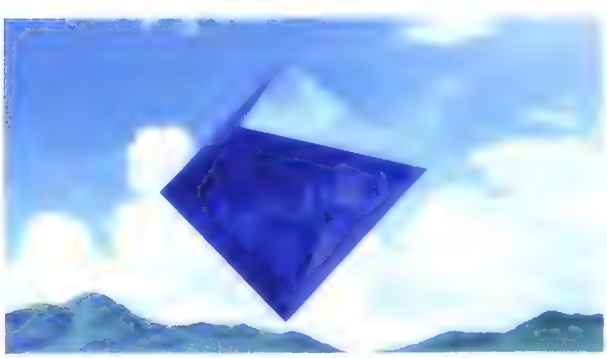


C: 1231

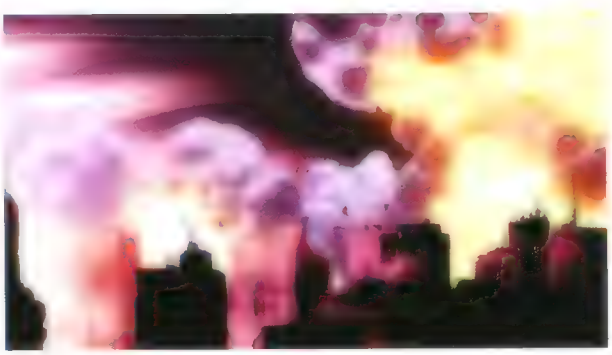


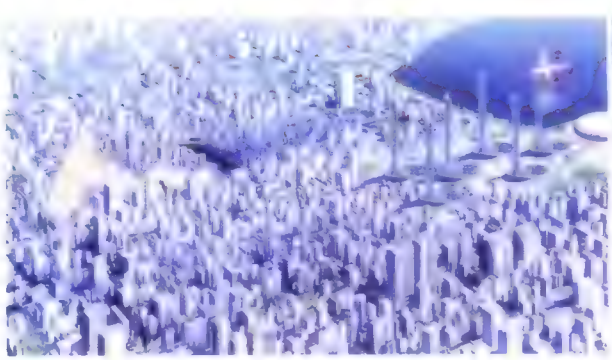




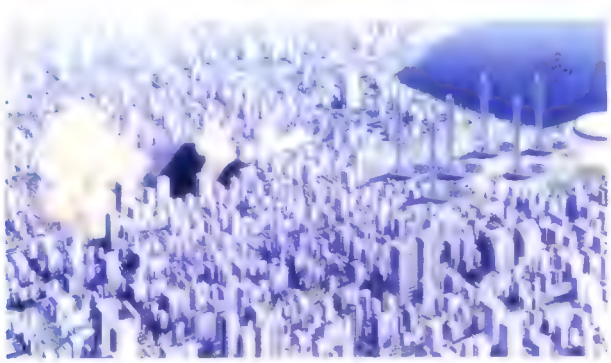


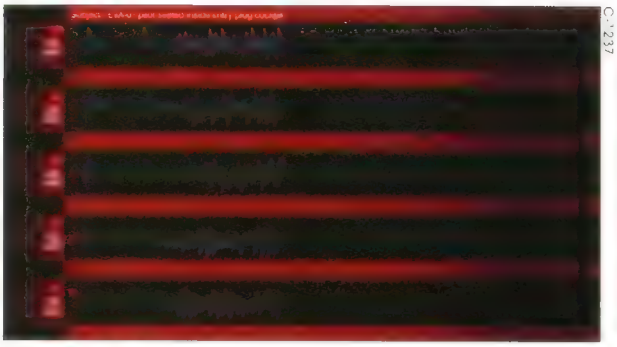
C: 1229





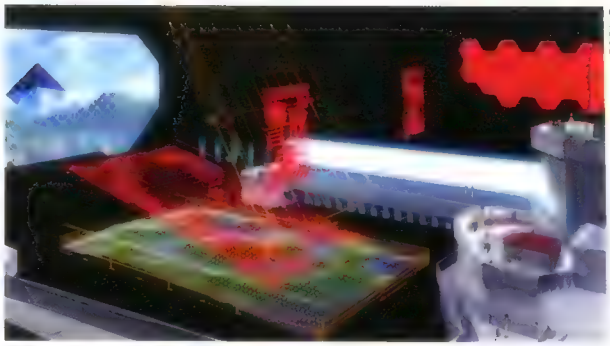
C: 1230





C-1237

日向（off）「パイロット確認」

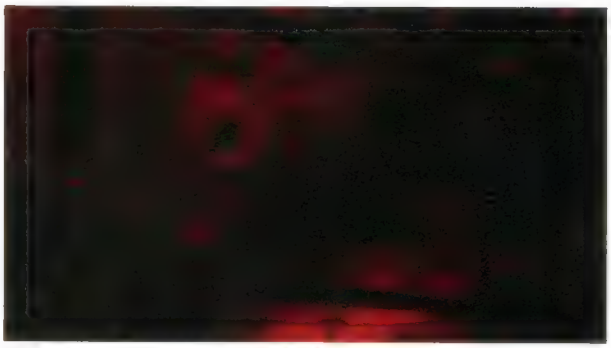


C-1232

青葉（スピーカー）「目標は攻撃を中止」
伊吹（スピーカー）「初号機　回収　99ケインへ」
ミサト「救護班　待機」

C-1238

「フラクタル強制排出」

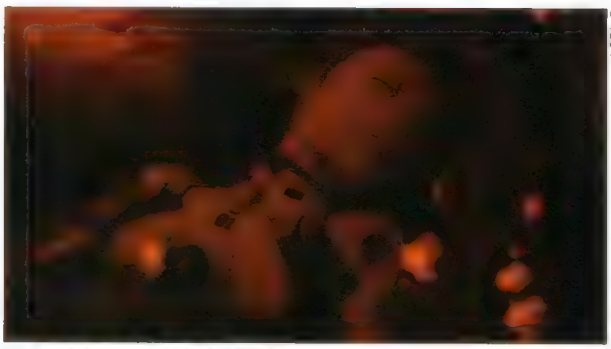


C-1233

ケンコ（無線）「フラク内のLCL冷却を最優先」

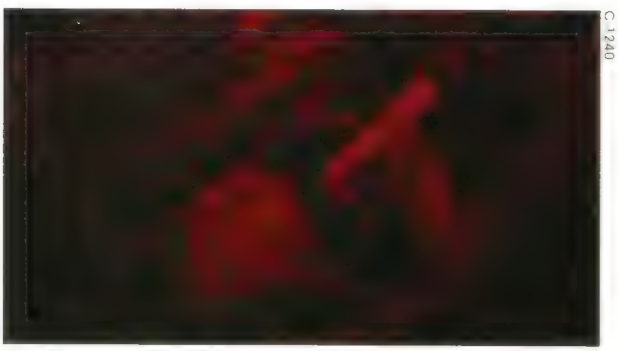
C-1239

ノナウ「女「インテリジェンスを離台可能位置で固定」



C-1234

日向（off）「パイロット　確認　心音微弱」



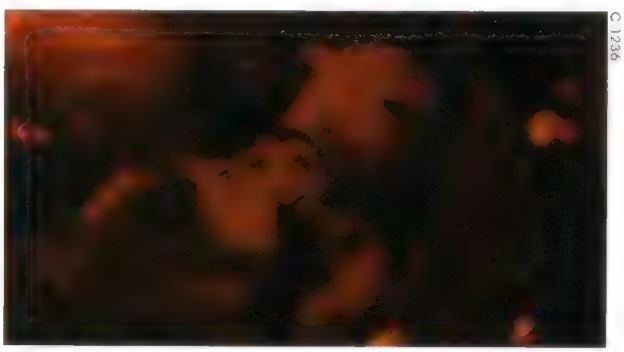
C-1240

C-1235

ケンコ「フラクスーツの生命維持機能を最大　心臓マッサージ」
日向「ハイ」

C-1241

「LCL緊急排水」
伊吹「…」

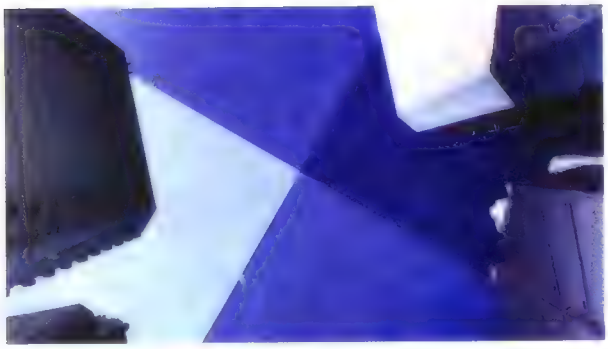


C-1236

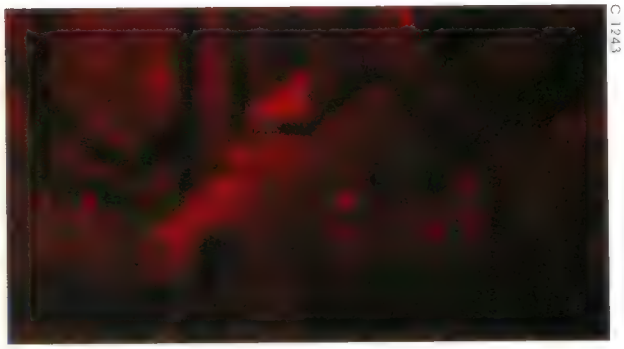
SE　ハクン

C-1247B

C-1242

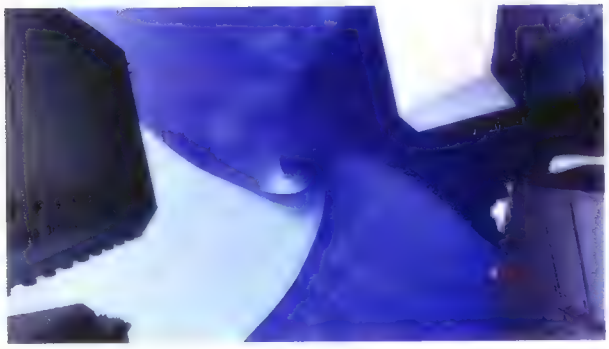


C-1248



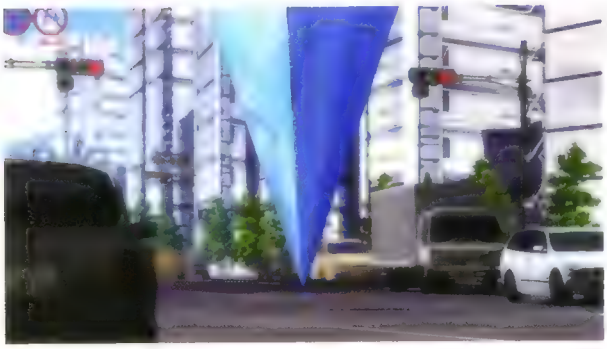
C-1243

女 無線 LCL排水中



C-1244

ミサト 救護処置急ぐ！



C-1249

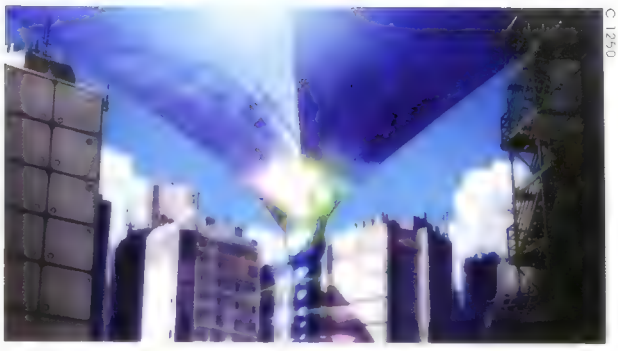
C-1245

C-1247A

SE [illegible]点灯

C-1254

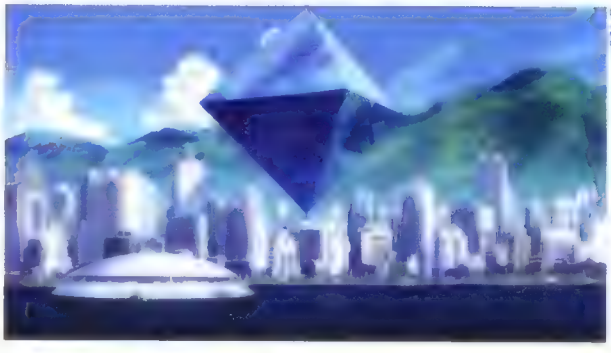
ミサト「…では各部署に…分析結果を報告…」



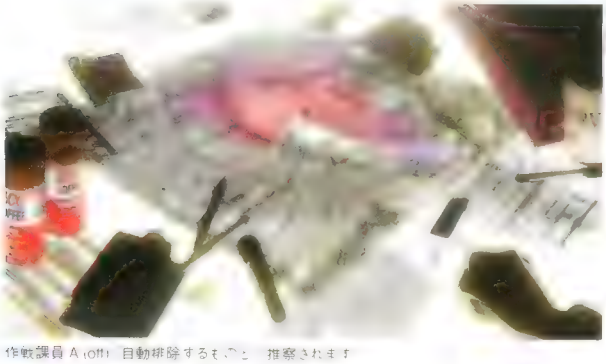
C-1250

C-1255

作戦課員A「先ほど戦闘データから、目標は一定距離内に外敵を…」

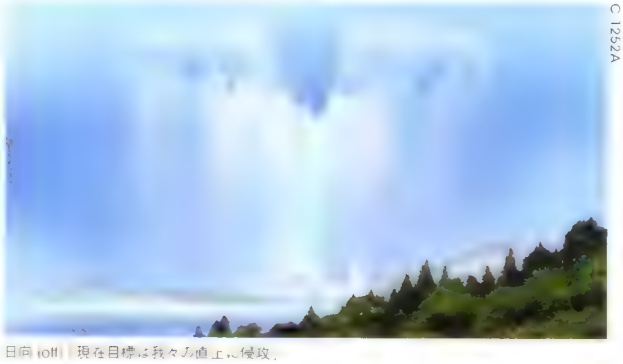


C-1251



C-1256

作戦課員A(off)「自動排除するものと…推察されます」

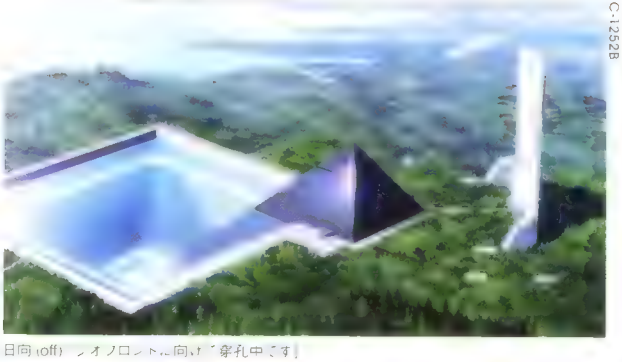


C-1252A

日向(off)「現在目標は我々の直上に侵攻」

C-1257

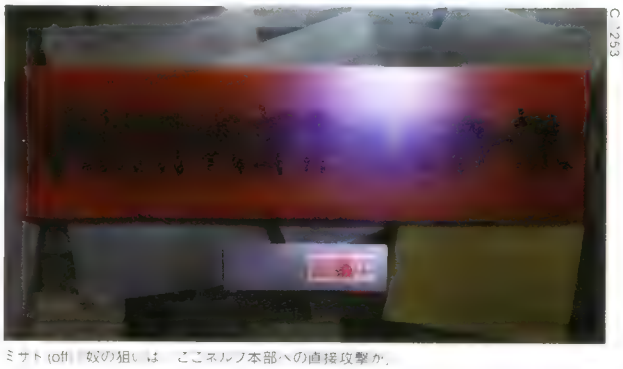
ミサト「ユウ…による近接戦闘は無理と…ないな」



C-1252B

日向(off)「ジオフロントに向け…穿孔中です」

ミサト(AI)「ターゲットはどこ?」



C-1253

ミサト(off)「奴の狙いは…ここネルフ本部への直接攻撃か」

C-1258

伊吹「健在です。おまけに位相ターンが常時変化しているため、外形も安定せず中和作業は困難を極めます」

C-1259

日向「offline マギによる計算では」

C-1260

日向「目標ターゲットをN2航空爆雷による攻撃方法で貫くには、ネルフ本部ごと破壊する分量が必要との結果が出ております」

C-1261

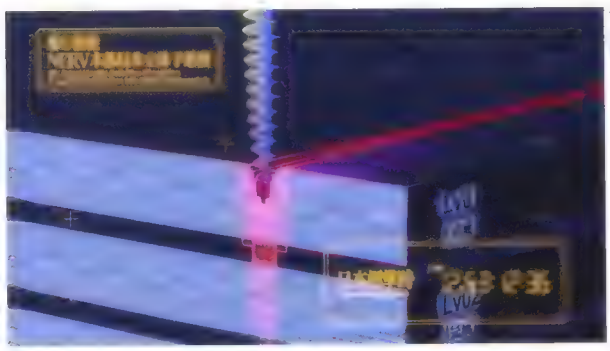
「ハコネ松代のマギ2号も同じ結論を出したわ」

C-1262

「…現在日本政府と国連軍が、ネルフ本部ごとの自爆攻撃を提唱中よ」

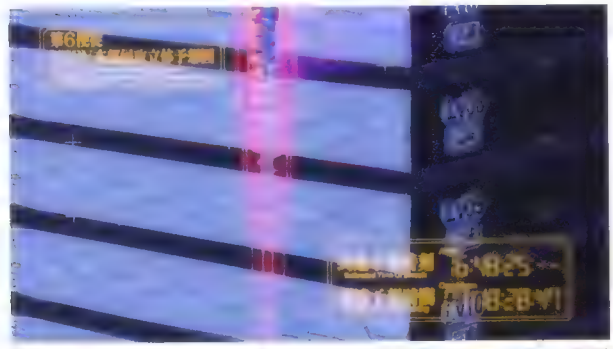
C-1263

「サードインパクトを失敗は全ておしまいなのよ…」



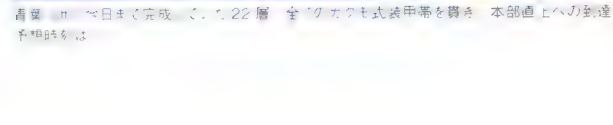
C-1264

作戦課員B「なに、問題ない先輩は装甲複合帯、第2層を通過」



C-1265

作戦課員B「はい、第2層まで侵入しました」



青葉「はい、明日までに完成しまして、22層、全ての装甲帯を貫き、本部直上への到達予想時刻は」

C-1270

ミサト「確か戦自研の極秘資料、諜報部に、あったわよね」

C-1271

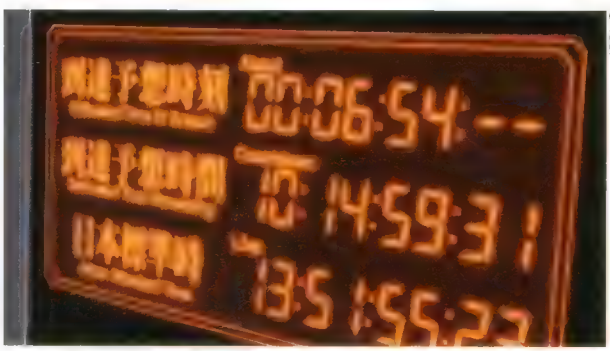
日向「エヲ？」

C-1277

C-1278

C-1266

青葉「明朝、午前0時、06ヵ54ね」



C-1267

青葉(off)「あと、10時間14分後です」

C-1268

日向(off)「すまない、零号機は未調整のため実戦は不可能」
「…」(off)「初号機も先の損傷『当分はまともに動けない』わよ」

C-1269

ミサト「状況はかなりよくないわね」
伊吹「まさ、こ、ちら、さか、『すね』」
日向「白旗『も』挙げますか」

ミサト「そうね。でもその前にちょっ、ちゃっておきたい事があるの」

C-1285

…国連軍は…より教育隊戦略自衛隊を設置出来ないね

C-1279

リツコ「しかしまた、無茶な作戦を立てたものね、葛城作戦部長さん」

C-1287

…は…色々…あるらしい

C-1280

ミサト「無茶とはまた失礼ね。残り9時間で実現可能。おまけに最も確実なものよ」

C-1288

……野…自…蛇ね

C-1281

リツコ「…ヤシマ作戦」

C-1289

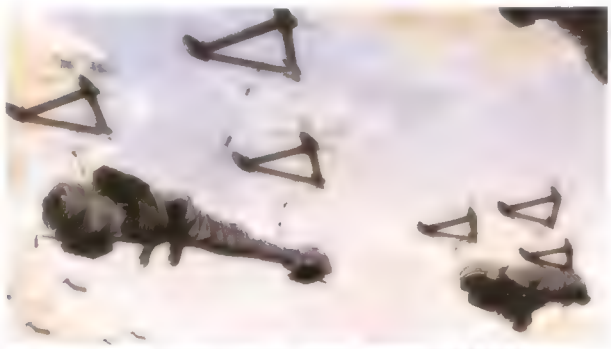
アナウンス「女…今夜…午前…時より…未明にかけて…」

C-1282

リツコ「その名のごとく、日本全土から電力を接収し、戦自研が極秘に試作開発中の、大出力陽電子自走砲まで強制徴発」

C-1290

アナウンス「女…全国で大規模な停電があります」



C-1283

…Unit…未完成…ため自律調整出来ない…部分は…エヴ…を使…て精密狙撃させる

C-1296

アナウンス(女)「全国で大規模な停電があります

C-1291

アナウンス(女)「皆様のご協力をお願いします　くり返します

C-1297

アナウンス(女)「皆様のご協力をお願いします

C-1292

アナウンス(女)「午前3時より、未明にかけて全国で

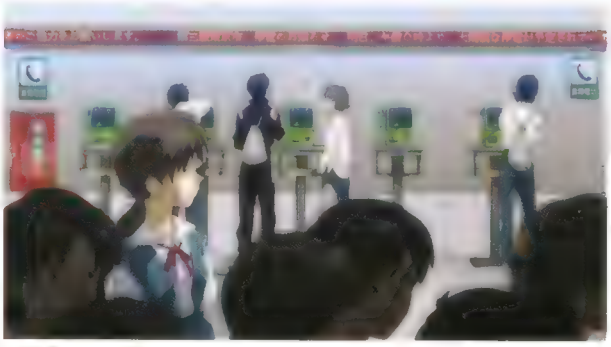
C-1298A

SE　ヒグラシの声

C-1293

アナウンス(女)「大規模な停電があります　皆様のご協力をお願いします

C-1298B



C-1294

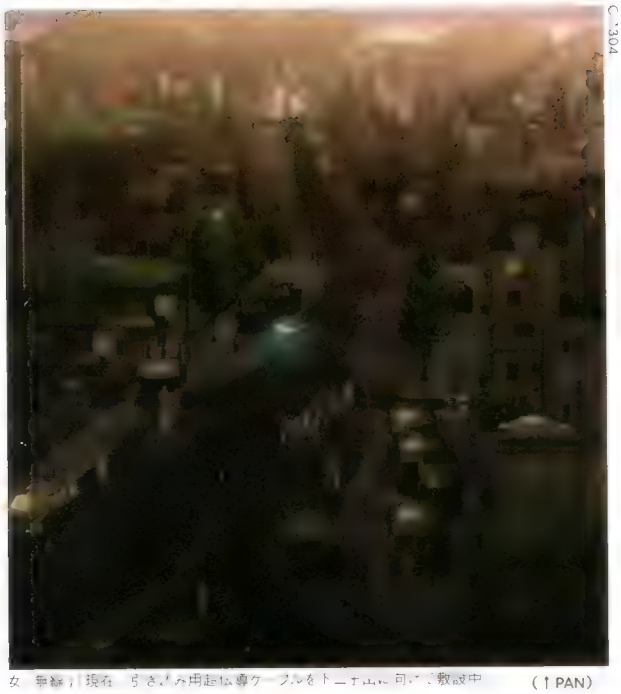
トウ[illegible]ケ[illegible]

C-1298C

C-1295

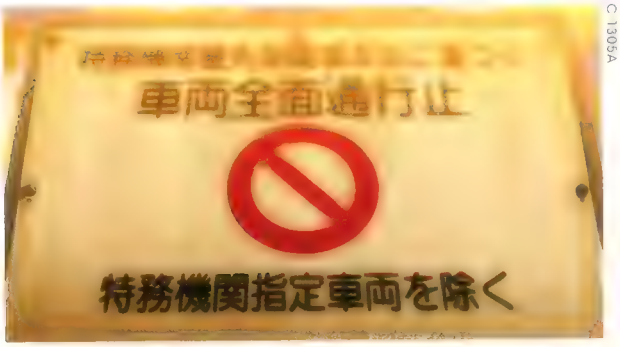
アナウンス(女)「[illegible]返します　今夜　午前0時より、未明にかけて

C-1304

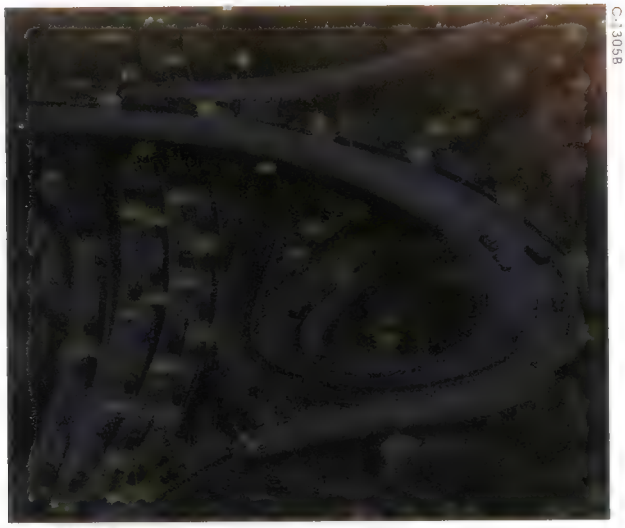


女（無線）：現在、引き込み用超伝導ケーブルをトーチ山に向け敷設中　（↑PAN）

C-1305A

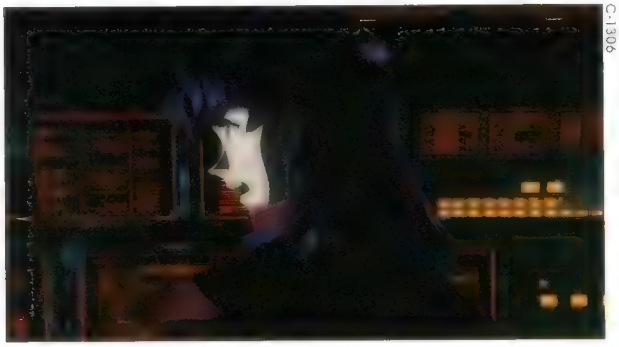


C-1305B



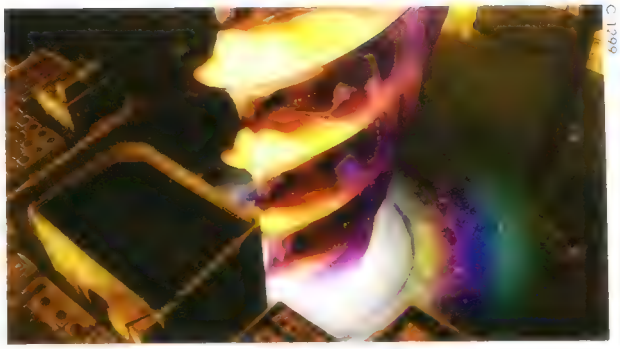
女（無線）：変圧システム込みで、本日22時50分までには全線通電の予定です　（↓PAN）

C-1306

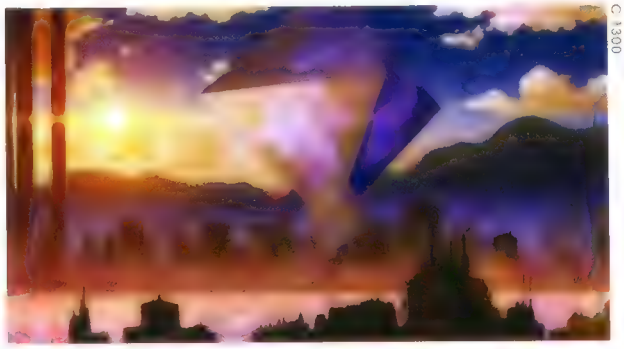


ミサト：狙撃システムの進捗状況は？

C-1299



C-1300



C-1301

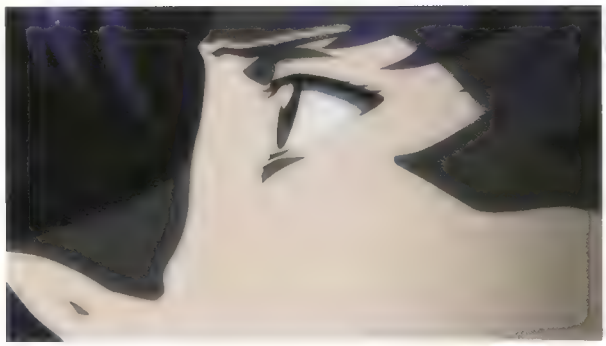
青葉（無線）：使徒の先端部、第7装甲板を突破！

C-1302

ミサト：エネルギーシステムの見通しは？

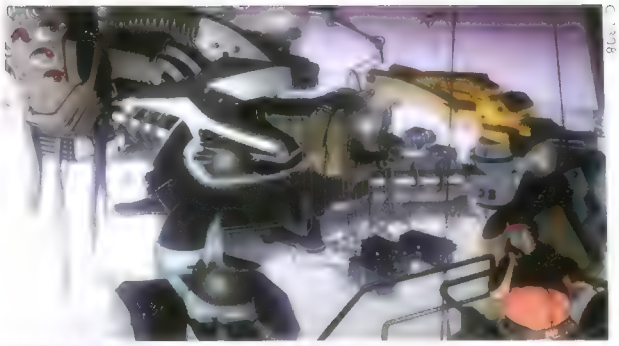
C-1303

女（無線）：電力系統は、新御殿場変電所と予備2カ所から直接配電させます



C-1313

こサト「…」

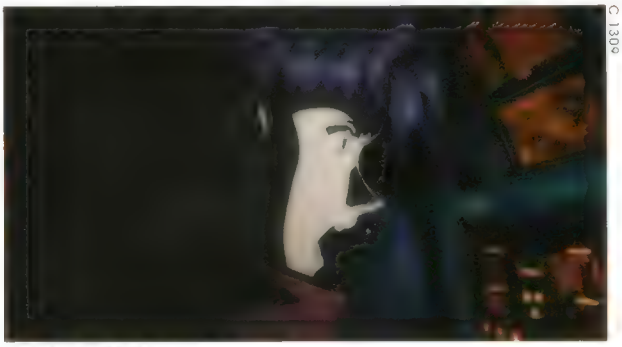


C-1308

担当責任者「相変「作業」問題ない。作戦開始時刻まで、はたらいてください」

C-1314

冬月「弐号機パイロットの適性について、ご報告」



C-1309

こサト「Ｅウ＝初号機の状況は？」

C-1315

ケンドー「タ…ックは試験運用段階で実用化、至るまでは今のパイロットが役立つ…」

冬月「最悪の場合、先鋒で」

C-1310

伊吹(off)「現在、狙撃専用のＵ型装備、換装中」

ケンドー「タメる時は、１度使ってみて」

冬月「…は初号機、…まい、危険すぎる…」

ケンドー「…なる手段を用いて…　数かぎり、８体で使徒を倒さねばならない」

C-1311

伊吹(off)「あと２時間で形に、出来ます」

C-1316

冬月「全てはそれから」

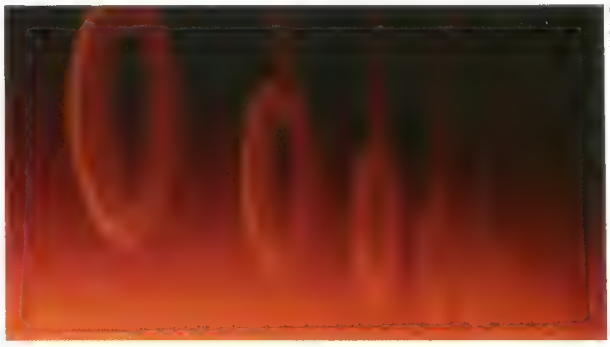
C-1312

こサト「了解。あとはパイロットの問題ね」

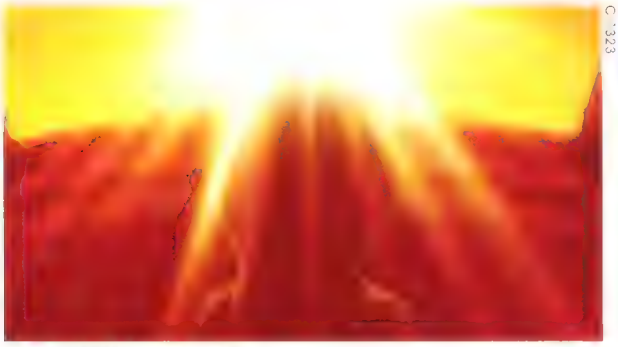
リツコ「でも彼…もう一度乗るかしら」

C-1322

シンジ　何か変るかも　何か　ここにあるかもと思　こ　来られた

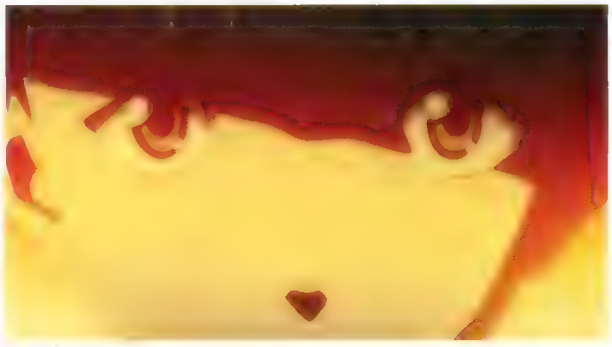


C-1317



C-1323

シンジ　嫌な思いをするかもしれない



C-1318

嫌なんだよ　エヴァに乗るのか

C-1324

シンジ　嫌な　の　逃げ出　すぐ　生きる　つもり？

C-1319

シンジ　まぶし　白い　前　だから誰もはめこれない
失敗　みんな　嫌われる　だから　死ぬだけ

C-1325

C-1320

シンジ　何　僕は　ここにいるんだ？

C-1326

生きる？何で生きてんだ？僕は

C-1321

C-1332

C-1327

シンジ「生きていてもしょうがないと思っていたじゃないか」

C-1333

[illegible]

C-1328

C-1334

C-1329

シンジ「父さんも、ミサトさんも、誰も僕がいらないんだ
エヴァに乗らない僕は必要ないんだ」

C-1335

シンジ「だけど、エヴァに乗ると

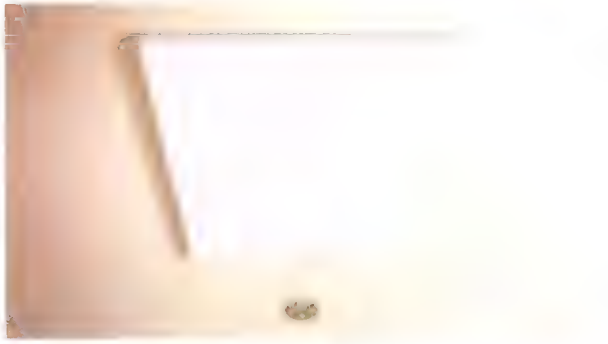
C-1330

C-1331

シンジ「だから僕はエヴァに乗るしかないんだ」

C-1336

シンジ



C-1337

シンジ (off)「... また同じ天井」

C-1338

シンジ「エヴァに乗るとこればかりだ ...」

シンジ「 ?」

C-1339

シンジ「... 綾波」

C-1340

シンジ (off)「 ... すると ... こ ... ?」

C-1341

C-1342

レイ「... 明日午前 0 時より発動されるヤシマ作戦のスケジュールを伝えます。碇、綾波両パイロットは本日 19:30、第 2 ターミナルに集合 20:00、初号機、及び零号機に付随し移動開始。20:05、発進。同 30、二子山第 2 要塞に到着」

C-1343

レイ (off)「以降は別命あるまで待機。明日、日付変更と共に作戦行動開始」

C-1344

レイ 食事

C-1348

C-1345

シンジ「何も食べたくない」

C-1349

シンジ「綾波！」

C-1346

レイ「90 分後に出発よ」
シンジ「…またアレに乗れっていうのか」
レイ「そうよ」

C-1350

レイ「――さようなら」
SE「――」

シンジ「もうイヤだ。もうあんな怖い思いしたくない。怖くて…怖くて…でも逃げる事も出来ないんだ」
レイ「エヴァが怖いの？」
シンジ「[illegible]」

C-1351

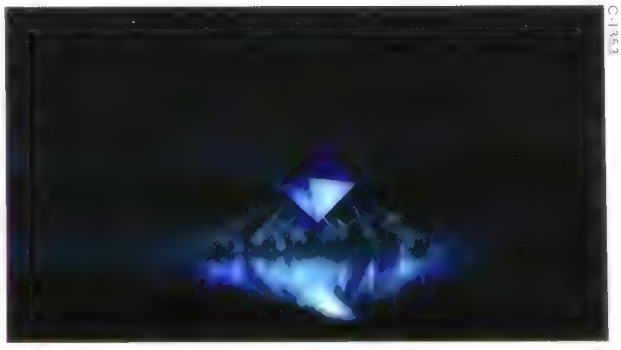
レイ「じゃ寝ごたち」
シンジ「？」
シンジ「寝ごたって」

C-1352

C-1347

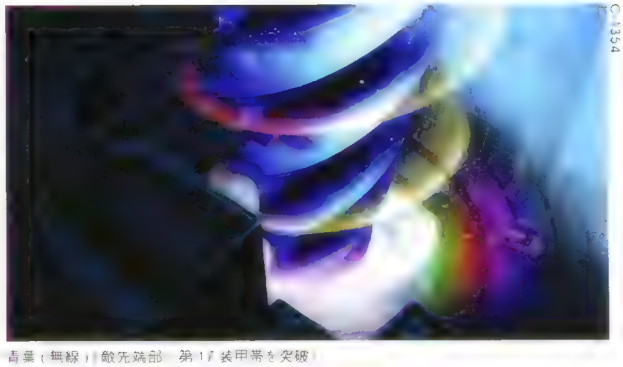
レイ「初号機には私が乗る」

C-1357



C-1353

女（無線）「現在、第16BANK 変電設備は設置工事を続行中」



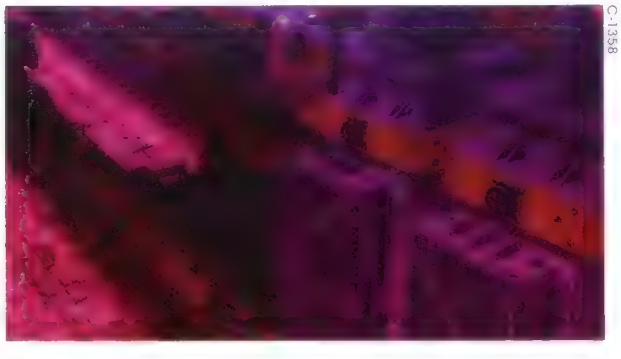
C-1354

青葉（無線）「敵先端部、第17装甲帯を突破」

女（無線）「5、6ホーム通常変圧器の設置開始は予定通り、タイムシート、変更なし」

C-1355

女（無線）「ネルソ本部到達まで、あと4時間55分」



C-1358

男（無線）「第28トンネル群は5分遅れで到着、担当者は各結線作業を急いで下さい」

C-1356

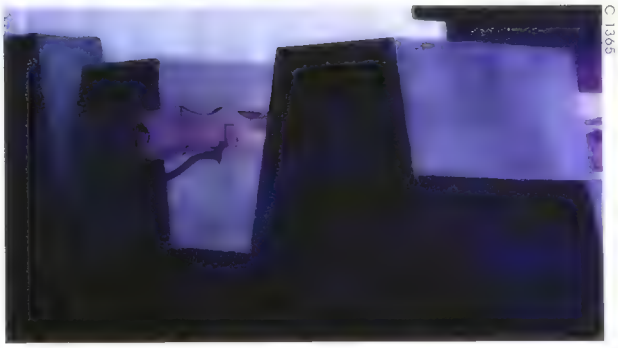
男（無線）「西箱根新線及び南塔ノ沢変電3号線の通電完了」　（↑PAN）

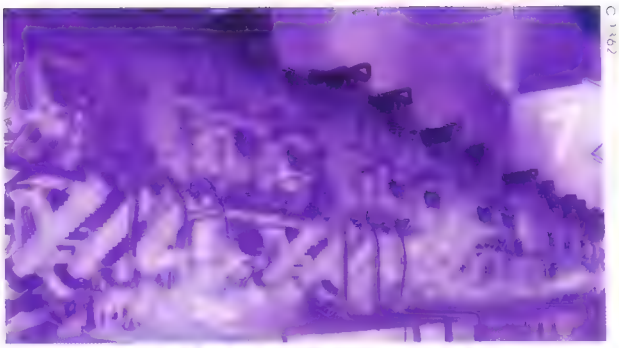
C-1361

女　無線　全SMES、設置完了　第1集束系統より動作確認を順次開始　（↑PAN）

C-1359

女　無線　第4次先行シミュレーション開始　復旧支援系統を再確認中


C-1365


C-1367

女：無線：全超伝導超々高圧最終変圧器集団の開閉チェック完了。問題なし。

C-1366

日向：これか。大型試作砲電子砲ですか。

C-1363

C-1367

（↖PAN）

ノノ：（off）：量産品ならこの設計理論上は問題なしね。
伊吹（off）：電点規止はこちら。ムラヤ、G型装備とリンクさせます。

C-1369

ノノ：サト：まぐやるといいか。

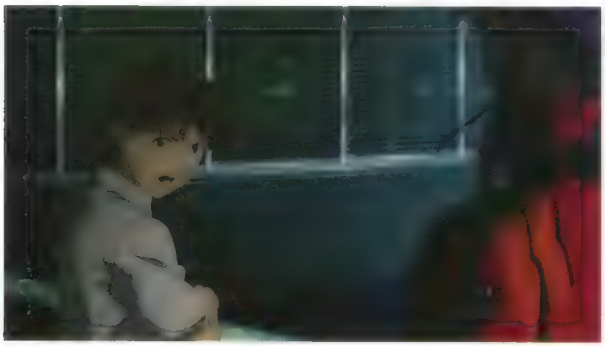
C-1368

日向：は、あぐらしします。
ノノ：アテこないそうもないのはハイロートね。

C-1374

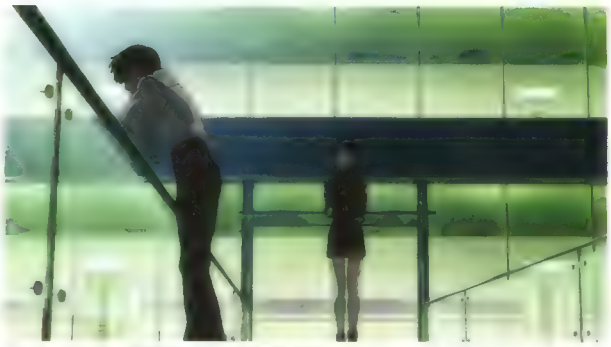
ン…　お安全な地下本部。　ao ゃ　るだけならハ　すか。　僕たちが怖い目にあ　ご

C-1370



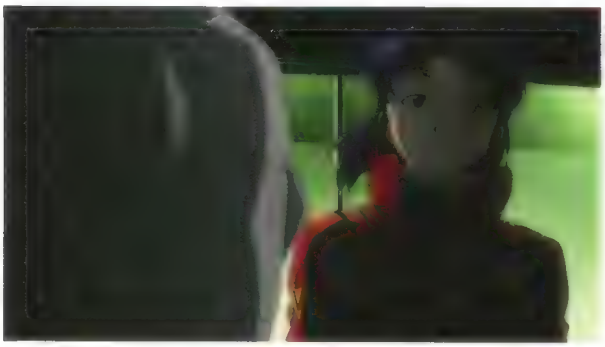
C-1375

ンン　ミサトさんたちはスゴい　すよ



C-1371

ミサト　ン　君　集合時間はと　ん　過ぎてるのよ



C-1376

ミサト

ミサト　あな　自分で決めてここに残ったんでしょ？

C-1372

ミサト「だ　たら自分の仕事をキチンとしなさい」

C-1373

ンン　怖いんですよエヴ　に乗るのか　ミサトさんたちはいいですよ

C-1382

ミサト：…娘ジキガリ先ナ…ッ　使徒ナサ　トインパクトヲ引き起こせは　今度こそヒ…は…

C-1377

ミサト(off)：…ち…　付き合…？

C-1383

ミサト(off)：…後ですね…
…聞きモ…ま…　…話は何度も…

C-1378

C-1384

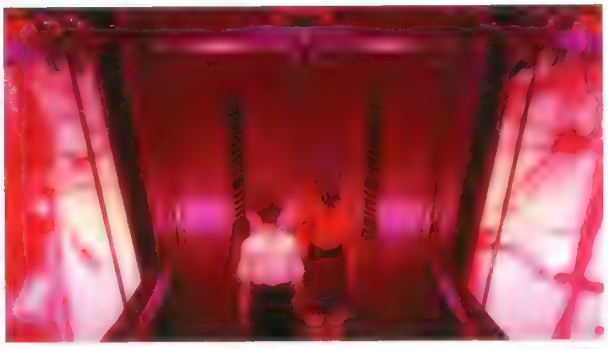
C-1379

C-1385

ミサト：私ナ…ネルフ本部レ…ハ…EEE…の使徒侵入を許すな…

C-1381

ミサト(off)：…15年前…

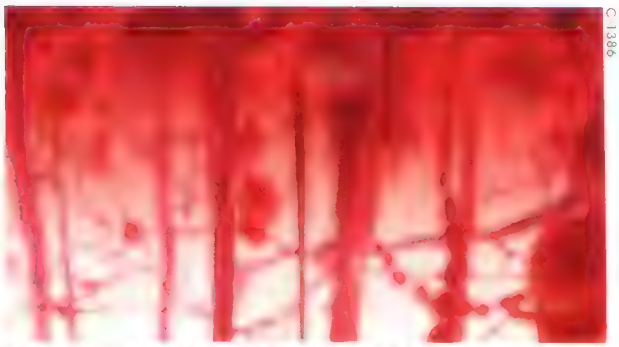


ミサト：…は自動的，自爆するよ…に…ている…

C-1380

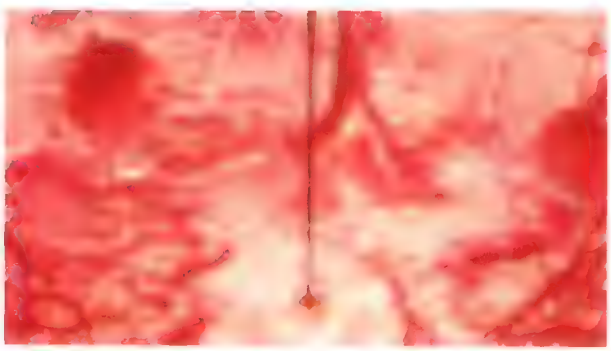
ミサト：…セカンドイン…アト…

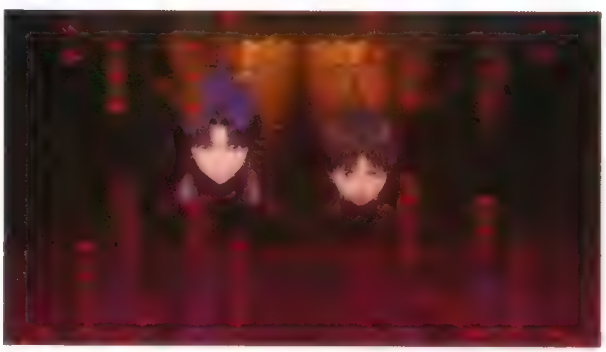
C-1388



C-1386

C-1389

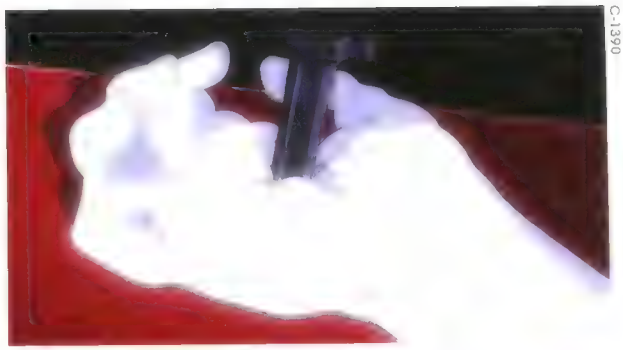




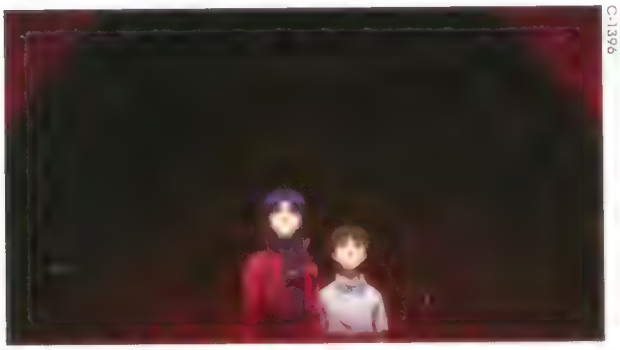
C-1387

(↑PAN)

C-1395

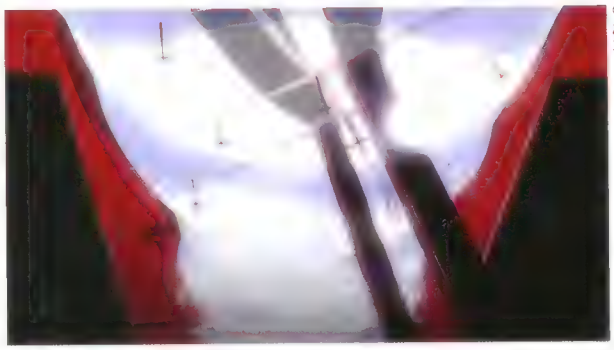


C-1390



C-1396

ミサト「エヴ[illegible]戦[illegible]たちはあなた[illegible]が出来ない[illegible]ところ[illegible]」



C-1391

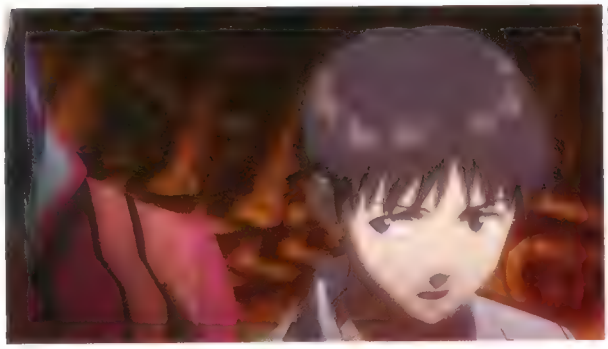
シンジ「[illegible]ちさか」

C-1397

ミサト「私たちはあなたとエヴ[illegible]の始[illegible]未来を託[illegible]ているのよ」

C-1393

シンジ「エヴ[illegible]?」



C-1398

シンジ「それな辛いこと[illegible]何で僕なんですか?」

C-1394

ミサト「違[illegible]この星の生命の始まりでもあり、終息の要ともなる、第[illegible]使徒[illegible]スは[illegible]」

シンジ「[illegible]」

ミサト「[illegible]サードインパクトトリガ[illegible]も言われて[illegible]るわ」

(↑PAN)

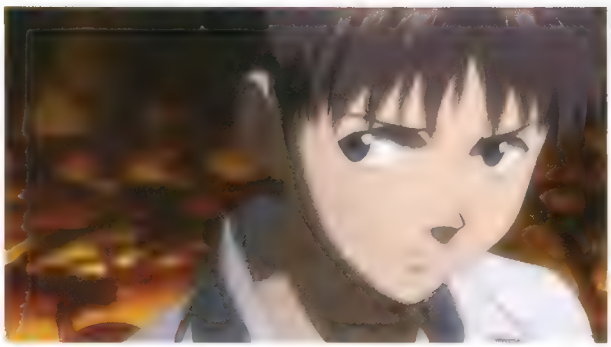
C-1399

ミサト「理由はないわ」

[illegible] も一度 乗 [illegible]ます

ミサト そこ連絡があって [illegible]

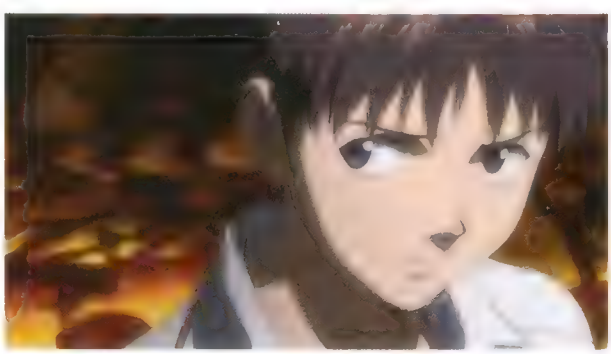
C-1401A



C-1400

C-1401

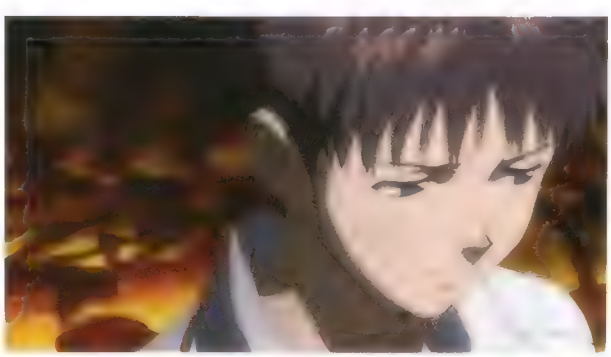
ミサト [illegible] シンジ君一人が命をかけて [illegible] [illegible]るワケじゃない

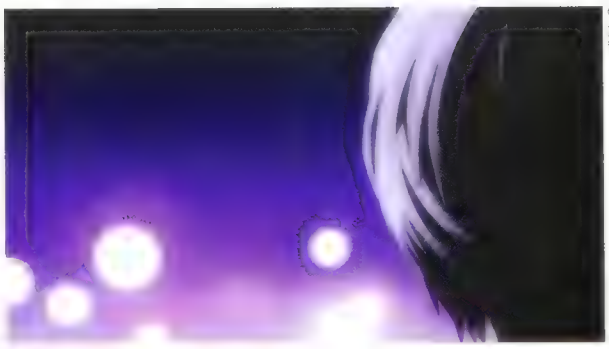


C-1402

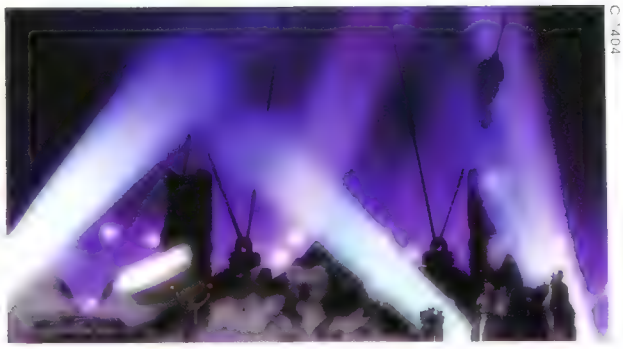
ミサト (off) みんな [illegible] よ

C-1403B





C-1407



C-1404

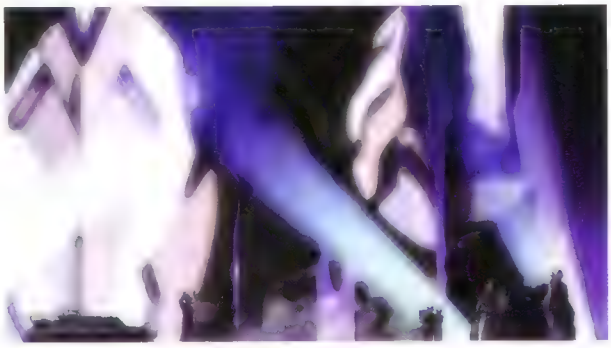
C-1408

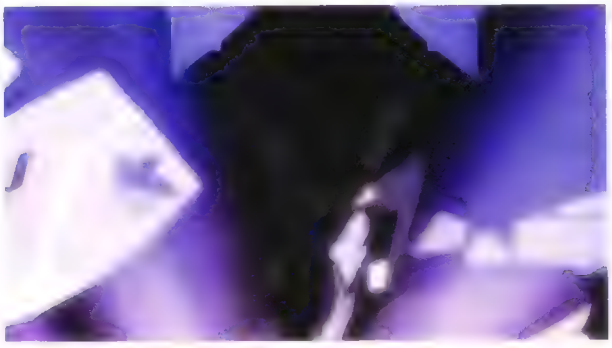
[illegible]回は、より精度の高いオペレーションが求められます。

C-1409

[illegible]は、そのためには未調整の零号機より、修復中ながらも初号機の方が有利なの。

(↑PAN)





C-1405

C-1406

ミサト「[illegible]は、本作戦における各担当を伝達します。シンジ君――」　シンジ「はい」
ミサト「初号機『砲撃』を担当[illegible]」
ミサト「[illegible]は零号機『防御』を担当[illegible]」

リツコ(off)　そこがコアと推測される。

C-1410

[illegible]君。陽電子は地球の自転、磁場、重力の影響を受け、直進しない。その誤差を修正するのを忘れない。[illegible]

C-1415

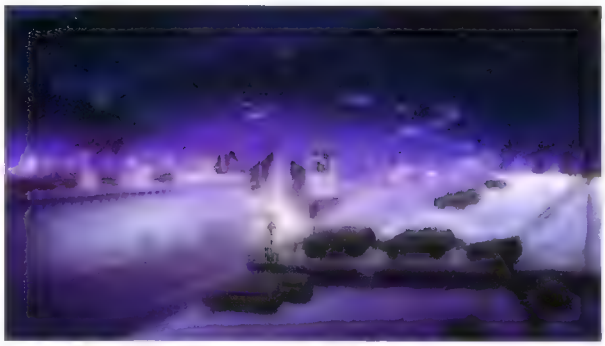
リツコ(off)　狙撃位置の特定と、射撃誘導、の諸元は

C-1412

リツコ　正確。コアを一点のみを貫く力よ。

C-1413

シンジ　どこかコアかなんて、わからないですよ。



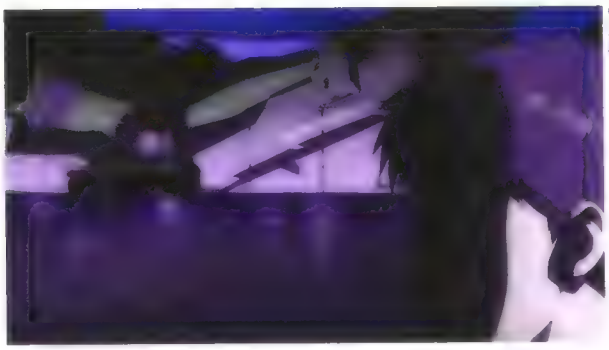
C-1416

リツコ(off)　全てをわかって入力するから。あなたはテキストを通いなさい。

C-1474

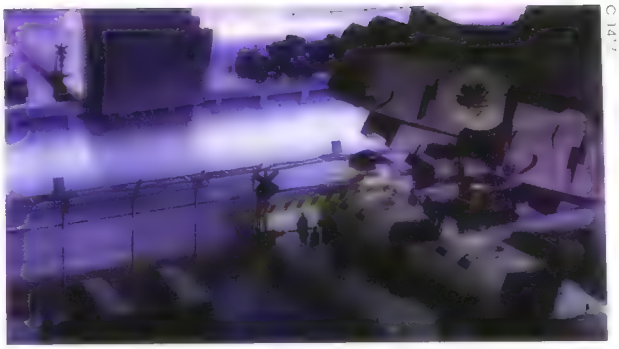
リツコ(off)　大丈夫。目標内部に攻撃形態中にだけ実体化する部分があるの。

リツコ(off)　最後、負の中心マークがそろったタイミングでスイッチを押せばいいの。あとは機械がやってくれる。



C-1420

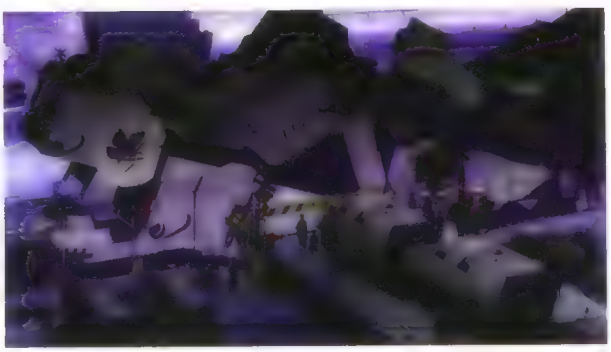
シンジ「迎撃する……ことですか？」

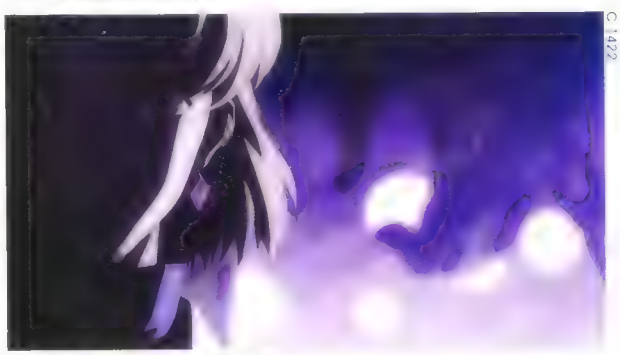


C-1417

C-1421

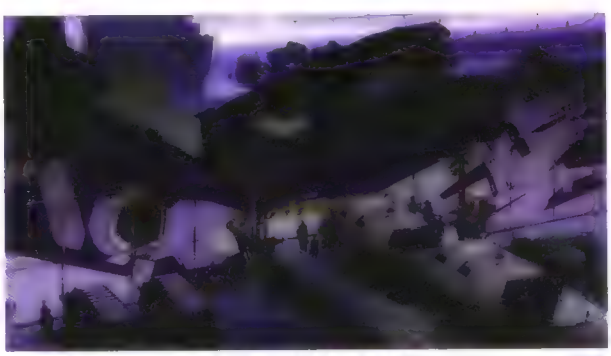
シンジ「……」
ミサト「……外れ。一部の撃は返ってきた。」
シンジ「今は全ててこに集える。」





C-1422

シンジ「……撃を撃破する。ことだけを考えなき。」



リツコ(off)「ただし、狙撃用大電力の最終放電集束ポイントは」

C-1423

シンジ「……ないと大ピンチ。ことですか。」

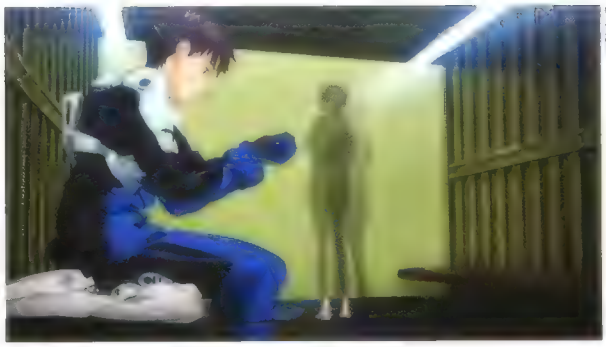
C-1418

リツコ(off)「一点のみ」

レイ(off)「私は」

C-1419

リツコ「故、初号機は狙撃位置から移動できません」



C-1429

SE　パン

C-1424

レイ「私は　初号機を守れば　いいの

ノ　OFF　そう

C-1425

レイ「あなたのほうは

C-1430

ノ　ノ　の　ど

C-1426

サ　時間は　人とも看替ス

ミ　ハイ

C-1431

C-1427

C-1428

SE　カチ

C-1435

レイ「私が守るわ」

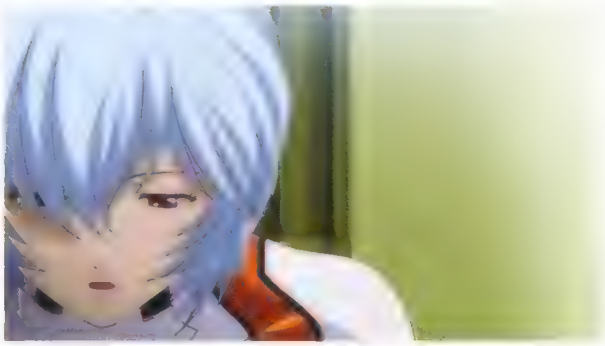
C-1432

シンジ「これで死ぬのもったいないね」

C-1436

C-1437

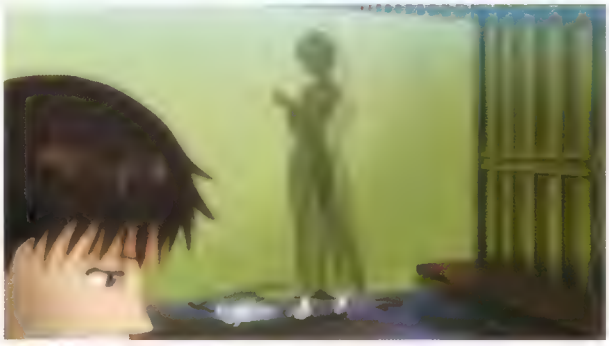
……僕、守る価値なんてないよ


C-1433

レイ……ごめんなさい

C-1438

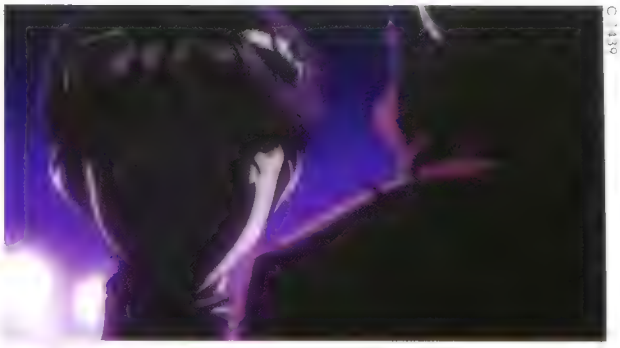
ミサト「本部広報部あて、届いたこの伝言よ」


C-1434

レイ（off）「あなたは死なないわ」

C-1443

トワノIICレコーダー　ノンノ　軽く



C-1439

？

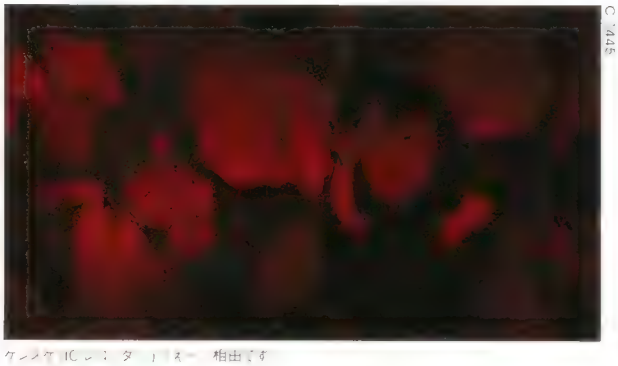
C-1444

C-1440

SE　ガシャン
生徒たち　ざわ　ざわざわ

C-1441

ヘンヘン　クー

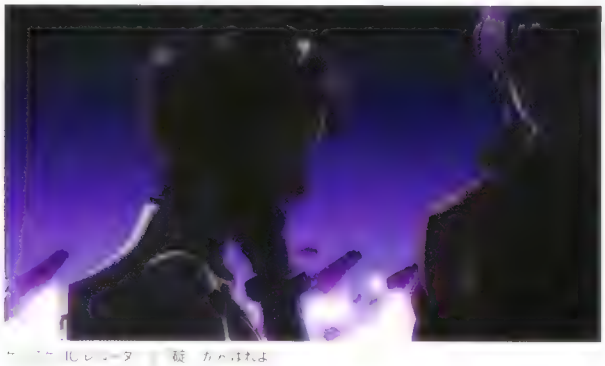


C-1445

ケンスケ　ICレコーダー　ネー　相田です

C-1442

トワノIICレコーダー　あの　ススハラです



C-1446

ICレコーダー　碇　かっはれよ

トワノIICレコーダー　碇　ノンノと呼ばせくれや！

C-1449

C-1447

C-1450A

C-1448

C 1450B

C 1452

C-1453

(↓PAN)

C-1454

C-1455

C-1456

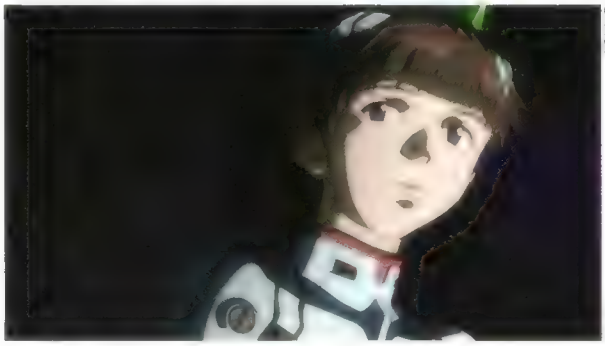
シンジ　彼女は何故エヴァに乗るの？

C-1457

レイ　綾波レイ

C-1458

シンジ　綾波
レイ　さ　綾

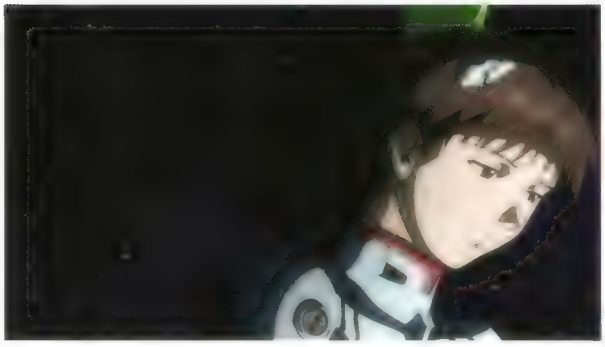


C-1463

シンジ

C-1459

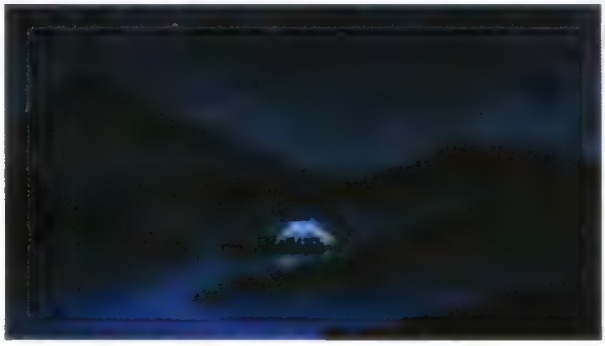
シンジ　父さんとか？　　レイ　――みんなと？
シンジ　強くなる　特徴は
レイ　私には　何もない　もう



SE　クーンの音

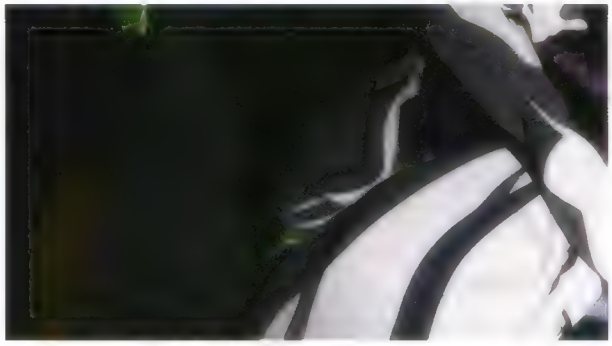
C-1460

シンジ

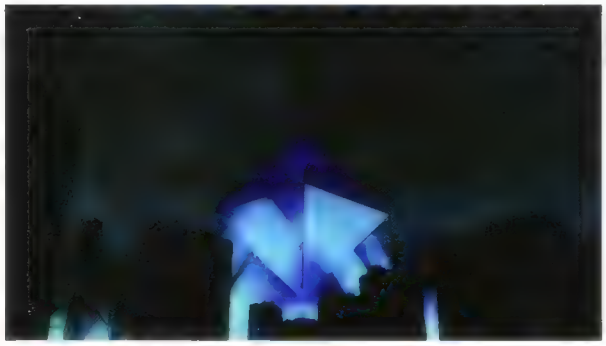


C-1464A

アナウンス（女）「[illegible]さま　午前　3時　ちょうど　お知らせします」

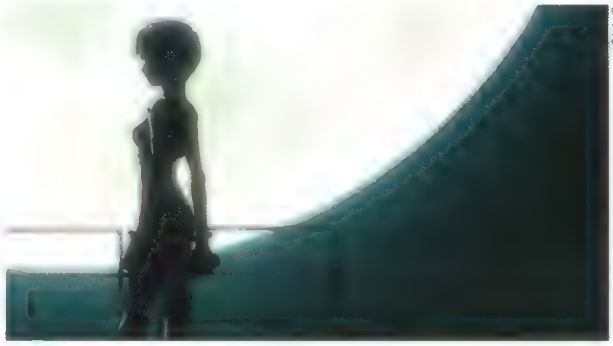


レイ「1週　[illegible]時間は　行きましょ！」
シンジ



C-1464B

SE　時報音　ピッ　ピッ



C-1461

レイ「さよな」

C-1465

SE　ナレーション

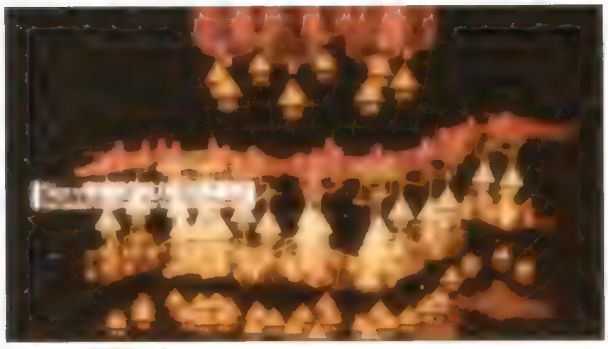
C-1462

C-1471

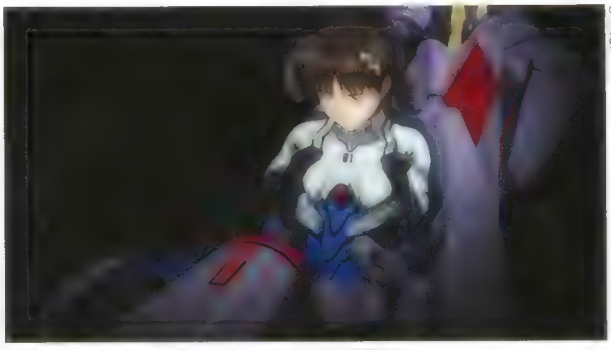
日向（off）「了解。各方面ノ1、2次変電所ノ系統切り替え」

C-1466

日向「時間です
ミサト「……君



女（off）「空間閉鎖を待ち」



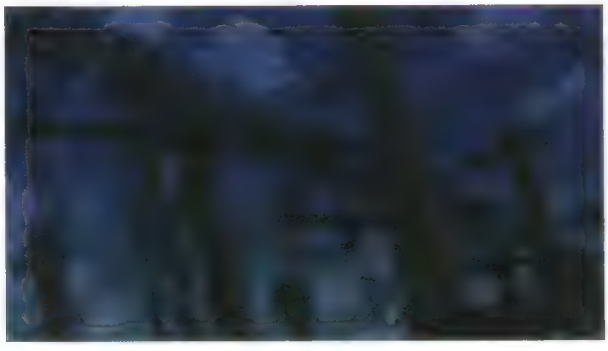
C-1467

ミサト（無線）「エウ……、乗ってくれた。それだけでも感謝するわ」

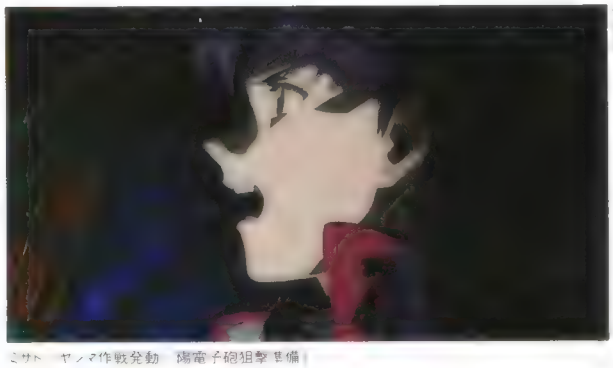
女（off）「接続開始」

C-1468

ミサト（無線）「ありがとう」



C-1472



C-1469

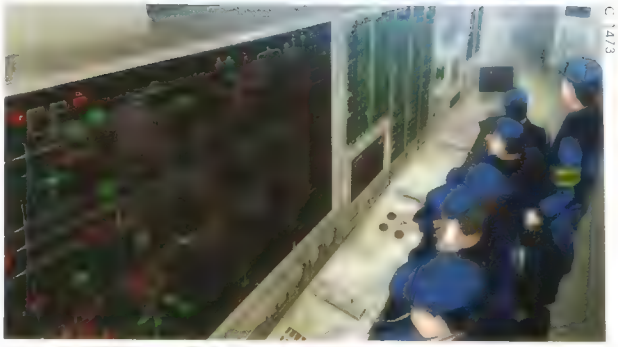
ミサト「ヤシマ作戦発動。陽電子砲狙撃準備」

C-1470

ミサト「第1次接続開始」

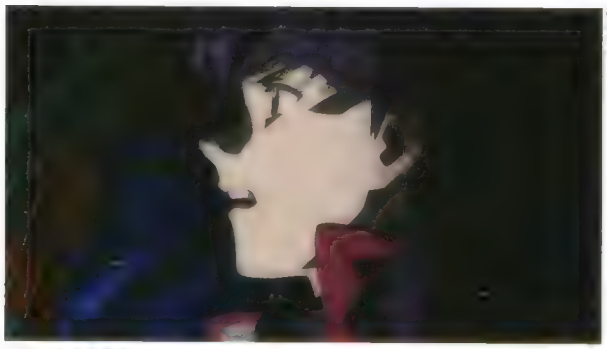
C-1476

目的、無線）「第1から第803管区まで、送電回路開放」
男（無線）「電圧安定、系統周波数は50ヘルツ維持」



C-1473

男（off）「各発電設備は全力運転を維持、出力限界まであと0.7」

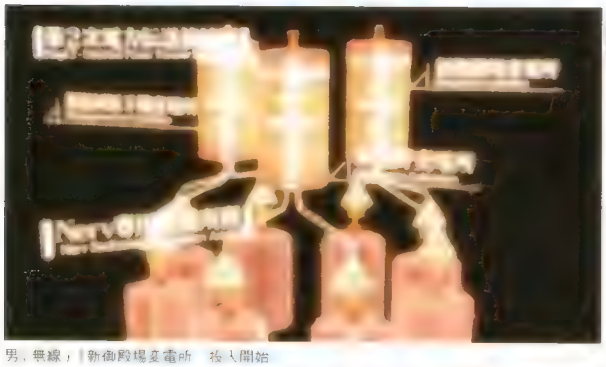


C-1477

ミサト「第2次接続」

C-1474A

男（無線）「電力供給システムに問題なし」



C-1478

男（無線）「新御殿場変電所、投入開始」

C-1474B

女（無線）「周波数変換容量、6500万kwへ増大」

C-1480

女（無線）「新堀野変電所、投入開始」
男（無線）「続いて新島田原予備変電所、投入開始」

C-1474C

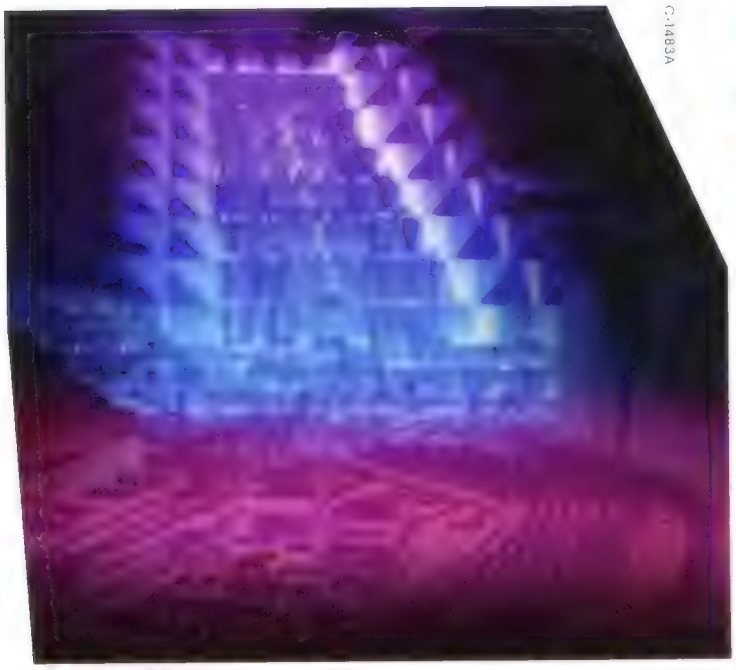
男（無線）「全インバータ装置に異常なし」

C-1479

男（無線）「電圧変動幅、問題なし」

C-1475

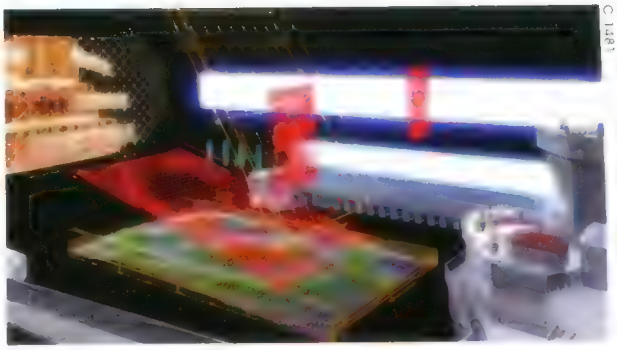
女（無線）「第1次遮断システムは順次作動中」



C-1483A

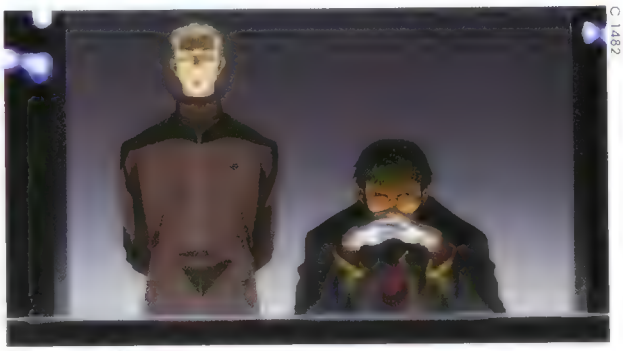
女「無線」「全電力システムは最大出力にて運転中」
男「無線」「超伝導電力貯蔵システム群　予電率 78%」
女「無線」「超伝導変圧器多段入　受電を確認」
女「無線」「インジケータを確認　異常なし」
女「無線」「ブラインドル回転開始」
男「無線」「西区オ[illegible]ブ活火教育地電力　最大数を[illegible]」

（↑PAN）



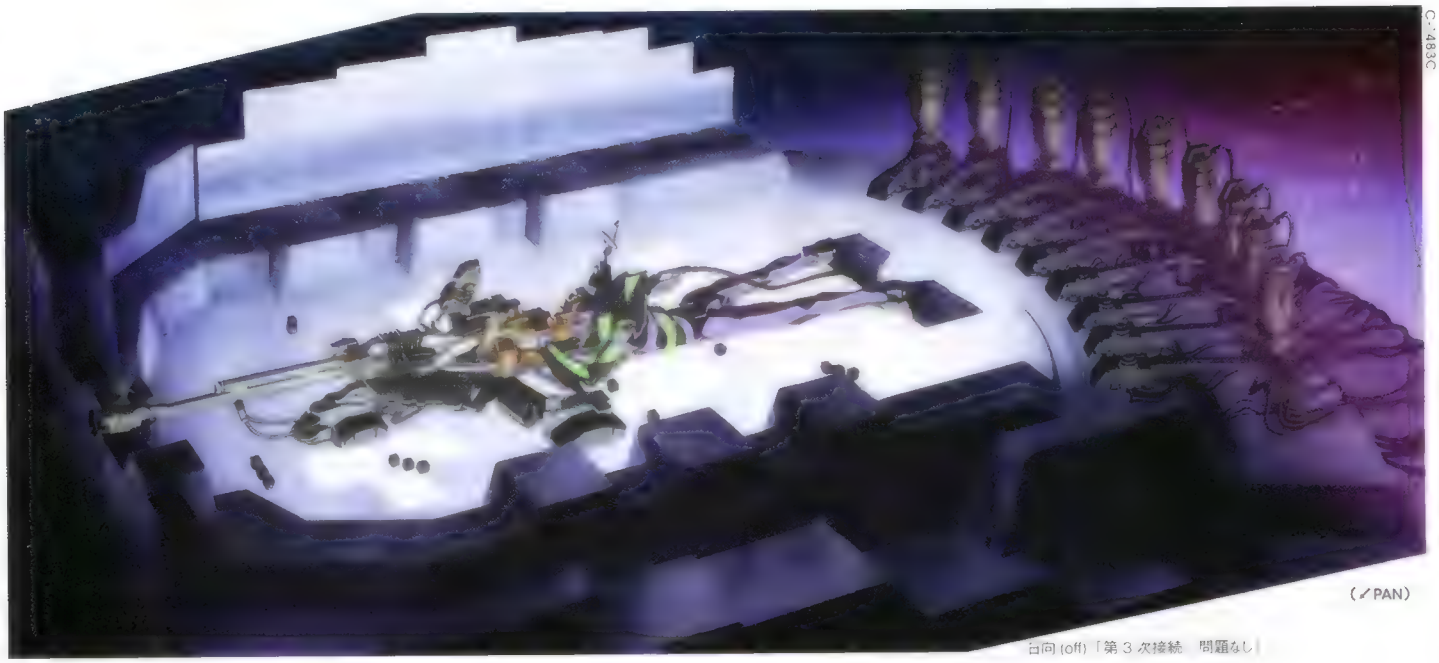
C-1481

ミサト「スピーカー」「第3次接続」
日向「スピーカー」「了解　全電力　双子山増設変電所へ」



C-1482

女「スピーカー」「電力電送電圧は最高電圧を維持」



C-1483C

（↙PAN）

日向(off)「第3次接続　問題なし」

C-1485

ミサト「予定通り行動を開始　飛翔機は直ちに退避」

C-1484

ミサト「了解　第4　第5要塞へ伝達」

C 148.6

C 148.8

C 148.7

C 1490
C 1491
C 1492
C 1493

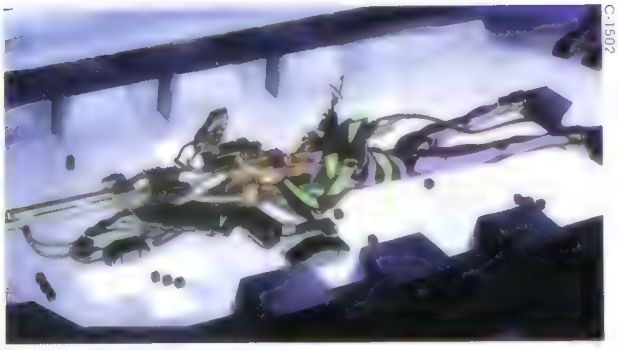
C-1494
C-1495
C-1496
C-1497

C-1501

女（無線）「陽電子加速器　蓄積中　プラズマ」

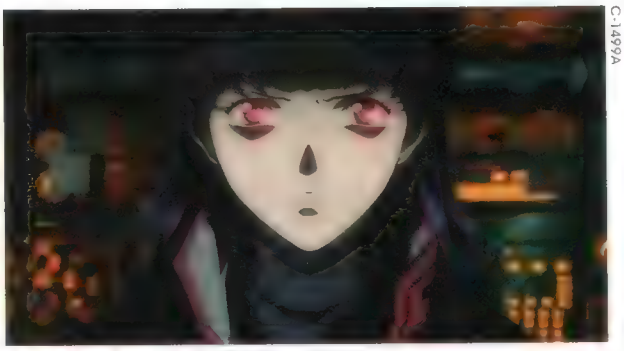
C-1498

日向　「第2砲台　被弾」
女（無線）「第8VLS群　発発」



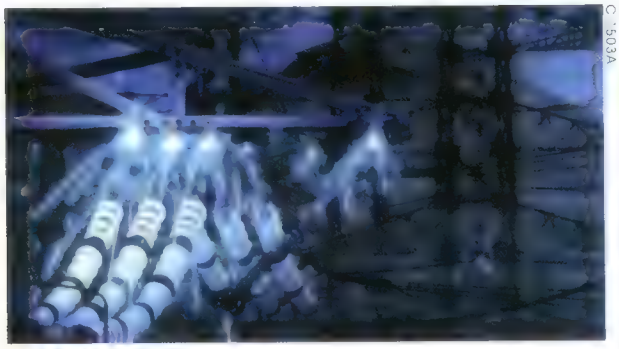
C-1502

男（無線）「高速回転数：5万8千キロ」
男（無線）「エネルギー密度　発射点　計算中」



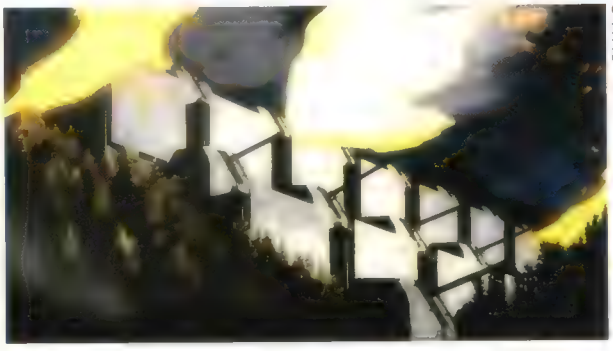
C-1499A

女（無線）「第4対地システム攻撃開始」



C-1503A

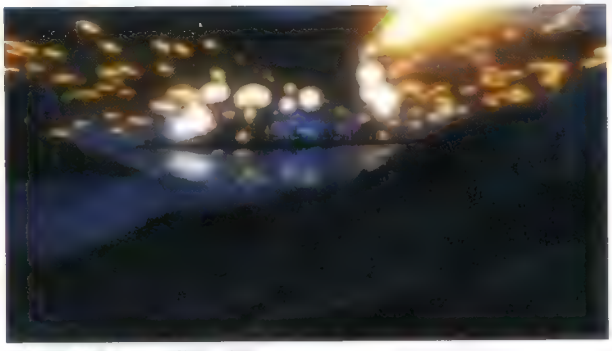
女（無線）「送電損失　増大」
男（無線）「電子稼働率0.019%」



C-1499B

C-1503B

男（無線）「事故回路を遮断」
男（無線）「切り替え急げ！！！」

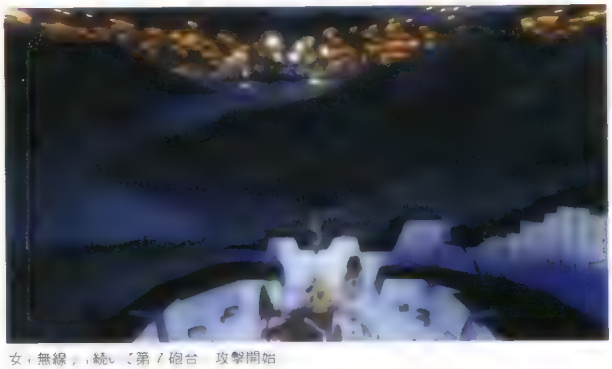


C-1500

男（無線）「第6ミサイル陣地　壊滅」
青葉（無線）「レーザー放射群　第3波発射します」

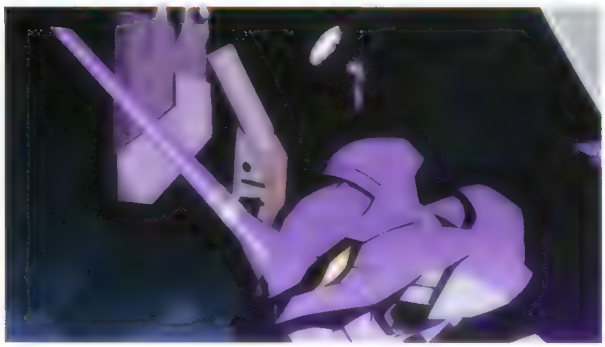
C-1503C

女（無線）「電力低下は許容数値内」
女（無線）「系統保護回路　作動中　復旧運転を開始」

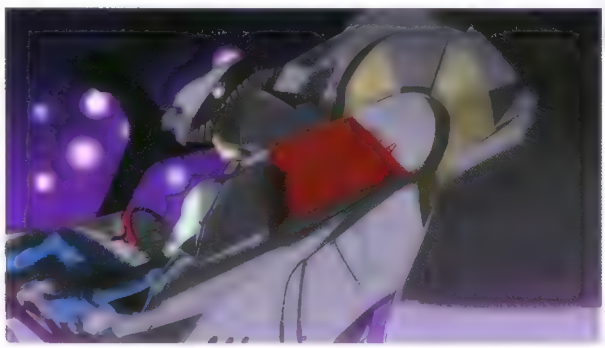


女（無線）「続いて第7砲台　攻撃開始」

C-1508A



C-1508B

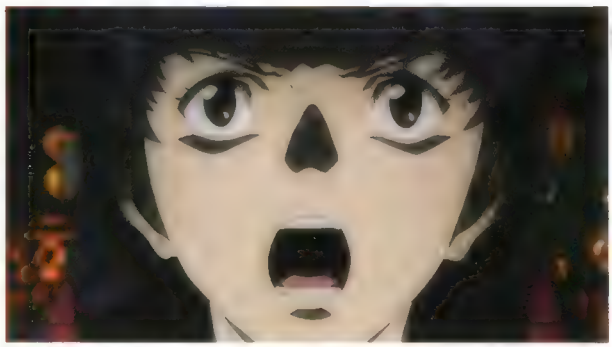


1伊吹：無線： 射撃用諸元 最終入力を開始

C-1509

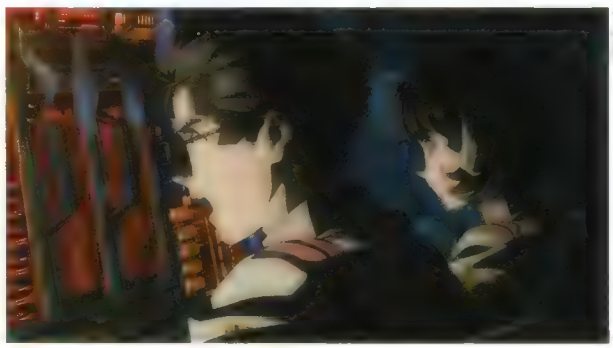
男：無線： 第4次接続 問題に

C-1504



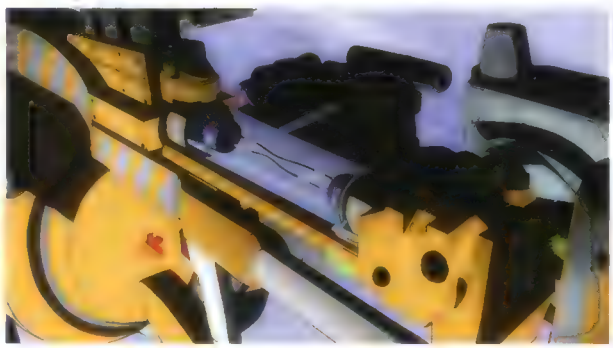
ミサト：最終安全装置解除

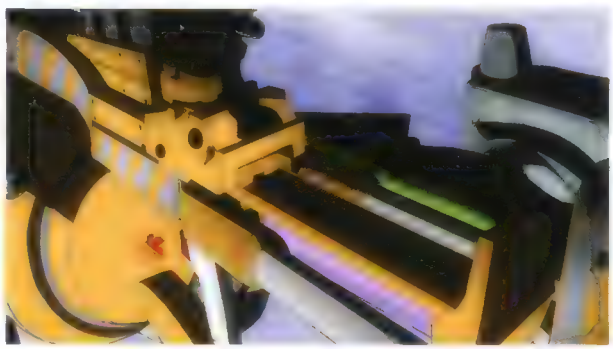
C-1505



日向：撃鉄 起こせ

C-1506





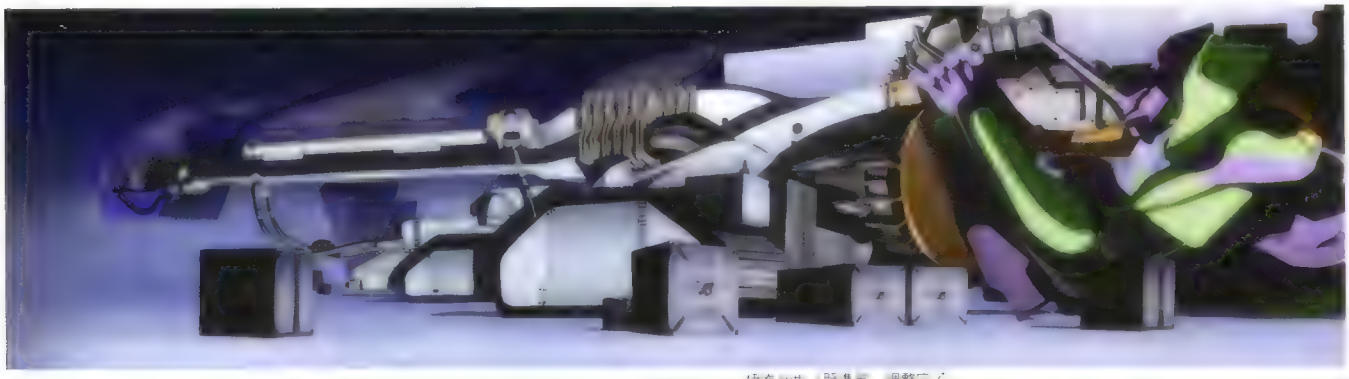
C-1507

C-1511

女：無線：射撃器目標を自動追尾中

C-1510

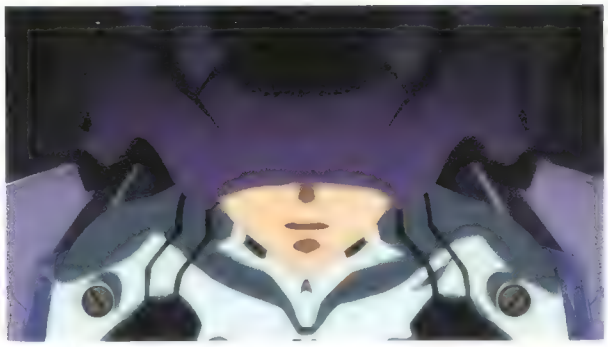
女：無線：『地球自転　及び重力偏差修正　プラス0.0009



C-1512

(←PAN)

伊達(off)：『映像器　調整完了』
男：無線：『陽電子加速中　発射点まであと02:01



C-1517

女：無線：『バレス安定　問題な
[illegible]』

C-1513B

ミサト：第5次最終接続

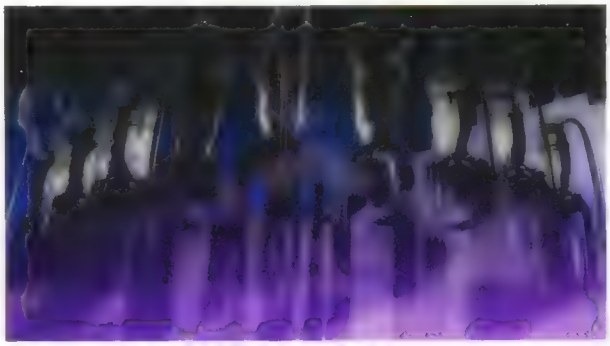
C-1518

シンジ(mono)：『後波はいま観測中』

C-1515

日向(off)：『全エネルギー　超高電圧放電システム』

シンジ(mono)：『エヴァ[illegible]を操縦する自信がない　理由もわからず　ただ動かなかっただけ』



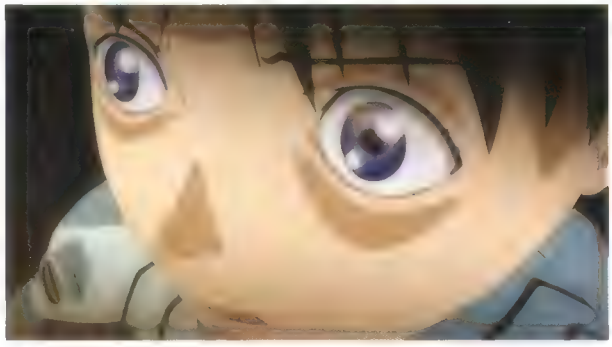
C-1516

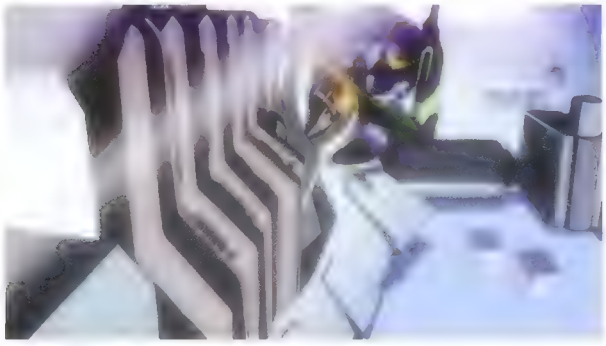
男：スピーカー：『第1から第5放電ブロック　受電準備よし』
女：無線：『陽電子加速管　最終補正』

C 1620

C 1519

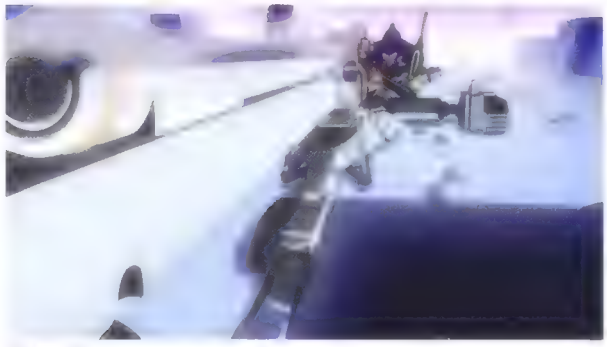
ノンノン (mono) 人間を作る



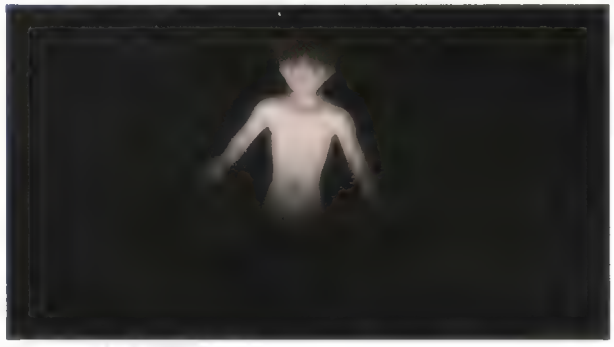


日向 (off) 13

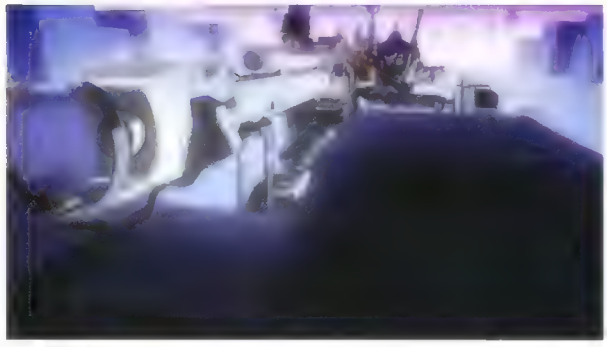
ノンノン (mono) これを実感もわかない大事を事を…！



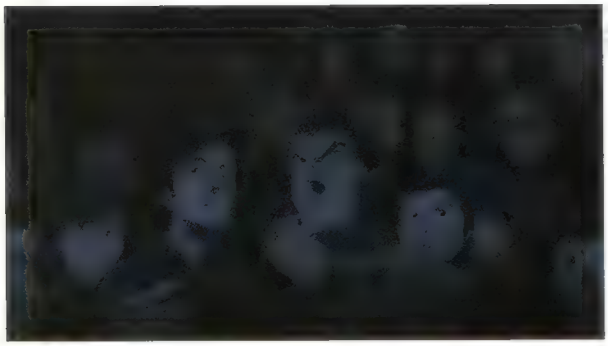
日向 (off) 12



ノンノン (mono) ！なんで僕なんだ？！

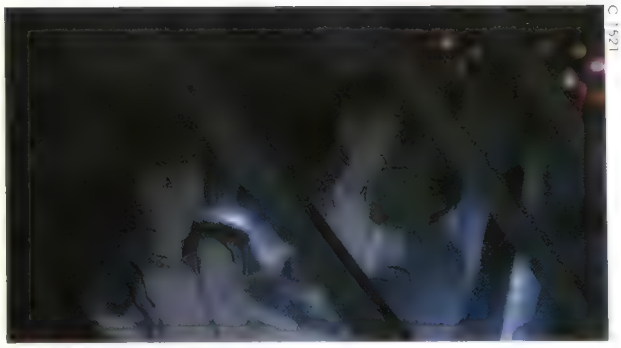


日向 (off) 11



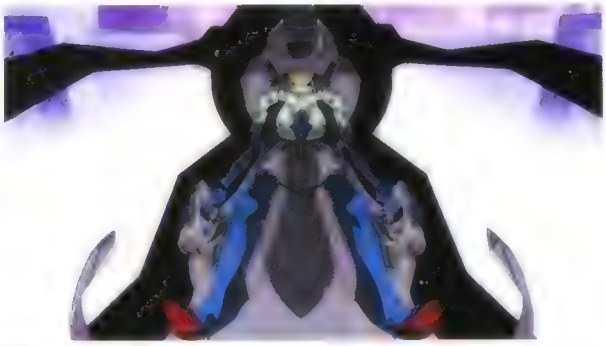
C-1526

日向(off) 4



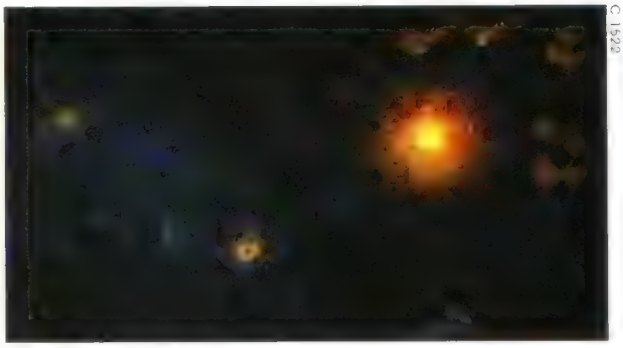
C-1521

日向(off) 10



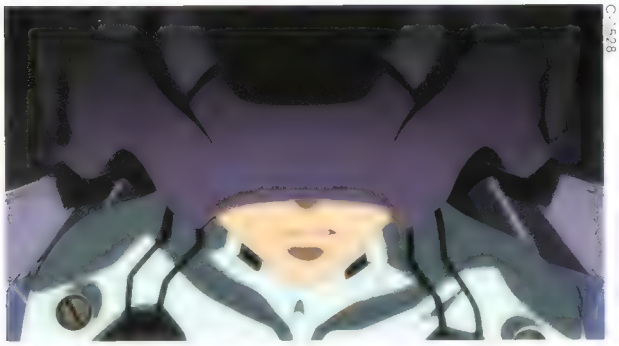
C-1527

日向(off) 3



C-1522

日向(off) 9



C-1528

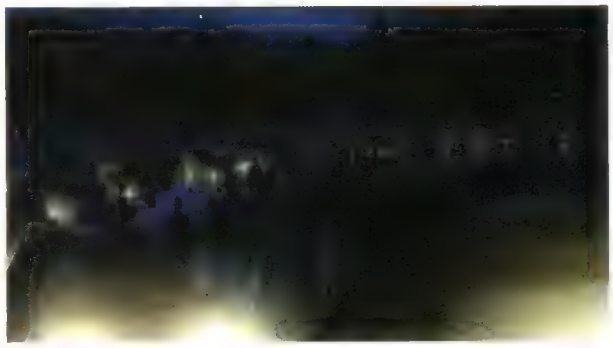
日向(off) 2

C-1523

日向(off) 8 / 7

C-1529

日向(off) 1

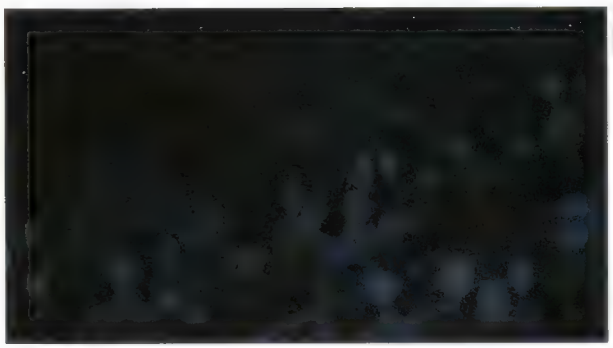


C-1524

日向(off) 6

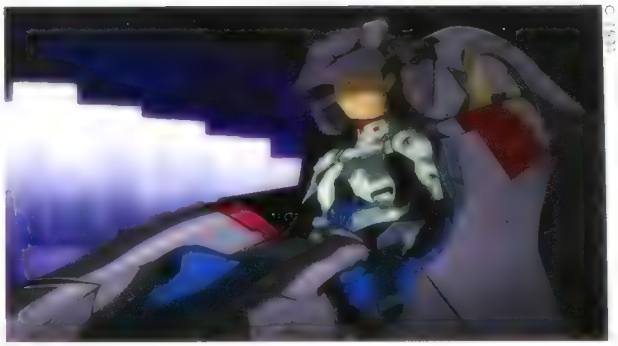
C-1530

[illegible] 発射



C-1525

日向(off) 5



C-1531

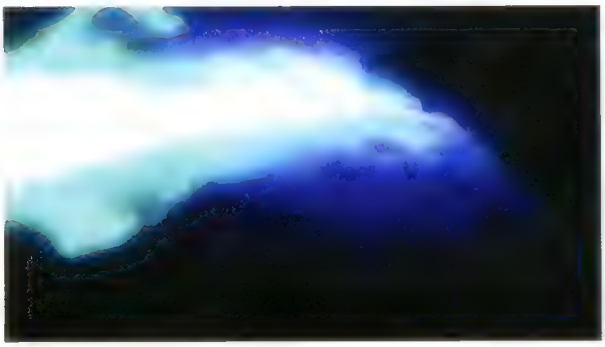
SE　カチ

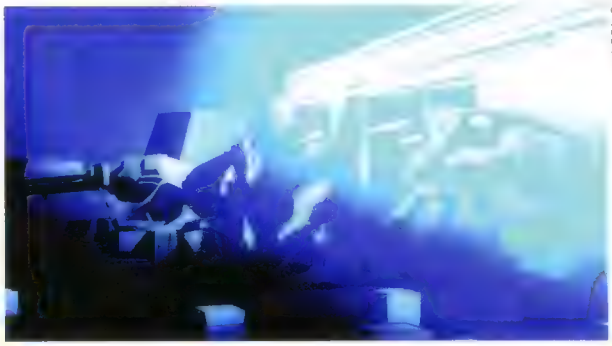
C-1535

C-1532

C-1536

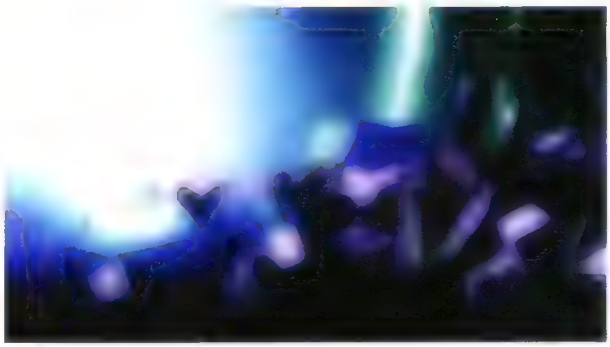
C-1533



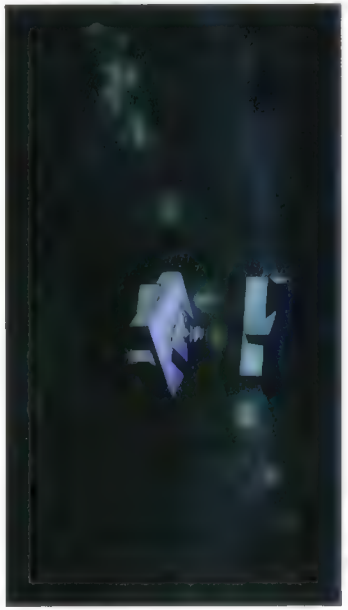


C-1534

C-1537



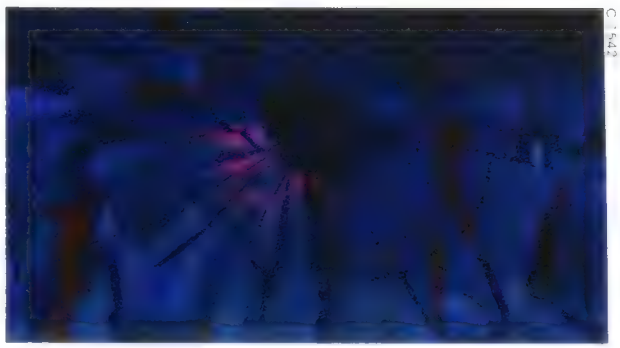
C 1538



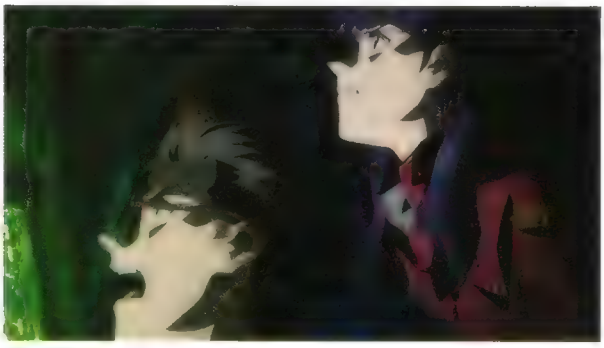
C-1539

C 1540

C 1541

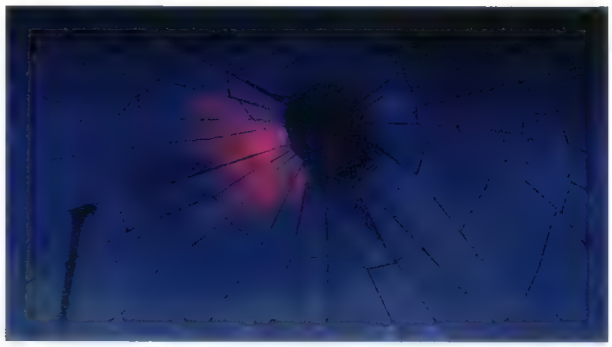


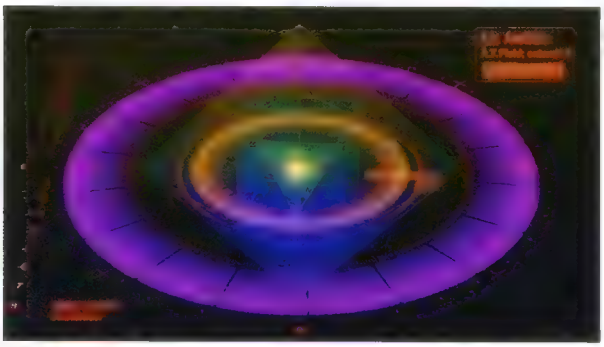
C-1542



C-1544

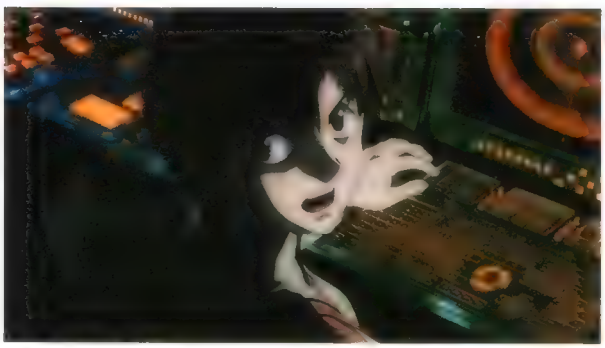
サト　外ヘ
日向　ミサト　ブタイ　ケンク





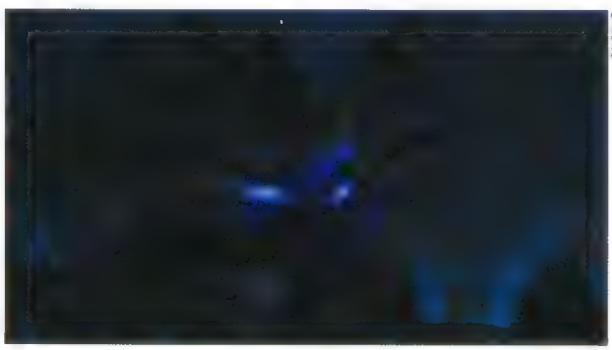
C-1546

伊吹（off）　目標，

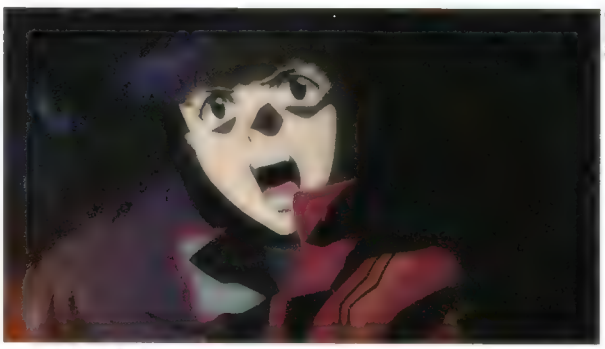


C-1547

伊吹　高エネルギー反応



C-1543

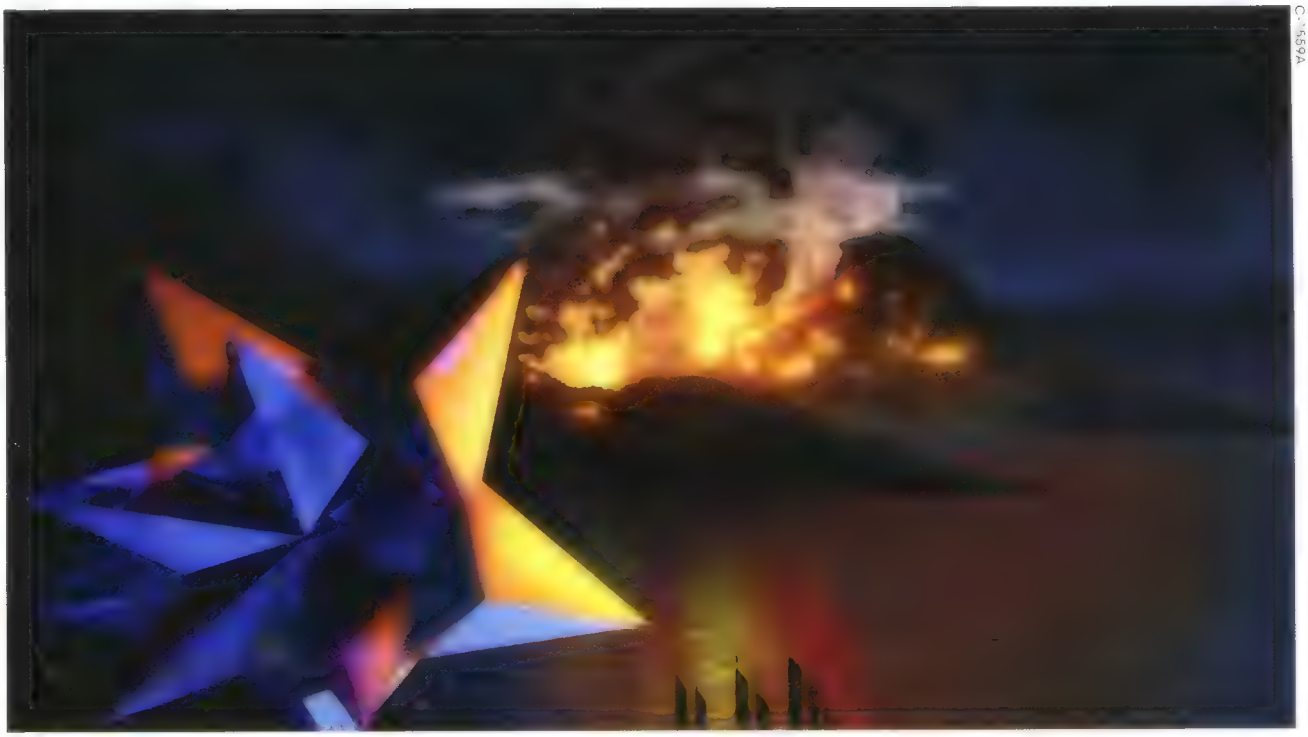


C-1548

ミサト　総員　直撃，備え

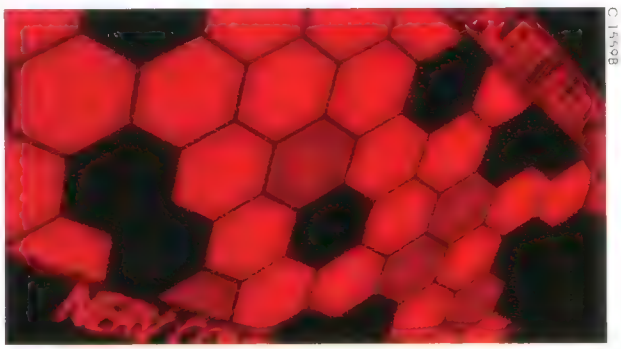
C 1549
C 1550

C 1555
C 1558

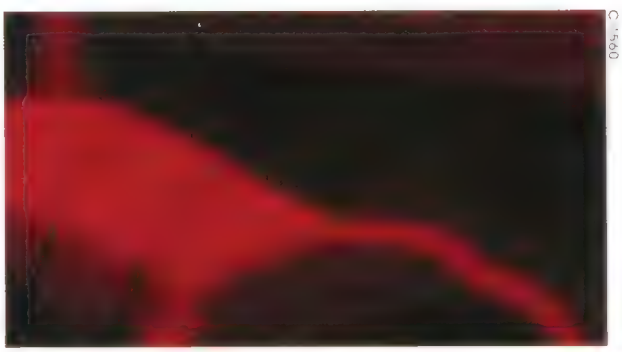

C-1559A

C-1561

日向「まぁ、いいます。よい。再充填を開始」
ミサト「陽電子砲は？」


C-1559B

伊吹「健在ですね。徳丸さん却中。ですか。あと１回撃てるかどうか」
ミサト「確認不要。やってみるしかないよ」

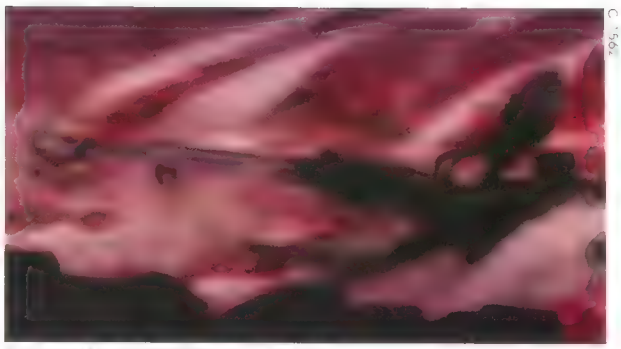

C-1560

ミサト「シンジ君、大丈夫？」

ミサト「エネルギーシステムは？」

C-1565

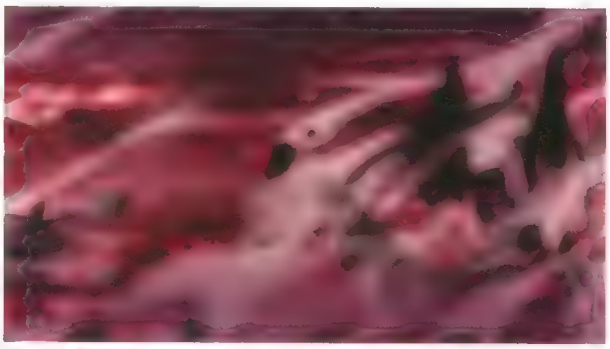
[illegible] スピーナ [illegible] 現場 |



C-1562

ミサト (off) | 急いで! 初号機を狙撃ポイントに戻して!

[illegible] 現時点でも [illegible] 巨機 [illegible] トを重傷



ミサト (off) [illegible] 君

C-1567

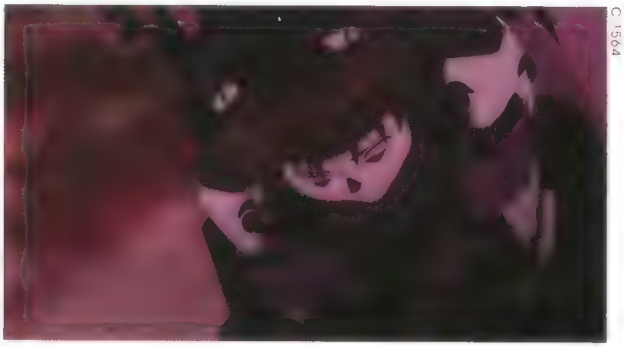
ケイコ | 狙撃手は索敵機 [illegible] イロット [illegible] 地点キャ

C-1563

シンジ | [illegible] 広き |

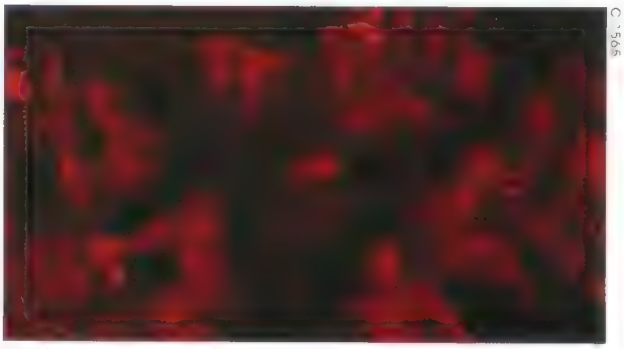
C-1568

冬月 | 嵐 |
ケイコ | 使えないヤツは切り捨てるのみ。



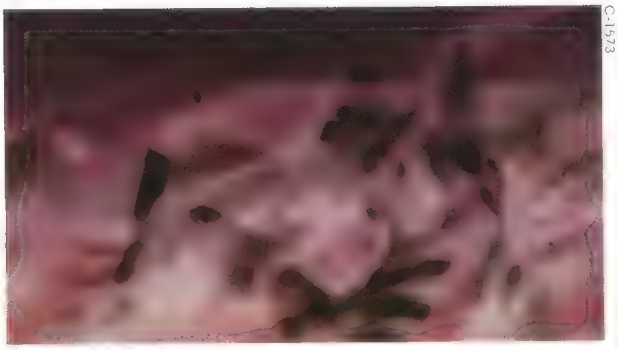
C-1564

ミサト | 無線 | 待ってください。
ケイコ |
冬月 |

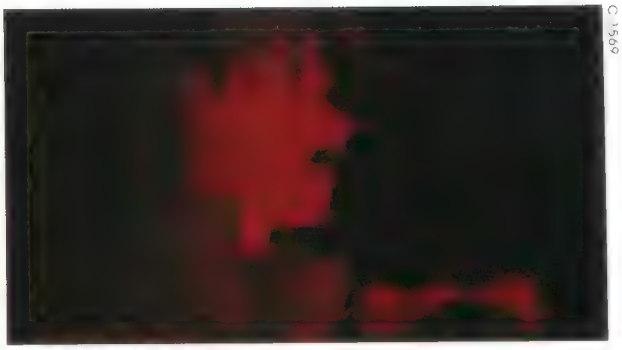


C-1565

シンジ | スピーカー [illegible] 広き |

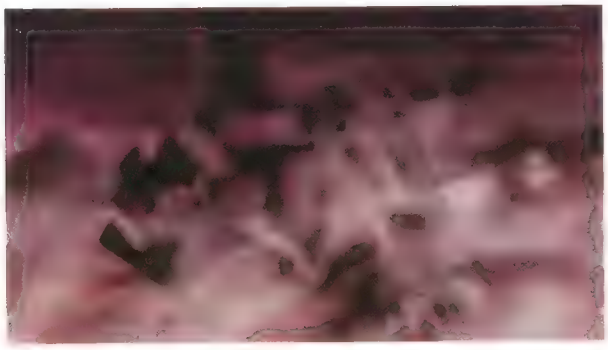


C-1573



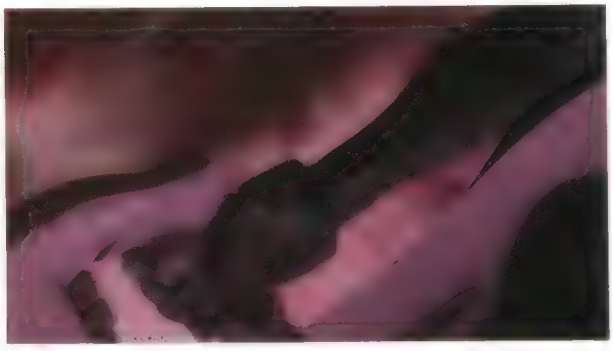
C-1569

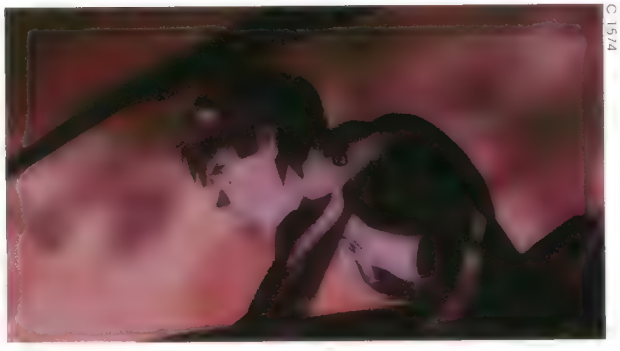
ミサト「彼は逃げずにエヴァに乗りました」



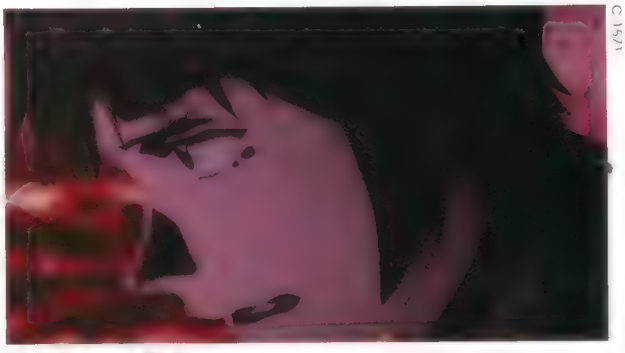
C-1570

ミサト(off)「自らの意思で降りない限り、彼に託すべきです」



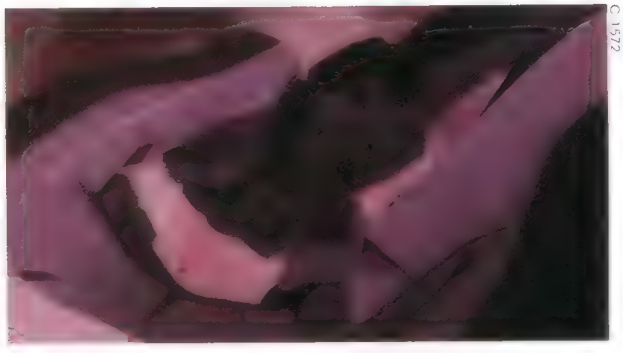


C-1574

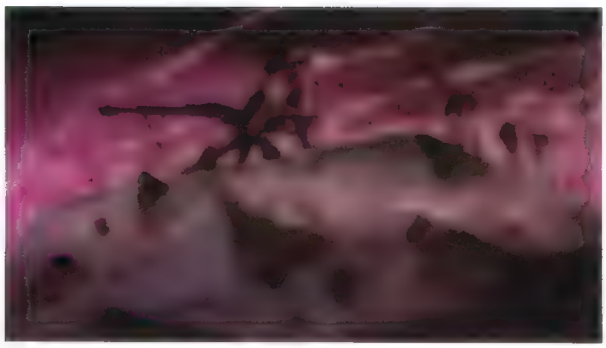


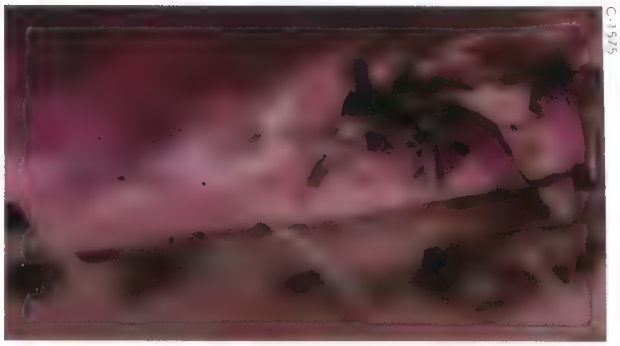
C-1571

トウジの声「シンジ、頼むぞ」
ケンスケの声「碇、がんばれよ」

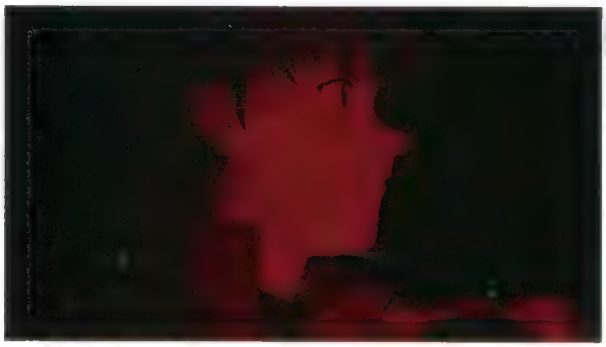


C-1572



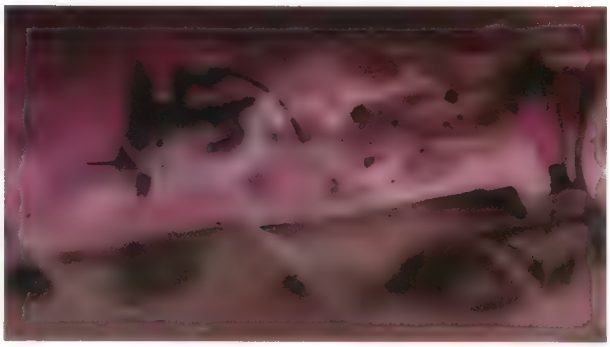


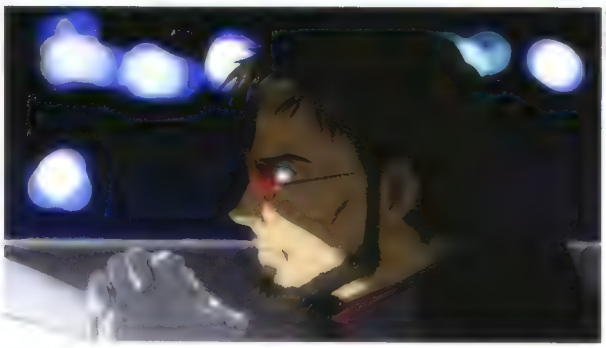
C-1575



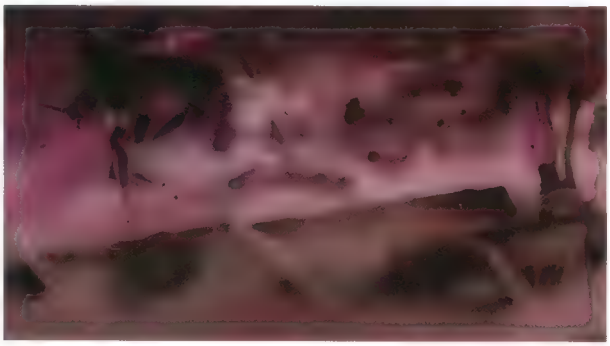
C-1578

ミサト「私も、初号機パイロットを信じます！」



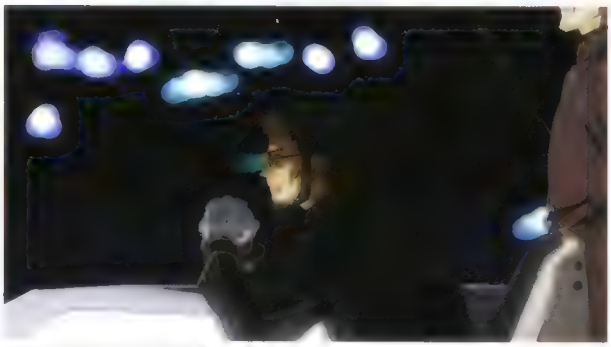


C-1579



C-1580

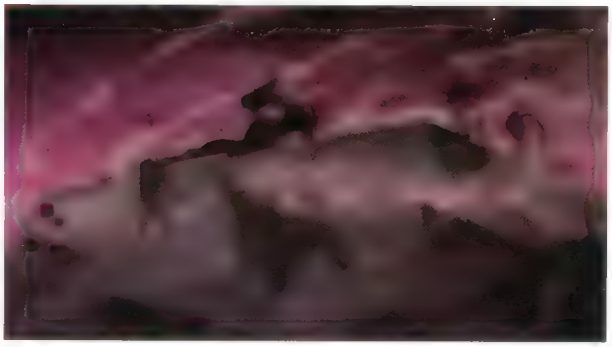
ケンドウ「仕切り好き、ってまえ」



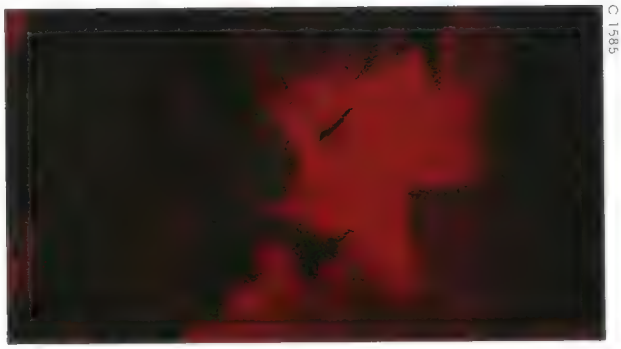
C-1576

ミサト（スピーカー）「自分の子供を信じて下さい」

ミサト（スピーカー）「ありがとうございます」

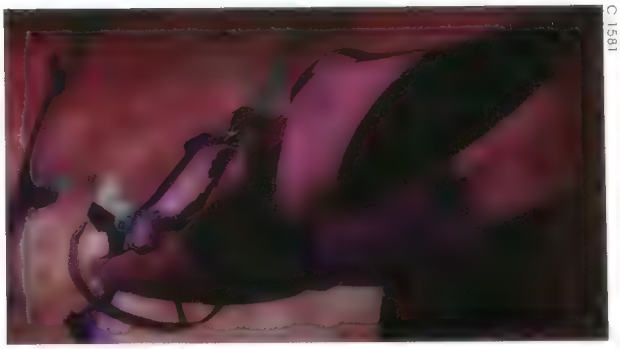


C-1577



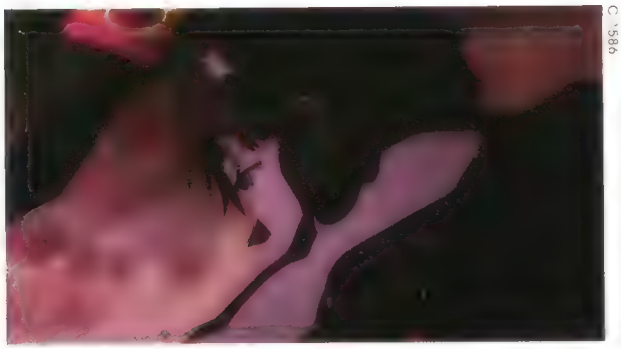
C-1581

ミサト（無線）「シンジ君！」
シンジ「ハイ」



C-1582

ミサト「今、後、日本中のエネルギーと一緒に！」

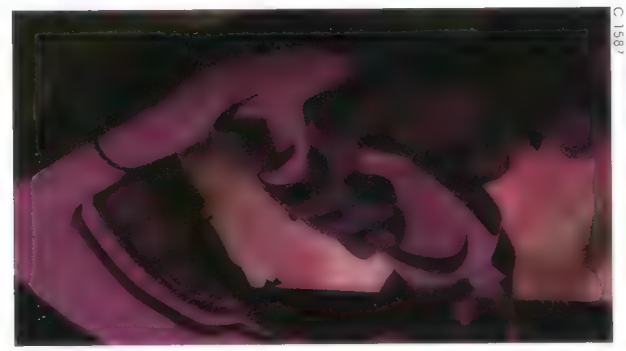


C-1583

ミサト(off)「私たちの願い」

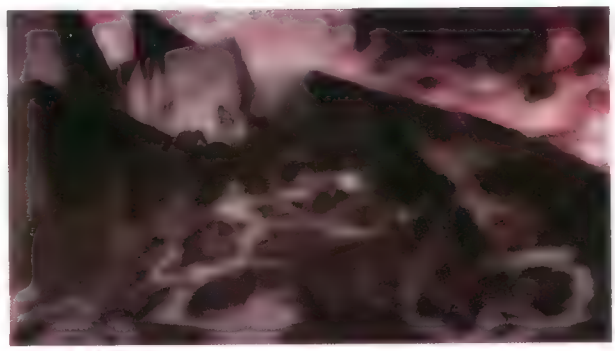
C-1584

ミサト(off)「人類の未来」



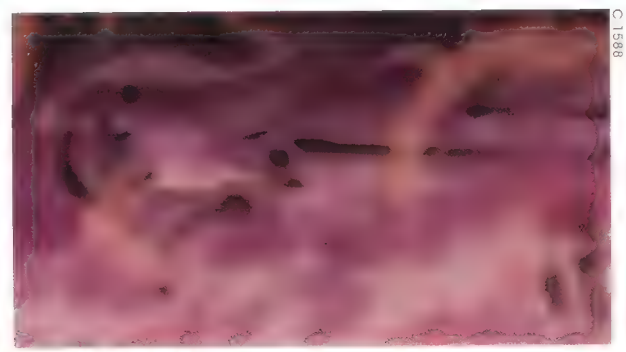
C-1585

ミサト「あなた、壊れるわ」



C-1586

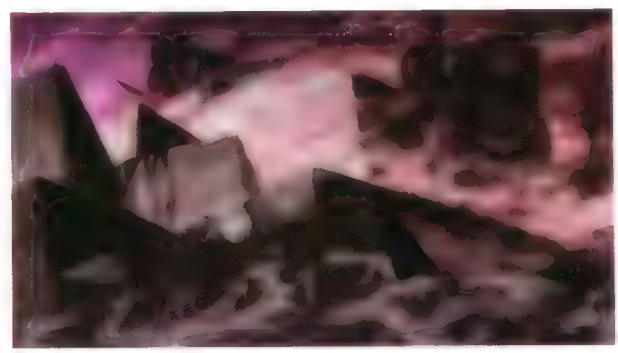
ミサト（無線）「あなたは、ね」



C-1587

C-1588

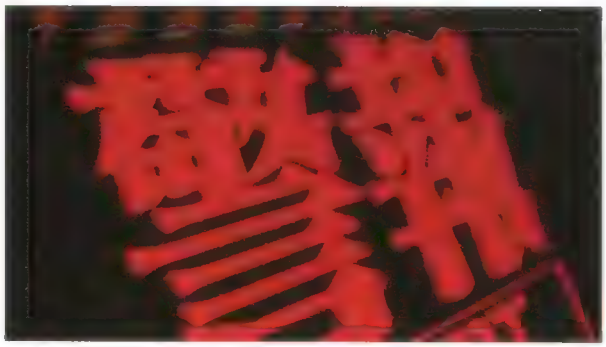
日向(off)「終身、固定」「着」
男（無線）「放電システムを再調整」



C-1589

伊吹(off)「初号機、G型装備を廃棄」

ミサト(off)「生き残った全ての生物の命」



C 1593

C 1590

伊吹（off）「射撃最終システムをマニュアルに切り替えます」

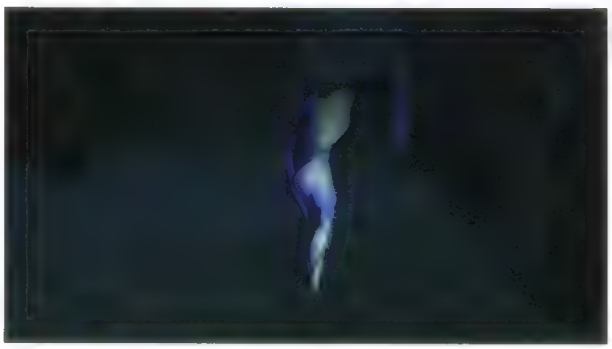
C 1594

青葉（off）「敵弾満載」「本部直上」「地点、到達」

シンジ「……」

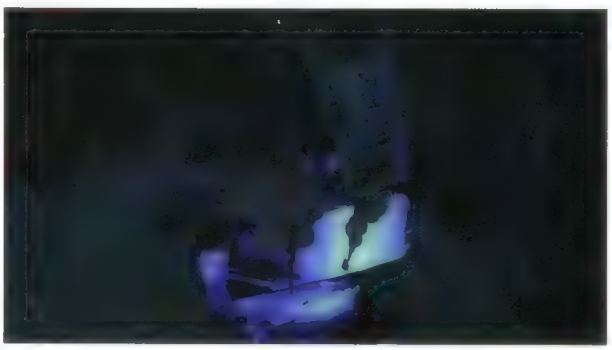
C 1595

ミサト「第２射急いで!!」

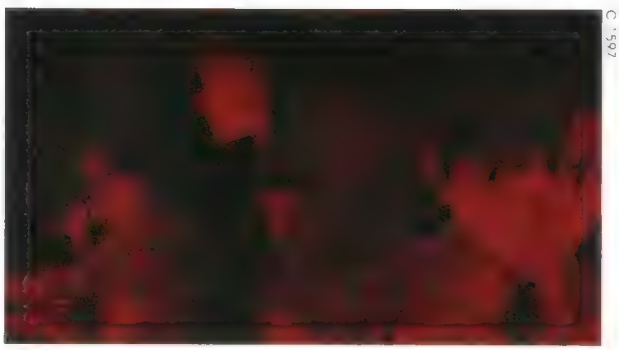


C 1591

C 1596



SE　ズドドォォォ



C 1597

日向「ビーズ交換」「砲身冷却終了」

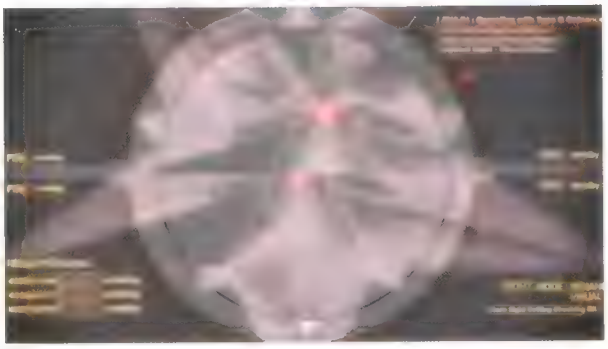
C 1592

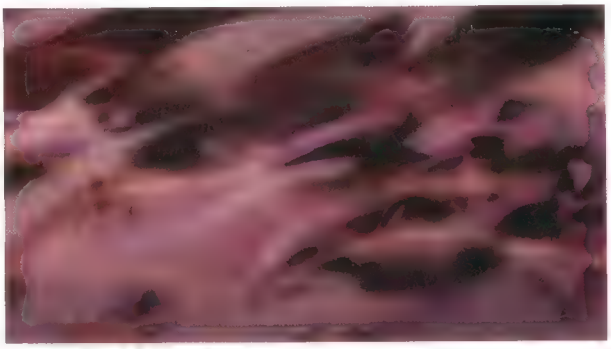
SE　ドココココ

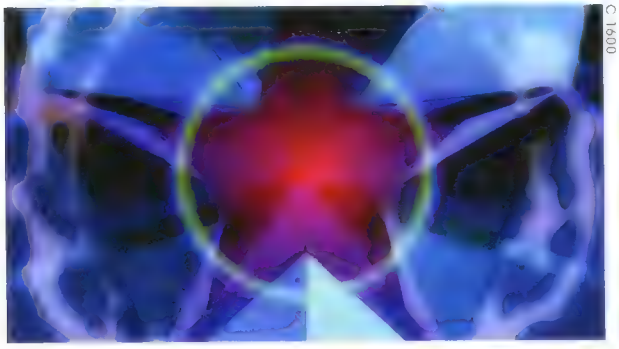
C-1599D

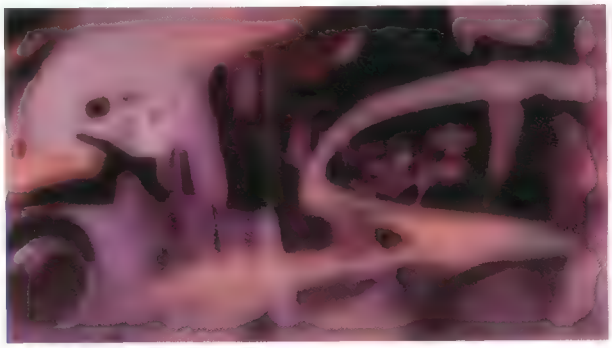
C-1598

女(off)「送電システム、最大出力を維持

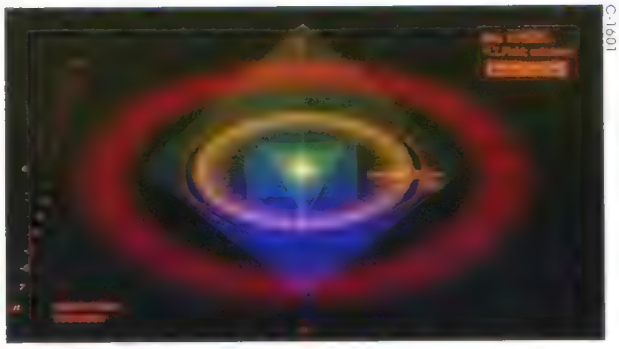

男(off)「圧力、発射点まであと…」


男(off)「地上作業員、退避完了」
男(off)「各放電ノズル、問題な

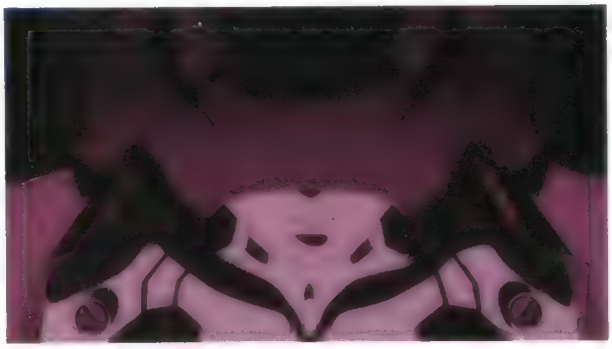

C-1600


C-1599A

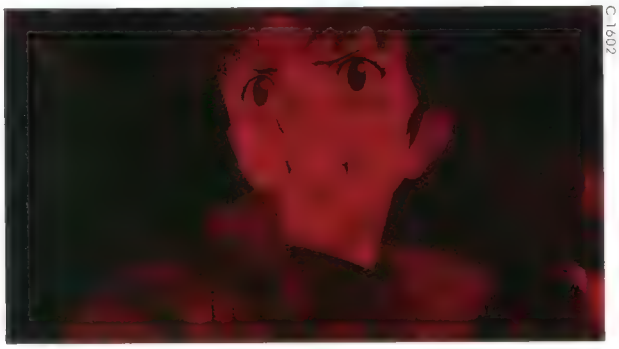
伊吹(off)「射撃用諸元、再入力完了」


C-1601

伊吹(off)「目標、再び高エネルギー反応」


C-1599B

伊吹(off)「以降の誤差修正は」


C-1602

ミサト「やば、…」

C-1599C

伊吹(off)「パイロットの手動操作に任せます」

C-1604

C-1603

C-1605

C-1607
ミサト、シンジ君！

C-1613

C-1610

C-1614
綾波

C-1615

C-1611

C-1612

C 1620

C 1621

C 1622

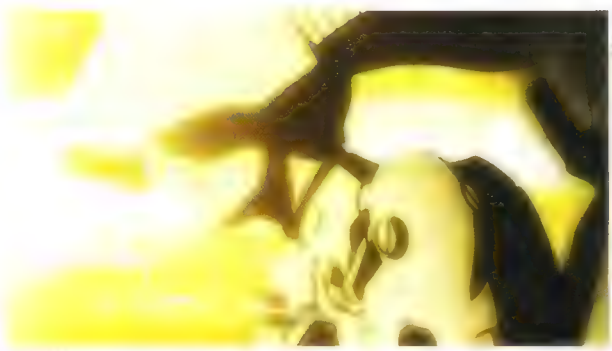
C 1616

リン「眩かわいい」

ミサト「まだ？」

C 1617

日向「あと20秒」



C 1618

C 1619

C-1623

C-1624

C-1625

C-1626

C-1627

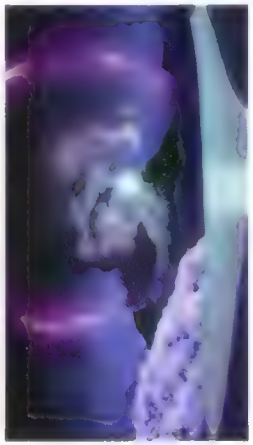
C-1628

C-1629

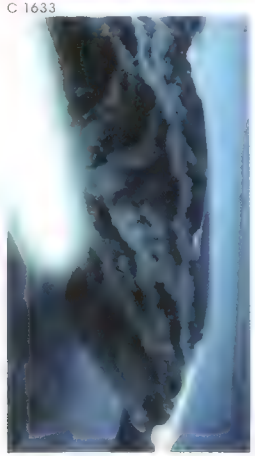
C-1630

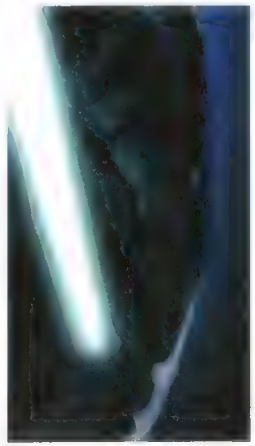
C-1631

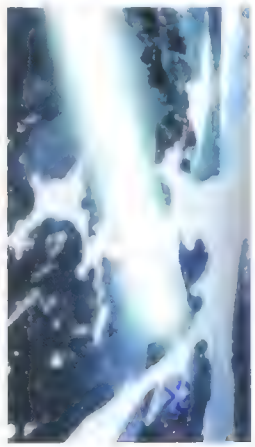
C-1632

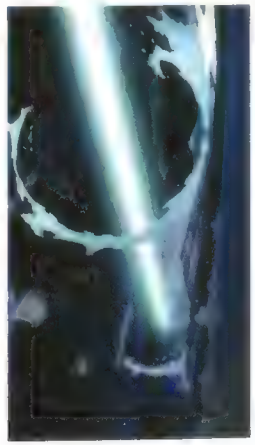


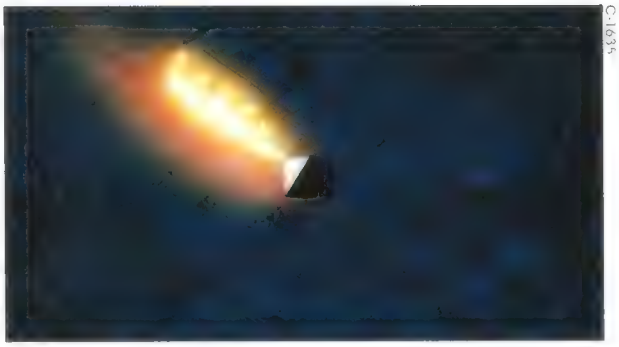
C 1633



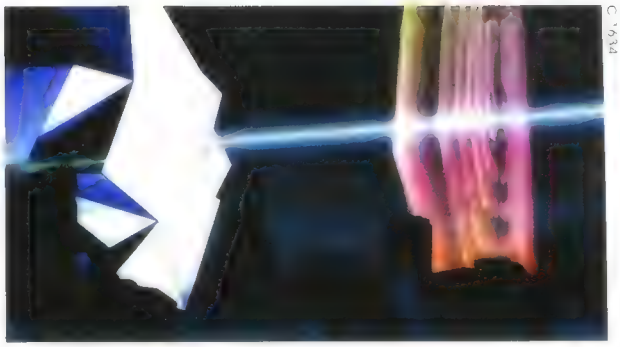




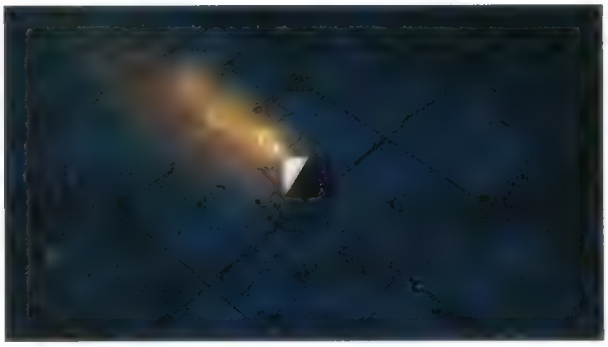


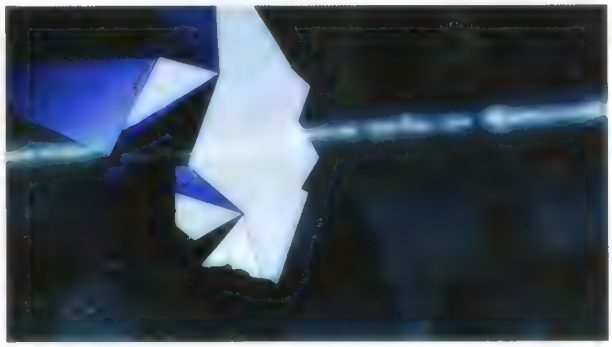


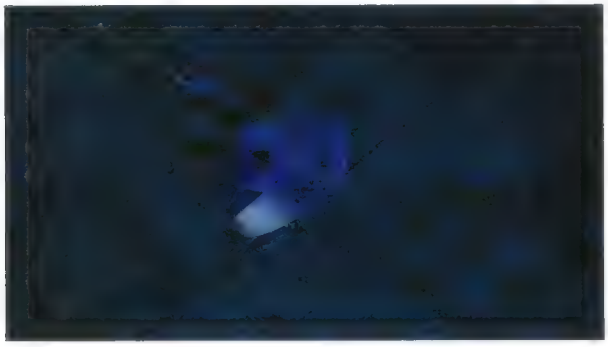
C-1635

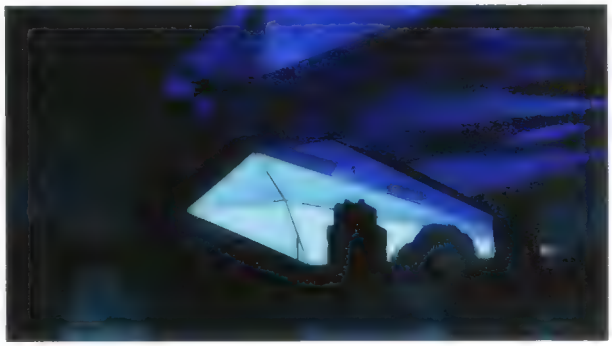


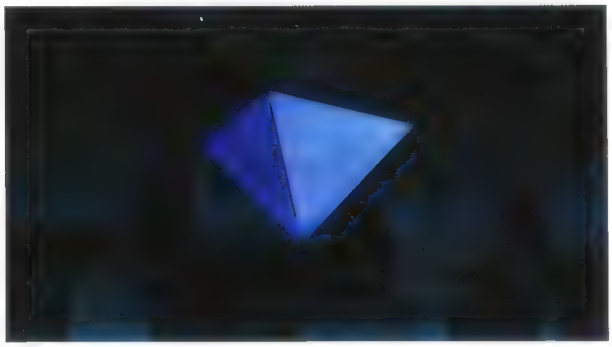
C-1634

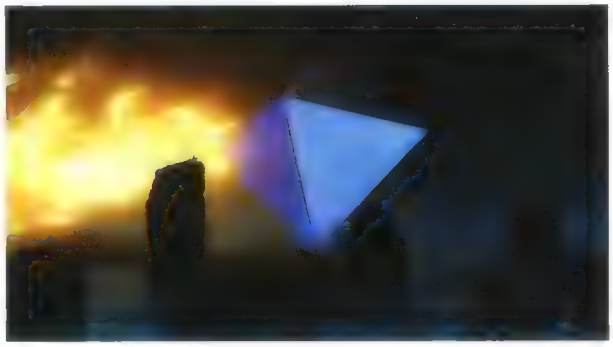




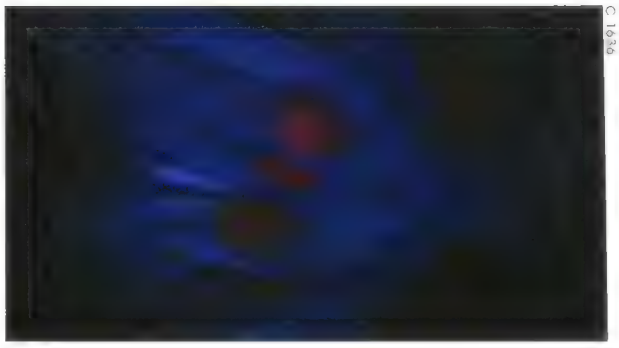








C-1647

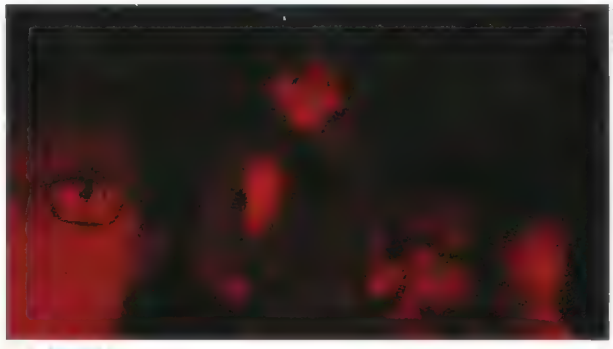


C-1636

C-1648

C-1637

C-1639



C-1638

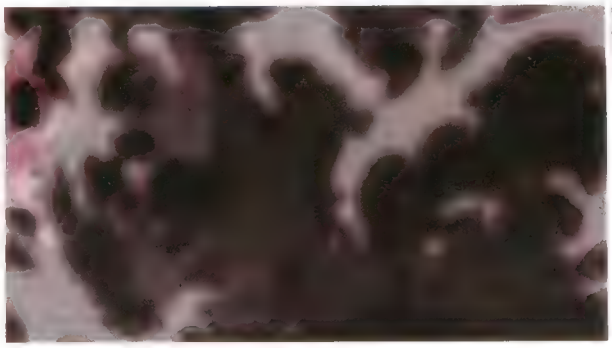
ミサト「やった!」

C-1640

C-1646

C-1649

C-1641



C-1642

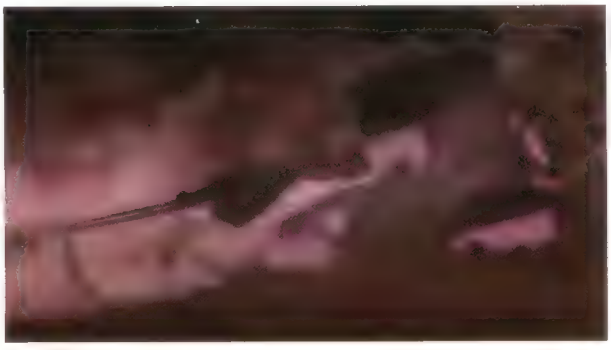
SE スッ

C-1650

シン（スピーカー（機械））

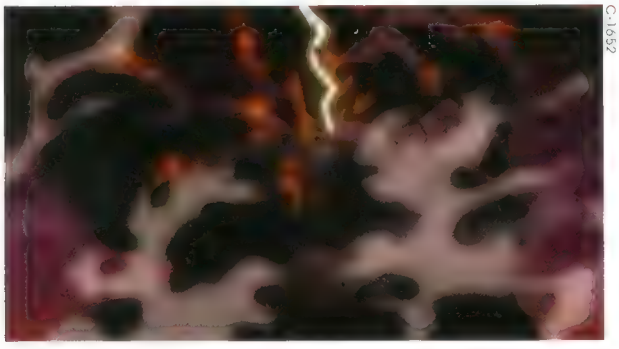
C-1643

C-1651

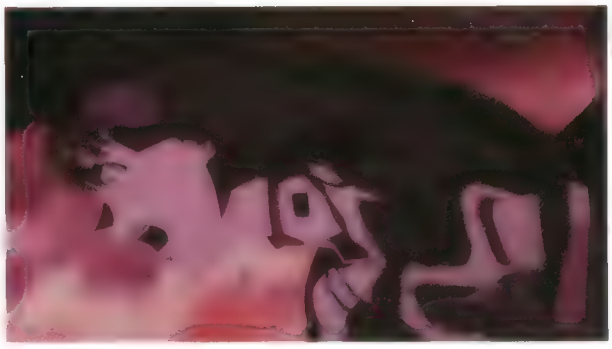


C-1644

SE クワッ

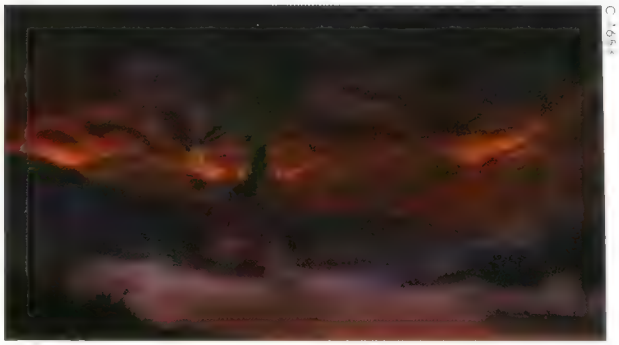


C-1652

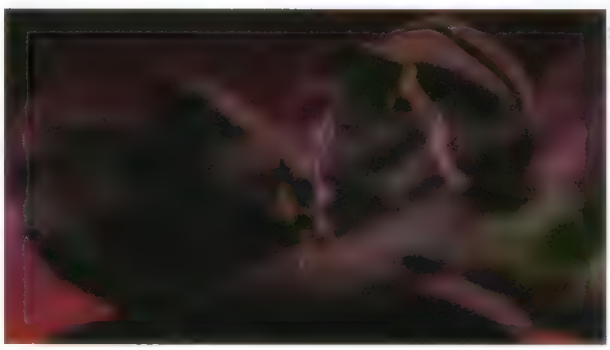


C-1645

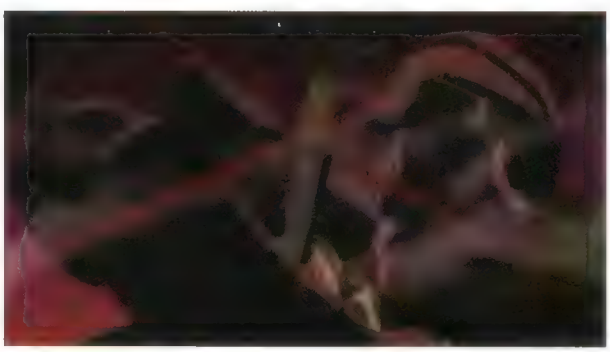
シン（機械）



C-1654

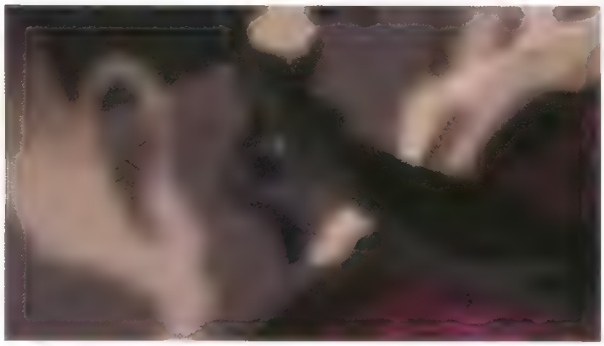


C-1654



C-1655

C-1656



C-1657

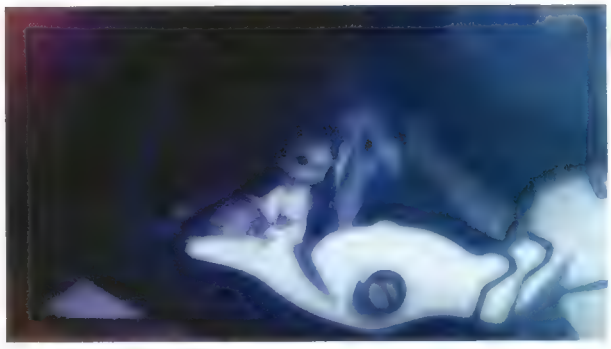
C-1658

C-1663

C-1659

シンジ「綾波……」

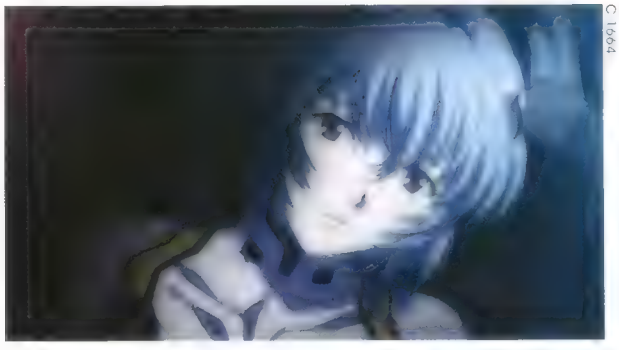
シンジ「自分には他に何もない……」


C-1660

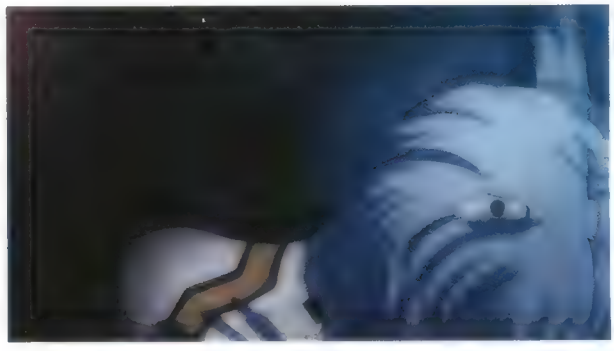
シンジ「大丈夫か、綾波。綾波……」

シンジ「そんなこと言うな……」

C-1661

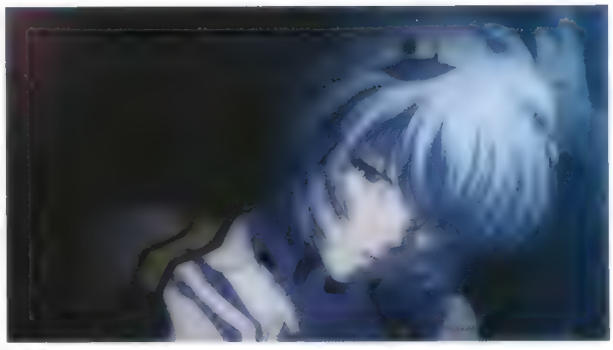

C-1664

レイ


C-1662

C-1665

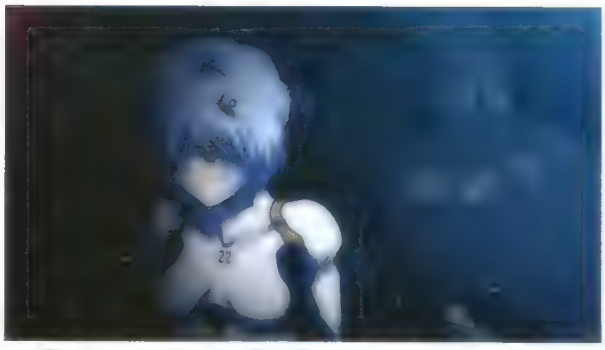
シンジ「別れの時がさようならだ……」


レイ「……」

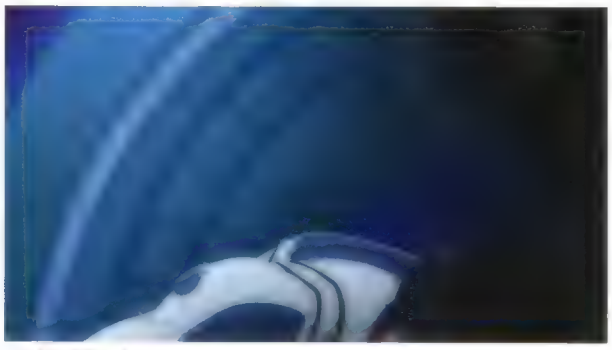
C-1668

[illegible]

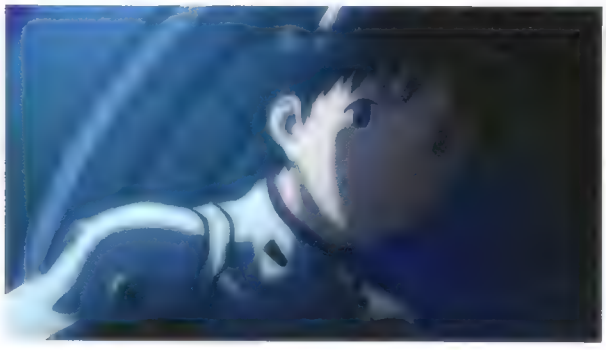
シンジ「悲しいこと言うなよ…」


C-1669

レイ「ごめんなさい、こんな時、どんな顔すればいいのか、わからないの」

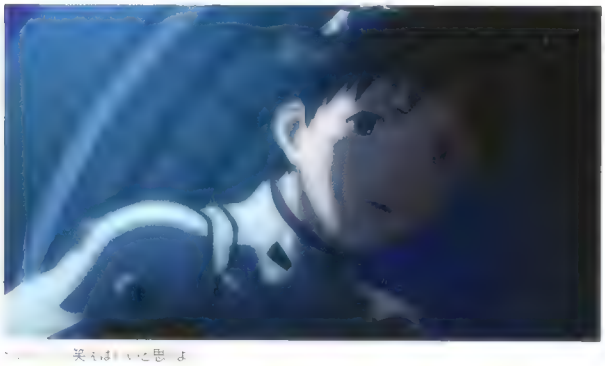


シンジ「(嗚咽)」

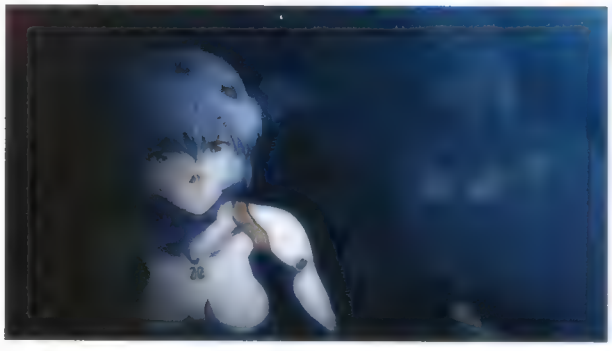

C-1670

C-1666

レイ「…」



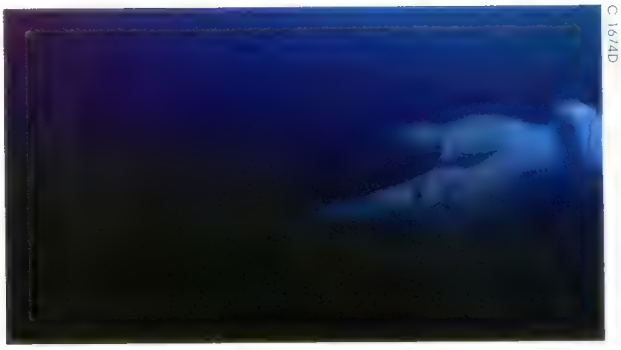
[illegible]笑えばいいと思うよ


C-1667

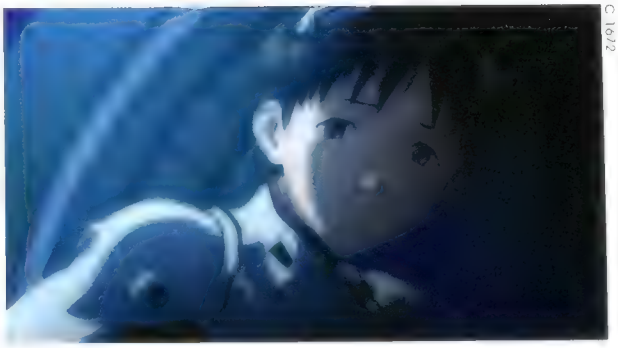
C-1671

レイ「…」

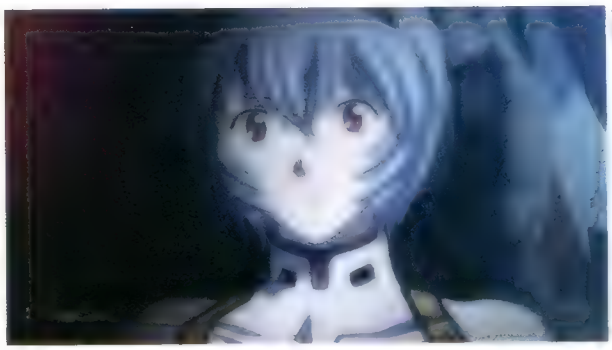
レイ「何、泣いているの?」



C 1674D



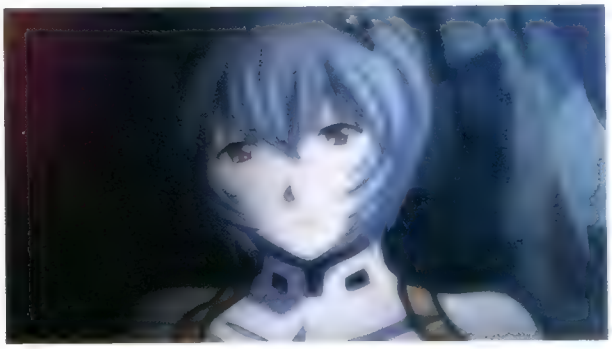
C 1672



C 1673

C 1675

(↑ PAN)

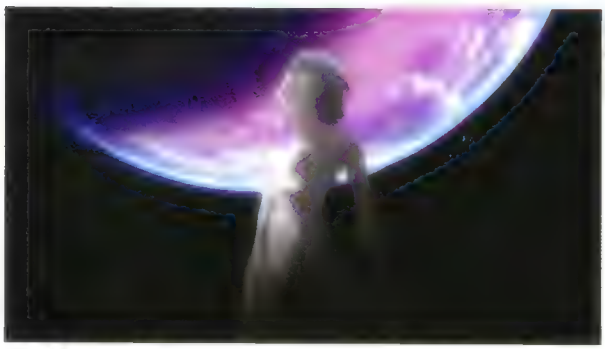


C-1674A

C-1676

C-1680

カヴル「まだ3番目ではない。変わっていない。君は」



C-1681

カヴル「逢えるときが楽しみだよ」

C-1677

カヴル「わかっているよ。あちらの少年が目覚め、機結の段階に入ったんだろ」

C-1682

カヴル「嬉しい、君」

C-1678

キール「そうだ。死海文書外典は綻の書へと行を移した」

C-1679

キール「契約の時は近。」
カヴル「フフ（笑い）」

仕上げ

Wish

井上順子　豊藤雅津江　井上泉
安藤有由美　渡村徹　大谷通代
梁川ひかる　山崎久美子　石川佳代
寺島伊都　鈴木美代子　千葉陽子
三留裕美　柳村利彦子　熊田真子
天本洋介　金光洋蔵　江草大樹
酒家晴　角野江美　中村千絵
厚見佑希　岡宮志帆　古河寿子
沙原直子　加藤里恵　金月繁香
野間口麻美　吉田春加　上田みず恵
村上由恵　後藤ゆかり　高橋友子
上村貴子　神田純子　河本ひろみ
平出真弓　手崎明美

カオスプロジェクト

鎌島佳寿子　小林弘美

特殊効果

村上正博　イノイエシン

ブラシワーク

久保木裕一　桑谷かおり　後子典子

美術監督

加藤　豊(ととにゃん)
中田達也(演崎)

背景

美術

荒井　賢　岡部　勲　真志神恒
鈴木潤恵　平澤晃弘　塚本いずみ
木下了香　松本つばき　高峯義人
森川友美　尾崎直人　菅田善王
小野由紀子

THAILAND

BOONRUKSA RAWANGNGARN　RUNGRAT KHANKAEW

VIETNAM

NGUYEN THI HONG VAN　NGUYEN ANH DUNG　TRAN VAN THUA

CGI/VFX

スタジオカラーデジタル部

CGI監督

鬼塚大輔　小林浩康

リードCGIデザイナー

阿部隆一　中一太志

エヴァンゲリオンモデリング

小林裕史

2Dデジタルワーク

増田陽子

CG Crew

井野元英二　長嶋立郎　藤岡崇之
シン ゼフン　吉本一貴　宮藤隆太
大崎信介　鈴木正史　比嘉芳明
越田裕史　荒木　光

Motor/Mix

佐藤潤紀　後藤　剛　向本徹介
福崎剛カルロス

CG CREWS JAPAN

福田弘剛　岡島善洋　宗片純二
米岡　勲　佐伯雄一郎　藤原　徹
柳原浩也　横岡聖二　高木光義
宮部信也　山本孝太郎　瀬ノ宮一郎
麻井　修　堀野直也

工藤英剛　高木利彦
水嶋啓太　岡田和郎
豊嶋勇作(DIGITAL FRONTIER inc.)　堀北岡香(DIGITAL FRONTIER inc.)

佐藤浩明　羽原敏明

CGI協力

えだきたいじ　宮本浩　石田味

モニタワーク

タツノコプロ デジタル部

矢山健太郎　安藤雅一郎　柳屋圭宏
中山美穂

ユーフォーテーブル

中村慎太郎　寺尾俊一

モニタワーク協力

ボンズ

宮原洋平　神林剛

2Dデジタルワーク協力

神田靖宏

スタッフロール

竹内秀樹　南　成本(マリンボスト)

第二原画

浅野直之　田内晋子　小池沙矢里
坂本千代子　岡谷真実子　茶山隆介
原　友樹　古川良太　宮下誠一
矢口弘子　吉岡泰介

動画工房

藤田弘樹　杉浦涼子　平松勇貴

遊歩堂

吉田直美　高木晴美　青井小夜
松尾亜希子　松広友仁　藤内勝史

作業クリエイト

北村まゆ美　荻原真実　藤田浩幸
徳永晋義

GK Entertainment

HAN SUNG-HEE　LEE SANG-MIN　KIM JAE-HYUNG
JUNG MI-HEE　PARK IN-HEE

タツノコプロ

小島知之　佐藤充夫

スタジオウォンバット　アニメアール　スタジオ九龍

動画検査

大原真琴　大塚政彦　後藤典子

仕上

及川佳那子　大沼彩子　野上麻衣子
平村直紀　高橋裕子　中野江美

Wish

白井香織　小川花織　高部光幸
岡田敏司　佐木智郎　一条　望
鈴木敏会　中島青子　細林方宜
鈴木真矢　熊田エリ　北村淳一
井上高宏　長川　薫　鈴木泰子
杉浦雄高　小橋幸死　大塚政彦
石井順徳

スタジオたくらんけ

近藤雅憲　小澤理彦　中澤加奈恵
岡戸良憲　岡野仁美

ボンズ作画部

浦井修司　徳永さやか　河崎友子
浦井郁美　高橋里沙　玉置敬子
野中下いおり　赤行　真　横尾健太

第プロダクション

大熊泰平　上田晴子　安永友美
宮賀隆真

動画工房

岡吉香美　久保茉莉子　三谷穂之
中島千明　高田陽介　中馬祥子
石井郁徳　金　俊　映　神田博文

アニメ・アール

姫田鉄士郎　勝原均樹　岡　香織
勝原千帆　高崎美里　武地幸喜
川村有希　川村幸紀　山口　剛
水野雅宏

Triple A

千葉　茂　山本豊幸　小原和大
江　浦　王　驍　群

GK Entertainment

LEE HEY-JIN　KIM EUN-YOUNG
KANG JOUNG-A　PARK JU-HEE
KIM YONG-HEE

スタジオ九龍

五十嵐直子　長谷部りとみ
望月美幸　平野彩香子
SOMSAK MAHAMONGKOL　DENPREECHAR PACHAROEN
CHANAPIWAT SAKSRI　TARAPONG TUMMARATCHAI
SURASUK PAPUHIT

遊歩堂　アニメ・スポット　HANJIN ANIMATION
スタジオウォンバット　タツノコプロ　大越武志
ピーエーワークス　プロダクション LG　AIC宝塚

色彩設計

鳴地和子

色彩検査

長尾朱美

特殊

伊藤敦子　伊藤良樹　鬼澤麻美子
佐藤美由紀　中尾絵子

仕上げ管理

石川直樹　鎌崎義隆

制作・演出

庵野秀明

キャラクターデザイン・作画監督

真本義行

メカニックデザイン

山下いくと

絵作・画コンテ

鶴田真樹
深田知己

絵コンテ

鶴巻和哉
庵野秀明

原作演出補佐

鈴木豊二

作画監督

佐原秀典

黄瀬和哉
摩耶　淳
もりやまゆうじ
真本義行

メカニック作画監督

本田　雄

特技監督

樋尾明一

演出

原口　浩

作監補佐

太郎丸勇　田代栄子　高山順浩

デザインワークス

高倉武史
okama
渡部　隆

海老川兼武　佐藤道明
宮尾直広　石垣純哉
鈴浦敏之　長瀬智喜
小松伸大全　小林浩康
松原秀典　本田　雄
庵野秀明　あがりよしとも

きお誠児

鶴岡　敏

原画

橋本敏史　金田伸幸
高山晴治　田中達也
高倉武史　桐原明子
佐々木敦子　杉浦幸宏

浦島麻智　内田シンヤ
大塚　健　菅野正志
菅沼栄治　高橋英樹
竹内志保　田代雅子
寺岡　巌　村本　昭

河部邦博　岡部英俊郎
藤井　崇　大槻博之
鶴巻貴志　小森秀人
佐々かなこ　田中誠輝
津熊建治　仲　浩文
中西麻美子　野崎温子
松岡宗一郎　もりやまゆうじ
吉成　剛

板垣　勇　須股雅美
上村豊春　奥村幸子
小磯沙矢香　小松伸大全
コヤマシゲト　郡　真樹
すしお　長野伸明
成田耳鼻　鶴　尾
廣部勝志　向田　徹

GK Entertainment

CHOI BYUNG-HEE　KIM CHAN-HEE
KIM JUNG-CHUL　LEE HOO-HEE

庵野秀明　鶴巻和哉
摩耶　淳　樋尾明一
鈴木豊二　佐原秀典
黄瀬和哉　黒田　淳
本田　雄　真本義行

アニメーション制作
スタジオカラー

アニメーション制作協力
カオスプロジェクト
板本歩光

動画工房
福士多鶴子　長谷川愛季菜

タツノコプロ
今村幸雄　根本繁樹
伊藤千恵　増田智子

協力
LAWSON
UCC上島珈琲株式会社
ジャパンフリトレー株式会社
ピザハット

高橋　望(日本テレビ)　川崎とも子(オンジス)
佐野久美子(GAINAX)　佐々木鶴子(Wish)
高橋賀太郎(T2Studio)　西沢正智
石黒　亮(動画工房)　岩長幸一(ボンズ)
大原泰三(AIC)　山岡　陽(サウンド・チーム・ドンファン)
矢野　愛(FLAMINGO STUDIO)　中林もも
KONG JI-WON(GK Entertainment)　KIM WOL-SOON
山下　徹　前原桜子
酒巻未由来

株式会社フォント・ワークスジャパン　Autodesk
Joe
Image　加藤商事株式会社
メイプル　シナリオプリント

取材協力
杉並区区民生活部産業振興部アニメ係 岡田真実
杉並区高円寺中学校
国土交通省 相模川水系広域ダム管理事務所
東京電力

記録
クロックワークス
根上　智　井手陽子

カラー
森木一馬

絵コンテ協力・宣伝
日活
千葉清記　原田大介　横手　実
大場渉太　宮野永子　小笠直子
丸山香子　小沼賢宣　野村由佳里

宣伝協力
米川竜介　野谷　誠

キングレコード株式会社　株式会社 ガイナックス
株式会社 角川書店　株式会社 バンダイチャンネル
ヤフー株式会社　株式会社 バンダイ
株式会社 ムービック　株式会社 海洋堂
株式会社 コスパ　フィールズ株式会社
EVANGELION STORE

制作
株式会社 カラー

エグゼクティブ・プロデューサー
大月俊倫

監督
庵野秀明

原画
野田　聡(アニメサウンド)

録音
往谷　直

録音助手
藤本隆一郎　鈴木敬一　水谷　勝

光学録音
上田太士

デジタル光学録音
西尾　昇

録音スタジオ
東京テレビセンター

スタジオコーディネーター
湯澤成報

デジタル&フィルムラボ
IMAGICA
Galette™

タイミング
平林弘明　大場弥生

カラーマネジメント
矢部香子

フィルムレコーディング
熊倉　修

テクニカルコーディネーター
山下哲司

ラボ・コーディネート
志賀由香子　佐藤裕美子　横山智樹

ラボ・マネージャー
岡又武久

録音監督補佐
藤本一馬

録音協力
GAINAX

効果協力
藤川昭夫　瀬戸雅司
吉川良太郎　服部圭記

録音協力
鈴野弘文

録音協力
平松禎史

デジタル演出協力
鈴木清崇

編集協力
東光ダニエル真

ネガ編集協力
三本美子　中野千尋

制作協力
小川哲弘(キングレコード)　島居理恵(キングレコード)

宣伝管理
神村靖宏(GAINAX)

予告編協力
佐藤敦紀

アニメーションプロデューサー
小笠原宗紀　石川　学

CGIプロデューサー
瓶子修一

制作デスク / 設定制作
福原英裕

制作進行
加藤亜紀　松下周平　佐藤謙次

CGI / VFX進行
森　豊之

スタジオマネージメント
田中美津子　佐藤美枝

撮影監督
福士　亨

撮影監督補佐
金木　哲　鳴塚素穂

撮影
T2 studio
木村貴也　小田野晶人　岩崎　敬
中村圭介　後藤健男　岡澤二郎
島内将司　飯島弘志　渡邊　香
宋　賢大　渡部達也　金　珍鎮
横山　潤　金　鎮潤　加藤千恵
清水亜紀子　入口夏海　刀根有史
佐藤朝史　高　載利　加藤絵梨

ラインテスト
動画工房　煙　京　ハウン動画工房
スタジオエル　ダブルスカイ　ティ・ニシムラ
福田一朝

編集
奥田浩史

編集助手
大竹　麻

デジタル編集
キュー・テック
桜本周広　笠原弘幸
定家　剛　有欲正春

カラーコレクション
Pablo Suite / QUANTEL
今塚　誠

スタジオコーディネーター
伊藤博啓

スタジオデスク
岡本昌明

テーマソング
「Beautiful World」
宇多田ヒカル
(EMIミュージック・ジャパン)

作詞・作曲・編曲
宇多田ヒカル

音楽
鷺巣詩郎

音楽制作
スターチャイルドレコード

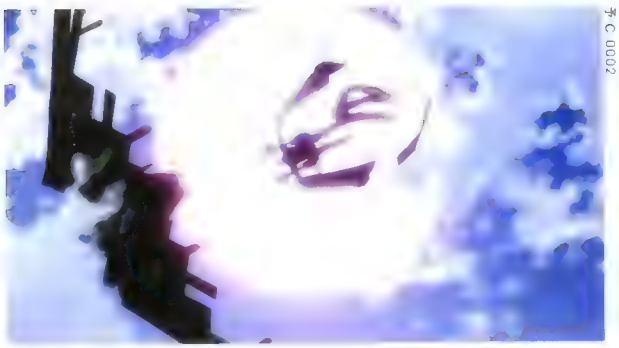
声の出演
緒方恵美
林原めぐみ
三石琴乃
山口由里子
石田　彰
立木文彦
千葉繁
長沢美樹
子安武人
櫻井孝宏
岡　智一
岩永哲哉
岩男潤子
麦　人

関村知道　宇垣秀成
中　博史　丸山裕二

大塚さやか　本野広一
夏樹リオ　野島昭子
平松晶子　真殿光昭
村井かずさ　柳沢栄治
柳沢真由美　山岸　勇
山崎和佳奈　岩間俊之

三本美一郎　高木一馬
村松京子　佐藤道広
山崎　剛

キャスティングマネージメント
杉山好美(音音舎)

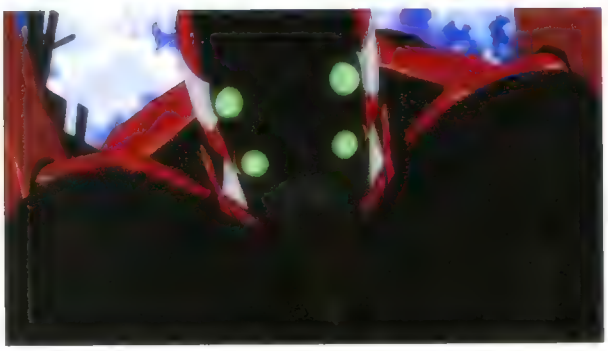


予C 0002

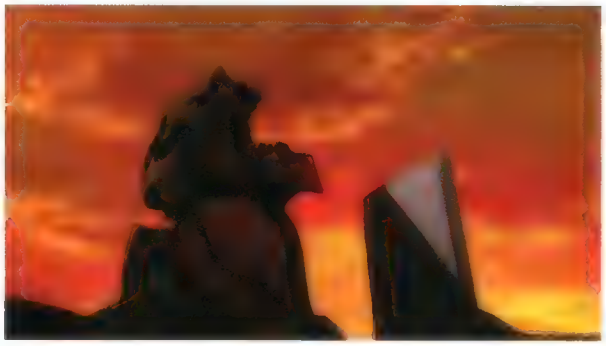
配備されるEVA-2号機・ラカイエット

予C 0001

出撃するEVA仮設5号機



強行されるエヴ 3号機の起動実験



そして

消滅するエヴ 4号機

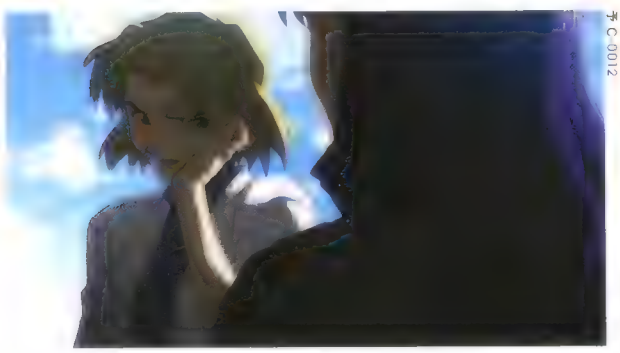
予C-0009

第一使徒襲来 ～ 最後 ～ 物語は果たして何処へと続くのか

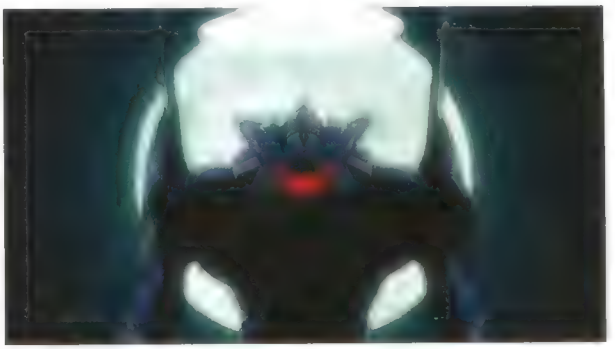
予C-0010

予C-0011

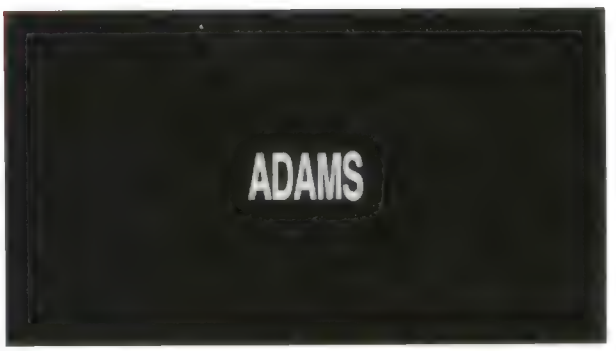
予C-0012



月より飛来するエヴァ6号機とそのパイロット



予C-0007



予C-0008

チ C-0018

チ C-0013

チ C-0019

チ C-0014

次回 エヴァンゲリヲン 新劇場版

次回
エヴァンゲリヲン新劇場版：
破

チ C-0015

破

チ C-0016

チ C-0017

	曲名	開始 Cut ～ 終了 Cut	使用時間	備考
R-01	EM01(No Stab + Stab Only)	C-0032 ～ C-0063	01'32"	
	EM02	C-0156 ～ C-0197	02'27"	
	EMA13_C_#SS4	C-0203 ～ C-0207	00'15"	
	EM03	C-0227 ～ C-0259	02'38"	
	EM11	C-0265 ～ C-0319	02'00"	
	EM05B	C-0332 ～ C-0392	02'31"	
R-02	KICA 132 Lilia 「You are the only one」	C-0472 ～ C-0474	00'28"	コンビニ店内 BGM
	EM06	C-0481 ～ C-0495	01'25"	
	EM07[B-16]	C-0519 ～ C-0541	01'13"	
	EMA08_B17	C-0544 ～ C-0557	00'50"	
	KICA 132 Lilia 「蒼いレジェンド」	C-0563 ～ C-0566	00'17"	S-DAT プレイ曲
	EM09_A_NewPiano	C-0622 ～ C-0655	02'09"	
R-03	EM10A_Nu	C-0658 ～ C-0679	01'40"	
	C_01_Nu	C-0682 ～ C-0684	00'13"	ケンスケのビデオカメラ 放送 BGM
	EM04A_Short_Nu	C-0707 ～ C-0739	01'09"	
	EM05A	C-0747 ～ C-0806	01'57"	
	EM13	C-0808 ～ C-0853	01'30"	
	KICA 132 Lilia 「蒼いレジェンド」	C-0895 ～ C-0899	00'30"	S-DAT プレイ曲
	KICA 132 Lilia 「FALL in STAR」	C-0909 ～ C-0910	00'08"	飲み屋街 カラオケ
	EM16_Nu	C-0911 ～ C-0929	01'53"	
R-04	EMA13_A_#SS1	C-1019 ～ C-1021	00'23"	
	EMA13_B[16]+EMA13 B Full	C-1018 ～ C-1028	00'36" + 00'10"	
	EM15_C05_E_#SS6	C-1052 ～ C-1069	01'26"	
	KICA 132 Lilia 「蒼いレジェンド」	C-1071 ～ C-1074	00'10"	S-DAT プレイ曲
	B01_Guit_A_Pre	C-1142 ～ C-1157	01'36"	
	EM17	C-1161A ～ C-1231	02'45"	
R-05	EM18_Rhythm 03	C-1254 ～ C-1271	01'40"	
	EM10B_Rhythm	C-1278 ～ C-1288	00'59"	
	EM20_Rhythm_Full	C-1301 ～ C-1313	00'46"	
	EM10B_Full	C-1355 ～ C-1369	01'16"	
	EM10C_Full	C-1404 ～ C-1427	01'50"	
	EM19	C-1440 ～ C-1453	00'59"	
R-06	EM20	C-1469 ～ C-1532	03'53"	
	EM21	C-1561 ～ C-1634	03'49"	
	EMA09_D_#SS4	C-1662 ～ C-1676	01'27"	
	Beautiful World	エンドロール	05'00"	エンディング
	EMF02	次回予告	00'31"	

music cue sheet

音楽キューシート

キューシートとは、音楽のうち、どの楽曲を、どのカットからどのカットまで使用するか表記したものである。
表のうち、R -01 等の記号は、フィルムのロールナンバー（『エヴァンゲリヲン新劇場版：序』は全6ロール）を示す。
鷺巣詩郎による楽曲は、音楽制作の際につけられた、Mナンバーと呼ばれる記号（EM 01 等）で表記されている。

02

C-0101 ～ C-0110
女「カスパーの状況データをメルキオールへコピー。検証作業を急いで下さい」
女「可及的速やかに、バルタザールの分析結果を報告。最優先」
男「結果は、ステージごとに直接、上へ回せ。随時だ」
女「23 番から 28 番までの通信回路は、全て守秘回線に切り換えて下さい。大至急」
男「距離 1200 で、E から I までのシフトを展開」
男「シフト完了。問題なし」
女「メルキオールの 54782 のデータをペースト。リストアして下さい」
男「右発令所から意見具申。ただちに組み換えの要有りと認む」
女「6 番のデータ処理ファイルは、N フィルターを通して『マギ』にインプット。急いで下さい」
女「本作戦のファーストコピーは、第 37 ベースにて、ロックして下さい」
男「B-27 ブロックの閉鎖は、現状を維持。第 7 ゲートは、2 分後に開放」
女「第 2 光学観測所より、入電。塔ノ沢付近の磁場に若干の変化を認む」
男「第 2 光学観測所へ返信。観測を続行せよ。状況は随時報告。以上」
女「直援部隊は別命あるまで、現在位置にて待機」

C-0145 ～ C-0146
男「第 2 光学観測所より、報告。目標の体内温度が上昇中。活動再開の模様」
女「爆心地付近上空の電荷に変化あり。プラスイオンが急増しています」
男「第 6 衛星回線を再接続。目標を自動追尾中」

C-0185 ～
女「第 1 層、第 8 装甲板、損壊」
男「D ブロック各所にて、火災発生。指定域内の全通路を緊急閉鎖」
男「該当地区は、ただちに退避。繰り返す、該当地区は、ただちに退避」

C-0197
女「起動コマンドを初期化」

C-0197 ～
男「主電源、切り替え終了」
女「起動システムを LR に変更開始」

C-0233
女「精神汚染計測値は基準範囲内。プラス 02 からマイナス 05 を維持」

C-0238
女「プラグ内、注水中。満水まであと、20(フタマル)」
男「LCL 濃度、異常なし。圧力、正常値」

C-0240
男「主電源、接続完了」
男「全回路、動力伝達。問題なし」

01

C-0010
電話の声 (女)「現在、特別非常事態宣言発令中のため、全ての回線は不通となっております」

C-0026 ～ C-0028
女「目標の周辺に、異常磁場を観測。直ちに精密測定を開始してください」
女「光学観測による結果は、検証作業を最優先」

C-0053
女「横須賀第 2 小隊、左翼へ展開中」
男「第 1 特科連隊、目標と接触。交戦中。損害不明」

C-0064 ～ C-0068
女「目標に対し、損傷は認められず」
男「第 3 中隊、応答なし。全滅の模様」
女「第 6 航空小隊、機影が確認出来ません」
男「第 2 特科大隊、発砲中。依然効果なし」
男「目標は、進路 83 より 88 にて進行中。速度、変化なし」
女「第 4 次航空支援部隊、現着。小田原方面より展開中」
男「目標は、塔ノ沢エリアに侵入。第 3 次防衛線を超えます」

C-0079 ～ C-0080
女「電磁熱線の 99.8% が、目標に直撃」
男「爆心地にて、1 万 2 千度の熱量を観測」

C-0091
女「磁場カクハン率、78 パーセントに減少」

C-0094
全員「おおお…」(驚き、どよめき)

C-0095
女「目標の観測を再開」
男「構成物質の 18 パーセントが融解した模様」
女「表面温度、3000 度を維持」
男「シグマ線の検出、認められず」

C-0098 ～ C-0100
女 (録音の声)「ゲートが閉まります。御注意下さい」
女 (録音の声)「ラッシングを確認」
女 (録音の声)「発車、いたします」
女 (録音の声)「この電車は、C-22 特別列車です。本線は、ネルフ中央駅への直通となります。途中駅は、全て通過します。御注意下さい」

additional scenario

追加台本集

『ヤシマ作戦関連台詞変更』 2007. 03. 22付
『エヴァ新劇場版 追加台本』 2007. 04. 20付
『エヴァ新劇場版　追加再録カット表兼台本』 2007. 05. 27付
作／庵野秀明

『エヴァンゲリヲン新劇場版：序』には3つの追加台本が存在する。
ここでは、各台本に書かれた台詞をカット順に並び替え、重複している箇所以外はすべて原稿のまま掲載した。

04

C-0341 ～ C-0343
女 2「初号機、制御不能、制御不能」(機械的に)
男「6 番までの強制信号を発信。内、全信号を拒絶。受信せず」
男「体内の状況確認は、極めて困難」

C-0356 ～
男「相転移空間を、肉眼で確認」
男「目標周辺に磁場及び、陽電子発生を確認」
男「大気中における、クォークレベルでの分子分解を観測」
男「空間曲線、プラス方向へ反転中」

C-0359
女「プラグ内は、依然観測出来ず」
女 1「損傷率、5.7 に回復」(機械的に)

C-0362 ～ C-0364
男「空間曲線、マイナス値へ移行中」
男「両腕から、相転移空間の発生を確認」
男「初号機周辺にも、磁場及び、陽電子発生を確認」
男「大気中における、クォークレベルでの分子分解を観測」

C-0367
男「相転移空間に亀裂発生 !」
男「空間曲線、反転 ! 計測不能」

C-0398
どよめきガヤ (男が主)

C-0399 ～ C-0400
同上 (女が主)

C-0421 ～ C-0423
女「爆心地は防護システムの未完成区域でしたから、被害は甚大です。ええ、迎撃装置は 9 割以上が損壊の模様です」
男「地下ブロックの損害は不明。現在調査中。マーキングは B 班が作業中」
女「汚染区域の ph (ペーハー) は基準値内。やや酸性寄り。水温は摂氏 98 度。塩分濃度はモル 0.9」
男「そうだ。倒壊した地上施設は全て一括廃棄処分。液状化した地表面はサンプル採取後、処理場に移送してくれ。最優先だ。洗浄作業は後回しでいい。」
女「ドイツからの合同調査班は、厚木にて待機中。採取データの偽造作業を急いで下さい」
女「爆心地 0 地点から半径 2200 以内に生命反応はなし。使徒の構成物質は不明。オリジナルは全て変質した模様」

C-0450 ～ C-0452
女 A(右)「第 1 内科の鵜飼先生、鵜飼先生。至急、第 1 外科の東先生までご連絡下さい」
女 B(左)「B 事件の医療会議は予定通りに行われます。担当者は第 2 会議室へ集まって下さい」

C-0623 ～ C-0627
女「現在、セントラルドグマは全面閉鎖中。B 棟への交通システムによる直通経路は使用出来ません」
女「第 808 搬入システムは定期検診のため停止しています。迂回ルートは 56 番を利用して下さい」
女「ターミナルドグマ、第 3 ゲートを開放。16:30(ヒトロクサンマル) まで通行可能です」
女「装備部施設課の定例会議は本日定刻通りに行われます。担当者は第 103 会議室へ集合して下さい」
男「第 6 環状ラインは、信号故障のため運休中。復旧時間は未定。第 4 環状ラインも 15 分程度の遅れが出ています」

03

C-0242
男「LCL 電荷は正常」

C-0245 ～ C-0246
男「伝送電圧は現状を維持、直流送電容量は基準値内」
女「完了まであと、30 (サンマル) の予定」
男「各部連動システム、作動確認」

C-0250D
男「第 1 番から 15 番までの安全装置を解除」
女「解除確認」

C-0250E
女「現在、初号機の状況はフリー」
男「内部電源、充電完了」
男「外部電源接続、異常なし」
男「脱出システムは有効」
女「アクセスアームはフリー」

C-0251
「射出シークエンスは予定通り進行中」
「各リニアレールの軌道変位に問題無し。電磁誘導システムは正常に作動」

C-0253
「現在、初号機は K52 を移動中」
「エヴァ、射出ハブターミナルに到着」

C-0254
「拘束ユニットを発射台に固定。リフト確認」
「射出ルートは、6 番を設定」
「基本レール、磁場調整完了」
「制動設定位置は、地上 0 地点にセット」
「最終を除く、全ゲートを開放」

C-0286
全員「オオオオ」(感嘆の声)

C-0304
女 1「損傷度、0.8、1.7、4.6、10.5、38.2、44.8」(機械的に)

C-0306(台詞差し替え予定)
女「左腕、中破 !」
男「神経回路、断線 !」

C-0314 ～
女 1「損傷度、59.8、66.5、78.3、83.2、89.4、91.6、94.6」(機械的に)

C-0322 ～ C-0334
女 2「初号機に致命的な、損傷が発生しました」(機械的に)
女 1「損傷度、計測中、計測中、126.8、132.5、145.7、155.8」(機械的に)
女 1「損傷度、計測可能値を超えました。計測不能、計測不能」(機械的に)
男「脳神経接続、過負荷が基準値を大幅にオーバーしています !」
男「精神グラフ、安全深度を越えました !」
女「ハーモニクス、極めて不安定。観測は困難」
男「精神グラフ、汚染深度に隣接 !」
女 1「プラグ深度、計測不能。パイロット、状況不明」(機械的に)
男「精神グラフ、危険域に突入 ! レベル 8(エイト) に到達 !」
男「各種自律システム、ブラックアウト ! 観測不能 !」
女「LCL 電荷率、極度に低下 ! 現状を維持出来ません !」
男「精神グラフ、断線 ! 現深度は不明 !」

06

男「エヴァ、十指周辺にて、陽子崩壊を観測」
女「フィールド干渉波、124.5% 増幅」
女 2「左右手掌 (しゅしょう)、表皮損傷。火傷 (かしょう) 度 3」
男「目標滞空位置、変化なし。重力波反転エリア、依然変化なし」
女 2「左右手掌、真皮損傷。火傷 (かしょう) 度 5」
男「電磁波放電率、0.7% 上昇」
女 2「左右手掌、皮下組織損傷。火傷 (かしょう) 度 7」
女「マイナス重力子、1280 に増幅」

C-0800 ～ C-0801
女「LCL、電荷。
女「エントリー、リスタート」

C-0894 ～ C-0899
電車内ガヤ (シーンの絵合わせで)

C-0894 ～ C-0895
電車アナウンス (録音・女)「次は長尾峠、長尾峠です。お出口、右側に変わります」

C-0902 ～ C-0905 (若いお兄さんの呼び込みも有り)
風俗アナウンス (女・左)「(お軽く) はい、安いよ安いよぉ♥若いピッチピチギャルが出血大サービス！超疲れたあなたを、極楽へと御案内いたしま～す」
風俗アナウンス (女・右)「(お堅く) 今日一日のストレスを癒す、特別サービス。明日への活力をあなたに捧げる、特別サービス」

C-0909 ～ C-0910
盛り場裏路地カヤ

C-0976
女「パルス、更に逆流！塞き止められません」

C-0978
男「主伝導システム、いまだ流動中！」
女「神経経路が麻痺しています！」

C-0983
女「精神グラフ、走査不能！モニター出来ません！」
男 1「自動制動システム、反応なし！」

C-0989
男 1「自動制動システム、未だ作動せず！」

C-0993 ～ C-0995
男 1「自動制動システム、命令遂行を断念！」
男「パイロット保護を、最優先事項と判断！」

C-1001 ～
男「システム、残留！停止せず！」
女「内部電源ダウン」
女「零号機、未だ制御不能！」

C-1030 ～ C-1033
女子プールカヤ
「行けカヨコ！」
「負けちゃえ！」
「負けたらピザおごりだぞ！」

C-1034 ～ C-1035
男子バスケットガヤ

05

C-0632 ～ C-0635
街ガヤ (登校中の中学生徒)

C-0636 ～
学校ガヤ (おはようとか)

C-0640 ～ C-0647
教室ガヤ

C-0662
男 (ミサトの台詞受けて)「対空迎撃戦、用意」
女「対空迎撃戦、用意」
女「新小田原より強羅防衛線までの、防空システムをスタンバイ」

C-0677
女「目標は、依然侵攻中」

C-0678
男「第 3 光学観測所より入電。目標周辺に、異常磁場を観測」
女「ゲージ粒子数は、496。パルスモードでは、240 を確認」

C-0679 ～ C-0684
避難民ガヤ (生徒と家族)

C-0679 ～
アナウンス女 (右)「小中学生は各クラス、住民の方々は指定ブロックごとにお集り下さい」
アナウンス女 (左)「第 7 管区の迷子センターは、第 323 シェルターに設置してあります」

C-0688 ～ C-0691
女「目標は依然健在。表層部に外傷は、認められず」
男「移動速度及び飛行高度に、変化なし」
男「小湧谷第 4 及び第 5 高射砲群、稼働中」
女「火力集中点を前部に変更」
女「第 42 地対空迎撃用オートシステム、作動開始」

C-0693
女「脊椎伝導システム、問題なし」

C-0697 ～ C-0701
避難民ガヤ (生徒が主)

C-0760 ～ C-0761
女 1「フィールド、0.2% ダウン」
女 2「第 1 装甲板破損、損傷度 F」
女 1「フィールド、0.8% ダウン」
女 2「第 1 装甲板破損、損傷度 E」
男「各部エネルギー伝導効率、支障なし」
女「中枢神経接続、異常なし」

C-0761
「至近予備コンセントは西の 22。距離 800!」

C-0777
男「目標は、移動開始」
女「エヴァ初号機に向かい、進攻中」

C-0788 ～ C-0796
女 2「防護服融解。損傷度 A」

08

C-1221 ～ C-1222
女 1「胸部第 3 装甲板、融解、損傷度特 A」(機械的に)
女 2「被弾局部輻射熱、9 万に上昇 !」

C-1233
男「了解、救護班、待機」
男「胸部骨格の緊急冷却、急げ !」
女「第 2 消火班、準備」

C-1235
男 1「初号機胸部、冷却作業中 !」
女 1「表面温度、800 まで低下」

C-1238
女 1「表面温度、600 まで低下」
男「胸部第 1 装甲板、パージ用意」

C-1240
女「エントリー、強制終了」
女「プラグ表面温度、300 に低下。更に冷却中」

C-1244
女「LCL、排水中」

C-1289 ～ C-1292
街ガヤ等

C-1293 ～ C-1294
生徒ガヤ

C-1302
ミサト「エネルギーシステムの見通しは ?」

C-1303
男「電力系統は、新御殿場変電所と予備 2 カ所から直接配電を敷きます」

C-1304
作業員「現在、引込み用超伝導ケーブルを下二子山に向けて敷設中」

C-1305
作業員「変圧システム込みで、本日 22 時 50 分までには全線通電の予定です」

C-1312
男「ヤシマ作戦は、明朝零時、予定通り、決行」
女「各部担当者は、至急、作戦部 1 課に進捗状況を、報告して下さい」

C-1355
青葉「敵先端部、第 17 装甲帯を突破」
女「ネルフ本部到達まで、あと 4 時間 55 分」

C-1356
男「西箱根新線及び南塔ノ沢架空 3 号線までの通電完了」

C-1357
女「現在、第 16BANK 変電設備は設置工事を続行中」

C-1358
男「第 28トランス群は 5 分遅延にて到着、担当者は各結線作業を急いで下さい」
(リアで) 女「2 次結線を接続。許容電流は 1 万 5 千の予定」

07

C-1036 ～ C-1039
女子プールガヤ
「やだ、男子が見てるー !」「エッチ !」「だっめよ～ん♡」
「なんか鈴原って目つきやらしー」「碇くう～ん♡」他

C-1041 ～ C-1050
無線女 A(中)「エヴァ初号機は、第 3 次冷却に入ります。第 6 ケイジ内は、フェイズ 3 までの各システムを落として下さい」
無線女 B(右)「先のハーモニクス及びシンクロテストは異常なし。数値目標を全てクリア」
無線女 C(左)「了解。結果報告はバルタザールへ」
無線女 B(右)「了解」
無線女 D(左)「エントリープラグのパーソナルデータはオールレンジにてメルキオールへコピー。データ送ります」
無線男 A(右)「メルキオール了解。回路接続」
無線女 A(中)「第 3 次冷却、スタートします」
無線女 B(右)「CBL、循環を開始」
無線男 B(左)「廃液は第 2 浄水システムへ」
「現在、初号機のプラグ深度はゼロコンマ 8。計測誤差は許容範囲内」
「精神汚染係数は感知されず」
無線女 C(右)「各タンパク壁の状態は良好。各部問題なし」
無線女 A(左)「零号機の連動試験再開まで、マイナス 150 分です」

C-1052 ～ C-1069
バーのガヤ

C-1143 ～ C-1146
女アナウンス (OFF・左)「セントラルドグマは、現在開放中です。グループ 3 は、第 4 直通ゲートを利用して下さい」

C-1161A ～ C-1161B
男「入間より戦自偵察機の発進を確認」
女「御前崎レーダーサイト、監視を続行、追跡中」

C-1162
女「マギによる検証作業終了。分析パターン青。使徒と再確認」

C-1164 ～ C-1165
女「エヴァ初号機、発進準備」
男「対空迎撃兵装に換装」
女「弾倉はアンティタイプを装備」
「装備チェック、異常なし」

C-1167
女「高度及び移動速度、変化なし」
女「観測続行。引き続き、重力子測定にて走査」

C-1174 ～ C-1176
女「エヴァ初号機、リニア 83 を通過」
女「最終ゲート、開放します」

C-1201 ～ C-1204
男「初号機携帯火器、蒸発 !」
女 1「胸部第 1 装甲板、融解、損傷度 B」(機械的に)
女 2「被弾局部輻射熱、5 万 ! 更に上昇中 !」

C-1214 ～ C-1216
女 1「胸部第 2 装甲板、融解、損傷度 A」(機械的に)
女 2「被弾局部輻射熱、8 万に上昇 !」

10

C-1475
女「第 1 次遮断システムは順次作動中」
日向「第 1 から第 803 管区まで送電回路開け !」

C-1476
男「電圧安定、系統周波数は 50 ヘルツを維持」

C-1477
ミサト「第 2 次接続」

C-1479
男「新御殿場変電所、投入開始」

C-1480
男「続いて新湯河原変電所、投入開始」
女「新裾野変電所、投入開始」
(リアで) 男「電圧変動幅、問題なし」
(リアで) 女「射撃システムは現在、補助動力にて稼働中」
(リアで) 男「基幹系統の切り替え動作を確認」
女「定態安定度は限界数を維持」
女「第 6AVR 群、自動制御を開始」

C-1481
ミサト「第 3 次接続」
日向「了解。全電力、二子山増設変電所へ」
「陽電子砲、圧着板を解除」
「フライホイール回転開始」

C-1482
女「超伝導変圧器を投入。受電を開始」

C-1483A
男「全冷却システムは最大出力にて運転中」
男「超伝導電力貯蔵システム群、充電率 78.6%」
女「インジケータを確認。異常なし」
男「西日本からの周波数変換電力、最大数をキープ」
女「電力伝送電圧は最高電圧を維持 !」

C-1483B
日向「第 3 次接続、問題なし」

C-1484
ミサト「了解。第 4、第 5 要塞管制室へ伝達。予定通り行動を開始。観測機はただちに退避」

C-1498
女「陽電子加速中、臨界点へ」

C-1500 ～
「第 8VLS 群、蒸発」
「第 5 射撃管制装置、システムダウン」
「深沢第 1 監視モニター、ブラックアウト」

C-1501
女「陽電子加速器、蓄積中。プラス 1 テラ」
男「強制収束機、作動」

C-1502
男「収束回転数は 3 万 8 千をキープ」
男「圧縮密度、発射点へ上昇中」

09

C-1359
女「F 班は、超伝導断路器の動作試験を至急確認して下さい」

C-1360
女「第 2、第 3 仮設超伝導変電システムを平行運転中。電流試験結果は良好です」
(リアで) 男「下層第 5 区にて、直通経路のインターロックを確認試験中」

C-1361
女「J 班は予定通り、各冷却システム循環装置の試運転に入って下さい」

C-1362
男「第 4 群継電装置のチェック完了。問題なし」

C-1356 ～ C-1362　追加
「50 万ボルト通常変圧器の設置開始は予定通り。タイムシートに変更なし」
「第 4 次先行シミュレーションを開始。復旧支援系統を再確認中」
「第 3 コンテナホームからの入換作業、急げ !」
「超伝導冷却ユニットの搬入は、現在 80% まで進行中」
「全 SMES の設置完了。第 1 集束系統より動作確認を順次開始」
「東北経由の長距離送電線路等価回路、再計算終了」
「了解。結果報告は直接中央給電司令所へ送って下さい」
「全超伝導超々高圧最終変圧器集団の開閉チェック完了。問題なし」
「仮設通信システムは良好。使用周波数は 105 に設定」

C-1366 ～ C-1369
男「陽電子砲、固定作業、急げ !」
女「電力照射位置を最終確認」
女「パワーレシーバー設置点の調整を開始」
男「超電磁伝導管の接続作業は予定通り進行中」
女「陽電子、注入 5 分前。各加速器は試運転をスタートして下さい」

C-1417
女「エヴァ初号機が、通過します。安全帯の内側まで退避して下さい。繰り返します～」

C-1444 ～ C-1445
生徒ガヤ

C-1470
ミサト「第 1 次接続開始」

C-1471
日向「了解。各方面の 1 次および 2 次変電所の系統切り換え」
女「全開閉器を投入。接続開始」

C-1471B
男「各給電司令所に伝達」
男「通常電力網を遮断」
女「第 1 次送変電系統の切り替え完了」
男「全電力網、ネルフ専用系統に配電開始」

C-1473
男「各発電設備は全力運転を維持。出力限界まであと 0.7」

C-1474A
男「電力供給システムに問題なし」
女「周波数変換容量、6500 万 kw へ増大」
男「電力伝送電圧、現在、102%」

C-1472B
男「全インバータ装置に異常なし」

12

C-1583 ～ C-1584
作業員ガヤ

C-1589
日向「銃身、固定位置」
男「放電システムを、再調整」
伊吹「初号機、G 型装備を廃棄」

C-1590
伊吹「射撃最終システムをマニュアルに切り替えます」
女「陽電子、加速再開」
男「圧縮器、再稼動」

C-1595
ミサト「第 2 射、急いで !」

C-1597
日向「ヒューズ交換 ! 砲身冷却終了」

C-1598
女「送電システム、最大出力を維持」
女「地上作業員、退避終了」
男「各放電プラグ、問題なし」
「陽電子加速管、磁場安定。圧縮機は全力運転中 !」
「冷却ユニット、圧力限界へ !」

C-1599A ～ C-1599C
伊吹「射撃用諸元、再入力完了。以降の誤差修正はパイロットの手動操作に任せます」

C-1599A
男「陽電子、圧力上昇。発射点まであと 1.5」

C-1599C
男「圧力、発射点まであと 0.2」

C-1616 ～ C-1617
女「ESV、第 2 層融解」

○中編用 30 秒予告
「出撃するエヴァ仮設 5 号機。配属されるエヴァ 2 号機とそのパイロット。
消滅するエヴァ 4 号機。強行されるエヴァ 3 号機の起動実験
そして、月より飛来するエヴァ 6 号機とそのパイロット。
次第に壊れていく碇シンジの物語は、果たして何処へと続くのか。
次回、エヴァンゲリオン新劇場版 : 破　さぁて、この次も、サービスサービスぅ !」
（最後を「御期待下さい」もよろしく）

○中編用 15 秒予告
「エヴァ仮設 5 号機の出撃に始まり、次第に壊れていく碇シンジの物語。
果たして人々は、何処へ連なるというのか。
次回、エヴァンゲリオン新劇場版 : 破　この次も、サービスサービスぅ !」
（最後を「御期待下さい」Ver. もよろしく）

※以上、原稿の書式のまま横書きにて掲載

11

「陽電子砲、全真空チェンバーに異常なし」
「低温保持装置、問題なし」

C-1503A
男「送電損失、増大」
女「電圧稼働変率 0.019% へ」

C-1503B
女「事故回路を遮断」
男「切り替え急げ !」
女「電力低下は許容数値内」
女「第 103 管区までの全リアクトルを直ちに投入」
女「第 5 管区にて、開閉サージ発生」
男「回路遮断。直流過電圧に異常なし」
「西日本からの周波数変換容量、115% まで増大」
「系統保護回路、作動中。復旧運転を開始」

C-1504
男「第 4 次接続、問題なし」

C-1505
ミサト「最終安全装置、解除」

C-1506
日向「撃鉄、起こせ」

C-1509
伊吹「射撃用諸元、最終入力を開始」

C-1510
女「地球自転及び重力の誤差修正、プラス 0.0009」
「レティクルシステム、モード 3 でセット」
「陽電子砲、加速磁場安定。第 2 次入射をスタート」

C-1511
女「射撃盤、目標を自動追尾中」

C-1512
伊吹「照準機、調整完了」
男「陽電子加速中、発射点まであと 0.2…0.1」

C-1513
ミサト「第 5 次最終接続」
「SMES 群、充電率 99%」
「全冷却ユニットは、全力運転を維持」
「陽電子加速管、最終補正」
「パルス安定、問題なし」

C-1516
日向「全エネルギー、超高電圧放電システムへ」
男「第 1 から第 9 放電プラグ、受電準備よし」

C-1522 ～ C-1526
群衆ガヤ

C-1561（無線ノイズ有り）
女「第 2 要塞、左翼第 3 層まで蒸発。回線の復旧は困難」
男「上二子山トンネル、崩落」
男「第 3 砲塔、大破」

archives

P242-327

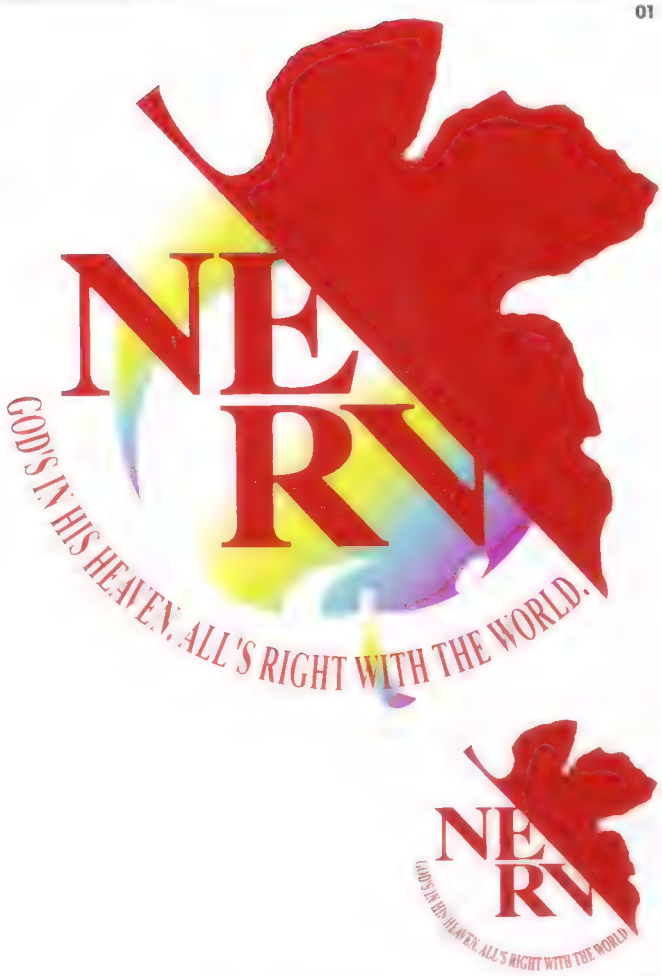
映像制作の工程は、企画・脚本・画コンテ・設定など「プリプロダクション」から始まり、実際の「画づくり」に相当する「プロダクション」を経て、編集・音響関係の「ポストプロダクション」で完成する。本来、アニメ用の設定書はプリプロダクション段階で先行して定まる上位仕様で、そこに記された指示に従ってプロダクションの各工程がブレイクダウンしていき、変更はない。しかし、本作では違う。レイアウト段階でも当該カットのみ登場するディテール等の設定は必要に応じて次々と追加され、場合によっては映像完成後に指示書が出てさらに追加・変更される場合も多々ある。
ここでは、一般的な設定書に加え、最終画面を決めるために執筆・制作された成果物に関し、工程を問わず指示書やメモなどに至るまで網羅的に収録、包括して「設定」として扱うこととした。

NERV Emblem

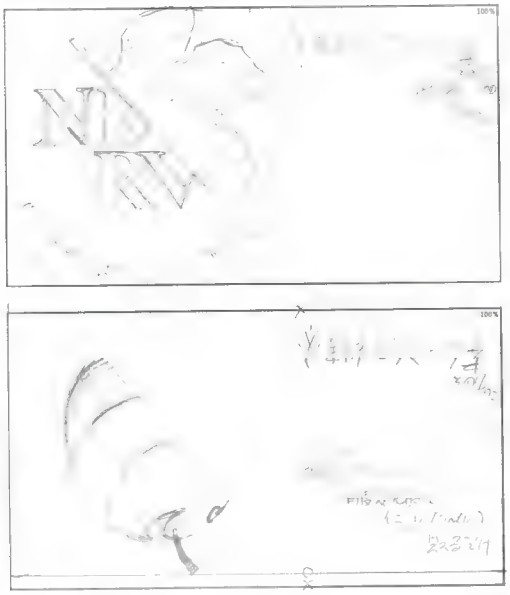
02

初期の設定案 山下

01



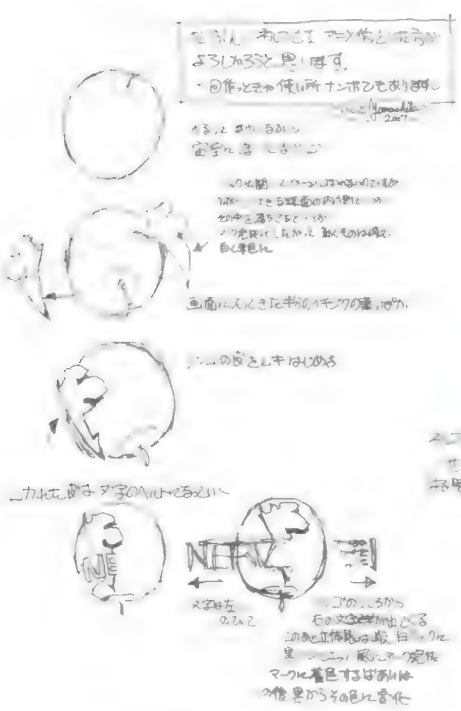
03



ネルフマーク(A)設定 庵野秀明

ネルフマーク (A) クリンナップ決定稿 "林檎"模様は通常視認できず、光の反射などでホログラムのように現れるという設定

07



ネルフマーク(B)ムービークロ案 / 山下いくと

05

ネルフマーク (B) 設定 / 山下いくと

04

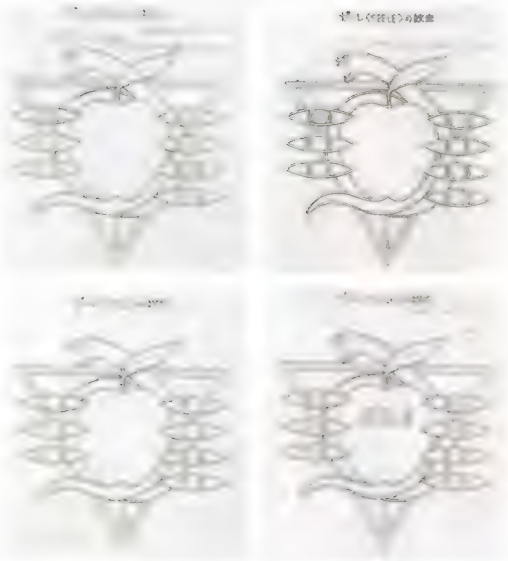
ネルフマーク (B) クリンナップ決定稿 使用するスペースによって 2 種類を使い分ける

SEELE Emblem

08

セ[illegible]ラ[illegible]ト[illegible]案稿

09



設定画　出渕裕

10

蛇部や、鱗のあるタイ[illegible]、1989年[illegible]
トケマ最終扉裏面[illegible]、使用された

11

設定[illegible]　出渕裕

The Monolith

12

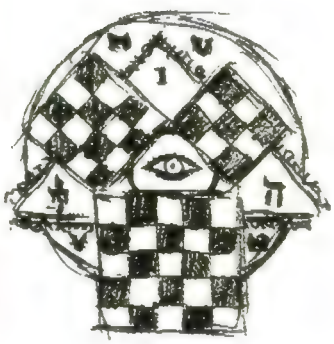
前面

背面

合成素材

[illegible]3DCGモ[illegible]モ[illegible]は[illegible]確認[illegible]前面の数字[illegible]01[illegible]0[illegible]る

13



モ[illegible]ス背面の文様　磯光雄
TV[illegible]ス時[illegible]スケ[illegible]より使用

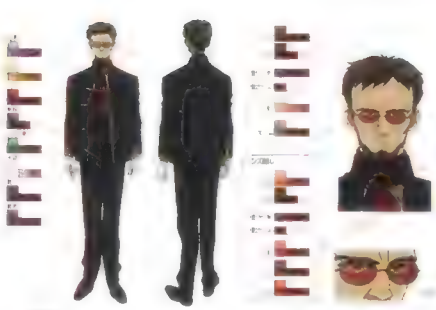
Coloring Sheets for EVANGELION:1.0

Shinji Ikari

Rei Ayanami

Misato Katsuragi

Gendoh Ikari

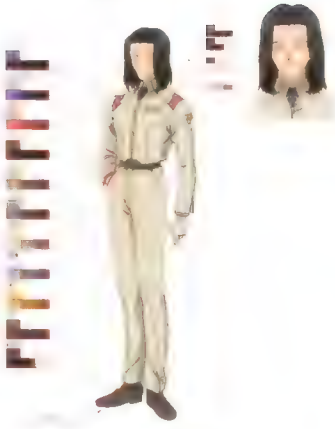


Kouzo Fuyutsuki

Ritsuko Akagi

Makoto Hyuga

Shigeru Aoba



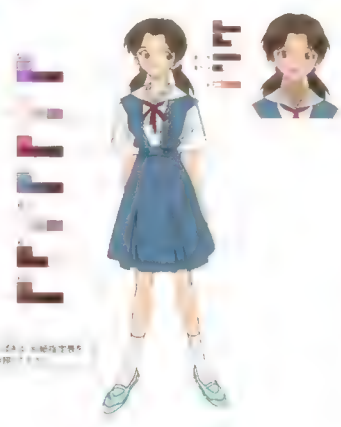
Maya Ibuki

Pen²

Tohji Suzuhara

Kensuke Aida

Hikari Horaki



Kaworu Nagisa

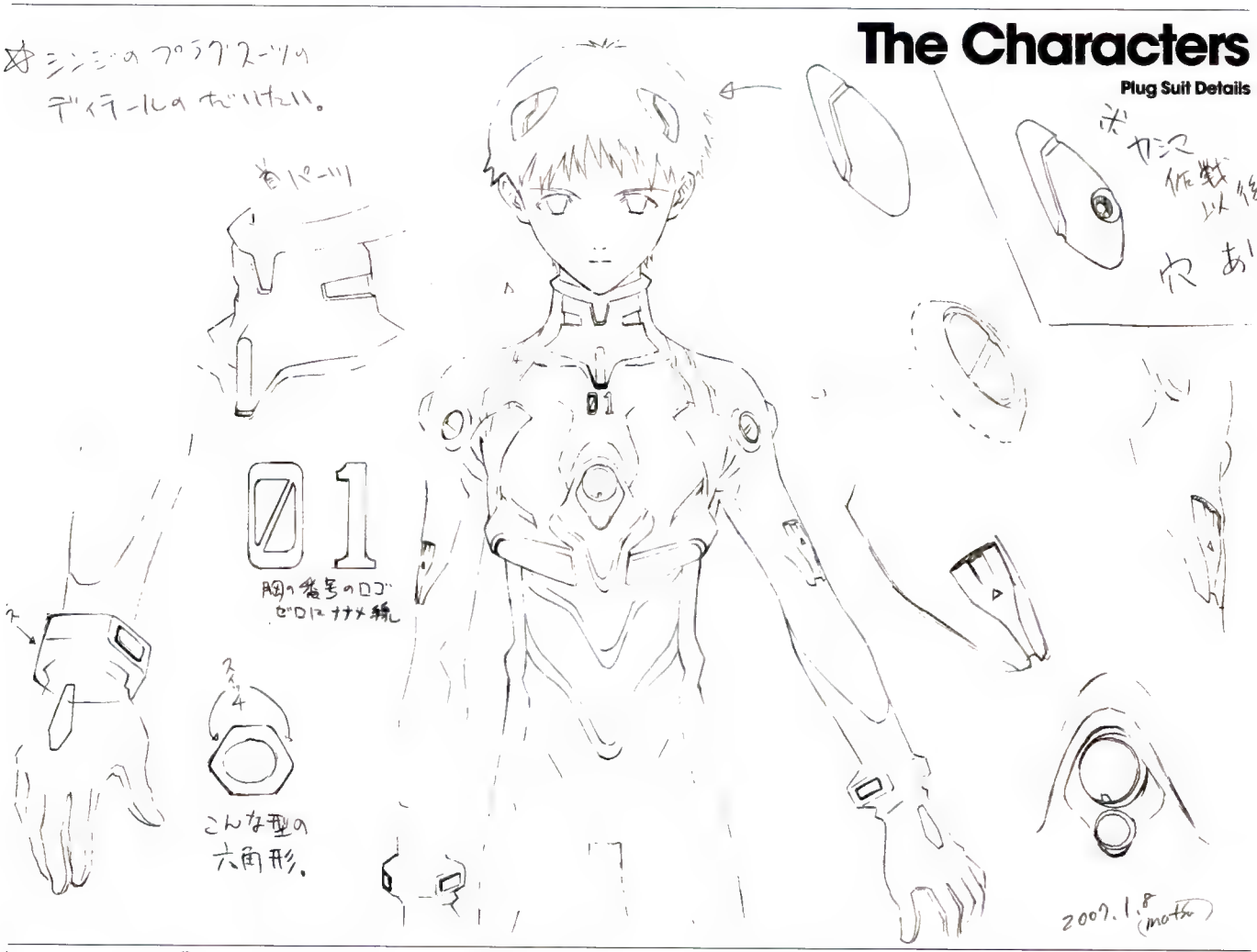
EVA-01

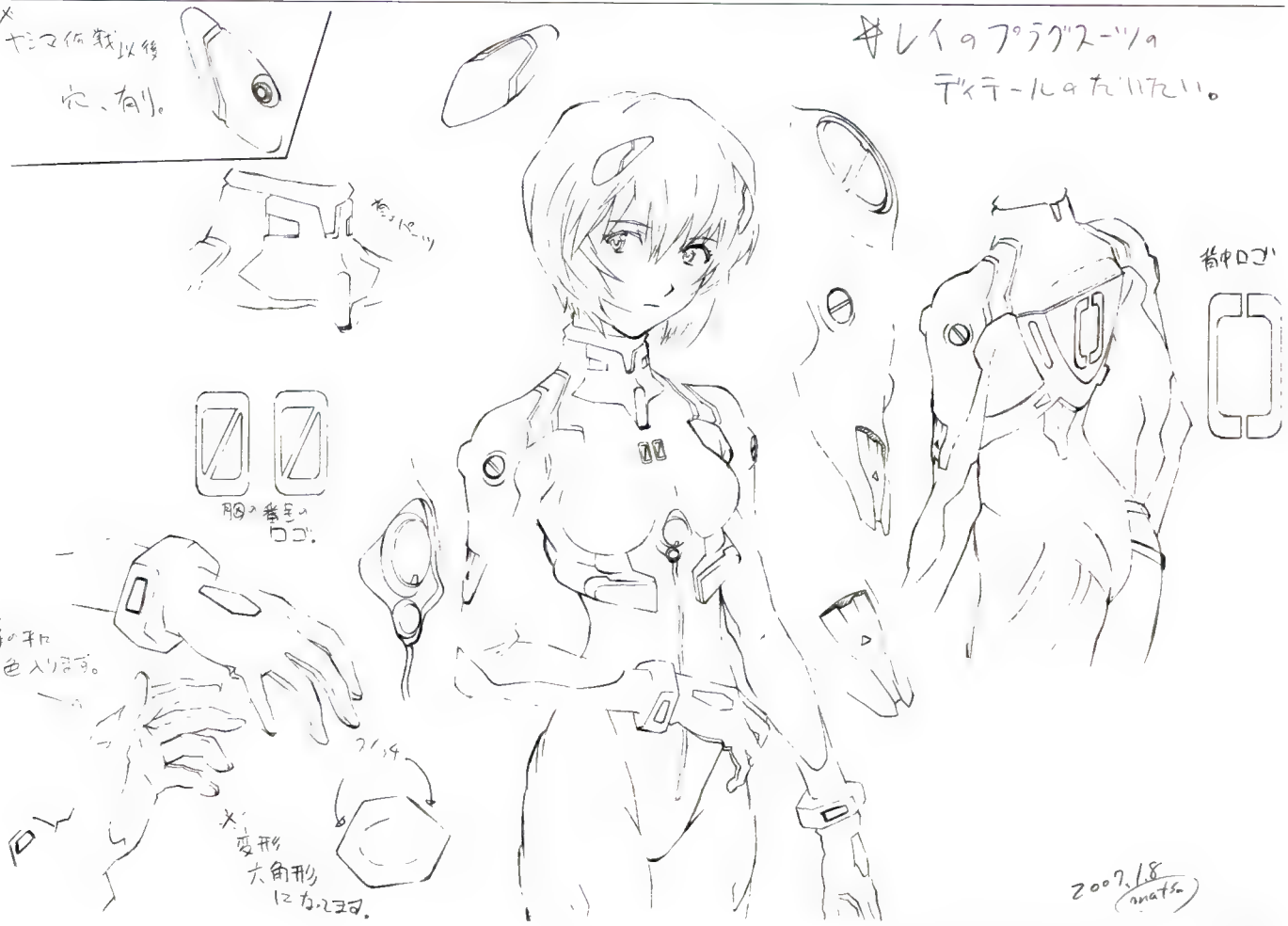
EVA 初号機カラーリング試案

EVA-00

The Characters

Plug Suit Details





シンジ（上）とレイ（下）のプラグスーツ ディテール設定 / 松原秀典

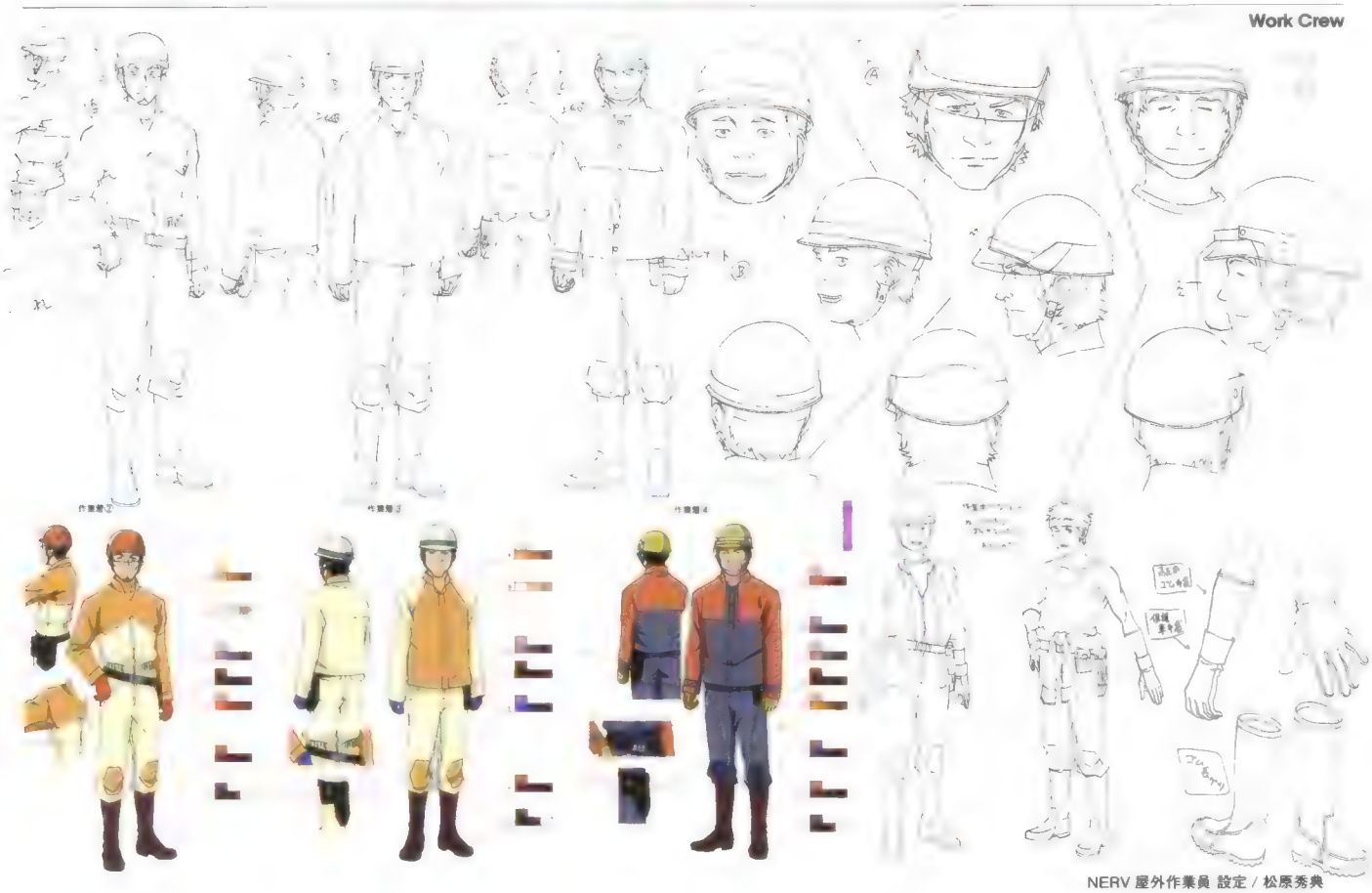
Costume Design

ミサト衣装 (C-0618 ～ C-0891) 設定　鈴木俊二・松原秀典

ミサト衣装 (C-0933 ～ C-0943) 設定　松原秀典

リツコ・ミサト衣装 (C-1054 ～ C-1068) 設定 / 松原秀典

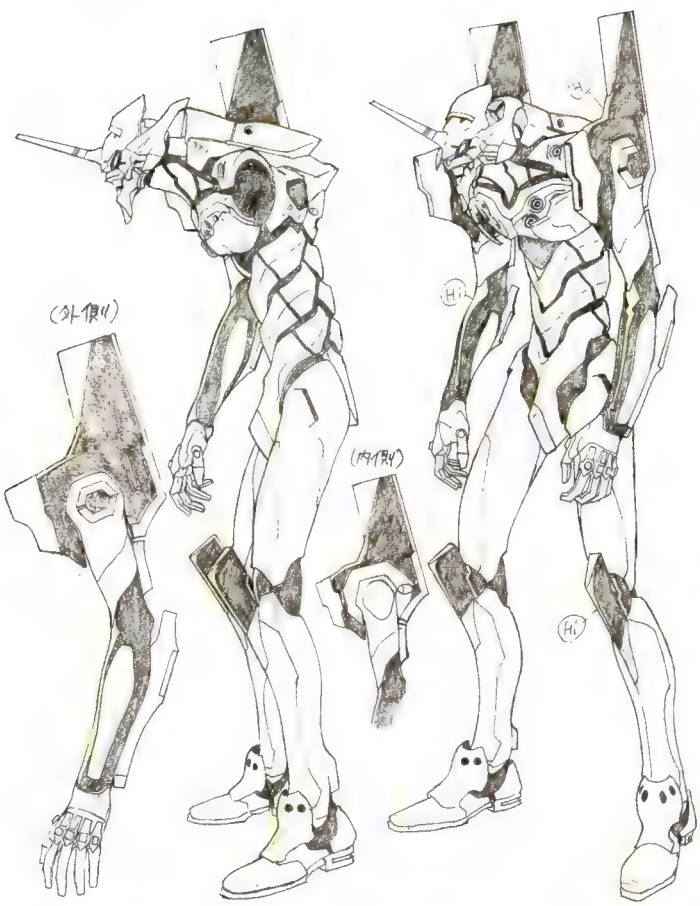
Work Crew

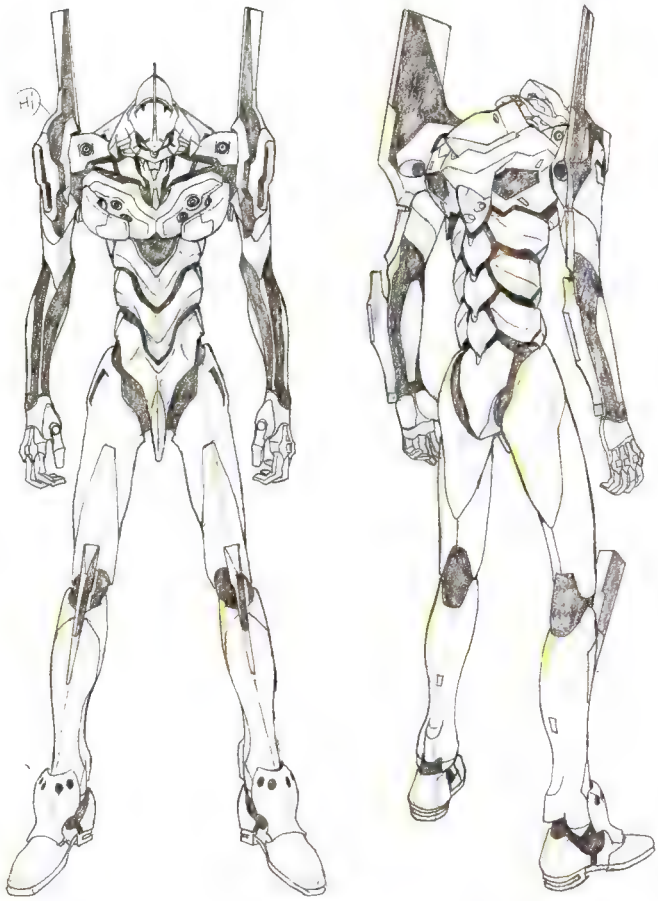


NERV 屋外作業員 設定 / 松原秀典

Evangelion Test Type-01

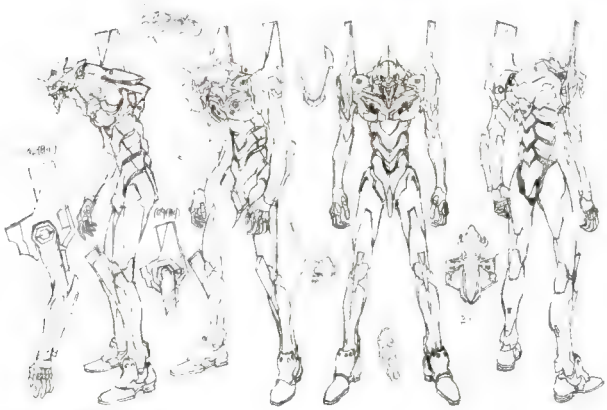
○ EVA 初号機 全身ディテール



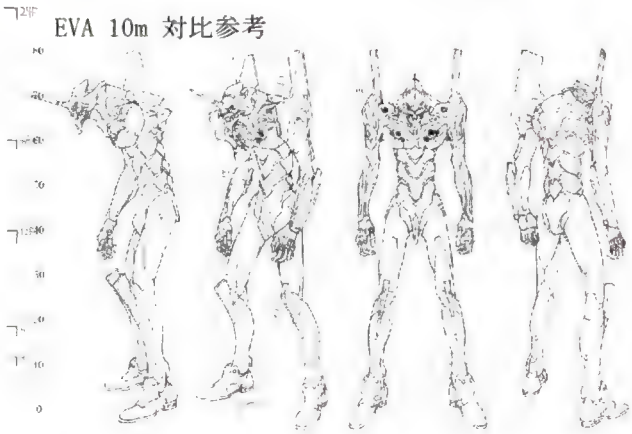


汎用ヒト型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン試験初号機 、新劇場版、フォルム 設定 / 本田雄

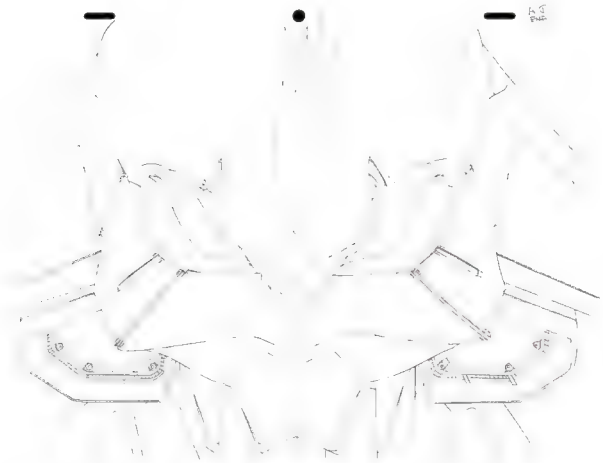
07.1.22



フォルム ラフ設定 / 本田雄



フォルム設定に 10m ごとのグリッドを入れた、対比参考。
画像は庵野秀明が使用していたもので、ビルの階層や自動車・電車の大きさも記してある。



C-0164 頭部ディテール / 庵野秀明　動画に直接ディテールを描き足したもの。

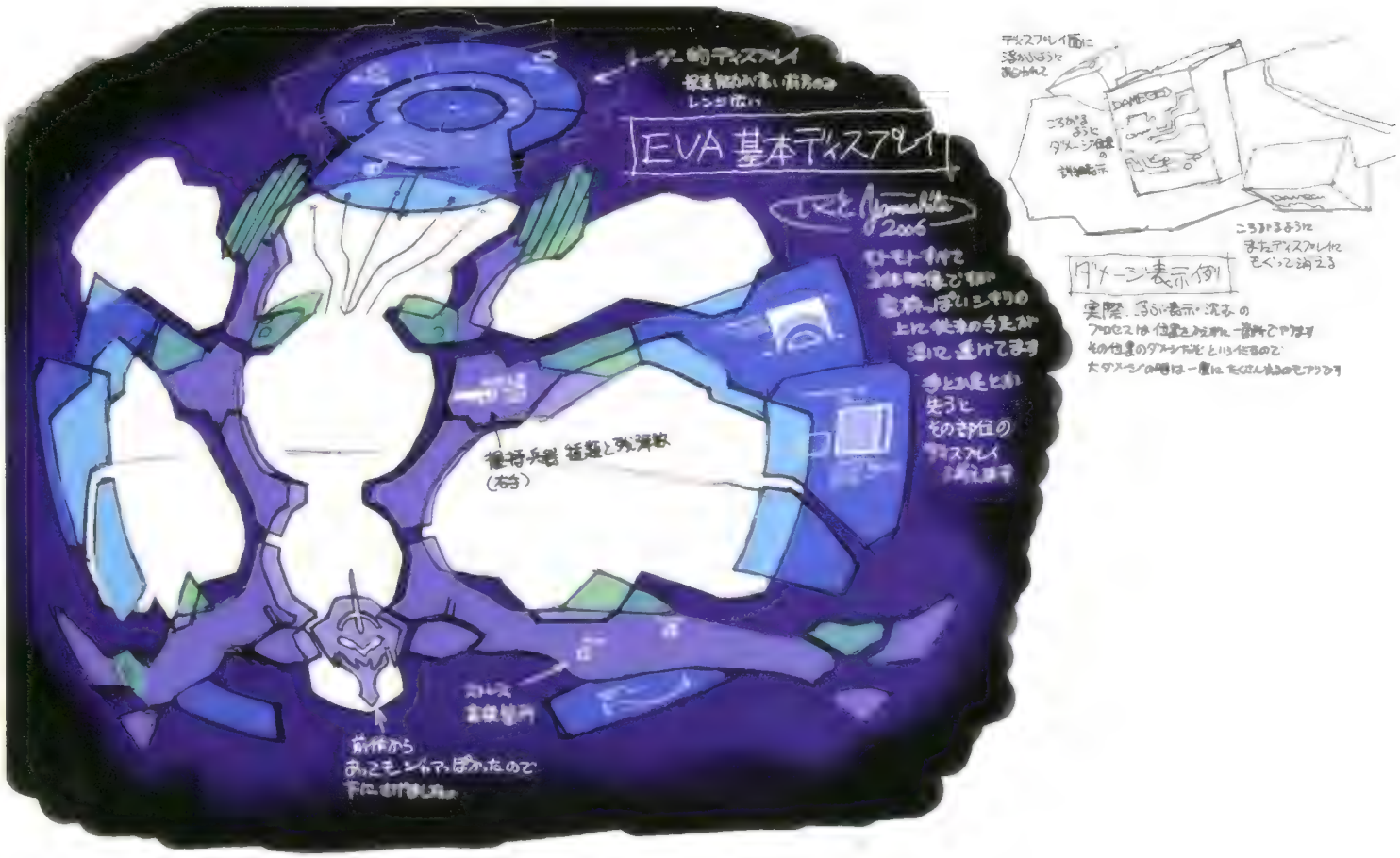
腕部 貼り込み素材　主に版権イラストで使用された。

Interior Array Inside Entry Plug

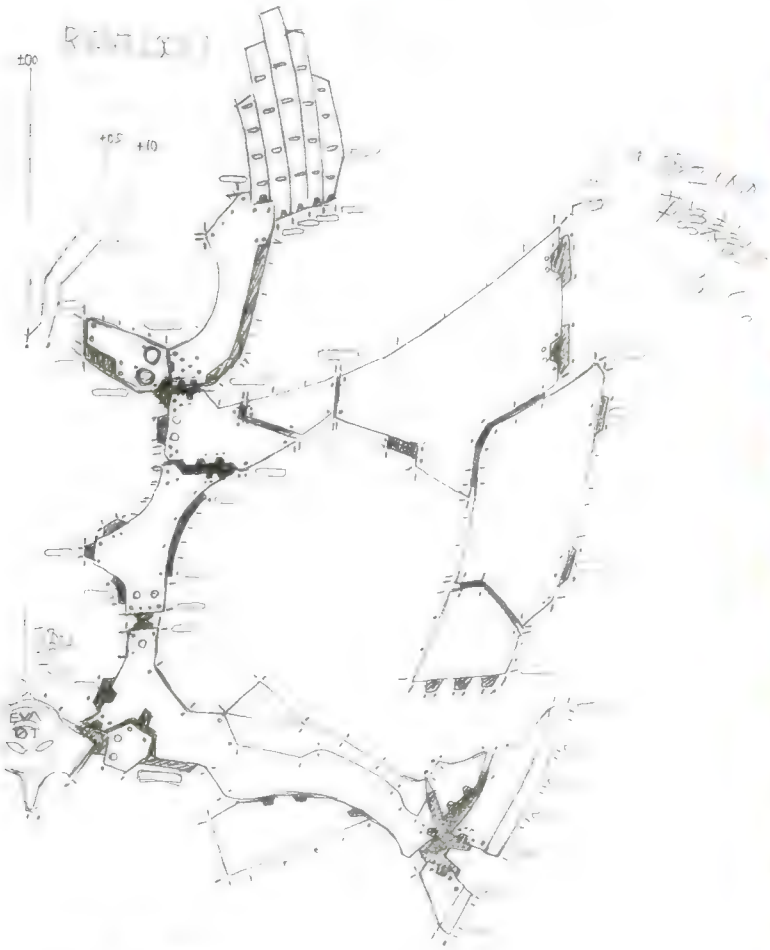
PROJECT
EVANGELION
01
TEST TYPE

ENTRY PLUG
INTERIOR
CORE UNIT
L-00/01

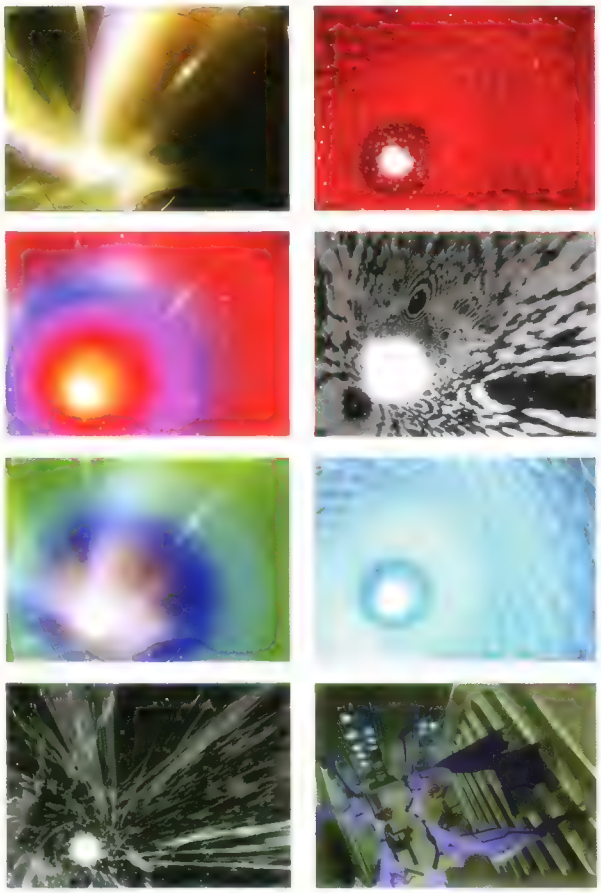
Pilot's Display Inside Entry Plug



エントリープラグ内ディスプレイ設定（山下）

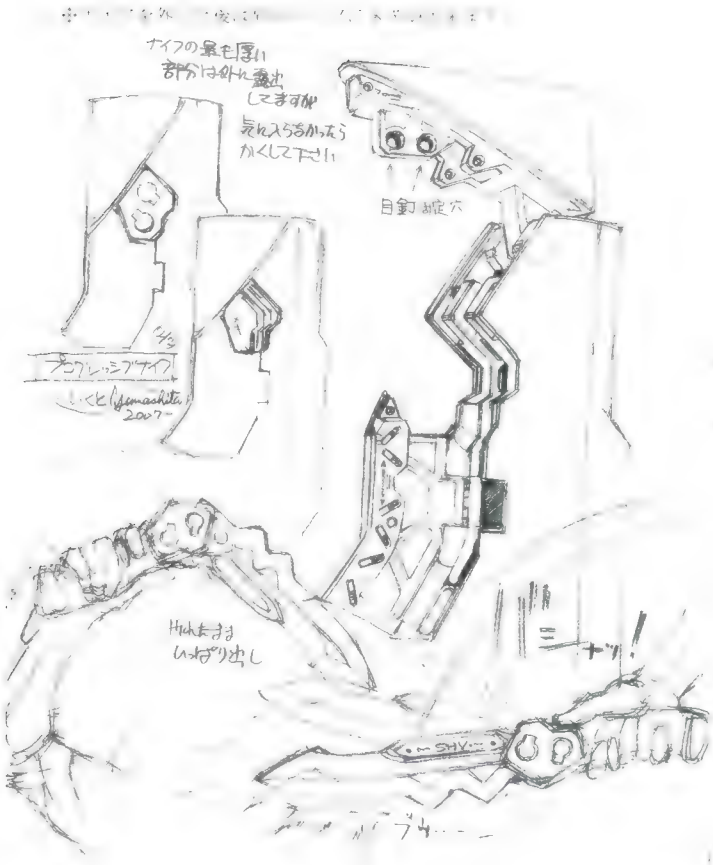


デザイン設定　庵野秀明



0242 EVA 弐号機初起動時

PKN-01C Progressive Knife



エヴァンゲリオン専用近接戦闘用プログレッシブナイフ PKN-01 [illegible]

初期の設定案（上下）

[illegible]

ナイフ本体（左）と[illegible]携帯式[illegible]（右）[illegible]

EM-226 440mm Gatling Gun

C-0734 原画　黄瀬和哉

C-0751 修正原画 / 黄瀬和哉

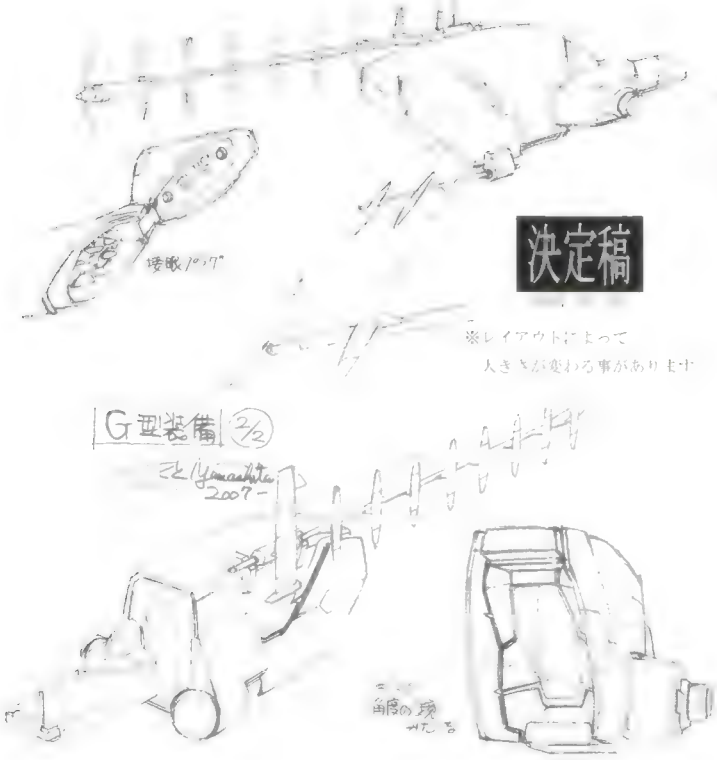
EM-226 エ[illegible]オ　専用携帯型回転式多砲身 440mm 機関砲（ガトリング砲）
設定　黄瀬和哉

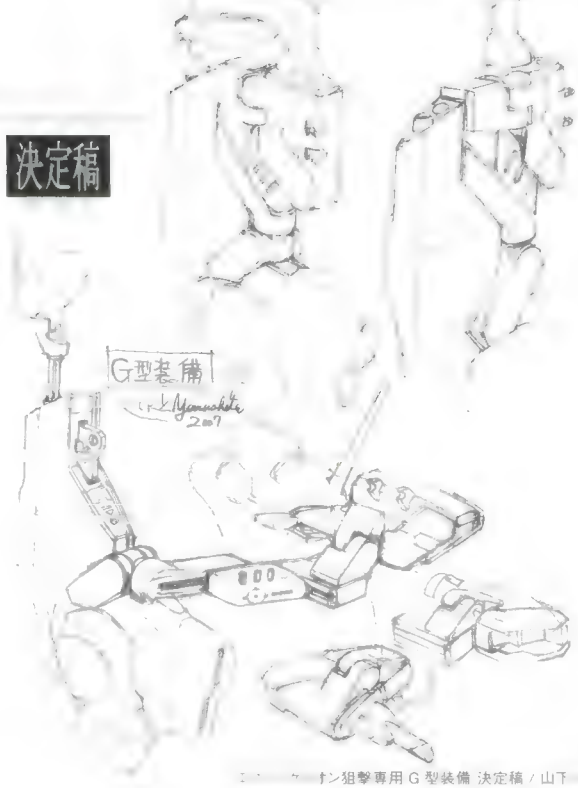
設定案 / きお誠児（左・中・右）

Type MM-99 209mm AU Assault Rifle

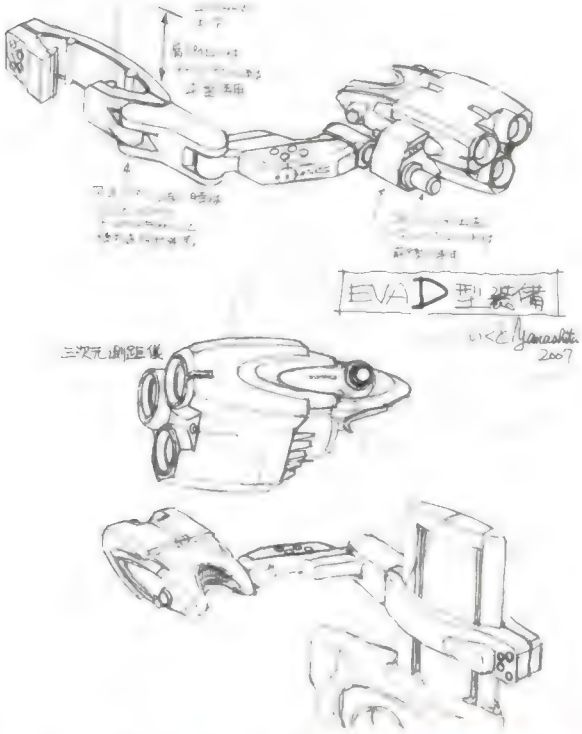
エウ[illegible]オ、専用大口径 209mm 小銃 AU Assault Rifle Type MM-99 3DCG モデル

Sniping Equipment Type G Components

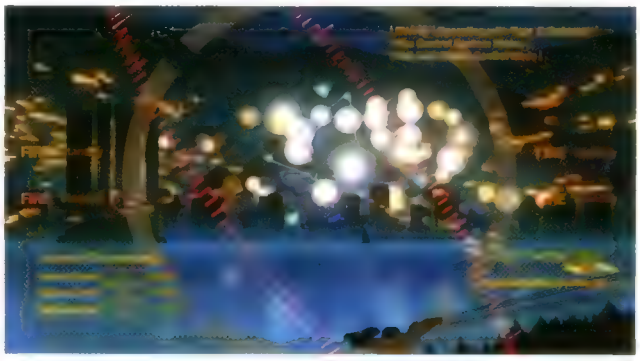




エヴァンゲリオン狙撃専用 G 型装備 決定稿 / 山下

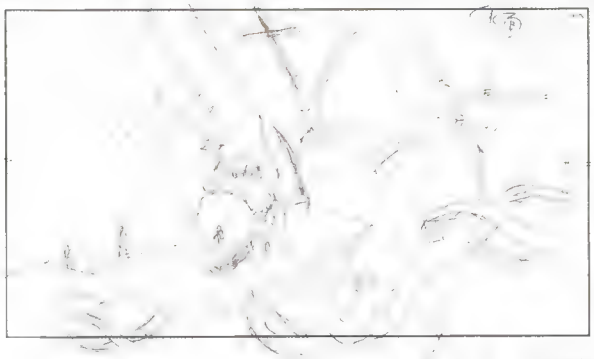


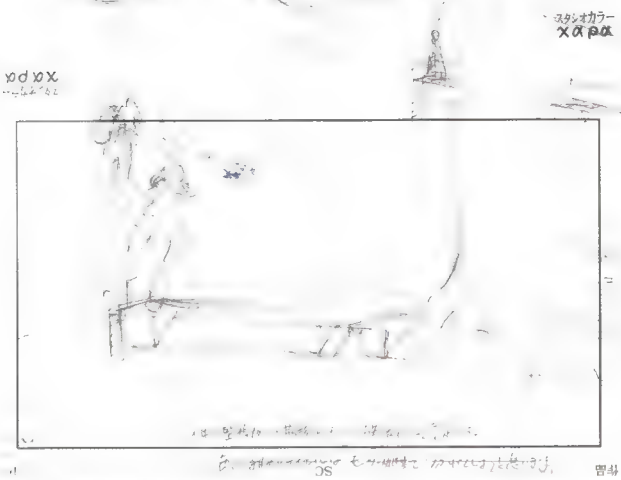
設定集 / 山下いくと

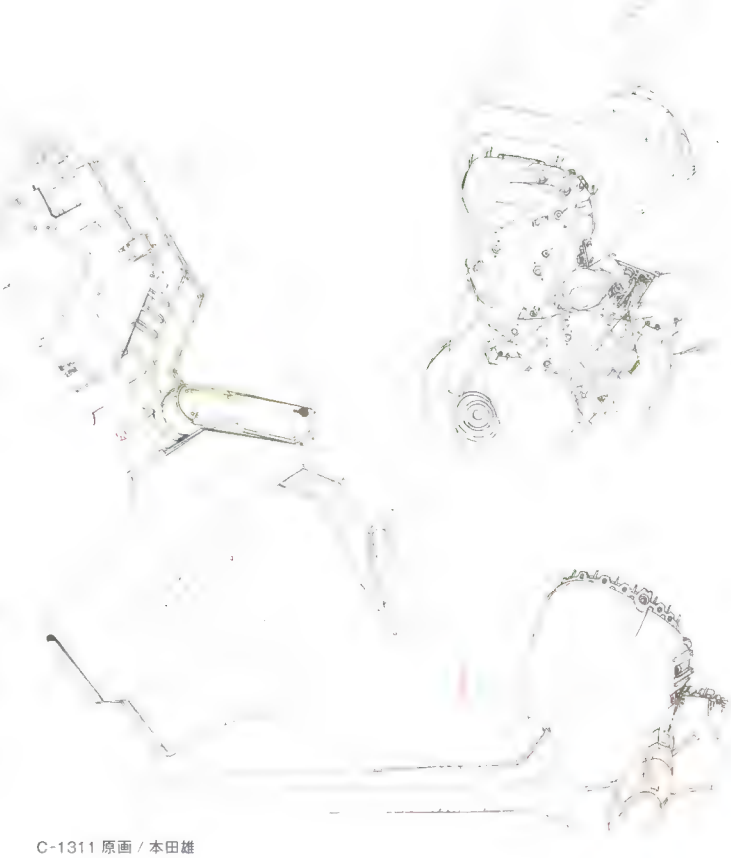


G 型装備メニュー画面レイアウト

EVA-01 Undergoing Refit of Type G Components



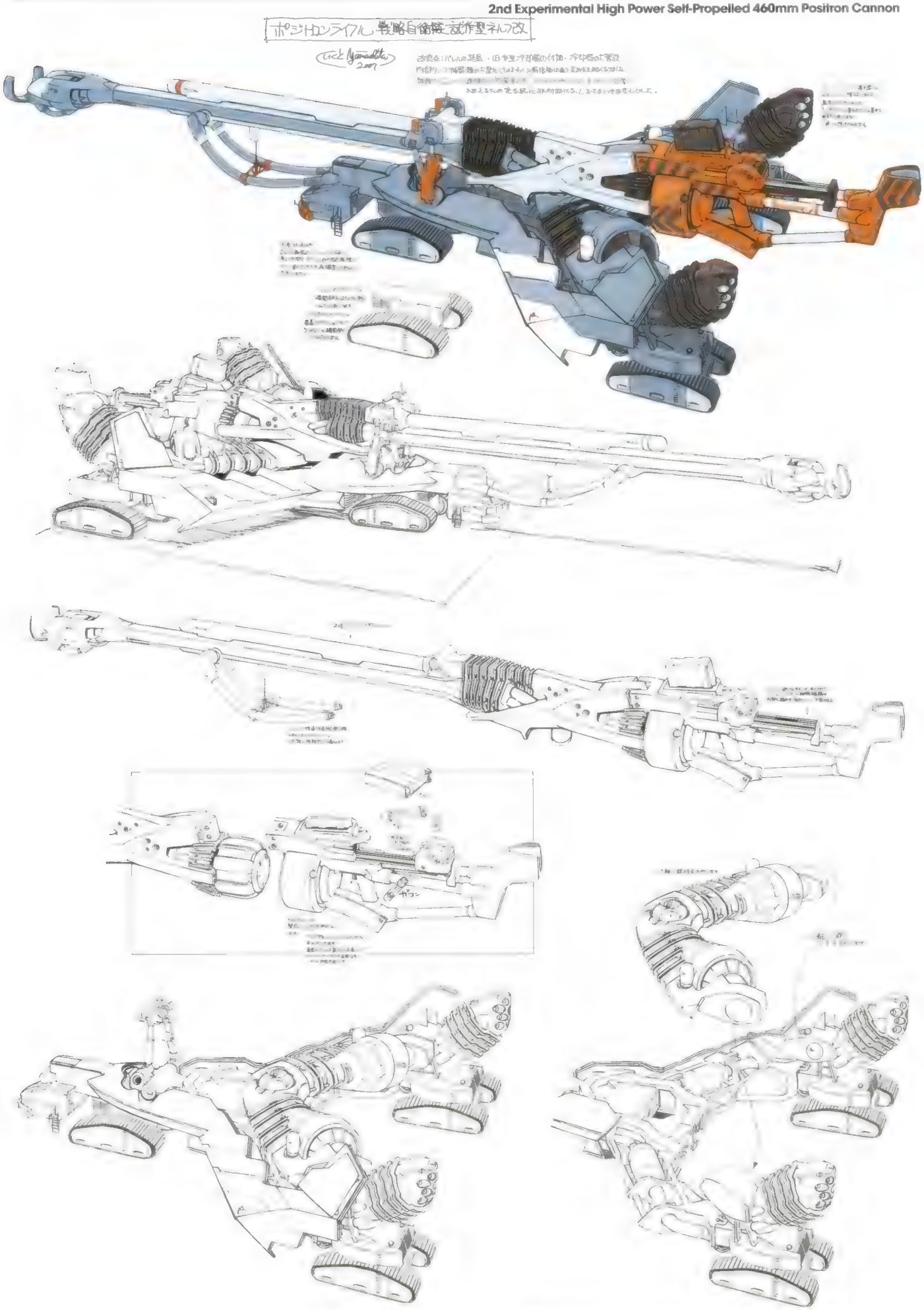




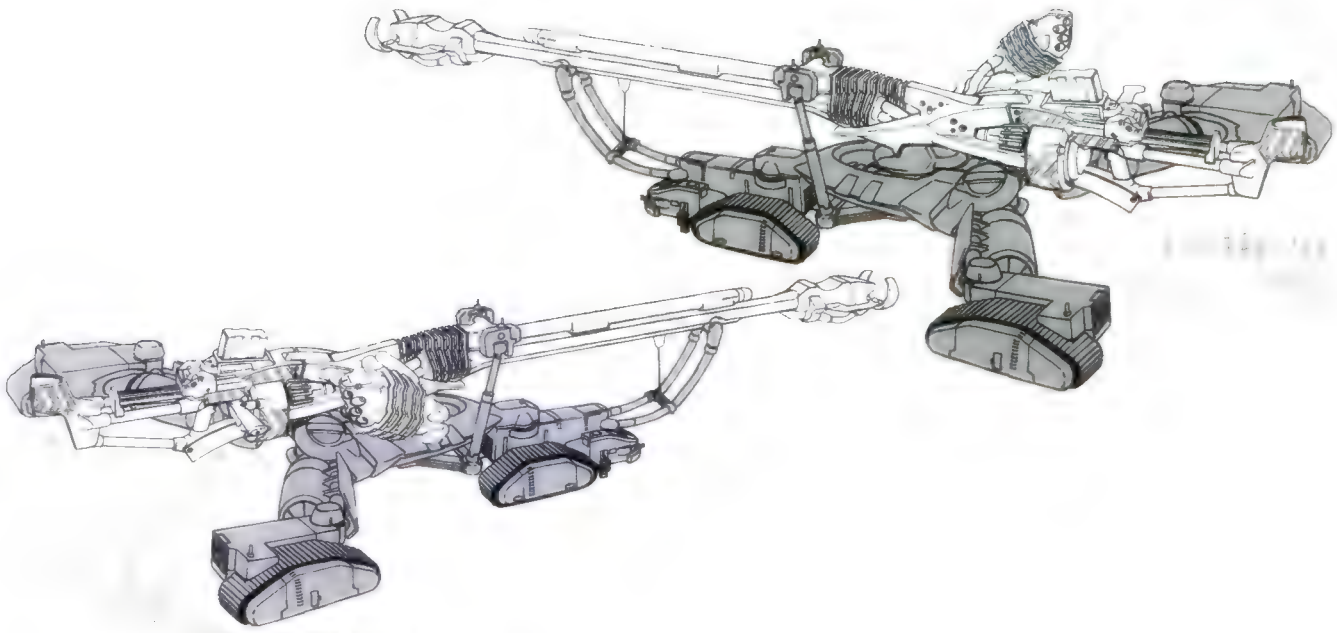
C-1310 G 型装備換装画面　ラフレイアウト / 庵野秀明

C-1311 原画 / 本田雄

2nd Experimental High Power Self-Propelled 460mm Positron Cannon



戦略自衛隊技術研究本部 大出力型第２次試作自走 460mm 陽電子砲 設定 / 山下いくと



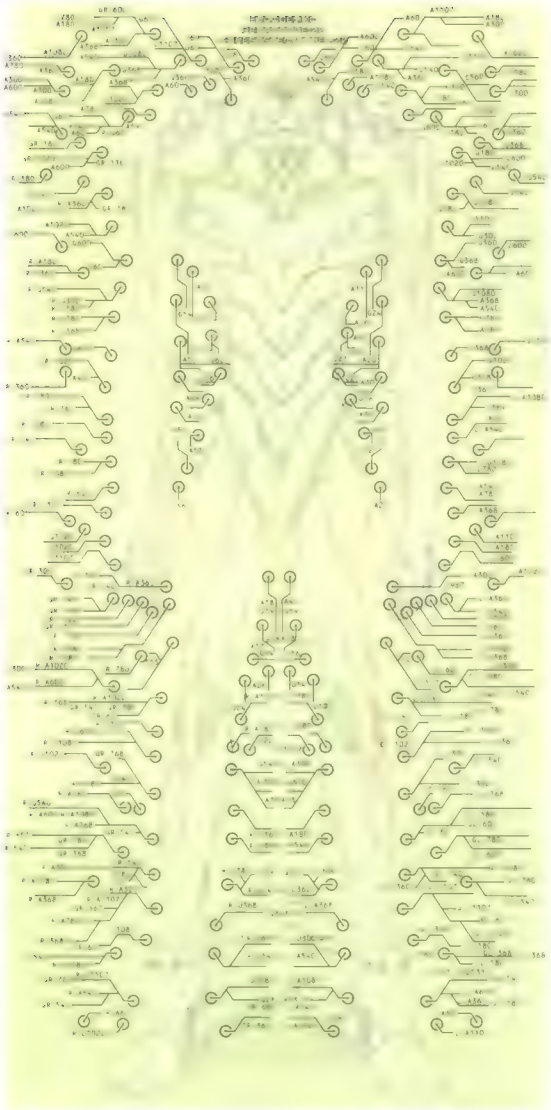
決定稿 増尾昭一により最終調整されたもの。後に庵野秀明により模様が追加された。

C-1512(左上)、C-1589(右上)、C-1598(左下)、C-1588(右下)修正原画 本田雄

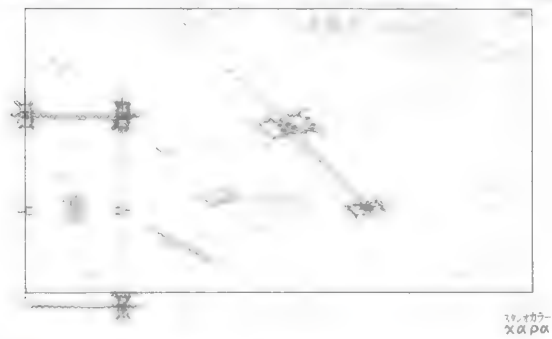
C-1308 陽電子砲組み立て作業画面 原画 高倉武史

Evangelion Proto Type-00

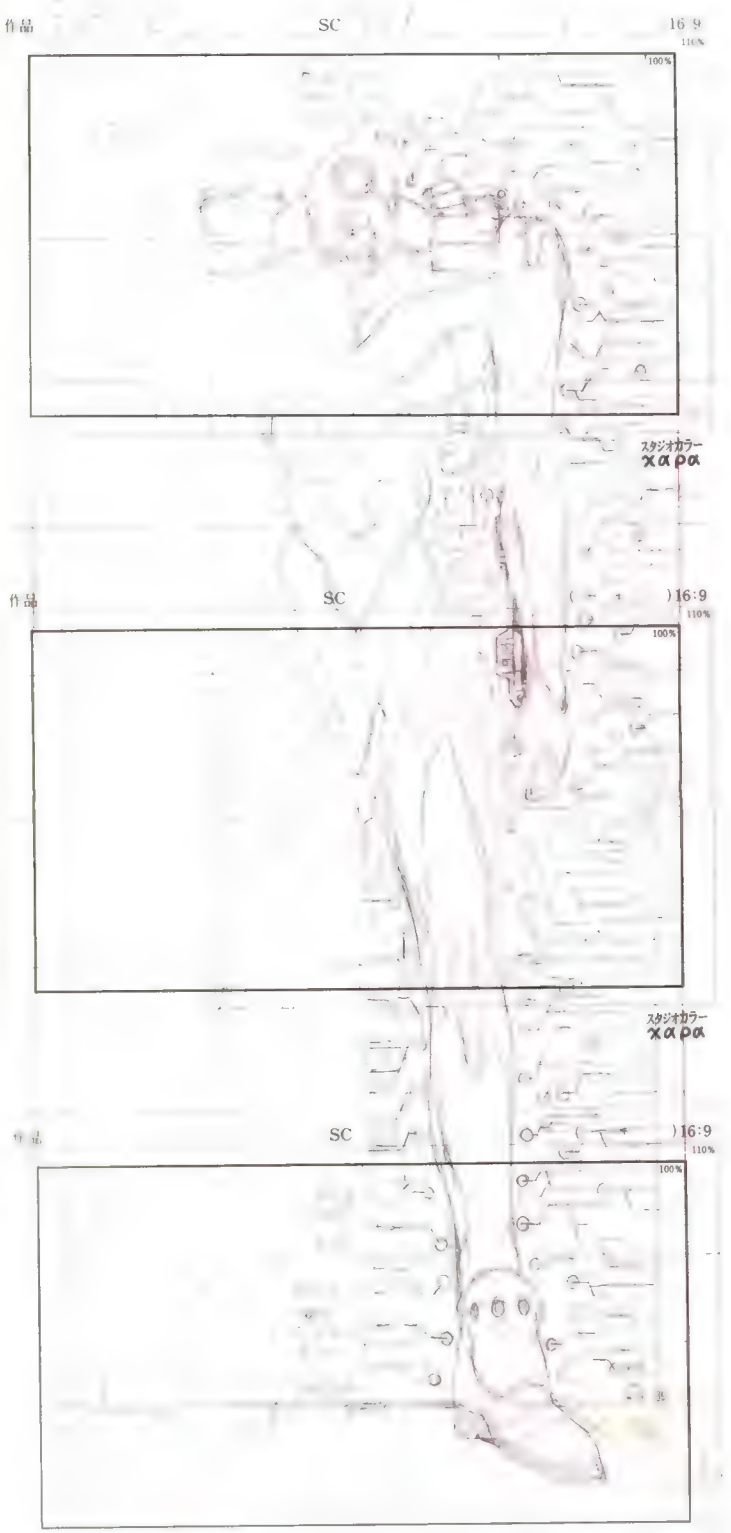
2nd Activation Experiment



C-0971 エヴァンゲリオン躯体状態検出用壁面型感知器 貼り込み素材
（修正原画 / 本田雄に合成）



C-0999 第 2 起動実験場天井 レイアウト兼設定　庵野秀明

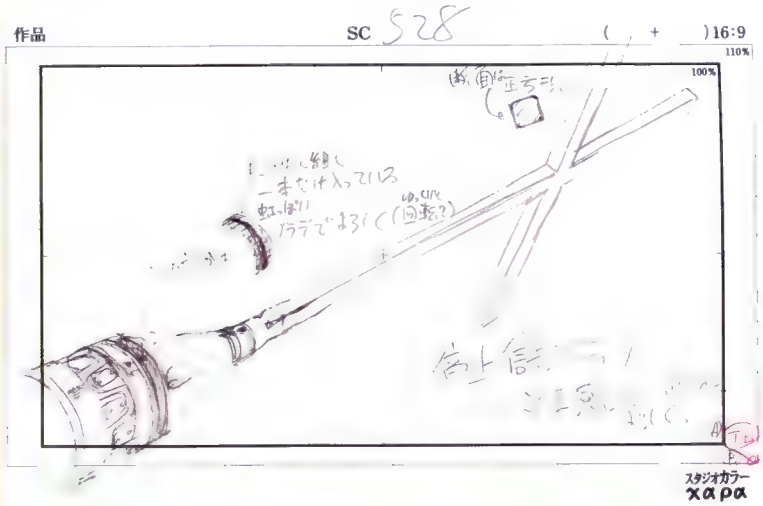


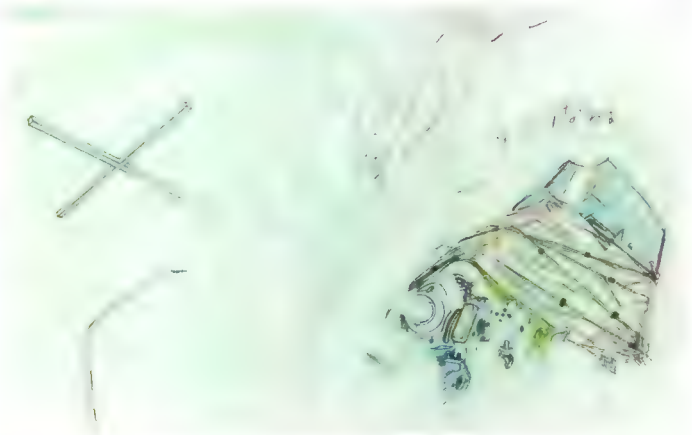
C-0971 人用ヒト型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン 試作零号機・第 2 回再起動実験画面
（NERV 本部第 2 実験場）レイアウト兼設定 / 庵野秀明

EVA 零号機専用エントリープラグ 3DCG モデル

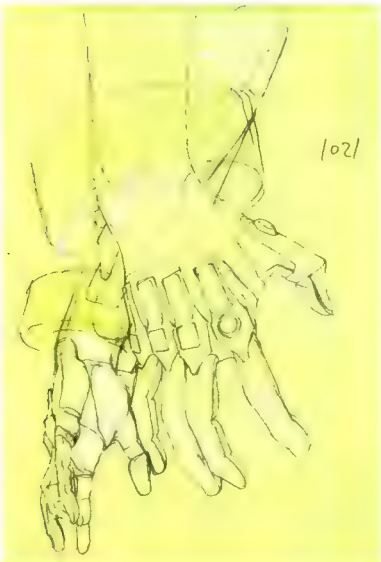
Restrained EVA-00

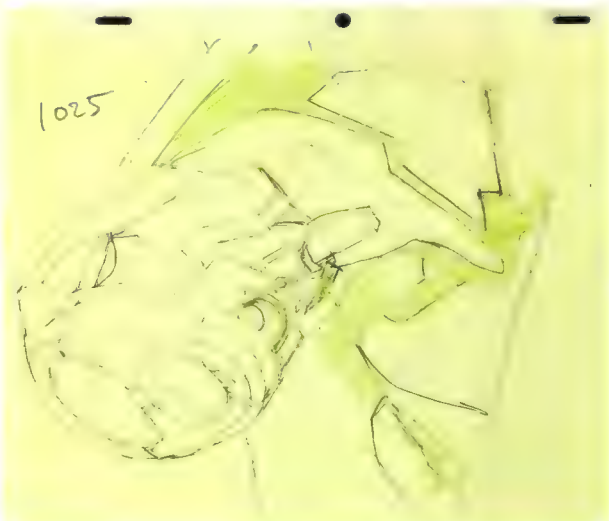
C-0531 EVA零号機 凍結状態（NERV本部中央施設 地下第3隔離棟拘束室）修正原画 / 本田雄

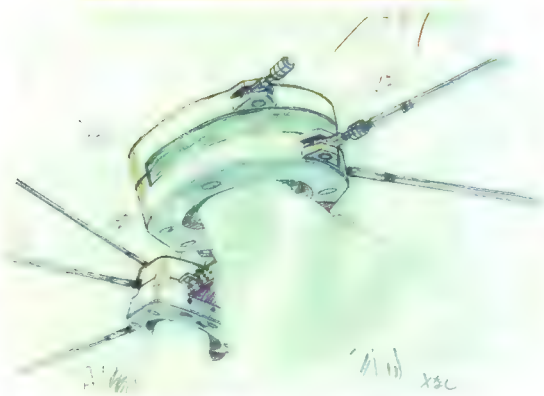




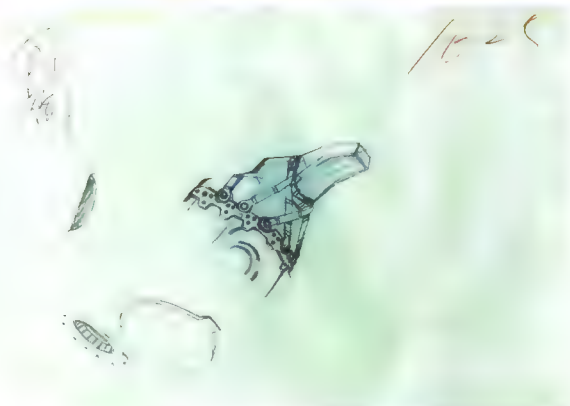
エヴァンゲリオン活動停止信号発振プラグ近辺
C-0528 レイアウト（上）C-1022 ディテール追加原画（下）/ 鷹野秀明





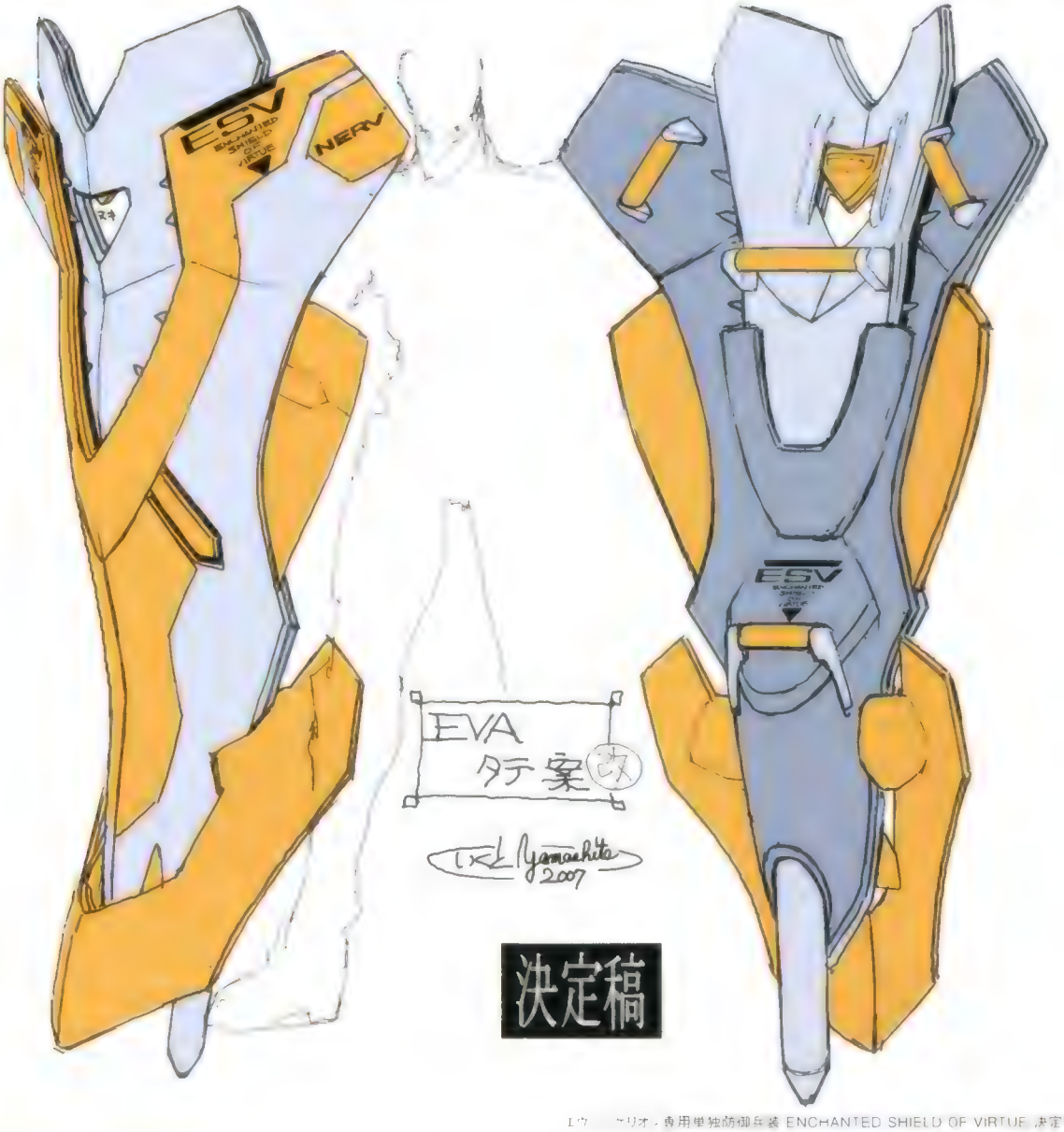


C-1021 エヴァンゲリオン拘束用重金属両手錠 ラフ原画 / 本田雄（上）
ディテール追加原画 / 鷹野秀明（下）



C-1025 エヴァンゲリオン拘束用複合構造式超強力猿轡（零号機専用型）ラフ原画 / 本田雄（上）
ディテール追加原画 / 鷹野秀明（下）

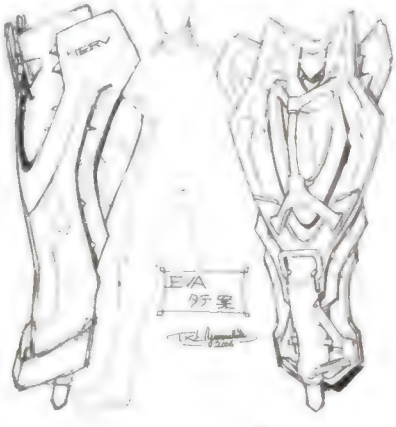
The Enchanted Shield of Virtue



エヴァンゲリオン専用単独防御兵装 ENCHANTED SHIELD OF VIRTUE 決定稿 山下いくと

C-1409 ラフ原画　本田雄

C-1404 原画　阿部邦博

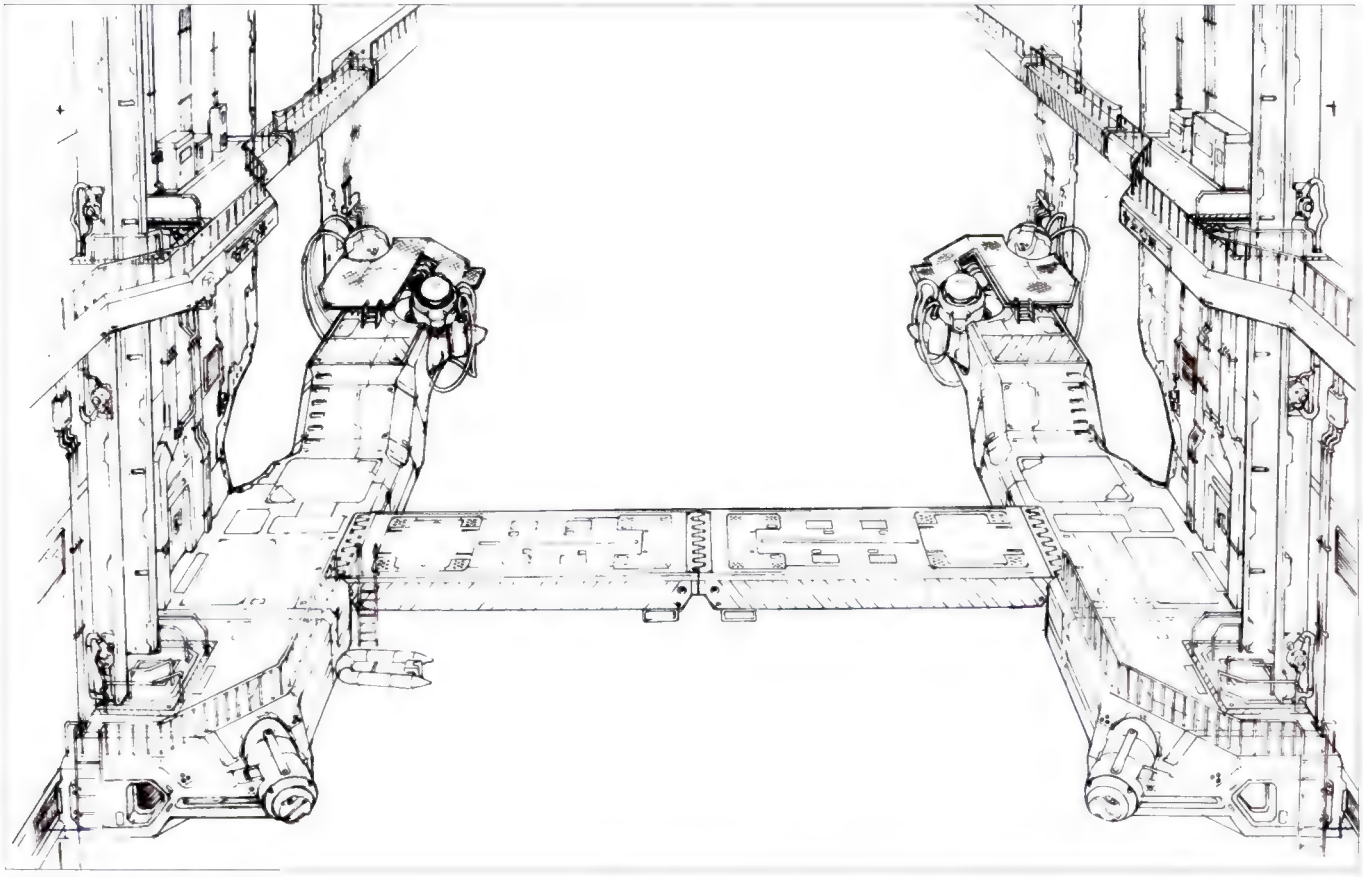


設定案 / 山下いくと

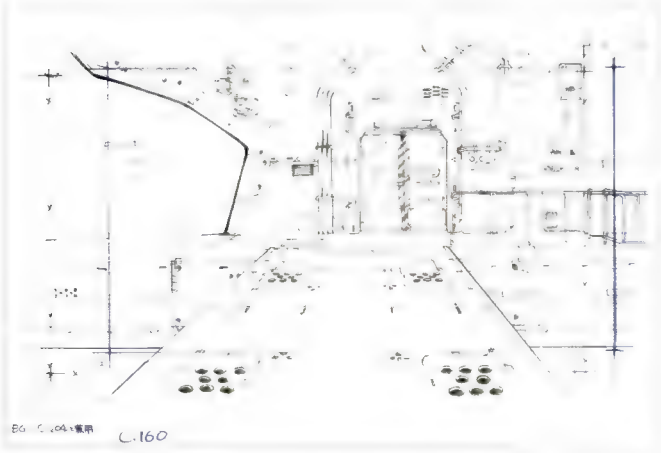
マーキング貼り込み素材

Cage

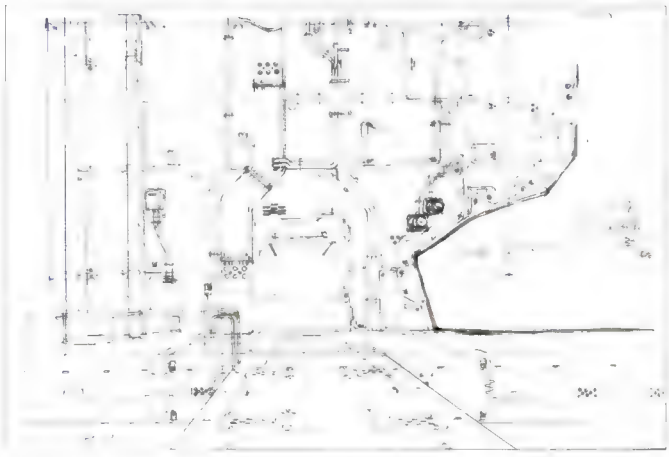
背景原図 / 高倉武史 (P261 ～ P263)



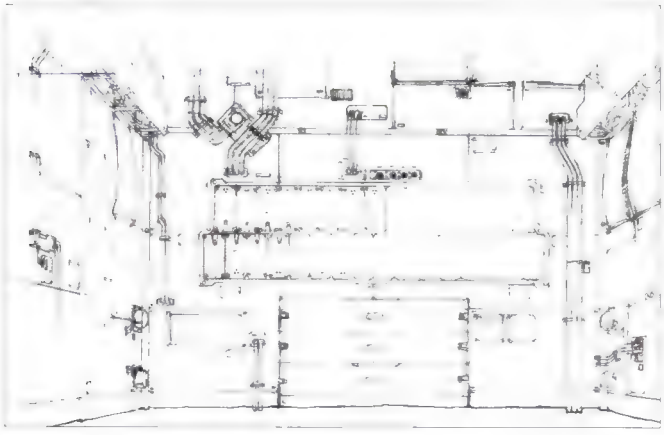
C-0150 C-0174A C-0182 C-0196 C-0212



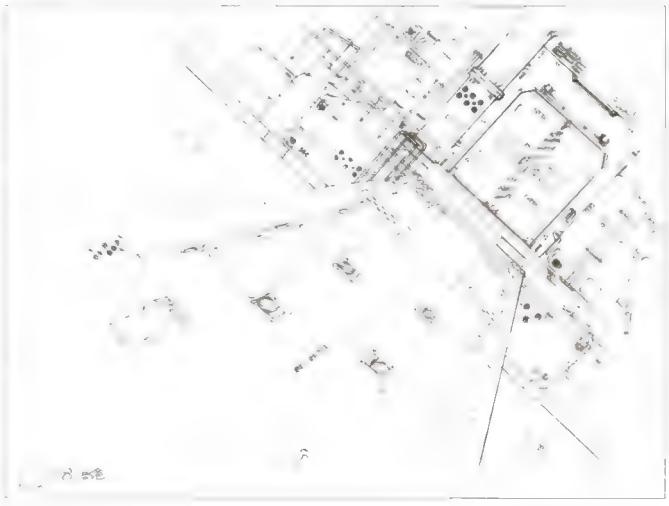
C-0160



C-0176



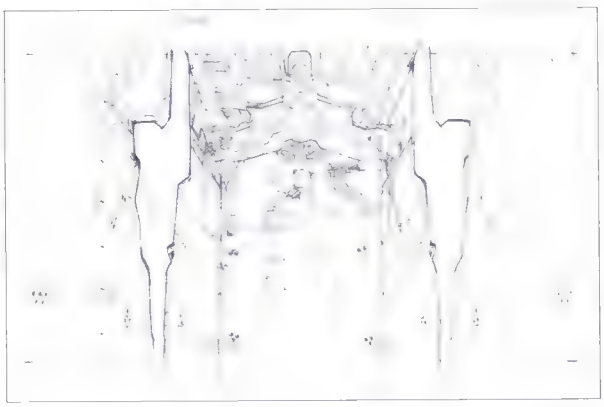
C-0201



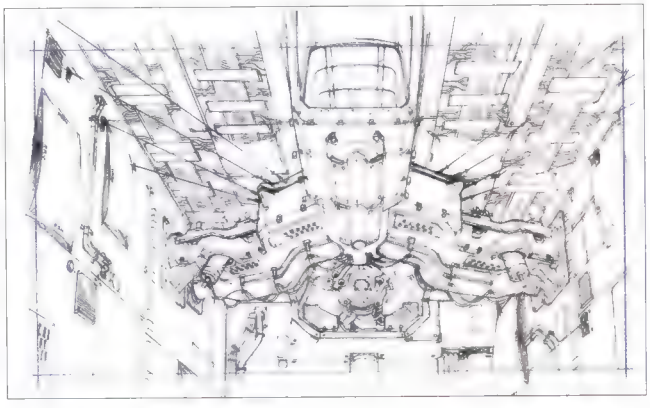
C-0218

C152 配

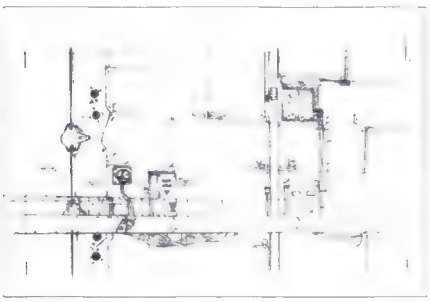
C-0152

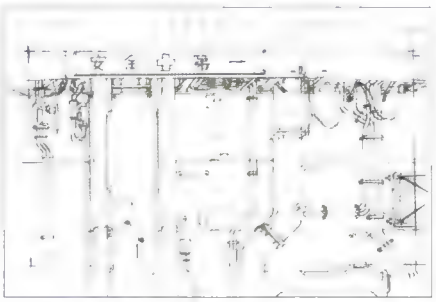


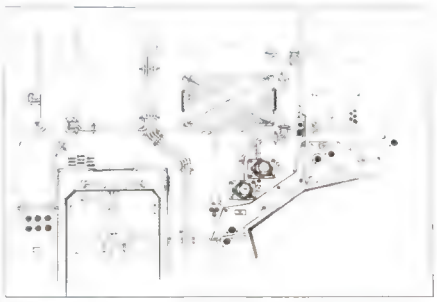
C-0247

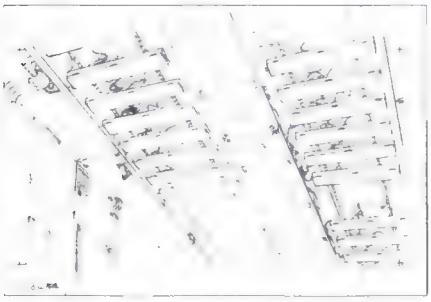


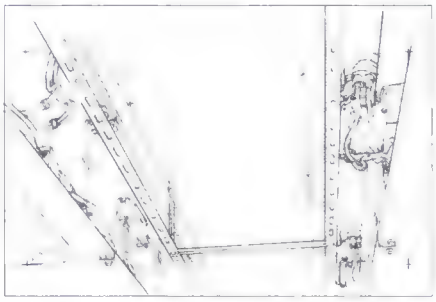
C-0169 C-0172

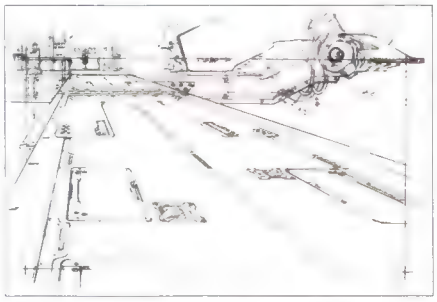

C-0243A

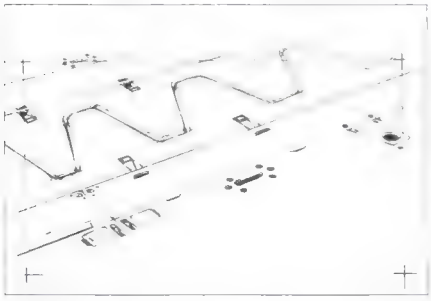

C-0195


C-0205

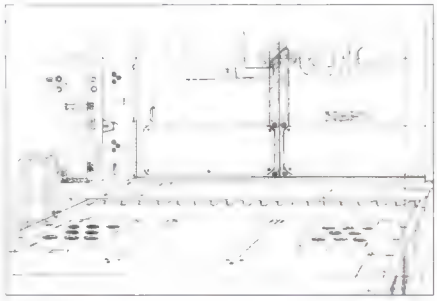

C-0202

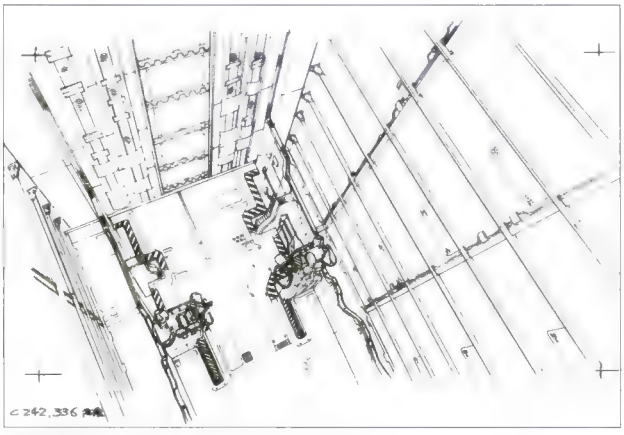

C-0215

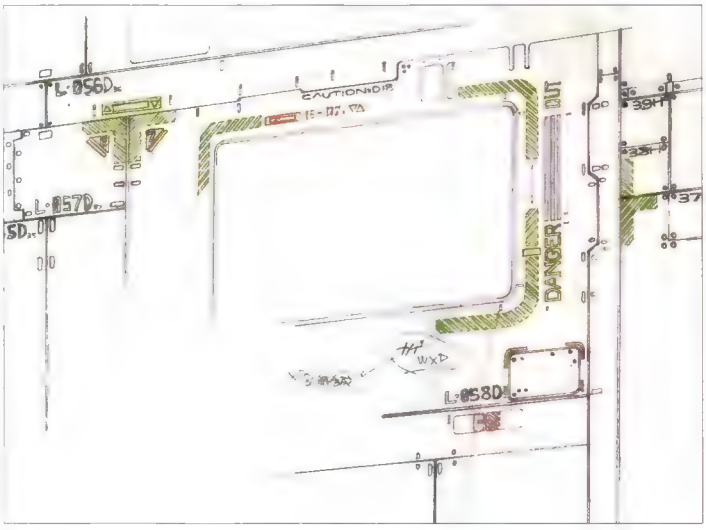

C-0213


C-0214

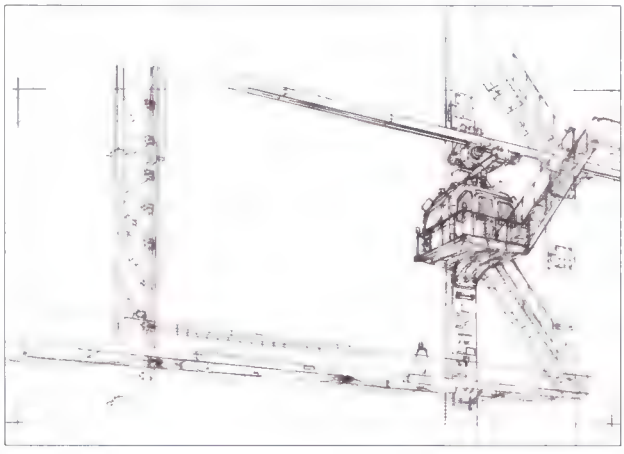
C-0219

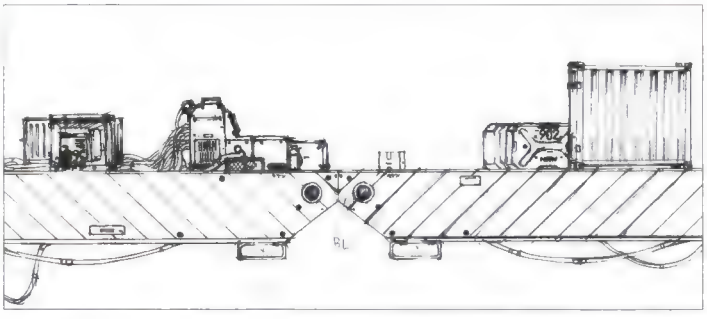

C-0187

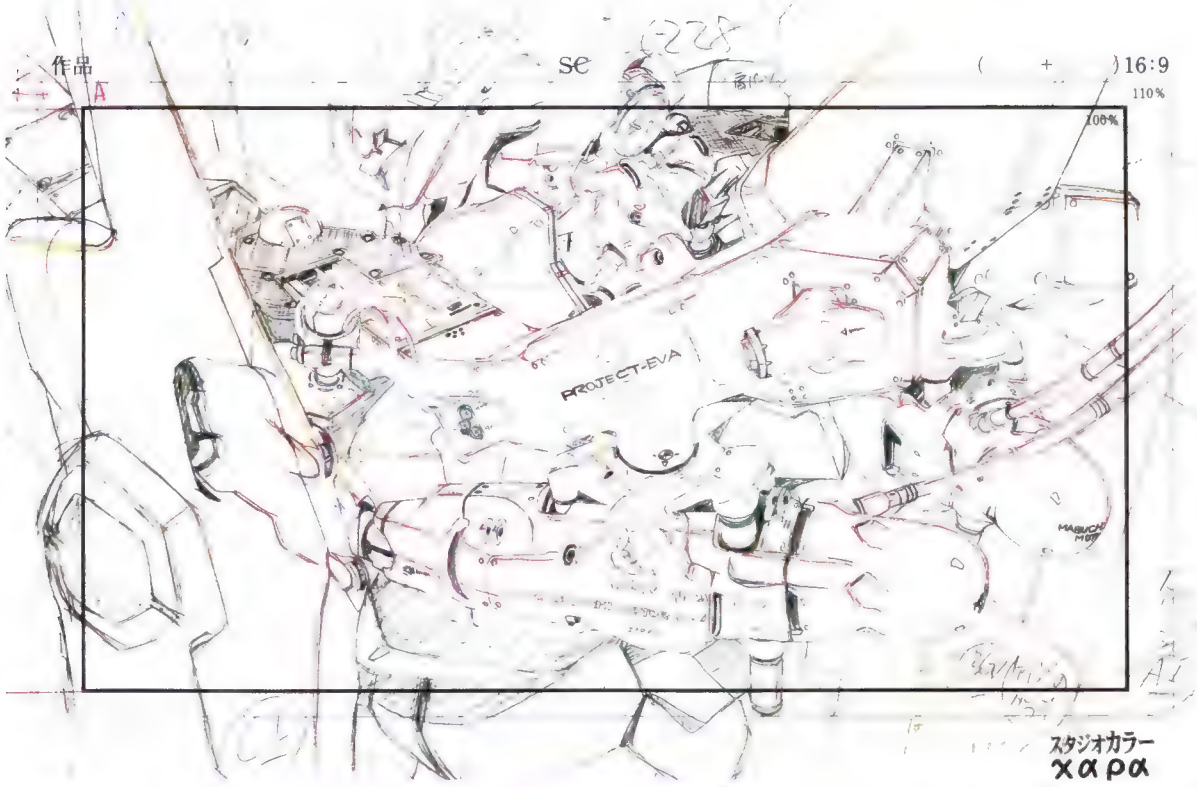

C-0242



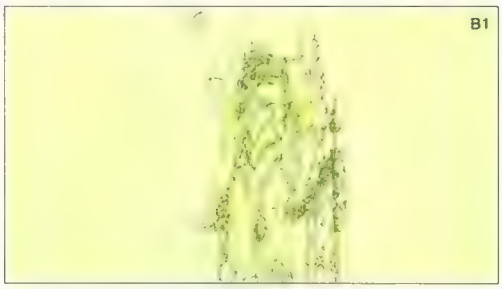
C-0226

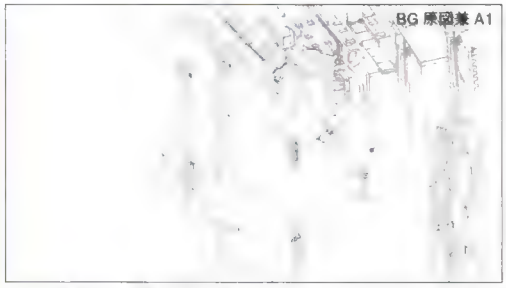

C-0252

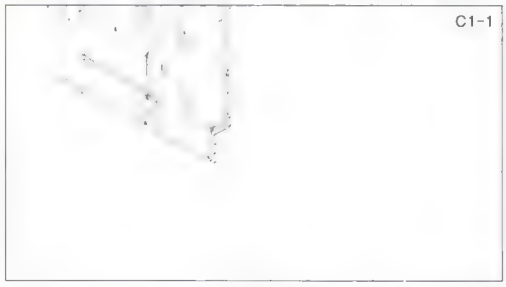

C-1042

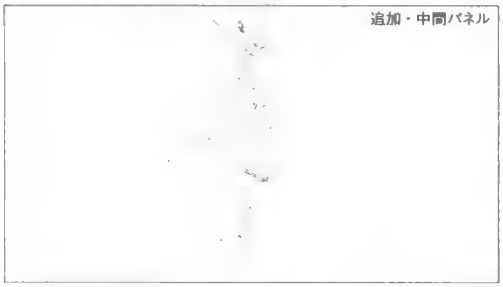


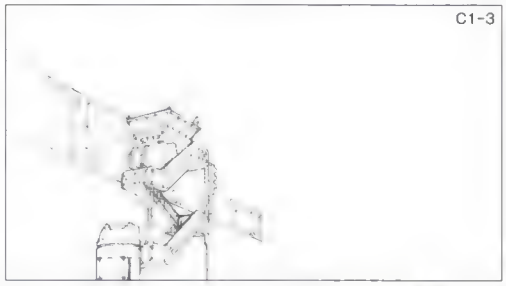
C-0228 原画兼設定 / 庵野秀明





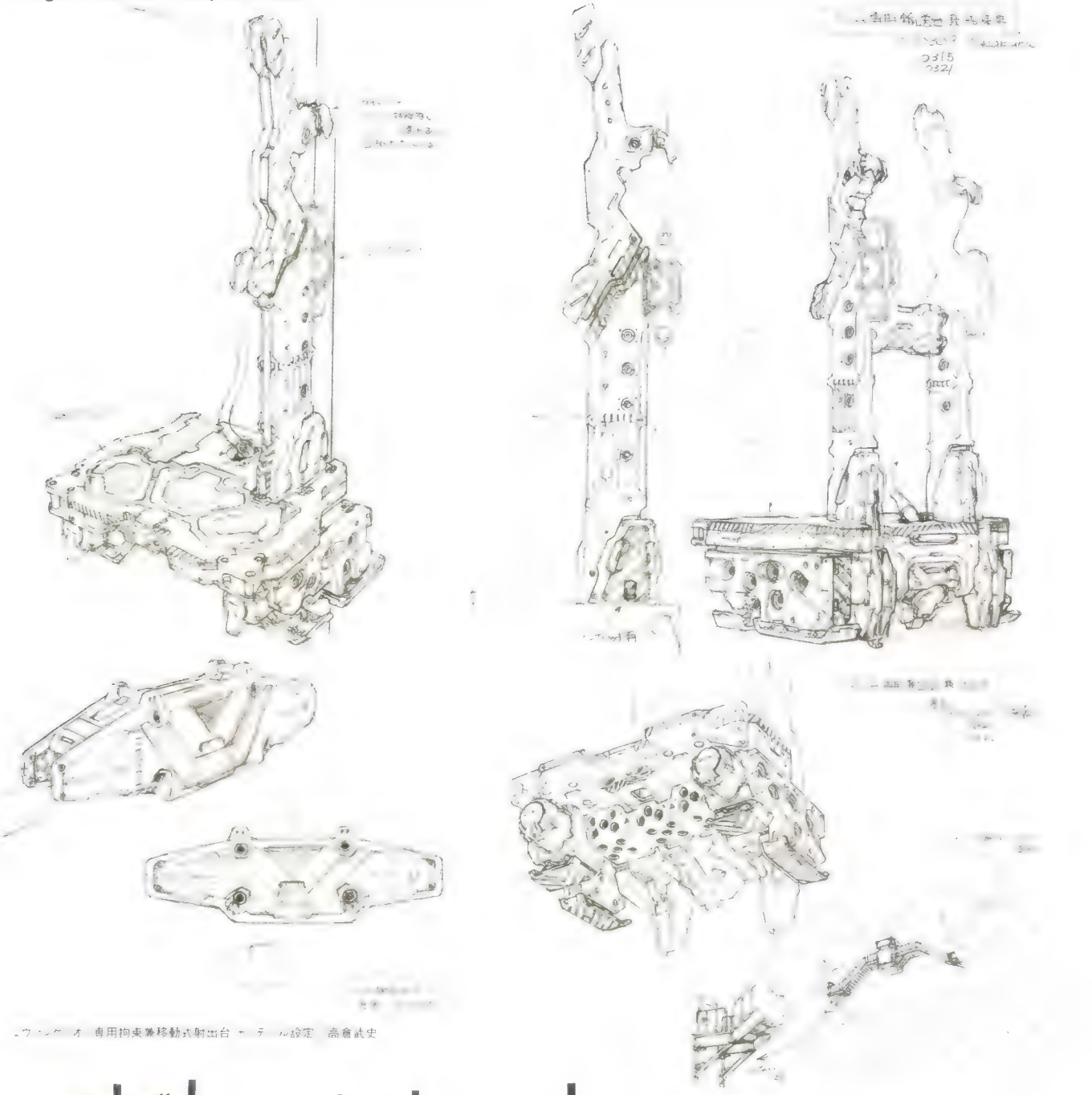






C-0250E
原画・背景原図 / 高倉武史
修正原画 / 本田雄 (B1)
動画 (D1)
ディテール追加指示 (左下)/ 高倉武史

Evangelion Restraint / Transport Platform

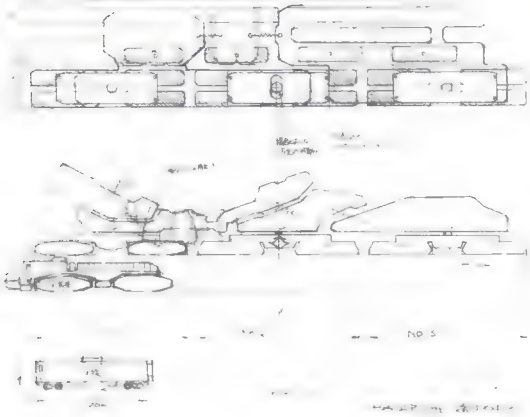


ユウンケオ 専用拘束兼移動式射出台 ディテール設定 高倉武史

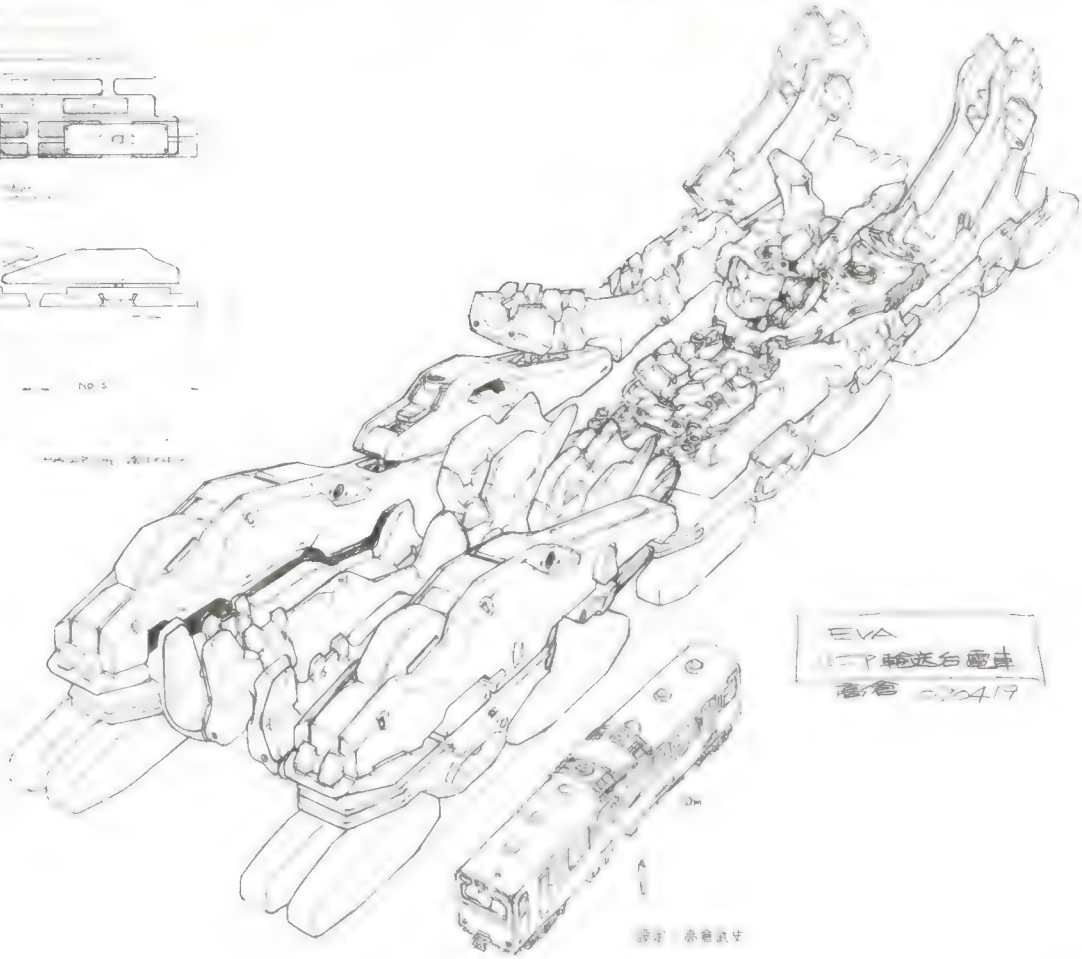
3DCG モデル

Linear Type Multi-Chassis Evangelion Electric Motor Rail Transport

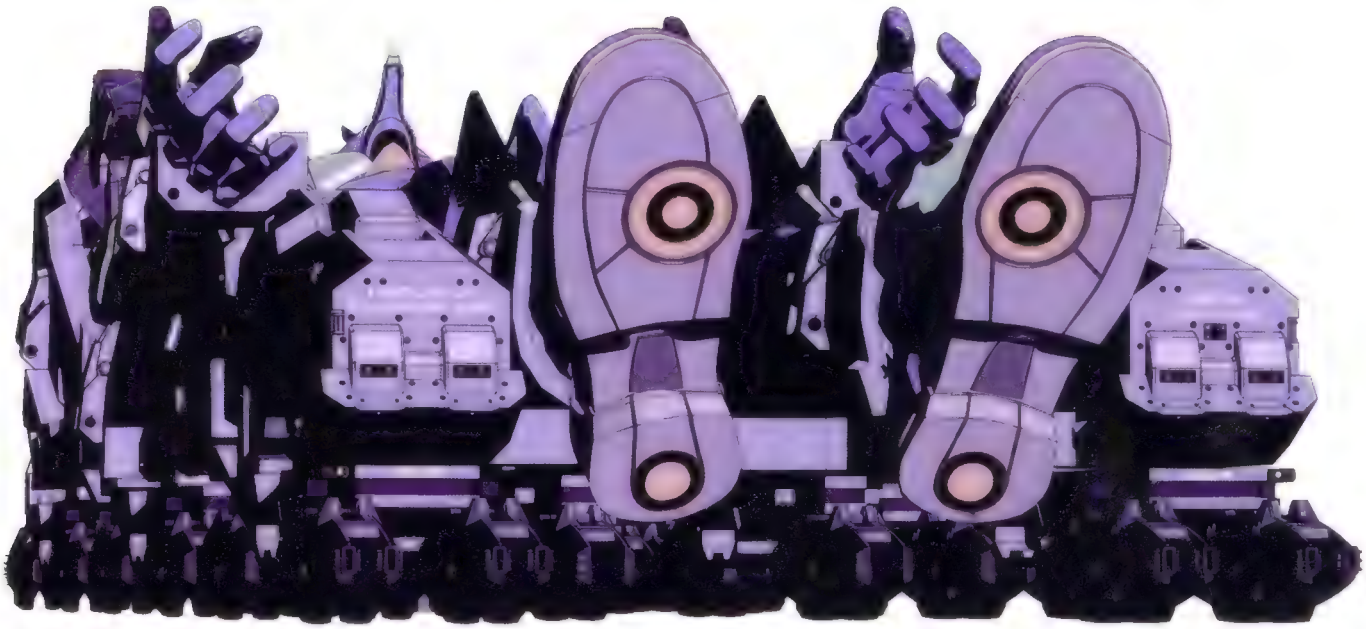
LM-133 エヴァンゲリオン輸送専用リニア軌道電動貨物車　通称 エヴァ電車　3DCG モデル

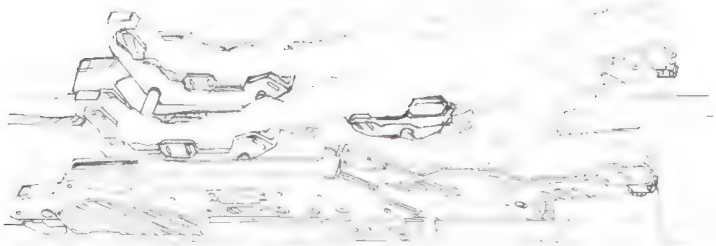


対比参考／高倉武史



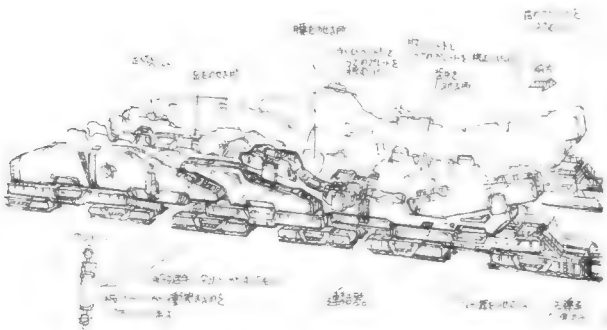
設定／高倉武史



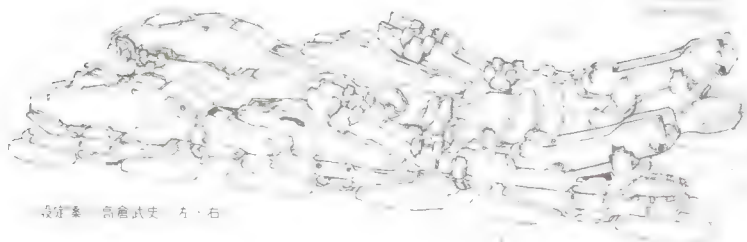


※足と腰を固定するパーツを追加してます。

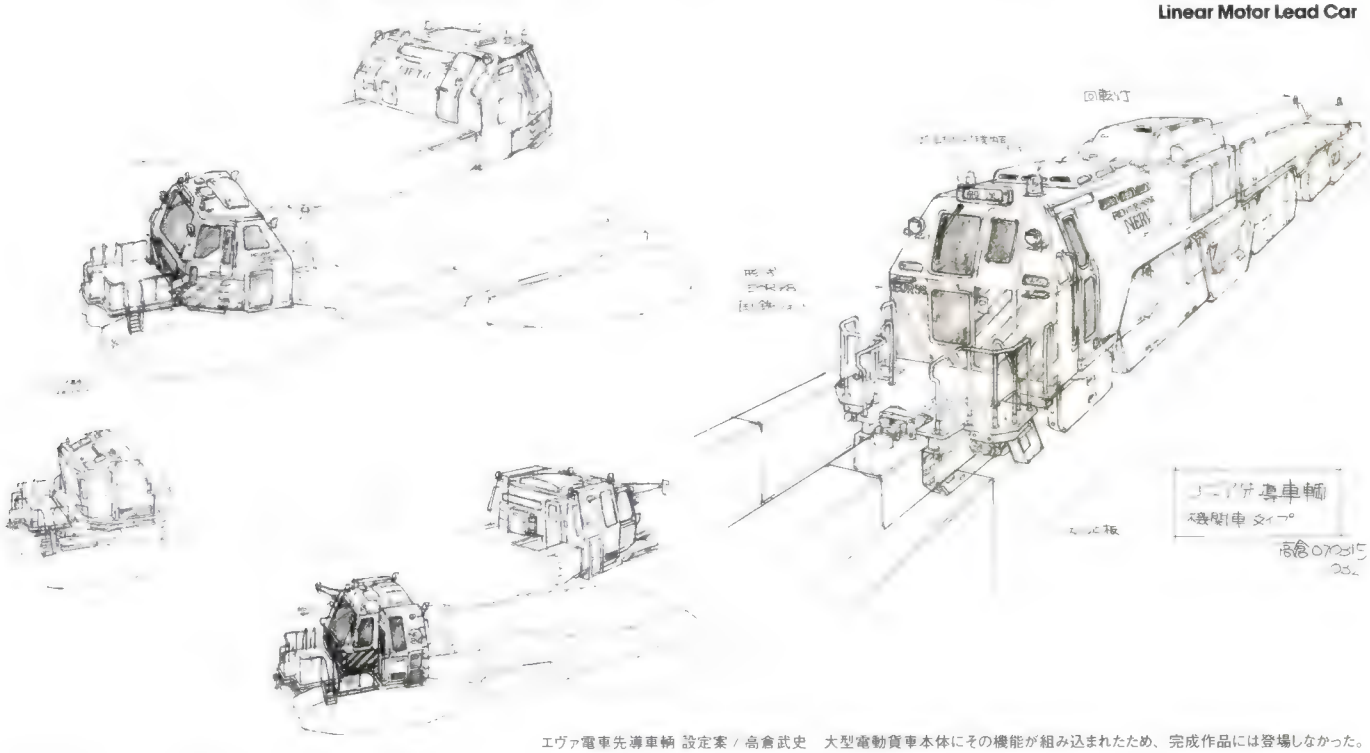
ヘッドライトが付いている者は有人？



修正指示　藤野秀明

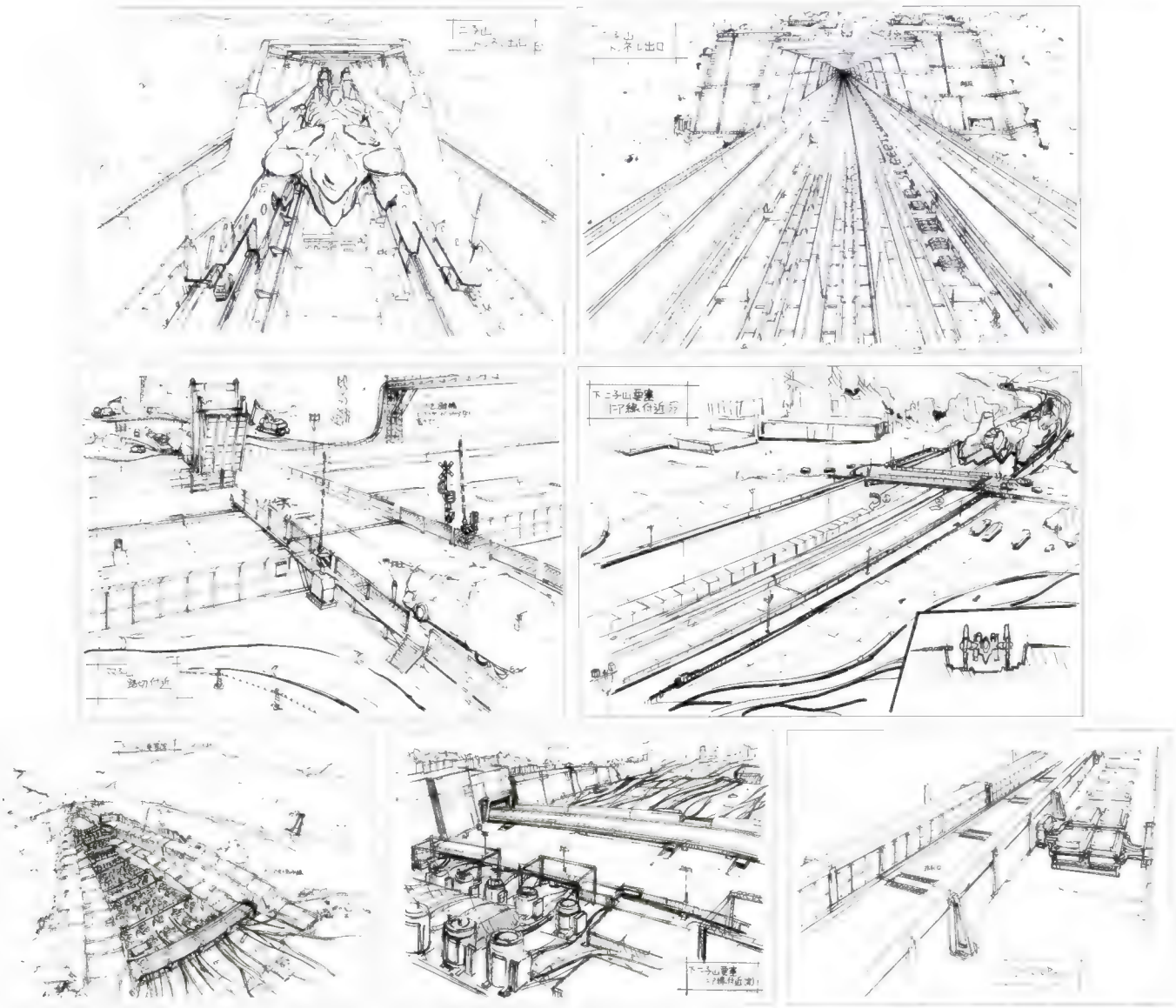


Linear Motor Lead Car



エヴァ電車先導車輌 設定案 / 高倉武史　大型電動貨車本体にその機能が組み込まれたため、完成作品には登場しなかった。

Linear Rail Siding



二子山第 2 要塞・リニア引き込み線付近 設定案 / 鷲尾直広

Evangelion Combat Simulation System VEM-01 (Early AO Type)

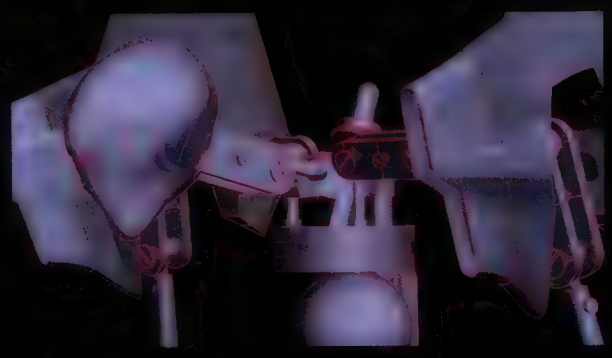
C-0616 (左) C-0615(右) VEM-01 エヴァンゲリオン模擬戦闘訓練装置 (初期 AO 型) レイアウト兼設定 / 山下いくと

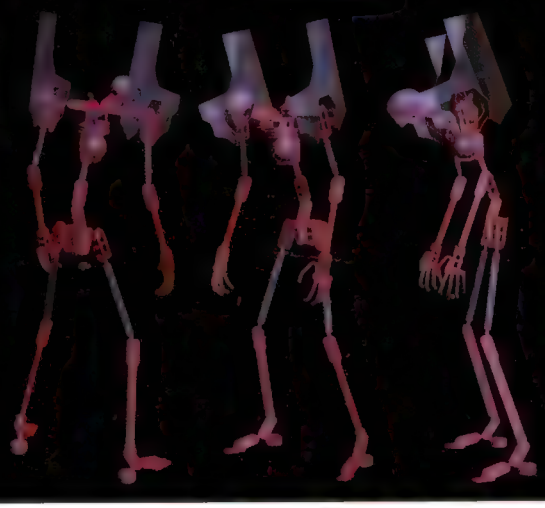
設定案 / 石垣純哉

設定案への修正指示 / 庵野秀明

Simulation Models

Non-scale Virtual Model - VMEVA-01

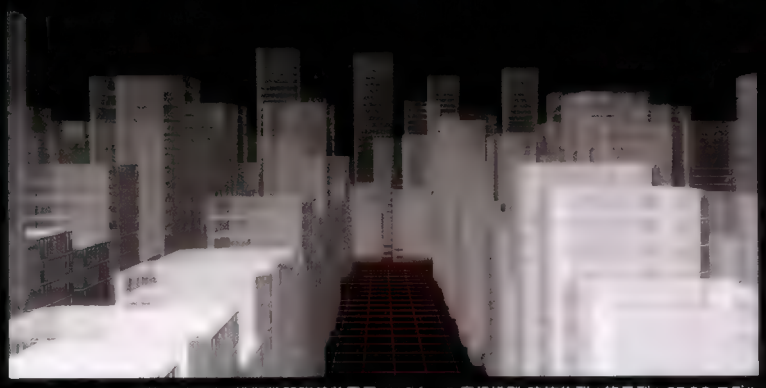




アーマチュアのディテール指示 / 小林浩康

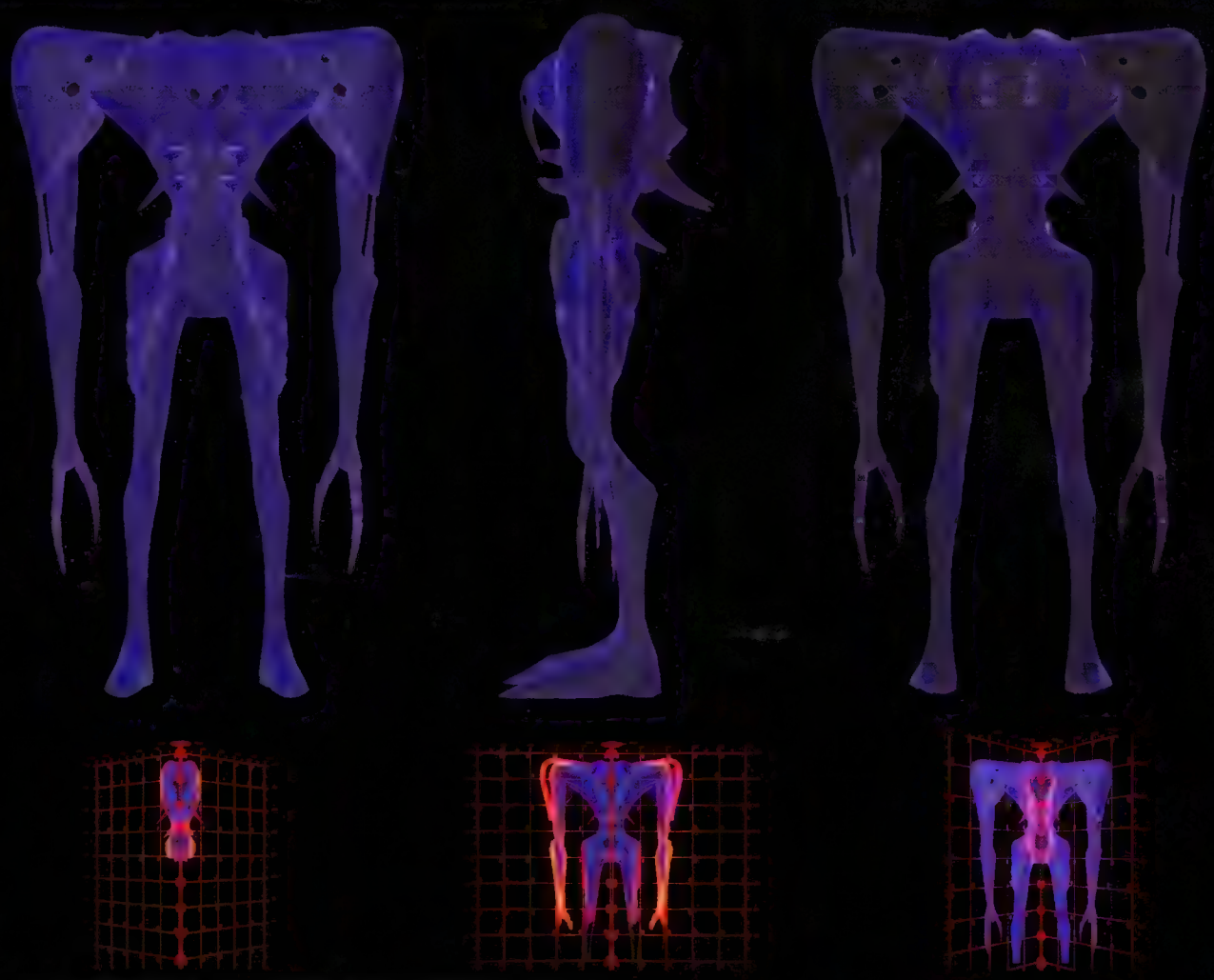
エヴァンゲリオン模擬戦闘訓練装置用ノンスケール仮想模型
VMEVA-01（アーマチュア駆動式）3DCG モデル

Non-scale Virtual Model - Elevated Structures (Simplified)



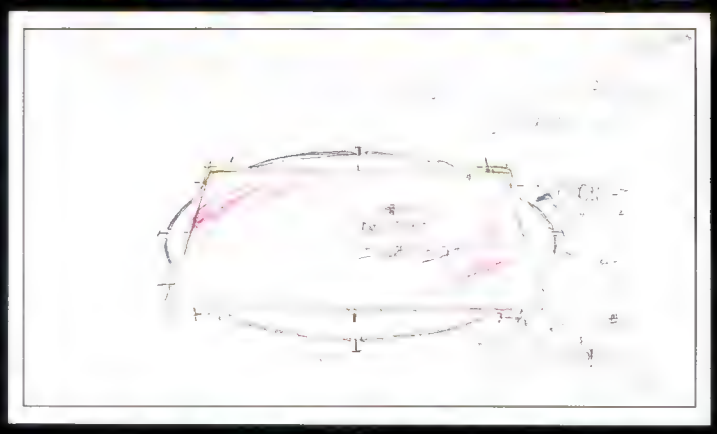
エヴァンゲリオン模擬戦闘訓練装置用ノンスケール仮想模型 建築物群（簡易型）3DCG モデル

Non-scale Virtual Model - The 4th Angel (Interior Structure Unknown)

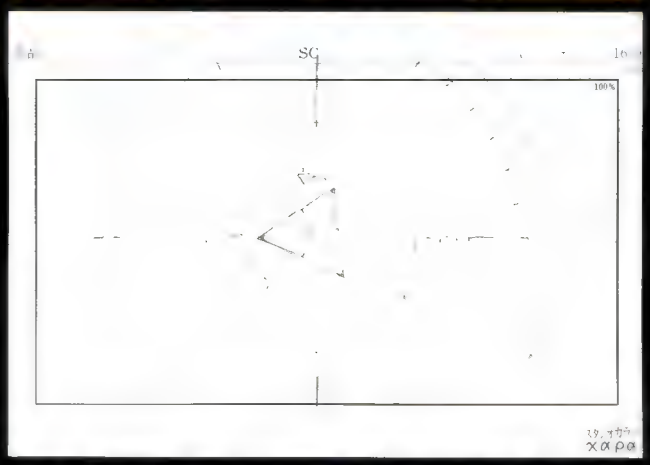


エヴァンゲリオン模擬戦闘訓練装置用ノンスケール仮想模型 第4使徒（内部構造不明）3DCGモデル

Simulation Display Screens



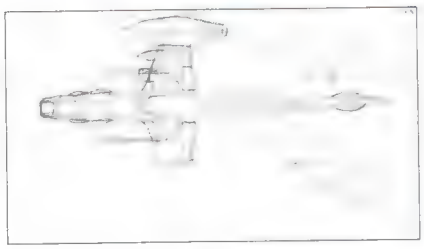
C-0602 操作用模擬エントリープラグ内モニター・エヴァンゲリオン模擬戦闘訓練装置用ノンスケール仮想模型 構造コア（想像図）レイアウト兼設定 / 庵野秀明（下）

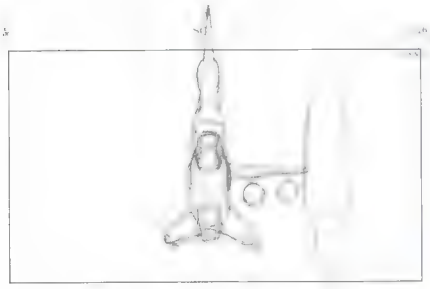


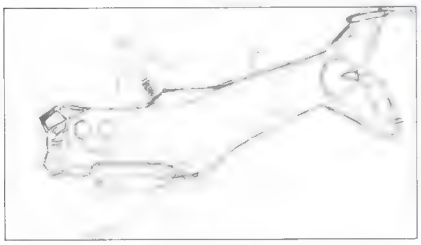
C-0605 操作用模擬エントリープラグ内モニター・レティクル レイアウト兼設定 / 庵野秀明（下）

Standard Ordnance Systems and Vehicles

UNAF Close Air Support VTOL Aircraft YAGR-3B

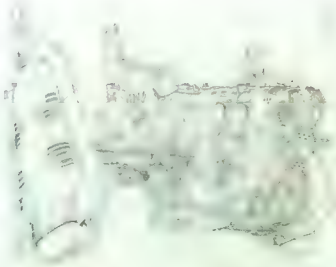






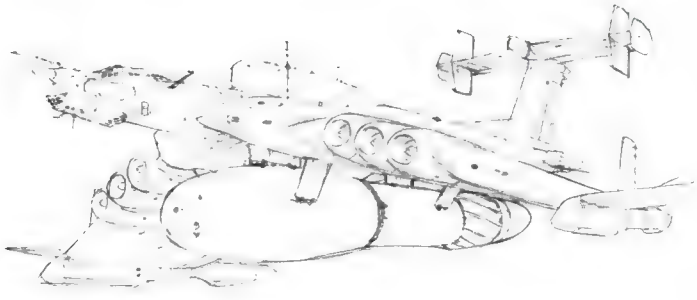
3DCG モデルのフォルム修正指示　庵野秀明

国際連合軍 近接航空支援用垂直離着陸対地攻撃機 YAGR-3B 3DCG モデル

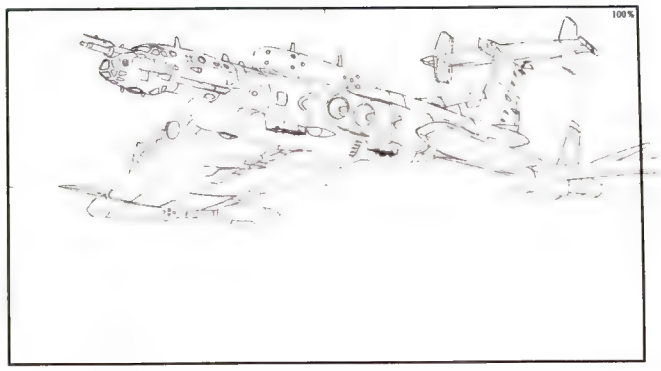


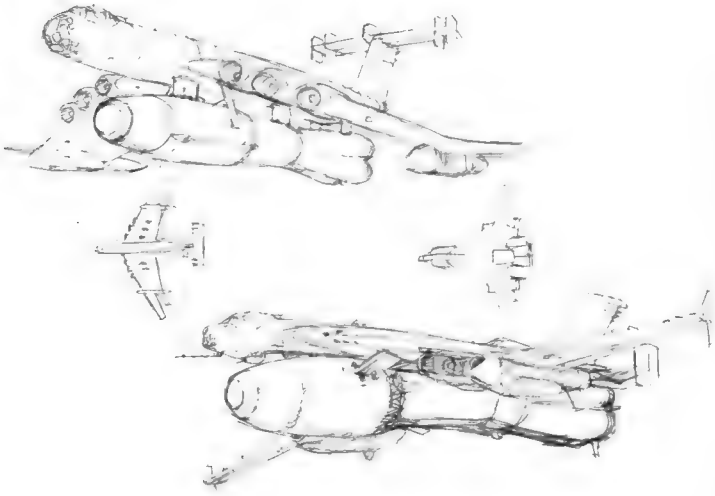
C-0044(左) C-0033(中・右) ディテール追加原画 / 庵野秀明

Strategic Super-heavy Bomber An-71MD

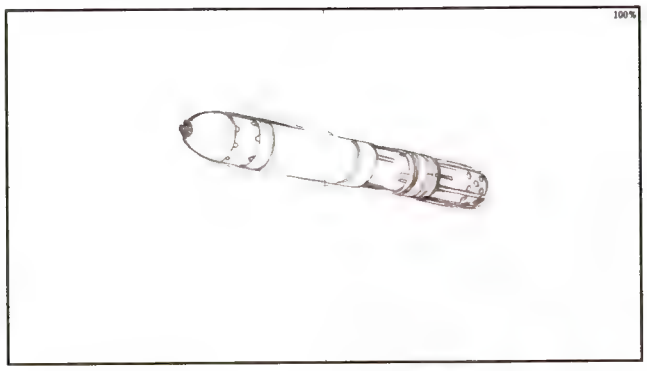


An-71MD 大型戦略重爆撃機 決定稿 / 佐藤道明

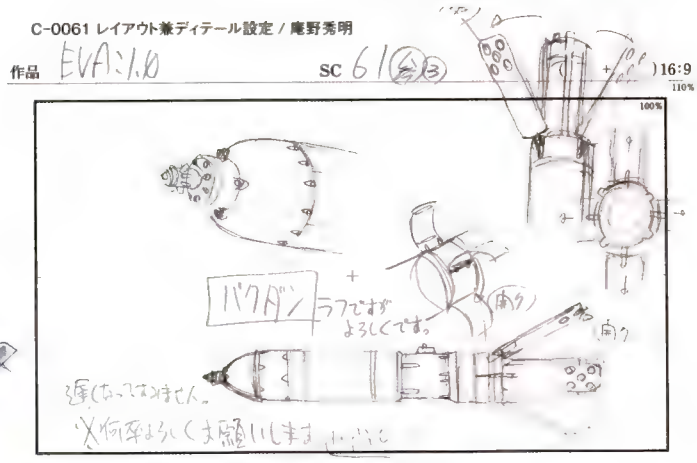




設定案 / 佐藤道明

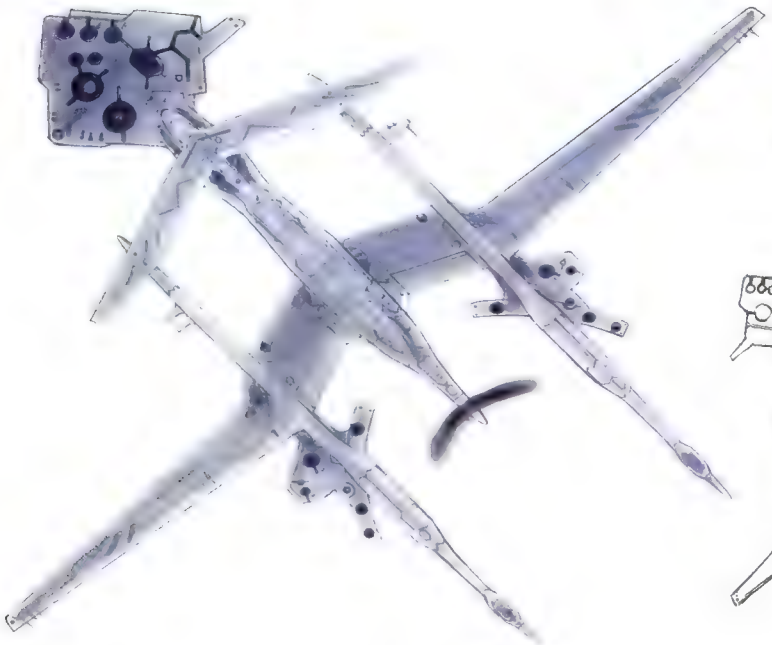


C-0061 レイアウト兼ディテール設定 / 庵野秀明

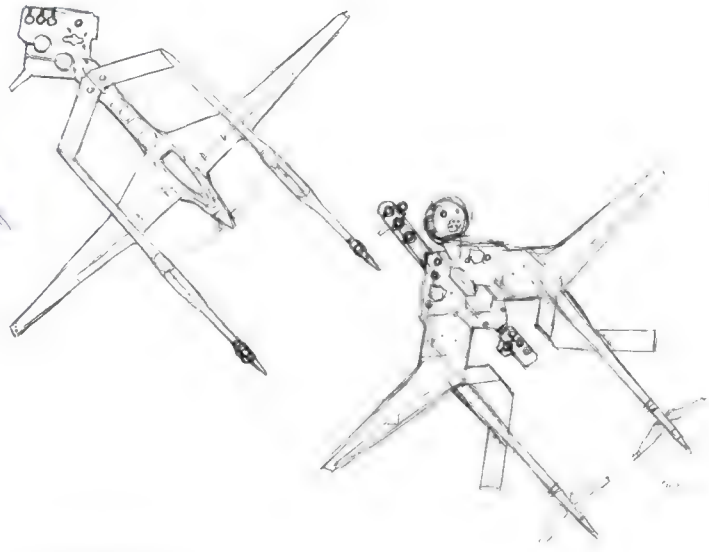


超大型殲滅爆弾 GBU-120/B 設定 / 庵野秀明

UAV P-0555 "Black Star" (Nerv Version)

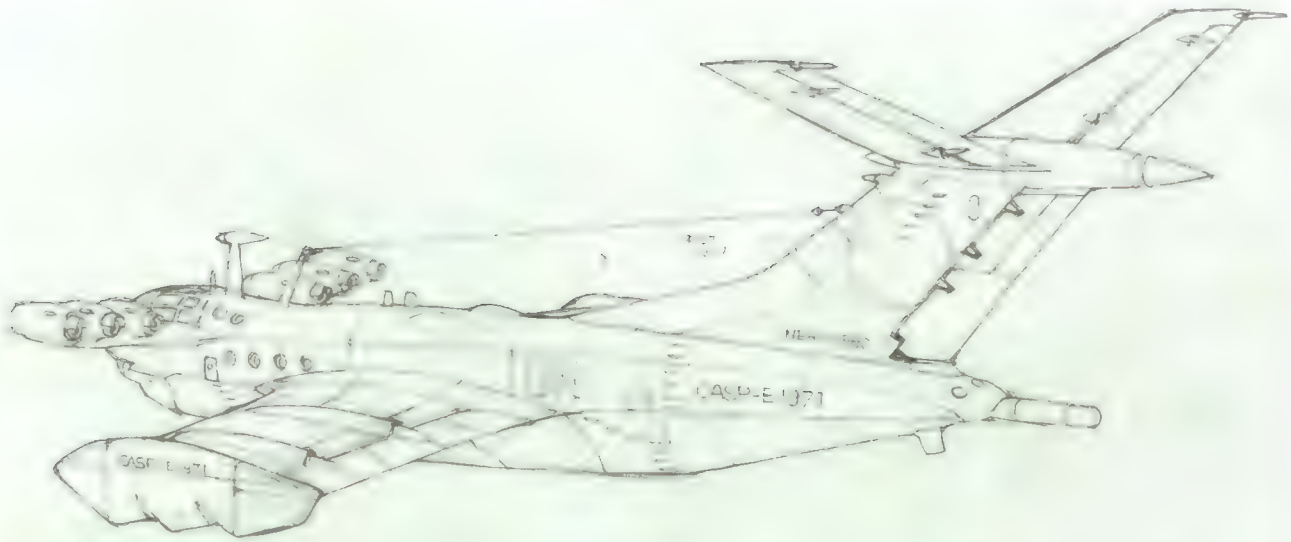


無人偵察機 UAV P-0555 ブラック・スター (NERV 仕様) 決定稿 / 佐藤道明

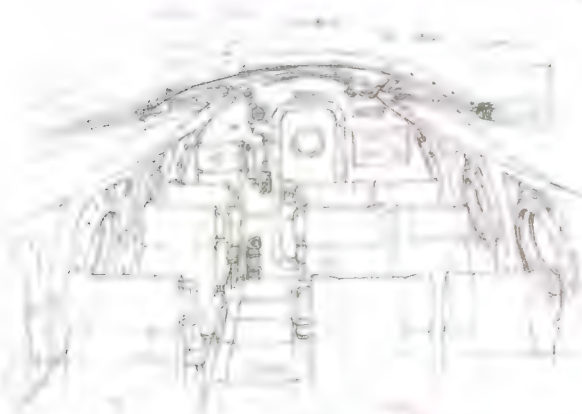


設定案 / 佐藤道明

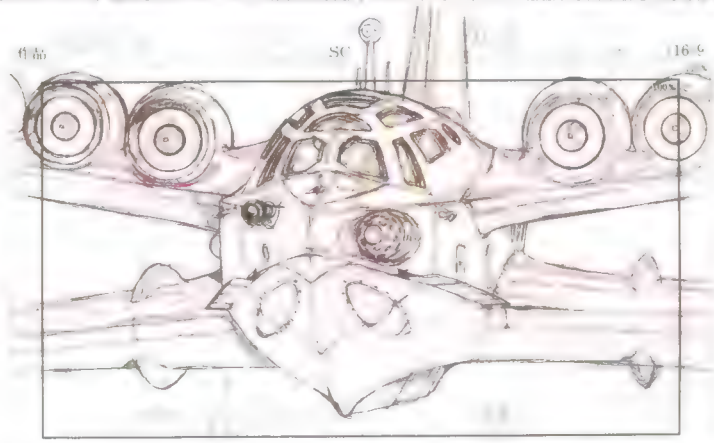
Ekranoplan Transport SKM-28 - CASP-E1971 (Nerv Version)



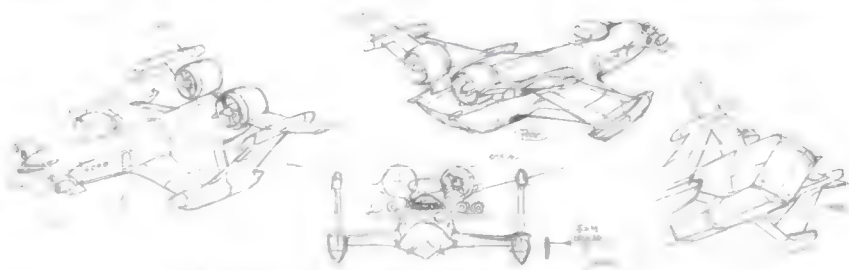
C-0439 SKM-28 輸送型エクラノプラン 表面汚染解析 CASP-E1971(NERV 仕様) 原画兼設定 庵野秀明



C-0445 船内 背景原図 高倉武史



C-0438 原画兼設定 庵野秀明



設定案 鶴巻和哉(左) 高倉武史(右)

UNAF Multipurpose Aircraft EP-3D

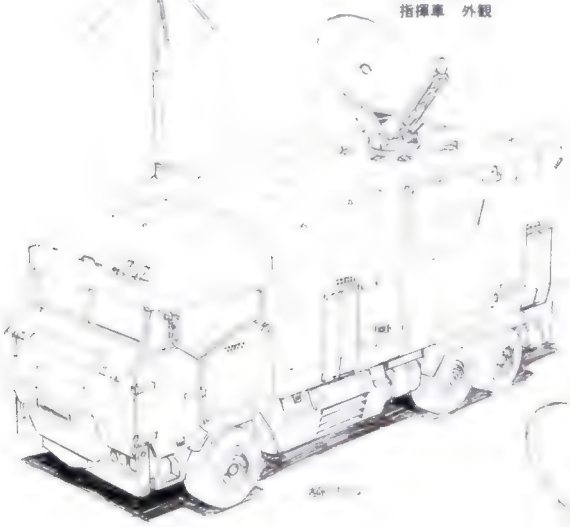
国際連合軍 多用機 EP-3D 3DCG モデル

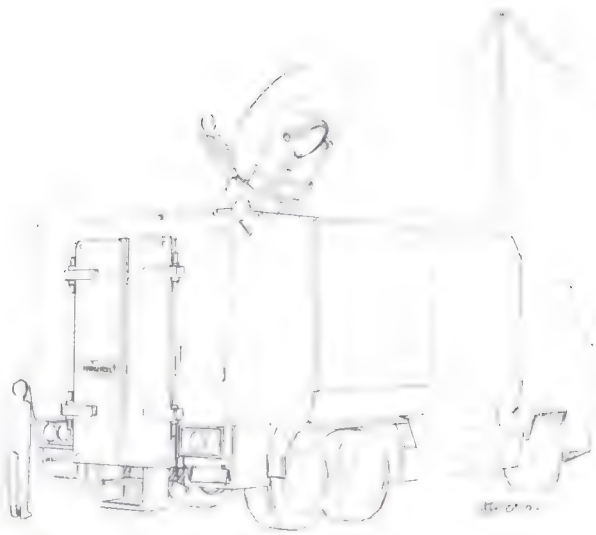
V-22 Osprey Tiltrotor Aircraft

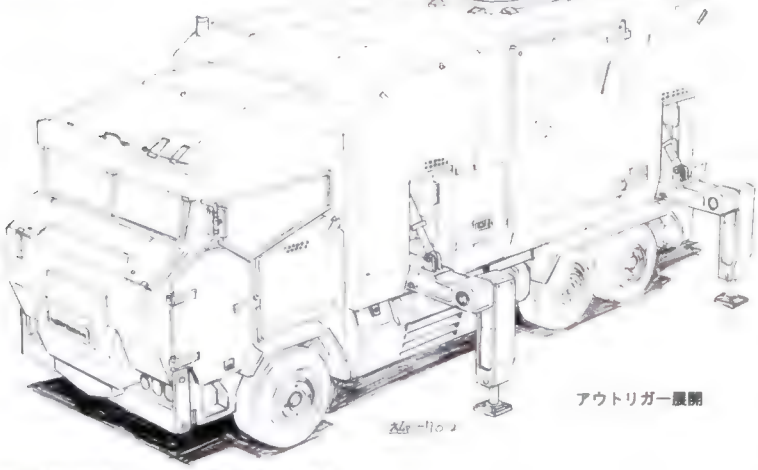
V-22 Osprey 3DCG モデル

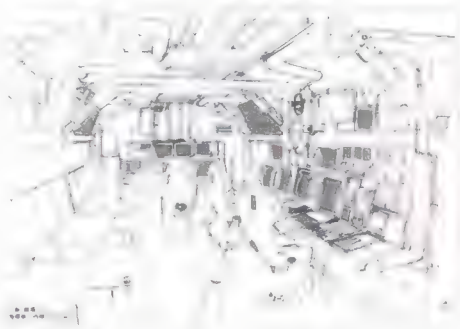
Type 14 Mobile Command Post (Eva Command Cars)

□新・劇場エヴァ　1
指揮車　外観

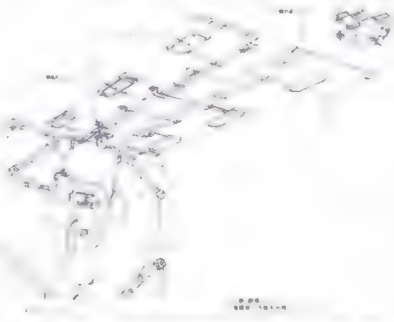








14 式移動現場指揮通信車（EVA 直轄部隊配備車）設定　堀善敬之



車内 設定　堀善敬之

All-Protected Carrier Vehicle APCV-A2 (Improved)

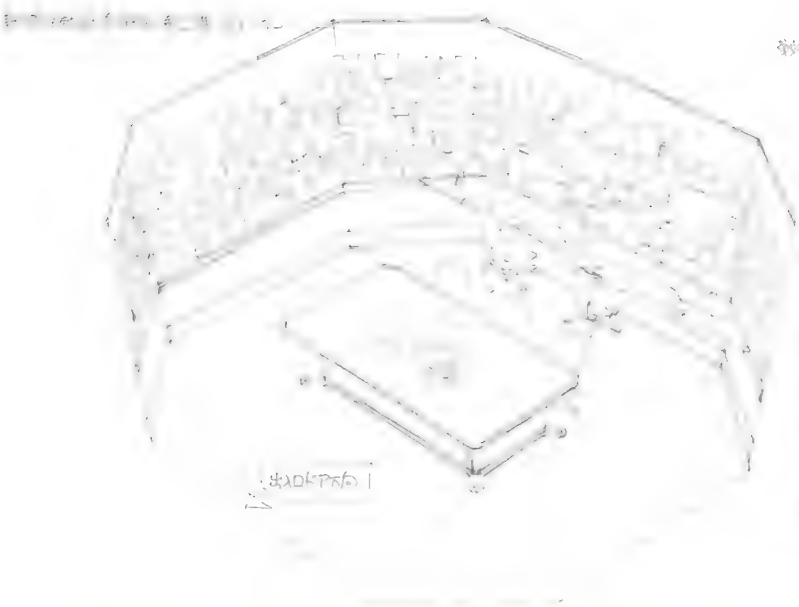
APCV-A2 全面防御輸送車（改）3DCG モデル

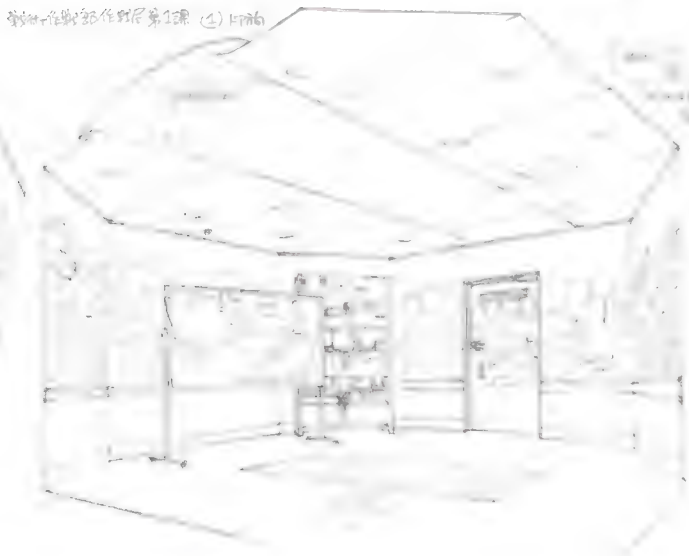
Light Armored Mobile Vehicle (UN Variant)

軽装甲機動車（UN 仕様）3DCG モデル

Operation Yashima

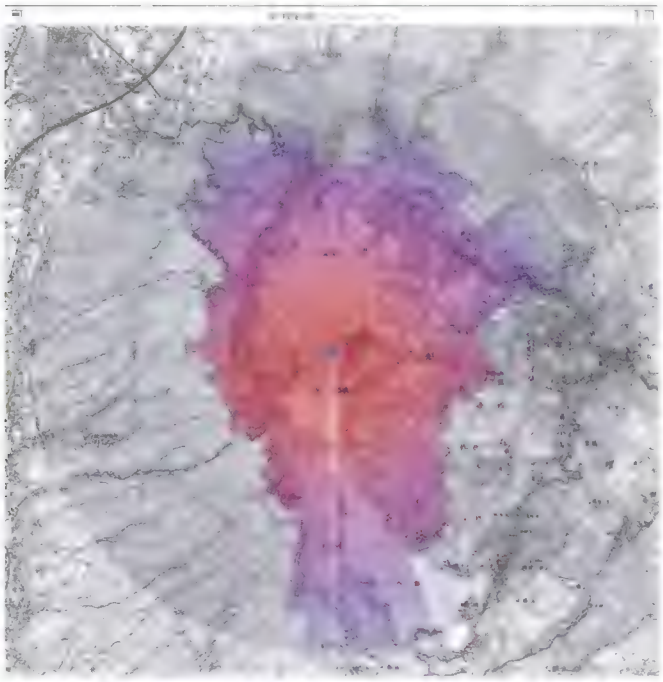
Strategic Planning Room





NERV 本部内 戦術作戦部作戦局第一課 第 2 会議室 美術設定 / 加藤浩

C-1269 第 1 回 第 6 使徒侵攻対策作戦会議中の面々 修正原画 [illegible]



射程範囲シミュレーション図　ライトテーブル上のフィルム状モニターに映っている

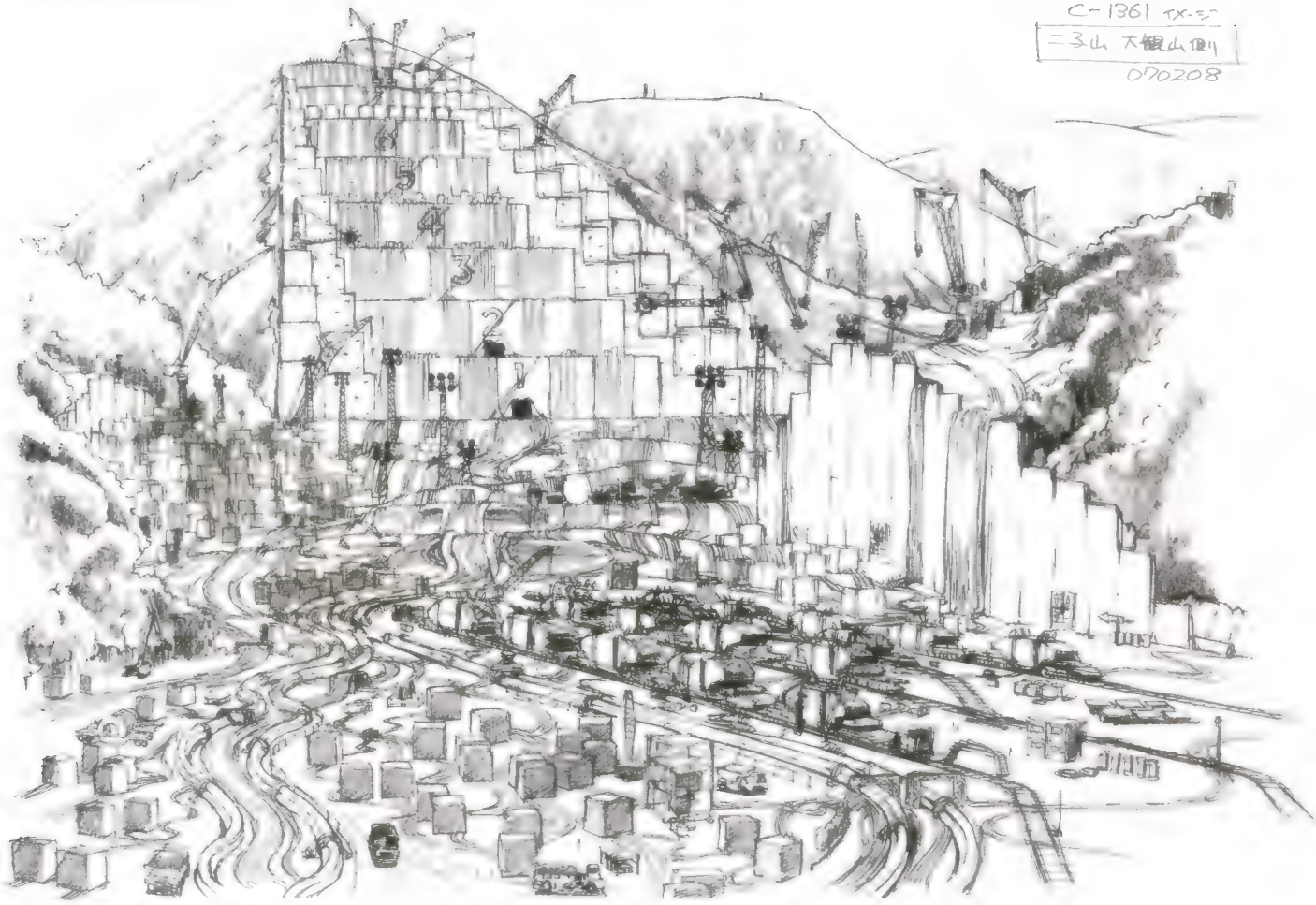
Earthworks Crawler Crane (CT10000 Nerv Version)

築城用クローラークレーン (CT10000 NERV 仕様) 3DCG モデル

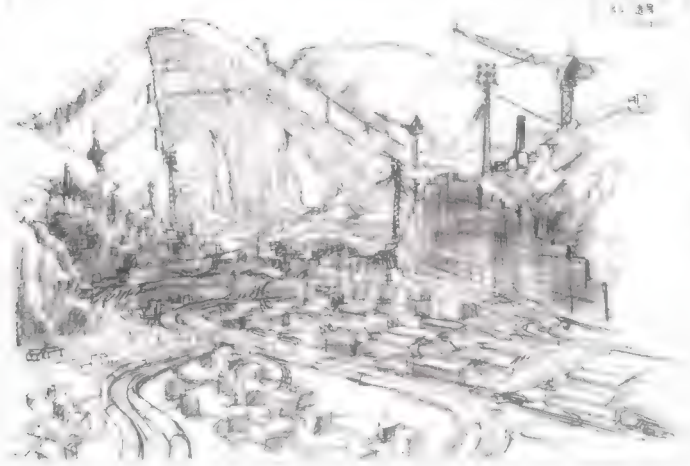
Hydraulic Earthmover (EX5550 Nerv Version)

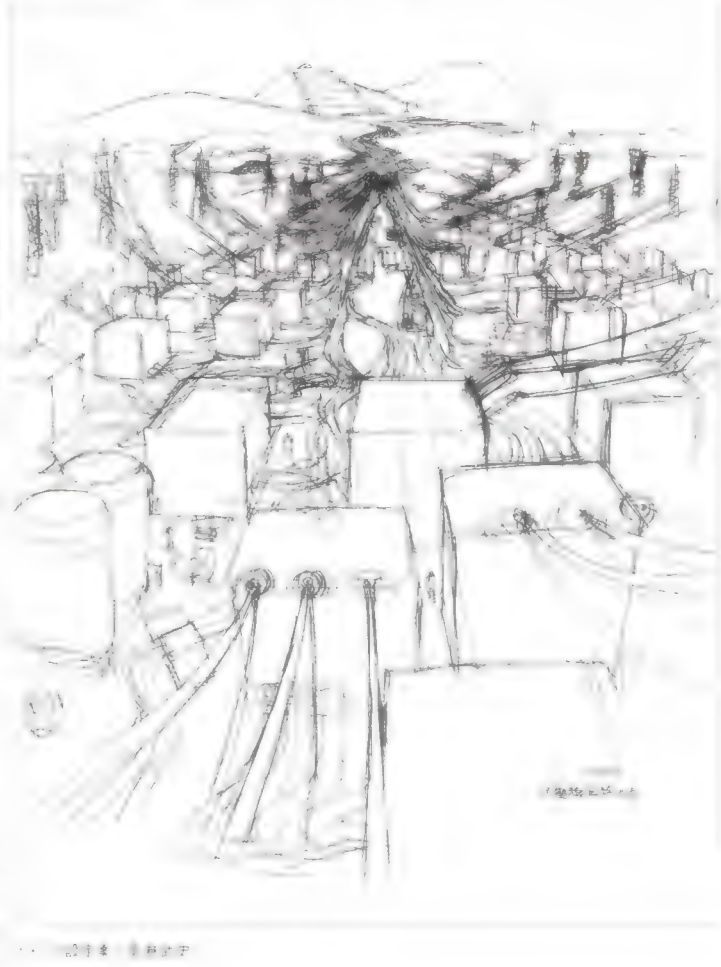
築城用大型油圧ショベル (EX5550 NERV 仕様) 3DCG モデル

Futagoyama Fortress No.2

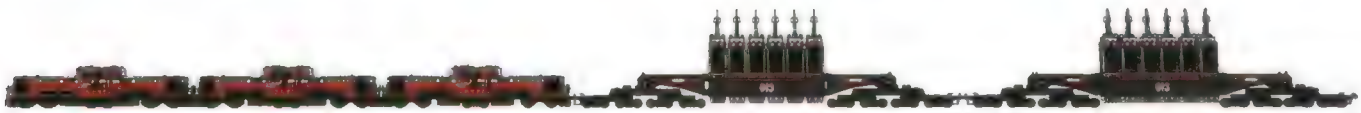


二子山第２要塞全景 イメージ設定　高倉武史

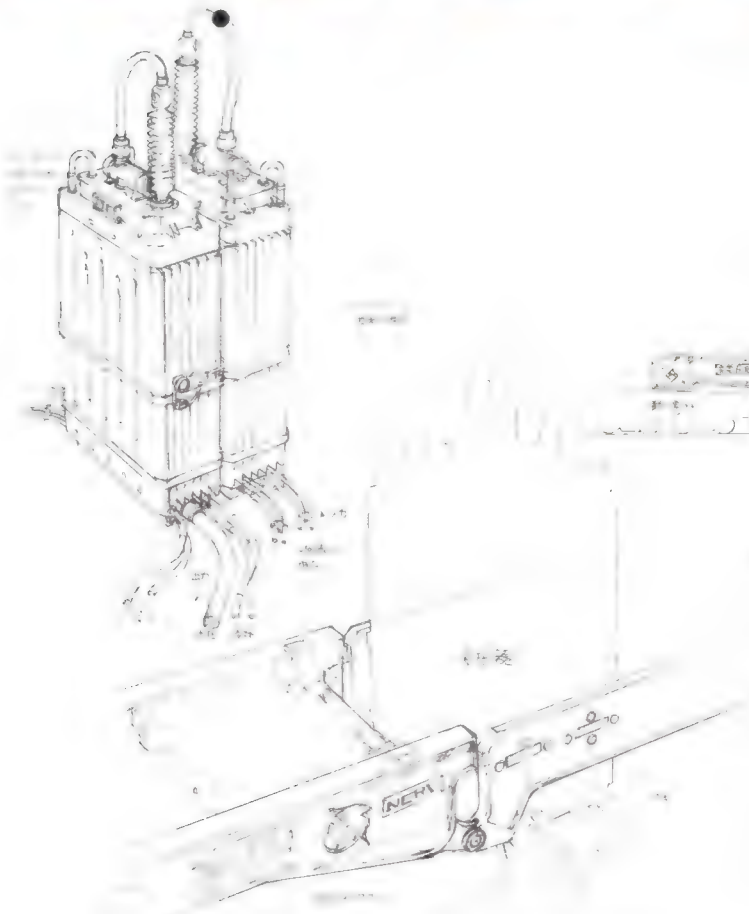


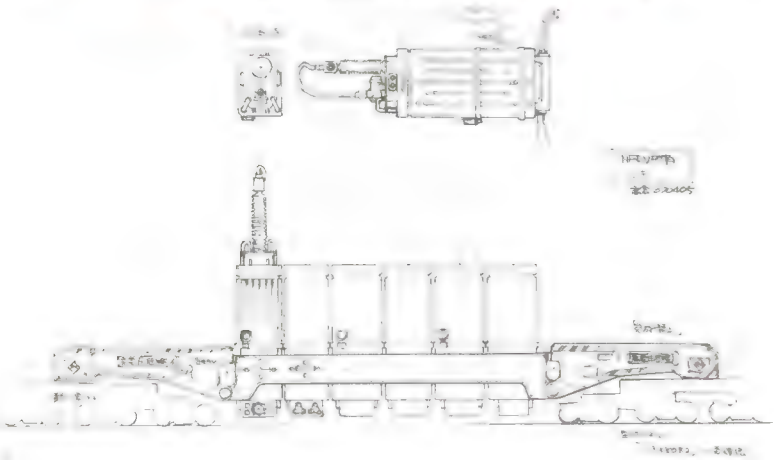


Diesel Locomotive DD51 (DMU Type) / Shiki 880 (B2 Beam Equipped) Schnabel Car

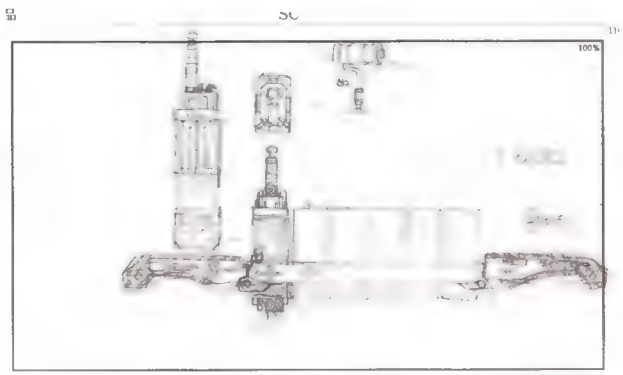


DD51 形ディーゼル機関車（全車連形）・シキ 880（B2 梁）形大物車 3DCG モデル





三面図 / 高倉武史

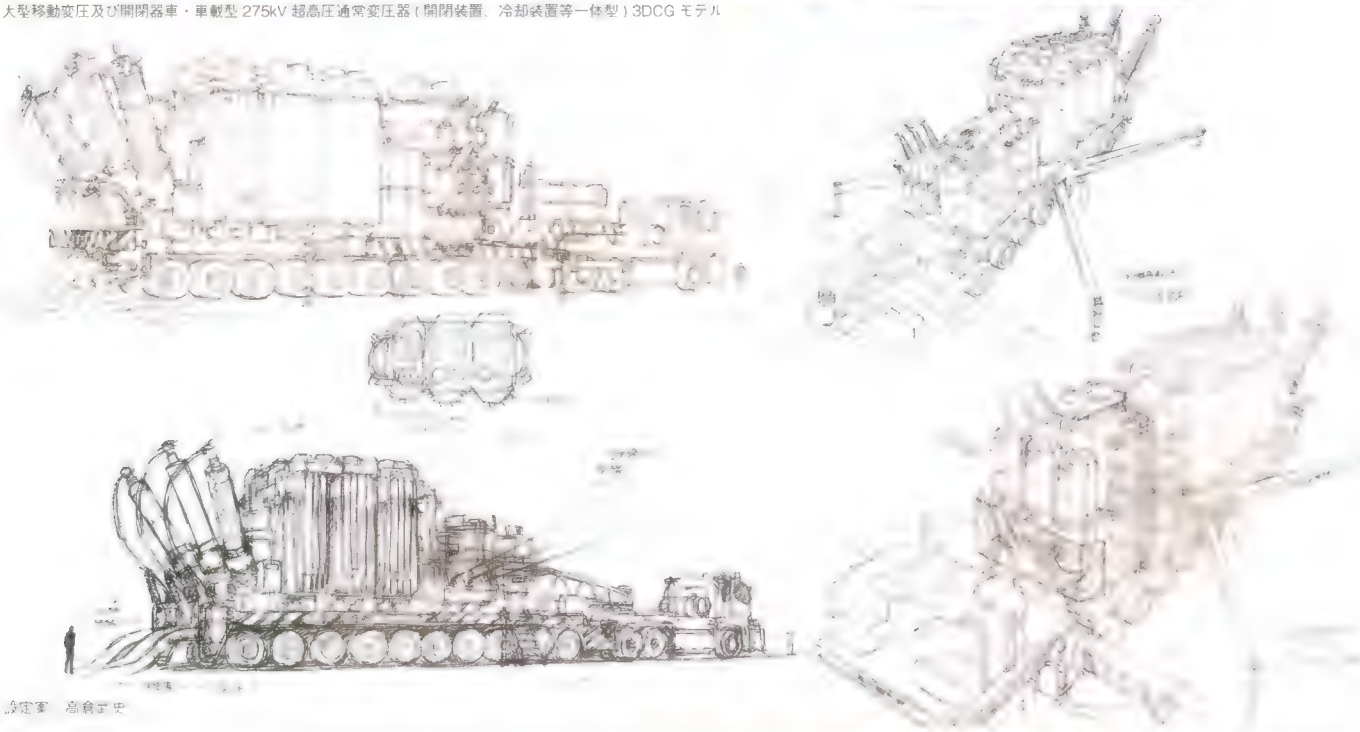


[illegible] / 高倉武史

[illegible] / 修正指示 / 亀野秀明

Large Mobile Transformer / Switchgear Cars

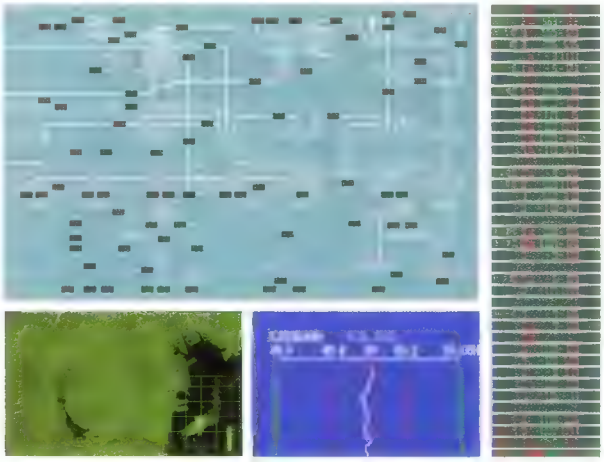
大型移動変圧及び開閉器車・車載型 275kV 超高圧通常変圧器（開閉装置、冷却装置等一体型）3DCG モデル



設定案　倉橋武史

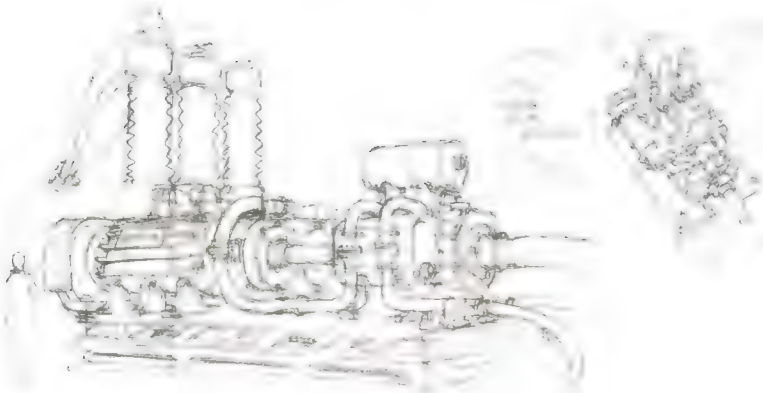
Electrical Power Control Center

C-1473 新御殿場 臨時給電指令所 原画　竹内志保



C-1473 コントロールパネル貼り込み素材

275kV Superconductor Switchgear

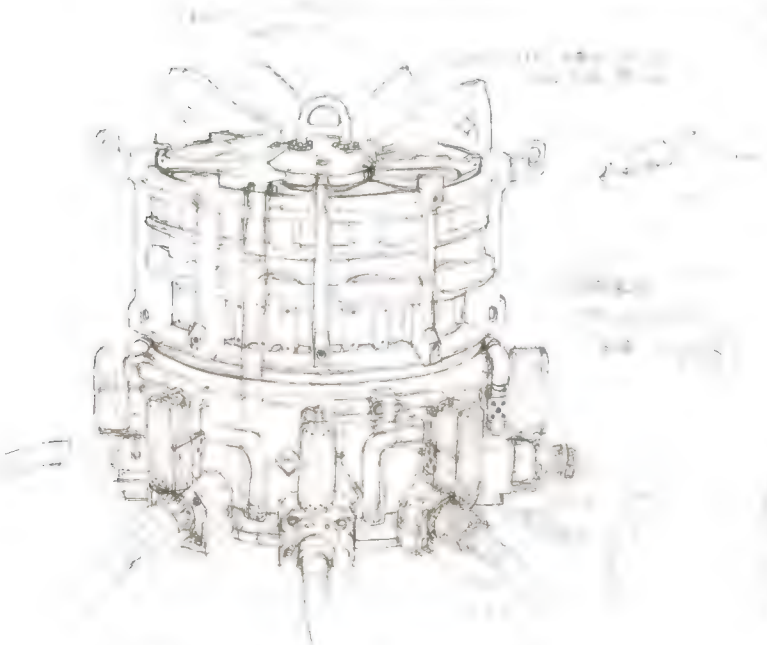


二子山第 2 要塞増設地上変電設備・第 1 段設備 超伝導 275kV 開閉装置 設定　高倉武史

275kV Rated Three-in-One Superconducting Cable Laying Vehicle

C-1303 三心一括型超伝導 275kV 送電ケーブル敷設専用車 レイアウト / 竹内志保

Large Superconductor Coolant System

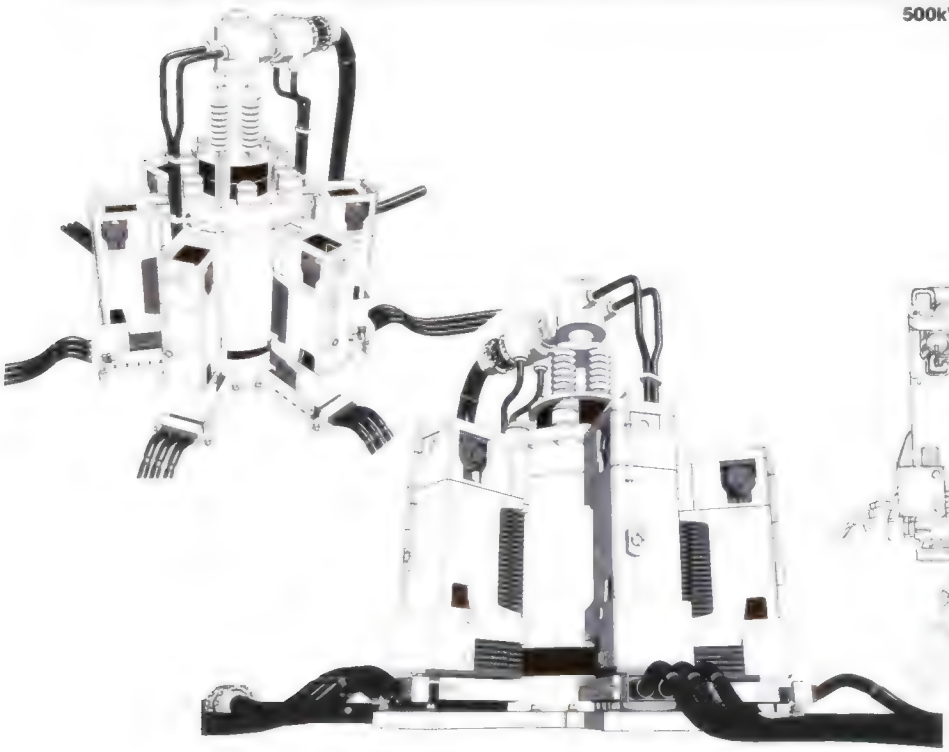


同・第 4 段設備 超伝導用大型冷却システム 設定　高倉武史

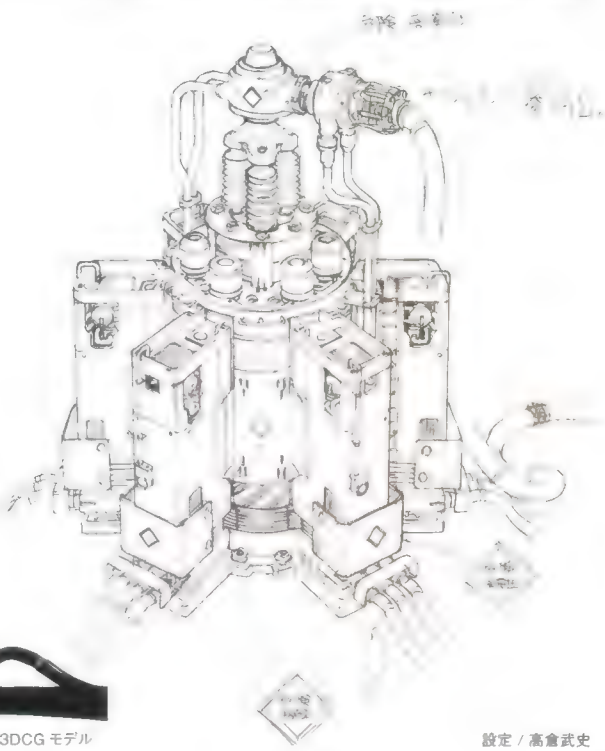
500kV Rated Extreme High Voltage Superconducting Primary Transformer

同・第 2 及び 3 段設備 超伝導 500kV 超高圧主要変圧器 設定、設定案 (右上) / 高倉武史

500kV Superconducting Magnetic Energy Storage (SMES)

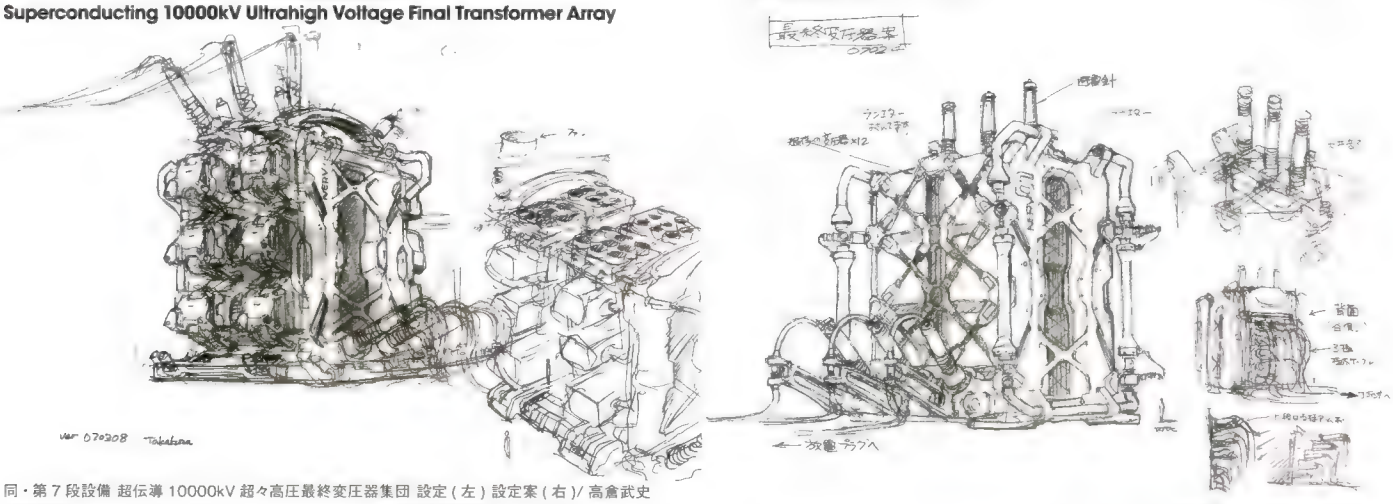


同・第 5 及び 6 段設備 超伝導 500kV 大容量電力貯蔵装置 (SMES) 3DCG モデル



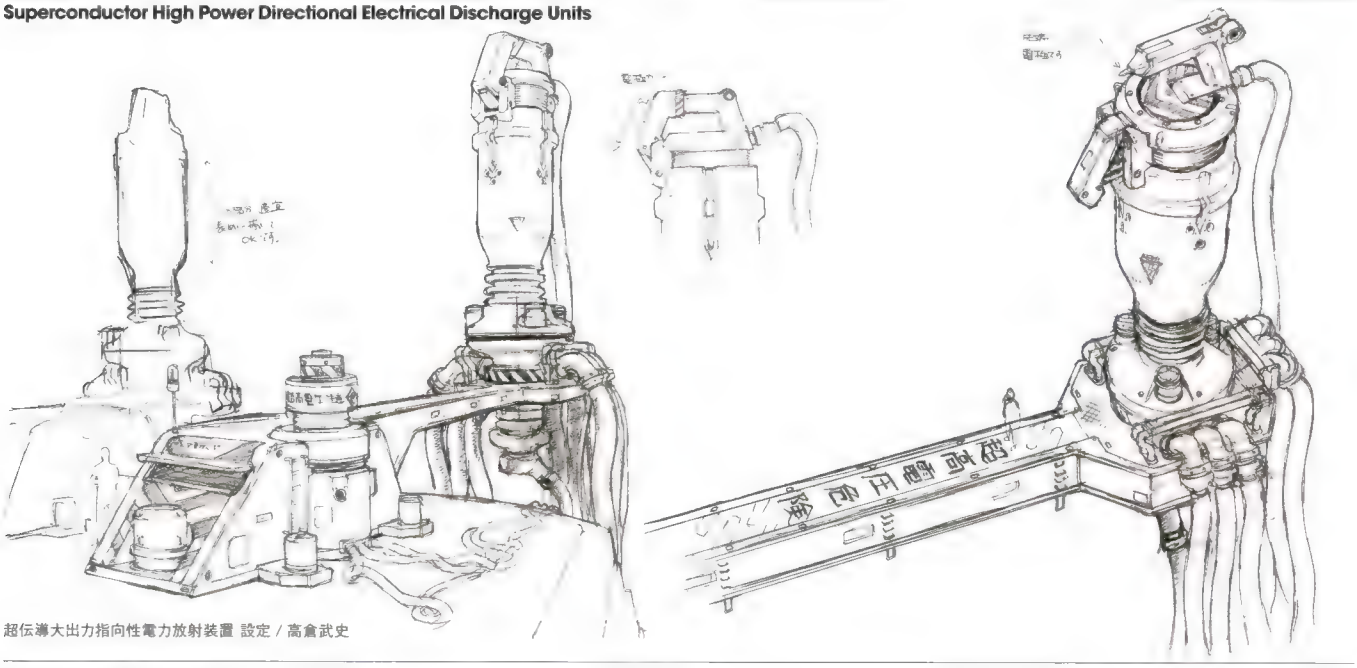
設定 / 高倉武史

Superconducting 10000kV Ultrahigh Voltage Final Transformer Array



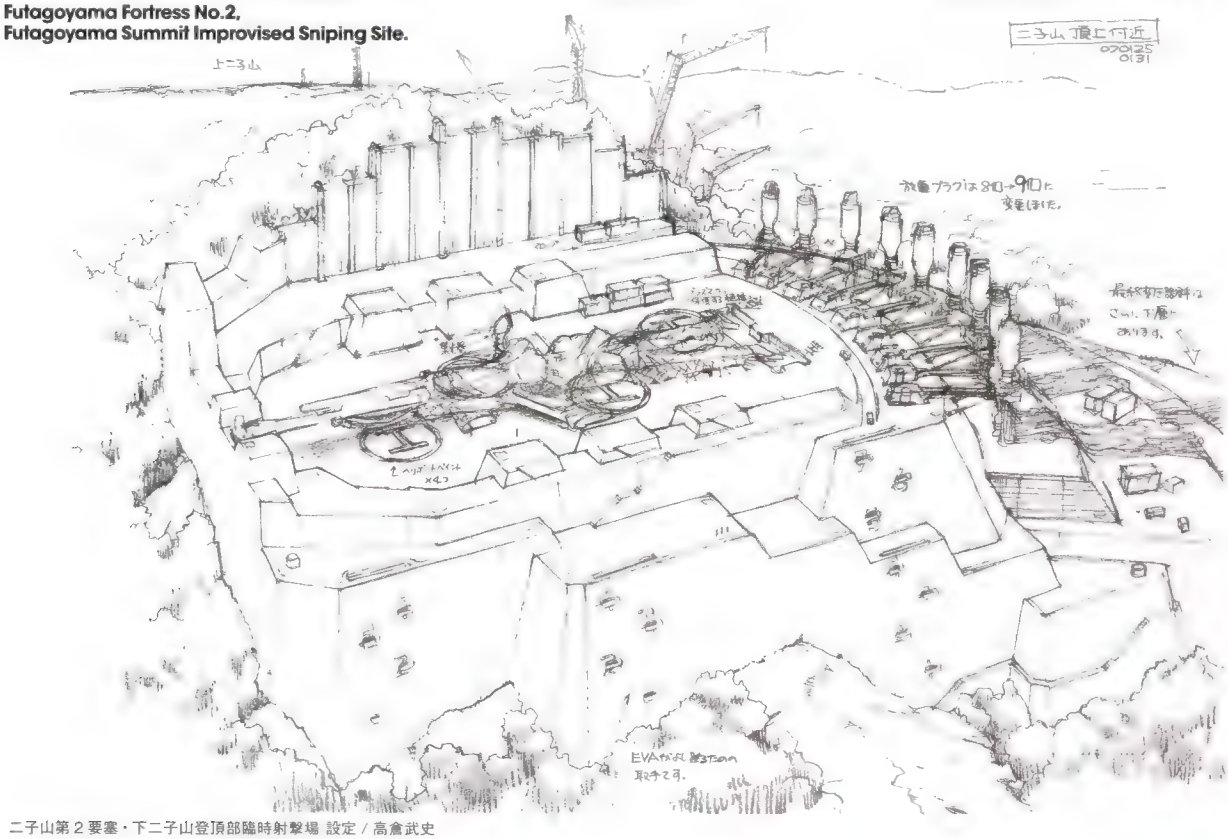
同・第７段設備 超伝導 10000kV 超々高圧最終変圧器集団 設定（左）設定案（右）/ 高倉武史

Superconductor High Power Directional Electrical Discharge Units



超伝導大出力指向性電力放射装置 設定 / 高倉武史

Futagoyama Fortress No.2, Futagoyama Summit Improvised Sniping Site.



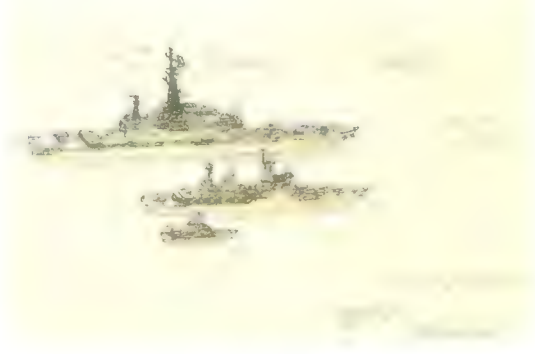
二子山第２要塞・下二子山登頂部臨時射撃場 設定 / 高倉武史

Tokyo-III

C-0486 Vertical Optical Duct Relay System Structures 周辺
レイアウト兼設定　庵野秀明

第 3 新東京市シンボルマーク

C-0488 レイアウト兼 3DCG 指示　庵野秀明

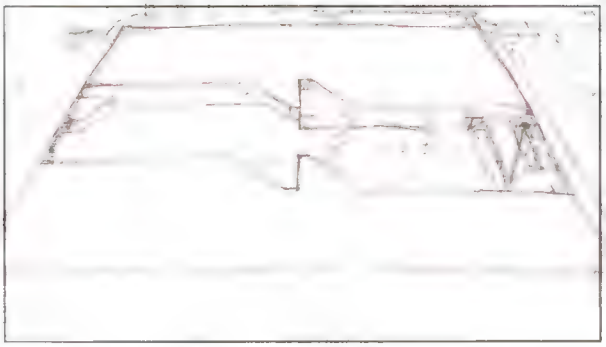


C-0486 軍用艦船 原画 / 増尾昭一

Construction Site Cranes

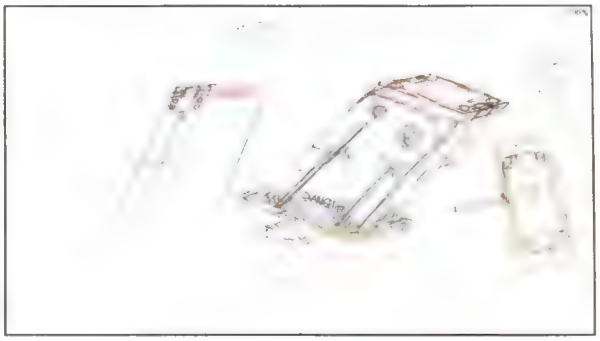
JCC1500H 3DCG

JCC400H 3DCG



0483 懸垂式高層建築物移動用立坑 レイアウト兼設定 / 庵野秀明

スタジオカラー
xapa

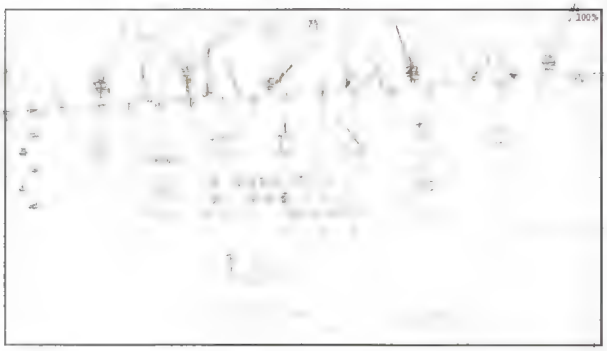


門式施錠型第 2 安全装置 ディテール設定 / 庵野秀明

049 多層式装甲 [illegible] 貼り込み素材

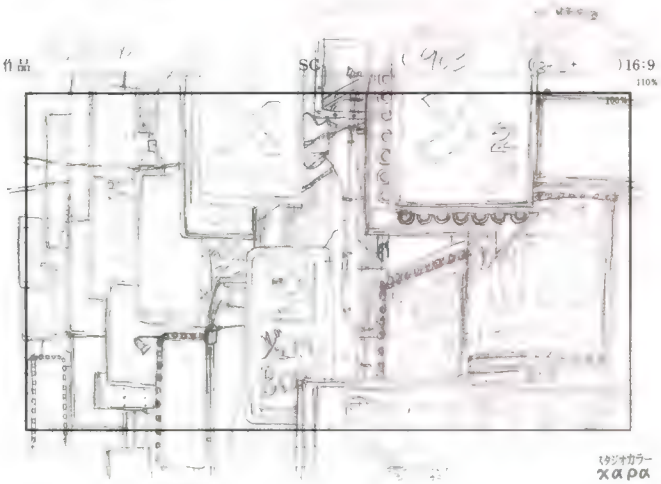
C-0490A ストックチェー 基礎梁固定用熱間圧延異形棒鋼式大型ロックボルト
レイアウト兼設定 庵野秀明

スタジオカラー
xapa



0865B レイアウト / 庵野秀明

スタジオカラー
xapa



C-0903 レイアウト / 庵野秀明

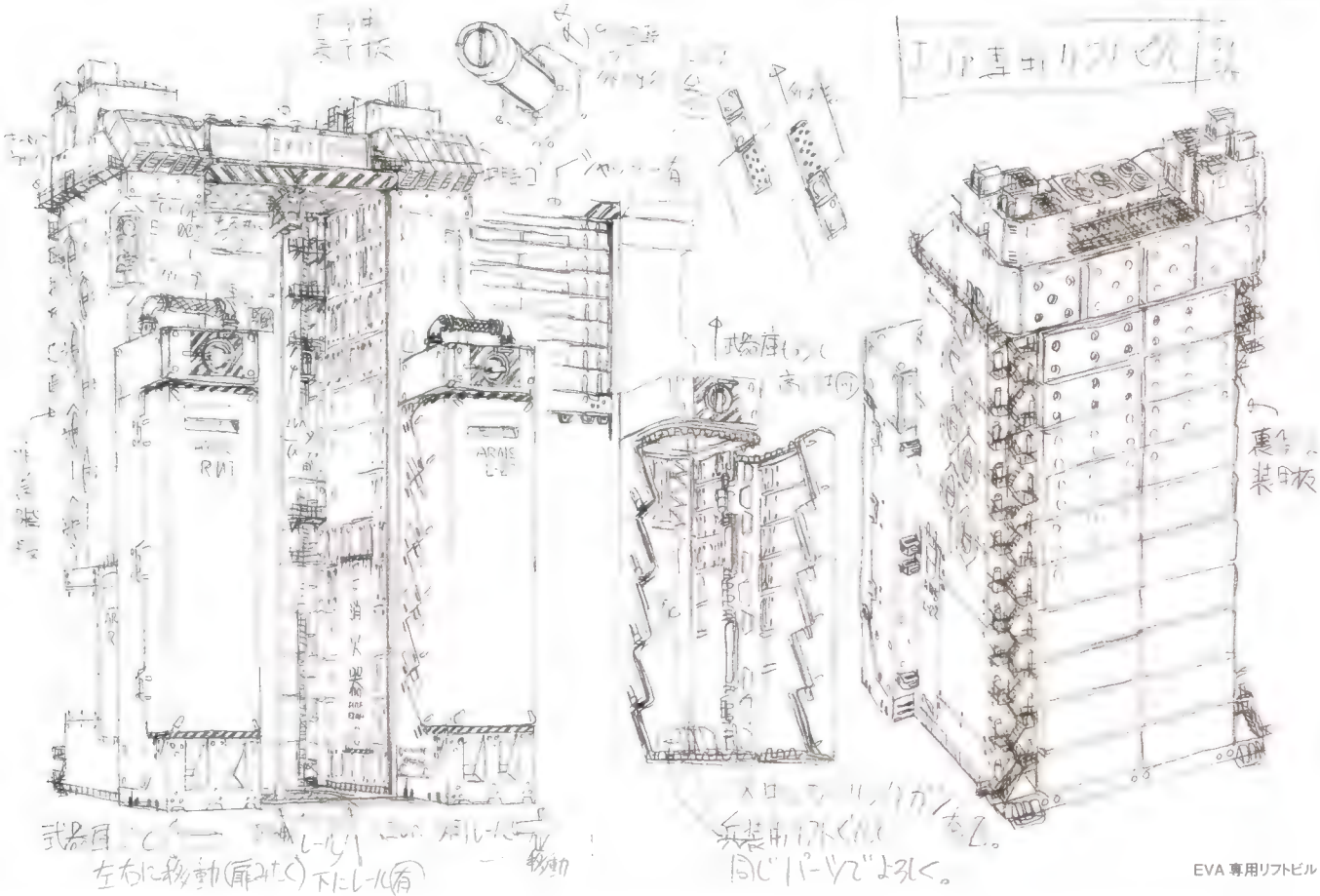
スタジオカラー
xapa

Tokyo III New Tokyo City Rapid Transit 2nd Loop Line Hakone Monorail (Straddle-beam Type)

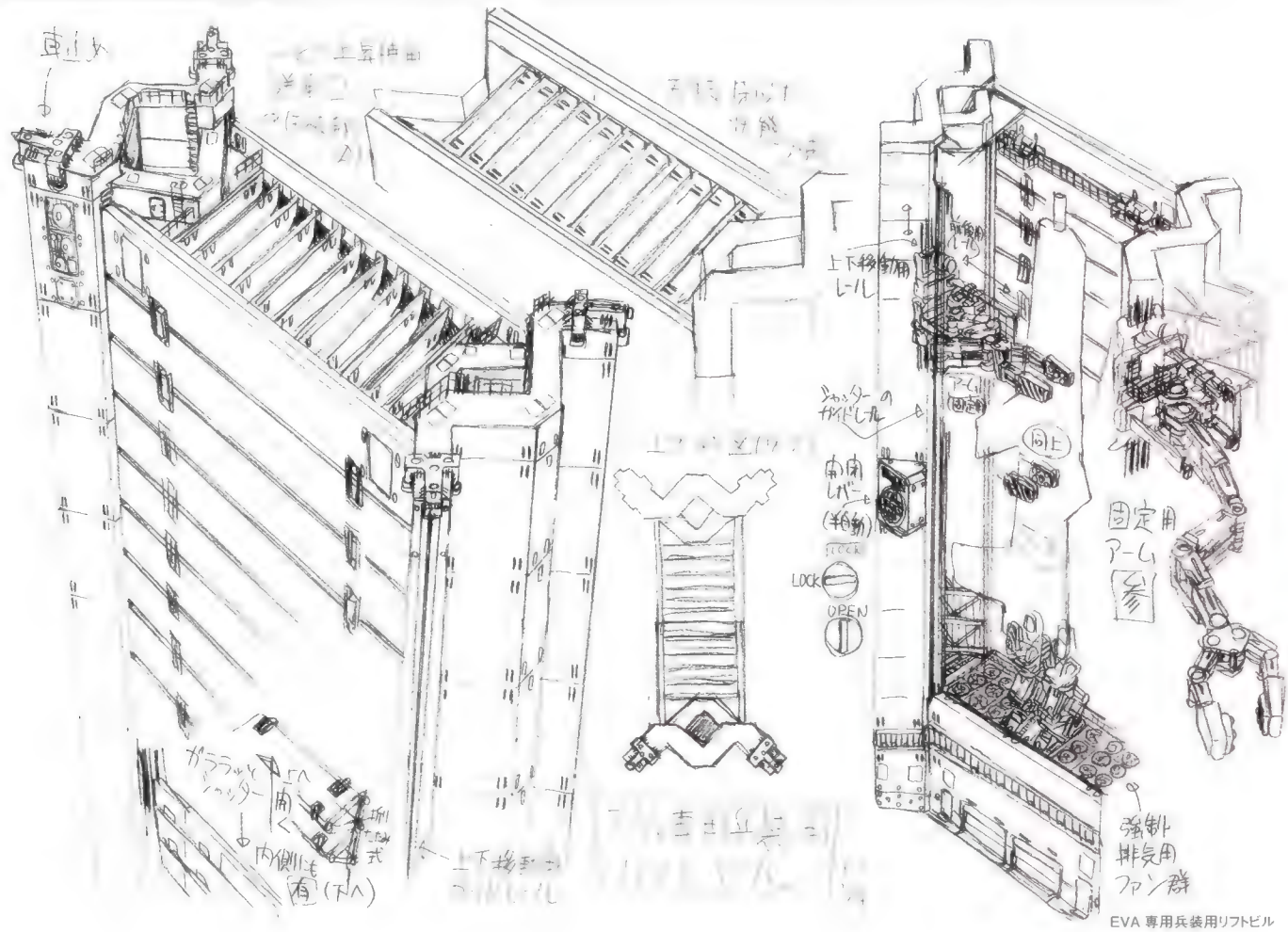
第 3 新東京市高速鉄道第 2 環状線 箱根モノレール 跨座式 / 3DCG モデル

Elevated Structures

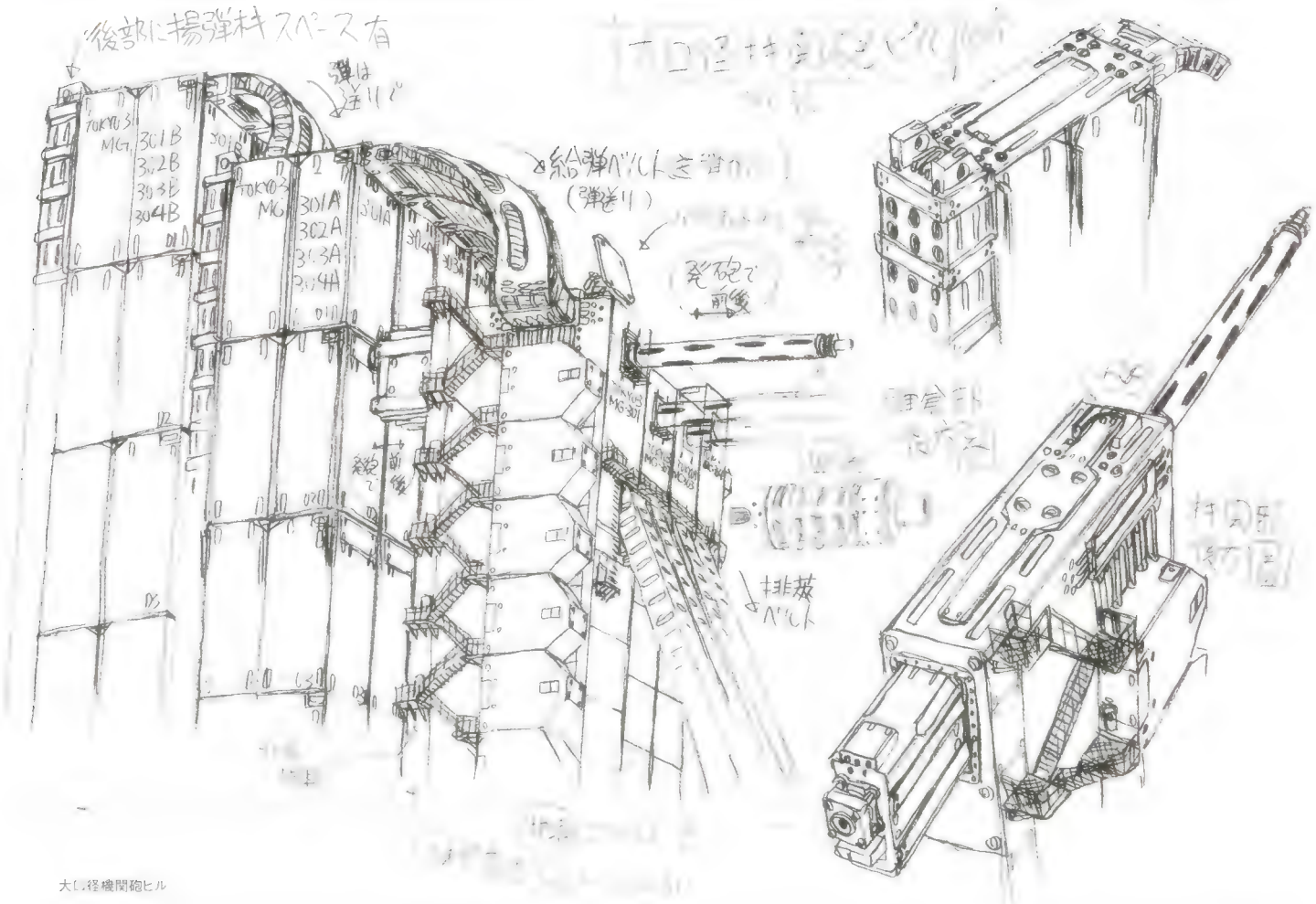
設定 / 庵野秀明 (P284 ～ P290)



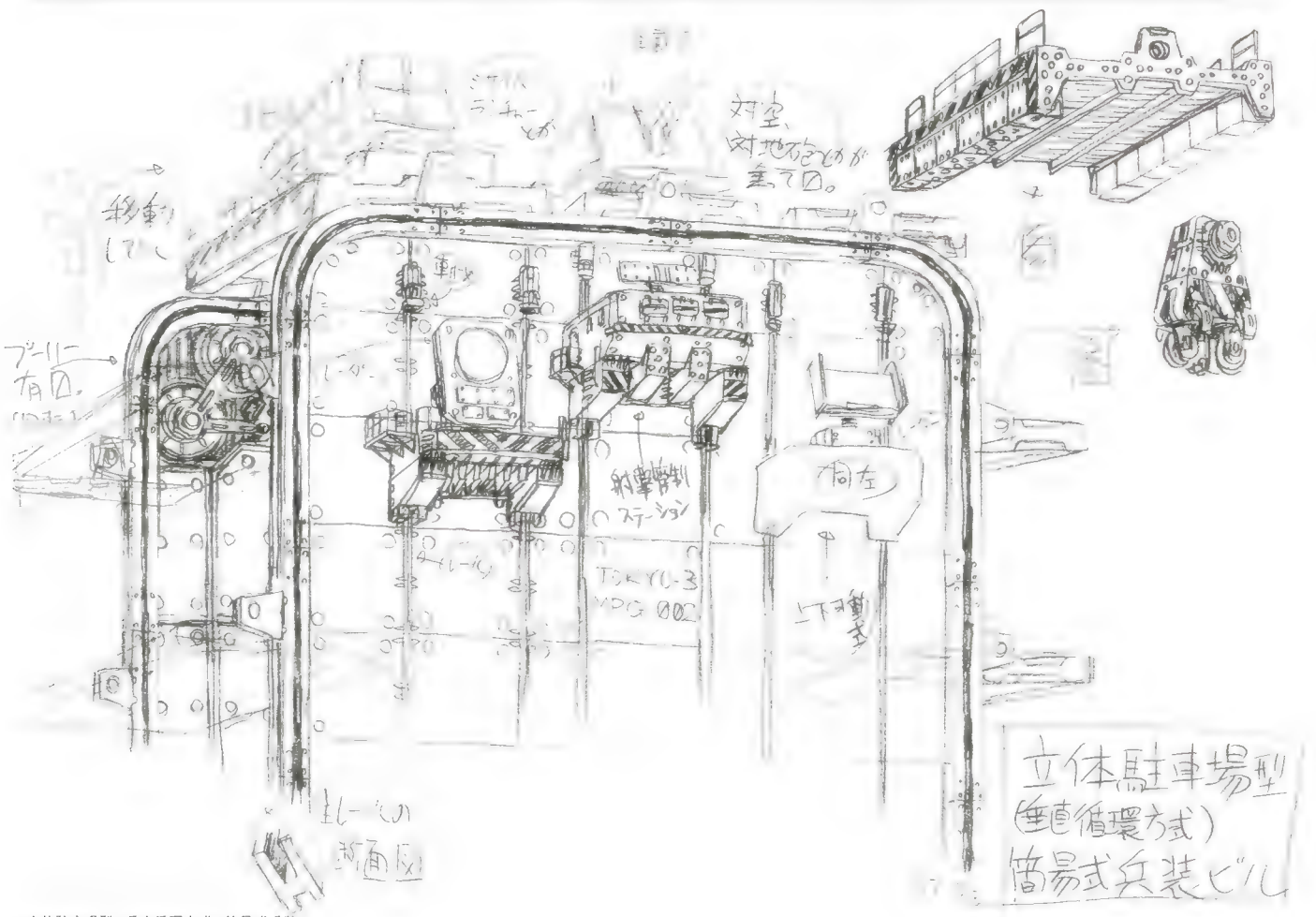
EVA 専用リフトビル



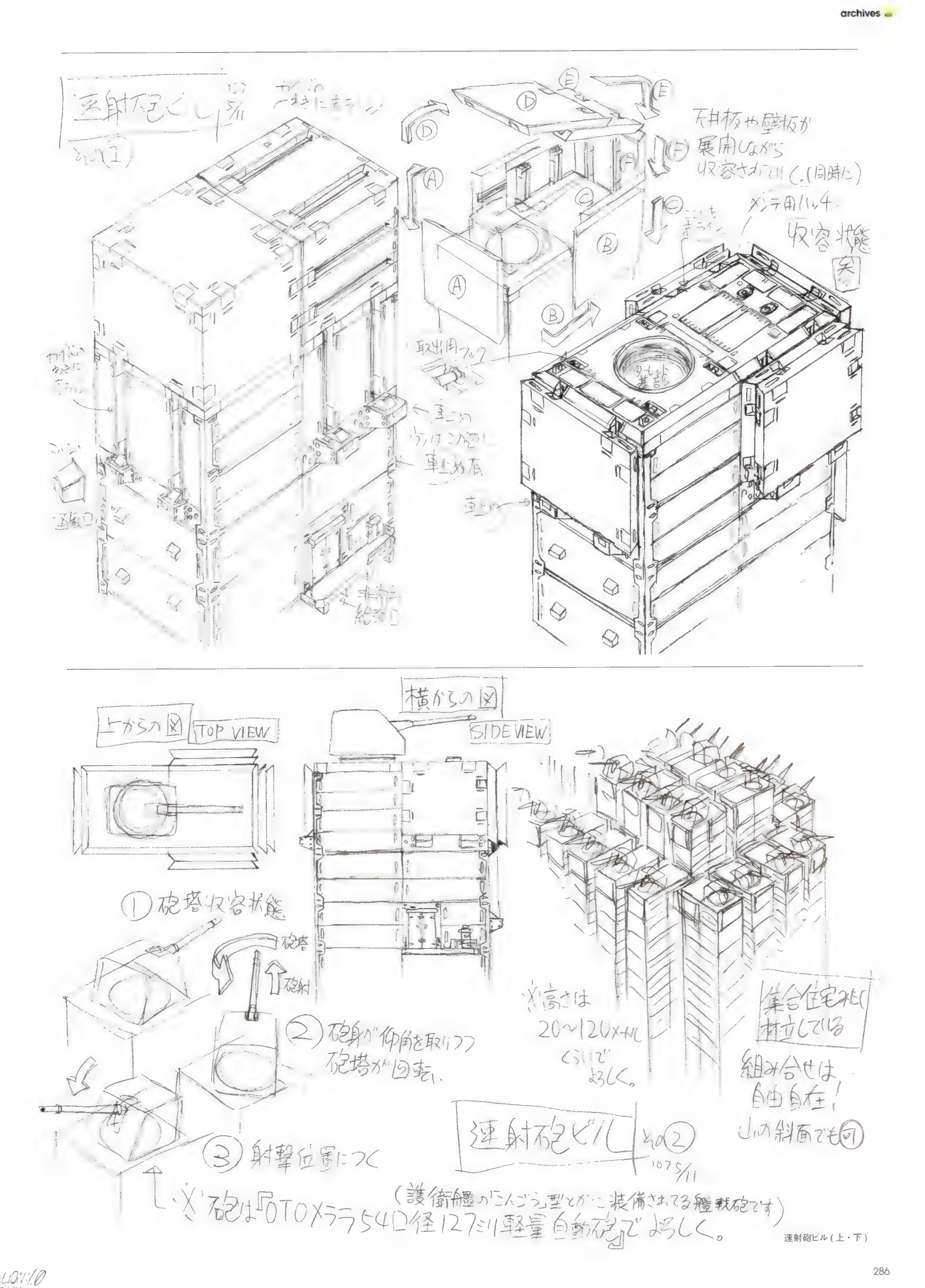
EVA 専用兵装用リフトビル



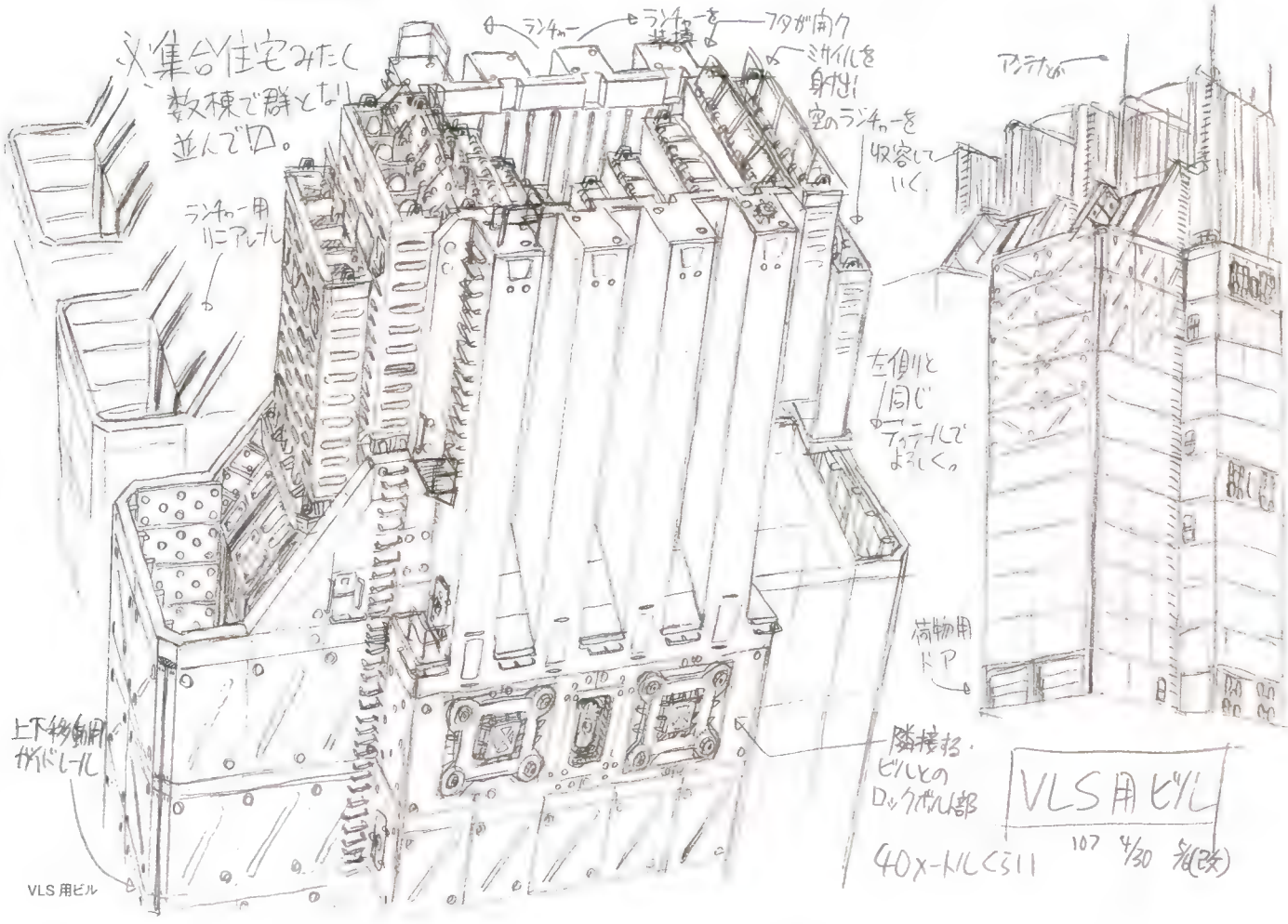
大口径機関砲ビル



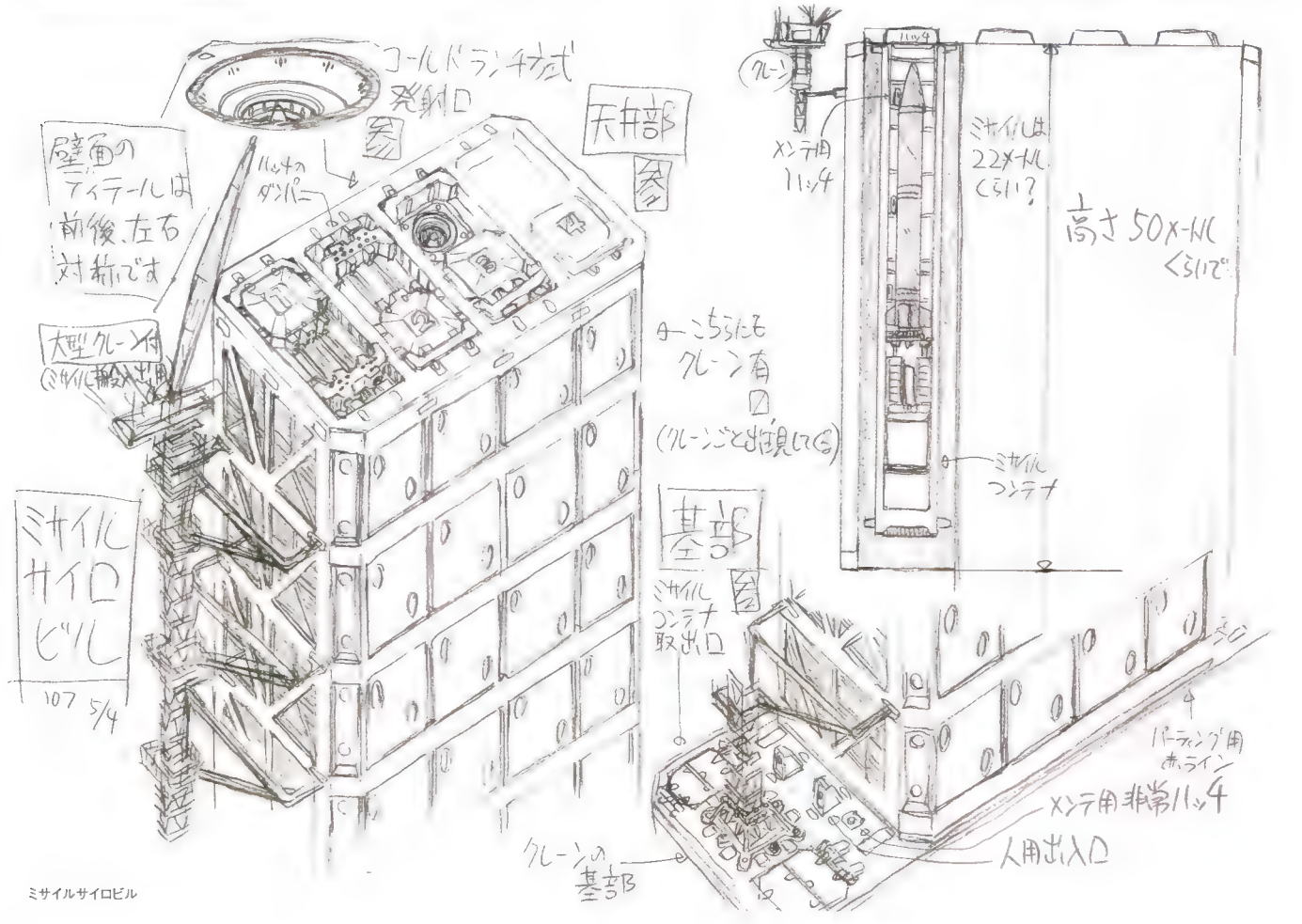
立体駐車場型(垂直循環方式)簡易式兵装ビル


速射砲ビル
その1
1075/11
天井板や壁板が
展開しながら
収容されて!!(同時に)
メンテ用ハッチ
収容状態
取出用フック
車止め板
通路口
上からの図
TOP VIEW
横からの図
SIDE VIEW
①砲塔収容状態
砲塔
砲射
②砲身が仰角を取りつつ
砲塔が回転。
③射撃位置につく
※高さは
20~120メートル
くらいで
よろしく。
集合住宅みたい
林立してる
組み合せは
自由自在!
山の斜面でも可
速射砲ビル
その2
1075/11
(護衛艦の「こんごう」型とかに装備されてる艦載砲です)
※砲は『OTOメララ54口径127ミリ軽量自動砲』でよろしく。

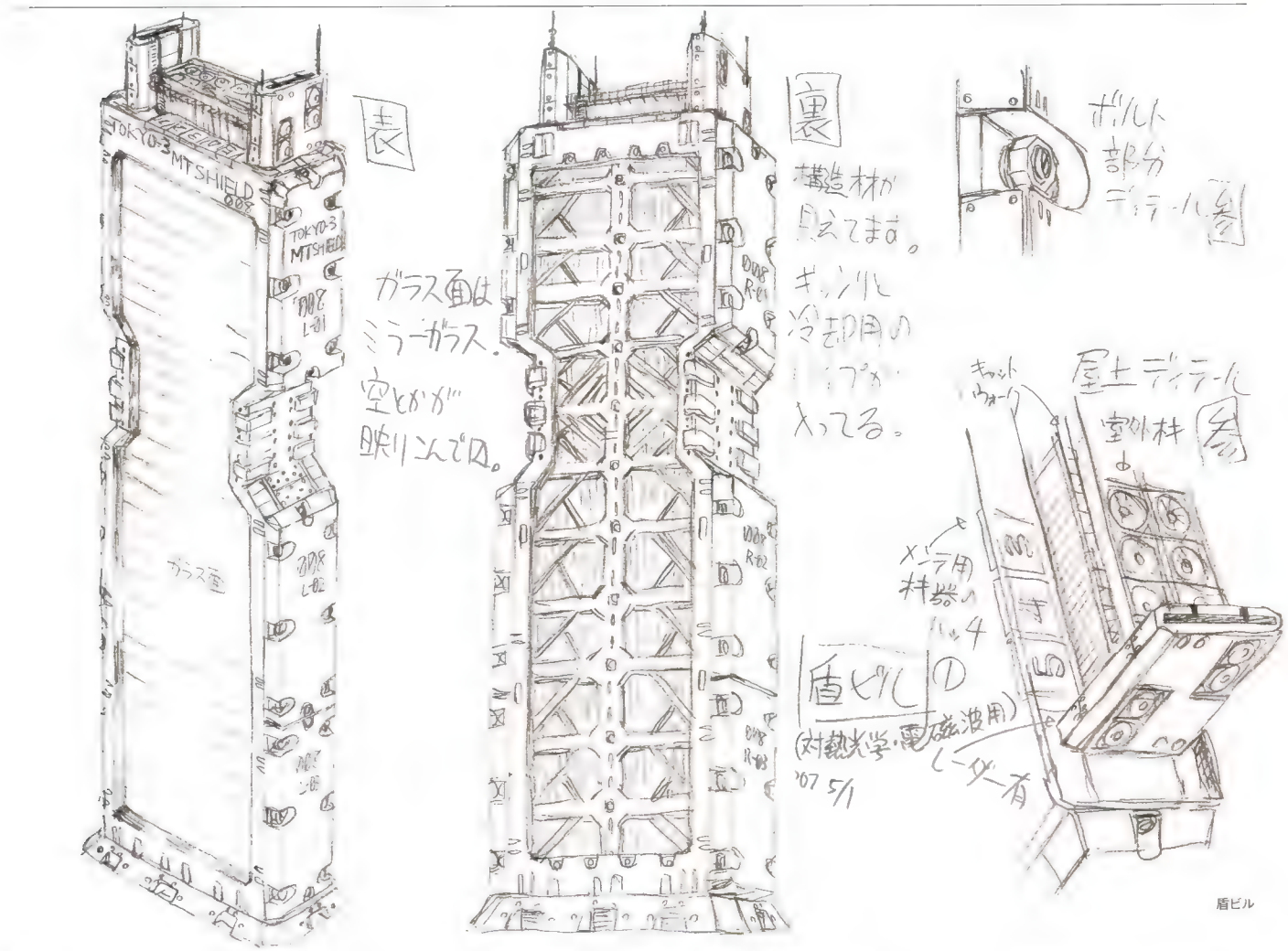
速射砲ビル(上・下)



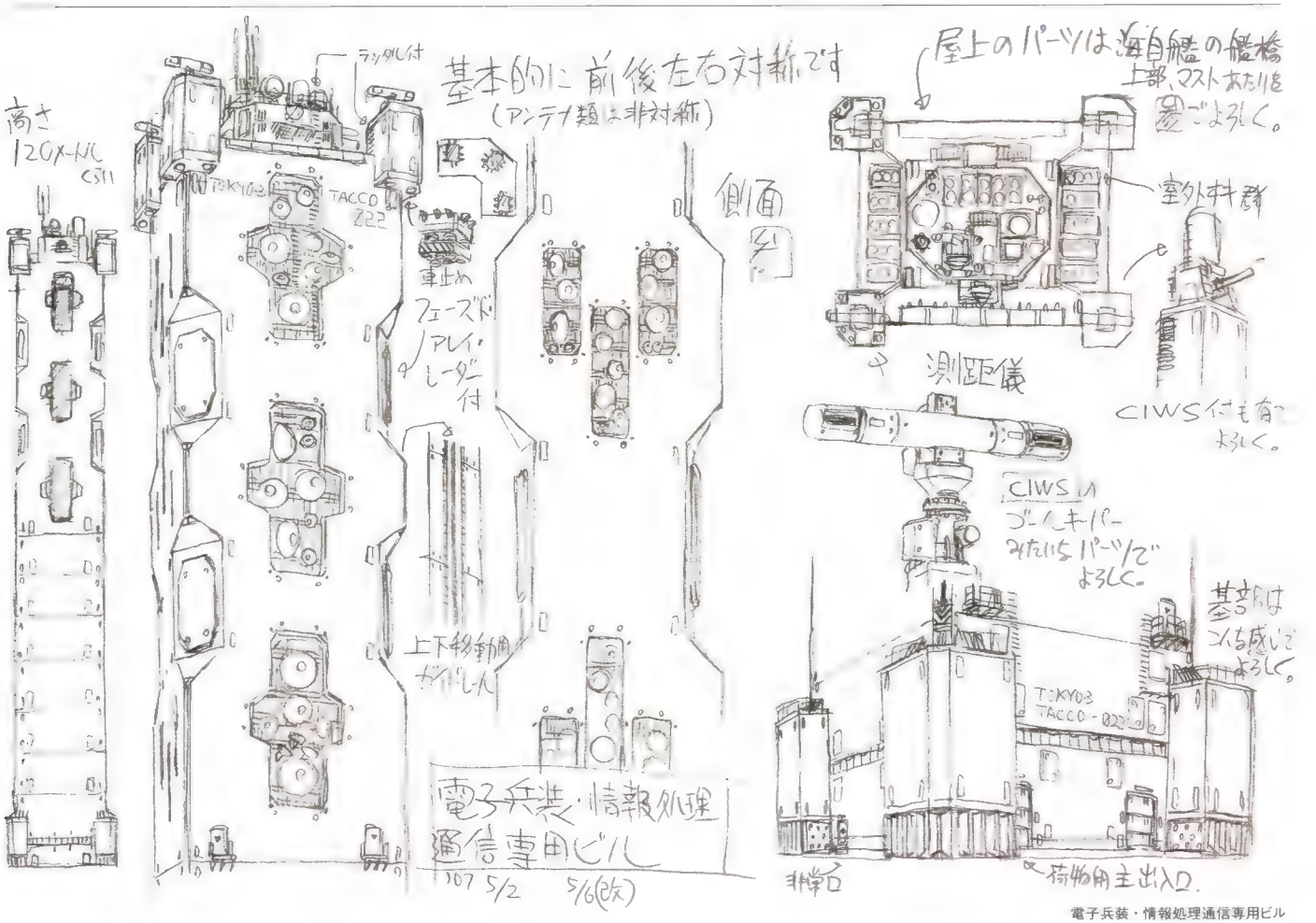
VLS 用ビル



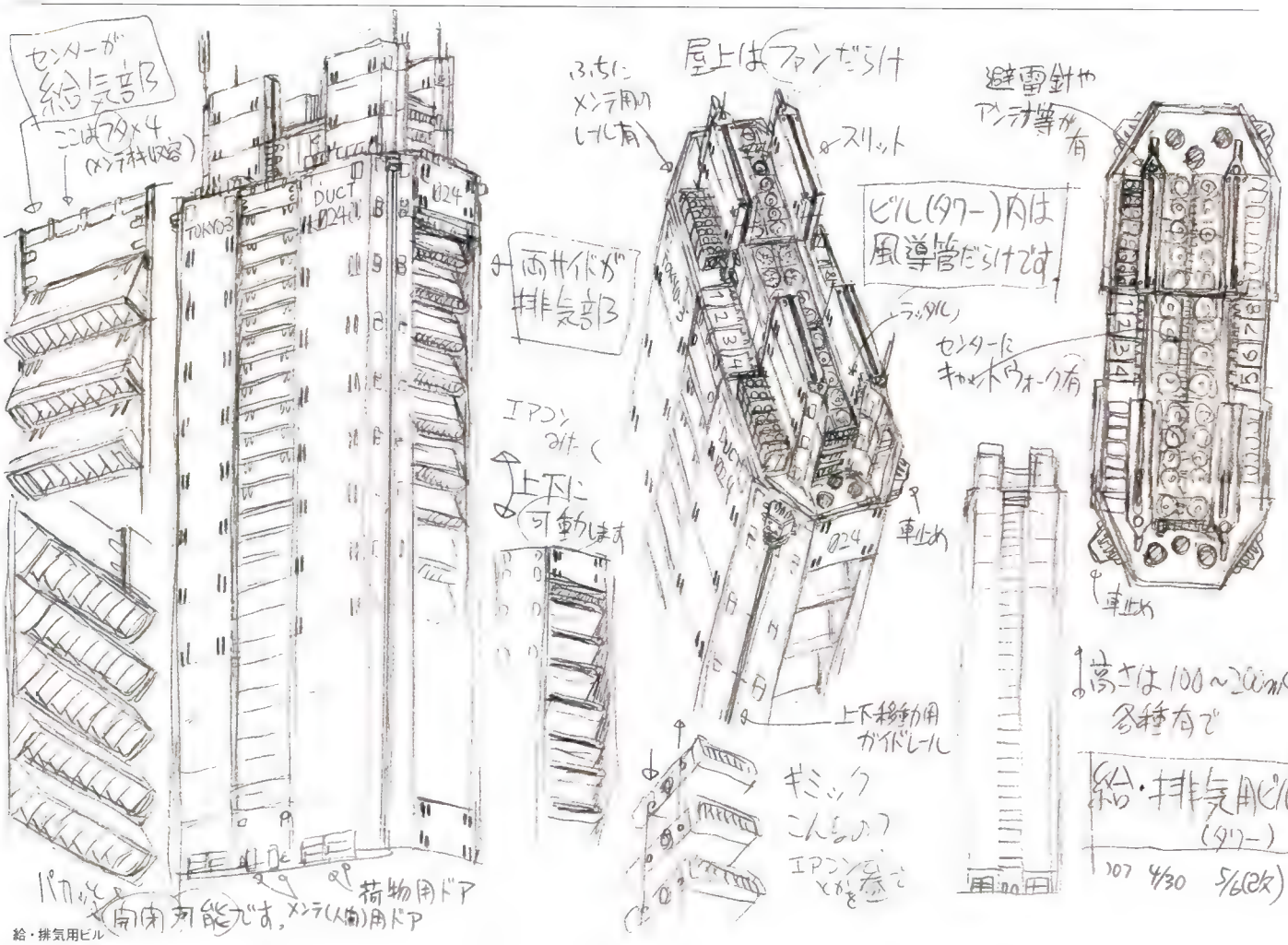
ミサイルサイロビル



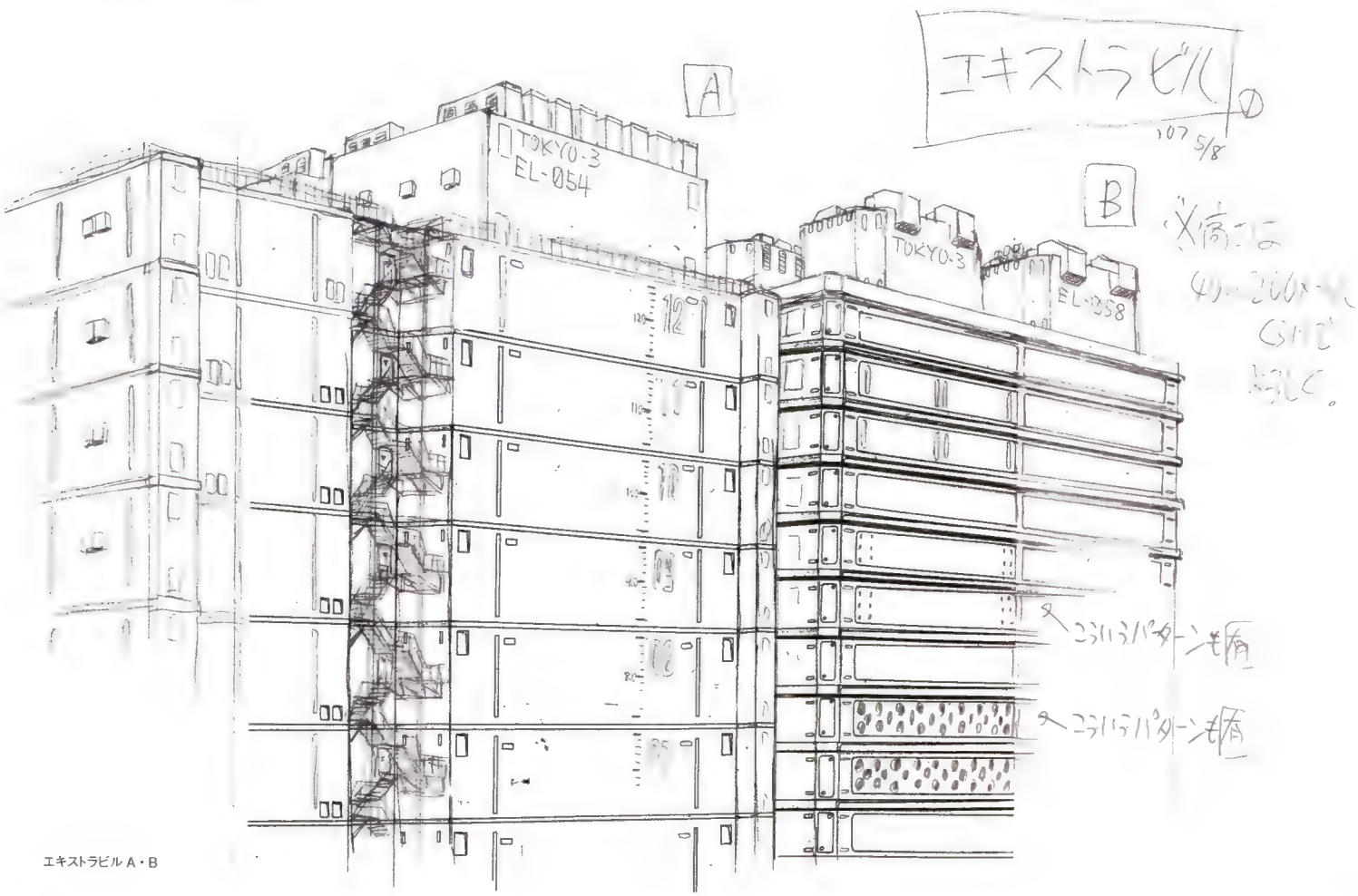
盾ビル



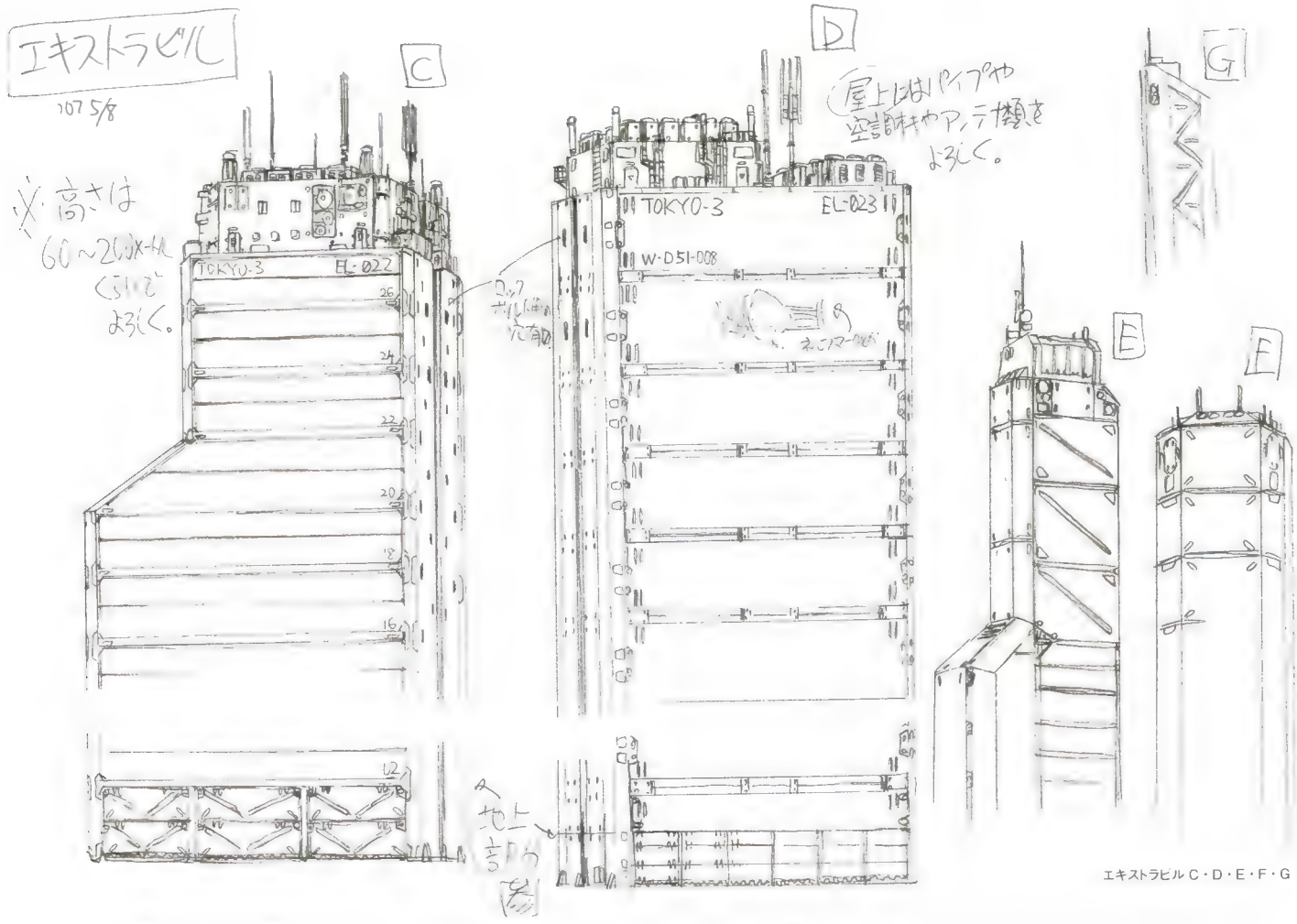
電子兵装・情報処理通信専用ビル



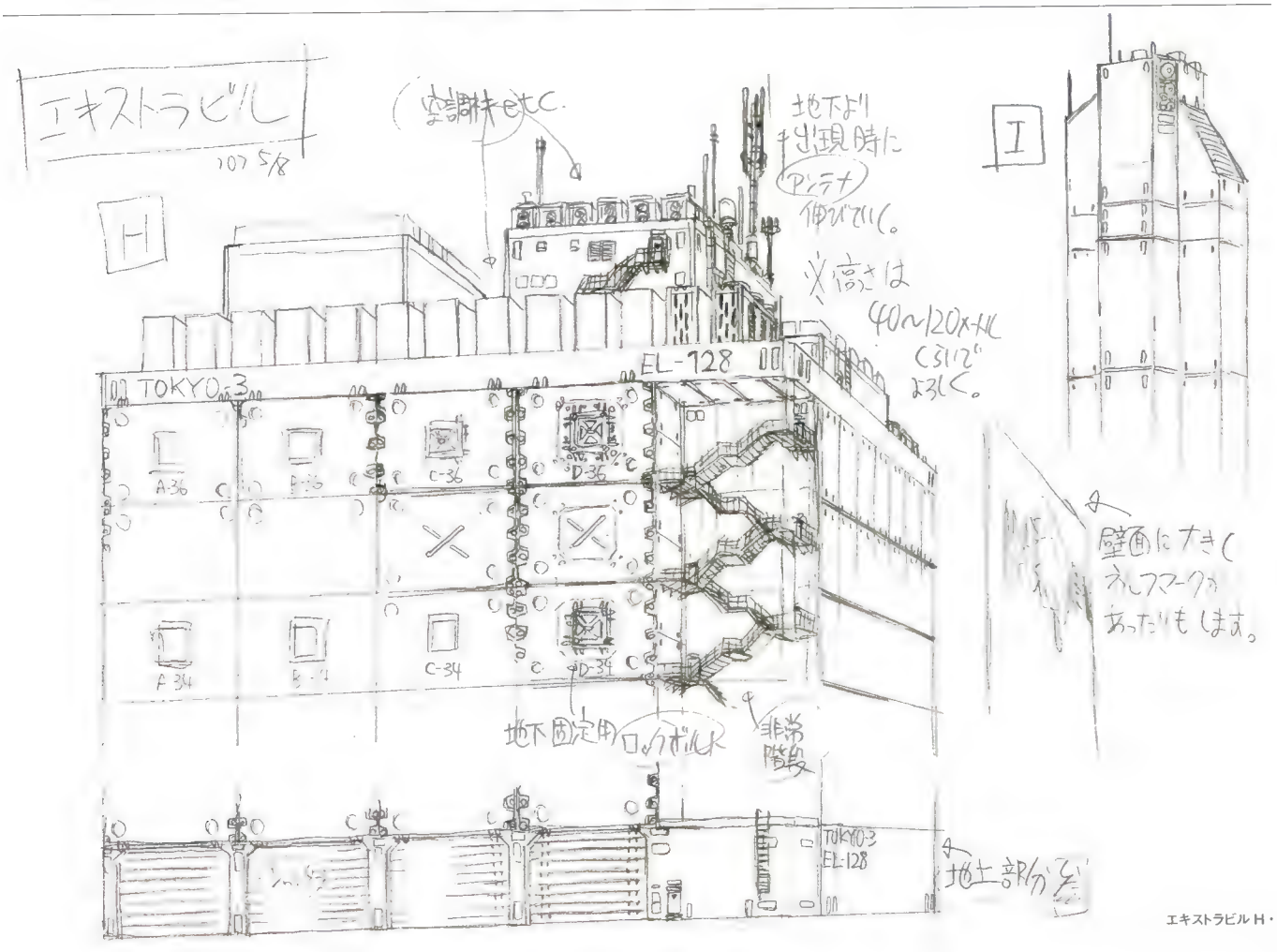
給・排気用ビル



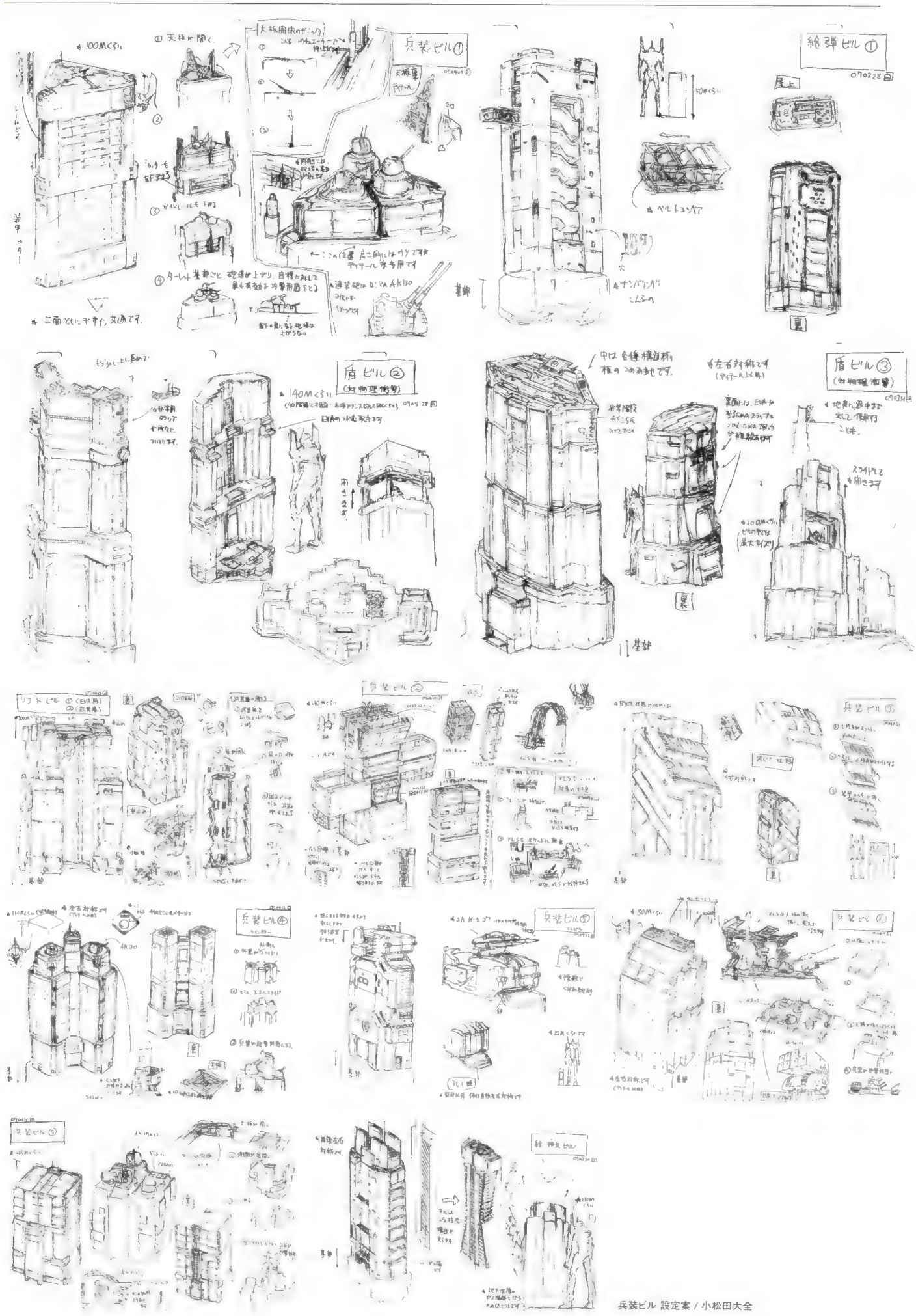
エキストラビル A・B



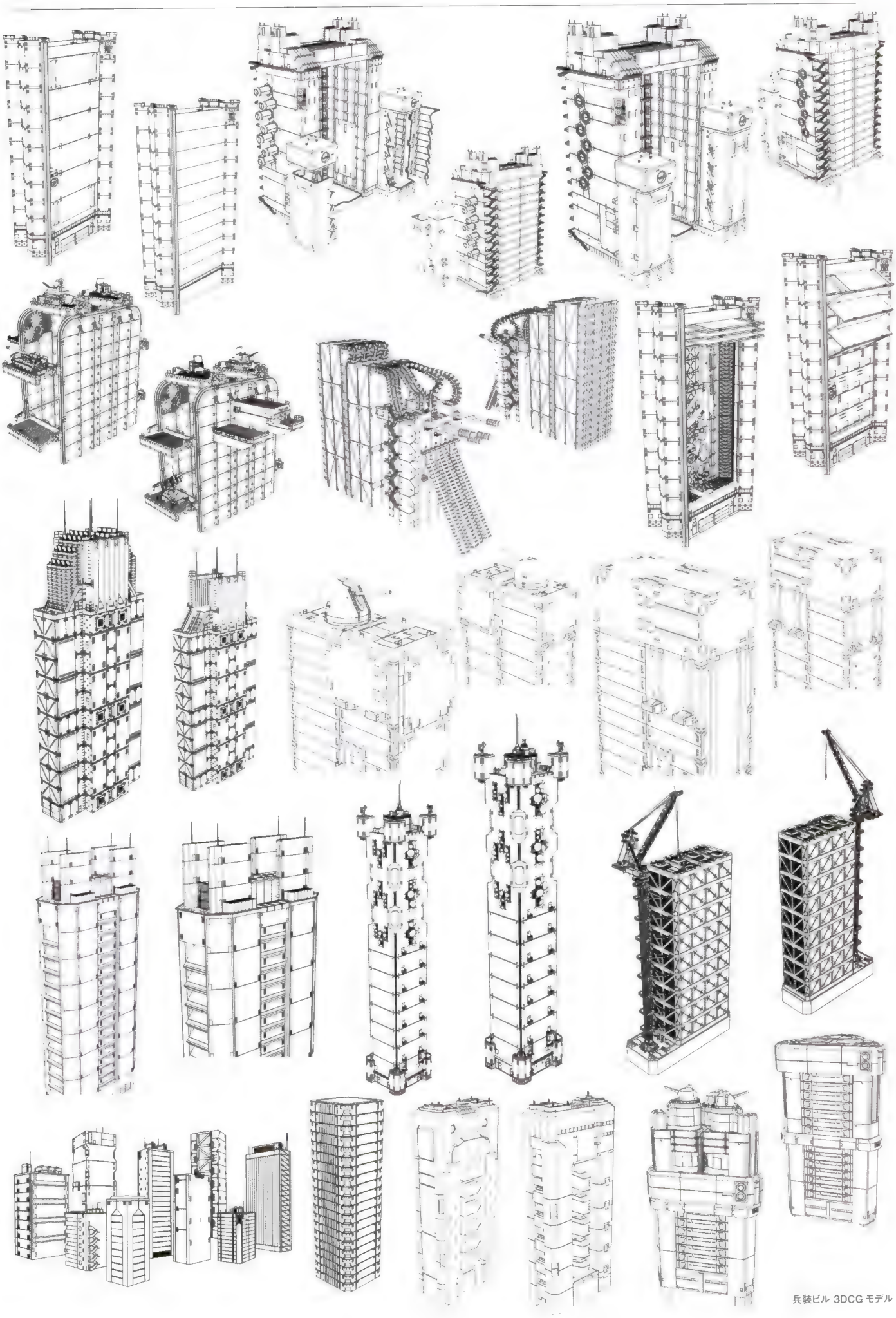
エキストラビル C・D・E・F・G



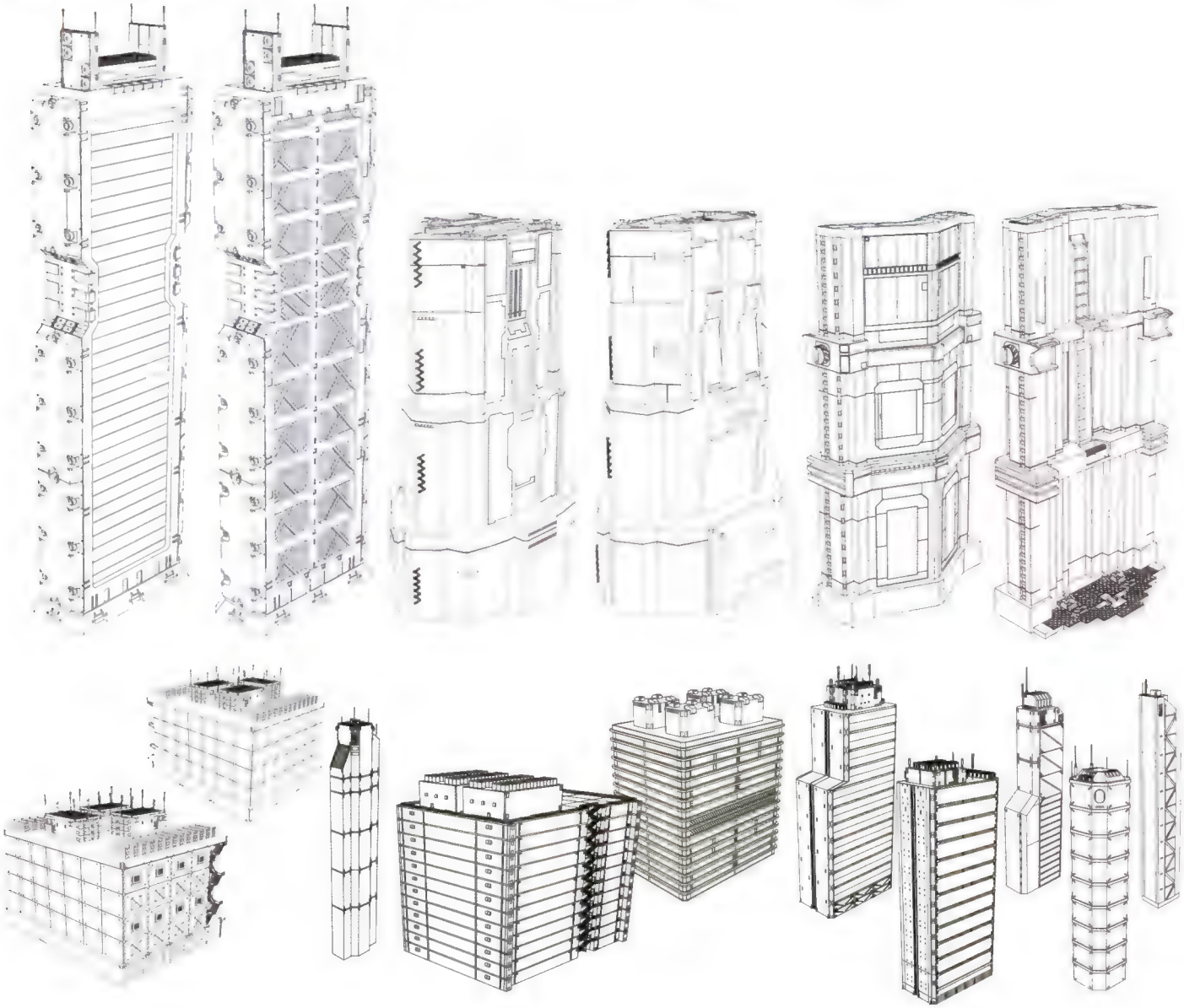
エキストラビル H・I



兵装ビル 設定案 / 小松田大全



兵装ビル 3DCG モデル



TOKYO-Ⅲ
ETLH-000
EVA TRANSPORT LIFT HOUSING STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
EODL-000
EVA ORDNANCE DELIVERY LIFT HOUSING STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
LCACP-000
LARGE CALIBER AUTOMATIC CANNON PLATFORM STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
VCCIFSS-000
VERTICAL CARROUSEL CARPARK IMPROVISED FIRE SUPPORT STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
VLSH-000
VLS HOUSING STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
MSBS-000
MISSILE SILO BANK STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
EW&IPC-000
ELECTRONIC WARFARE & INFORMATION PROCESSING COMM TOWER

TOKYO-Ⅲ
AFRS-000
AIR FLOW REGULATING STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
ODS-000
ORDINANCE DEPOT STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
BST1-000
BARRIER STRUCTURE TYPE 1

TOKYO-Ⅲ
EPGAPS-000
EVA POWER GRID ACCESS POINT STRUCTURE

TOKYO-Ⅲ
MSS-000
MOBILE STRUCTURE SYSTEM

TOKYO-Ⅲ
VEAS-000
VERTICAL ELEVATION ADJUSTABLE STRUCTURE

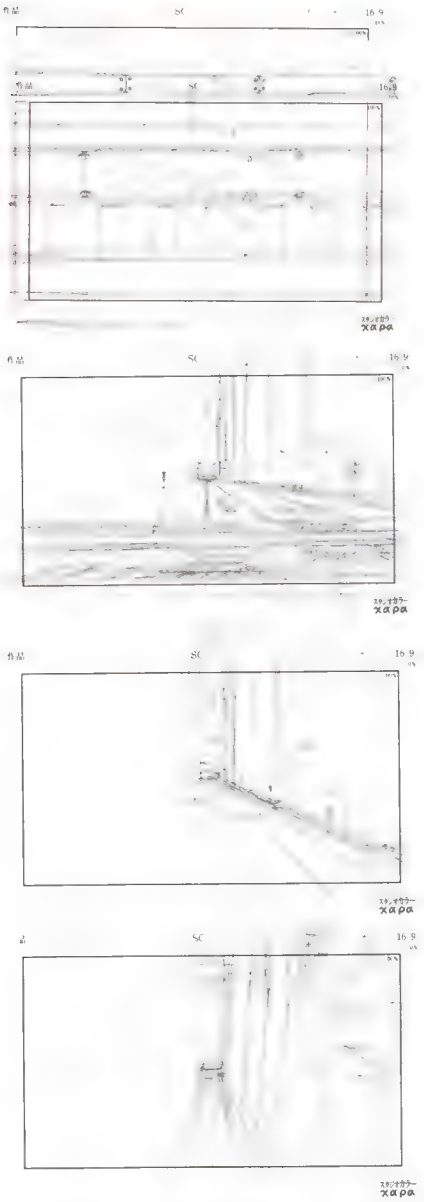
TOKYO-Ⅲ
STANDARD STRUCTURE

兵装ビル標示 貼り込み素材

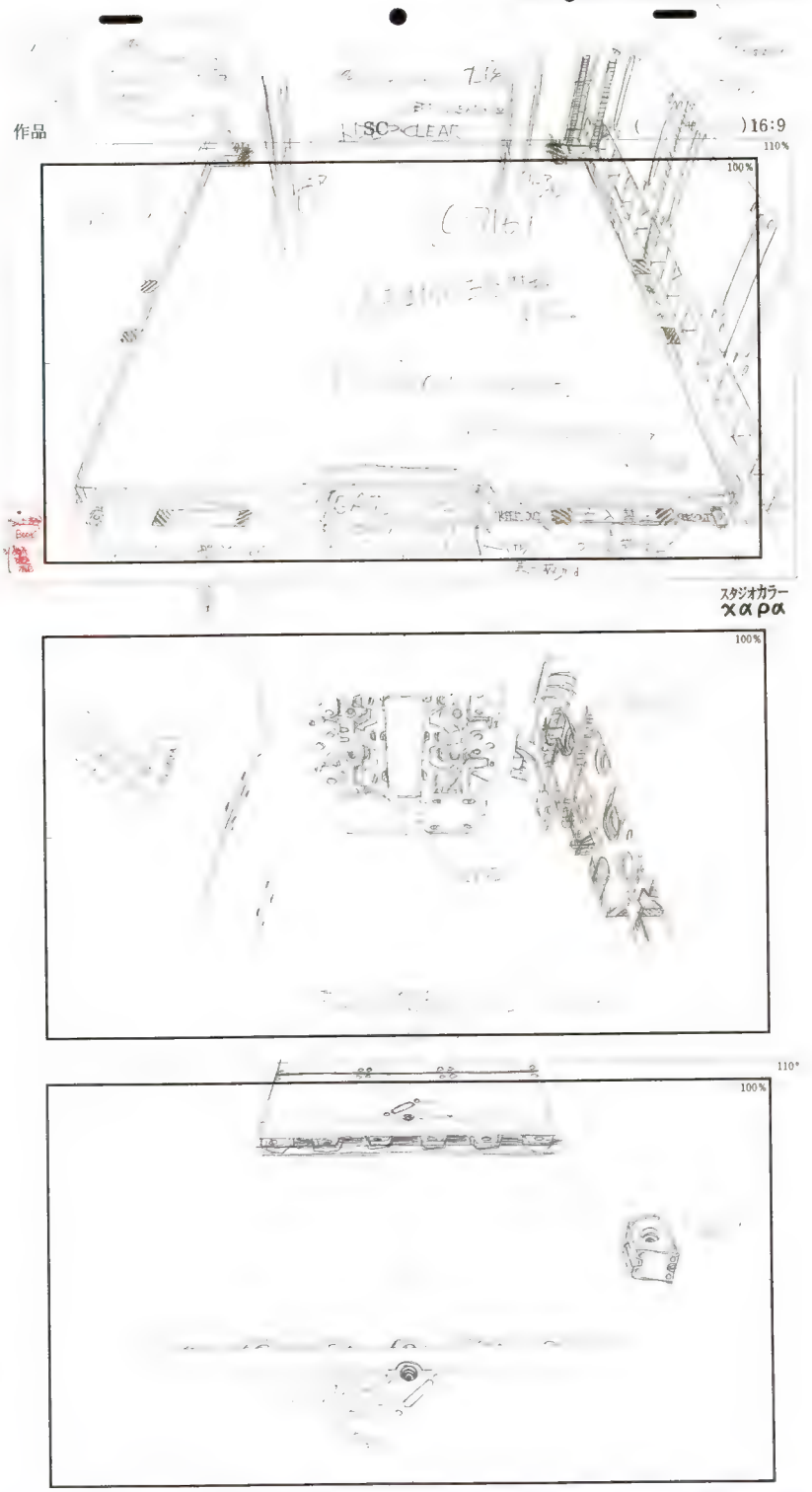
The Fortress City

Evangelion Elevator Gate Doors

多層複合式多重装甲最終扉 貼り込み素材

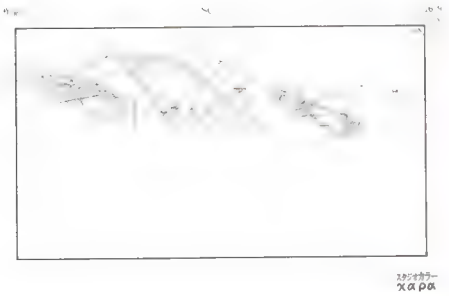


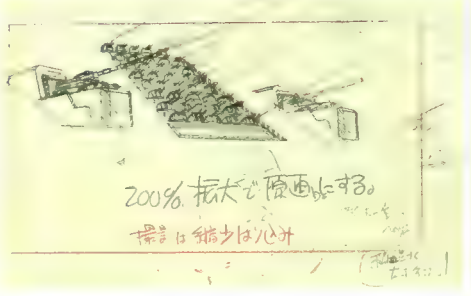
C-0717 発進口から出現するEVA初号機の主観映像 レイアウト兼設定 / 庵野秀明

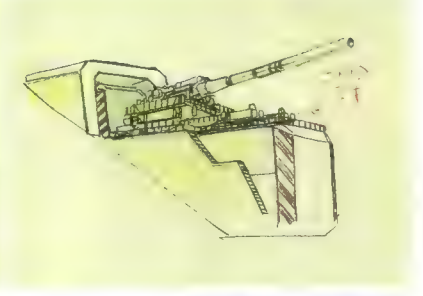


C-0271 C-0716A C-1177 エヴァンゲリオン専用地上発進口 レイアウト兼設定 / 庵野秀明

No.27 and No.28 Ground-to-Ground 800mm Railway Cannon Emplacement

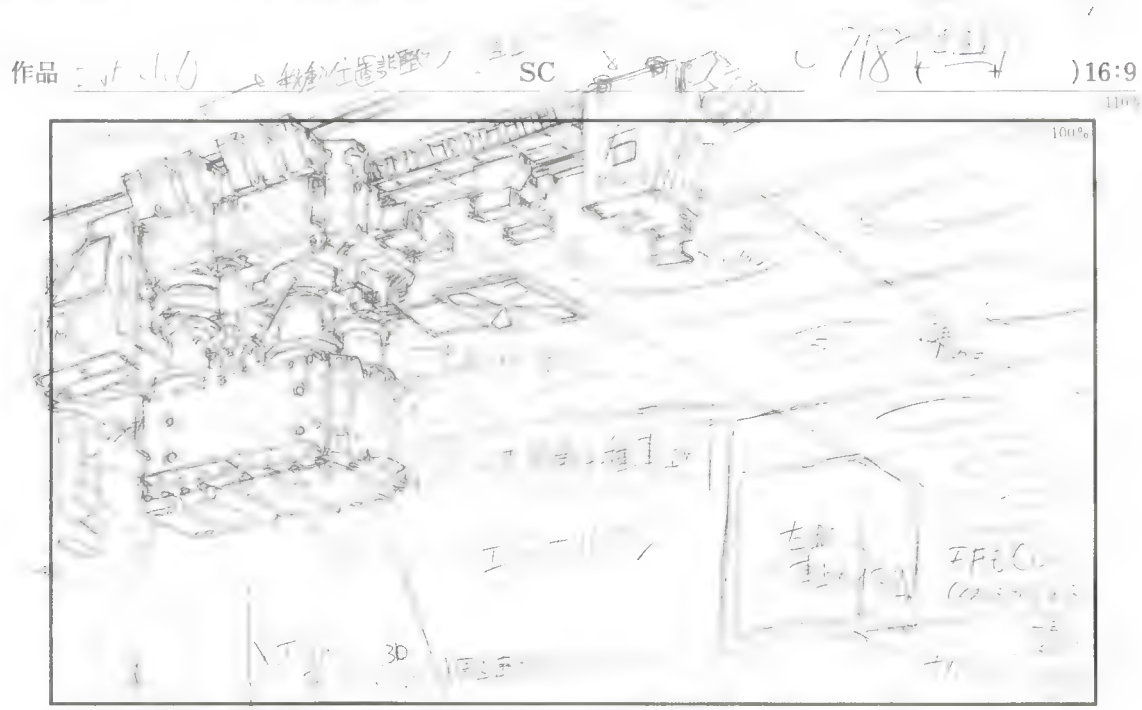






C-0685 第27及び第28地対地800mm列車砲陣地 レイアウト(左)/ 庵野秀明 原画(中・右)/ 増尾昭一

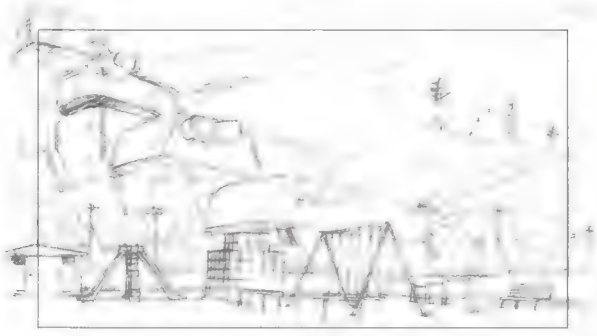
Specialized Evangelion Type 4 Carriage Specific Bumpers



C 0118 エヴァンゲリオン専用第４補車止ディスクット兼設定　庵野秀明

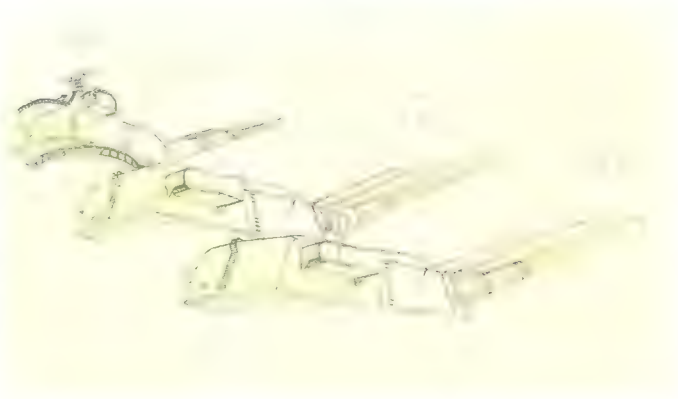
3DCG モデル

No. 3 Gun Turret Site (Formerly Navel Guns)

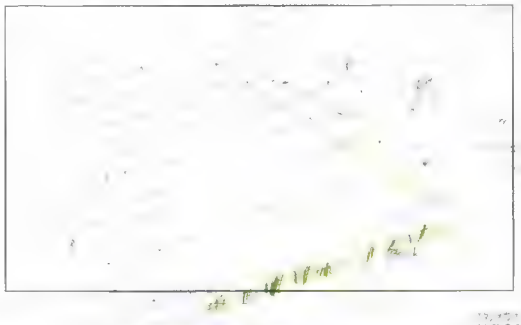


xapa

C 0686A 元箱根児童公園 第３砲台（艦載砲塔転用）レイアウト　右　原画　石　増尾昭



Ground-to-Air Vertical Launch System VLS Mk.44



xapa

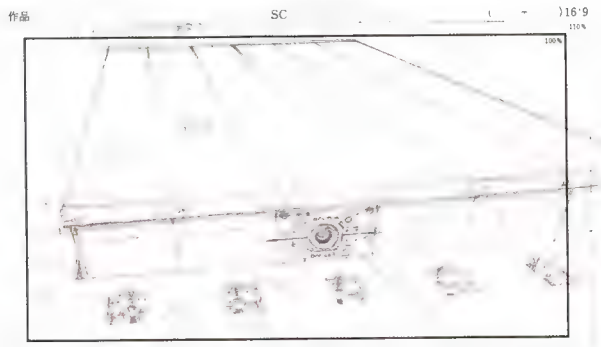
C 1486 VLS Mk44 地対空誘導弾垂直発射装置　レイアウト修正　鶴巻和哉

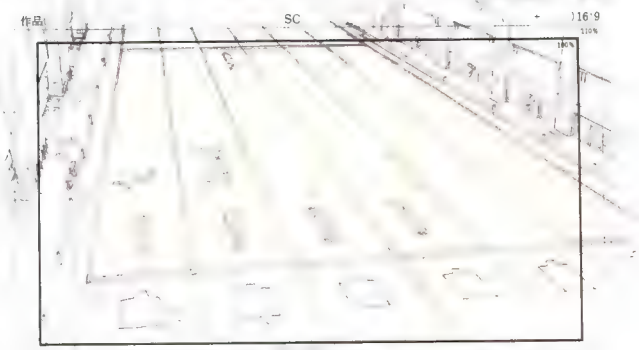
Mishima Fortress No.5, No.2 Automated Gun Turret Site

xapa

C 1494 C 1497　島第５要塞 第２自動砲台　レイアウト　村木靖

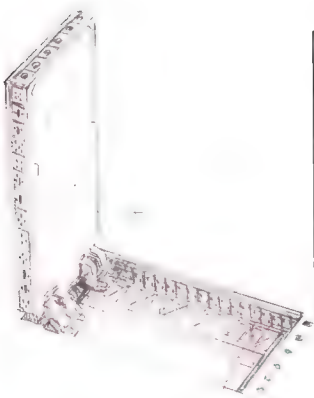
Hinge Mounted Anti-Electro-Magneto-Thermal Directed Energy Armored Plates (Roadway Camouflaged Type)

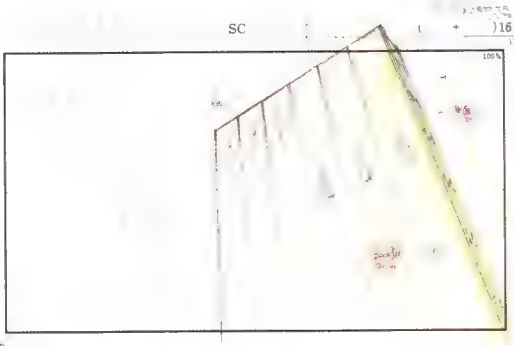


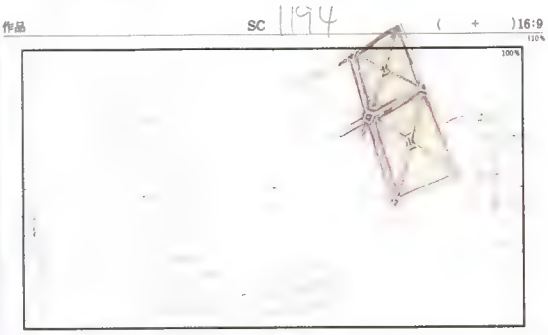


スタジオカラー
xapa

C-1193 対電磁光波熱線防護跳開式装甲板 (路盤擬装型) レイアウト兼設定 / 庵野秀明

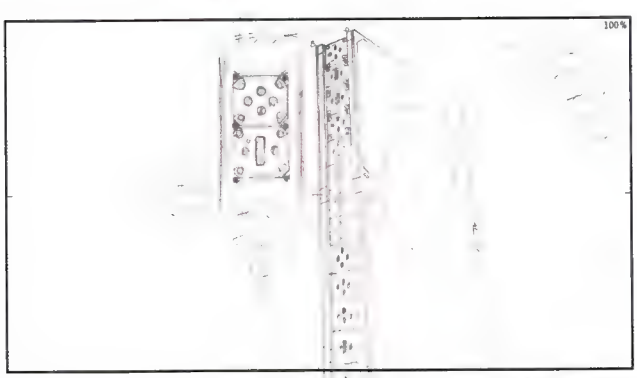


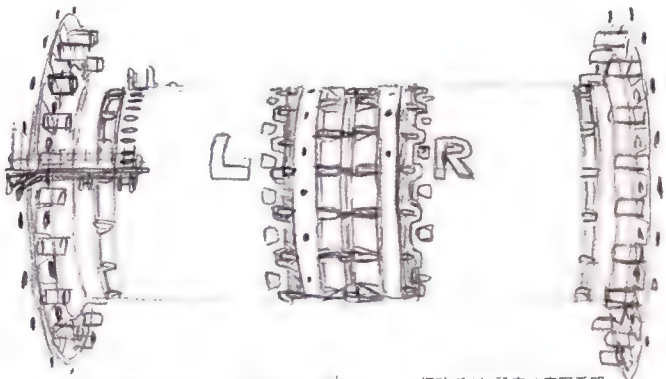




C-1194 レイアウト (左)、内部構造設定 (右)/ 庵野秀明

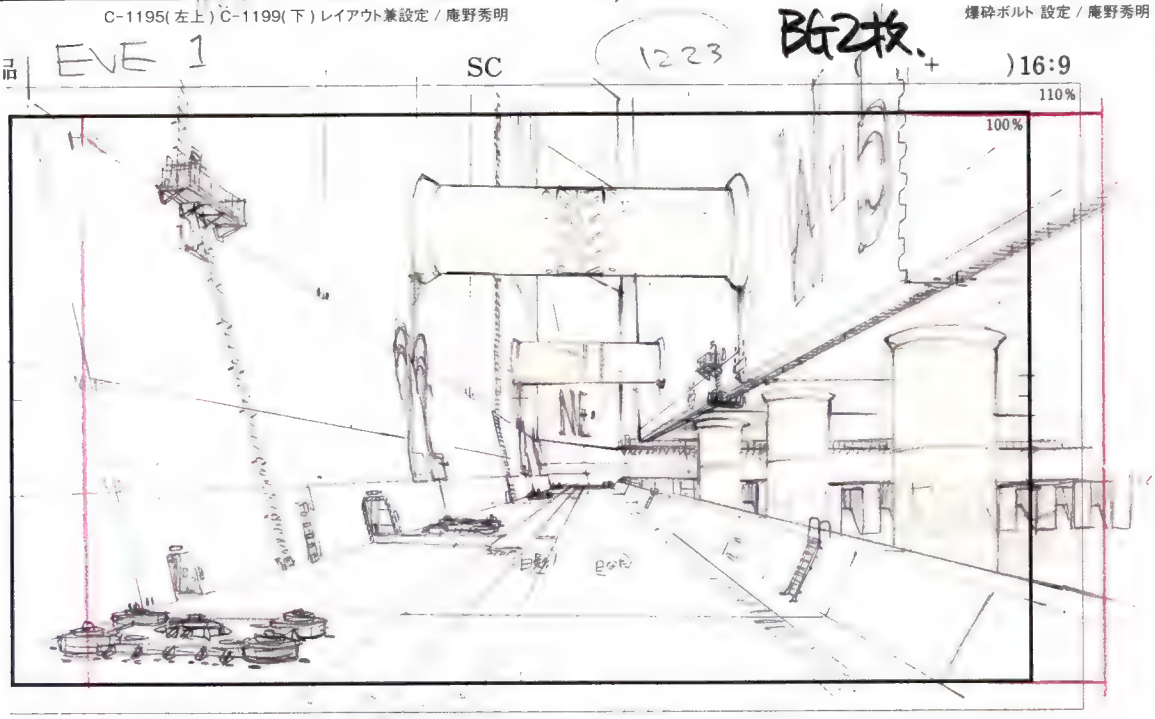
Explosive Bolts





C-1195(左上) C-1199(下) レイアウト兼設定 / 庵野秀明

爆砕ボルト 設定 / 庵野秀明

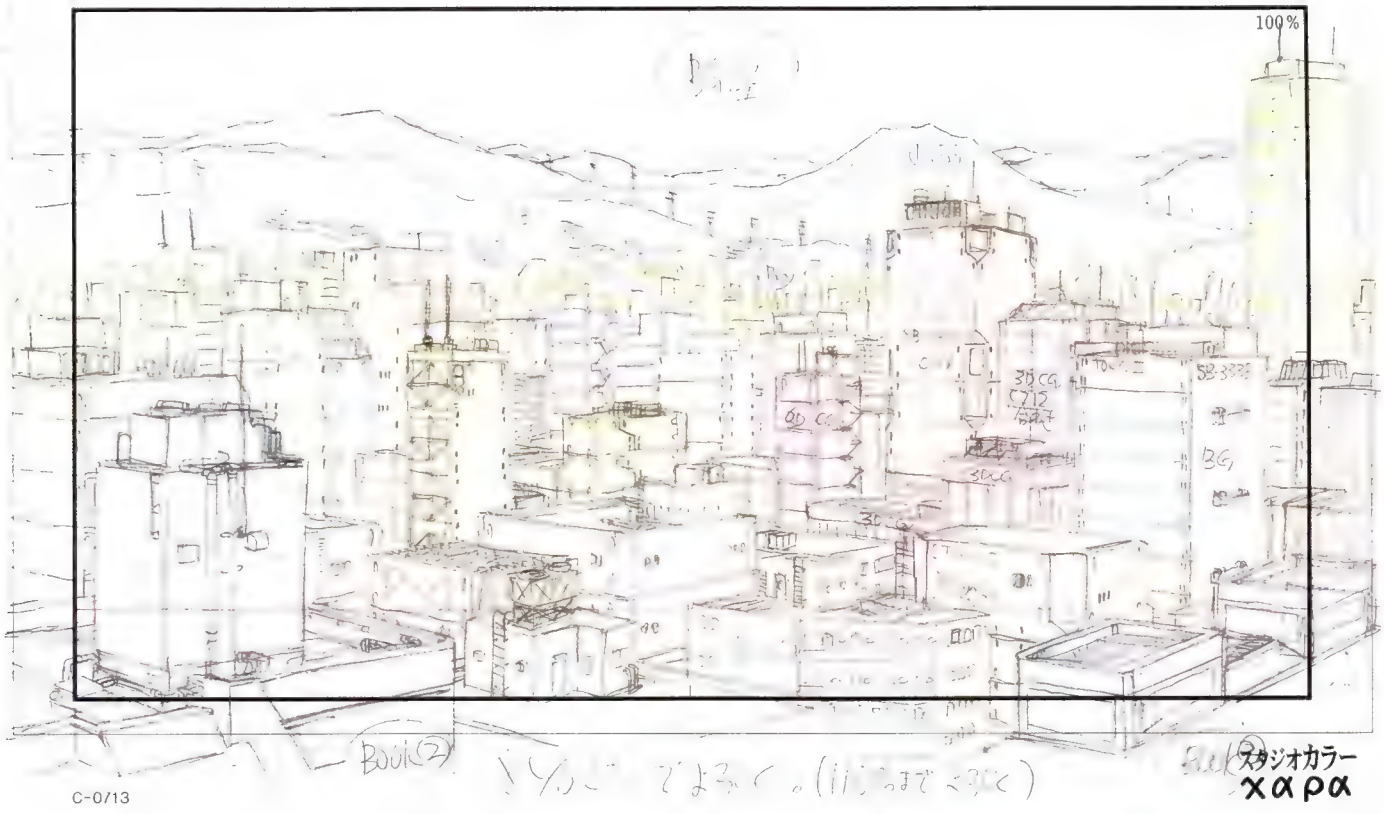


BG① レール スミロさん ごザイによろしくお願いします。

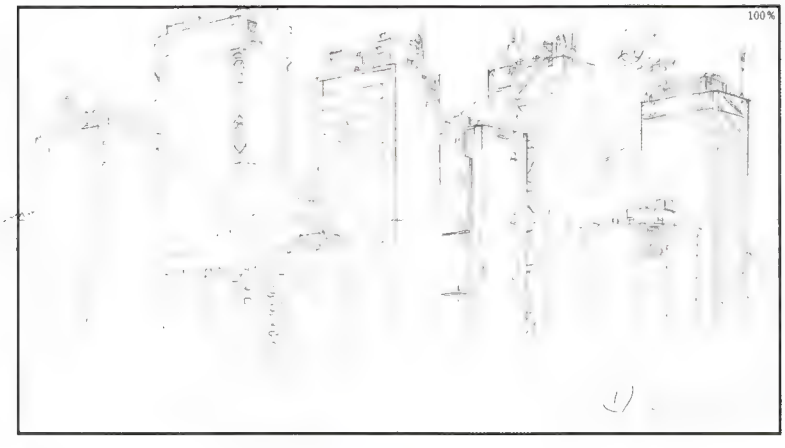
C-1223 西側面爆砕ボルト地帯 レイアウト / 橋本敬史 ディテール追加 / 庵野秀明

The Empty City

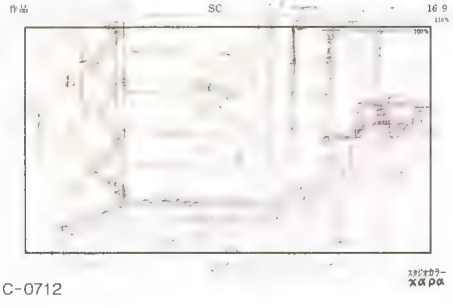
レイアウト兼設定 / 庵野秀明 (P297 ～ P299)



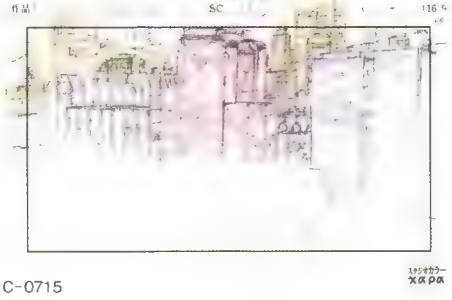
C-0713



C-1184

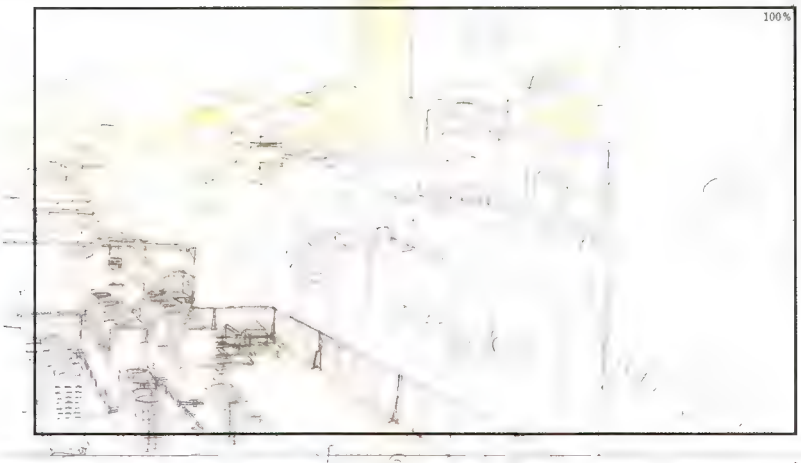


C-0712

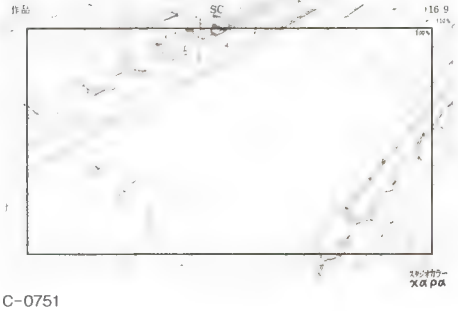


C-0715

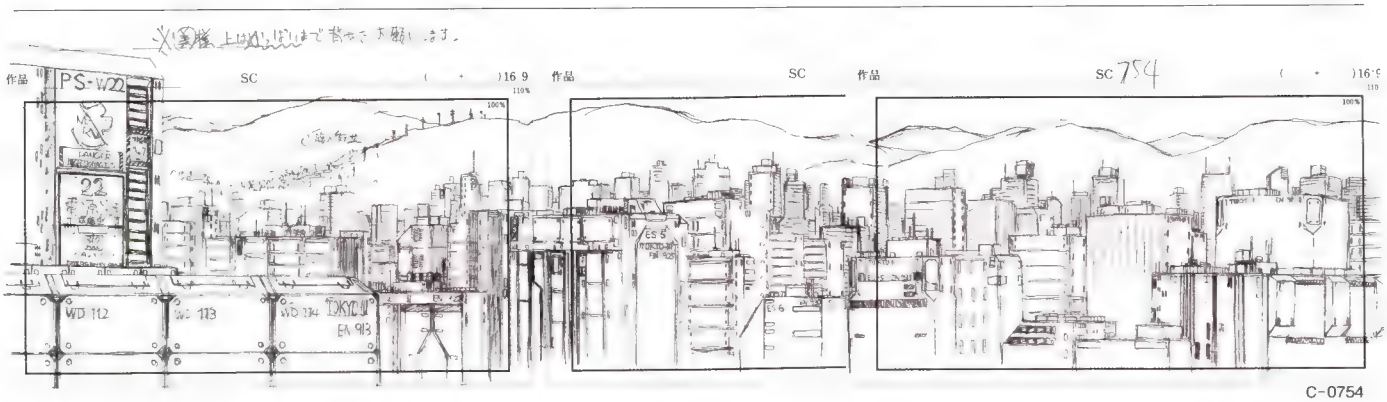
作品 SC (+)16:9 110%

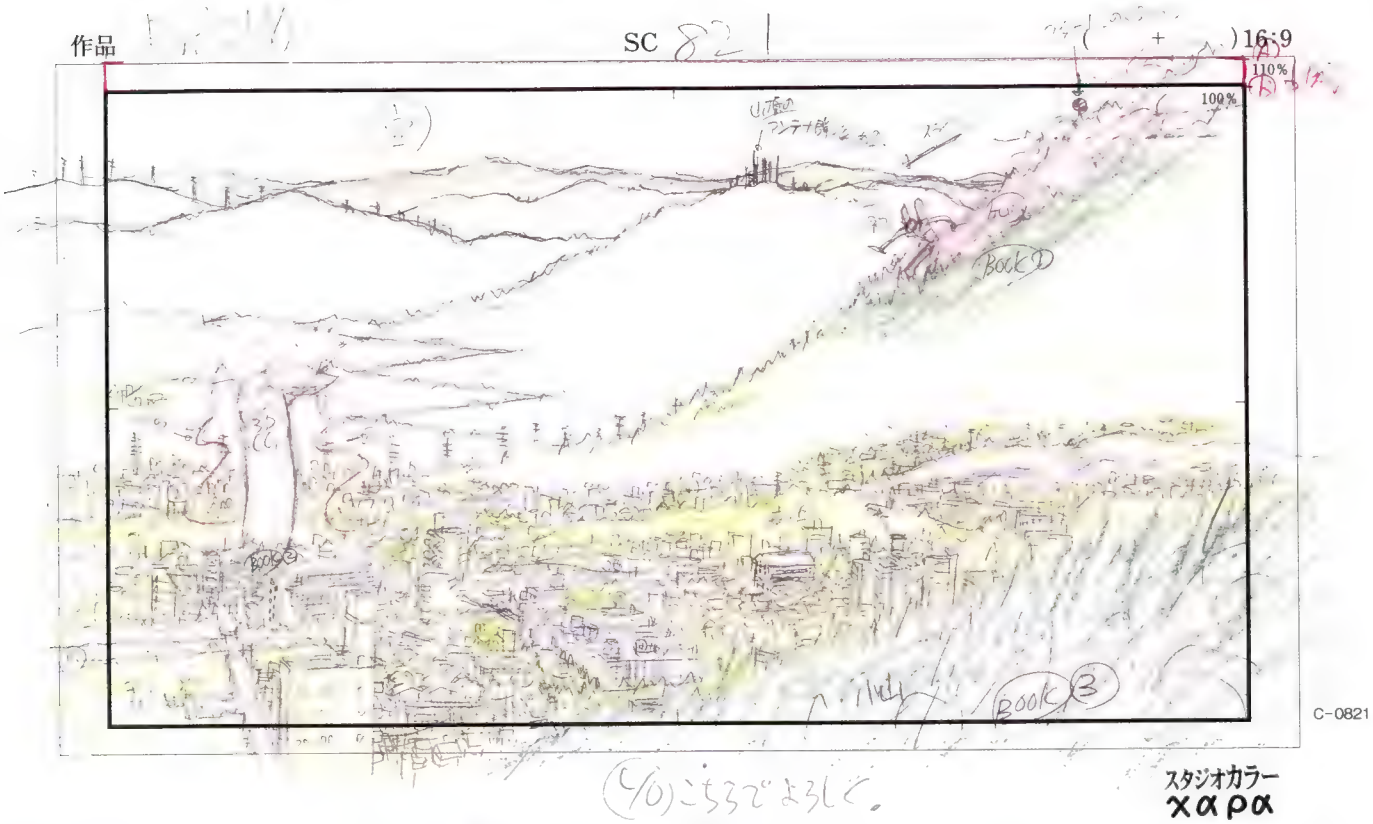


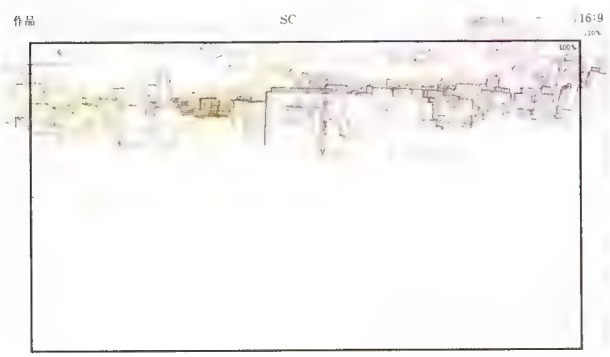
C-0725

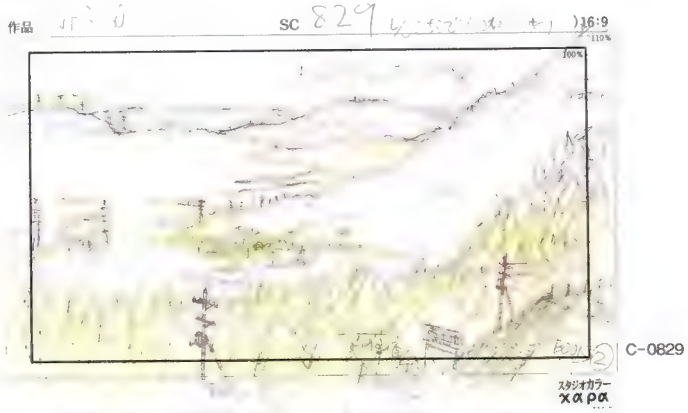


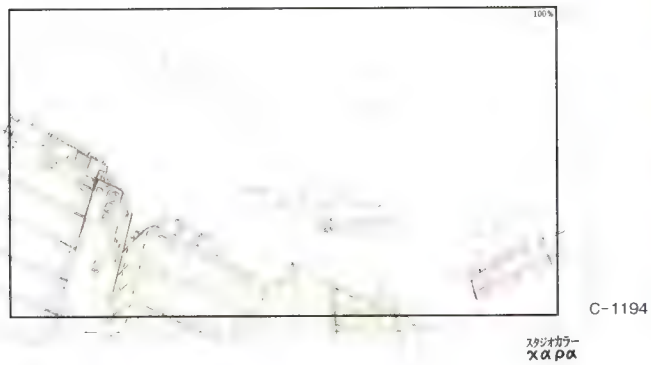
C-0751


作品
SC
PS-W22
22
WD 112
WD 113
WD 114
TOKYO
EA 913
ES 5
SC 754
C-0754


作品
SC 821
16:9
110%
100%
Book②
Book③
C-0821
スタジオカラー
ΧΑΡΑ

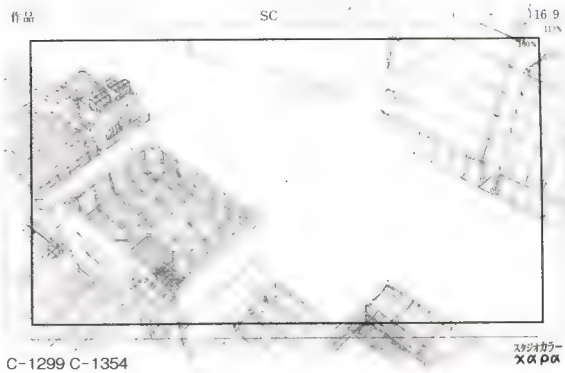

作品
SC
16:9
100%
C-0730


作品
SC 829
16:9
100%
C-0829
スタジオカラー
ΧΑΡΑ

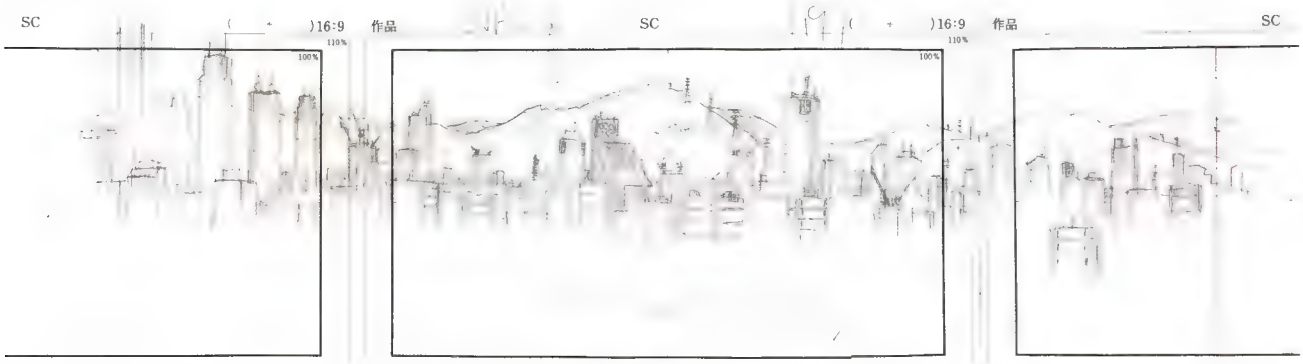

100%
C-1194
スタジオカラー
ΧΑΡΑ

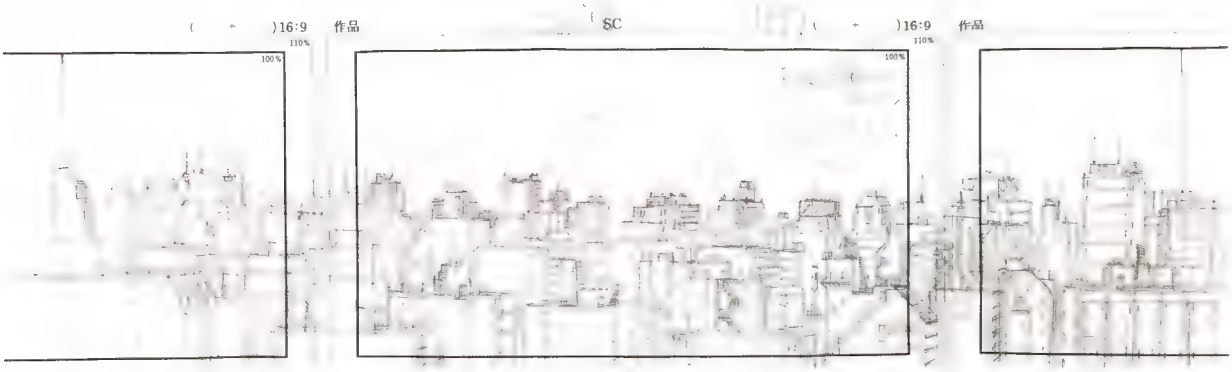
100%
C-0739
スタジオカラー
ΧΑΡΑ

C-1250

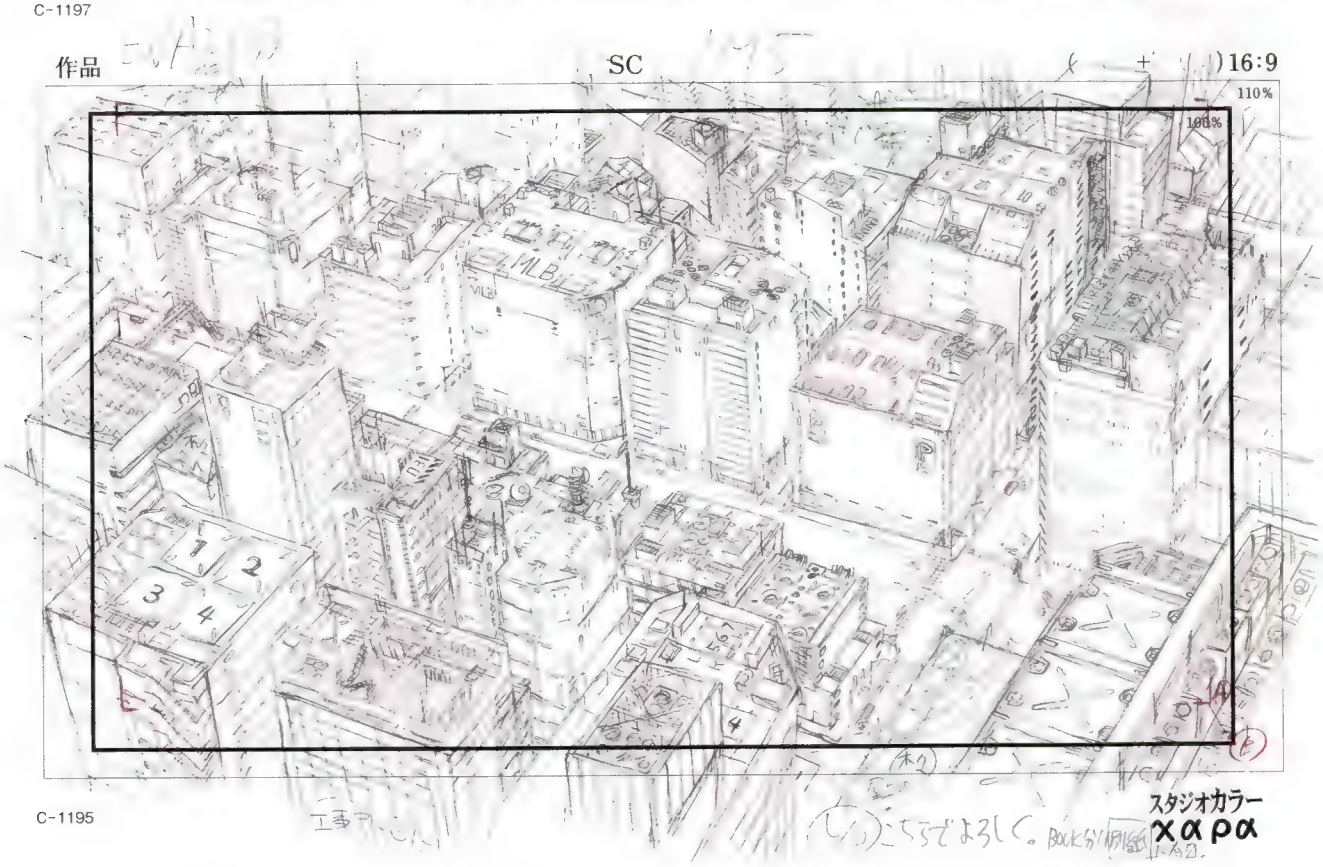


C-1299 C-1354





C-1197



C-1195

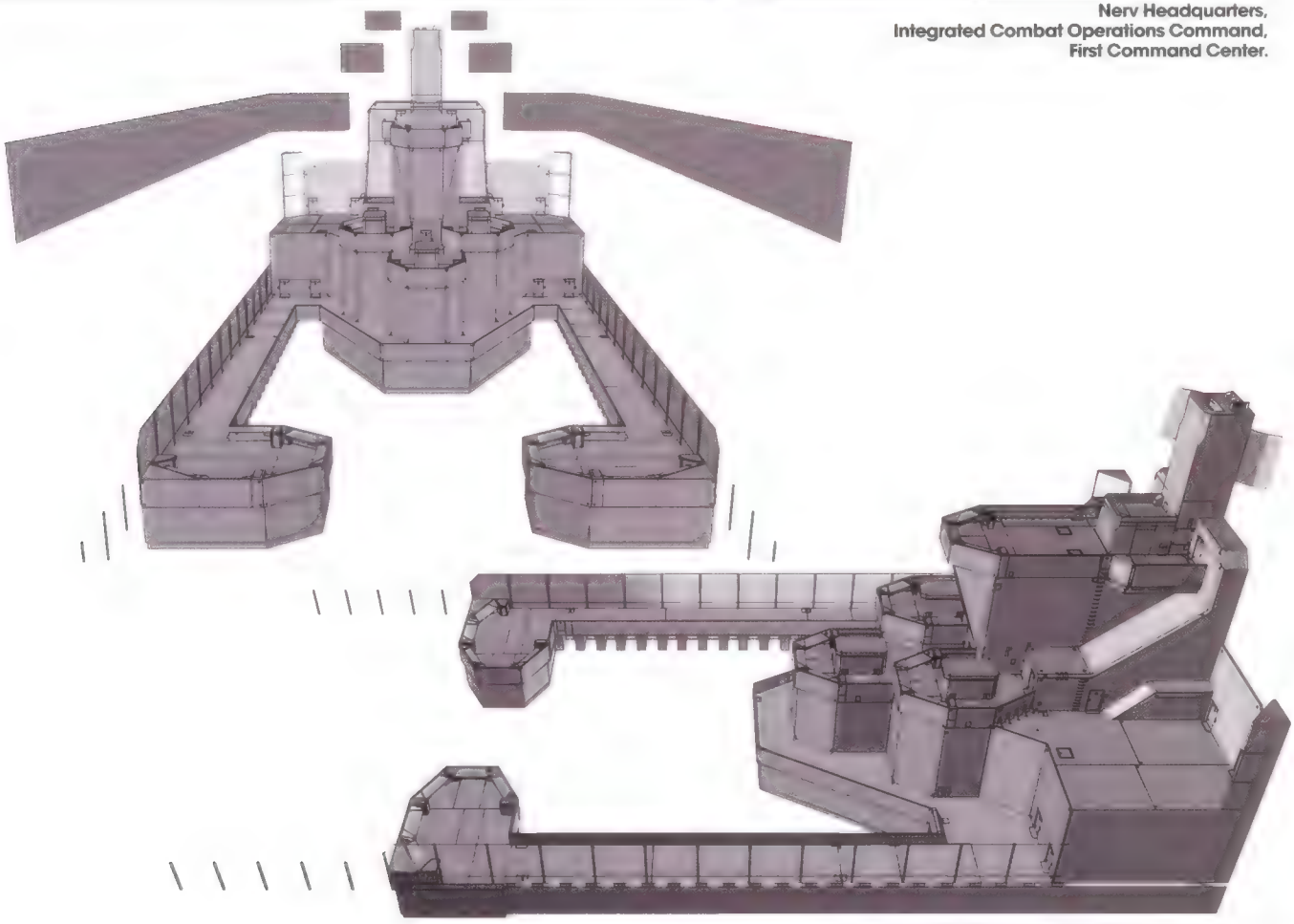
NERV

ID Card

Nerv Orientation Brochure

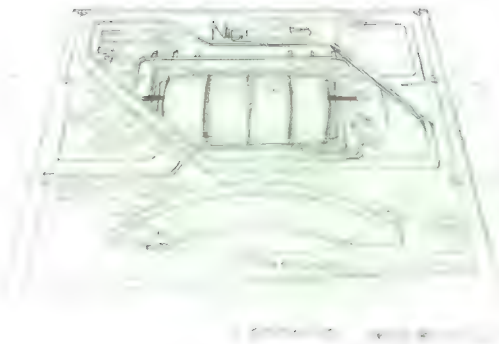
ようこそ NERV 江，表紙（右）裏表紙（左）

Nerv Headquarters,
Integrated Combat Operations Command,
First Command Center.



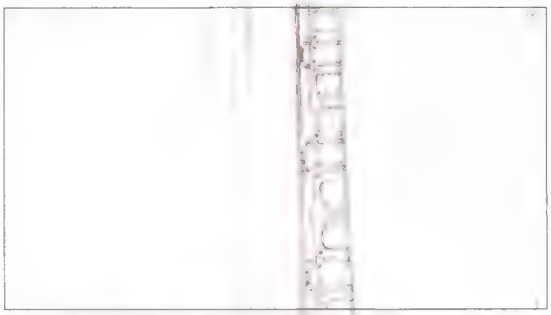
NERV 本部 総合戦闘指揮所 第 1 発令所 背景ガイド用 3DCG モデル

Elevator



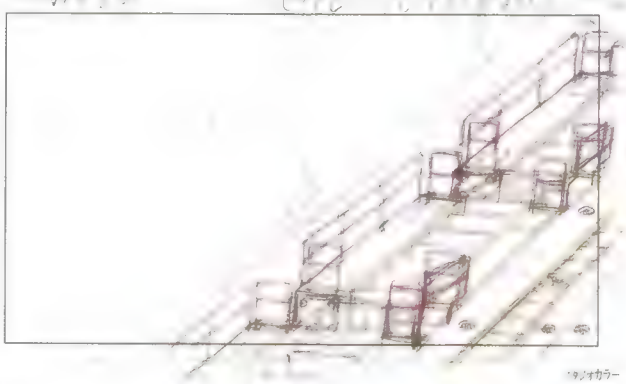
(0134 NERV本部内エレベーター 回数表示板 3DCGモデル、左：レイアウト兼設定 庵野秀明（右）

貼り込み素材

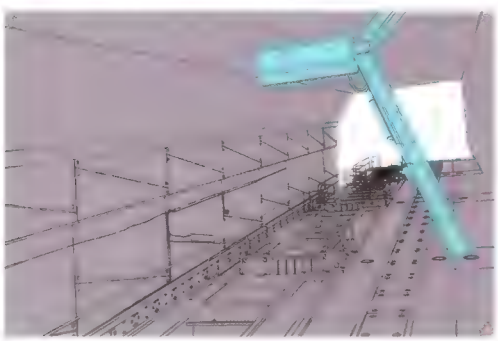


(0454 トップシーン設定 庵野秀明

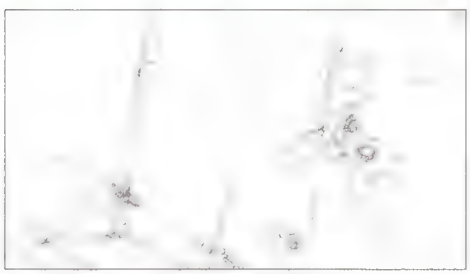
Automobile Transport Train



(0098A 桜崎市商物ターミナル駅・車両車庫設定ラフ（左） (0116 通過駅（右）レイアウト兼設定 庵野秀明



通過駅 3DCGモデル



(0130 オープニング絵コンテ レイアウト兼設定 庵野秀明

仙石原地下中央駅行C 22特別急行列車 3DCGモデル

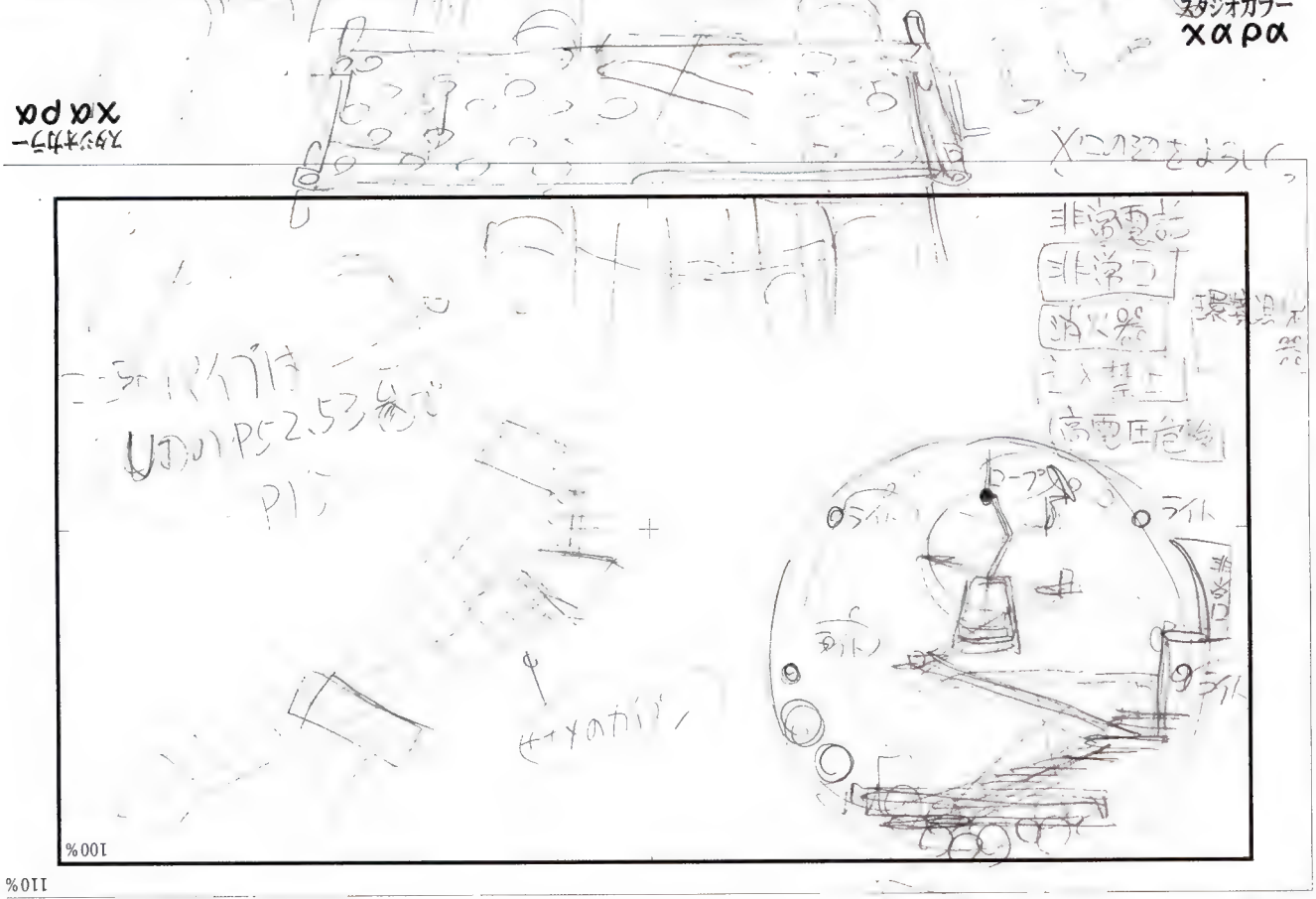
Nerv Headquarters B Wing Underground, No.102 Bypass Tunnel

作品 EVA-1.0 SC 624 (+) 16:9

110%

100%

スタジオカラー
XAPA



スタジオカラー
XAPA

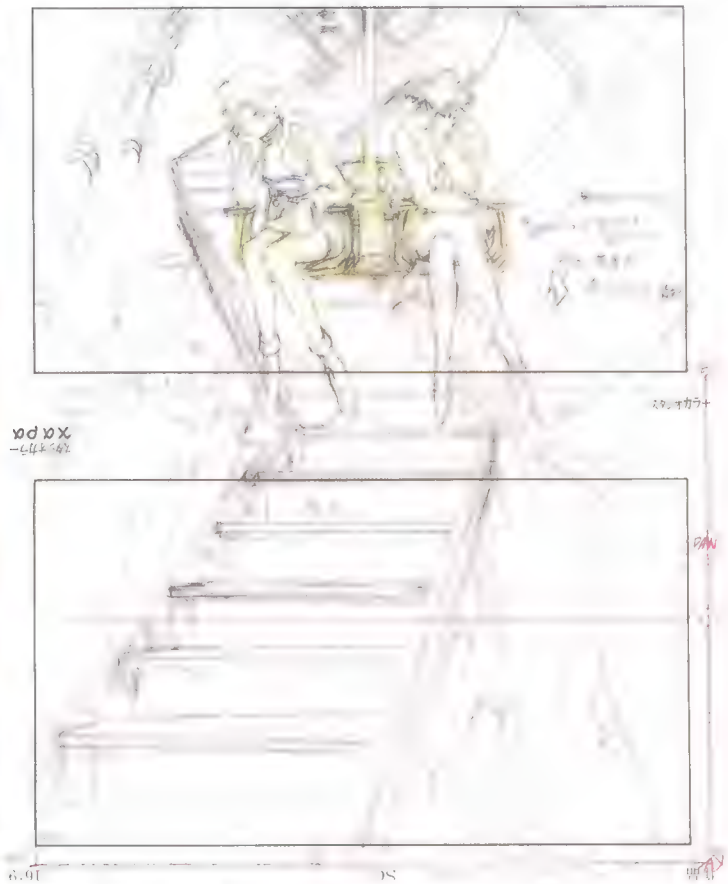
100%

110%

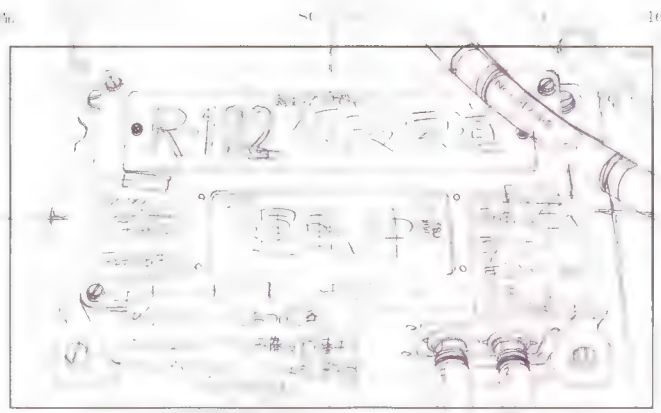
作品 SC (+) 16:9

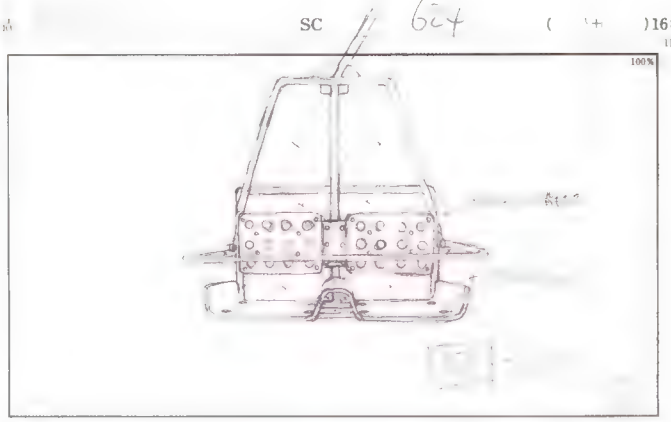
C-0624 NERV 本部 地下 B 棟第 102 番連絡坑道 (旧台ヶ岳第 1 共同溝) レイアウト兼設定 / 庵野秀明

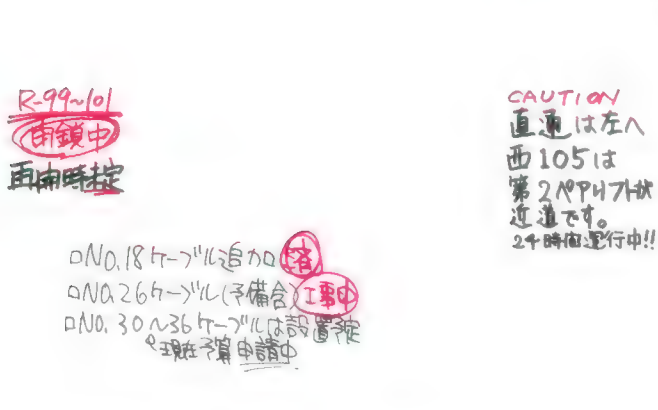
3DCG モデル



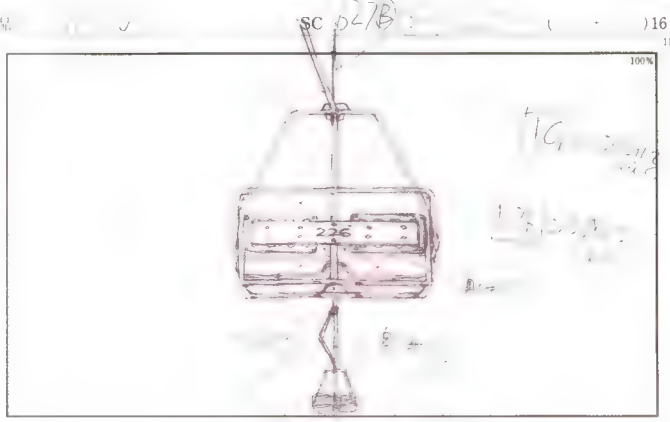
C 0624 レイアウト 摩野秀明







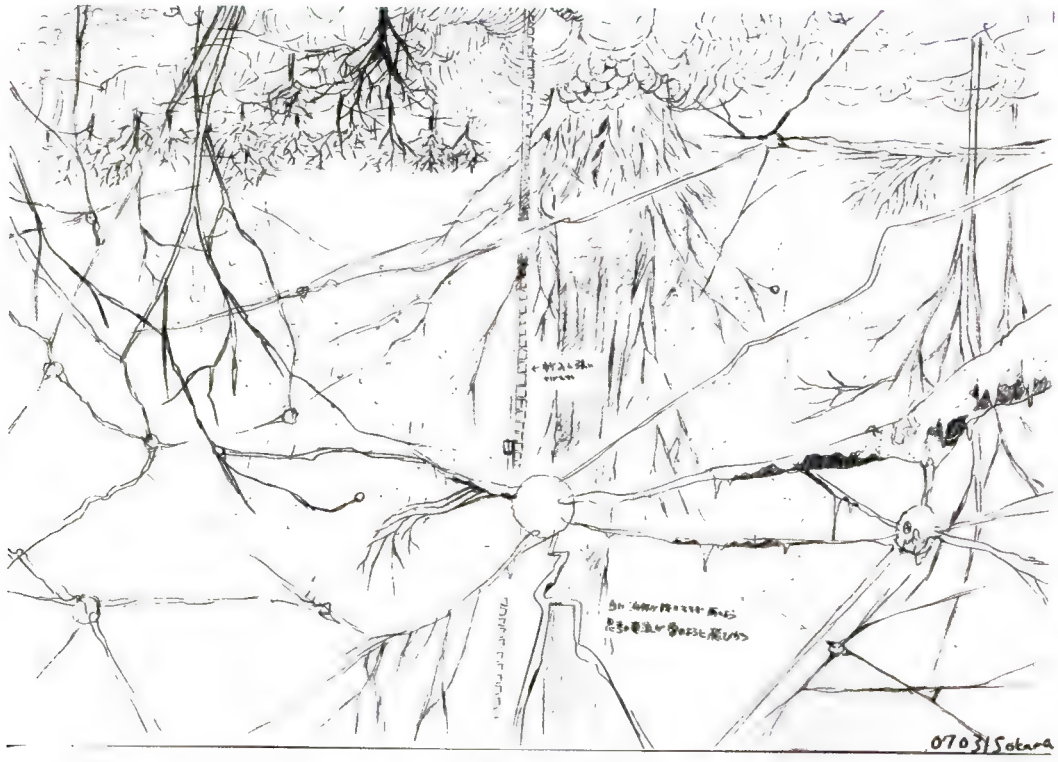
0624 表 手描 レイアウト兼設定 摩野秀明 上 手描き文字素材 下



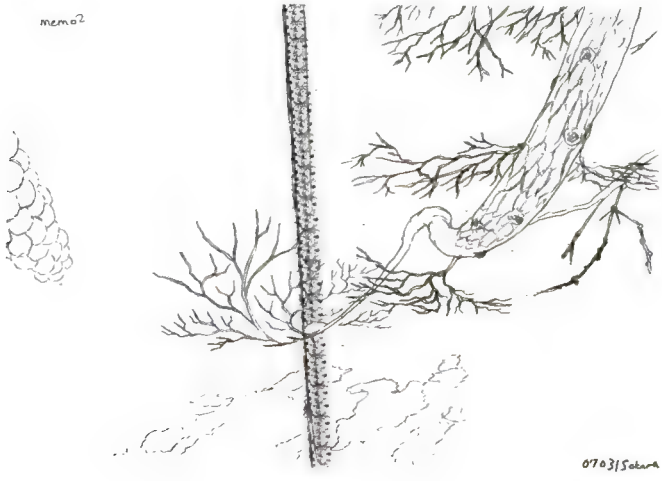
C 0624 リフト前面 上 C 0627B 同 背面 下 レイアウト兼設定 摩野秀明

Level EEE

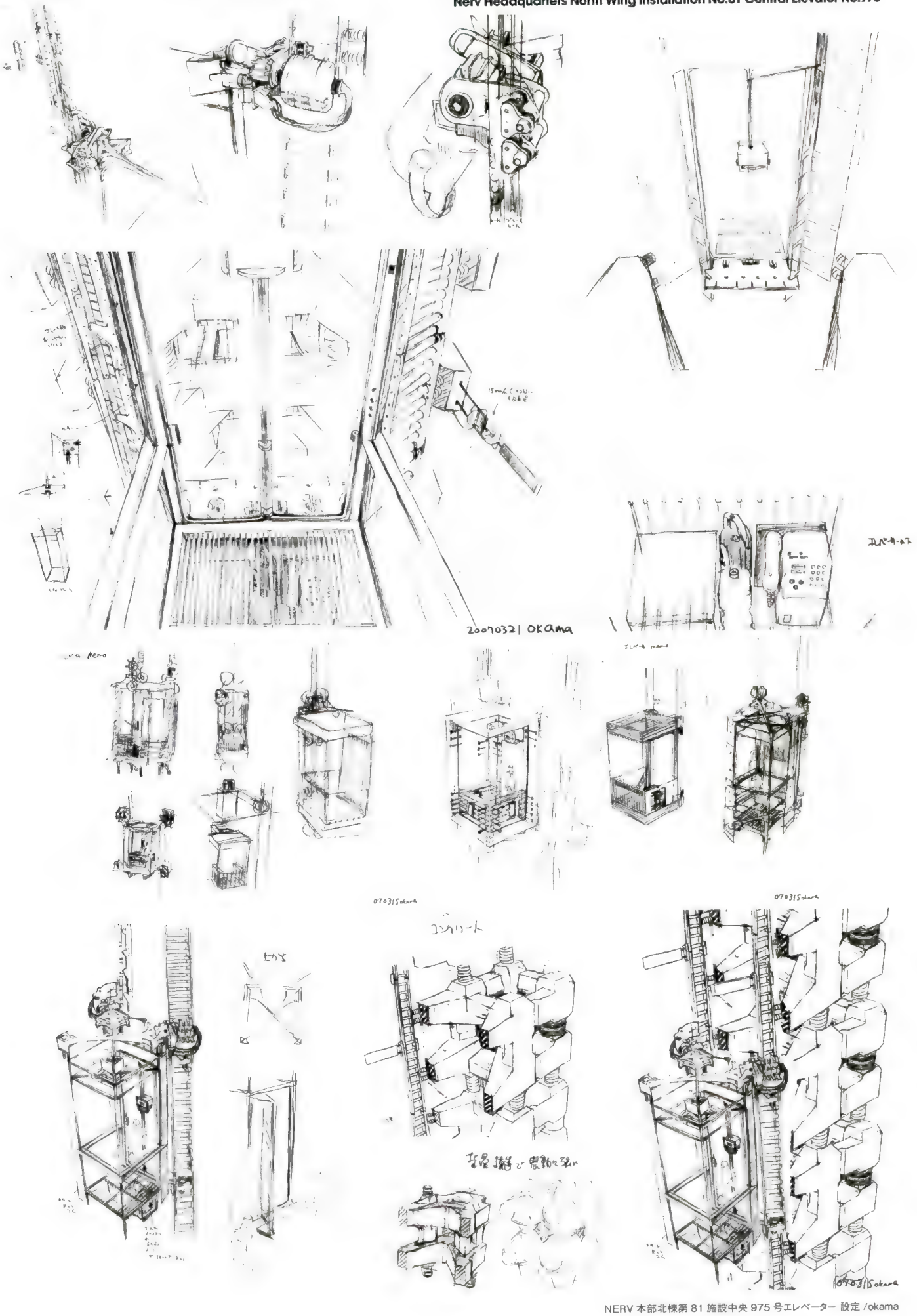
セントラルドグマ（第1表層部）設定 / okama（P304 ～ P305）


07031Sotara

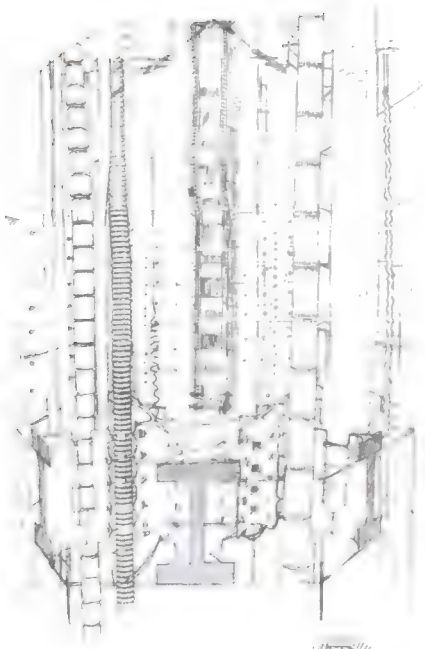
07031Sotara

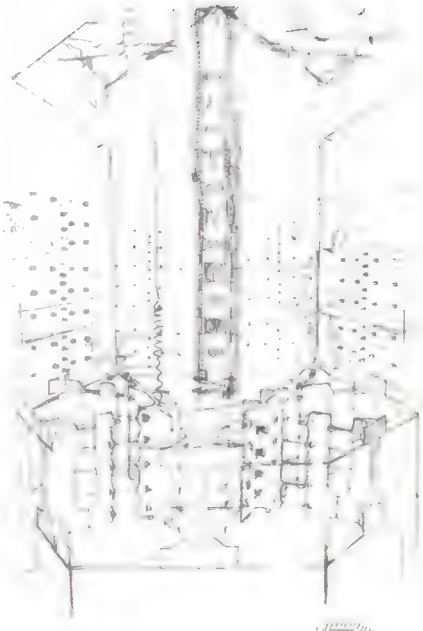

memo2
07031Sotara

Nerv Headquarters North Wing Installation No.81 Central Elevator No.975



NERV 本部北棟第 81 施設中央 975 号エレベーター 設定 /okama

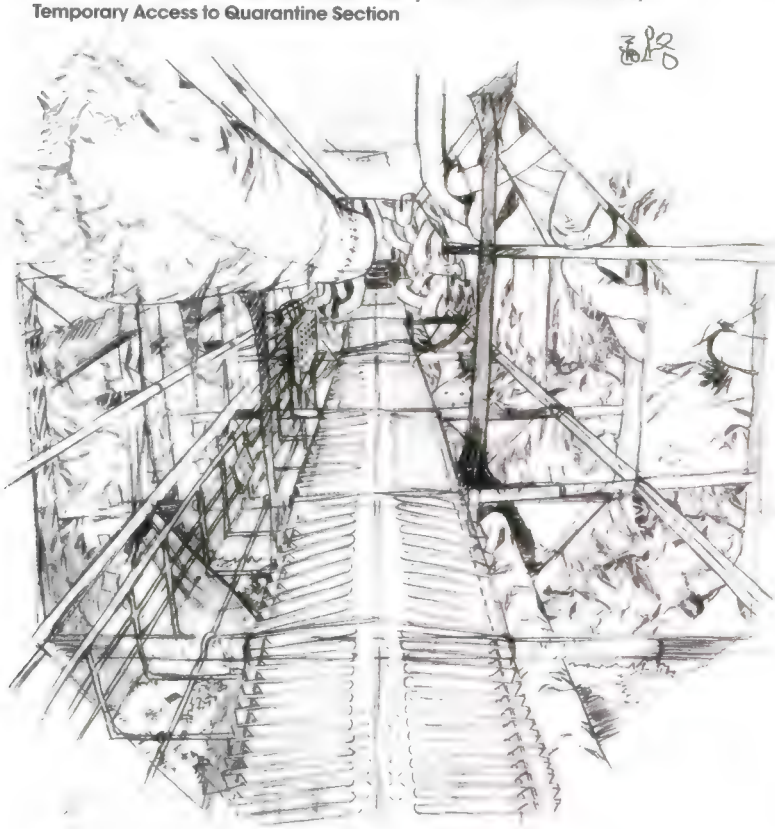


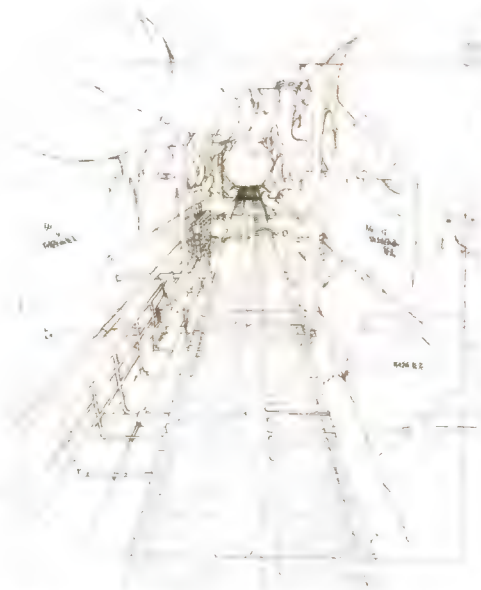


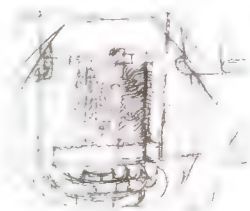
エレベーター通路 設定案 /okama

エレベーター本体 3DCG モデル

Ultra Important Life Form Maximum Security Vault Forward Entrance, Temporary Access to Quarantine Section

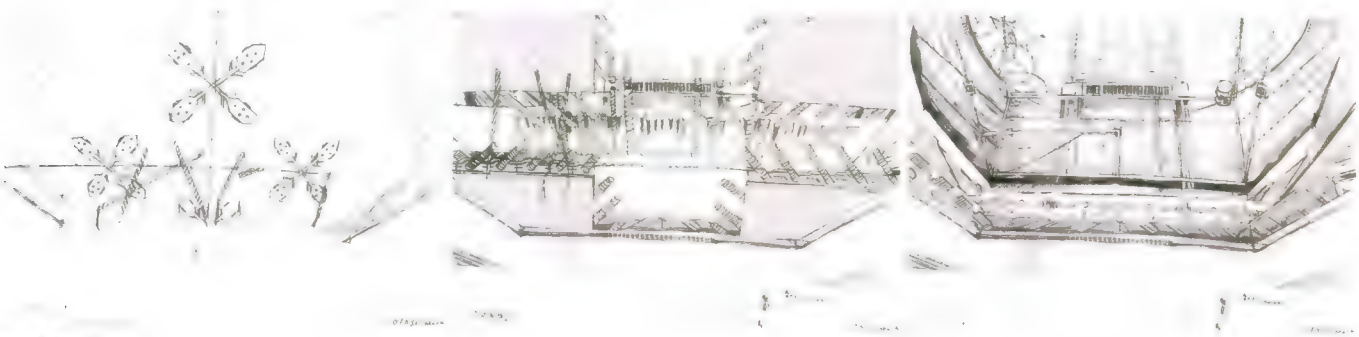






C-1387 レイアウト / コヤマシゲト

最重要生体物質重保管庫前 封印所専用仮設通路 設定 okama

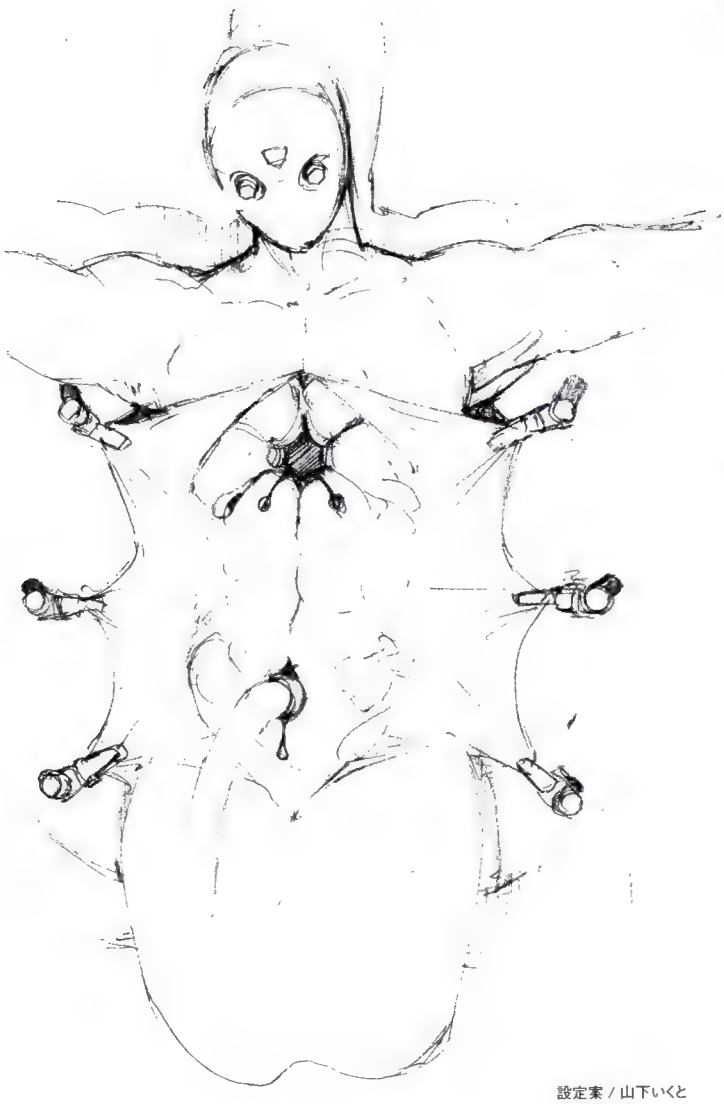


最終扉 設定 okama

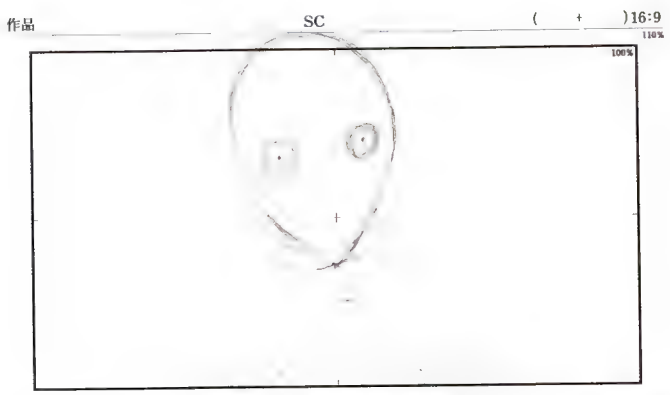
2nd Angel Lilith

C-1394 リリス全身像 修正原画 / 庵野秀明

C-1395 第2の使徒 リリスの仮面 修正原画 / 庵野秀明

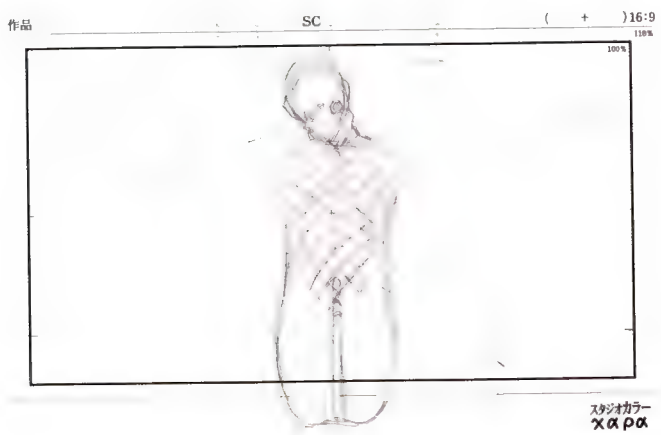


設定案 / 山下いくと



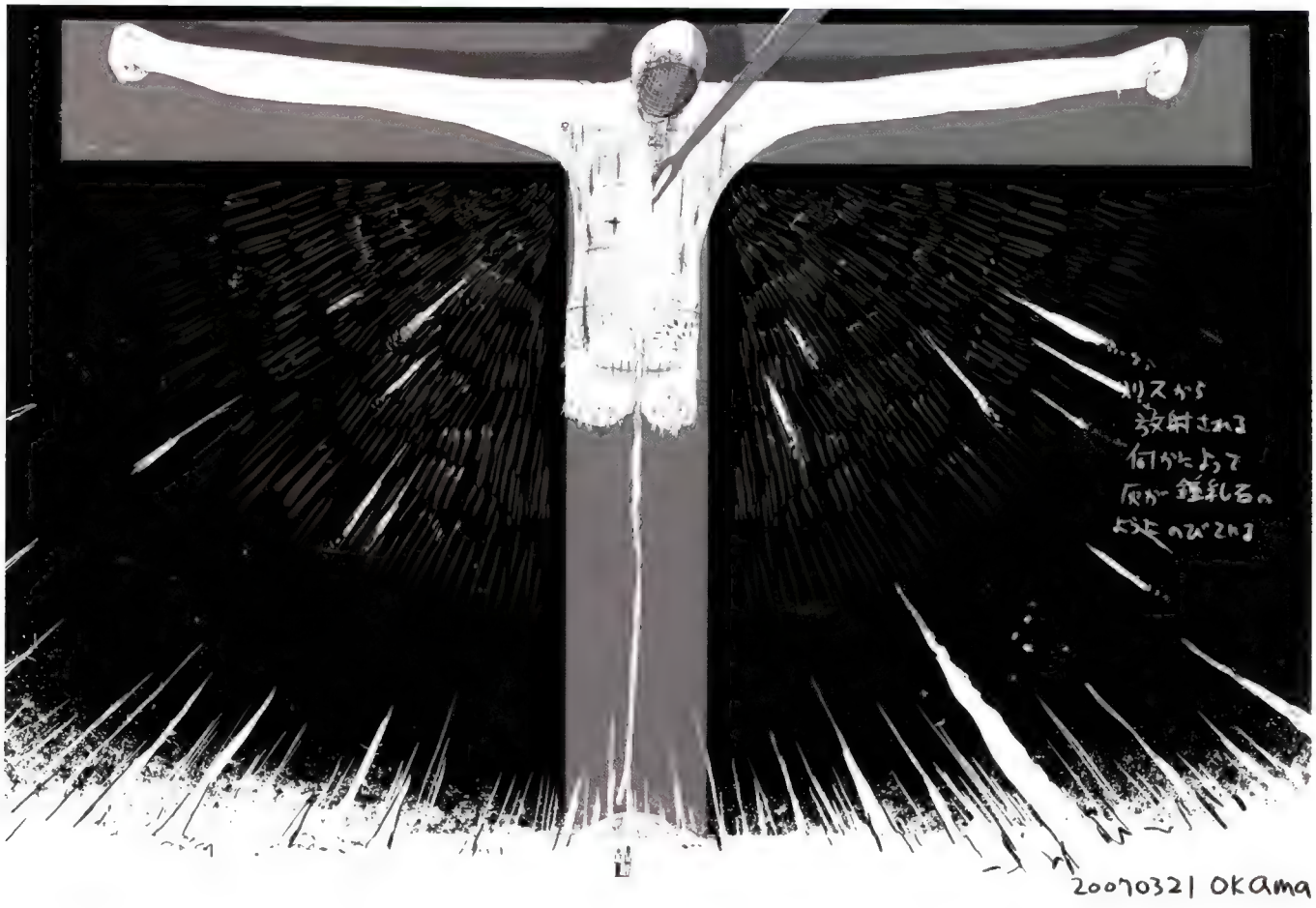
スタジオカラー
χαρα

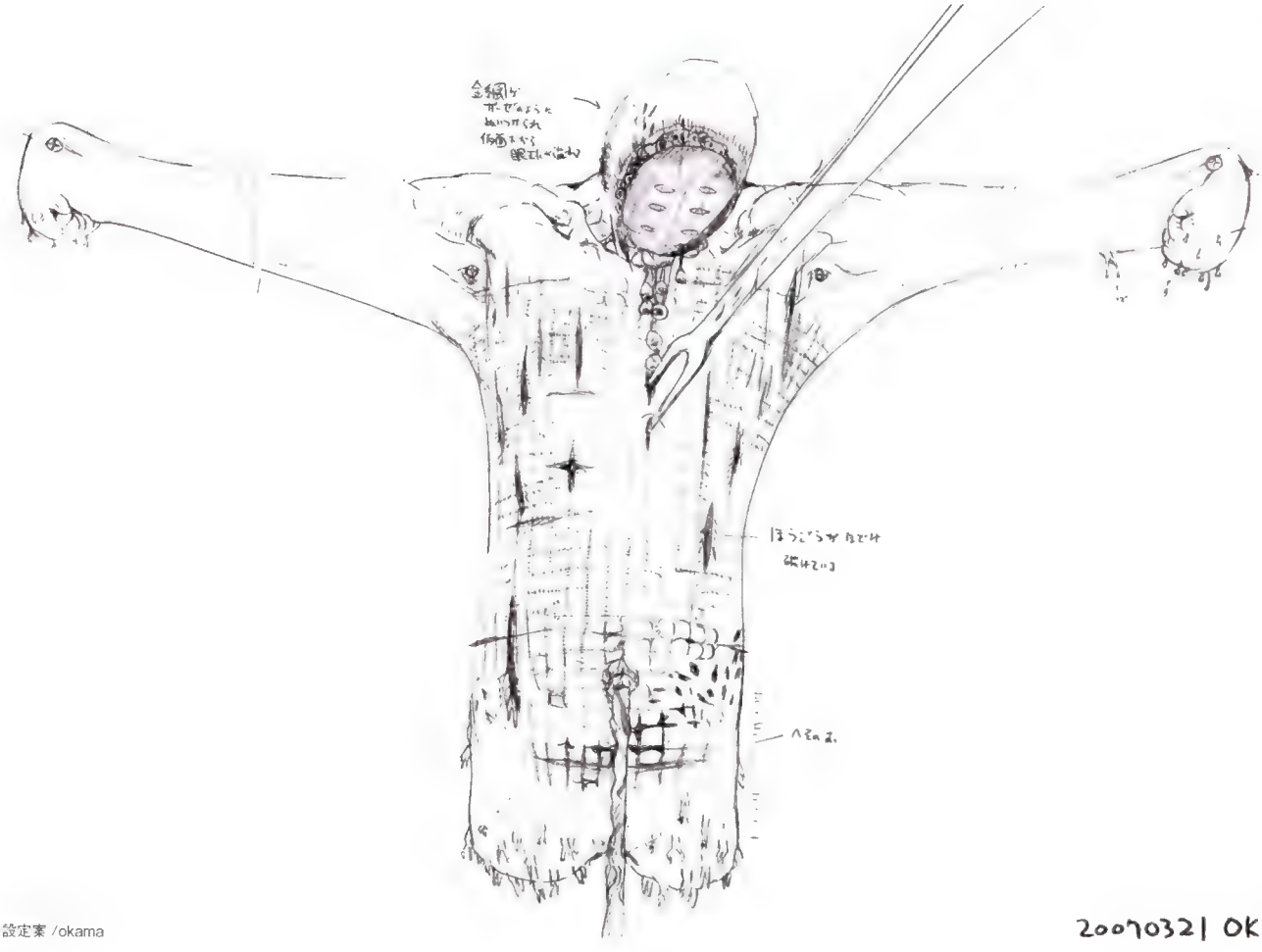
C-1395 試案 / 庵野秀明



スタジオカラー
χαρα

C-1394 試案 / 庵野秀明


リスから
放射される
何かによって
灰が錯乱するの
ようなのびている
20070321 Okama


20070321 Okama

設定案 /okama

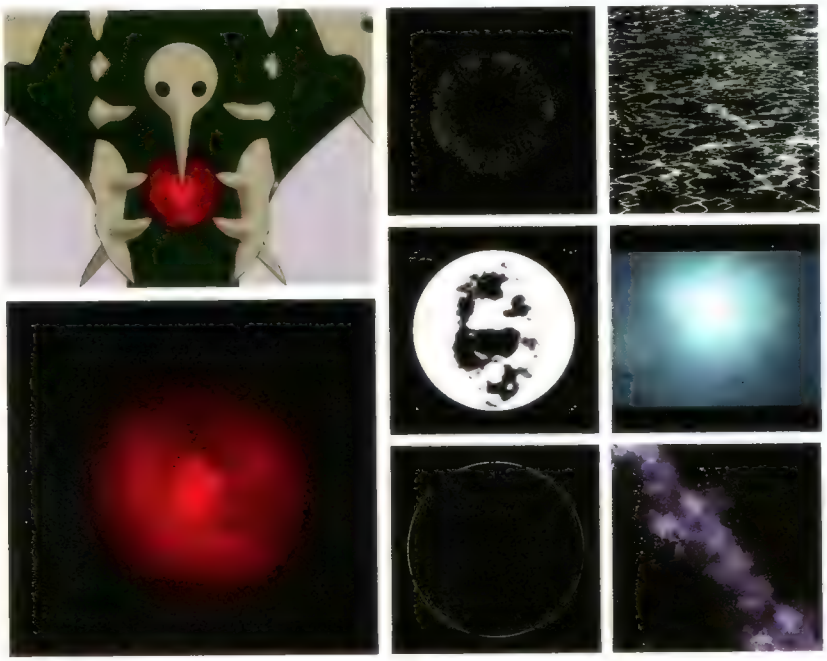
4th Angel

Designs from the TV Series Production (Previously Unpublicized Material)

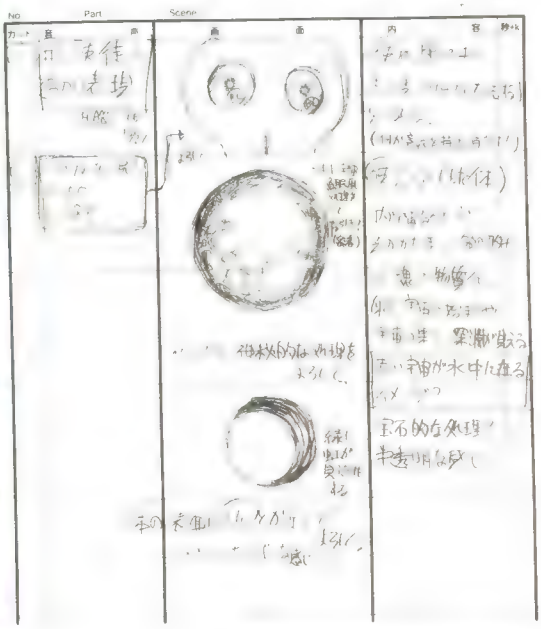
第4使徒「レリエル」時の設定　あさいよしとも

The Core

χαρα



上：貼り込まれている CG 素材（左）と　その元となる合成素材（右）



使徒とコアの表現についてのメモ　庵野秀明

5th Angel

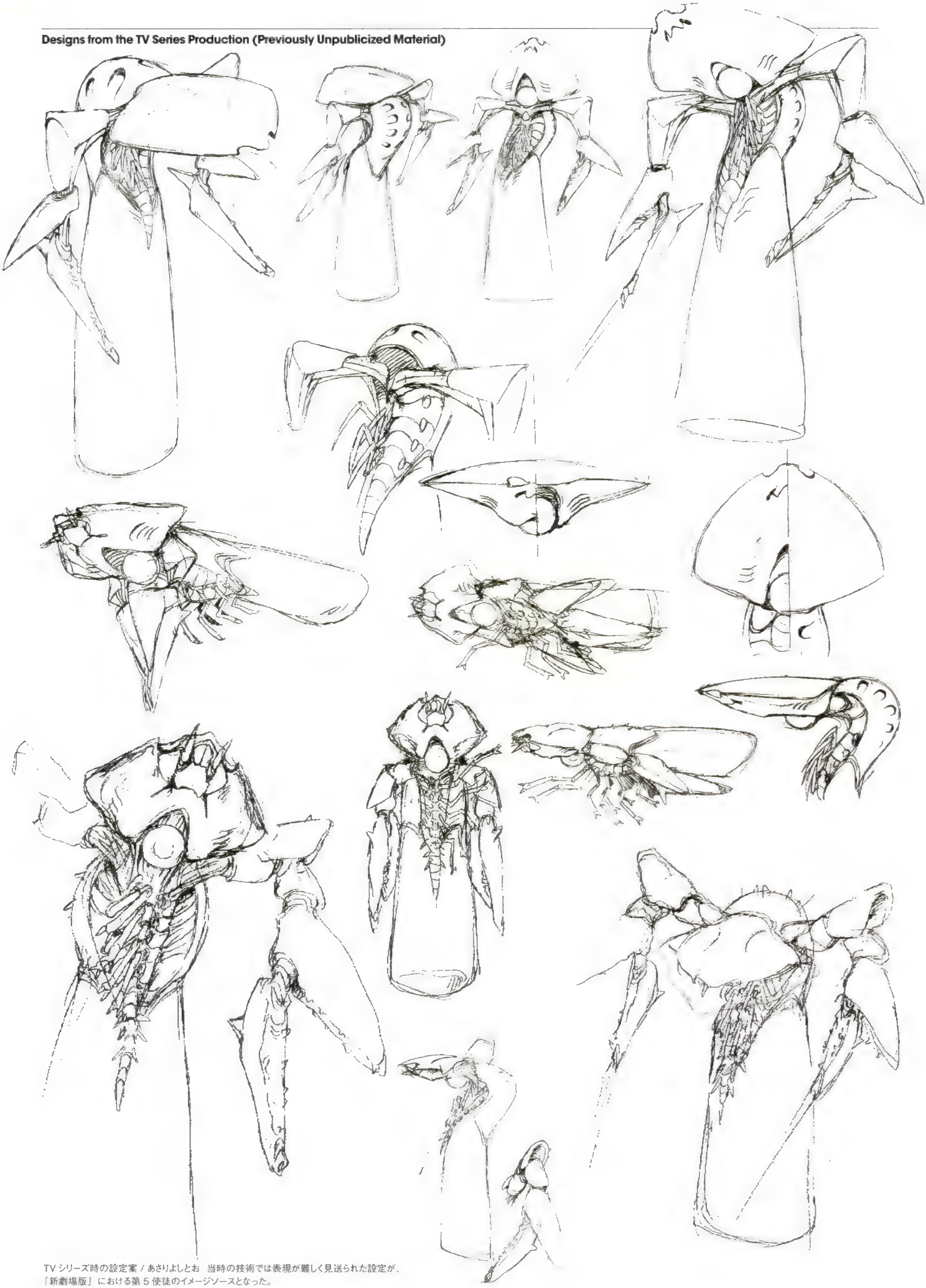
第 5 の使徒 3DCG モデル

3DCG モデルブラッシュアップのためのラフスケッチ / あさりよしとお

横
正面
第5使徒 ② たつ
ここらはカタイ感じで
牛の解体みたく あばらな感じで
きん肉みたく
あばら骨みたく
足の付け根
ビーム
イカみたく やわらかい感じで
足も有です
は洋利さんのでよろしく。
③ 第5使徒
頭部の転も有
付け根
ビームは背から月視同じ
足はガクガクと動いて口。
頭
ケータイみたく開く

設定ラフ / 庵野秀明

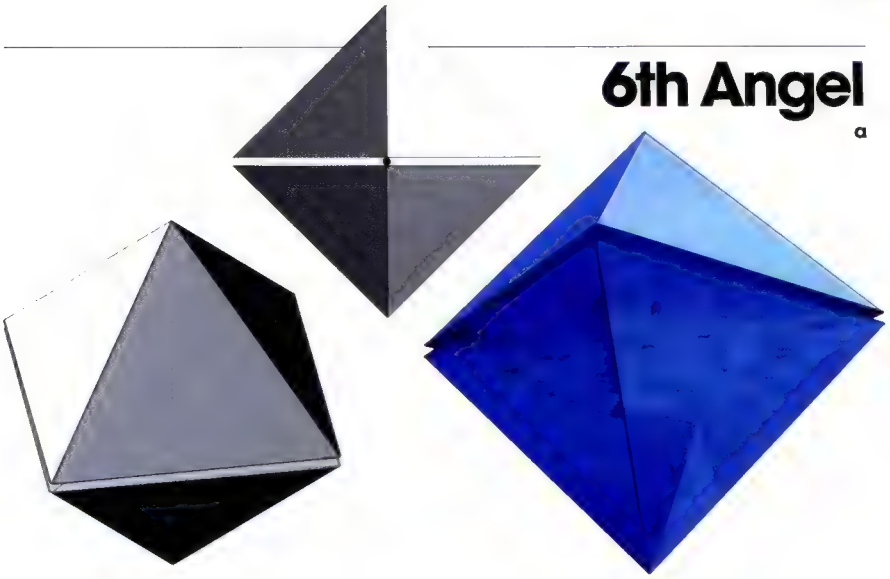
Designs from the TV Series Production (Previously Unpublicized Material)



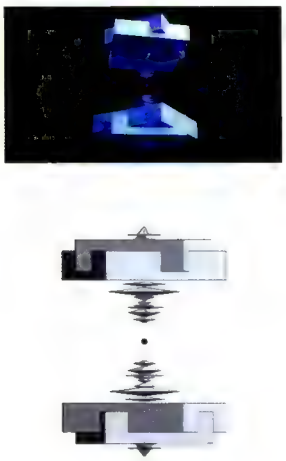
TV シリーズ時の設定案 / あさりよしとお　当時の技術では表現が難しく見送られた設定が、「新劇場版」における第 5 使徒のイメージソースとなった。

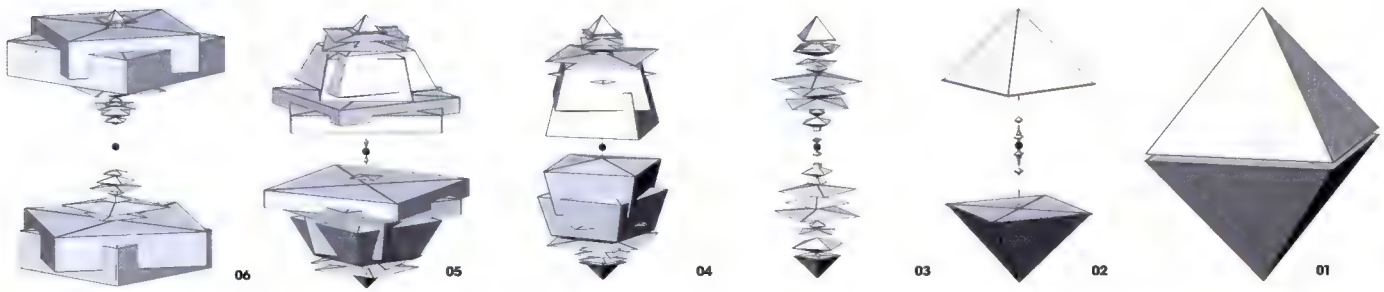
6th Angel

a



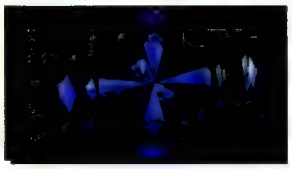
b

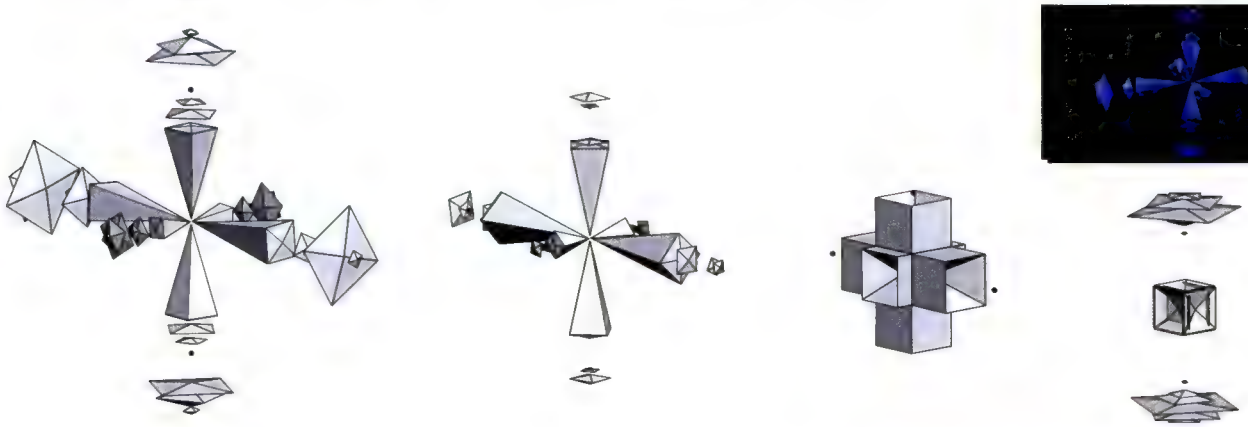




01 02 03 04 05 06

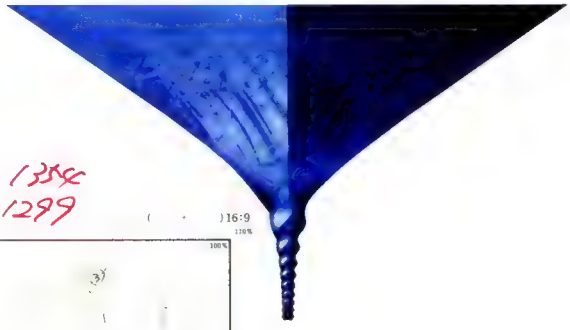
c

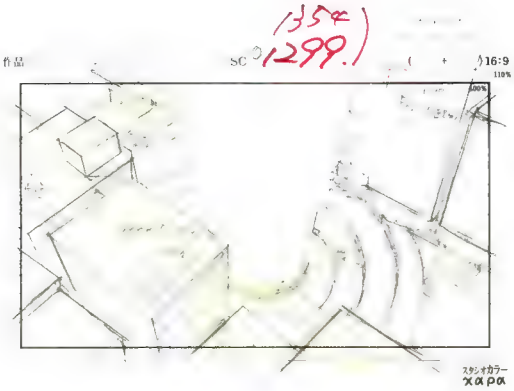


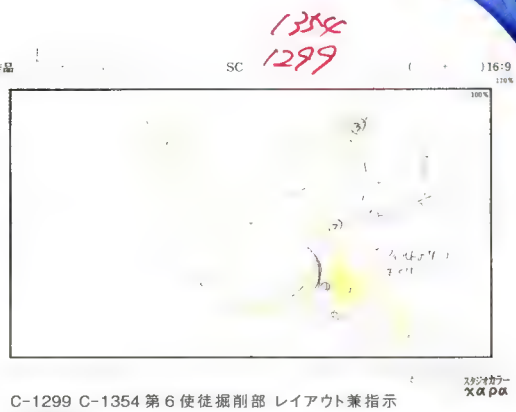


01 02 03 04

d

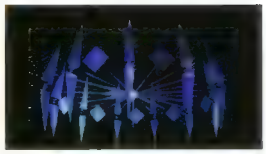






C-1299 C-1354 第 6 使徒掘削部 レイアウト兼指示
/ 鶴巻和哉

e



03

02

01

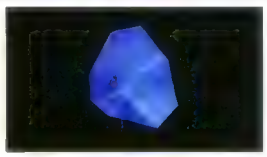
07

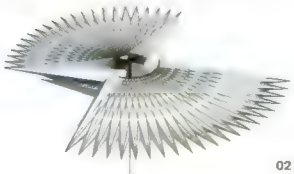
06

05

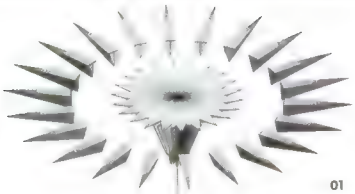
04

f



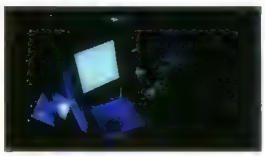


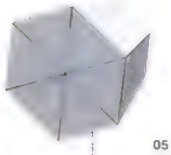
02



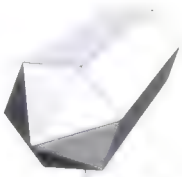
01

g





05



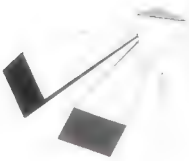
04

03

09

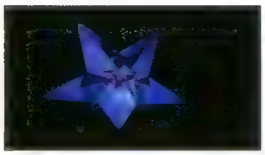
08

07

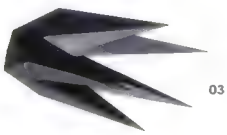


06

h



04

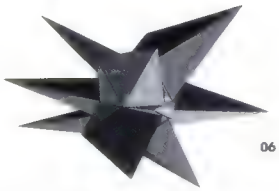


03

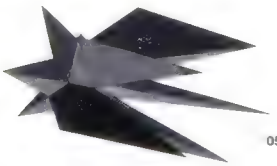
02

01

07

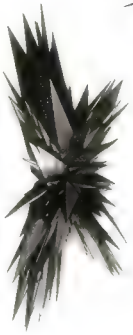


06

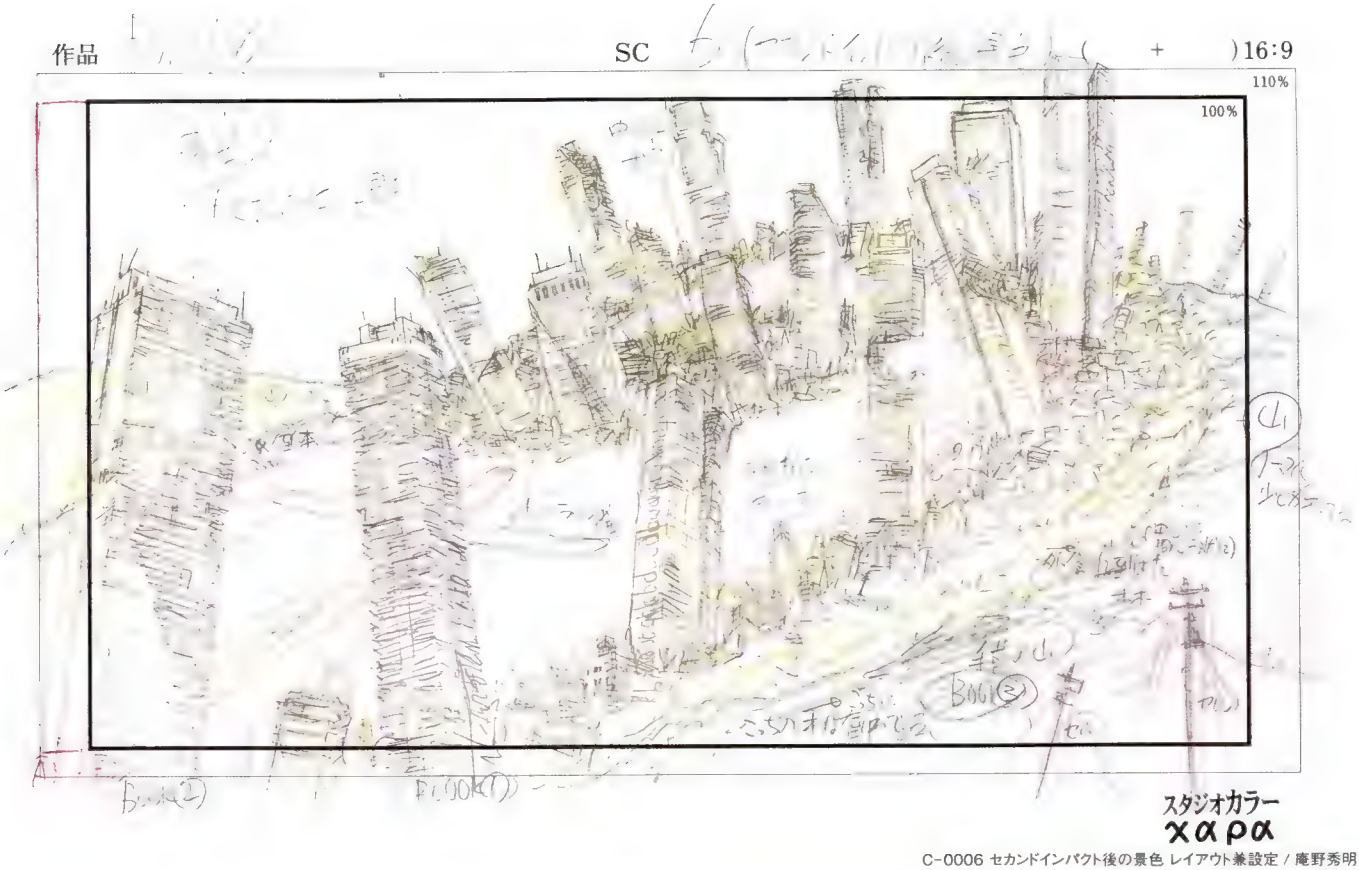


05

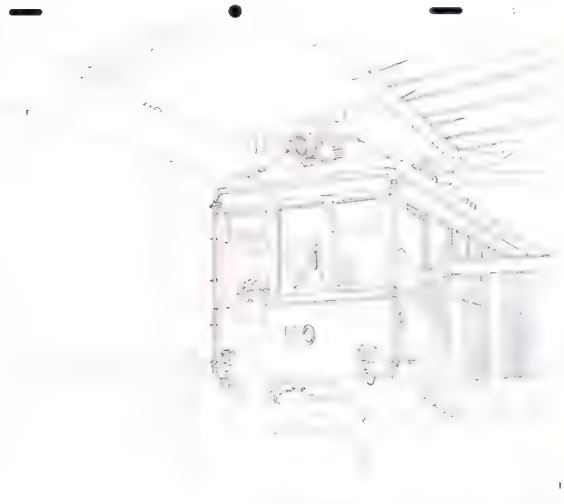
z



Miscellaneous

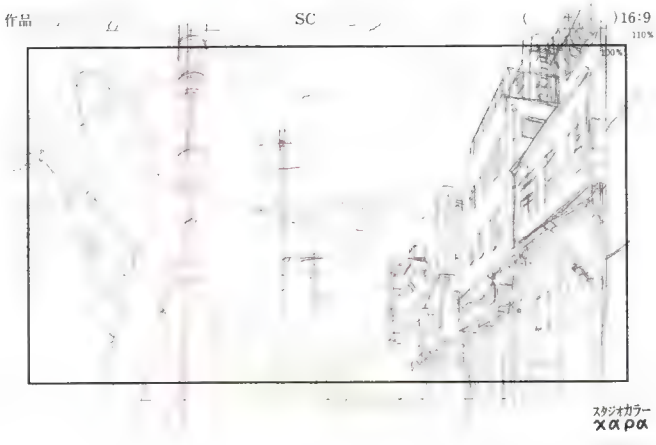


C-0006 セカンドインパクト後の景色 レイアウト兼設定 / 庵野秀明

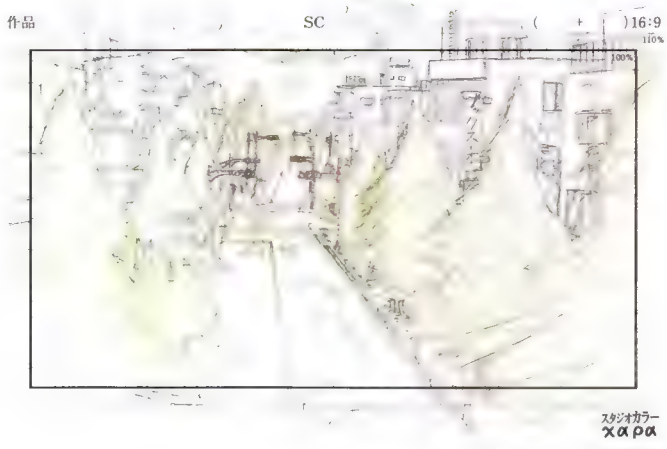


C-0032 箱根鉄道モハ２型110 原画 / 田中達也

C-0004 護衛艦 原画 / 増尾昭一

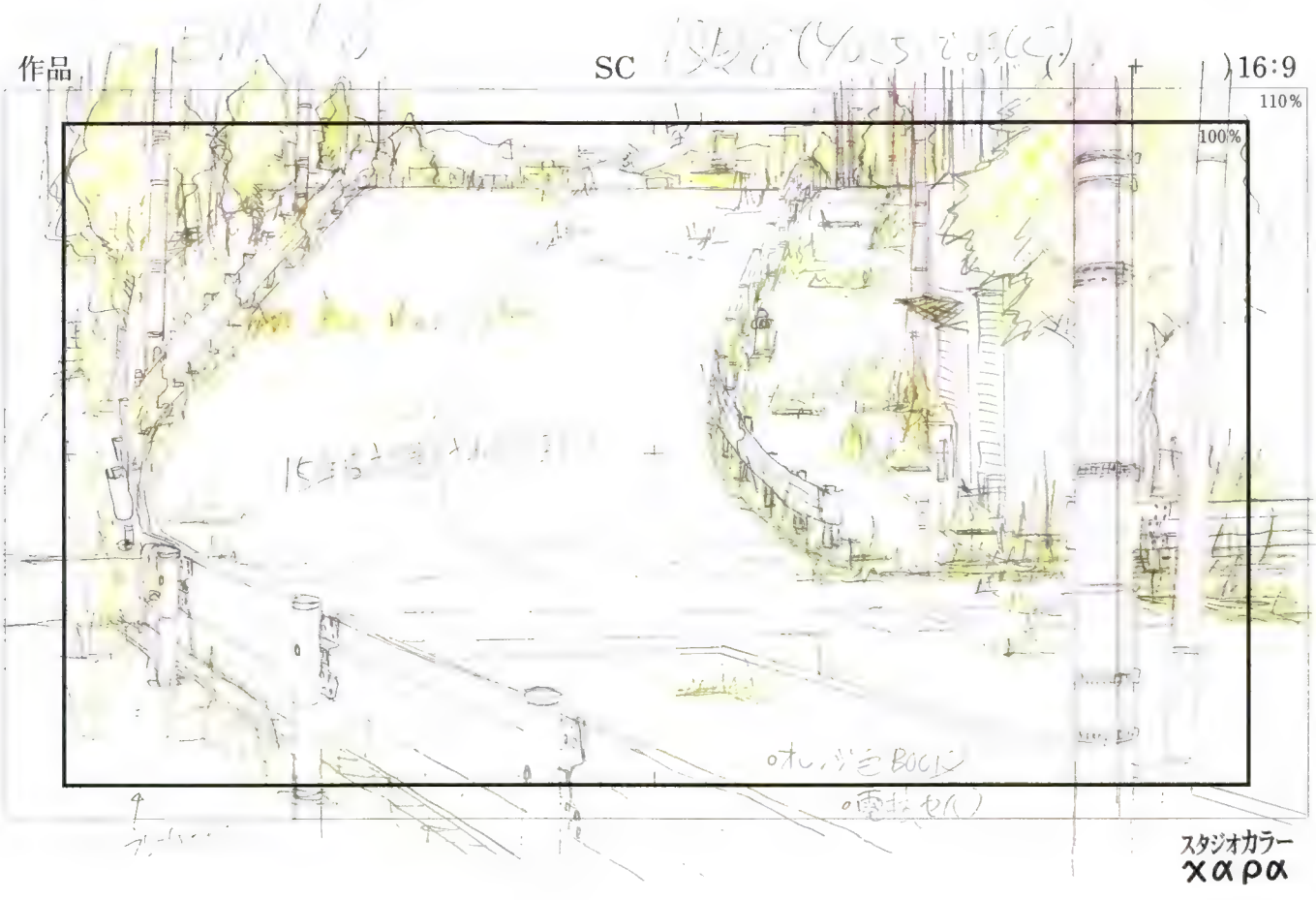


C-0023 レイアウト / 庵野秀明

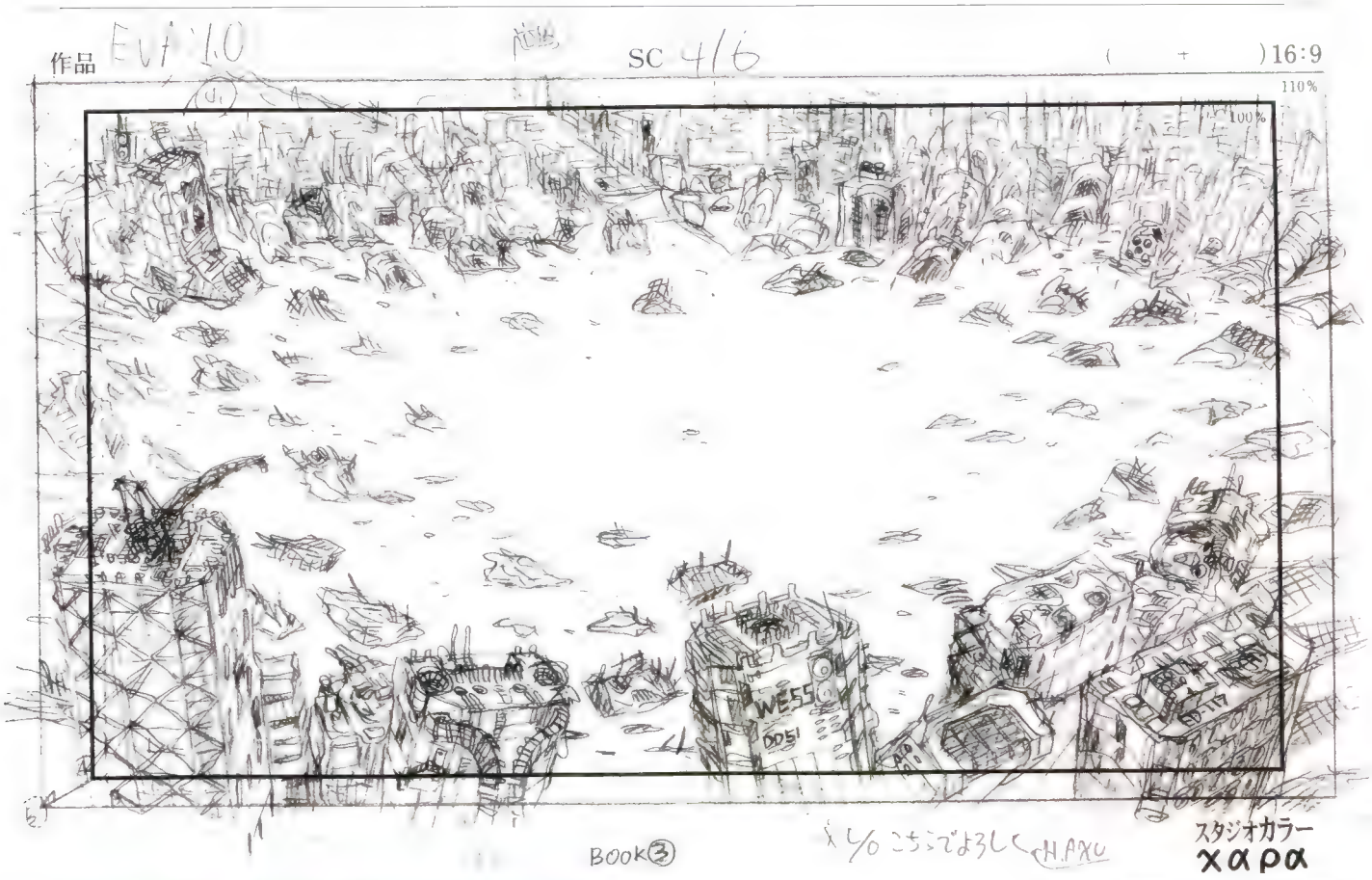


C-0022 レイアウト / 庵野秀明

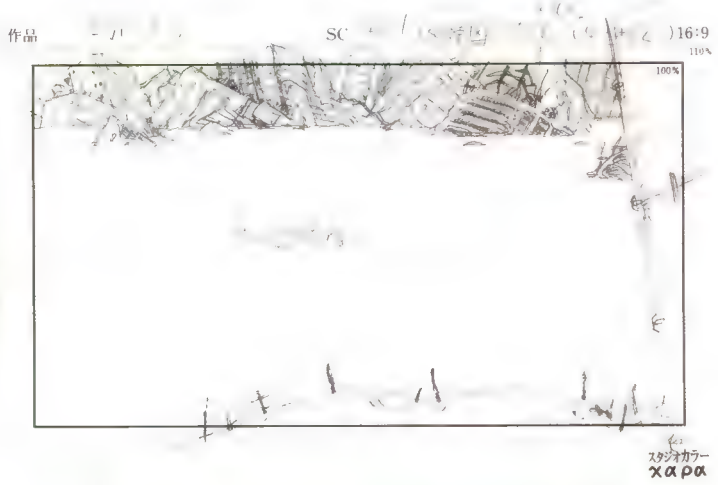
C-0011 レイアウト / 庵野秀明

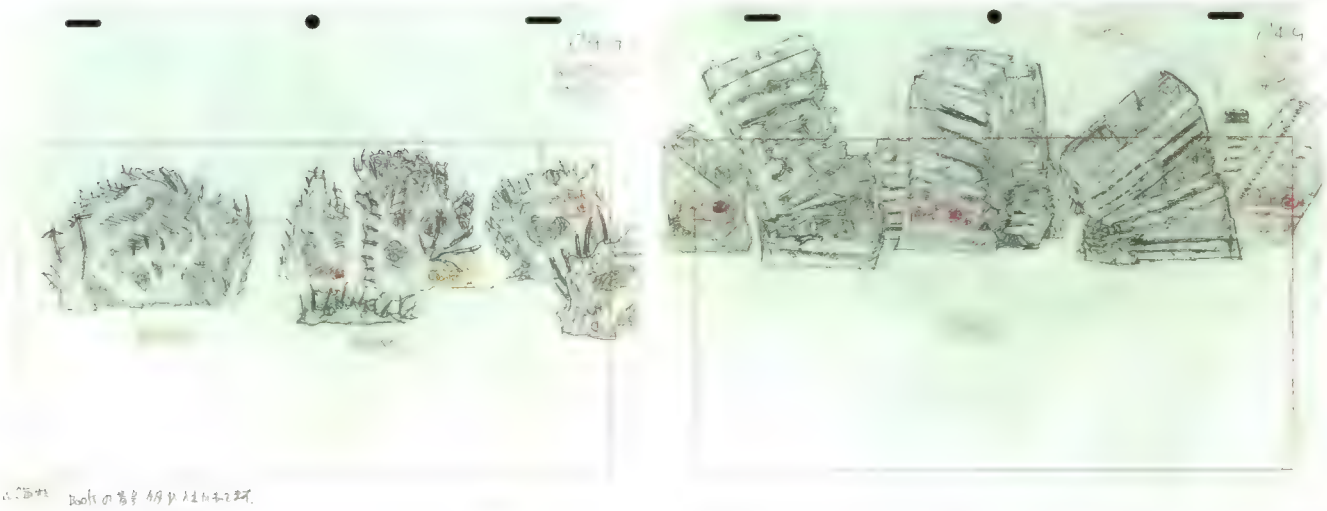


C-0015B C-0018 レイアウト / 庵野秀明

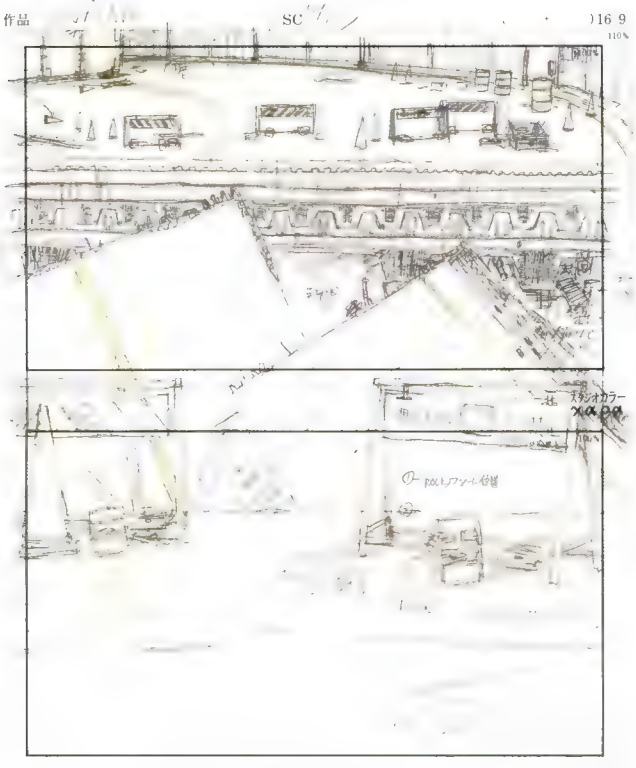


C-0416 第4使徒爆心地 レイアウト / 庵野秀明

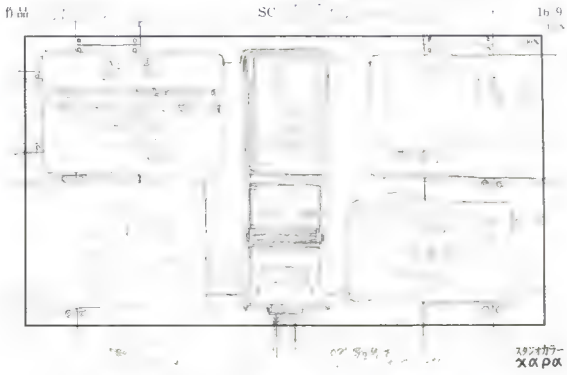




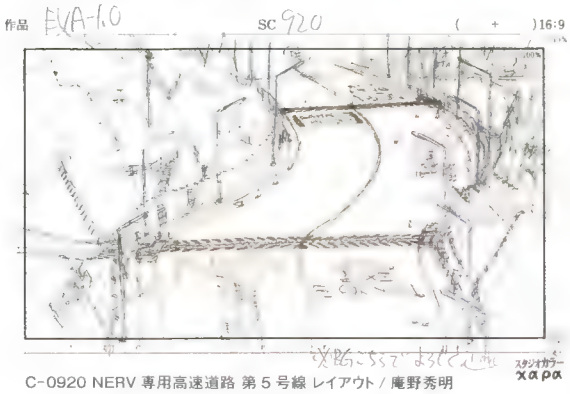
C-0446(欠番・左上) C-0421(右上)C-0439(左下・右下) レイアウト兼設定 / 小松田大全・庵野秀明



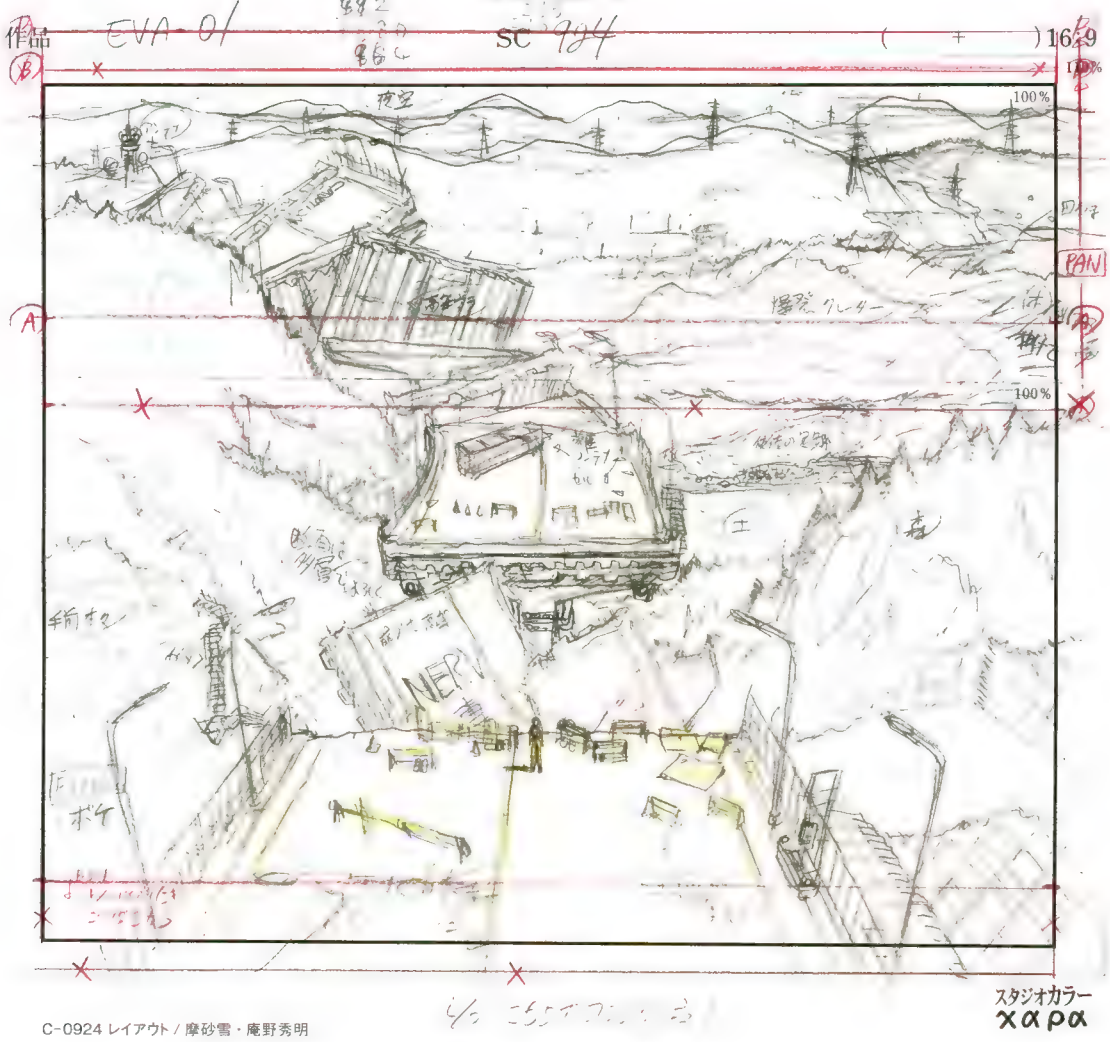
C-0923 背景原図用修正レイアウト / 庵野秀明



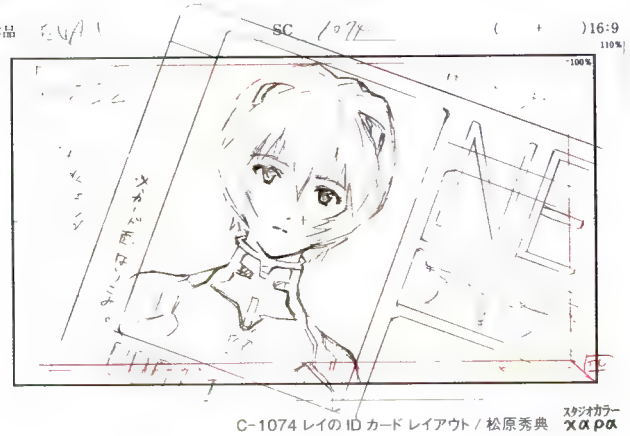
C-0918B 高速道路トンネル内の非常電話 レイアウト / 庵野秀明



C-0920 NERV 専用高速道路 第 5 号線 レイアウト / 庵野秀明

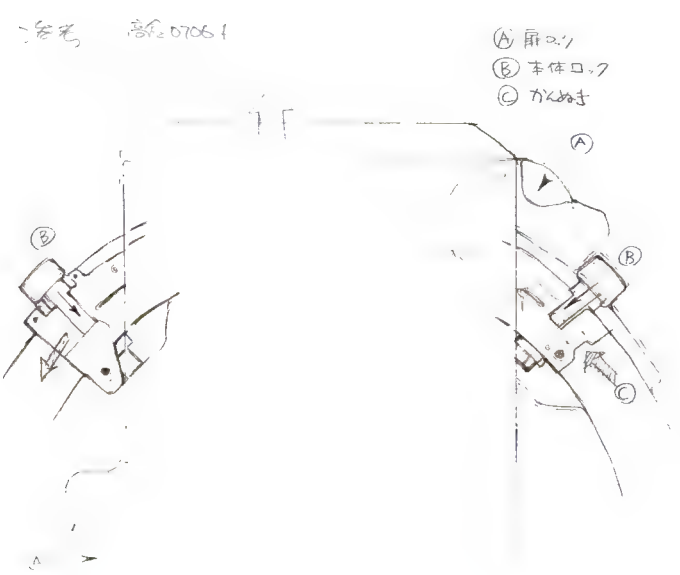


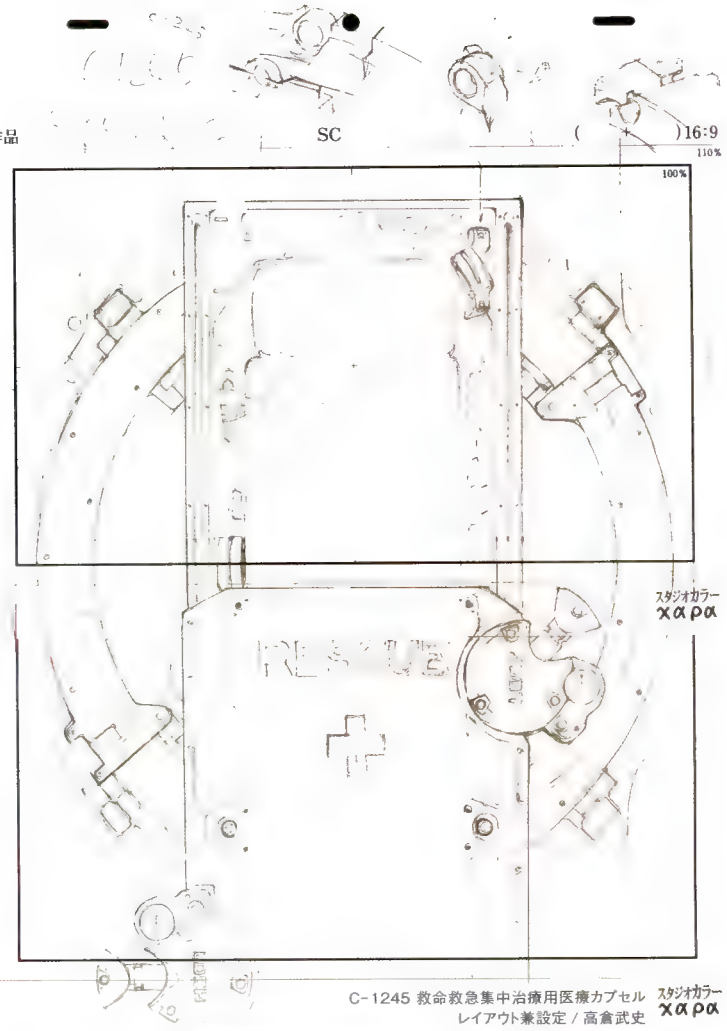
C-0924 レイアウト / 摩砂雪・庵野秀明



C-1074 レイの ID カード レイアウト / 松原秀典 スタジオカラー

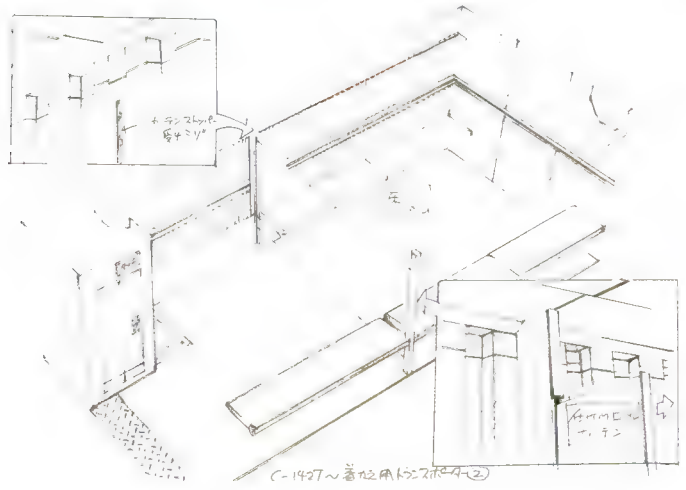
アイキャッチ レイアウト / 庵野秀明



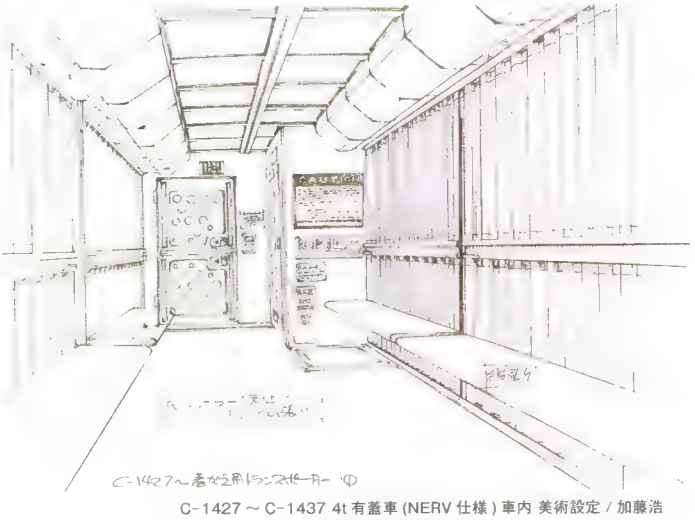


C-1245 救命救急集中治療用医療カプセル レイアウト兼設定 / 高倉武史 スタジオカラー

設定補足 / 高倉武史(上) 貼り込み素材(下)

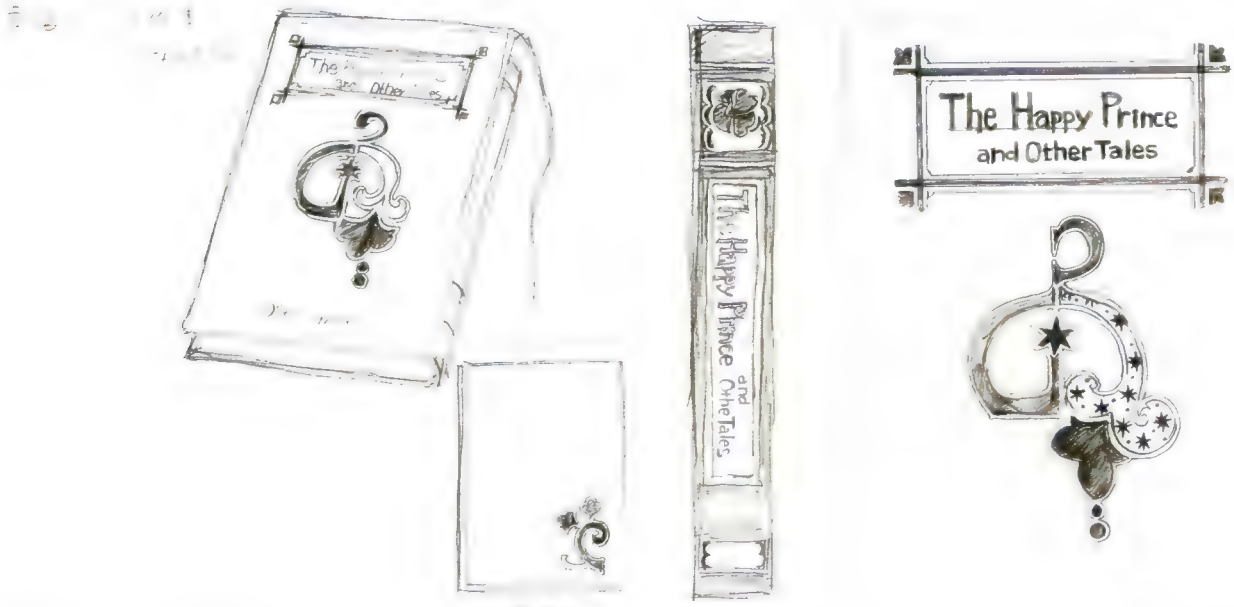


C-1427～著力2用トランスポーター②

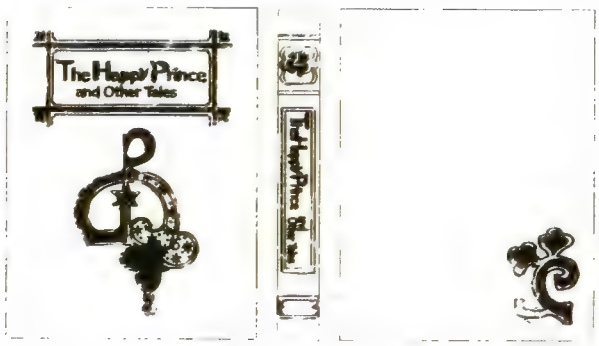


C-1427～著力2用トランスポーター ①

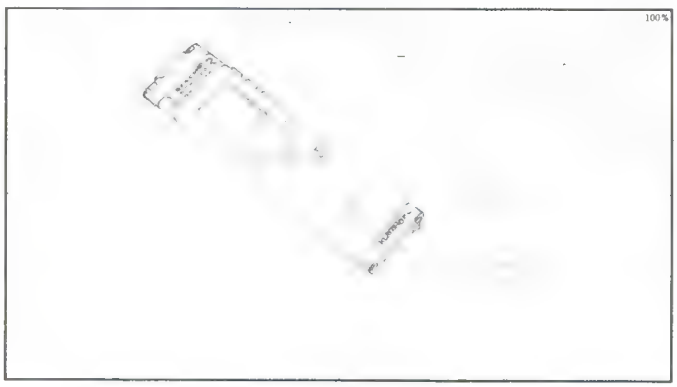
C-1427 ～ C-1437 4t 有蓋車 (NERV 仕様) 車内 美術設定 / 加藤浩



「幸福の王子」装丁デザイン / 安野モヨコ
C-1340、C-1341 でレイが読んでいた本。

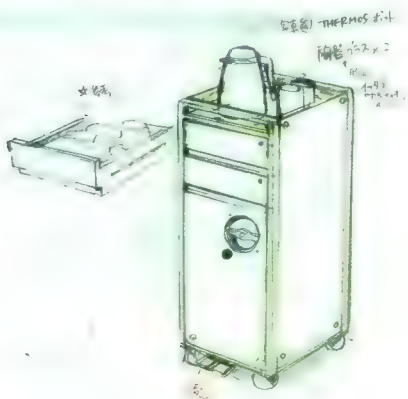


貼り込み素材

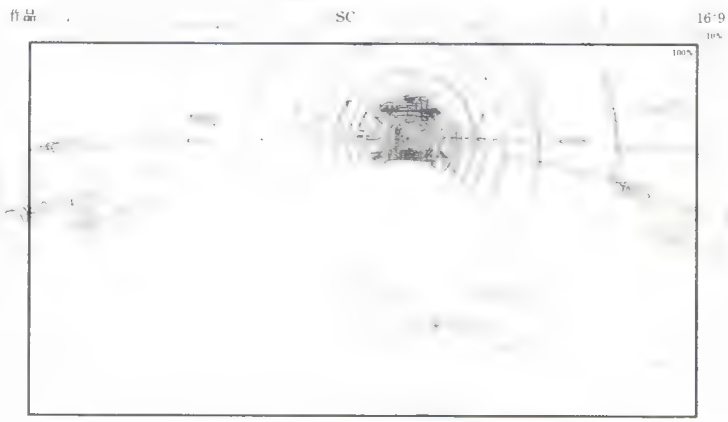


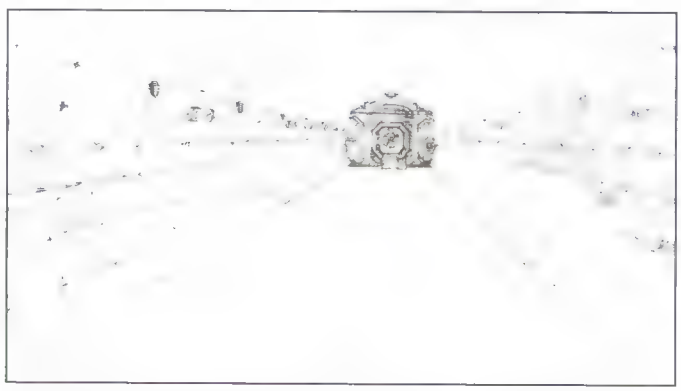
C-1438 ステレオ IC レコーダー ICD-RX-78 レイアウト兼設定 / 庵野秀明

病院検査機器 設定ラフ　鶴巻和哉



病院食のカーゴ 設定ラフ / 鶴巻和哉

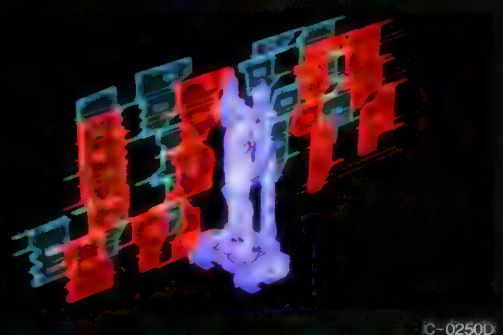




C-1444 第 3 新東京市 重度災害対応型大深度地下待避壕内 レイアウト兼設定 / 庵野秀明 (上)
背景原図 / 高倉武史 (下)

Monitor Display Screens

NERV 本部 総合戦闘指揮所 発令所モニター



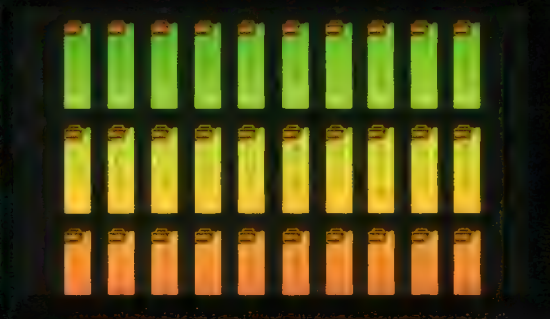
C-0250D

C-0069

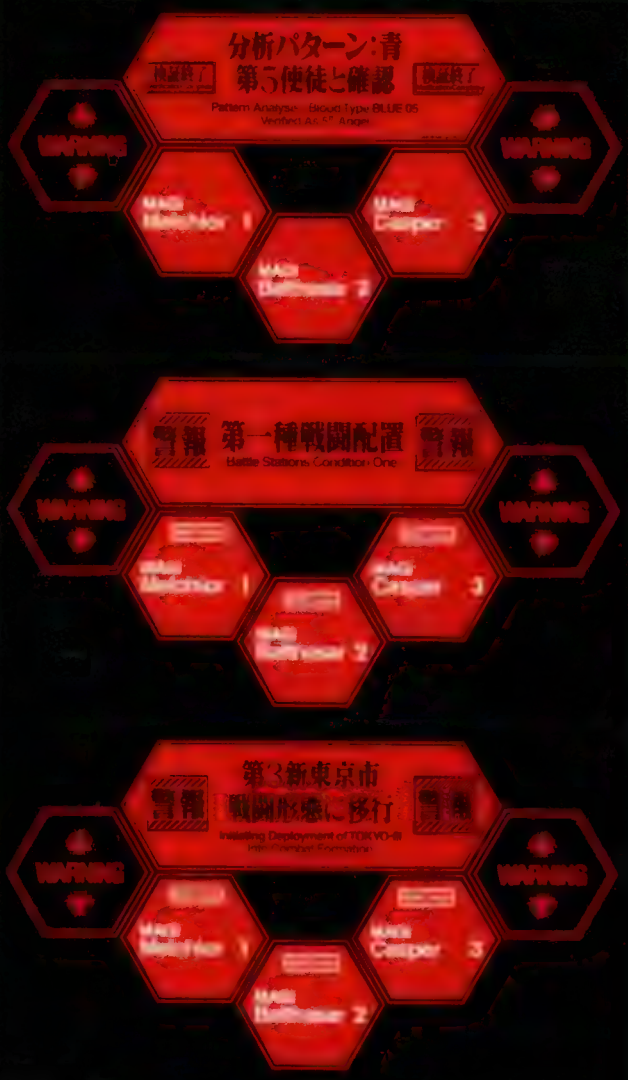
C-0323

C-0155

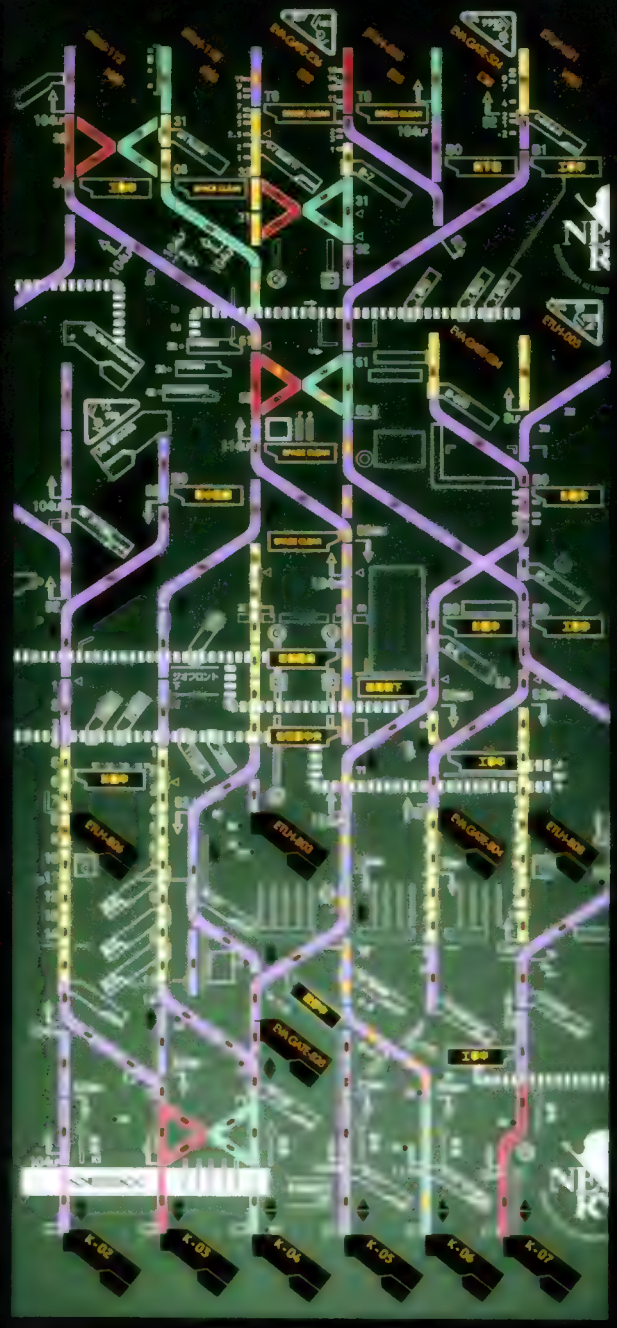
C-0420D(火線)



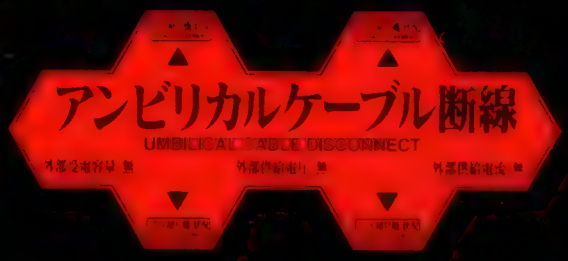
C-0345

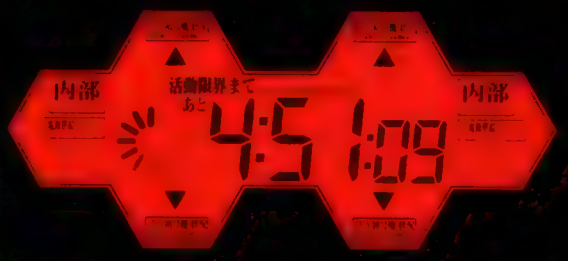


D-0062



C-0257 C-0267

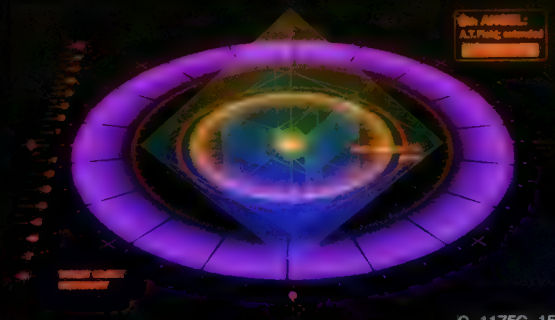




C-0003

C-0760

C-0004

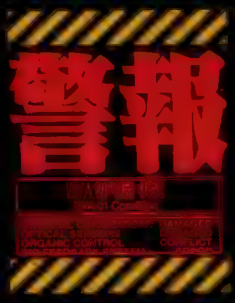


C-1175C-1546

C-0744

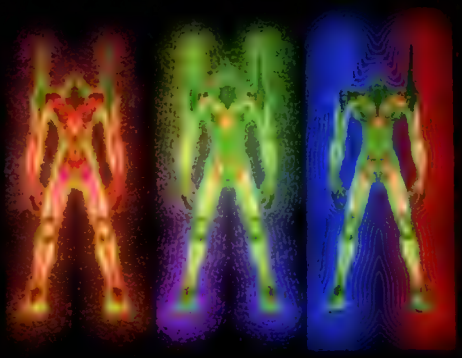
C-11[illegible]

C-0[illegible]



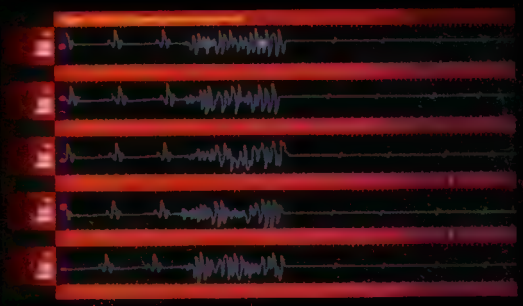
C-1201

C-0[illegible]



C-1204

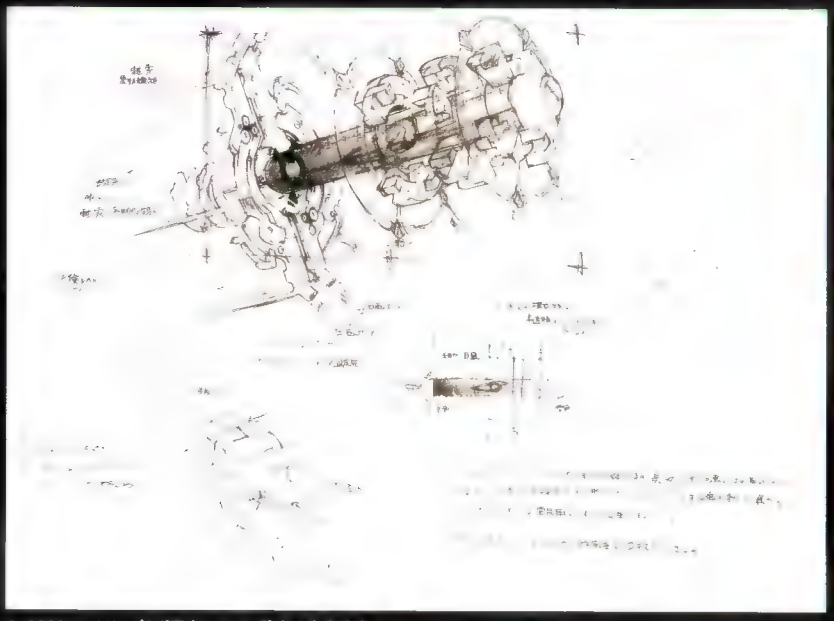
C-1042



C-1237

C-1[illegible]

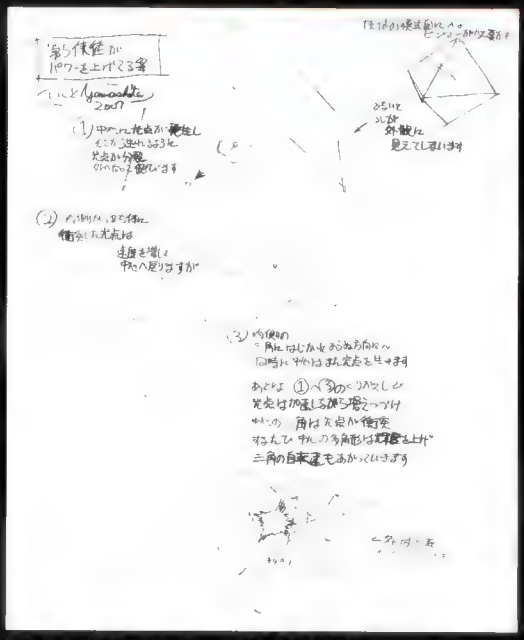
C-1496



C-0233 エントリープラグ深度モニター 設定 / 高倉武史

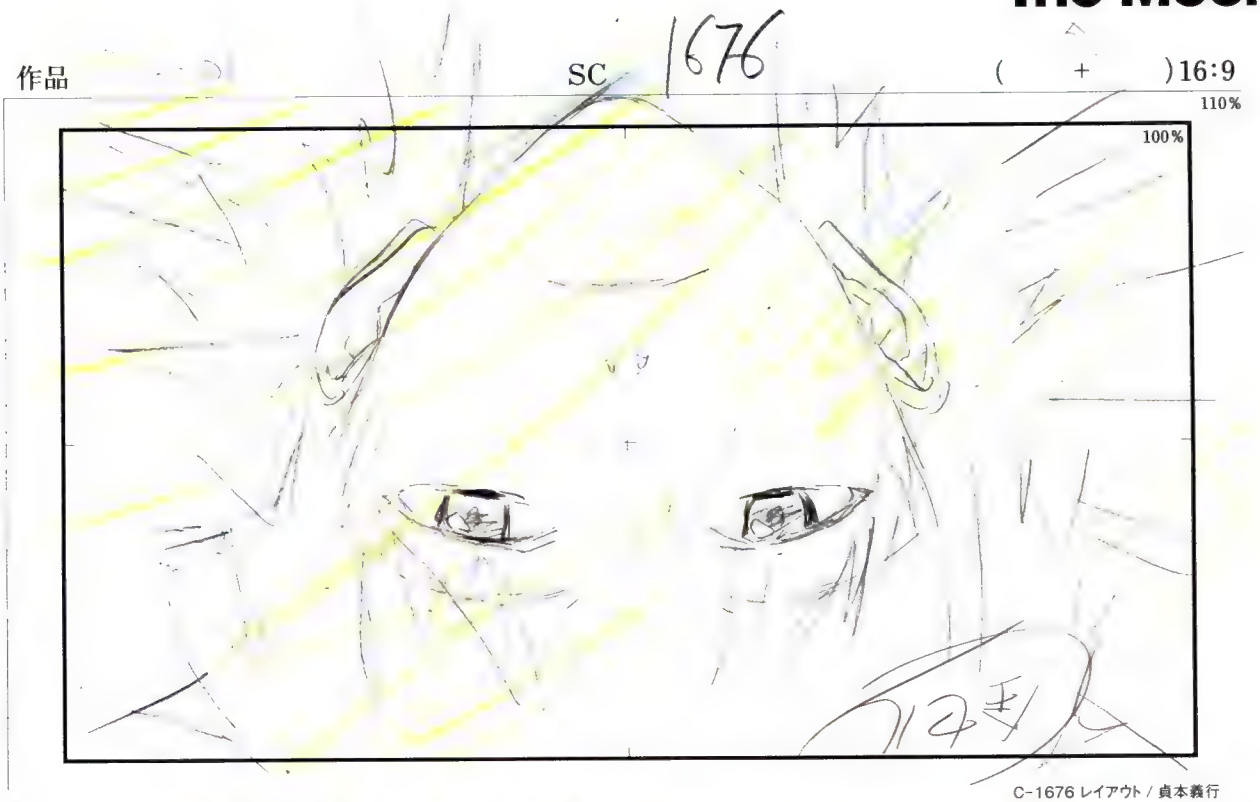
C-1508A

NERV 本部 統合戦闘指揮所 発令所モニター 設定案 / 山下いくと

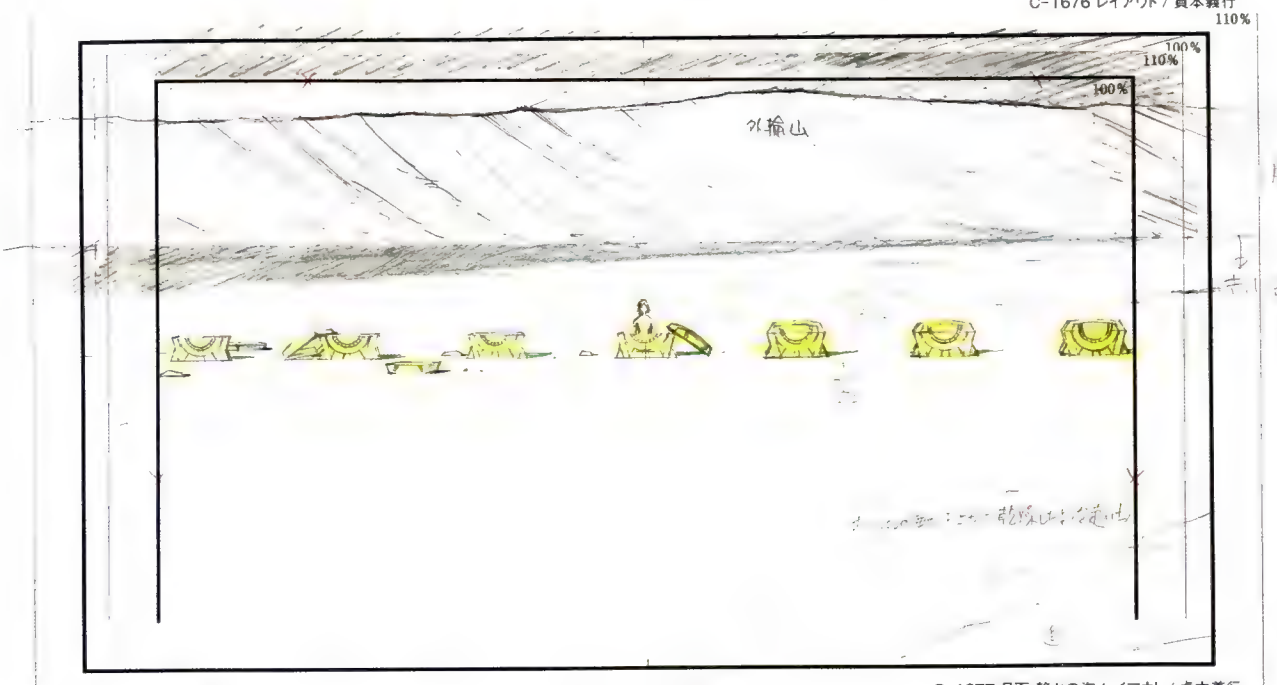


第6使徒エネルギー反応モニター 設定案 / 山下いくと

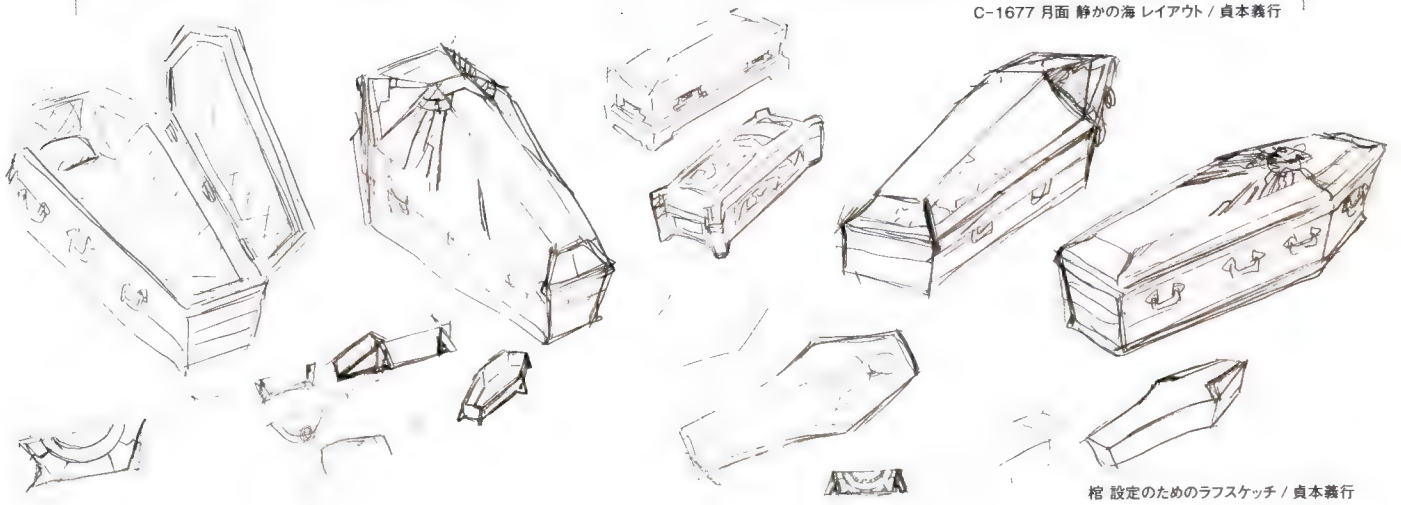
The Moon



C-1676 レイアウト / 貞本義行



C-1677 月面 静かの海 レイアウト / 貞本義行



棺 設定のためのラフスケッチ / 貞本義行

作品 SC 1680. (+)16:9

110%

100%

C-1680 NERV 第 7 支部 発掘用仮説基地 レイアウト兼設定 / 貞本義行

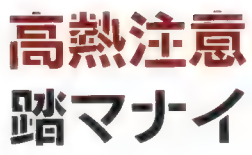
スタジオカラー
χαρα

C-1680 原画 / 貞本義行 修正原画 / 庵野秀明 (左上)

mapping data

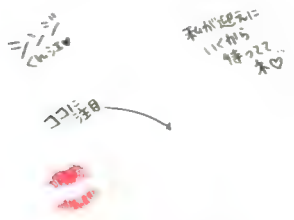
2D 貼り込み素材 / 増田朋子

C-0046A



垂直離着陸対地攻撃機 YAGR-3B 機体・注意書き

C-0013



ミサトの写真・手書き文字 / 安野モヨコ

C-0009

非常用公衆電話・プレート

C-0005

電柱広告

C-0213 C-0409

NERV 中央総合病院・入院札

C-0114B~

S-DAT・ロゴマーク

C-0051~

ミサトの自動車・ナンバープレート

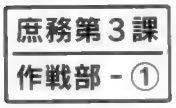
C-0198

点滴袋・ラベル

C-0116

C-22 特別急行列車・表示

C-0497



ミサトの荷物の段ボール箱・シール

C-0228

フライホイール型蓄電器・マーキング

C-0516

ミサトの部屋に置かれた本

C-0422 C-1258

伊吹マヤのサイン

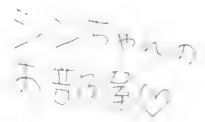
C-0428

人類補完計画第 27 次中間報告書・表紙

C-0564

ンジの荷物の段ボール箱・物流会社ロゴマーク

C-0562



ンジの部屋の襖に貼られた紙・手書き文字
安野モヨコ

C-0537 C-0539

食卓のジュース

C-0519

食卓のチーズ

C-0674

縦垂式高層建築物移動用エ坑・断面の表示

C-0667A

電柱の看板

C-0917E C-0917F

第3新東京市立第壱中学校・備品票

C-0754

EVA 専用電力供給ヒル・注意書き

C-0745

テジタルHDビデオカメラレコーダー・液晶モニター表示

C-0679

第 334 地下避難所・表示

C-0920

NERV 専用高速道路 第5号線・標示

C-1110

薬袋

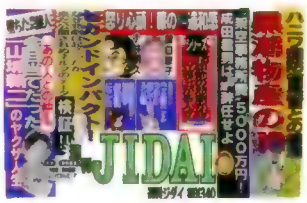
C-1142 C-1290

UCC COFFEE ミルク＆コーヒー・広告

C-0865B

使徒爆心地のフェンス・看板表示

C-0894



第3新東京市高速鉄道第2環状線車内・中吊り広告

C-1110

薬瓶ラベル

C-1093

レイの部屋に置かれた本・背表紙

C-1427

第３新東京市立第壱中学校制服・ワイシャツ・タグ

C-1345

医療器材・シール

C-1289 C-1290

第２新東京市内 街頭モニター・停電のお知らせ

C-1282

重機メーカー・ロゴマーク

C-1281

ヤシマ作戦概要・表紙

C-1447

信号機・表示

C-1444

地下待避壕内・[illegible]箱

C-1388

EX01

ピザハット箱・上面

C-1512

荷物コンテナ・マーキング

最重要生体物厳重保管庫 最終扉・カードキーパネル表示

EX03

獺祭・ラ[illegible]

EX02

UCC COFFEE ミルク＆コーヒー 250ml 缶

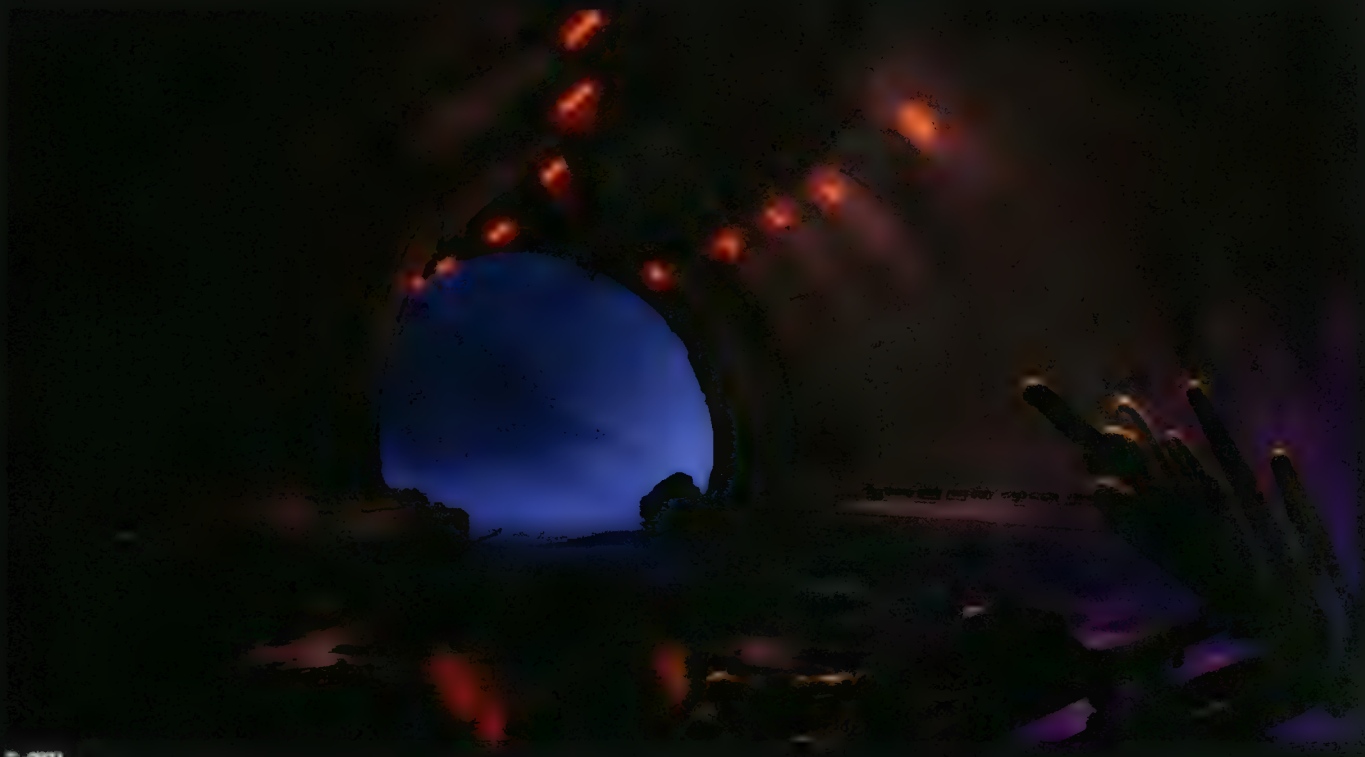
art

P332-342

美術ボード／加藤浩（ととにゃん）・串田達也（美峰）

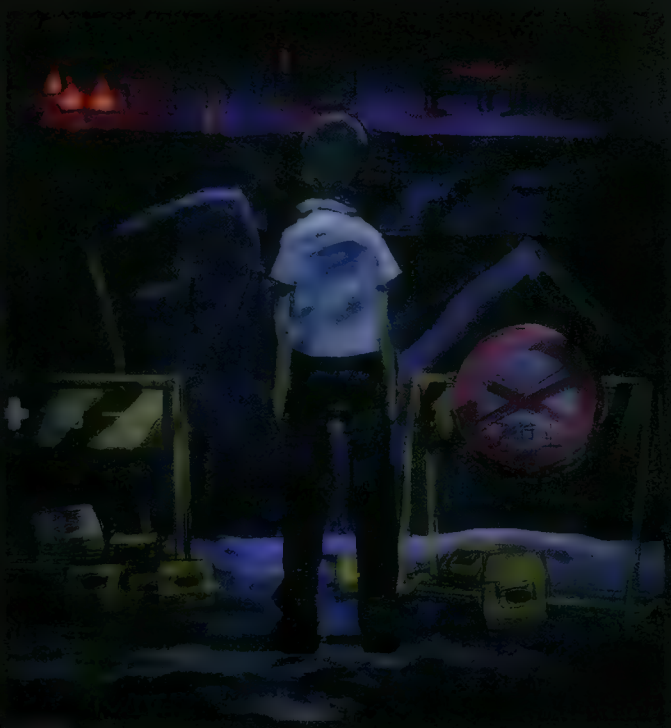
C-[illegible]

C-0125

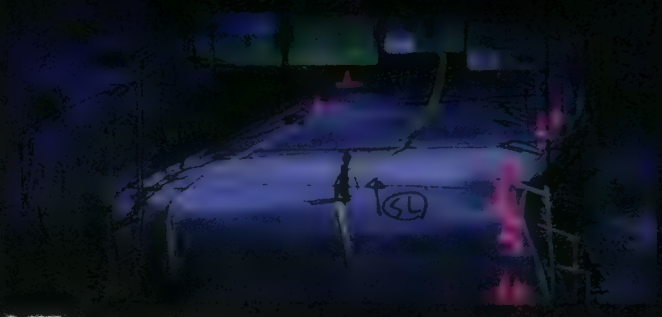


C-0921

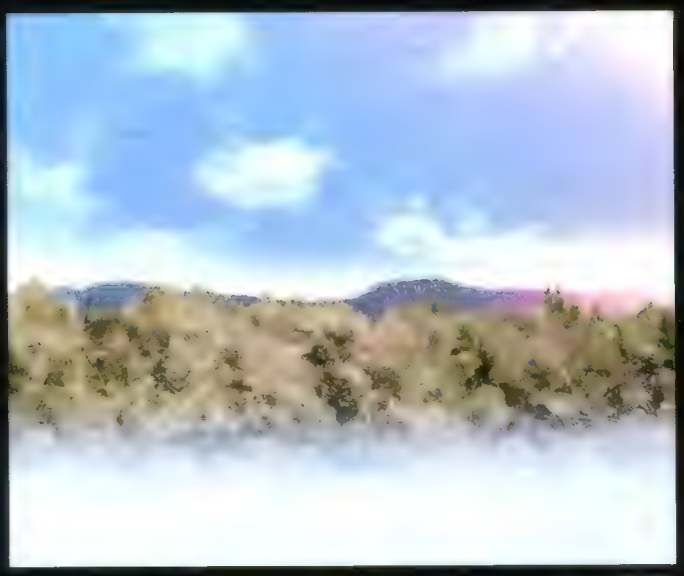
C-0919



C-0923



C-0920



C-0086

C-0077

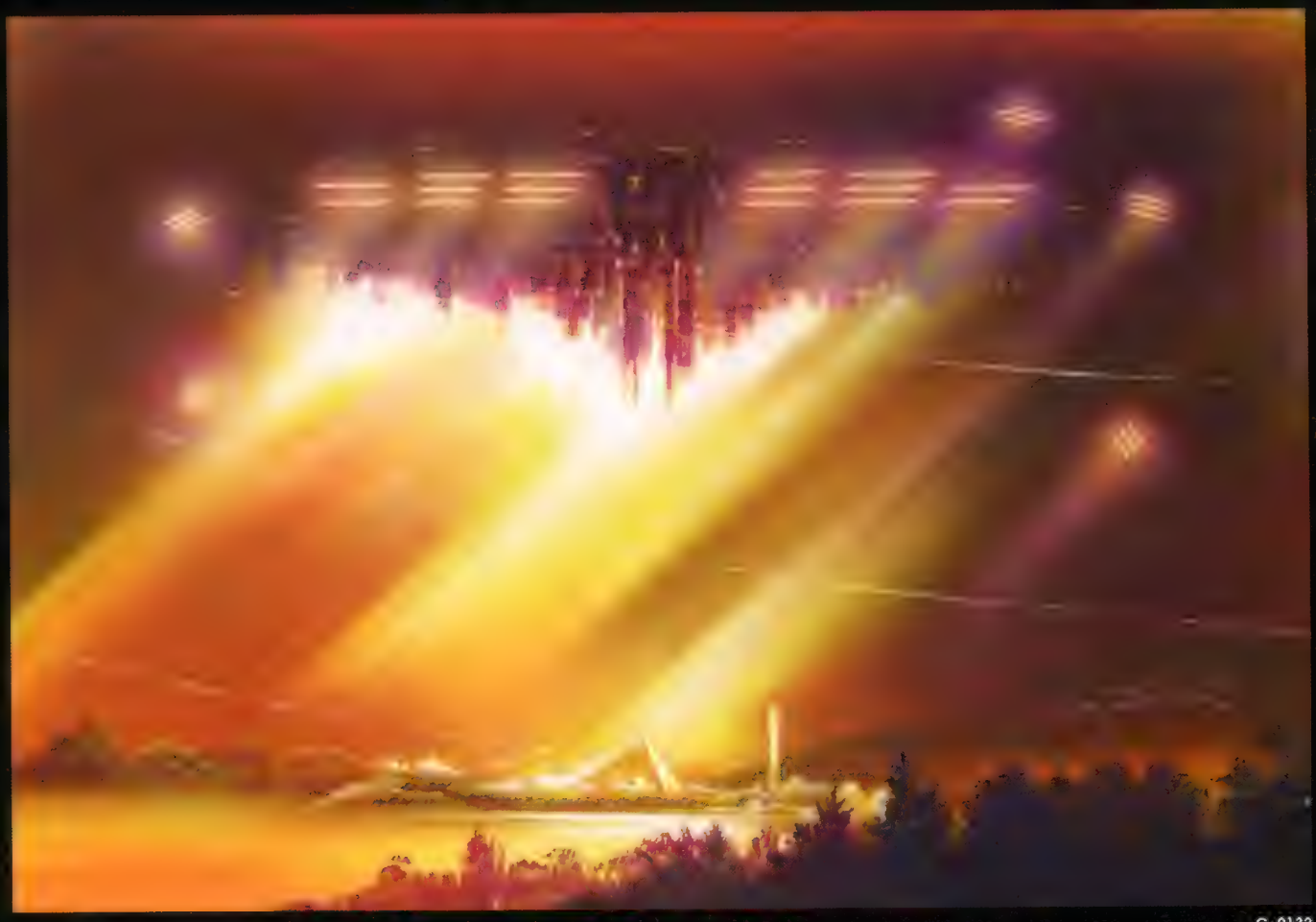
C-0416

C-1184

C-1197

C-1559A

C-0479



C-0132

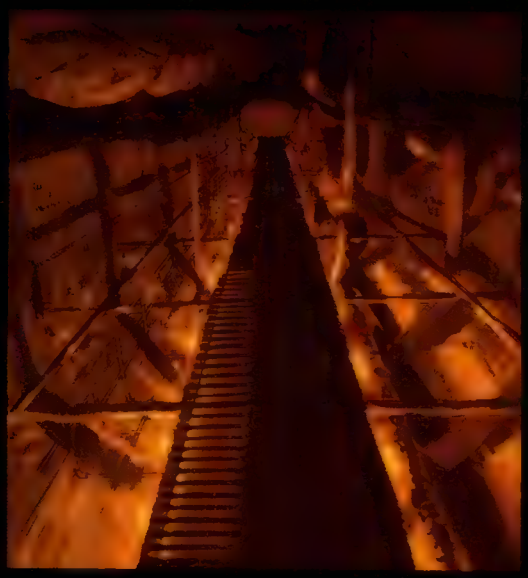
C-0475

C-1308

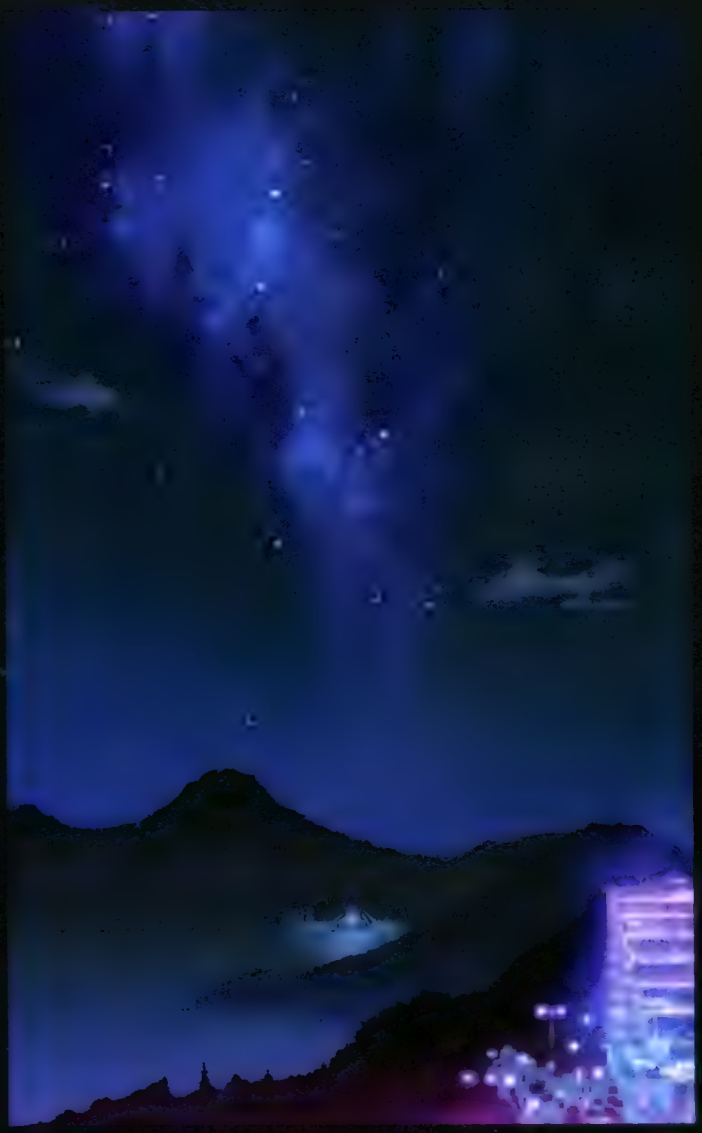
C-1058

C-1053

C-1370



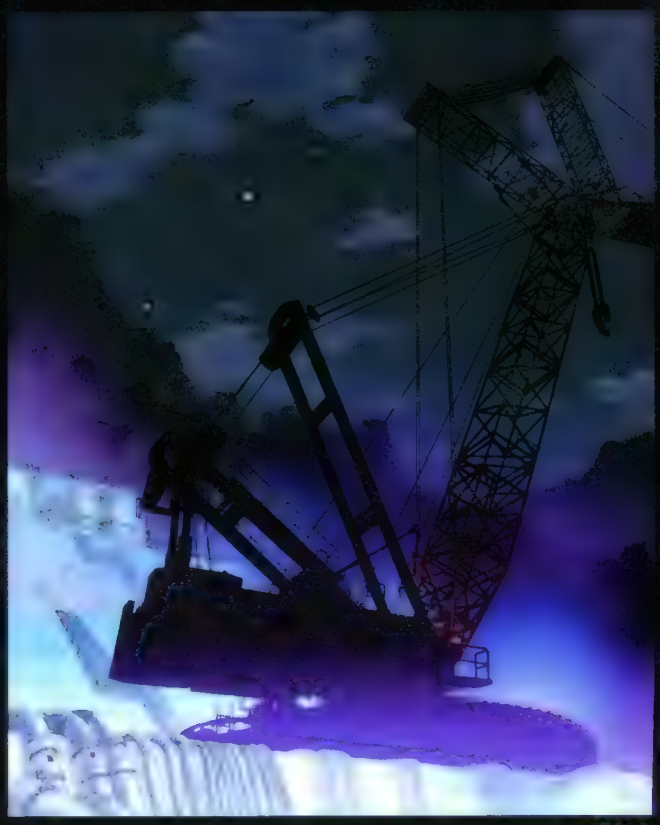
C-1181



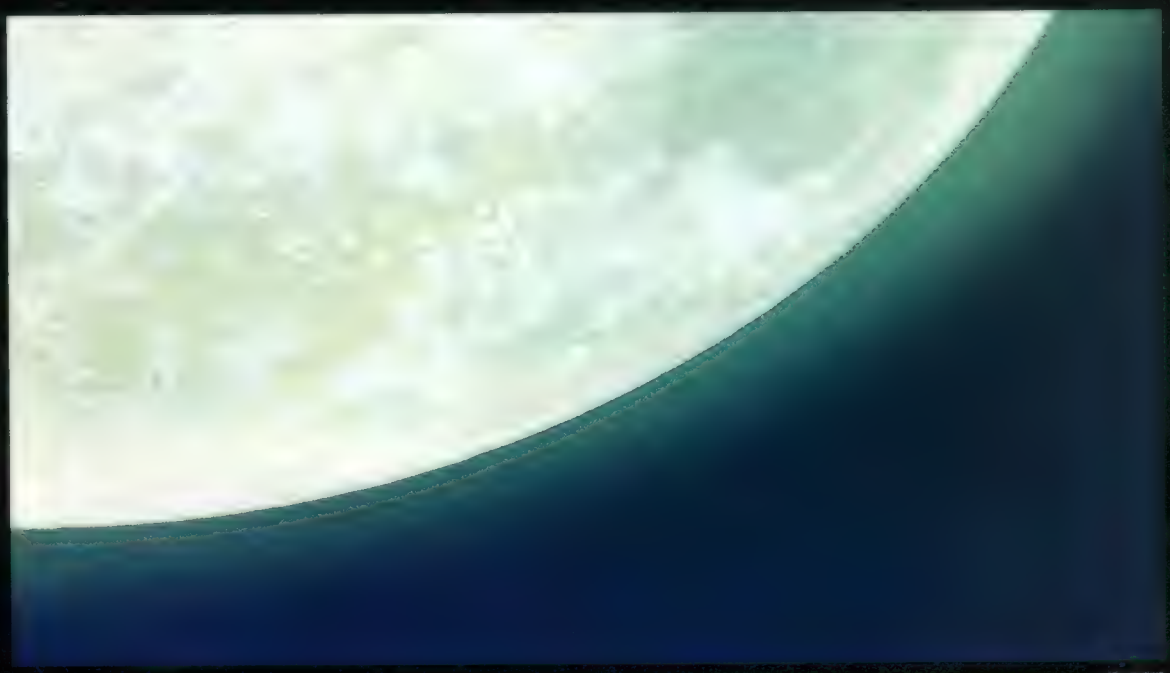
C-1483

C-1483A

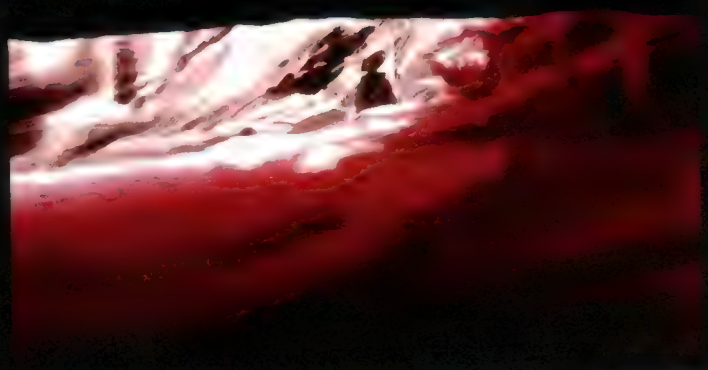
C-1551



C-1552



C-1461



C-1677~1682

advertising

P344-352

我々は再び、何を作ろうとしているのか？

「エヴァンゲリオン」という映像作品は、様々な願いで作られています。

自分の正直な気分というものをフィルムに定着させたいという願い。
アニメーション映像が持っているイメージの具現化、表現の多様さ、原始的な感情に触れる、本来の面白さを一人でも多くの人に伝えたいという願い。
疲弊しつつある日本のアニメーションを、未来へとつなげたいという願い。
蔓延する閉塞感を打破したいという願い。
現実世界で生きていく心の強さを持ち続けたい、という願い。

今一度、これらの願いを具現化したいという願い。

そのために今、我々が出来るベストな方法がエヴァンゲリオン再映画化でした。
10年以上昔のタイトルを何故今更、とも思います。
エヴァはもう古い、とも感じます。
しかし、この12年間エヴァより新しいアニメはありませんでした。

閉じて停滞した現代には技術論ではなく、志を示すことが大切だと思います。
本来アニメーションを支えるファン層であるべき中高生のアニメ離れが加速していく中、彼らに向けた作品が必要だと感じます。
現状のアニメーションの役に少しでも立ちたいと考え、再びこのタイトル作品に触れることを決心しました。

映像制作者として、改めて気分を一新した現代版のエヴァンゲリオン世界を構築する。
このために古巣のガイナックスではなく自身で製作会社と制作スタジオを立ち上げ、初心からの再出発としました。
過去にとらわれず、現状に甘えず、進歩ある未来を目指すためです。
幸いにも旧作からのスタッフ、新たに参入してくれるスタッフと素晴らしい面々が集結しつつあります。
旧作以上の作品を作っている実感がわいてきます。

「エヴァ」はくり返しの物語です。
主人公が何度も同じ目に遭いながら、ひたすら立ち上がっていく話です。
わずかでも前に進もうとする、意思の話です。
曖昧な孤独に耐え他者に触れるのが怖くても一緒にいたいと思う、覚悟の話です。
同じ物語からまた違うカタチへ変化していく4つの作品を、楽しんでいただければ幸いです。

最後に、我々の仕事はサービス業でもあります。
当然ながら、エヴァンゲリオンを知らない人たちが触れやすいよう、劇場用映画として面白さを凝縮し、世界観を再構築し、
誰もが楽しめるエンターテイメント映像を目指します。

2007年初秋を、御期待下さい。

原作／総監督　庵野秀明
2006 09／28　晴れの日に　鎌倉にて

エヴァンゲリヨン新劇場版　2007年9月1日公開

劇場用ティーザーポスター（B全版）・チラシ　2007.02.17

poster A

劇場用ポスター A バージョン（B全版・B2版） 2007.04 画 貞本義行

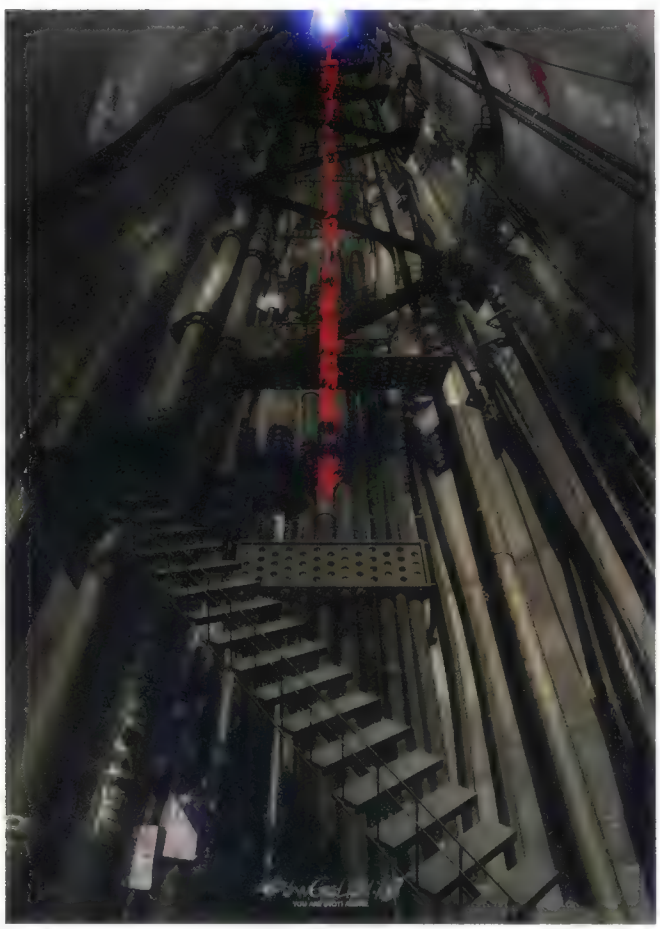
poster B

劇場用ポスター Bバージョン（B全版） 2007/07

flier A

チラシ A　ページ　2007/04　画　貞本義行

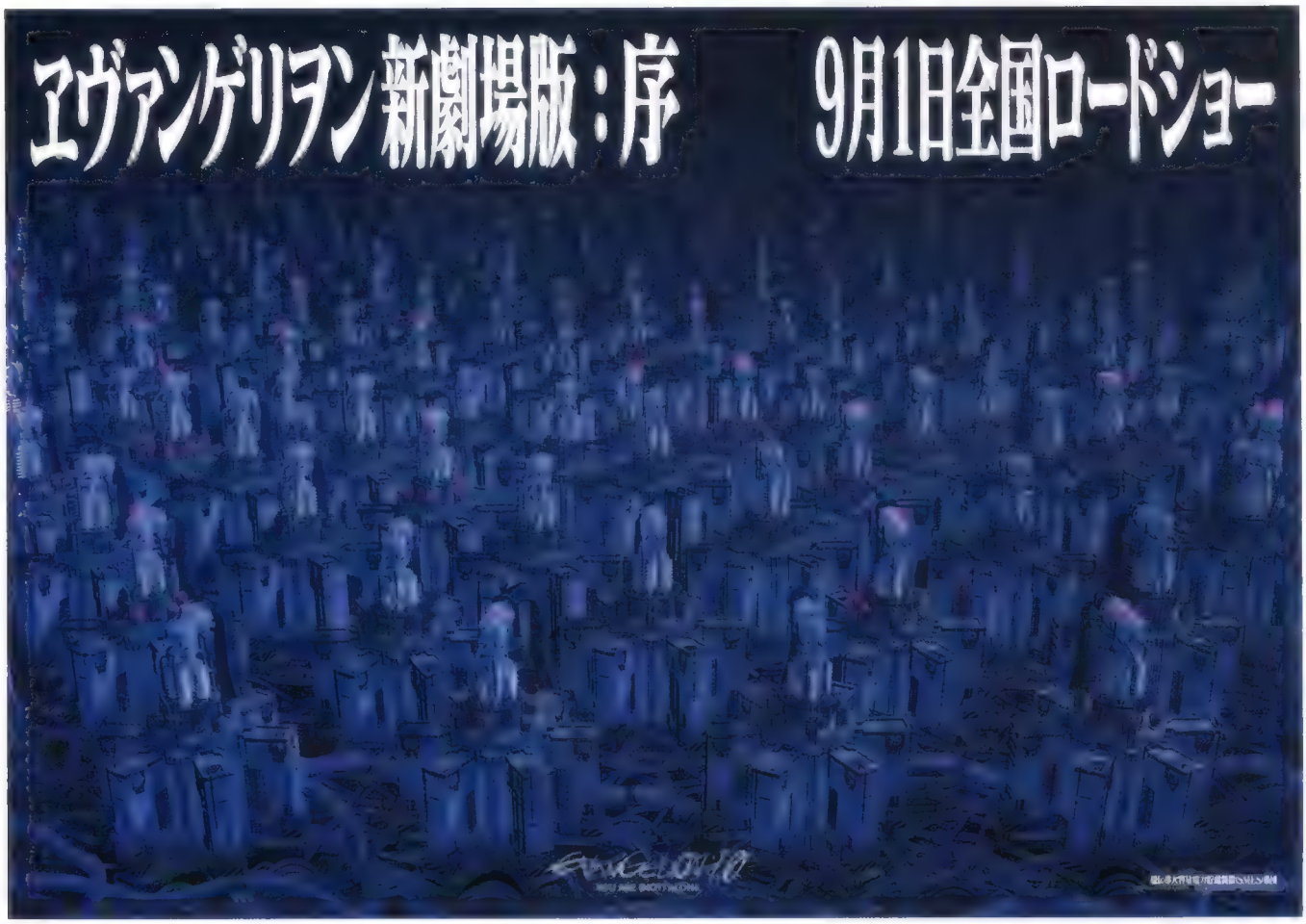
flier B



チラシ B　ページ　2007/07

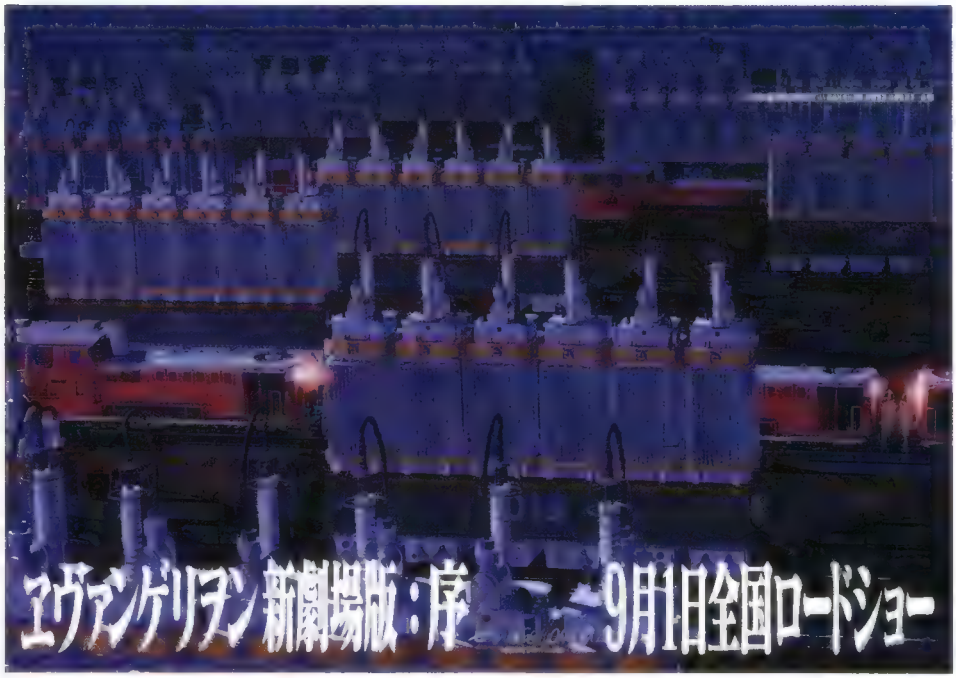
transit advertising

駅貼りポスター（B1倍版） 2007/08



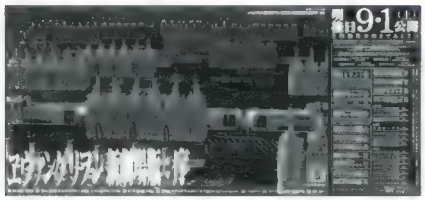
駅貼りポスター（B1倍版） 2007/08

ニューターミナルサイン（1000mm×2880mm） 2007.08 首都圏の駅における角川書店との共同広告

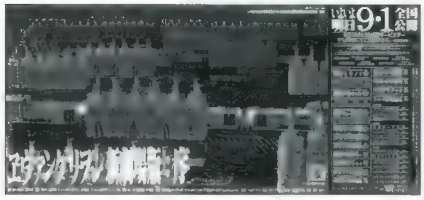


中吊りポスター（B3版） 2007.08

newspaper advertising



新聞広告 日刊スポーツ 2007.08.30付



新聞広告 スポーツ報知 2007.08.31付

新聞広告 スポーツ 2007.09.01付

新聞広告 朝日新聞 2007.08.31付（左） 同 2007.09.01付（中央） 読売新聞 2007.09.04付（右）

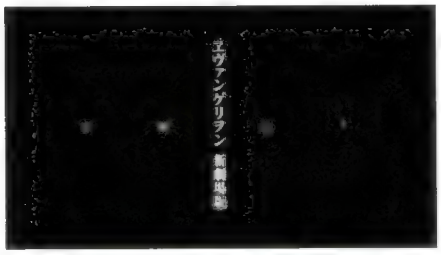
teaser01

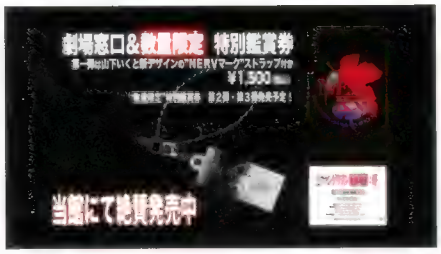
SE　オーケストラ・調弦の音

劇場版特報第1弾　2007.02

teaser02

SE　オーケストラ・調弦の音





劇場版特報第2弾　2007.04

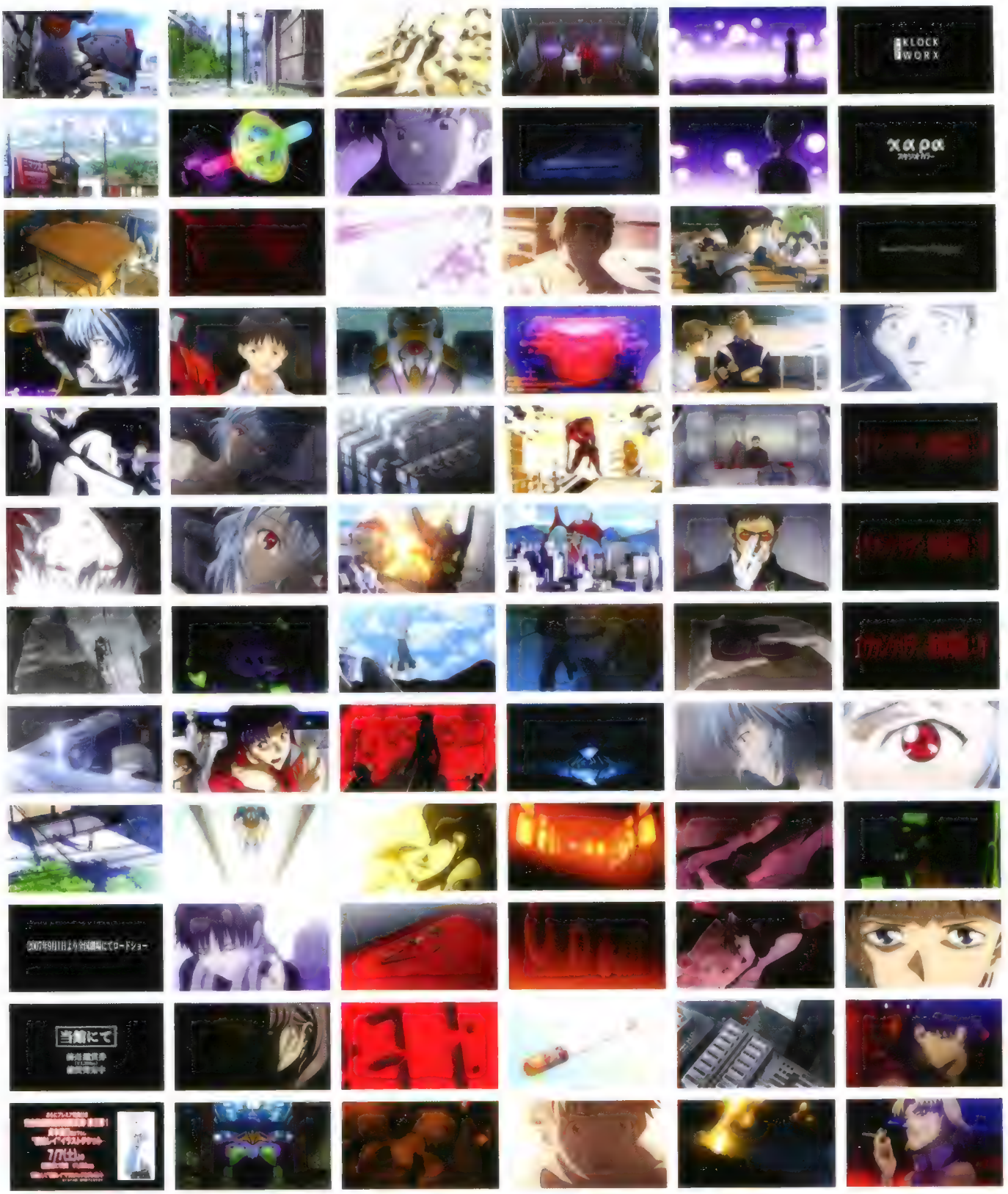
trailer01

MUSIC : Hi, Me To The Moon in Other Words 2007 MIX (宇多田ヒカル / EMI Music Japan Inc.)

劇場版 予告第1弾 2007.07

trailer02

MUSIC Beautiful World/ 宇多田ヒカル (EMI Music Japan Inc.)

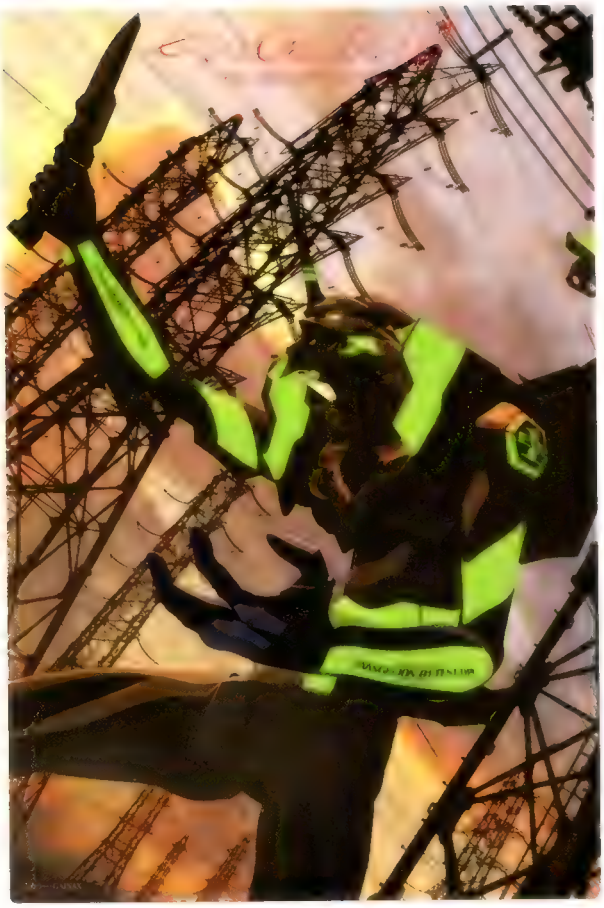


劇場版予告第2弾　2007.08

the other

P354-360

ticket "EVA-01"



限定前売り券第2弾　実物は3D カード仕様　2007 06 09

ticket "NERV emblem"

エヴァンゲリヲン新劇場版：序

全国特別鑑賞券

¥1,300(税込)

通常前売り券　2007 06 09

エヴァンゲリヲン新劇場版：序

全国共通特別鑑賞券

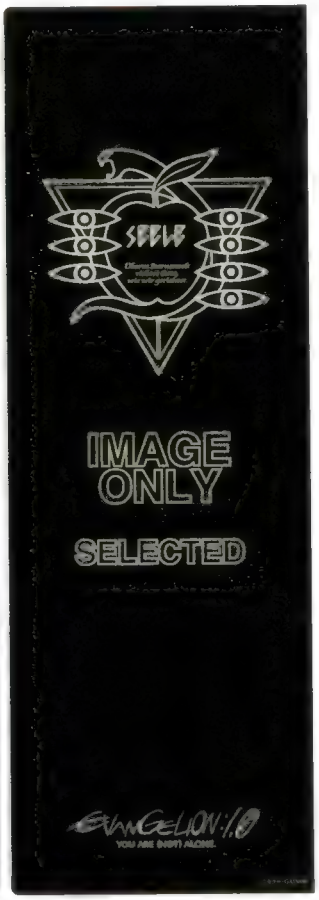
¥1,500(税込)

限定前売り券第1弾　[illegible]　2007 04 28

エヴァンゲリヲン新劇場版：序

全国共通特別鑑賞券

¥1,500(税込)



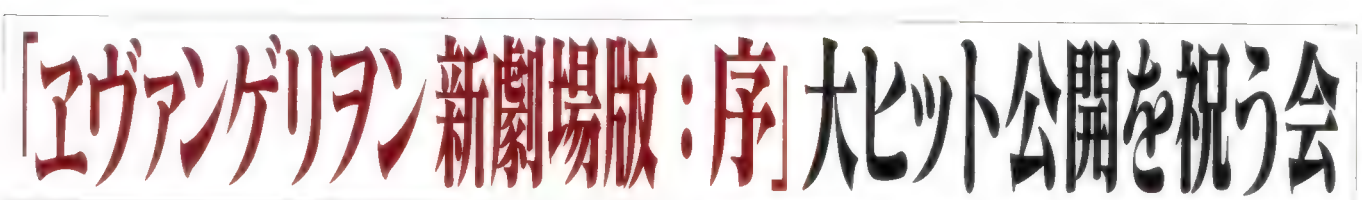
限定前売り券第2弾裏面　黒い部分を剥がした裏面。シーンマークが入っている[illegible]も存在した

ticket "REI AYANAMI"

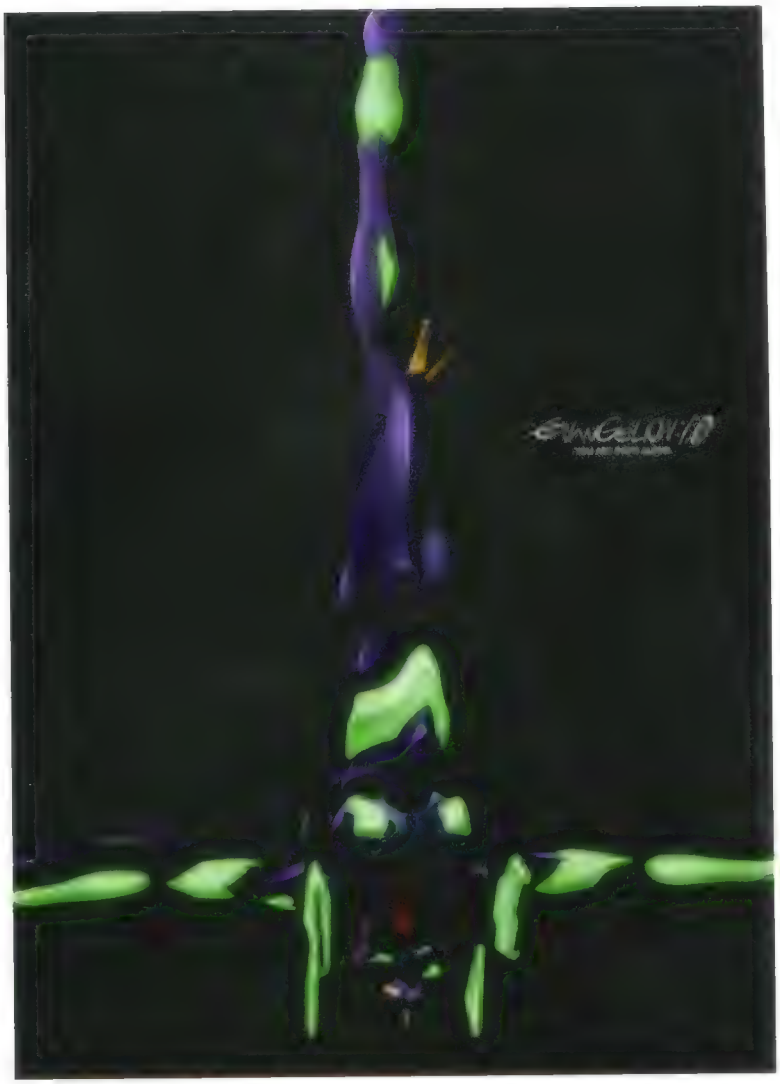
限定前売り券第3弾（右）と購入特典"綾波レイ"マウスパット（左） 2007.07.07 画 貞本義行

signboards

劇場用看板（新宿ミラノ1） 2007.09.01



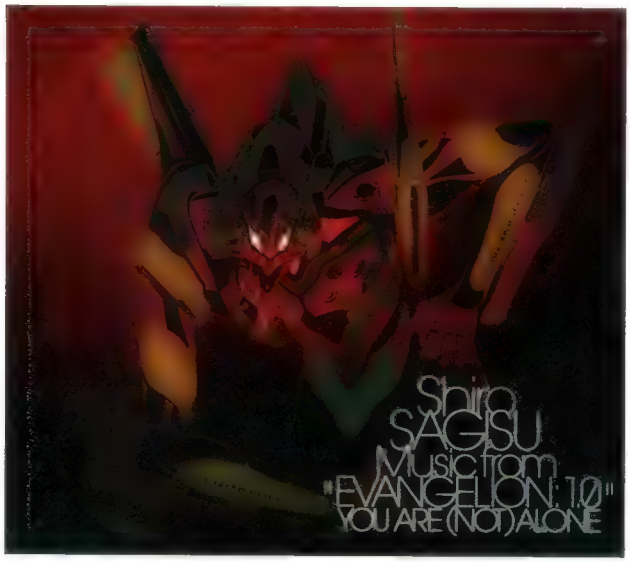
「ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序」大ヒット公開を祝う会 看板 2007.10.16 都内某所・打ち上げ会場メインステージ上にかけられた看板



劇場用パンフレット表紙（右）裏表紙（左） 2007/09/01

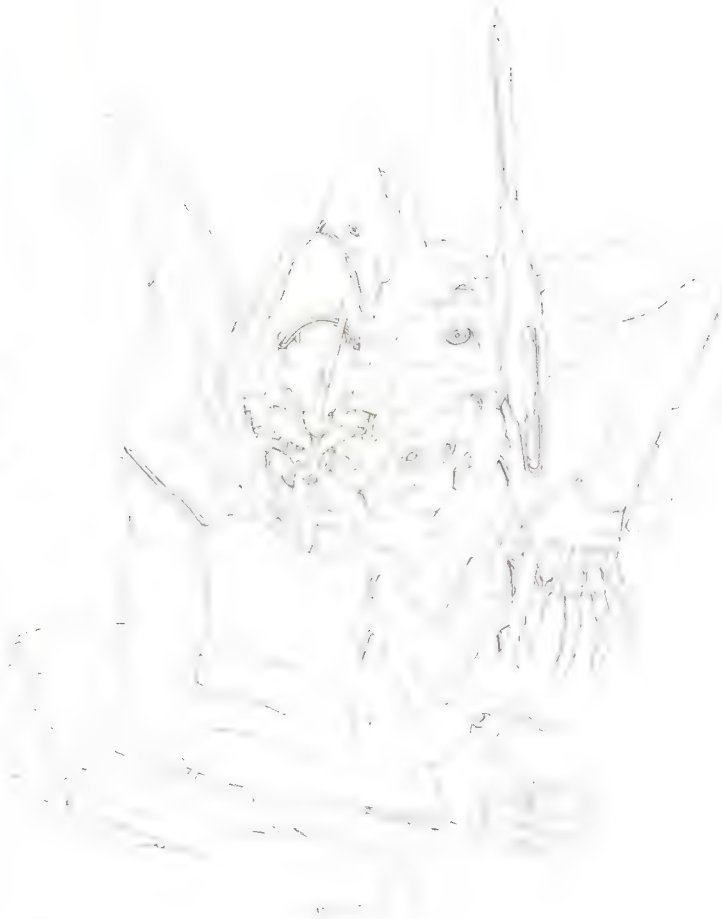
原画 本田雄

CD Shiro SAGISU Music from "EVANGELION:1.0 YOU ARE (NOT) ALONE"



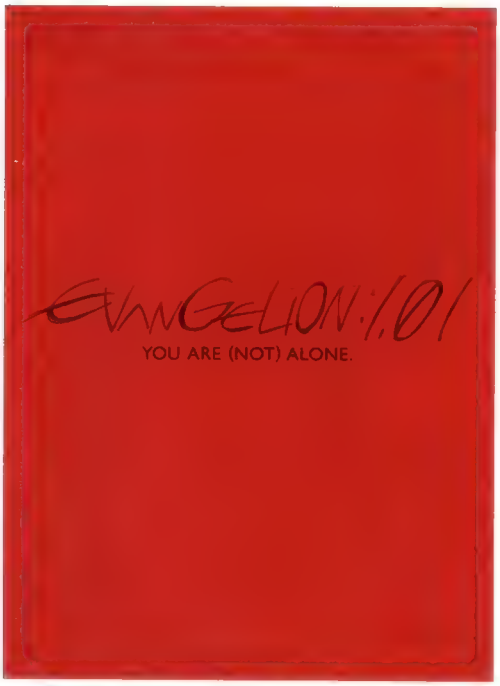
初回限定シークレット　2007.09.26

通常盤シークレット



原画　本田雄

DVD EVANGELION:1.01 YOU ARE (NOT) ALONE.



特装版シークレット　2008.04.25

特装版シークレットイラスト　画　貞本義行

Frito Lay tie-ins

[illegible] 2007.07 発売 左右 2007.09 発売 右列

LAWSON tie-ins

01 [illegible] 限定[illegible]付き前売り券・グッズ　01 ぷちえゔぁフィギュア 02 ぷちえゔぁストラップ
予約販売実施期間 2007.07.01 ～ 08.23

Pizza Hut tie-ins

01

02

01 キャンペーンパッケージ　02 キャンペーンプレゼント　スタンドパネル
キャンペーン実施期間 2007.09.06 ～ 10.17

UCC tie-ins

01

02

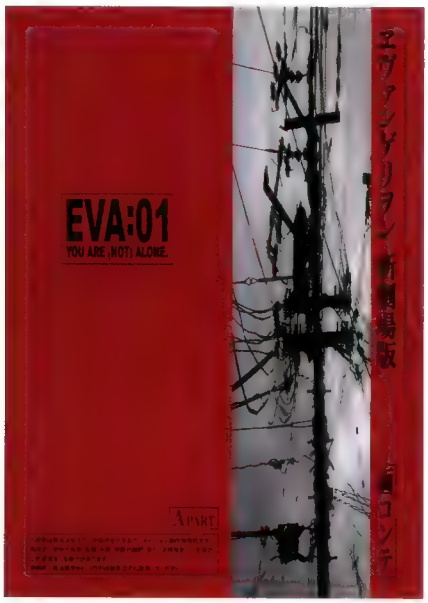
03

[illegible] 株式会社 UCC上島珈琲株式会社

04

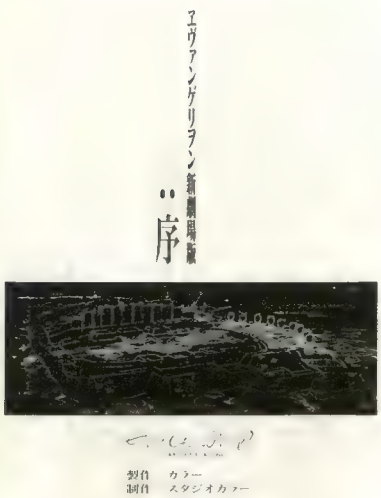
01 エヴァンゲリヲン缶　02 輸送用ケース（第1弾）
03 キャンペーン告知ポスター　04 抽選賞品 "綾波レイ特製フィギュア"
キャンペーン実施期間 2007.06.18 ～ 09.17

storyboards



画コンテ本・Aパート（上・A4版）、画コンテ本・Bパート（下・A4版）　裏表紙にある３桁の番号は、各スタッフに割り当てたもの。001 は、庵野秀明の番号である。

dubbing script



AR台本（B5版）

odds and ends

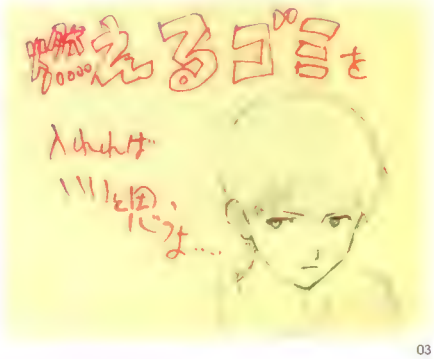
画　松原秀典

02

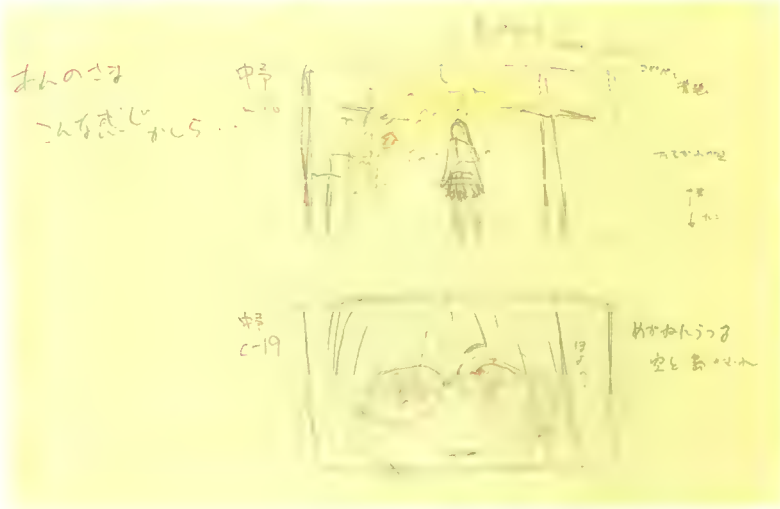
01

05

04



03



06

07

01 スタジオカラー「第1回そうめん祭」ポスター（B4版）　02 スタジオカラー「輝け!!第1回ホットプレート祭り!!」ポスター（B4版）　03 ～ 05 スタジオカラー飲み会ゴミ分別表示
06「次回予告」修正コンテ（予C -0018 ～ 0019）　07 妄想画コンテ「その頃アヤナミは…」（本編内ヤシマ作戦にて、第6使徒による第1射攻撃時のレイの様子を妄想したもの）

scenario

P362-382

『エヴァンゲリオン新劇場版　前編　脚本決定稿　Ver.1.1』
完成日／2006. 07. 22
作／庵野 秀明

『エヴァンゲリヲン新劇場版:序』（脚本の時点では『エヴァンゲリオン新劇場版 前編』）には、第1稿（2006. 07. 06付）、決定稿（2006. 07. 15付）、決定稿 Ver.1.1 の3つの脚本が存在し、執筆はすべて庵野自身による。その形態は通常の脚本というより、字コンテ的要素が大きい。
今回収録する決定稿 Ver.1.1 は脚本段階での最終形であり、本編はこれを基に画コンテ作業に入っている。
なお、書式や改行は原稿のままに収録し、内容に修正を加えていない。

エヴァンゲリオン新劇場版　前編　脚本決定稿 Ver.1.1　2006.07.22

○二人目のレイが生まれる主観のイメージシーン。（ここは1カットっぽく処理）
　赤い海中を上昇していくキャメラ。急速に通り過ぎる泡。
　エヴァに取り込まれる試作型プラグスーツ姿のユイのイメージ（初号機からの主観で）
　碇ゲンドウとユイの会話。
ユイの声「名前、決めてくれた?」
ゲンドウの声「男だったらシンジ。女だったらレイと名付ける」
　#1でレイを見ているシンジのイメージ
レイの声「シンジ、シンジ、アヤナミ、シンジ?」
　車窓からの主観。夕景を流れる線路のイメージ　旧国電の古いモーター走行音。
　大量のレイが目前を次々と通り過ぎていく。
レイの声「レイ、レイ、イカリ、レイ?」
　主観で迫るレイの姿。そのアップまで。魂が付着、その身体に定着するイメージ。
レイの声「ちがう、綾波、レイ」
　画面は赤い海に変化していく。
　上昇していく大量の気泡。陽光輝く水面が近づく。
　ラストは赤い海から青い海へ
　レイとダブって#1の使徒が海面下に生まれてくるイメージに。
　（このシーンの間にメインスタッフのテロップを挟み込むか?）

○半ば水没した地方都市
　海岸線に並ぶ戦車群。その水平線上に起こる巨大な水柱。

　えんじ色の公衆電話をかけている少年。
　街には非常事態宣言のアナウンスが流れている
　受話器から流れている、録音テープ。
電話の声「特別非常事態宣言のため、現在、全ての通常回線は不通となっております」
　困り顔で電話を切る少年。
シンジ「だめか。携帯も圏外のままだし」
　街に爆音が響く。
　目線を落とし手元の女性の写真を見る
　チラッと時計を気にする
シンジ「待ち合わせは無理か　しょうがない。シェルターにいこう」
　彼の目線の先に立つ、一人の少女。（レイに似ている）
　鳴きながら飛び立つ鳥の音　気を取られる少年。
　目線をもどす。
　が、少女はもういない　いぶかしむ少年の表情。（カメラ目線で）

○日本語版主タイトル。「エヴァンゲリオン新劇場版」「前編」
　この後、カットの間にメインスタッフのテロップを入れるか?

　某地方都市
　ズドオォォン!
　突然、少年の耳にとどろく衝撃音。（波カラス、フェート・イン）
　ビリビリと震える建物。点滅する赤信号
　何が起こっているのかわからない少年
　音の方へ振り向く。

　山の奥から平行移動で出てくる重戦闘機群。
　続いて姿を現す、謎の巨人（使徒）。
　地面近く超低空を飛ぶ巡航ミサイル　伏せる少年。
　巨人に次々と命中するミサイル。
　巨人の足元の電車が吹き飛ぶ。

　飛行中の重戦闘機。
パイロット「目標に全弾命中。うわっ!!」
　重戦闘機を貫いている光の槍。スッと巨人の腕の中にもどる。
　空を切る重戦闘機。少年の側のビルに激突して止まる。

　跳躍し、彼の直前に着地する巨人。
　割れたコンクリの破片等が飛んでくる。
　伏せる少年。
　間に入り、彼をかばうように急停車する車。
　割れるガラスの音。車体に石等の当たる音。
　驚愕のあまり声も出ない少年。
ミサト「ごめん、おまたせ!」
　ドアの開いた車。奥で微笑んでいる女性。先の写真の女性である
　発砲する重戦闘機。
　車の周囲にも着弾
　降り注ぐ破片。車の天井がへこむ
　悲鳴もあげず、冷静に車をバックさせる女性。
　煙の中から出てくるボロボロの車。間髪を入れず、すぐ側を踏む巨人の脚。
　巨人に直撃して爆発するミサイル。

○ネルフ本部・発令所
軍人B「何故だ!?直撃のはずだ!」
軍人A「戦車大隊は壊滅。誘導兵器も砲爆撃もまるで効果なしか」
軍人B「だめだ!この程度の火力ではラチがあかん!」
冬月「やはり、A.T.フィールドか」
ゲンドウ「ああ。使徒に対し通常兵器では、役に立たんよ」
　点滅する赤電話のランプ。カードキーを差し込み、受話器を受ける軍人C。
軍人C「わかりました。予定通り、発動致します」

○某地方都市
　巨人を取り囲むようにしていた重戦闘機群。一斉に全速で、巨人の側から離れて行く。
　その様子を車中から双眼鏡で見ている女性。
ミサト「ちょっと、まさか、N2地雷を使うワケ?」
　大ロング　進む使徒。
ミサト「ふせてっ!」
　少年をかばう女性。

　白くとぶ使徒
　地平線の彼方で起こる大爆発。
　上がる巨大な火球
　田畑を伝わってくる衝撃波　ミサトの車へ。
　横に吹き飛ばされる車。

耐える二人。
車ナメて大火球。
呆然と見ている二人。無線のノイズ音。

ネルフ本部・発令所
軍人B「やった!」
軍人A「残念ながら、君たちの出番はなかったようだな」
女B「衝撃波、来ます」
モニターがノイズに変わる。

某地方都市
ボツンと取り残されたボロボロの車。周囲は爆撃跡の穴と巨人の足跡が散乱している。
ミサト「大丈夫だった?」
シンジ「ええ。口の中がシャリシャリしますけど」
ミサト「そいつはケッコウ。じゃ、いくわよっ。せぇーのっ!」
横向きに倒れた車を押して、元に戻す二人。
ミサト「ふぅー。どうもありがと。助かったわ」
シンジ「いえ、僕の方こそ、葛城さん」
ミサト「ミサト、でいいわよ。改めてよろしくね。碇シンジ君」
シンジ「はい」

ネルフ本部・発令所
発令所全景のPAN。
軍人A「その後の、目標は?」
女A「電波障害のため、確認できません」
軍人B「あの爆発だ。ケリはついてる」
青葉「センサー回復します」
女A「爆心地に、エネルギー反応」
軍人B「何だと!?」
青葉「映像、回復します」
回復するモニター。炎の中、起き上がる使徒。
気落ちする軍人たち。
軍人A「我々の切り札が」
軍人B「……なんてことだ」
軍人C「化け物め」
波ガラスの中の使徒。
増殖中の損傷箇所。顔らしき物が2つに増えている。

地下モノレールトンネル
ミサトの車、カートレインの駅からトレインの中に入っている。
シンジ「特務機関、ネルフ?」
ミサト「そう。国連直属の非公開組織」
シンジ「父のいるところですね」
ミサト「まっねー。お父さんの仕事、知ってる?」
シンジ「人類を守る大事な仕事だと、先生からは聞いてます」

ネルフ本部・作戦管制室
作戦室のゲンドウ。OFFで電話を置く音。
軍人C「今から本作戦の指揮権は君に移った。お手並みを見せてもらおう」

ゲンドウ「了解です」
軍人A「碇君。我々の所有兵器では、目標に対し有効な手段がないことは、認めよう」
軍人C「だが、君なら勝てるのかね」
ゲンドウ「そのための、ネルフです」
軍人C「期待してるよ」
テーブルごとエレベーターにて退場する軍人ら。響くアナウンス。
女A「目標はいまだ変化なし」
日向「現在、迎撃システム稼働率、7.5%」
冬月「国連軍もお手上げか。どうするつもりだ?」
ゲンドウ「初号機を起動させる」
冬月「初号機をか?パイロットがいないぞ」
ゲンドウ「問題ない。もう一人の、予備がとどく」

○地下モノレールトンネル
急角度のトンネルをまっすぐに進む地下モノレール。(カートレイン)
無人の駅を通過している。
列車は二人の貸し切り状態。
シンジ「これから父の所へ行くんですか」
ミサト「そうね。そうねるわね」
過去のイメージ。大きなカバン。
どこかの駅のホームで泣いているシンジ。
シンジ「(OFF)父さん」
ミサト「あっそうだ。お父さんからIDもらってない?」
シンジ「はい。――どうぞ」
ミサト「ありがと。じゃ、これ読んどいてね」
シンジ「ネルフ……父さんの仕事……何かするんですか、ぼくが?」
ミサト「……」
シンジ「そうですね。用もないのに父が手紙をくれる筈ないですよね」
ミサト「(シンジは見ずに)そっか……苦手なのね、お父さんが」
下を向いたままのシンジ
ミサト「(独り言っぽく)あたしと同じね」
顔を上げるシンジ。
トンネル内を走るモノレールの壁が切れ、シンジらの目前に広がる巨大な地下都市。
シンジ「すごい!ホントにジオフロントだ」
ミサト「そう。ここがあたしたちの秘密基地、ネルフ本部。世界再建の要、人類の砦となる所よ」
ネルフ本部の外観全景。(#7流用)

ネルフ本部内・エレベーター
エレベーター内の表示板の数字が上がっている。
ドアが開くと、リツコの無愛想な顔がある。(リツコはいつもの制服姿に変更)
ミサト「あら、リツコ」
リツコ「到着予定時刻を12分もオーバー。あんまり遅いので迎えにきたわ、葛城一尉。人手もなければ時間もないのよ」
ミサト「(手を顔の前にかざして)ごめん」
リツコ「フ…」
シンジを見るリツコ。
リツコ「例の息子さんね」
ミサト「そ。マルドゥックの報告書によるサードチルドレン」
リツコ「技術局一課E計画担当責任者、赤木リツコ。よろしくね」

シンジ「あ?はい」
ミサト「これまた父親そっくりなのよ。可愛げのないところとかねー」

○同・発令所
ゲンドウ「では、後をたのむ」
　　降りて行くゲンドウ。
冬月「3年ぶりの対面か…」

○同・ケイジ
　　開きっぱなしのドア。ドア、閉まる。
リツコ「碇シンジ君。あなたに見せたいモノがあるの」
　　照明のスイッチが入れられる。
　　シンジの眼に飛び込む、巨大なエヴァの顔。
　　ドキッとするシンジ。鬼、を連想させる顔。
リツコ「人の造り出した究極の汎用人型決戦兵器、人造人間エヴァンゲリオン。その初号機。我々人類、最後の切り札よ」
シンジ「……これも父の仕事ですか」
　　スピーカーから響く声。
ゲンドウ「そうだ」
　　見上げるシンジ。
　　エヴァの顔の向こう、管制室のガラスに人影。
　　初めて見える碇ゲンドウの顔。
ケンドウ「ひさしぶりだな」
シンジ「……父さん」
　　モニターのシンジ。目線を外す。
　　それを見て笑い顔になるゲンドウ
ゲンドウ「――出撃」
ミサト「出撃!?零号機は凍結中でしょ?（初号機をチラッと見てリツコに）まさか、初号機を使うつもりなの?」
リツコ「他に道はないわ」
ミサト「ちょっと!レイはまだ動かせないでしょ。（チラッとシンジを見てから）パイロットがいないわよ」
リツコ「さっき、届いたわ」
ミサト「（その意味を知ってます）……マジなの?」
リツコ「――碇シンジ君」
シンジ「はい」
リツコ「あなたが乗るのよ」
シンジ「え?」
ミサト「でも綾波レイでさえ、エヴァとシンクロするのに7ヶ月もかかったんでしょ
　　今日来たばかりのこの子にはとても無理よ」
リツコ「座っていればいいわ。それ以上は望みません」
ミサト「――しかし」
リツコ「今は使徒殲滅が最優先事項です。その為には誰であれ、エヴァと僅かでもシンクロ可能と思われる人間を乗せるしか、方法はないわ。わかっているはずよ。葛城一尉」
ミサト「……（決意して）そうね」
シンジ「（目線を下に外して）父さん……何故呼んだの」
ゲンドウ「お前の考えている通りだ」
シンジ「じゃあ僕がこれに乗ってさっきのと戦えって言うの?」
ゲンドウ「――そうだ」

シンジ「いやだよ!そんなの!!何をいまさらなんだよっ!父さんは僕がいらないんじゃなかったの!?」
ゲンドウ「必要だから呼んだまでだ」
シンジ「……何故、僕なの」
ゲンドウ「他の人間には、無理だからな」
シンジ「無理だよ、そんなの……見たことも、聞いたこともないのに、出来るわけないよっ!!」
ゲンドウ「説明を受けろ」
シンジ「そんな……出来っこないよ!こんなの乗れるわけないよっ!!」
ゲンドウ「乗るなら早くしろ。でなければ、帰れ」
　　黙ってしまうシンジ。

○某地方都市
　　使徒の顔らしき所の穴がパッと光る。
　　ビルから夜空にのびていく光柱。

○ネルフ本部・ケイジ
　　――にも薄く伝わってくる衝撃。
ゲンドウ「奴め、ここに気付いたか」

○某地方都市
　　ビルのシルエットの奥、山に立つ使徒。パッと光ると光柱が立ち、ビルが融解し空に舞う。

○ネルフ本部・ケイジ
　　黙ったままのシンジ。
リツコ「シンジ君、時間がないわ」
　　ミサトをすがるような眼で見るシンジ。
ミサト「乗りなさい」
シンジ「いやだよ……せっかく来たのに……こんなのないよっ!!」
ミサト「シンジ君。……何のためにここに来たの?
　　だめよ、逃げちゃ。お父さんから……何よりも自分から」
シンジ「わかってるよ!でも出来るわけないよっ!!」

　　その様を見ているゲンドウ。目線をモニターへ。
ゲンドウ「冬月。レイを起こしてくれ」
冬月「使えるかね」
ゲンドウ「死んでいるわけではない」
冬月「わかった」
　　モニターの画像が切り変わって、レイの病室につながる。（病室の画は見せない）
ゲンドウ「レイ」
レイ「はい」
ゲンドウ「予備が使えなくなった。もう一度だ」
レイ「はい」
　　通話を切るゲンドウ。

リツコ「（決意して）初号機のシステムをレイに書き直して再起動」
伊吹（アナウンス）「了解。現作業を中断。再起動に入ります」
　　仕事につくためにシンジの側から離れていくリツコとミサト。
　　もう誰もシンジを見ていない。
シンジ「やっぱり僕は……いらない人間なんだ」

アナウンス「目標は絶対防衛線を突破、直上地点へなおも進行中」
　等と事務的な報告が響く中、ベッドに横たわった少女が運ばれてくる。
　横には点滴。体のあちこちに包帯をまかれている。
　プラグスーツ姿のレイである。
　彼女は誰ひとり気にもかけず、黙って初号機に運ばれる。
　シンジの前を通り過ぎるレイ。
　その姿に目をしかめるシンジ。
　苦しそうに起き上がるレイ。
　苦痛に歪む顔。

　使徒の攻撃。眼らしき穴が光る。
　吹き飛ぶビル。局地的に縦に長く、夜空に立ちのぼる爆発火球。
　地下天井ビルのひとつがズレ落ちる。
　本部ビルのすぐ側に落下するビル。
　森に激突する。湖に散る破片が水柱を上げていく。
　大振動のネルフ本部。

　その衝撃でベッドからすべり落ちてしまうレイ。
　しりもちをつくシンジ。
　天井の仮設ライトが揺れる。
　倒れているレイ。
　静かに見ているゲンドウ。
　駆け寄り、レイを抱き起こすシンジ。
　苦しそうなレイの顔。大きく息をしている。
　シンジの右手に血が付いている。

シンジ「逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。」
　決心するシンジ。
シンジ「――――やります。僕が、乗ります」

　流れ落ちていく水。水が抜かれているケイジ。
アナウンス「冷却、終了」
　「右腕の再固定、完了」
　「ケイジ内、全てドッキング位置」
伊吹「了解。停止信号プラグ、排出終了」
　エヴァ本体に接続されていくエントリープラグ。
アナウンス「了解。エントリープラグ挿入」
　「脊髄伝導システムを解放。接続準備」
　「プラグ固定終了」
　「第一次接続開始」

　エントリープラグ内のシンジ。操縦席に座っている。緊張した顔
伊吹「（OFF）エントリープラグ、注水」
　水溶液が満たされていく。
シンジ「え?な、なんですか、これ!?うわっ!ウッ……」
リツコ「大丈夫。肺がLCLで満たされれば、直接血液に酸素を取り込んでくれます。すぐに慣れるわ」

　空気を吐き出すシンジ。

アナウンス「主電源接続」
　「全回路動力伝達。問題なし」
　接続プラグがロックされる。

リツコ「（OFF）了解」
伊吹「（OFF）第2次コンタクトに入ります」
　プラグ内にモニターが出来る。外の風景が見えるようになる
伊吹「（OFF）A10神経接続、異常なし」
アナウンス「LCL電化率は正常」
リツコ「（OFF）思考形態は日本語を基礎原則としてフィックス。
　初期コンタクト、全て問題無し」
伊吹「双方向回線、開きます。シンクロ率、41.3%」
　みるみるシンクロしていくグラフ。
リツコ「――――すごいわね」
伊吹「ハーモニクス、すべて正常値。暴走、ありません」
リツコ「（ミサトに）いけるわ」
　ミサトうなずいて、
ミサト「発進準備!」
　鉄格子状のガードが左右に分かれ、姿を現す初号機。
日向「（OFF）発進準備!」
アナウンス「第1ロックボルト外せ」
　「解除確認」
　「アンビリカル・ブリッジ移動開始」
　「第2ロックボルト、外せ」
　解除されていくガントリーロック
アナウンス「第1拘束具、除去」
　「同じく、第2拘束具を除去」
　「1番から15番までの安全装置を解除」
　「解除確認。現在、初号機の状況はフリー」
　「内部電源、充電完了」
　「外部電源接続、異常なし」
伊吹「了解。エヴァ初号機、射出口へ」

　巨大な昇降機にセットされる初号機。
　次々に開いていく装甲シャッター。

伊吹「進路クリア。オールグリーン」
　モニター上に次々とランプが点灯し、輸送ルートが表示されていく
リツコ「（OFF）発進準備、完了」
ミサト「了解」
　ミサト、振り返り、ゲンドウを見る
ミサト「（真顔で）かまいませんね」
　顔の前で両手を組んだままのゲンドウ
ゲンドウ「もちろんだ。使徒を倒さぬ限り、我々に未来はない」
　ゲンドウの隣で、目を合わさずに小声で話す冬月。
冬月「碇。本当にこれで、いいんだな」
　沈黙したまま薄く微笑む、ゲンドウ。

ミサト「発進!!」

初号機の脚元のロックが外れる。
固定台ごと射出される初号機。
加速に耐えるシンジ。

夜の第3新東京市
夜空にそびえるビルの陰から姿を現す巨人、使徒。
明かりの落ちたビル街を進む、使徒。
その時まるで、行く手を阻むように前方に道路が分かれ、下から迫り上がり出現する、
エヴァンゲリオン初号機。
夜の街に立つ、そのシルエット。
ミサトの声「いいわね、シンジ君」

エントリープラグ内
緊張しているシンジ
シンジ「———はい」

ネルフ本部・発令所
ミサト「最終安全装置、解除!エヴァンゲリオン初号機、リフト・オフ!」
フリーになる初号機の身体。
リツコ「シンジ君。今は歩くことだけ、考えて」

エントリープラグ内
シンジ「……歩く……」

夜・第3新東京市　市街
極めて、ゆっくりと初号機の重心が前方へ移動していく
道路面に左脚が着地。

ネルフ本部・発令所
一同「おおぉ……」
目をみはり、感嘆の声を上げる、ネルフの人々。
感嘆を覚える、リツコ。
リツコ「……歩いた」

エントリープラグ内
シンジ「歩く……」
左足を前に出す、初号機
だが、バランスを崩して倒れる。
受け身もとらず、地面に激突
ゆっくりと顔を上げるシンジ
目前に迫る、使徒。
ビビるシンジ。泣きたいのをがまんしている顔。
ミサト「シンジ君。しっかりして!早く、早く起き上がるのよ!」
耳元に響くミサトの声。だが彼には聞こえていない。

迫る使徒の左手。
初号機の頭をつかんで、真上に引っ張り上げる

もう一方の腕で初号機の左腕を掴み上げる、使徒。
使徒の両腕がグンと太くなり、さらに引っ張る。
左腕を押さえ、痛みをこらえているシンジ。耳にざらつく軋み音。
シンジ「あああああ」
ミサトの声「シンジ君、落ち着いて!あなたの腕じゃないのよ!!」

ネルフ本部・発令所
リツコ「エヴァの防御システムは!?」
伊吹「シグナル、作動しません!」
日向「フィールド、無展開!」
リツコ「———だめか!?」

夜・第3新東京市　市街
ヴァキッ
ついに左腕が折れる。

シンジは言葉にならない混乱。
伊吹の声「左腕損傷!」
日向の声「回路断絶!」

初号機を持ち上げる使徒。
光の槍で初号機の頭を突く。

ネルフ本部・発令所
ミサト「シンジ君よけて!!」
眼を押さえているシンジ。
伊吹「頭蓋前部に亀裂発生!」
リツコ「装甲がもう、もたない」

夜・第3新東京市　市街
突かれる初号機の頭部に、ヒビが入っていく
遂に射ち抜かれる右目
初号機の頭に突き刺さった光の槍を伸ばす使徒。
吹き飛ぶ初号機。
ビルに激突。
光の槍が抜けて、ガクンとなる初号機。吹き出る赤色の液体。

ネルフ本部・発令所
警告音が鳴り響き、非常事態の表示が点滅する
青葉「(OFF) 頭部破損!!損害不明!」
アナウンス「活動維持に問題発生!」
ミサト「状況は!?」
伊吹「シンクログラフ反転!!パルスが逆流しています!」
リツコ「回路遮断!せき止めて!!」
伊吹「(OFF) だめです!!信号拒絶!受信しません」
ミサト「シンジ君は!?」
日向「(OFF) モニター反応なし!生死不明!!」
青葉「(OFF) 初号機、完全に沈黙」
うなだれたまま動かない初号機。

リツコ「ミサト!」
ミサト「———ここまでね。作戦中止!!パイロット保護を最優先!プラグを強制射出して!」
伊吹「だめです!!完全に制御不能です!!」
ミサト「何ですって!?」
　何が起きているのかわからないシンジ。プラグ内のLCLが秩序を失っていく。

　グアッと口が割れ、吠える初号機。
アナウンス「エヴァ、再起動」
伊吹「(OFF) そんな!!動けるはずありません!」
　呆然と見ているミサトたち。
ミサト「・・・まさか」
リツコ「……暴走」

　吠える初号機。グッとしゃがみ込んで、そのままジャンプ。
　使徒の上にしゃがみ込み、ケリを入れる。再び飛翔。獣のような戦い方
冬月「勝ったな」
　がむしゃらに突進していく初号機。ガンッと光の壁にぶつかる。
リツコ「A.T.フィールド!?」
ミサト「だめだわ。A.T.フィールドがあるかぎり」
リツコ「使徒には接触できない」
　初号機、左手をグッとかまえると損傷していた部分が直ってしまう
青葉「(OFF) 左腕復元!」
ミサト「———すごい」
　A.T.フィールドに両手を突っ込み、引き裂こうとする初号機。
伊吹「初号機もA.T.フィールドを展開!位相空間を中和していきます」
リツコ「いえ、浸食しているんだわ」
　両手でA.T.フィールドを引き裂く初号機。
ミサト「あのA.T.フィールドをいとも簡単に」

　フィールド内に頭を突き出す初号機
　使徒の眼らしき穴が光る。
　光をまともに浴びる初号機。
　街並を走っていく光。十字の形になる。
　のけぞっていた初号機、体をもとに戻すと使徒の両腕を掴み、グッとねじる
　いきなりケリをいれる初号機。ふっとぶ使徒
　奥のビルに激突する。
　間髪入れず、体当たりをしてそのままビルごと押し倒していく。
　使徒に馬乗りになる初号機。
　使徒の骨を引きちぎり、胸の光球をなぐり始める
　両手両足をムチ状にして初号機の腕や胴にからみつき、おおいかぶさる使徒
　光りだす光球
　血袋が爆発四散する感じに吹き飛ぶ使徒　ビル街の夜空にそびえる赤い十字の光柱。
　赤く光でとんでいるネルフ本部のモニター
ミサト「———エヴァは?」

　周囲のビルが融解する、強烈な熱。
　血の池となっている爆心地。熱と血煙に包まれ、血の中を歩いてくる初号機。
　驚愕している、ネルフの人々
　その顔は勝利の喜びではなく、恐怖の表情に満ちていた

　ひとり、笑みを浮かべているゲンドウ。

　初号機の血まみれの手。悪魔のごときその顔。
　左目から流れる赤い体液が涙の様にも見える。
　その内部に、綾波レイを感じさせるイメージ。(#14の怖いレイを流用)
シンジの声「誰?誰なんだ?知ってる?この感じ?」
レイの声「碇、シンジ?」

○早朝の病室
　ハッと目覚めるシンジ。病室で上半身だけ起き上がる。
シンジ「……知らない天井だ」

第3新東京市・朝
　血の池の水面に映る夏の青空(太陽も?)と上空を飛ぶ観測機等。
　上空から見ると血の池が何かの文様に見える。周囲には血の色に染まり融解したビル群。
キール「(台詞先行) 第3の使徒襲来とその殲滅」

○ゼーレとゲンドウの会話部屋
　現れるモノリスら。(BANK流用) それともここは委員会でよいか?
「そしてサードチルドレンの接収及びエヴァ初号機の初起動、概ね既定通りだな」
「初号機本体の膨大な修理費は予定外だがね」
「凍結された零号機に比べれば、さして問題なかろう」

第3新東京市・爆心地近辺
　池のほとりに陣取っているネルフ調査班仮設本部。(それともビル屋上か?)
　血の池を眺める防護服姿のミサト。傍らに伊吹。
伊吹「エヴァ初号機の回収作業は終了しました。現在第6ケイジにて固定中。本日10より検査開始の予定です」
ミサト「暴走時のレコーダーは?」
伊吹「確認しました　容量0です。何も書き込まれていませんでした」
ミサト「結果、原因不明ね。兵器として信頼性、ちとキビシすぎるわね」

○再び、ゼーレとゲンドウの会話部屋
「多少不具合でも、第4の使徒出現時に、また役立てばよい」
ゲンドウ「御心配なく。初号機の実戦配備に続き、2号機と付属パイロットもドイツにて実証評価実験中です」
「ネルフとエヴァの適切な運用は君の責務だ。くれぐれも失望させぬように頼むよ」
「左様。使徒殲滅はリリスとの契約の、極一部に過ぎん」
キール「人類補完計画。その遂行こそが、我等究極の願いだ」
ゲンドウ「わかっております。全てはゼーレのシナリオ通りに」

病院・ロビー
　蝉の声のみ。ハイキーな画面。
　集中治療室から運ばれてくるレイとすれ違うシンジ。
　無表情にシンジを見ているレイ。
　何か悪いことをした時のようにうつむくシンジ。

○どこか場所は一考。(先の仮設本部か帰りの車中かヘリ内?)
　爆心地の状況を視察しているリツコ。パソコン画面のデータも見ている

リツコ「予想以上の有様ね」
伊吹「まさに血の池地獄。なんだかセカンドインパクトみたいでイヤな感じですね」
ミサト「エヴァは使徒に勝てる。この事実だけでも、人類にわずかながら希望が残るわ」
リツコ「その希望を担うパイロットが、気づいたそうよ」
ミサト「で、容態は?」
リツコ「外傷はなし。心配された精神汚染の兆候もなし。ただ、少し記憶に混乱がみえるそうだけど」
ミサト「そう……そうよね。いきなりアレ、だったものね」
リツコ「(淡々と) 無理もないわ。脳神経にかなりの負担がかかったもの」
ミサト「心、のまちがいじゃないの」

○病院・ロビー
　座って待っているシンジ。蝉の声。ハイキーな画面。響く業務アナウンス。
　じっと自分の左腕を見つめるシンジ。
　を、引き画で迎えにくるミサト。

○病院・エレベーター昇降口
　開くドア。ゲンドウが一人で乗っている。
　乗ろうとしていたシンジ。眼を下にそらす。
　そのまま動かない。
　閉まるドア。
　黙ってその様を見ているミサト。

○天井都市の部屋
ミサト「一人で、ですか?」
士官A「そうだ。彼の個室は、この先の第6ブロックになる。問題はなかろう」
シンジ「はい」
ミサト「それでいいの?———シンジ君」
シンジ「いいんです。一人の方が。どこでも同じですから」
　シンジを見つめるミサト。

　電話を受けてるリツコ。
リツコ「なんですって」

　電話をかけてるミサト。(電話機の色変更有り)
ミサト「だぁかぁらぁ、シンジ君は、私んとこで引き取ることにしたから。上の許可もとったし。
……心配しなくても、子供に手を出したり、しないわよ」
　サッと受話器を耳から離すミサト。うすくリツコの小言が聞こえる。
ミサト「相変わらず、ジョークの通じないやつ」

○地下トンネル
　走るミサトの車。
　未だガムテープで仮留めしてある壊れたパーツ。
　助手席のシンジ。自分の鞄と転校の書類袋をかかえている。
ミサト「さて、今夜は、パーっとやらなきゃね」
シンジ「(キョトンと) 何をですか」
ミサト「もちろん、新たなる同居人の歓迎会よ」
　車がトンネルを抜ける。白くとぶ、窓外。

○旧市街・コンビニ
　店の駐車場に止めてあるミサトの車。
　意外とモノの少ない商品棚。
　有線とレジの事務的な音だけが鳴っている。
　レジに並んでいる二人。カゴの中は、酒とつまみとインスタント食品。
　シンジらの耳に入る、客の会話。
主婦A「やっぱり引っ越されますの?」
主婦B「ええ、まさか本当にここが戦場になるなんて思ってもみませんでしたから」
主婦A「ですよねぇ。うちも主人が子供とあたしだけでも疎開しろって」
主婦B「疎開ねぇ。いくら要塞都市だからっていったって、何一つあてにできませんもんね」
主婦A「昨日の事件。思い出しただけでもゾッとしちゃうわ」
主婦B「ホントに……」
　辛そうなシンジをなにげに見ているミサト。

○走るミサトの車・車中
　助手席のシンジ。コンビニの袋をかかえている。
ミサト「すまないけど、ちょっち、寄り道するわよ」
シンジ「どこへですか」
ミサト「い・い・と・こ・ろ」

○第3新東京市・夕景
　高台に止まっている車。傍らにミサトとシンジ。
　市全景。何もない無機質なコンクリのブロックエリア。
シンジ「なんだか、さびしい街ですね」
ミサト「時間だわ」

　鳴り出すサイレン。山に木霊する音。
　道路や建物にかかっている大規模な防護シャッターが開いていく。
　目をみはるシンジ。
　地下に収納されていたビルが地上に戻っていく。
　空に伸びている集光ミラー。赤い太陽光を反射している。
シンジ「すごい!!ビルがはえてく!」
　シンジの眼前にひろがっていく大計画都市。
　夕日の中。街のあちこちから、生き物のようにはえてくる高層ビル群。
ミサト「これが、使徒迎撃専用要塞都市、第3新東京市。(シンジに) 私たちの街よ」
　ミサトを見るシンジ。
ミサト「そして、あなたが守った街」
　大ロング。夕焼け空にそびえ立つ、超高層ビル群。(何本かは建設中)

○ミサトのマンション・全景
　マンションの部屋には人の生活をしるす、明かりがない。

○同・廊下
　シンジを自分の部屋に案内しているミサト。
ミサト「シンジ君の荷物はもう届いてると思うわ。実はあたしも、先日引っ越してきたばっかりでね」

○同・ドアの前
　ドアの前には、段ボール3箱。シンジの荷物である。

開くドア。（自動ドア・横スライド式）
ミサト「さ、入って」
シンジ「……あ、あの……おじゃまします」
ミサト「シンジ君。ここはあなたの家なのよ」
シンジの足元。敷居をまたぐ。
シンジ「……た、ただいま」
ミサト「おかえりなさい」
閉まるドア。

○同・キッチン
ミサト「まぁー、ちょっち散らかってるけど気にしないでね」
あぜんとしているシンジ。
部屋の中には、段ボールの山と脱ぎ散らかしたままの服や本等。
シンジ「これが……ちょっち……」
ミサト「あ、ゴメン。食べ物、冷蔵庫に入れといて」
シンジ「は、はい」
冷蔵庫を開けるシンジ。
シンジ「氷。つまみ。ビールばっかし……どんな生活してんだろ?」
隣にもう一つ、巨大な冷蔵庫。
シンジ「あの、あっちの冷蔵庫は?」
ふすまの奥で、部屋着に着替えてるミサト。
ミサト「あ、そっちはいいの。まだ寝てると思うから」
シンジ「寝てる?」

チーン。
SE 先行で電子レンジの音。
テーブルの上に並ぶ数々のインスタント食品。
ミサト「いっただっきまぁす」
シンジ「いただきます」
さっそくビールをあおっているミサト。
ミサト「んぐ、んぐ、んぐ、んぐ、んぐ、ぷっはぁーっ!!クーッ!!やっぱ人生、この時のために生きてるようなもんよね。———ん?食べないの?ケッコウうまいわよ。インスタントだけど」
シンジ「いえ、あの、こういう食事、慣れていないので」
ミサト「だっめよっ!好き嫌いしちゃあ!」
シンジ「いえ、違うんです。あの……」
ミサト、ビール缶を持ったまま、笑顔で。
ミサト「楽しいでしょ」
シンジ「え?」
ミサト「こうして他の人と食事すんの」
シンジ「———は、はい」

○ネルフ第2実験場・ボロボロの管制室
に、立つゲンドウとリツコの会話。
十字型の停止信号プラグを打ち込まれたまま凍結中の零号機。
リツコ「レイの様子はいかがでしたか」
ゲンドウ「……」
リツコ「午後、いかれたのでしょう……病院に」
ゲンドウ「問題ない。凍結中の零号機の再起動準備が先だ」
リツコ「御子息は、よろしいのですか。精神的にかなり不安定と思われますが」

ゲンドウ「ほおっておけ。むしろ零号機凍結解除のいい口実になる」
リツコ「では、葛城一尉の進言通りに」

○ミサトのマンション・リビング
ミサト「さて、今日からここはあなたのウチなんだから、なぁーんにも遠慮なんていらないのよ」
シンジ「———ハ、ハイ」
ミサト「もぉー、ハイハイハイハイとしんきくさいわねぇ。おっとこの子でしょう!!
シャキッとなさい、シャキッと!」
シンジ「ハ、ハイ」
ミサト「まっいいわ。ヤなことはお風呂に入って、パァーッと洗い流しちゃいなさい。
風呂は命の洗濯よ」

○同・脱衣所
洗濯場に干しっぱなしの下着。
ミサトの洗濯物に気をとられたまま、風呂のドアを開けるシンジ。
そこにいる物体に驚くシンジ。
体をバサバサッとやっているペンギン。
シンジ「うわぁっ!」

○同・キッチン
あわてて飛び出してくるシンジ。
シンジ「み、み、み、み、ミサトさん!?」
ミサト「何?」
シンジ「（移動する物体を目で追いながら）あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あれ!?」
ミサト「（シレッと）ああ、彼。新種の温泉ペンギンよ」
何事もなかったかのごとく、ぺたぺたと大型冷蔵庫の中に入るペンギン。
シンジ「あ、あれ!?」
ミサト「名前はペンペン。もう一人の同居人。それより、前、かくしたら?」
自分の状況に気づくシンジ。真っ赤になる。
シンジ「うわっ……!」
あわてて風呂場にもどる。
ミサト「ちと、わざとらしくはしゃぎすぎたかしら。見透かされてるのは、こっちかもね」

同・浴室
天井の丸い暖かなライト
見慣れない天井を見てボーッとした顔。
シンジ「葛城ミサトさん……悪い人じゃないんだ」
ミサト「（回想）風呂は命の洗濯よ」
シンジ「でも……風呂っていやなこと思い出す方が多いよな」

同・シンジの部屋
襖にセロテープで貼り紙。『シンちゃんのヘヤ』とミサトの文字で書いてある。
疲れてベッドに倒れ込んでいるシンジ。（部屋着）
周囲には段ボールのままの荷物。#1の鞄。
机の上には、転校手続きの書類。
回っているDATウォークマン（HDにするか一考）。リバースされる。
ミサト「（モノローグ・台詞先行）予備報告もなく、唐突に選出されたサードチルドレン」

同・浴室

scenario

湯船の中のミサト。
ミサト「（モノローグ）それに呼応するかのようなタイミングでの、使徒襲来。合わせて強引に接収された碇司令の息子。確かに違和感残る、案件ね……しかし、あの使徒を倒したというのに私も意外と……（声に出して）うれしくないのね」

同・シンジの部屋
天井の蛍光灯。
それをまんじりともせずに見ているシンジ。耳にはウォークマン。
シンジ「（モノローグ）ここも知らない天井……当たり前か……この街で知ってるとこなんてどこにもないもんな」
ミサト「（回想）ここは、あなたのウチなのよ」
シンジ「———なんでここにいるんだろ」
ベッドの上でうずくまるシンジ。

風呂上がり。部屋の前で髪をふく手をとめるミサト。
ミサト「シンジ君……開けるわよ」
襖を背に寝ているシンジ。しかし眼は開いている。
ミサト「ひとつ云い忘れてたけど……あなたは人にほめられる立派な事をしたのよ。胸をはっていいわ。おやすみ、シンジ君。———がんばってね」

中学校・裏庭（中休み時間）
バクッ。（校舎の画にOFFでSEのみ）
ぶざまに転倒するシンジ。トウジの力いっぱい握りしめた拳が伸びきっている。
トウジ「転校生。ワシはお前を殴らないかん。殴らな気がすまへんのや」
トロリとシンジの鼻血がたれる、
ケンスケ「悪いね。このあいだの騒ぎで、あいつの妹さんケガしちゃってさ。ま、そうゆう事だから」
シンジに背を向けて、去ろうとするトウジ。
シンジ「ぼくだって、乗りたくて乗ってるわけじゃないのに……」
トウジ、踵を返し、シンジの胸倉を掴むと、再び強烈なパンチを見舞う。
空。仰向けになって倒れたまま空を見ているシンジ。
シンジ「……どこが人にほめられることなんだろ。エヴァに乗ってたっていうだけでなんで殴られんだろ」
倒れたままのシンジを、教室の窓から見ているレイ。（いらないか?）

○ミサトとリツコの会話。（場所は一考）
リツコ「そういえばシンジ君、転校初日からクラスメイトになぐられたそうじゃない。パイロットのセキュリティ、大丈夫なの」
ミサト「諜報部の監視システムに問題ないわ。たいしたケガじゃないし。それにプライベートには極力干渉しないほうがいいもの」
リツコ「一緒に住んでるのに。彼のメンテナンスもあなたの仕事よ」
ミサト「だからこそよ。彼、思ったよりもナイーブで、難しい」
リツコ「もう泣き言?自分から引き取るって大見栄きったんじゃない」
ミサト「うっさいわねぇ……私より実の親が問題じゃないの。今日も顔出さないし。碇司令は自分の子供に興味ないのかしら」
リツコ「最近の男はすべからく自分にしか興味ないのよ」
ミサト「女にはつらい時代になったわね」
伊吹「初号機、疑似エントリー完了しました」

○戦闘シミュレーション中の初号機
管制室にいるリツコら。
リツコ「いい、シンジ君。今日はインダクションモードのプログラム練習を続けます」
シンジ「はい」
リツコ「目標をセンターに入れて、スイッチ。これを的確に処理して、感覚で覚え込んで」
シンジ「はい」
黙々とプログラムをこなしているシンジ。
発砲する初号機。爆発する、目標。
伊吹「しかし、よく乗る気になってくれましたね、シンジ君」
リツコ「人の言うことにはおとなしく従う。それがあの子の処世術じゃないの?」
ミサト「……」
規則正しい爆発音が連続する中、制御装置のボタンをひたすら押しているシンジ。
シンジ「目標をセンターに入れて、スイッチ。目標をセンターに入れて、スイッチ。目標をセンターに入れて、スイッチ。目標をセンターに入れて、スイッチ……」

○ミサトのマンション（朝）
マンション引き画よりスタート。
シンジ「あの、行ってきます」
ミサト「いってらっさい。燃えないゴミ、お願いね」

ゴミを捨てるシンジ。
登校風景。
学校の点描。ひとりポツンと窓外を見ているレイ。
レイと同様にシンジを遠巻きに見ているだけのクラスメイトたち。
これらの描写に、かぶるリツコとミサトの台詞。
リツコの声「どう、その後彼氏とはうまくいってる?」
ミサトの声「彼？　ああ、シンジ君ね。転校して1週間。相変わらずよ。未だに、友達いないんじゃないかしら」
リツコの声「シンジ君って、どうも友達を作るのには、不向きな性格かもしれないわね。ヤマアラシのジレンマって話、知ってる?」
ミサトの声「ヤマアラシ？　あのトゲトゲの?」
レイに話しかけられないシンジ。同じく，シンジに声をかけづらいトウジとケンスケ。
リツコの声「ヤマアラシの場合、相手に自分の温もりを伝えたいと思っても、身を寄せれば寄せるほど体中の棘でお互いを傷つけてしまう。人間にも同じことが云えるわ。今のシンジ君は、心のどこかでその痛みに脅えて、臆病になっているんでしょうね」
ミサトの声「ま、そのうち気づくわよ。大人になるってことは、近づいたり離れたりを繰り返して、お互いがあまり傷つかずに済む距離を見つけ出すってことに……」
点描のラストは何かしているミサトとリツコの画に?それとも屋上まで引っ張る?

○中学校・屋上
で、ひとり立つシンジ。唐突にシンジの傍に来るレイ。ドキッとするシンジ。
レイ「非常召集　先、行くから」
そのままトテテッと走り去るレイ。を、見ているシンジ。鳴り出すサイレン音。

超望遠にて迫る使徒。
青葉「（台詞先行）目標を光学で補足。領海内に侵入しました」

ネルフ本部・発令所
リツコ「恐らく、第4の使徒ね」

ミサト「司令、副司令、共に留守中を狙ってくるとは、不届き千万ね。いいわ。総員、第一種戦闘配置。対空迎撃戦、用意」
　　第3新東京市全景にかぶる台詞。
日向「了解。第3新東京市、戦闘形態に移行します」
女A「中央ブロック、収容開始」

　第3新東京市・市街地
　　サイレンと避難命令が反響している市街。交通機関は全てストップ。
　　信号は一斉に赤、運行中止にかわる電光掲示板。道路の掲示板も通行止めに。
　　自動的にシャッターが降り、道路にバリケードが作られていく。
　　不要なビルは地下に収納され、高層ビルには防御壁が覆われていく。
　　逆にジオフロント天井へ姿を見せる、ビル群。天蓋を覆っていく装甲シャッター。
　　ネルフ本部をも入れ込む大ロング。次々と天井から出てくるビル群。
女A「中央ブロック、及び第1から第7管区までの収容完了」

○ネルフ本部・発令所
青葉「政府及び関係各省への通達終了」
女A「目標は依然、進行中」
女B「現在、対空迎撃システム稼働率48%」
ミサト「非戦闘員及び、民間人は?」
青葉「すでに退避完了との報告が入っています」

　地下シェルター
　　学校の生徒たちをはじめ、大勢の市民が避難している。
　　遠くで子供の騒ぐ声。赤ん坊の泣く声。
　　体育座りの生徒たち（個人のカバンは持って来ている）。
　　ケンスケは自分のハンディカメラ（モニター付き）を見ている。
　　どのチャンネルも画面は同じ。お花畑の静止画像にお決まりのテロップのみである。
ケンスケ「（くやしそうに）チッ、まただ!」
トウジ「また文字だけなんか?」
ケンスケ「報道管制ってやつだよ。我々民間人には見せてくれないんだ　こんなビッグイベントだっていうのに。」

○ネルフ本部・ケイジ
　　プラグのロックが外れる。
　　エヴァ初号機から離れていくプラグ用クレーン。アナウンス有り。

○エントリープラグ内
　　目をつぶっているシンジ。バックが金属板からモニターに変わる。
アナウンス「エントリースタートしました」
伊吹「LCL電荷」
アナウンス「圧着ロック解除」
　　うっすらと目を開けるシンジの半面UP。
シンジ「父さんにほめられることもないのに、なんで、また乗ってんだろ……」
　　フラッシュバックインサート。遠巻きに無視しているクラスメイトら。殴るトウジ。
シンジ「――人に嫌われてまで」

　地下シェルター
　　に、避難しているムスッとした顔のトウジ。

　　傍らのケンスケは貧乏ゆすりをしてる。（オフでアナウンス有り）
　　ケンスケ、ついに決心。
ケンスケ「ねぇ、ちょっと二人で話があるんだけど」
トウジ「なんや?」
ケンスケ「ちょっと、なっ」
トウジ「しゃーないな、委員長!」
ヒカリ「なに?」
トウジ「わしら二人、便所や」
ヒカリ「もう、ちゃんと済ませときなさいよ」

○男子用トイレ
　　にて、用を足しているトウジとケンスケ。
ケンスケ「なんとしても、死ぬまでに一度だけでも見たいんだよ!」
トウジ「上のドンパチか?」
ケンスケ「本物なんだよ。今度いつまた敵が来てくれるかどうかもわかんないし。この時を逃しては、あるいは永久に・・・なっ、たのむよ。ロック外すの手伝ってくれ」
トウジ「……しゃあないな。お前ホンマ自分の欲望に素直なやっちゃな」

○エントリープラグ内
　　目をつぶっているシンジ
　　電話の呼び出し音。うっすらと目を開けるシンジ。
ミサトの声「シンジ君。出撃、いいわね」
シンジ「ハイ……」
リツコの声「よくって。敵のATフィールドを中和しつつ、パレットの一斉射。練習通り、大丈夫ね」
シンジ「ハイ……」

　ネルフ本部・発令所
ミサト「発進!」

○第3新東京市・山間部
　　重厚な非常用ハッチが開いている。
　　高台に駆け昇るトウジとケンスケ。
　　ビル影から姿を現す、使徒
　　飛行形態から戦闘形態へと移行する、使徒。

　　トウジ、その巨大で異様な姿に身が竦む。ケンスケ、ビデオを回しながら――
ケンスケ「すごい!!これぞ、苦労したかいも、あったというもの。お、待ってました!」

○同・ビル街
　　ビル正面の全面シャッターが開き、出現するエヴァ初号機。

○同・山間部
　　茫然とその巨体を見ているトウジ。
ケンスケ「……出た」

　　エヴァのまわりに波ガラスがF.I→F.Oする

○エントリープラグ内

緊張した面持ちのシンジ。ブツブツと一人言を言っている。
シンジ「目標をセンターに入れてスイッチ、目標をセンターに入れてスイッチ……」
伊吹の声「ATフィールド、展開」
ミサトの声「作戦どおり。いいわね、シンジ君」
シンジ「ハイ……」
シンジ、制御装置を握る。

○第3新東京市・ビル街
抜き打ちで、いきなり乱射する、エヴァ初号機。
撃ち続ける弾幕で使徒が見えない。

ネルフ本部・発令所
ミサト「バカ!!爆煙で敵が見えない!!」

第3新東京市・ビル街
一斉射し終わる初号機。煙で何も見えない
肩で息しているシンジ。アッとなる。
いきなり伸びる、使徒の腕。
シンジ「!?」
いとも簡単にガンの砲身をまっぷたつにする。
早くもピンチのエヴァ。

同・山間部
トウジ「何や! もうやられとるでっ!!」
ケンスケ「大丈夫」

ネルフ本部・発令所
ミサト「シンジ君、予備のライフルを出すわ」

武装ビルのロックボルトが外れる。カバーが開き、姿を現すライフル。
あせっているシンジ。何も耳に入っていない。
ミサト(オフ)「受け取って。……シンジ君?……シンジ君?」
だが、初号機は動かない。

○第3新東京市・山間部
ケンスケ「(ビデオ撮りながら)あちゃーっ……やっぱ殴られたのが効いてるのかな」
トウジ「う、うるさいわいっ!!」

○同・ビル街
跳躍する使徒(周辺のビルに衝撃波を伴いつつ)。
一瞬のうちにエヴァの直前へ。
ビビル、シンジ。
使徒の手刀をかろうじて避ける、エヴァ。
だが、その刃は電源ケーブルを切断してしまう。

作戦管制室のスクリーンに出現する、逆算式大型時計。
エントリープラグ内にも現れる、時計。内部は赤バラ。鳴り響く、警告音。
あせるシンジの顔。

スクリーンを見つめるミサト。に、オフ台詞。
青葉の声「アンビリカルケーブル、断線!」
日向の声「エヴァ、内蔵電源に切り替わりました!」
伊吹の声「活動限界まで、あと4分53秒」

エヴァの脚が使徒の腕に拘束される。
画面動のシンジ。
そのまま、宙に放り投げられるエヴァ。

うわあぁっ!となるトウジとケンスケ。
二人「こっちに来るっ! ぎゃあああああああああああああああああ」
二人の真上に墜落するエヴァ初号機。

ぐったりしてるシンジ。各種警告音と共に、ミサトの声が響く。
ミサトの声「シンジ君、大丈夫? シンジ君。(日向に)ダメージは?」
日向の声「問題なし、いけます」
シンジ「うう……」

エヴァの指の間にいる人影に気づくシンジ。
偶然、エヴァの指の間にいて助かったトウジとケンスケ。
二人、頭を抱えたまま身動きひとつせず震えている。
シンジの背中にゾーっと戦慄が走る。
初めて恐怖の感情が襲ってくる。

発令所に二人のIDデータが映る。
ミサト「シンジ君のクラスメイト……」
リツコ「何故、こんなところに?」

山側の旧市街に侵入する使徒。ゆっくりとエヴァに迫っている。
使徒を見るエヴァ。
モニター越しに迫る使徒。
エヴァの手元で何もできず、見上げてるだけのトウジとケンスケ。
迫る、使徒。山腹を昇り始める。
何もできないシンジ。
メインモニターは、画面分割で迫る使徒と手元の二人。
使徒の腕が激しくしなって、するどく伸びる。
素手で受ける初号機。
焼ける手のひら。
トウジ「なんで戦わへんのや?」
ケンスケ「ボクらがここにいるから?……自由に動けないんだ」

伊吹の声「初号機、活動限界まであと3分28秒」
決断するミサト。

ミサトの声「シンジ君、そこの二人を操縦席へ!」
シンジ「!?」

ネルフ本部・作戦管制室
あっけにとられているリツコ。

ミサト「二人を回収した後、一時退却。出直すわよ」

○山間部
　伸びる、エヴァのエントリープラグ。
　外部スピーカーから山に木霊する、ミサトの声。
ミサトの声『（外部スピーカーから）そこの二人、乗って！　早くっ！』
トウジ「……」

○エントリープラグ内
　真っ暗闇に突如響く水音。ほぼ同時に何かが水に飛び込む音ある（ステレオで）。
トウジの声「な、なんや！（ゴホッ！）水やないかっ！」
ケンスケの声「（ゴホッ！）カメラ！カメラが……？！（ウゲッ！）」
　突然、明るくなるプラグ内。
　再び鳴り響く、各種警告音。
　おどろく二人。その目の前には戦闘着姿のシンジがいる。
　しばし視線を交えたまま、言葉をかわわさない3人。
　不機嫌な、ムッとした表情のままのトウジ。
　目をそらすシンジ。
　主モニターには、目前の使徒が映っている、
　青ざめたまま戦闘態勢をとるシンジ。

　使徒を放り投げる初号機。

　雑多な音に混じって響くミサトの無線台詞。
ミサトの声『今よ！後退して！

　動かないシンジ。
　残り時間を刻み続けるカウンター表示
　迫る、活動限界。
ミサトの声『回収ルートは34番。山の東側に後退して！
トウジ「転校生！　逃げろ云うとるでっ！　転校生！」
シンジ「（小声で）逃げちゃだめだ。逃げちゃだめだ。逃げちゃだめだ。逃げちゃだめだ」
　初号機の肩部分が開いて、中からプログレッシブナイフが出てくる。（新デザイン）

○ネルフ本部・発令所
　緊張するミサトら。
日向「プログレッシブナイフ装備！」

　肩のナイフを抜いてかまえる初号機。
ミサトの声『シンジ君、命令を聞きなさい、退却よ』
シンジ「……」
ミサトの声『シンジ君!!』
シンジ「うあああああああああああああっ!!」
　そのまま、ザザーッと山腹を滑り降りる初号機。

ミサト（吐き捨てるように）「あの、バカっ」

　突進する初号機！
　腹部を貫かれるがかまわず突進する初号機。貫通部分から吹き出る大量の血。

　叫びながらナイフを突き出す、シンジ。
　喚きながら、光球を刺す！
　赤パラのプラグ内。軋み音。
　かん高い警告音や無機質なカウントダウンが響く中、
　叫びながら力任せにレバーを押し込んでいくシンジ（右手に左手を添えて）。

　お互いに火花を上げて食い込んでいく刃物。（血も噴き出すか？）
　涙を散らしながらただ叫び続けるだけのシンジ。
　黙ってその様を見ている二人。
　高周波ナイフが、使徒の手刀が少しずつ相手の体に入っていく。

○ネルフ本部・発令所
伊吹「初号機、活動限界まであと30秒。27、28……」
ミサト「———」

　ただ喚くだけのシンジ。無気質に響くカウントダウンの声。
　死んでいく左モニター。
　刃がかなり食い込んでいる使徒の光球。飛び散る火花。
　残り1秒でついにヒビ割れ消える、光。
　プラグ内に初号機の停止音が響く。
　闇に包まれるシンジら。

　血袋のごとく爆発四散する使徒の身体。
　初号機に血の雨が降る。

○エントリープラグ内
　予備電源の仄かな明かり。言葉のないトウジ、ケンスケ。
　シンジの嗚咽が響く。
　肩を震わせているシンジの後ろ姿を見つめるトウジとケンスケ。

○山間部
　引き画。血の大雨の中、オブジェのように動かない初号機の巨体。

○ネルフ本部
　洗浄されている初号機の機体。（＃16流用）

○第3新東京市
　に、降る雨の点描。（＃4と＃22のBANKから）

○ネルフ本部・ロッカールーム
　Tシャツ姿のシンジに注意するミサト。
ミサト「どうして私の命令を無視したの？」
シンジ「すみません」
ミサト「あなたの作戦責任者は私でしょう」
シンジ「はい」
ミサト「あなたには私の命令に従う義務があるの。判るわね」
シンジ「はい」
ミサト「今後、こういう事のないように」
シンジ「はい」

scenario

ミサト「……あんた本当に判ってんでしょうね」
シンジ「ええ、判ってますよ、ミサトさん。もういいじゃないですか。勝ったんだから。云われればまたいつでも乗りますよ。乗ればいいんでしょ」
　キレるミサト。
　目だけ笑った感じになるシンジ
　思わずシンジの胸元をつかむミサト。目をそらしたままのシンジ。（ビンタか？）
ミサト「もういいわ。先に帰って休んでいなさい」
　黙したまま出て行くシンジの背中。閉まるドア
　対処しきれないミサトの表情。

　何かシーン挟むか？　明るく（赤く）なっていく街の全景？

第3新東京市の夜明け
　赤い世界。ビルも空も赤く染まっている。ひとり歩くシンジ。
　突然、一匹の蝉が鳴き出す。その音にドキッとなるシンジ。
　蝉の大合唱がシンジの耳に殺到する
　耳を塞ぐシンジ。逃げるようにしてその場から走り去る。

○第3新東京市・郊外
　山あいへの道をバスが走る。
　バスの停留所の脇に佇むシンジ。

田園地帯
　視界一面に広がる水田。
　そのあぜ道をシンジが歩く。
　青い稲穂が風にそよぎ、海面のようにうねっている
　山なみには沸き立つような白い入道雲。

芦ノ湖
　エメラルド色の水の広がり。
　湖畔の道を一人行くシンジ

○一面の黄色
　丘の上に咲き乱れる向日葵の花。
　その下をかきわけるようにして進むシンジ

大湧谷
　風が吹き荒れている
　高台に立つシンジ、ふと目を移す。
　小さく見える第3新東京市。大きく流れる雲。
　うずくまっているシンジ

○市街地の夜
　水たまりに写るネオンの明かり。
　繁華街をあてもなくさまようシンジ。
　しかし、全ての行動は常に監視されていることに気づく。
　自由がなく、どうでもよくなるシンジ。街中でいきなり諜報部員に叫ぶ
シンジ「いいですよ、もう!……ミサトさんの所に連れてって下さい」

○ネルフ本部・小部屋（壁にネルフのマーク有）
　軟禁状態のシンジ。オフでドアの開閉音。ミサトが入ってくる。
ミサト「……1日中歩き回って、気が済んだ？碇シンジ君」
シンジ「……別に。どうでもよくなりました。何もかも。もう僕に自由なんてないんだ」
ミサト「……」
シンジ「……どうせ僕はエヴァに乗るしかないんですよね。そのためだけに父さんに呼ばれたんだから」
ミサト「……」
シンジ「いいですよ。乗りますよ。それでみんながいいんだったら、僕はいいですよ」
ミサト「みんなって……あなたはどうなの？」
シンジ「僕には無理だってこと、わかってるんですよ。みんなもわかってるんだ、きっと。それでもケカしてる綾波やミサトさんや父さんが……」
ミサト「いいかげんにしなさい」
　ビクッと顔を上げるシンジ。
ミサト「他人（ひと）の事なんか関係ないでしょ。エヴァのパイロットを続けるかどうか、あなた自身が決めなさい。イヤなら、ここを出て行ってもいい。全て、あなたの自由よ。好きにすればいいわ」
　ミサト、退出して行く。ガッシャーンと扉の閉まる音。
ミサト「彼に何をどう云えばいいのかわからない……ヤマアラシのジレンマか……私もダメね。全然大人になりきってない」
　部屋に一人取り残されるシンジ
　長い間。
　ドアが開き、出てくるシンジ。
　ドア外で壁に寄りかかり待っていたミサト。
シンジ「あの……ここに、残ります」
ミサト「……ありがとう」

○同・執務室
　ゲンドウと冬月の会話。
　傍らに立つリツコ。（いらないか？）
冬月「結局、お前の息子は予定通りの行動を取ったな」
ゲンドウ「ああ、次はもう少しレイに接近させる。計画に変更はない」
冬月「14年前からのシナリオ、運命を仕組まれた子供たちか……過酷過ぎるな」

○アイキャッチ（英語版主タイトル）

○中学校・校舎の裏
　蝉の声。望遠、引き画でトウジとケンスケ。そしてシンジの姿。
トウジ「ええから早よぉせい。せやないとワシの気持ちも収まらん」
ケンスケ「ま、こういう実直な奴だからさ。頼むよ」
　躊躇しつつも本気でトウジを殴るシンジ。倒れそうなのをこらえるトウジ
トウジ「これで貸し借り、チャラや。殴ってすまんかったな、碇」
　軽い笑顔になるシンジ
　その様子を教室の窓から見ているレイ。その寄りに台詞先行
伊吹の声「起動システムに異常発生」

ネルフ本部・実験場（回想）
　チェックモニターが次々と消えていく。
　零号機の巨体がガタガタと小刻みに震え始める

「直通モニター、断線」
「中枢神経素子にも拒絶が始まっています」
伊吹「パルス、逆流。せき止められません!」

リツコ「コンタクト停止。6番までの回路を閉鎖」
伊吹「だめです。信号がとどきません」
　　狂ったように身を捩らせる零号機。
　　ついには拘束具をひきちぎってしまう。
　　左手で自分の首をもごうとしている零号機
伊吹「零号機、制御不能っ!!」
ゲンドウ「実験中止。電源を落とせ」
リツコ「はい」
　　ガラスのカバーを割り、非常スイッチを力いっぱい引くリツコ。
　　零号機の爆砕ボルトが飛び、ケーブルが外れる。
　　ガクンと一瞬、力が抜けたようになり停止する零号機。
　　が、すぐに再び動き出す。
リツコ「零号機、予備電源に切り替わりました」
「完全停止まであと35秒」
「自動制動システム、未だ作動せず」

　　制御室の窓ガラスを叩き始める零号機。
　　ゲンドウの前のガラスがどんどんヒビ割れていく。
リツコ「(碇に)危険です。さがって下さい!」

　　かがみこんだ零号機。背中のカバーが爆砕される
伊吹「オートエジェクション、作動します!」
ゲンドウ「いかん!!」
　　脱出ロケットに点火、射出されるエントリープラグ。
　　が、そのまま天井にぶつかってしまう。
　　ガリガリ天井を這う、エントリープラグ
　　角まで走り、しばらく止まる
リツコ「特殊ベークライト!急いで!!」
女A「完全停止まであと10秒……」
　　噴射炎が消え、床に落下していくプラグ。
ゲンドウ「レイ!」
　　床に激突するプラグ。
　　壁の噴出吭から噴出されるコンクリのようなもの。
　　零号機の体を固めていく
女A「……3、2、1」
　　ついに壁を貫通する右腕。停止する零号機。

　　エントリープラグに駆けよるゲンドウ。
　　過熱した非常ハッチのハンドルを素手で掴む。
ケントウ「うぐぅ」
　　ジュッと肉の焦げる音。ゲンドウ、思わず手を放す
　　セルフレームの眼鏡が床に落ちる。
　　ゲンドウ、再びハンドルを掴むと力いっぱいそれを回す。
　　その様子を見下ろすリツコ。
　　開かれる非常ハッチ。

　　中にケガをし、朦朧とした様子のパイロット(綾波レイ)が見える。
ゲンドウ「レイ……大丈夫か?レイ!」
レイ「(うなづく)……」
ゲンドウ「そうか……」
　　レイの目に映る眼鏡のないゲンドウの顔。その意外に優しい瞳。

　　過熱した装甲板の上で、飴のようにゆっくり変形していくゲンドウのセルフレームの色眼鏡。
　　そのレンズにピシッとヒビが入る。

同・実験場(現在)
　　飛び散る火花。零号機の発掘作業が進められている。台詞は全てオフで。
リツコ「綾波レイ14才。マルドゥックの報告書によって選ばれた最初の被験者、ファーストチルドレン。エヴァンゲリオン試作零号機、専属操縦者。過去の経緯は白紙。全て抹消済み」
シンジ「その綾波を助けるために……父さんが」
ミサト「にわかに、信じられないわね」
リツコ「正規の報告書では削除されているけど、まぎれもない事実よ」
ミサト「そんな暴走事故を起こした零号機の凍結解除、ちと性急過ぎない?」
リツコ「使徒は再び現れた。戦力の増強は我々の急務よ」
ミサト「それはそうだけど———」
　　暗いプラグ内でゆっくりと上を向いて口から泡をひとつ作るレイ。
リツコ「レイの再起動実験自体に問題はないわ。神経接続の調整が済めば———」
ミサト「即、再配備というわけね」

○初号機のエントリープラグ内
　　顔を上げるシンジのUP。(OP流用#14とか)
　　モニターを見ているシンジ。(オフでリツコと伊吹らの点検の無線声)
　　プラグスーツ姿のレイ、黙々と零号機の肩の上でエントリープラグの微調整を行っている。
　　ゲンドウと会話しているレイ。
　　レイの微笑み。
シンジ「……」

ミサトのマンション・全景(夜)

○同・シンジの部屋
　　ひとり、ベッドに横たわるシンジ、に台詞先行 (#2流用?)
リツコの声「どう、彼との生活は?」

場所一考(カフェバーみたいなところか?)
　　ミサトとリツコの会話。
ミサト「まぁ、ね。少し、慣れた」
リツコ「まだ緊張してんの?男と暮らすの、初めてじゃないでしょ」
ミサト「8年前とは違うわよ。今度のは恋愛じゃないし」
リツコ「それは、どうかしら。シンジ君、あなたがいるから残ったんじゃない?」
ミサト「違うわ。多分、お父さんがいるからよ」
リツコ「……」
ミサト「お父さんに自分を見て、知って、触れて、一言でいい……ほめて欲しいのよ。彼は孤独を感じさせないだけの、愛情が欲しいだけだと思う」
リツコ「父親との確執……ミサトと同じね」

ミサト「……」
　時計を見るリツコ。
リツコ「そろそろ戻らなくちゃ。ミサト、帰るならこれ頼める?」
　カードを2枚出すリツコ。
リツコ「シンジ君の正式なセキュリティカードと、綾波レイの更新カード」
ミサト「レイの?」
リツコ「さっき渡しそびれて。明日、シンジ君に頼めるかしら」
ミサト「———いいけど」

○ミサトのマンション・シンジの部屋
　ヘッドで寝ているシンジ。(#2L/O 兼用)
　レイのカードをかざして見る。その写真の寄り。レイとゲンドウの会話を思い出す。
シンジ「綾波レイ……父さんはなんで笑っているんだ……なんで僕には笑わないんだ」

○マンモス団地
　無限のパースペクティブをもって立列しているビル群。蝉と工事の音。

○同・レイの部屋・外
　表札には実に乱暴な字で［綾波］と書かれている。
　シンジ、ブザーを押すが、音がしないので、再びカチャカチャ押す。
　ドアのノブに手を触れると鍵はかかっていない。暗い感じの玄関。
シンジ「ごめんください」
　中から返事はない。ブレイカーの耳をつんざく大騒音。
シンジ「(玄関に入って)ごめんください。碇だけど」
　その声もブレイカーの音に消されてしまう。
シンジ「綾波、入るよ」

○同・居間
　シンジ、中に入って息を飲む。
　暗くて、がらんとして、情緒というものがまったく感じられない室内。
　壁紙は剥がされておりモルタルの地肌が無残にも露出し、暖房事故でも起こしたのか、天井にかけての広範囲が黒い煤で汚れている。
　部屋の隅には段ボール箱が積まれていて、生活必需品はそこから取り出している形跡がある。空箱には血で汚れた包帯が捨ててある。
　おそらく団地が竣工した時に仮につけられたものだろう、黒いビニールのカーテンがペラペラと僅かばかりの風にそよいでいる。
　殺伐、を絵にするとこんな感じになるといった部屋だ。
　シンジ、チェストの上に気づく。
　大事そうに置いてある変形してレンズの割れた色眼鏡。
　零号機の起動実験の時、碇ゲンドウが落としたものだ。
　それを知らないシンジは何げなくそれに手を伸ばし、かけてみる。
　ブレイカーの音が止まる。
　カーテンの開く音。その音を聞き、焦るシンジ、
　裸にバスタオルを羽織っただけのレイが入ってくる。
シンジ「(驚愕。言葉にならない)」
　レイ、シンジの眼鏡に気づく。
　その眉間に少し皺が寄る。
　レイ、裸を隠すこともなくシンジに歩み寄る。
シンジ「(気が動転して)いや、あの……僕は、別に……」

　後ずさってしまうシンジ。
　レイ、シンジのかけている眼鏡を掴み取る。
　その瞬間、二人とも転倒してしまう。
　長い間。
　重なり合って動かない夏服の少年と全裸の少女。
　再びブレイカーの音。
　シンジのすぐ目の前に、眼帯を外したレイの素顔がある。
シンジ「……(言葉にならない)」
　動揺することもなく、無表情なままのレイ。
　シンジの顔に浮かぶ玉の汗。
レイ「どいてくれる?」
　シンジ、自分の片手がレイの胸のふくらみに触れているのに気づく。
シンジ「あっ!!あ、あの……!!」
　レイ、シンジを押しのけ立ち上がると、散らばった下着を拾い、それを履きはじめる。
　慌ててレイに背を向け、俯くシンジ。
レイ「(パンツを履きながら)何?」
シンジ「え、あ、いや……ぼ、ぼくは、あの……その……」
　チラリとレイのほうを見る。ブラをつけるレイ。
シンジ「ぼくは……た、たの、頼まれて……つまり……何だっけ……カード、カードを、新しくなったから、と、届けてくれって……だから、だから別にそんなつもりは……」
　レイ、チラッと時計を見ると、眼鏡を大事そうにケースに収める。
　ドックン、ドックンと心臓の激しい鼓動がシンジの胸を突き上げる。
シンジ「リツコさんが渡すの忘れたからって……ホントなんだ、それで、チャイム鳴らしても誰も出ないし……カギが……開いてたんで」
　玄関のドアの閉まる音。
　振り向くシンジ。誰もいない部屋。
シンジ「……」

○炎天下のアスファルトの道
　濡れた髪のまま、陽炎の中を歩くレイ。
　少し離れて後を追うシンジ。

○地下モノレール
　離れた席に座っているシンジとレイ。
　乗客は二人だけである。

○地下通路ゲート
　レイ、ゲートの前に立ち、セキュリティーカードをスリットさせる。
　だが、扉は開かない。
　レイ、もう一度スリットさせるが開かない。
レイ「……」
　シンジが来て、カードをスリットさせる。
　開く扉。
シンジ「これ、綾波の新しいやつ。リツコさんに頼まれて……」
　レイ、何も言わず、更新したカードをシンジから奪うようにして取る。

○ジオフロントへの長い長いエスカレーター(下り)
　レイの後ろにいるシンジ。
　二人とも黙っている。

沈黙に耐え切れず、シンジは口を開く。
シンジ「さっきはごめん……」
レイ「何が」
シンジ「……」
再び沈黙。
シンジ「(話題を変え) ねえ、綾波は怖くないの? またあの零号機に乗るのが」
レイ「どうして?」
シンジ「……前の実験で大ケガしたんだって聞いたから……平気なのかなって思って……」
レイ「そう、平気」
シンジ「でもまたいつ暴走して危ない目に遭うか、使徒に負けて殺されるかもしれないんだよ。何で平気なんだよ」
レイ「あなた、碇司令の子供でしょ」
シンジ「うん……」
レイ「信じられないの?お父さんの仕事が」
シンジ「あたりまえだよ。あんな父親なんて」
レイ、キッとした目で向き直る。
ハッとなるシンジ
レイのシンジへの平手打ちの音が鳴り響く。
茫然と頬を押さえるシンジ。レイと父親との絆を知る。

超望遠の画。遥か彼方に使徒の姿。常に外形が変化している。

○ネルフ本部・発令所
青葉「未確認飛行物体の分析を完了。パターン青、使徒と確認」
箱根上空を進む使徒の全景。変化を続けている幾何学的な外形。
冬月「やはり、第5の使徒だな」
ゲンドウ「ああ、初号機を出撃させる」
発進準備の初号機。
迫る使徒。
青葉「目標は芦ノ湖上空へ侵入」
日向「エヴァ初号機、発進準備よろし」
ミサト「発進!!」

○エヴァンゲリオン専用昇降機
ロックが外れ、射出される初号機。
長い専用シャフトを上昇していく。

○第3新東京市付近の上空
使徒の内部に光が流れ始める。

○ネルフ本部・発令所
青葉「目標内部に高エネルギー反応!」
ミサト「何ですって!」
リツコ「まさか……」

○第3新東京市・市街地
道路が二つに割れ、せり上がって出現する初号機。

○ネルフ本部・発令所

ミサト「だめ!!よけてっ!」

○初号機・エントリープラグ内
シンジ「え?」

○第3新東京市・市街地
使徒より発射される熱光学エネルギー。
爆心地に昇る巨大な光の十字。蒸発する周囲のビル群。
その中で唯一原型を留めている初号機。
ミサト「ロック解除!保護アーマー展開!」
初号機の周囲に展開される防御システム。
それに合わせた様に変化する使徒の攻撃。
保護アーマーもイッキに融解、蒸発してしまう。さらに照射を続ける使徒。
ミサト「迎撃中止!エヴァ初号機を緊急回収!」
日向「だめです!カタパルト融解、作動しません」
その場で立ち往生のまま、次々と融解していく初号機の装甲板。
リツコ「エヴァのATフィールドは?」
伊吹「展開中!しかしあらゆる位相を中和されています!」
融解している初号機の胸部。
泡立ち始めるエントリープラグ内。
パニックとなり、いきなり逃げようとするシンジ。
シンジ「イヤだ!もうイヤだっ!ここから出してよ!出してよっ!父さんっ!」
ミサト「作戦要項を破棄!パイロット保護を最優先!プラグを緊急射出して!」
ゲンドウ「だめだ」
え?となるミサト。
リツコ「今、パイロットを失うとエヴァのATフィールドは完全に消失してしまう。最も憂慮すべき事態となるわ」
更に融解していく機体。熱波に覆われ溶けていく街、蒸発する池や河。
ミサト「———しかし」
気泡が立ち昇るプラグ内。絶叫をあげるシンジ。
ミサト「やむをえないわ!機体を強制回収!爆砕ボルトに点火して!」
一斉に点火される爆砕ボルト。街の基盤が次々と粉砕されていく。
地上ブロックごとビル街と共に地下に陥没する初号機。
目標を失い終息する使徒の攻撃。
地下に瓦礫とともに倒れている初号機。
ミサト「シンジ君は!?」
日向「生きてます。ただし心音微弱」
鼻血を出してぐったりしているシンジ。
リツコ「プラグを強制排出。パイロットの生命維持を最優先。機体処置は後回しでいいわ」
瓦礫の中の初号機。強制排出されるエントリープラグとLCL。
ミサト「救護班、急いで!」
点滅している赤色灯。
集中治療室の黒い棺桶のような医療用カプセルに入っているシンジ。フタが閉まる。

○第3新東京市・中心部
使徒の下面から一部が伸びていく。
そのまま地面につきささり融解させつつ掘り進んでいく先端部。
その引き画。
ミサト「(台詞先行) 奴の狙いは、ここネルフ本部への直接侵攻か」

scenario

○ネルフ本部・作戦室
　色んな状況がモニターされている。並ぶ面々。
ミサト「では、各部署の分析結果を報告して」
作戦課員A「先の戦闘データから、目標は一定距離内の外敵を自動排除するものと、推測されます」
ミサト「エヴァによる近接戦闘は、無理というわけね。ATフィールドはどう?」
伊吹「健在です。おまけに位相パターンが常時変化しているため外形も一定せず、中和作業は困難を極めます」
日向「マギによる計算では、目標のATフィールドをN2航空爆雷による攻撃方法で貫くには、ネルフ本部ごと破壊する分量が必要との結果が出ています」
リツコ「松代のマギ2号も同じ結果を出したわ。現在、日本政府と国連軍がネルフ本部ごとの自爆攻撃を提唱中よ」
ミサト「対岸の火事と思って無茶云うわね。ここを失えば全ておしまいなのに」
作戦課員B「しかし、問題の先端部分は第2装甲層を通過　すでに第3装甲層まで侵入しています」
青葉「22層、全ての特殊装甲を貫き、本部直上への到達予想時刻は、明朝午前0時06分54秒　あと、約10時間14分後ですね」
リツコ「更に、零号機は未調整のため実戦は不可能　初号機も先の損傷で当分はまともに動けないわよ」
ミサト「状況はかんばしくないわね」
伊吹「まさに八方ふさがりですね」
日向「白旗でも、挙げますか」
ミサト「そうね。でもその前にちょっちやっておきたいことがあるの　（日向に）確か、戦自研の極秘資料、諜報部にあったわよね」
　え?となる面々

○同・執務室
　座っているケンドウ。傍らに冬月。の前に立つミサト。
冬月「試作陽電子砲による目標のレンジ外、長々距離からの、直接射撃かね」
ミサト「そうです。目標のATフィールドを中和せず、高エネルギー集束帯による一点突破しか方法はありません。」
冬月「『マギ』による勝算は、8.7%か」
ミサト「最も高い数値です。御承認、願います」
ケンドウ「反対する理由はない。やりたまえ、葛城一尉」
ミサト「ハイ」

○二子山第2要塞
　工事中の施設内
リツコ「しかしまた、無茶な作戦立てたものね、葛城作戦部長さん」
ミサト「無茶とはまた失礼ね。残り9時間以内で実現可能　おまけに最も確実なものよ」
　次々に搬入されていく機材。コンテナには戦略自衛隊のマーク等も有
リツコ「ヤシマ作戦。その名のごとく日本全土から電力を強制挑発し、戦自研が極秘に試作開発中の大出力陽電子自走砲まで強制挑発。未完成のため自立調整出来ない部分は、エヴァを使って精密狙撃をさせる。国連軍はいいとして、よく内務省と戦略自衛隊を説得出来たわね」
ミサト「ま、色々とね。貸しがあるのよ」
リツコ「蛇の道は蛇ね」

○第3新東京市

　街上空の使徒　ナメて少し傾いた太陽。先端部が更に進んでいる

○二子山第2要塞
　モニターに映る使徒の状況。
青葉「敵先端部、第7装甲板を突破」
　敷設中のものすごい数のコードや移動式変電機。仮設電力システムが設置されている
ミサト「エネルギーシステムの見通しは?」
　居並ぶ架空送電鉄塔。森や町中を走る電源コードの束。巨大なドラム型のコンセント等
作業員「現在、予定より3.2%遅れていますが、本日23時40分までには開通させます」
ミサト「狙撃システムの進捗状況は?」
　組み立て途中の試作陽電子砲。
担当責任者「組み立て作業に問題なし。作戦開始時刻までには、なんとかします」
ミサト「エヴァ初号機の状況は?」
　回収され装甲板が外されている初号機。素体部分にはカバーがかけてある
伊吹「現在、狙撃専用のG型装備に換装中。あと、2時間で形に出来ます」
ミサト「了解。あとはパイロットの問題ね」

○ネルフ本部・集中治療室
　寝ているシンジ。傍らにレイ
　検査機器のモニター。表示がオールグリーンに変る。開く医療用カプセル。

○二子山第2要塞
日向「シンジ君の容態が回復したそうです。検査数値に問題なし」
ミサト「そう。では作戦は予定通りに」
リツコ「でも彼、もう一度乗るかしら」
　乗ると確信しているミサトの表情

○ネルフ本部・執務室
　の、ゲンドウと冬月。（＃14流用か?）
冬月「初号機パイロットの処置はどうするともりだ?」
ケンドウ「ダミープラグは試験運用前の段階だ。実用化に至るまでは今のパイロットに役立ってもらう」
冬月「最悪の場合、洗脳か」
ゲンドウ「ダメな時はレイを使うまでだ」
冬月「レイを初号機に……あまりに危険過ぎないか」
ゲンドウ「いかなる手段を用いても、我々はあと8体の使徒を倒さねばならん」
冬月「全てはそれからか」

○シンジのイメージ
　駅ホームで泣いている幼いシンジ。傍らに大きな鞄。（＃1・＃16とか流用）
　鳴り響く発車ベル。走り出す電車。
　その車中に座っているシンジ。（＃16の電車の中流用）
シンジ「嫌なんだよ、エヴァに乗るのが」
　誰もいない向かいの席
シンジ「うまくいって当り前。だから誰もほめてくれない。失敗したらよくてみんなに嫌われる　ひとけりゃ死ぬだけか。何で僕はここにいるんだ?」
　向かいに座っている幼いシンジ。通過する踏切音
シンジ「何か変るかもって、何かいいことがあるかもと思って、ここに来たんだ。イヤな思いをするためじゃない」

連結部付近に立っているレイ。
レイ「そうやってイヤな事から逃げ出して、ずっと生きていくつもり?」
シンジ「生きる?　何で生きてんだ?　僕は?」
向かいの椅子に座っている無言のレイ。
シンジ「生きていてもしょうがないと思ってたじゃないか」
無言のレイ。
シンジ「父さんも、ミサトさんも、誰も、僕がいらないんだ。エヴァに乗らない僕は、必要ないんだ」
無言のレイ。
シンジ「だから、僕はエヴァに乗るしかないんだ」
無言のレイ。
シンジ「だから、僕はここにいられるんだ」
無言のレイ。
シンジ「だけど、エヴァに乗ると———」

○病室（夕景）
で、目覚めるシンジ。（BANK 流用）
シンジ「……また同じ天井。エヴァに乗るとこればかりだ」
傍らに立つレイ。食事用のトレイも有。
シンジ「（気づき）……綾波?」
レイ「明日午前0時より発動されるヤシマ作戦のスケジュールを伝えます。碇、綾波の両パイロットは本日17時30分、ケイジに集合。18時00分、初号機、及び零号機、起動。18時05分、発進。同30分、二子山第2要塞に到着。以降は別命あるまで待機。明朝、日付変更と共に作戦行動開始」
作戦内容を全て記憶しているレイ。ようやく頭がはっきりしてくるシンジ。
レイ「食事」
シンジ「何も食べたくない」
レイ「60分後に出発よ」
シンジ「出発って……また……アレに乗っれていうのか?」
レイ「ええ、そうよ」
シンジ「もうイヤだ。もうあんな怖い思い、したくない。怖くて……怖くて……でも逃げる事も出来ないんだ」
レイ「エヴァが怖いの?」
シンジ「……」
レイ「じゃ、寝てたら」
シンジ「（意外そうな顔で）寝てたらって」
レイ「初号機には、私が乗る」
シンジ「……綾波」
レイ「さよなら」
出て行くレイの背中。閉まるドア。
考え込むシンジの半面アップ。

○第3新東京市・中心部（夜）
サーチライトが照射され、恰もライトアップしたかのように浮かび上がる使徒。
ネルフ本部に迫る使徒の先端。

○二子山第2要塞
整備が進む施設。山頂までぎっしりと詰まった、電源関係の車両。
山腹を埋めている、超高圧送電線の束。上空を飛ぶ，各種航空機．

要塞施設内に山のように設置されている冷却装置や変圧機等。周りはライトだらけ。
やたらと慌ただしい施設内の様子。
青葉「（off）敵先端部、第17装甲板を突破。本部到達まで、あと3時間55分」
アナウンス「ハブ変圧システム、問題なし」
日向「（off）四国及び九州エリアの通電完了」
アナウンス「各冷却システムは試運転に入って下さい」

要塞内に入ってくる巨大な陽電子砲。周囲はケーブルやパイプだらけ。
その横に立て膝で座っている狙撃用G型装備の初号機。
更に初号機の横に盾を持つ零号機の姿が見える。上空を飛ぶ航空機。響くアナウンス。
ミサト「これが、大型試作陽電子砲ね。大丈夫なの」
リツコ「急造品だけど設計理論上は問題ないわ」
伊吹「実際は未だ試射したことないので、まるでデータ不足なんですけど」
ミサト「ま、あてにしてるわ」
リツコ「あてになりそうもないのは、パイロットね」
決意のミサト。出て行く。

○病室（夜）（他に場所ないか?）
シンジの傍らに立つミサト。
ミサト「シンジ君。集合時間はとっくに過ぎてるのよ」
うつむいたままのシンジ。
ミサト「あなた、自分で決めてここに残ったんでしょ」
うつむいたままのシンジ。
ミサト「だったら、自分の仕事をキチンとしなさい」
シンジ「怖いんですよ。エヴァに乗るのが」
無言のミサト。
シンジ「ミサトさんたちはいいですよ。いつも安全な地下本部にいて命令してるだけなんですから」
ミサト「シンジ君。戦っているのはあなただけじゃないわ」
シンジ「でも、僕だけ怖い目にあって!ミサトさんたちはズルいですよ」
ミサト「もし使徒がサードインパクトを引き起こせば、今度こそヒトは全て滅ぶわ。一人残らずね」
シンジ「聞きましたよ、何度もその話は。でも———」
ミサト「私たちが使徒のネルフ本部レベルEに達する侵入を許すと、ここは自動的に自爆するようになっているの。たとえ使徒と刺し違えても、サードインパクトを未然に防ぐ　その覚悟を持ってここにいる全員が働いているわ」
無言のシンジ。
ミサト「ここにいる皆もあなたと同じく、自分たちの命を懸けて戦っているの」
ミサト「そして、あなたとエヴァに人類の未来を託しているのよ」
ミサト「エヴァで戦う。それはあなたにしか出来ないことなの」
シンジ「そんな、辛いこと……何で、僕なんですか」
ミサト「理由はないわ。その運命が、あなただっただけ」
シンジ「……もう一度、乗ってみます」

○二子山第2要塞
狙撃用の準備が進む。
ミサトらの前に立つシンジとレイ。上空を飛ぶ航空機。
ミサト「では、本作戦における各担当を伝達します。シンジ君———」
シンジ「ハイ」

ミサト「初号機で砲手を担当」
シンジ「ハイ」
ミサト「レイは零号機で防御を担当して」
レイ 「――ハイ」
リツコ「今回はより精度の高いオペレーションが求められます。そのためには未調整の零号機より、修復中ながらも初号機の方が有利なの」
　シンジらの前に設営されている狙撃用陣地。
リツコ「いい、シンジ君。陽電子は地球の自転、磁場、重力の影響を受け、直進しません。その誤差を修正するのを、忘れないで。正確にコアー点のみを貫くのよ」
シンジ「どこがコアなんて、わからないですよ」
リツコ「大丈夫。目標内部に攻撃形態中、つまり外形が固定化された時だけ実体化する部分があるの。そこがコアと推測されるわ。狙撃位置の特定と射撃誘導への諸元は全てこちらで入力するから、あなたはテキスト通りにやって、最後に真ん中のマークがそろったタイミングでスイッチを押せばいいの。あとは機械がやってくれるわ。それから一度発射すると冷却や再充填、放電プラグの交換等で次に撃てるまで、時間かかるから。もうひとつ。狙撃用大電力の最終放電装置の収束ポイントはその場所に設定されているの。故に初号機は狙撃位置から、移動できません」
シンジ「逃げられないってことですか」
リツコ「そうよ」
シンジ「じゃあ、もし外れて、敵が射ち返してきたら?」
リツコ「今は余計なことは考えないで、一撃で撃破することだけを考えなさい」
シンジ「じゃないと、大ピンチ、ってことですか」
レイ（シンジの顔にオフで）「私は――」
　レイが唐突に口を開く。
レイ「私は初号機を守ればいいのね」
リツコ「そうよ」
レイ「わかりました」
ミサト「時間よ。二人とも着替えて」
二人「ハイ」

○要塞内の小部屋
　キチンとたたんであるシンジの服。
　スイッチを押すシンジ。服が体にフィットする。
　カーテンの奥のレイのシルエットを気にするシンジ。（変な気ではない）
　無造作に脱ぎ捨てられているレイの服。
　着替えているレイの足元。カーテンの奥にシンジのシルエット。
　シンジ、深い考えもなくポツンと台詞が浮かぶ。
シンジ「これで死ぬかもしれないね……」
レイ「いいえ」
シンジ「――」
レイ「あなたは死なないわ」
シンジ「――」
　下を見たままスイッチを押すレイ。フィットする服。
レイ「（顔を上げて）私が守るもの」
シンジ「……僕に守る価値なんてないよ」

ミサトのマンション・リビング
　真っ暗な室内。ベランダに立つ温泉ペンギン。
　窓の外のネオンや電灯が次々に消えていくのが見える。
　月の光が差し込んでくる。その中にポツンと佇む温泉ペンギンのシルエット。

○シェルター内
　避難している生徒たち。照明が落ち、非常灯の明かりに。
　トウジとケンスケらの目パチ。

　光の消えていく第3新東京市。（俯瞰図）

　衛星軌道上からの日本列島。イルミネーションが地区電力ブロックごとに消えていく。

　闇の中の第3新東京市。その中で煌々と輝く使徒と二子山山頂。（星がきれい）

○二子山第2要塞・エヴァ搭乗用タラップ
　待機中のシンジ（あぐら）とレイ（体育座り）。
　風の音。遠くに航空機の音。二人の横には零号機と初号機の顔。
シンジ「綾波は、何故エヴァに乗るの?」
レイ「（ちょっと考え）絆だから……」
シンジ「絆?」
レイ「そう……絆」
シンジ「父さんとの?」
レイ「――みんなとの」
シンジ「強いんだな……綾波は」
レイ「私には、他に何もないもの……」
シンジ「……」
レイ「（遮って）時間よ。行きましょ」
　立ち上がるレイ。手には先の眼鏡ケース。
レイ「さよなら」
　一人残るシンジ。
シンジ「何もないって……父さんがいるじゃないか」

　静かな夜。きれいな夜空。そこに映えるライトアップされた使徒のシルエット。

○二子山第2要塞・戦闘指揮所
　時計表示が午前0時00分になる。
日向「作戦、スタートです」
ミサト「シンジ君。今一度エヴァに乗ってくれた。それだけで感謝するわ」
　聞いてるシンジ。
ミサトの声「ありがとう」

ミサト「陽電子砲、狙撃準備。第1次接続開始」
日向「第1から第803管区まで送電開始」
アナウンス「了解。全ブレーカーを開放」「第1次電力開閉所、受電開始」
　一斉に点灯する表示。
　うなりを上げる変電設備等。
　上昇していく各種メーター。
女「電圧上昇中、過圧域へ」「各部インバータ、回転開始」
　煙を上げてる電源コードの束。
日向「全冷却システム、出力最大へ」
　うなりをあげる冷却装置が、氷で真っ白になっていく
男「温度安定、問題なし」

女「陽電子流入、順調なり」
ミサト「第2次接続」
　　またも一斉に点灯する表示。
女「全加速器、運転開始」
伊吹「強制収束機、作動。圧縮回転数、プラス3万8千」
アナウンス「全電力、二子山増設変電所へ」「主変圧器、異常なし」
日向「第3次接続、問題なし」
ミサト「了解。第3、第4要塞管制室へ伝達。予定通り陽動を開始。観測機は直ちに退避」

○箱根山中
　　上空の観測機が離れる中、山腹がスライドし中からミサイル発射口が露出する。
　　連射されるミサイル群。
　　変形する使徒。対空砲火。使徒に直撃寸前に爆発。
　　光る使徒。
　　熱蒸発するミサイル発射口。
日向「第3対地攻撃システム、蒸発」
ミサト「悟られるわよ。間髪入れないで、次」
　　山腹より現れる砲台。
　　斉射する砲口。
　　使徒の直前で弾かれる砲弾。
　　破壊される砲台。
男「第2砲台、被弾」
青葉「レーザー放射群、第3波、発射します」
女「第6ミサイル陣地、壊滅」
　　初号機越しに見える、炎上する要塞。
男「電力圧縮機、作動開始。電圧、発射点へ上昇中」
　　全エネルギーが収束されていく大型コンデンサ類。
　　過熱によりあちこちから山火事が起こる。
男「第3次接続、問題なし」
ミサト「最終安全装置、解除」
日向「撃鉄、起こせ」
　　ライフルの安全装置が『安』から『火』に変わり、撃鉄が上がる。
　　プラグ内のモニター。マークがそろっていく。
「地球自転及び重力の誤差修正、プラス0.0009」
男「電圧、発射点まであと0.2」
日向「第7次最終接続。全エネルギー、超高電圧放電システムへ」
「第1から第8放電プラグ、異常なし」
　　陽電子砲を構えている初号機。後方に盾を装備した零号機。
　　目標である使徒周辺には陽動の攻撃が続いている。

　　プラグ内のモニターを力なく見ているシンジ。
シンジ「(MONO) 綾波ほどの覚悟もない。うまくエヴァを操縦する自信もない。理由もわからず、ただ動かせただけだ。人類を守る……こんな実感もわかない大事な事を……なんで僕なんだ?」

日向「8、7、6……」
　　以下オフでカウントダウンの声。
　　構えている初号機。緊張している面々。
　　プラグのモニター内。赤いランプの真中のマークが揃う。

ミサト「発射っ!」
　　スイッチを押すシンジ。
　　8本の大電力放電プラグから走る、プラズマ。陽電子砲の受光システムに集中する。
　　発射される、陽電子砲。
　　使徒に命中。形状変化が急停止する。使徒の先端部も停止。
　　貫通位置から吹き出す大量の血。山腹が赤く染まっていく。血に染まる中学校。
ミサト「やったか?」
　　使徒の寄り画面。貫通位置からわずかにずれた所にコアらしき物体が確認出来る。
　　止血され、再び形状変化を始める使徒。
ミサト「外した!」
日向「まさか、このタイミングで?」
リツコ「パイロットの精神状態に、何か違和感があったんだわ」

　　不安定ながらも、輝き始める使徒の内部。
伊吹「目標に高エネルギー反応!」
ミサト「総員、直撃に備えて!」
　　光る使徒。
　　瞬時に、二子山ごと抉られ蒸発する要塞。地下内部施設が破壊されていく。
　　露出する戦闘指揮所。大揺れのミサトら。
　　大揺れのエントリープラグ内。真っ白に飛んでいるモニター。
　　ギリギリで直撃を免れる陽電子砲と初号機。

　　非常灯に照らされる戦闘指揮所内に鳴り響く各種警告音。
　　なんとか起き上がるミサト。
ミサト「エネルギーシステムは!?」
日向「まだ使えます!すでに再充填を開始!」
ミサト「陽電子砲は?」
リツコ「無事よ!現在、砲身を冷却中!でもあと1回、撃てるかどうか」
ミサト「確認不要!やってみるだけよ。シンジ君!大丈夫!?急いで初号機を狙撃ポイントに戻して!シンジ君?」
　　半べそのシンジ。手が震えてレバーもろくに持てない状態。
シンジ「……」
リツコ「———もう、ダメかしらね」
　　発令所内のゲンドウ。決断。
ゲンドウ「———現時刻をもって初号機パイロットを更迭。狙撃手は零号機パイロットに担当させろ」
冬月「碇?」
ゲンドウ「使えなければ、切り捨てるしかない」
ミサト「待って下さい!」
　　わずかに顔を上げるゲンドウ。
ミサト「彼は逃げずになんとか狙撃位置に戻ろうとしています。自分の子供を信じて下さい」
　　半泣き状態ながらも、なんとか初号機を動かそうとしているシンジ。踏ん張っている。
　　(「逃げちゃダメだ」の繰り返しを云う?)
　　わずかだが動き始める初号機。
ミサト「私も、初号機パイロットを信じます」
　　なんとか陽電子砲のトリガーを掴む初号機。
ゲンドウ「……任せる。好きにしたまえ」
ミサト「ありがとうございます。———シンジ君」
シンジ「ハイ」

ミサト「今一度、日本中のエネルギーと全人類の未来、あなたに預けるわ。がんばってね」
シンジ「……ハイ!」

　　再び、据え置かれる陽電子砲。構える初号機。
日向「銃身、固定位置」
伊吹「射撃用諸元、再入力を開始」
男「電圧、発射点まであと0.5」
　　陽電子砲を構える初号機。
　　緊張しているシンジ。プラグ内のモニターを凝視している。

　　警告音。ネルフ本部施設の頂上に迫る使徒の先端。
青葉「敵先端部、本部直上0地点に到達」
　　頂上部から破壊されていく本部施設。
　　動じないゲンドウや冬月。

ミサト「第2射、急いで!」
日向「砲身、冷却終了」
女「射撃用諸元、最終入力完了。誤差修正なし」
男「発射点まであと、0.2」
　　構えている初号機。
　　再び使徒に光が走り始める。
伊吹「目標に再び高エネルギー反応!」
ミサト「やばいっ!」
　　発射する使徒。
シンジ「うわっ!」
ミサト「シンジ君!」
　　ロングで広がる光!
　　再び強烈な光りに包まれ、初号機の盾になっている零号機。
シンジ「綾波ッ!」
　　モニターに融解していく零号機が映っている。
リツコ「盾がもたない!」
ミサト「まだなの!」
日向「あと10秒」
　　融解する盾。身体で初号機をかばう零号機。体液が沸騰し装甲板が蒸発していく
シンジ「はやく!!……はやく!!」
　　赤いランプの真ん中のマークが揃う。
シンジ「――!」
　　初号機の第2射!
　　光の筋が使徒のコアに見事命中する。
ミサト「やった!!」

　　変化し、展開図となる使徒。裂け目から大量の血が滝のように雪崩落ちていく。
　　血だるまとなり崩壊していく使徒。真っ赤に染まる芦ノ湖。
　　停止し、突如血袋の様に爆発する使徒の先端部。
　　これまた赤く染まる本部施設。
　　その場に崩れる融解した零号機。あちこちが爆発している。

○初号機・エントリープラグ内
シンジ「綾波ッ!」

　　溶けて動かない零号機の機体。あちこちから黒煙があがる。
ミサト「シンジ君!零号機の救出を!」
シンジ「わかってます!」
　　陽電子砲を捨てる初号機。山腹に激突し、損壊する陽電子砲。
　　黒煙を上げ炎上する融解した零号機。
　　プログナイフで変形した機体を切り裂き、エントリープラグを引き出す初号機。

　　溶けてしまって殆ど癒着している初号機の手と零号機のエントリープラグ。
　　エントリープラグの蓋をこじあけようと力を込めるシンジ。
　　開かれる蓋。
　　零号機のプラグをのぞき込むシンジ。
シンジ「綾波ッ!」
　　ぐったりとしてるレイ。
シンジ「大丈夫かッ!綾波ッ!!」
　　うっすらと眼を開けるレイ。
　　半泣きのシンジ。プラグの中にゲンドウの眼鏡が落ちている。
シンジ「自分には他に何もないって……そんなこと云うなよ。……別れ際にさよならなんて……悲しいこと云うなよッ!」
レイ「(シンジに)何、泣いているの……?」
シンジ「――」
レイ「ごめんなさい……こういう時、どんな顔すればいいのか、わからないの」
シンジ「(泣き笑いで)笑えばいいと思うよ」
　　レイの表情がゆっくり微笑みに変わっていく。
　　ラストはキャメラが二人から満月にPAN.UP。

○月面・月の裏側
　　目覚める全裸のカヲル。棺から姿を現す。
カヲル「わかっているよ。彼が目覚め、契約がひとつむすばれたんだろ」
　　出現するゼーレのモノリス。
キール「そうだ。契約の時は近い」
カヲル「……碇シンジ君。どんな子かな。楽しみだよ」
　　カヲルの周辺は同じカヲルの棺だらけ
　　場所は月面、月の裏側である。無人の真空状態に全裸で立つカヲル。
　　後方にはクレーターの壁面から発掘途中の巨人(シルエット)が見える
　　まるで巨大な墓を暴いているかの様に見える。下半身は何か保護材で包まれている状態。
　　顔にはリリスと同じゼーレの面。

テロップ「つづく」(黒バックに白)
エンディング・クレジット、
次回予告。(30秒)

TV版20分30秒で12枚平均。48枚で80分目安。

『エヴァンゲリオン新劇場版：序　全記録全集』折込ポスターイラスト　画／貞本義行

ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序　全記録全集

企画・監修　庵野 秀明
構成・編集　鳥木 一騎（カラー）

取材・執筆・構成協力　氷川 竜介
デザイン　市古 斉史（TGB design.）

編集　島居 理恵（キングレコード）
神村 典子（グラウンドワークス：）
神村 靖宏（グラウンドワークス：）
佐野 久美子（ガイナックス）

鶴巣詩郎取材・執筆　腹巻猫（劇伴倶楽部）
取材・執筆協力　藤津 亮太
松野本 和弘
デザイン協力　市古 明子
翻訳協力　兼光ダニエル真
付録ピンナップイラスト　貞本 義行

協力　辻 壮一（角川書店）
EVANGELION STORE

製作　株式会社カラー

発行日　2008年5月1日　初版発行
2012年10月26日　第2版発行

※上記の内容は2012年第2版発行当時のものです。
本書には収録されていないインタビュー等に関する記述を含みます。

ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序　全記録全集　ビジュアルストーリー版・設定 資料版

企画・監修　庵野 秀明
構成・編集　鳥木 一騎（カラー）

表紙デザイン　市古 斉史（TGB design.）

編集　三好 亘（カラー）
田渕 浩久（グラウンドワークス：）
神村 典子（グラウンドワークス：）

デザイン協力　DTP of YA_abe

表紙・ピンナップイラスト　鈴木 俊二

販売協力　EVANGELION STORE

製作　株式会社カラー

発行日　2019年6月1日　初版発行

発行　株式会社カラー
http://www.khara.co.jp/

販売　株式会社グラウンドワークス
〒167-0042
東京都杉並区西荻北3-30-11 パルファンビル2F
03-6913-6914

EVANGELION STORE
http://www.evastore.jp/

印刷・製本　大日本印刷株式会社

ISBN 978-4-905033-18-9

落丁・乱丁はお取替えいたします。

禁無断転載・複製

© カラー

©khara

『ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序』
全記録全集 ビジュアルストーリー版・設定 資料版

庵野秀明監修／カラー責任編集

『：序』作画監督・鈴木俊二
による新規描きおろし

フルカラー B4 サイズポスター付属!

『ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序』の公式本「全記録全集」を原典に、
フィルムストーリーや設定資料などエッセンスを抽出！
作品をより深く多様な視点で楽しむための、資料性を重視したファン必携の書！

フィルムストーリー／音楽キューシート／追加台本／設定資料／
美術ボード／宣伝素材／脚本決定稿　他
原典に収録された貞本義行による折込ポスターイラストも掲載！

※本書は 2008 年5月に発行した『ヱヴァンゲリヲン新劇場版：序　全記録全集』からインタビュー頁を除くすべての内容を再掲載したものです。

全記録全集

ビジュアルストーリー版・設定資料版

株式会社カラー
xapa